

研究報告

～東北地方太平洋沖地震～

命を救う情報はどうなっていたのか

2014年7月

日本災害情報学会 第4次「デジタル放送研究会」

代表研究者	藤吉 洋一郎	前・大妻女子大学文学部
共同研究者	天野 篤	アジア航測
	天野 教義	TBSテレビ
	国崎 信江	危機管理教育研究所
	谷原 和憲	日本テレビ
	東方 幸雄	TOSYS
	中村 功	東洋大学社会学部
	中村 信郎	前・日本災害情報学会
	中森 広道	日本大学文理学部
	千川 剛史	大妻女子大学人間関係学部
	三島 和子	セコムIS研究所
	水上 知之	三重県農林水産部
	山崎 智彦	NHK大阪放送局
	ほか	

〈目次〉

目的	1
方法	5
結果	6
1. 資料調査	6
1.1. 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の概要	6
1.2. 気象庁の警報	7
1.3. 行政の避難情報	11
1.4. 犠牲になった住民たちは	13
1.5. 地震に伴う被災地の停電	15
2. コミュニティ・エフエム局ヒアリング調査	17
2.1. fmいずみ	17
2.2. エフエムたいはく	24
2.3. ベイウェーブ	27
2.4. FMみなさん	34
2.5. まとめ	36
3. ラジオ局ヒアリング調査	41
3.1. 東日本大震災にみるラジオの活躍	41
3.2. エフエム仙台	44
3.3. TBCラジオ	54
3.4. NHKラジオセンター	67
4. NHK仙台放送局ヒアリング調査	78
4.1. 調査概要	78
4.2. 調査結果	78
4.3. まとめ	85
5. テレビ番組録画調査	86
5.1. NTV	86
5.2. TBS	152
5.3. NHK	222
6. 地デジのデータ放送の調査	289
6.1. 岩手県内	289
6.2. 宮城県内	297
6.3. 福島県内	304
7. 大船渡市役所ヒアリング調査	308
7.1. 調査概要	308
7.2. 調査結果	308
7.3. まとめ	315
付録 津波被災地沿岸調査 調査票	317
8. 三陸沿岸被災住民アンケート調査	335
8.1. 調査概要	335
8.2. 調査結果	336
8.3. まとめ	360
付録 平成23年3月11日「東日本大震災」におけるアンケート調査 単純集計	365
9. 南相馬被災市民アンケート調査	386
9.1. 調査概要	386
9.2. 調査結果	386
9.3. まとめ	396
付録 平成23年3月11日「東日本大震災」におけるアンケート調査 単純集計	399
おわりに	416
参考文献	422
研究発表	428
連絡先	429

目 的

本研究は「3.11東日本大震災」が起きた際、人びとに避難を促す緊急情報はどのように発せられ、放送などのメディアはそれをいかに伝え、はたして所期の目論みどおり機能したのか、さらに、数日・1ヶ月・1年余後に、津波被災者・原発事故避難者の情報ニーズに応えられたのかなどについて、出し手・受け手双方から調べ、きわめて巨大かつ広域な未曾有の複合災害初期における情報の伝達・受容実態を記録、検証し、今後の課題や教訓を見出すことを目的とした。

被災者と支援者らの協力によりアンケート調査などを実施した地域の現地写真を示す。



図1 岩手県釜石市魚河岸付近の惨状(2011.5.4 撮影)



図2 岩手県大船渡市中心部の惨状(2011. 3.14 アジア航測(株)撮影)



図 3 岩手県陸前高田市高田松原付近の惨状(2011.5.4 撮影)



図 4 宮城県気仙沼市 JR 南三陸駅周辺の惨状(2011.7.9 撮影)



図 5 宮城県南三陸町志津川の町防災対策庁舎の惨状(2011.7.9 撮影)



図 6 宮城県南三陸町バイサイドアリーナ広場で行われたAKB48 高城亜樹・仲谷明香・板野友美・横山由依、SKE48 松井珠理奈、NMB48 山田菜々による慰問ミニライブ(2011.7.9 撮影)



図7 宮城県仙台市若林区から名取市関上付近の惨状(2011. 3.14 アジア航測(株)撮影)



図8 宮城県岩沼市・亘理町・山元町周辺の惨状(2011. 3.14 アジア航測(株)撮影)

※ アジア航測株式会社 災害関連情報一覧
「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」災害状況(2011年3月11日)
<http://www.ajiko.co.jp/article/detail/ID4TC20KNZL/>

方 法

2011年東日本大震災発生初期において住民の命を救い、支えた“情報”について、出し手側と受け手側から追跡調査した。具体的には、地震発生直後における、自治体の防災行政無線や、放送、通信などによる緊急情報伝達の実態把握と、それが住民の避難行動に円滑につながったのかどうか、さらに、数日・1ヶ月・1年余後における津波被災者・原発事故避難者の情報ニーズに対して応えられたのかなどについて、放送当事者や自治体担当者へのヒアリング、テレビ・ラジオの録画・録音分析、避難生活を送られている被災者へのアンケート調査などで複眼的に把握しようと試みた。研究の全体像を図9に示す。

出し手側の調査は、宮城県下のコミュニティラジオ4局、県域ラジオ2局、東京のNHKラジオセンター、NHK仙台放送局、および岩手県大船渡市役所防災管理室でヒアリングを行った。また、地震発生から約3時間の首都圏で放送されたNTV、TBS、NHK3局のテレビ番組録画などを分析した。

次に受け手側の調査は、住民アンケートとし、①津波に襲われた三陸沿岸3市（257回収）＋共同研究者の類似調査である日大・東洋大実施5市町（642回収）、②原発事故に見舞われた福島県南相馬市（20回収）で実施した。なお次年度、新潟への原発事故広域避難者を対象に同種調査を行った。（→ http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv5_report.pdf）

一方、出し手と受け手が交錯するネットメディアに関しては、阪神・淡路大震災の頃から格段に進展をみせ、災害情報連絡における新たな役割を担った。原発事故では既存メディアを凌ぐほどに活用されたが、ネットメディアの調査については日本災害情報学会が追って設置した研究会・調査団に委ねた。（→ http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/05sympo/120128.pdf）



図9 本調査研究の全体像

結 果

1. 資料調査

1.1. 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）の概要

1.1.1. 平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震

東北地方太平洋沖地震は、2011年3月11日（金）14時46分頃、三陸沖から茨城県沖にかけての太平洋底で発生した、本邦観測史上最大のモーメントマグニチュード(Mw)9.0 の海溝型地震だった。この超巨大地震は、太平洋プレートと北米プレートとの境界、日本海溝に沿う南北約 450 キロメートル、東西約 200 キロメートルにわたる領域で断層破壊が生じた。断層のずれで、牡鹿半島地点では約 5.3 メートル東側に伸び、約 1.2 メートル下側に沈んだ。海底ではさらに大きな地殻変動が起き、それにより巨大な津波が発生した。津波の最大浸水高さは、「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による図 1.1 のとおり、三陸沿岸で 15~25 メートル、石巻平野以南で 10 メートル前後（福島県沿岸で高め）、浸水面積は 561 平方キロメートルに及んだ（国土地理院）。この地震で、宮城県栗原市では震度 7 が観測され、震度 6 強は、宮城県、福島県、茨城県、栃木県下に広がり（図 1.2）、強い揺れによる被害が生じたほか、北海道から千葉県にかけての太平洋沿岸各地に高い津波が押し寄せ、東日本一帯に甚大な被害をもたらした。この地震と津波が引き起こした災害が「東日本大震災」だ。

1.1.2. 被害状況

東日本大震災の主な被害状況（警察庁、2013年11月8日発表）を表 1.1 に示す。数字には一連の余震被害、および未確認情報を含み、震災関連死を含まない。死者数は 15,883 人、死因の 9 割以上は津波に起因する溺死だった。犠牲者の半数以上は 65 歳以上の高齢者で、年齢別人口構成比からみても明らかに高齢者の被災割合が多かった。

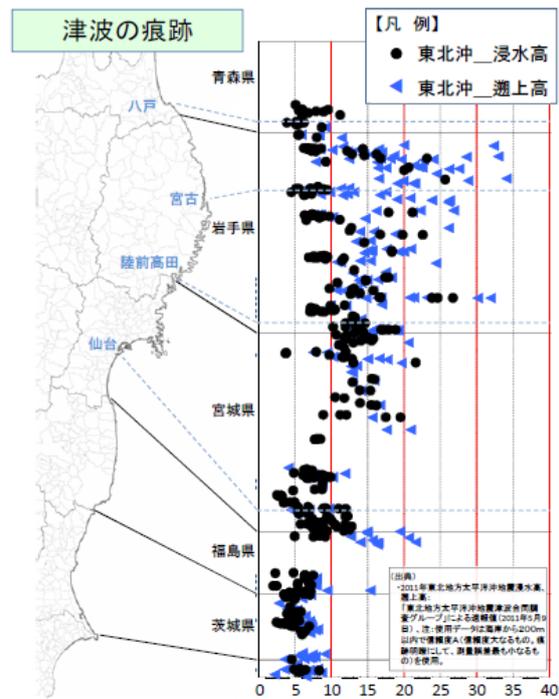


図 1.1 東北地方太平洋沖地震 津波の観測状況

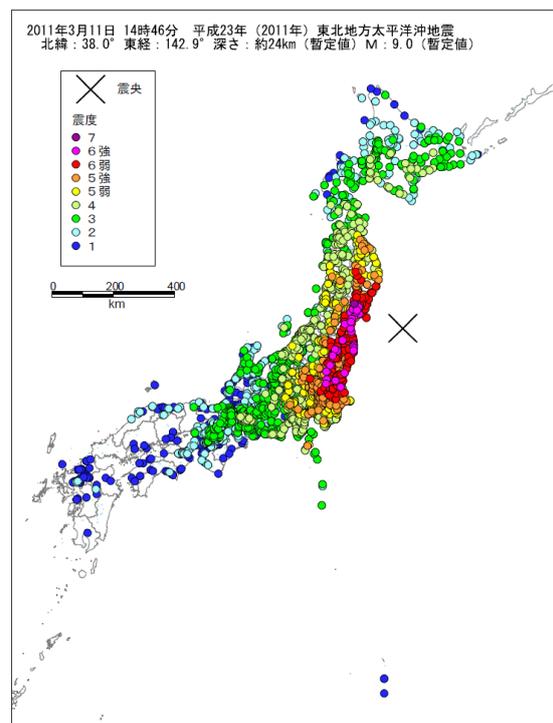


図 1.2 東北地方太平洋沖地震震度分布(気象庁)

三陸沿岸では、過去 115 年間だけでも、明治三陸地震、昭和三陸地震、チリ地震など大きな津波災害を繰り返してきており、これらを比較すると表 1.2 となる。国内で犠牲者が出た津波は 1993 年北海道南西沖地震の 202 名が最後で、今回の人的被害がいかに大きかったかがわかる。

物的被害は、被害額の推計（内閣府 2012 年 6 月 24 日発表）で、建築物等約 10 兆 4 千億円、ライフライン施設約 1 兆 3 千億円、社会基盤施設約 2 兆 2 千億円、農林水産関係約 1 兆 9 千億円、その他約 1 兆 1 千億円、計約 16 兆 9 千億円とされ、阪神・淡路大震災の約 9 兆 6 千億円を大きく上回った。復興予算も 5 年で 20 兆円を超えると推計された。

また、東京電力福島第一原子力発電所では、地震と津波によって国際原子力事象評価尺度レベル 7 の深刻な過酷事故が発生し、周辺地域で生活していた多数の住民が屋内退避や警戒区域外への避難を余儀なくされた（図 1.3）。その後、除染作業などが実施され、時間とともに避難指示区域等は徐々に狭まってきているものの、いまもってふるさとへの帰還ができずにいる避難者は約 15 万人（県民の 7.5%）に及んでいて、将来にわたる健康や経済上の問題を少なからず抱えている。

なお余談だが、原発事故を受けて政府や電力会社に対して市民レベルの抗議活動が続き、国内では近年例を見ない規模のデモへと発展した。この運動が広がった要因のひとつに、SNS のリツイートなど新たなネットメディアの普及があったといわれている。

1.2. 気象庁の警報

1.2.1. 緊急地震速報

気象庁の緊急地震速報の予報第 1 報は、地震発生 22 秒後に P 波の初期微動を検知し、5 秒後に予測震度 1 が自動で発せられた（表 1.3）。一般向け緊急地震速報（警報）は、地震発生 31 秒後の第 4 報で最大震度 5 弱が予測され、予測震度 3 以上となった宮城、岩手、

表 1.1 都道府県別被害(死者・行方不明者・全壊)

都道府県	死者(名)	行方不明者(名)	全壊建物(戸)
北海道	1	0	0
青森県	3	1	308
岩手県	4,673	1,144	18,460
宮城県	9,537	1,296	82,903
山形県	2	0	0
福島県	1,606	207	21,204
東京都	7	0	15
茨城県	24	1	2,626
栃木県	4	0	261
群馬県	1	0	0
埼玉県	0	0	24
千葉県	21	2	801
神奈川県	4	0	0
合計	15,883	2,651	126,602

表 1.2 過去の三陸沿岸地震津波との比較(未確認数値含む)

地震	発生日月日	死者・行方不明者
東日本太平洋沖地震	2011 年 3 月 11 日	18,534 名
明治三陸地震	1896 年 6 月 15 日	21,959 名
昭和三陸地震	1933 年 3 月 3 日	3,064 名
1960 年チリ地震	1960 年 5 月 24 日	142 名

避難指示区域の概念図

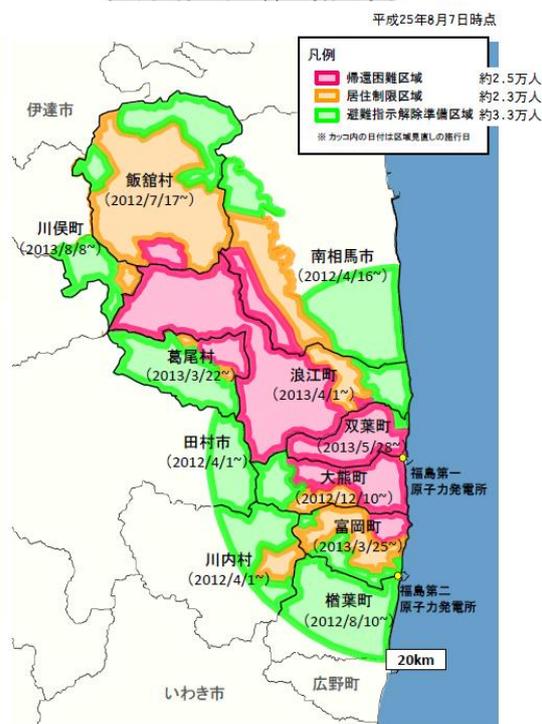
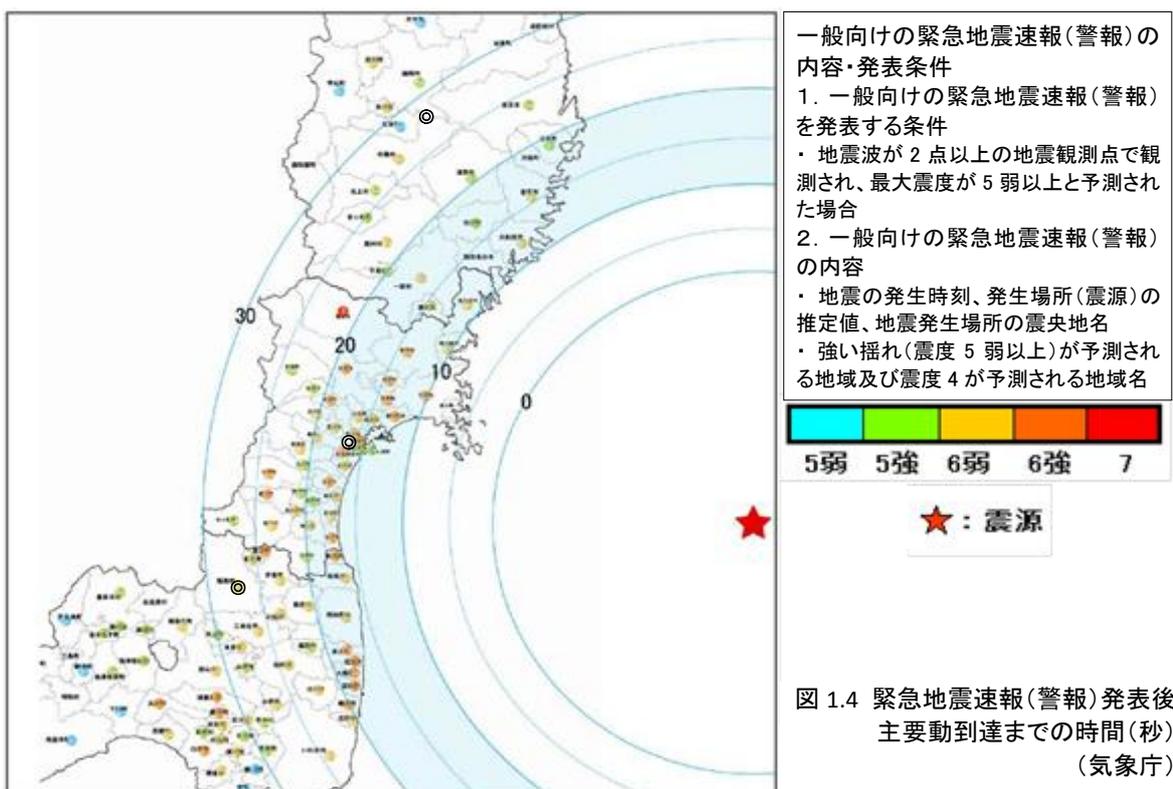


図 1.3 福島第一原子力発電所周辺の規制状況（経済産業省、2013 年 8 月 7 日時点）

秋田、山形、福島の5県に出された。仙台市中心部では、この警報を発表してから主要動（S波）が到達するまでに15秒以上の猶予があった（図1.4）。結果的には、過小な予測震度と対象エリアだったため、伝達範囲を予測震度4以上などと設定している民放のテレビやラジオ、携帯電話のエリアメールなどでの警報伝達は控えめだった。NHKテレビの場合、14時47分直前に独特のチャイム音とともに全国に向け一斉放送された。

表 1.3 東北地方太平洋沖地震の緊急地震速報(気象庁)

	時刻	経過時間(秒)	最大予測震度	予測震度4以上エリア
地震発生	14:46'18.1"	0		
地震波検知	14:46'40.2"	22.1"		
第1報	14:46'45.6"	27.5"	1程度以上	
第4報 緊急地震速報(警報)	14:46'48.8"	30.7"	5弱程度	宮城県中部、宮城県北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、岩手県沿岸北部、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り
第14報 震度6弱を初予想	14:48'25.2"	127.1"	6弱程度	宮城県中部、宮城県北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、岩手県沿岸北部、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り、山形県最上、岩手県内陸北部、山形県村山、秋田県内陸南部、茨城県北部



1.2.2. 津波警報・注意報

気象庁の津波警報・注意報は、地震発生直後に発せられた第1報から、ほぼ全国にまで対象を広げた当日16時8分の第4報、その後、翌日から翌々日夕方にかけて、警報⇒注意報⇒解除という流れだった（表1.4）。

第1報は、地震発生から3分以内に出された。当時の震源位置と気象庁マグニチュード(M_j)7.9の規模推定から導かれた津波警報(大津波)は、岩手、宮城、福島の3県に対して、予想津波高さがそれぞれ3、6、3メートルだった。第2報は、地震発生から28分後、早いところではすでに津波の浸水が始まりかけていた頃に、青森～千葉県の太平洋沿岸に、北の県からそれぞれ3、6、10、6、4、3メートルの高さの大津波警報が出された。三陸沖合にある津波計観測データがこの更新のトリガーとなった模様だが、当時はダイレクトに予想に反映されるシステムにはなっていなかった。第3報は、地震発生から44分後、テレビの巨大津波襲来ライブ映像を後追いつけるかのように、北海道太平洋沿岸に3～6メートル、青森県太平洋沿岸に8メートル、岩手～千葉県の太平洋沿岸に10メートル、伊豆諸島に4メートルだった。この第3報と同等規模の津波警報等が、もし地震発生から10～15分後以内に発表され、住民まできちんと届き、かつ真に受けて動いてもらえていたならば、犠牲者数はもっと抑えられたかもしれない。この辺りについて気象庁が整理したのが図1.5だ。

そして、津波警報や注意報はなかなか解除されず、捜索・救助・救援活動などに少なからず影響を与えた。繰り返し潮位変動が続き、大きな余震も続発し、現地観測データが途絶え、堤防損壊や地盤沈下なども生じていたのだからやむを得ない。前年のチリ地震津波の際、気象庁は会見で、津波の予測が過大であったとして警報・注意報が長引いたことについて謝罪したが、この辺りの予測や判断は技術的に改善の余地があるというのが現状だろう。

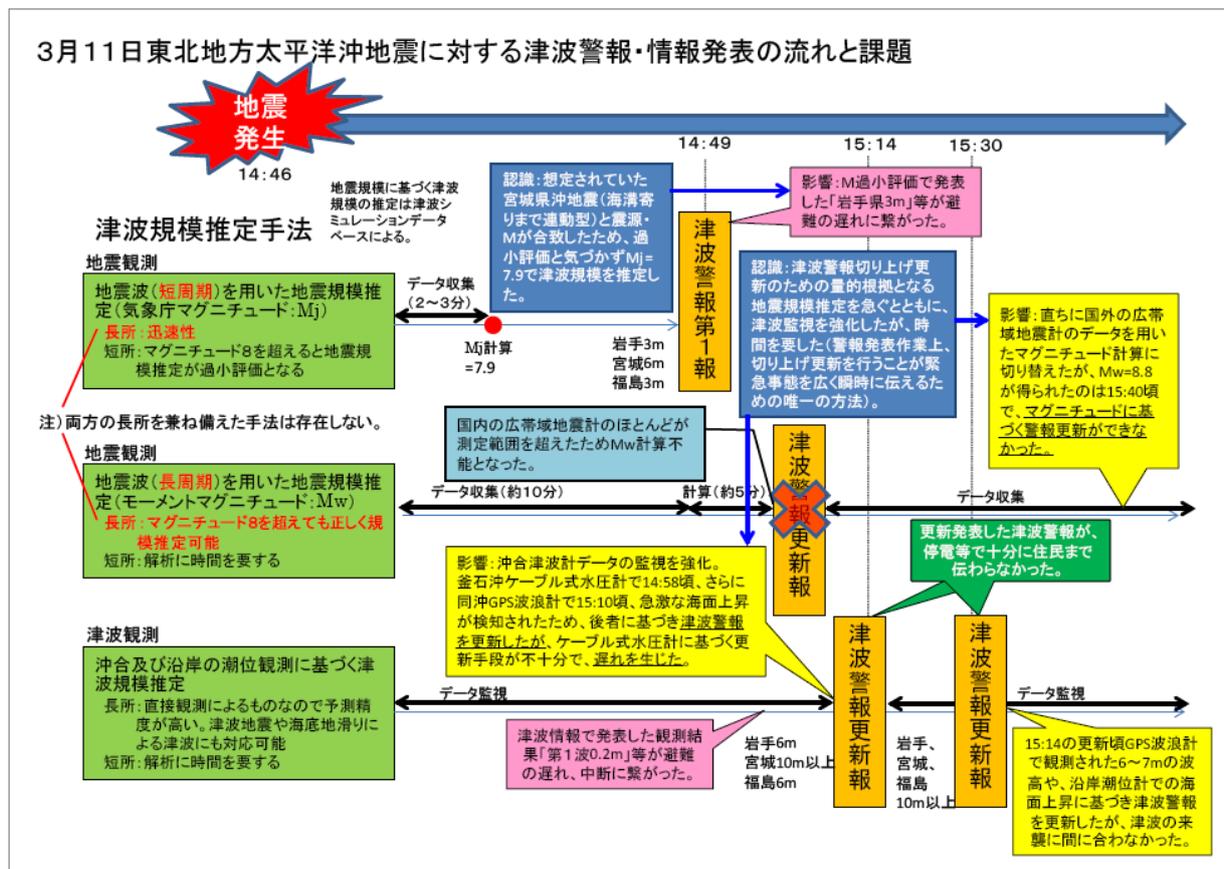


図 1.5 3.11 津波警報・情報発表の流れと課題
(気象庁「津波警報の発表基準等と情報文のあり方に関する検討会」第1回資料)

表 1.4 津波警報等の発表状況の推移(気象庁 平成 23 年 3 月 地震・火山月報(防災編)から抜粋)

(凡例)
津波警報(大津波)
津波警報(津波)
津波注意報
解除



表中に「津波到達予想時刻・予想される津波の高さに関する情報」で発表した津波の高さを示した。なお、矢印(→)は前回に発表した内容と同じであることを示す。
(12日 13時50分以降は津波の減衰に伴う津波警報・注意報の切り替えのため、同情報の発表は行っていない)

発表時刻	11日 14時49分	11日 15時14分	11日 15時30分	11日 16時08分	11日 18時47分	11日 21時35分	11日 22時53分	12日 03時20分	12日 13時50分	12日 20時20分	13日 07時30分	13日 17時58分
津波予報区												
北海道太平洋沿岸東部	0.5m	1m	3m	6m	→	→	→	→				解除
北海道太平洋沿岸中部	1m	2m	6m	8m	→	→	→	→				解除
北海道太平洋沿岸西部	0.5m	1m	4m	6m	→	→	→	→				解除
北海道日本海沿岸北部						0.5m	→	→		解除		
北海道日本海沿岸南部		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
オホーツク海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
青森県日本海沿岸	0.5m	1m	2m	3m	→	→	→	→		解除		
青森県太平洋沿岸	1m	3m	8m	10m以上	→	→	→	→				解除
陸奥湾		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
岩手県	3m	6m	10m以上	→	→	→	→	→				解除
宮城県	6m	10m以上	→	→	→	→	→	→				解除
秋田県				0.5m	→	→	→	→		解除		
山形県				0.5m	→	→	→	→		解除		
福島県	3m	6m	10m以上	→	→	→	→	→				解除
茨城県	2m	4m	10m以上	→	→	→	→	→				解除
千葉県九十九里・外房	2m	3m	10m以上	→	→	→	→	→				解除
千葉県内房	0.5m	1m	2m	4m	→	→	→	→				解除
東京湾内湾		0.5m	1m	2m	→	→	→	→				解除
伊豆諸島	1m	2m	4m	6m	→	→	→	→				解除
小笠原諸島	0.5m	1m	2m	4m	→	→	→	→				解除
相模湾・三浦半島	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→		解除		
新潟県上中下越				0.5m	→	→	→	→		解除		
佐渡				0.5m	→	→	→	→		解除		
富山県				0.5m	→	→	→	→		解除		
石川県能登				0.5m	→	→	→	→		解除		
石川県加賀								0.5m		解除		
福井県								0.5m		解除		
静岡県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→				解除
愛知県外海	0.5m	→	1m	2m	→	→	→	→				解除
伊勢・三河湾		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
三重県南部	0.5m	→	2m	→	→	→	→	→				解除
京都府								0.5m		解除		
大阪府			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
兵庫県北部								0.5m		解除		
兵庫県瀬戸内海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
淡路島南部		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
和歌山県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→				解除
鳥取県								0.5m		解除		
島根県出雲・石見								0.5m		解除		
隠岐								0.5m		解除		
岡山県			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
広島県				0.5m	→	→	→	→		解除		
徳島県	0.5m	→	2m	3m	→	→	→	→				解除
香川県			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
愛媛県宇和海沿岸		0.5m	1m	→	→	→	→	→				解除
愛媛県瀬戸内海沿岸			0.5m	→	→	→	→	→		解除		
高知県	0.5m	→	2m	→	→	→	3m	→				解除
山口県日本海沿岸								0.5m		解除		
山口県瀬戸内海沿岸				0.5m	→	→	→	→		解除		
福岡県瀬戸内海沿岸					0.5m	→	→	→		解除		
福岡県日本海沿岸						0.5m	→	→		解除		
有明・八代海			0.5m	→	→	1m	→	→		解除		
佐賀県北部						0.5m	→	→		解除		
長崎県西方			0.5m	→	→	1m	→	→		解除		
豊岐・対馬						0.5m	→	→		解除		
熊本県天草灘沿岸			0.5m	→	→	1m	→	→		解除		
大分県瀬戸内海沿岸		0.5m	→	1m	→	→	→	→		解除		
大分県豊後水道沿岸		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
宮崎県	0.5m	→	1m	2m	→	→	→	→				解除
鹿児島県東部		0.5m	1m	2m	→	→	→	→				解除
種子島・屋久島地方	0.5m	→	1m	2m	→	→	→	→				解除
奄美諸島・トカラ列島	0.5m	→	1m	2m	→	→	→	→				解除
鹿児島県西部		0.5m	→	1m	→	→	→	→				解除
沖縄本島地方		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
大東島地方		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		
宮古島・八重山地方		0.5m	1m	→	→	→	→	→		解除		

慶應義塾大学の吉川肇子教授は、「東日本大震災において、広域に大津波警報や注意報が出されたにもかかわらず、避難率が低かったことが指摘されている。災害時に避難率が低いのはよく見られる現象だが、この場合、前年2月27日に発生したチリ地震による津波について気象庁の発表した情報が影響した可能性が指摘されている。『危機管理は大げさなくらいでちょうどいい』と合理化する人もいるが、コミュニケーションに関しては、むしろ逆効果になることが多い。誤報効果（オオカミ少年効果）の研究からは、予知情報や警報が空振りに終わった場合、情報に対する人びとの信頼感が低下し、次の警報が無視されがちになることが明らかになっている」と指摘した。

2日前の11時45分にも前震があり、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県に津波注意報が出され、最大数十センチの津波が発生していた。

1.3. 行政の避難情報

1.3.1. 地方自治体の避難勧告・指示

津波に対する避難情報は、三陸沿岸部など多くの基礎自治体で、津波警報等と連動して14時49分に避難指示が出された（表1.5）。そして、地震発生から5～10分で、住民に向けて避難が呼びかけられた。その後、役場庁舎が被災したり、伝達手段を失った自治体もあるが、気象庁の津波警報・注意報との基準連動は地域防災計画書に概ね定められていて、避難勧告への切り替えや解除についても同様だった。

表 1.5 主な基礎自治体の津波に関する避難勧告・指示

県	市町	避難勧告・指示発表	対象エリア
岩手県	釜石市	14:49	沿岸部全域
	大船渡市	14:49	市内全域
	陸前高田市	14:49	沿岸部
宮城県	南三陸町	14:49	?
	仙台市	14:49	津波警戒区域
	名取市	14:49(現場の判断)	閑上地区/下増田地区
	山元町	14:52(確認時刻)	?
福島県	南相馬市	14:55	市内全域(避難勧告)
	いわき市	14:51	沿岸部

また、県の災害対策本部は、震度5強以上の揺れがあった青森、岩手、宮城、福島、千葉などで、14時46分に設置された。

1.3.2. 政府の緊急対応

政府の主な初動対応を表1.6に示す。

政府は、発災直後に官邸対策室を設置するとともに、関係省庁からなる緊急参集チームを招集した。そして、①被害情報の収集に万全を期すこと、②人命救助を第一義として、住民の避難、被災者の救援救助活動に全力を尽くすこと、③被害の状況に応じ、緊急消防援助隊、警察広域緊急援助隊、自衛隊の災害派遣部隊、海上保安庁の部隊、災害派遣医療チーム(DMAT)等による被災地への広域応援を行い、被災者の救援、救助をはじめとする災害応急対策に万全を期すことなどが、確認事項として決定された。同日15時14分には、災害対策基本法に基づき、同法制定以来初めて緊急災害対策本部(本部長：内閣総理大臣)が設置され、第1回の対策本部会議で「災害応急対策に関する基本方針」が決定された。さらに、夕刻からは、原子力災害対策本部会議が開催され、未曾有の大震災対応に加え、福島原発事故が重くのしかかってきた(図1.6)。

表 1.6 政府の主な初動対応(消防庁 2012 年 3 月 13 日発表)

日	時	主 な 初 動 対 応
3月11日	14時50分	官邸対策室設置、緊急参集チーム招集
	15時14分	緊急災害対策本部設置
	15時37分	第1回緊急災害対策本部会議開催
	15時38分	関係閣僚会議開始
	16時過ぎ	第2回緊急災害対策本部会議開催
	17時05分	原子力災害対策本部設置
	17時08分	総務大臣から宮城県知事、福島県知事、茨城県知事及び岩手県知事に順次電話連絡により状況確認等を実施
	18時00分	宮城県に政府調査団の派遣を決定
	18時08分	総務大臣から青森県知事に電話連絡により状況確認等を実施
	19時03分	第1回原子力災害対策本部会議開催
19時23分	第3回緊急災害対策本部会議開催	
21時23分	総理大臣により福島第一原子力発電所半径3km以内に避難指示、半径3km～10km以内に屋内待避指示 →3月12日5時45分頃 福島第一原子力発電所半径10km以内に避難指示 →10時50分現在避難対象者の6割が避難完了 →18時25分総理大臣により福島第一原子力発電所半径20kmに避難指示 →双葉地方広域市町村圏組合消防本部が8km圏内にあるため20km圏外の川内出張所へ移動(以後、川内出張所が本部機能を担う)	
3月12日	5時30分	福島県及び岩手県に政府調査団の派遣を決定
	6時00分	宮城県に緊急災害現地対策本部を設置
	8時30分	第4回緊急災害対策本部会議開催
	7時45分	総理大臣により福島第二原子力発電所半径3km以内に避難指示、半径3km～10km以内に屋内待避指示 →9時50分現在半径3km以内の住民については避難開始(3,070世帯8,210人) →17時39分総理大臣により福島第二原子力発電所半径10km圏内に避難指示
	9時15分	第2回原子力災害対策本部会議開催
	11時36分	第5回緊急災害対策本部会議及び第3回原子力災害対策本部会議開催
	21時40分	第6回緊急災害対策本部会議及び第4回原子力災害対策本部会議開催

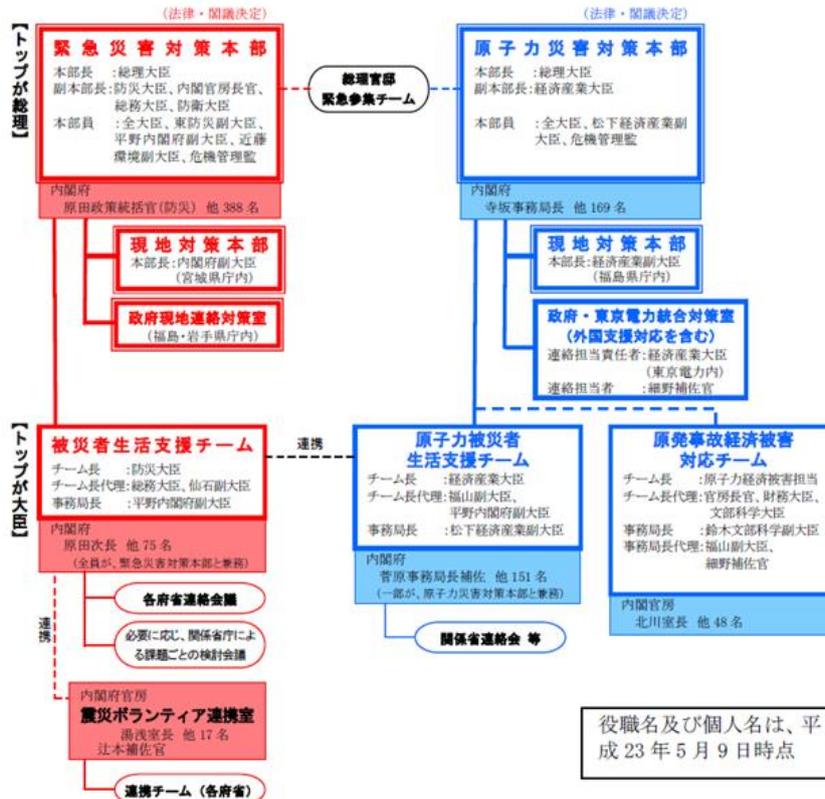


図 1.6 政府における東日本大震災関係の対策本部等の概略図(平成 23 年 5 月 9 日時点、内閣府)

1.4. 犠牲になった住民たちは

既往の報道や研究成果などから、犠牲になった住民たちの特徴的な被災事例を拾った。ちなみに、震災犠牲者の死因は、ほとんどが津波に巻き込まれたことによる溺死だった。

① 岩手日報社の「忘れない」取材結果

岩手日報社は、2千人以上の遺族に対する取材に基づいて、死者・行方不明者1,590人の被災状況を推測した(図1.7)。結果は「逃げなかった」が40.0%、被災場所は「自宅など」が44.9%と最も多かった。死者・行方不明者の年齢別では70代以上が49.3%に上った。つまり4割の人は逃げずに犠牲になったわけだが、「自宅にいて逃げなかった」という中には「高齢者や幼児の薬や衣類を用意していた」「寝たきりの父や母に付き添っていた」という人もいるし、「避難後、自宅に戻った」や「避難途中」にも「年老いた両親を迎えに行った」「親や孫のために防寒着や布団を取りに行った」「浸水域外にいた息子が、自宅で寝たきりの親を迎えに行ったら、親は近所の人に避難させてもらっていた後で、息子だけが犠牲になった」などの事例があった。犠牲者のうち災害時要援護者は16.1%、支援にあたった人とあわせると実に35%に及び、岩手県の犠牲者の2千人強が災害時要援護者とその周辺の人びとだったと推計された。

② 避難先での被災事例

岩手県釜石市の鶴住居地区防災センター、陸前高田市の市民会館や市民体育館、宮城県名取市閑上などに代表されるように、避難先(と一般にみなされる場所)に居ながらの被災事例も結構多かった。つまり、規範的な避難はしたものの、実際に襲ってきた津波の浸水範囲や高さがあまにも想定外で逃げきれなかった。

③ 大槌における死者・行方不明者居住地分布

群馬大学の片田敏孝教授の岩手県大槌町における調査結果では、津波災害実績やハザードマップの想定浸水域の外側付近で、死者・行方不明者が目立った。そこに住む人は、ここまで大きな津波が襲ってくることはなかろうと予見を持ち、避難しなかったり、遅れたのではないかと思われた(図1.8)。

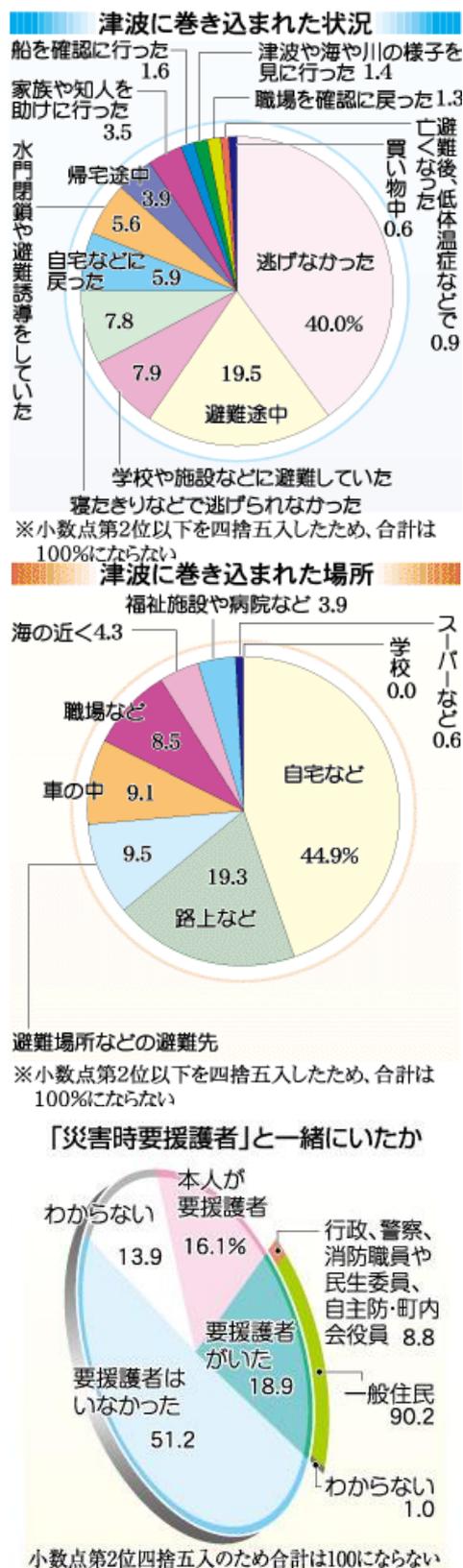


図 1.7 死者・行方不明者 1,590 人の被災状況の推測 (岩手日報社)

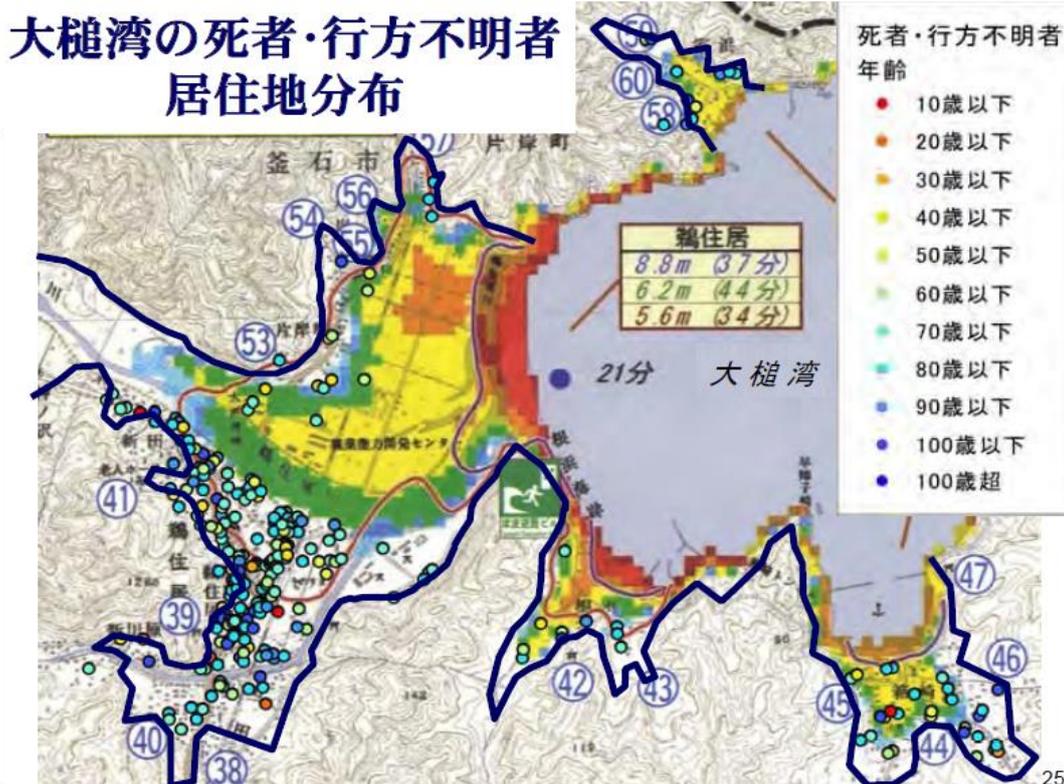


図 1.8 大槌湾の死者・行方不明者居住地分布
 (2012.5.11 衆議院災害対策特別委員会勉強会 東日本大震災に学ぶ今後の防災のあり方について
 群馬大学大学院教授・広域首都圏防災研究センター長 片田敏孝)

④ 石巻市立大川小学校の悲劇

宮城県石巻市の大川小学校では、児童 76 名、教職員 11 名が津波に遭遇し、うち児童 72 名、教職員 10 名が被災した (図 1.9)。この震災でここまで犠牲者が出た学校は唯一で、防災体制の運営・管理に不備があったのではないかと指摘された。一方、他の多くの学校については“釜石の奇跡”などと似たような危機回避の好例が見受けられ、犠牲は僅かに抑えられた。

⑤ その他の一般的な傾向

地震の異常な揺れや避難の呼びかけにより避難行動をとった人が多かったが、避難途中でひどい渋滞に巻き込まれたり、一旦避難しつつも自宅に戻って被災したケースもあった。岩手県宮古市田老のように「万里の長城」と呼ばれた二線防潮堤すらも越流して被害を招いた。また、当時のカーナビの発信位置データからは、防災活動や救護などに海岸方面へ向かって命を落としたケースも少なくないのではと推測された。なお、介護老人保健施設・特別養護老人ホームや病院などでは、少なからぬ箇所でもまとまった数の犠牲者が出た。



図 1.9 宮城県石巻市立大川小学校

1.5. 地震に伴う被災地の停電

放送や情報通信が発達し、さまざまな情報がはん濫する中で起きた巨大災害に際し、電気・電子機器の生命線となる商用電源が、はたして「地震発生」>「津波警報等の発表」>「避難指示等の発令」>「津波襲来」のどのタイミングで断たれたのか、東北電力(株)のホームページを調べ、不明点をメールで尋ねた。

東北電力がホームページに広報した、緊急情報「東北地方太平洋沖地震による停電等の被害状況」に掲載された資料は、表 1.7、図 1.10 のように、東日本大震災時の停電状況を細かく（例えば市町村ごと、地震発生後 10 分単位の推移で）読み取れなかった。そこで、被災地における停電発生の時空間分布を問い合わせた。その結果、「停電個所については、津波被災地の全てが本震直後に停電になったかどうかはわかりかねます。ただし、停電規模の大きさから津波被災地域の大部分について、本震直後に停電したものとされます。なお、青森県、岩手県、秋田県については、本震直後に全域で停電したことから、この 3 県については本震直後に途絶えたものと想定されます。その他の県については、停電戸数は把握していますが、個々の機器の状態については把握しておりません」との返答だった。

よって、バッテリーや自家発電装置等のバックアップ電源を持たない AC100V で動く機器は、本震発生直後から警報や避難情報などの送受には、ほとんど使うことができなかつたとみられる。リダンダンシーが求められよう。

表 1.7 東北地方太平洋沖地震に伴う停電戸数の推移（東北電力ホームページより）

県	地域	3/11 17時 停電戸数	3/11 21時 停電戸数	3/12 10時		3/13 10時		3/14 10時	
				現在停電戸数	延べ停電戸数	現在停電戸数	延べ停電戸数	現在停電戸数	延べ停電戸数
青森県	全域	約 90 万	約 90 万	793,167	890,037	9,351	914,288	3,799	916,964
岩手県	全域	約 80 万	約 76 万	754,437	776,752	412,407	807,572	138,838	807,572
秋田県	全域	約 60 万	約 66 万	532,233	671,015	0	669,414	0	669,414
宮城県	全域	約 140 万	約 138 万	1,388,379	1,434,209	1,255,427	1,467,506	912,780	1,538,022
山形県	ほぼ全域	約 40 万	約 50 万	452,357	519,943	0	529,774	0	529,774
福島県	中通り、浜通りの一部	約 30 万	約 24 万	192,806	363,770	105,065	369,121	43,824	369,573
新潟県	十日町市、津南町の一部	なし	なし	81	1,313	0	1,313	0	1,313
合計		約 440 万	約 444 万	4,113,460	4,657,039	1,782,250	4,758,988	1,099,241	4,832,632

緊急情報	緊急情報
<p>地震による状況について<第1報></p> <p style="text-align: right;">平成23年 3月11日</p> <p>先ほど発生した地震による状況についてお知らせいたします。</p> <p>◎女川原子力発電所 1号機、2号機、3号機全て自動停止 ※1～3号機の自動停止は、地震発生の際の安全確保策として設計どおり停止したものです。</p> <p>◎東通原子力発電所 1号機 定期検査停止中</p> <p>その他、停電等の状況については、現在確認中です。</p> <p style="text-align: center;">以上</p>	<p>地震に伴う停電等の状況について<第2報></p> <p style="text-align: right;">平成23年 3月11日</p> <p>14時46分に発生した地震に伴い、当社管内の広い範囲において停電が発生しております。</p> <p><停電の状況>(15時15分現在) 青森県、岩手県、秋田県:全域で停電 宮城県、山形県:ほぼ全域で停電 福島県、新潟県:一部地域で停電 ※詳細については確認中です。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

図 1.10 東北地方太平洋沖地震に伴う停電広報（東北電力ホームページより）

緊急情報

地震発生による停電等の影響について(16時現在)

平成23年 3月1日

本日、14時46分に三陸沖を震源とする震度7の地震が発生しました。当社は、非常災害対策本部を設置し、対応にあたっております。地震による停電等の影響については、以下の通りです。

1. 当社管内での停電発生状況

16時現在、当社管内の広い範囲で、約440万戸が停電しているものと推計しております。詳細については、現在、調査中です。

<当社管内各県の状況>

青森県内 全域で停電
岩手県内 全域で停電
秋田県内 全域で停電
宮城県内 ほぼ全域で停電
山形県内 ほぼ全域で停電
福島県内 一部地域で停電
新潟県内 停電なし

※上記停電戸数については、今後の調査により変動する可能性があります。

2. 当社発電所・設備の被害状況等

(1)原子力発電所

<女川原子力発電所(宮城県女川町、石巻市)>

1号機 自動停止
2号機 自動停止
3号機 自動停止

※ 1~3号機の自動停止については、地震発生の際の安全確保策として設計どおり停止したものです。

※ 被害の詳細については、調査中です。

<東通原子力発電所(青森県東通村)>

1号機 定期検査停止中

(2)その他の設備

<火力発電所>

八戸火力発電所 3号機 自動停止

能代火力発電所 1号機 自動停止

2号機 自動停止

秋田火力発電所 2号機 自動停止

3号機 自動停止

4号機 自動停止

仙台火力発電所 4号機 自動停止

新仙台火力発電所1号機 停止中

2号機 自動停止

原町火力発電所 1号機 手動停止

2号機 停止中

<水力発電所>

調査中

<送電設備>

調査中

<変電設備>

調査中

<配電設備>

調査中

以上

※お願い

・感電の危険があるため、くわくも切れた電線には近づいたり、触れたりしないでください。

・漏電による火災防止のため、自宅を離れる際には、分電盤のブレーカーを下げ

て外出してください。

・外出から戻られた際には、家屋の状況を確認したうえでブレーカーを上げていた

たき、電気がつかない場合は東北電力コールセンター(0120-175-366)まで

ご連絡をお願いいたします。

緊急情報

地震発生による停電等の影響について(17時現在)

平成23年 3月1日

本日、14時46分に三陸沖を震源とする震度7の地震が発生しました。当社は、非常災害対策本部を設置し、対応にあたっております。地震による停電等の影響については、以下の通りです。

(16時現在報からの変更点は下線部です)

1. 当社管内での停電発生状況

17時現在、当社管内の広い範囲で、約440万戸が停電しているものと推計しております。詳細については、現在、調査中です。

<当社管内各県の状況>

青森県内 全域で停電(約90万戸)

岩手県内 全域で停電(約80万戸)

秋田県内 全域で停電(約60万戸)

宮城県内 ほぼ全域で停電(約140万戸)

山形県内 ほぼ全域で停電(約40万戸)

福島県内 一部地域で停電(約30万戸)

新潟県内 停電なし

※上記停電戸数については、今後の調査により変動する可能性があります。

2. 当社発電所・設備の被害状況等

(1)原子力発電所

<女川原子力発電所(宮城県女川町、石巻市)>

1号機 自動停止

2号機 自動停止

3号機 自動停止

※ 1~3号機の自動停止については、地震発生の際の安全確保策として設計どおり停止したものです。

※ 1号機タービン建屋内において煙の発生が確認されておりますが、詳細については現在確認中です。

※ 被害の詳細については、調査中です。

<東通原子力発電所(青森県東通村)>

1号機 定期検査停止中

(2)その他の設備

<火力発電所>

八戸火力発電所 3号機 自動停止

能代火力発電所 1、2号機 自動停止

秋田火力発電所 2~4号機 自動停止

仙台火力発電所 4号機 自動停止

新仙台火力発電所1号機 停止中

2号機 自動停止

原町火力発電所 1号機 手動停止

2号機 停止中

荻根田地熱発電所1、2号機 自動停止

上の岱地熱発電所1号機 停止中

湯川地熱発電所 1号機 自動停止

<水力発電所>

調査中

<送電設備>

調査中

<変電設備>

調査中

<配電設備>

調査中

以上

※お願い

感電事故および漏電火災などの二次災害防止の観点から、注意をお呼びかけ

いただきますようお願いいたします。

・感電の危険があるため、くわくも切れた電線には近づいたり、触れたりしないで

ください。

・漏電による火災防止のため、自宅を離れる際には、分電盤のブレーカーを下げ

て外出してください。

・外出から戻られた際には、家屋の状況を確認したうえでブレーカーを上げていた

たき、電気がつかない場合は東北電力コールセンター(0120-175-366)まで

ご連絡をお願いいたします。

2. コミュニティ・エフエム局ヒアリング調査

災害時、地域密着の生活情報などを被災者に届けるチャンネルとして、コミュニティ FM 放送局（以降 cFM と略記）が注目されている。東日本大震災で災害情報伝達に cFM がどのように関与し活躍したのかの実態を知るため、現地で聞き取り調査を行った。3.11 当時オンエア中だった仙台市泉区内、仙台市太白区内、塩竈市内、そして被災後に臨時災害放送局として新たに立ち上った南三陸町内の宮城県内計 4 局のヒアリング調査結果を示し、cFM の果たした役割や今後の課題を考察した。調査した局の概要一覧を表 2.1 に示す。

表 2.1 コミュニティ・エフエム放送局と調査の概要

会社名	せんだい泉エフエム放送株式会社	エフエムたいはく株式会社	エフエムベイエリア株式会社	南三陸町(みなみさんりくさいがいエフエム)
愛称	fmいずみ	エフエムたいはく	BAYWAVE(ベイウェーブ)	FM みなさん
調査協力者	阿部清人事業部長	野田紀子代表取締役	横田善光専務取締役	木南孝幸氏
調査日時	2011年7月8日 9:15~10:15	2011年7月8日 15:50~17:30	2011年7月9日 9:15~10:30	2011年7月9日 13:15~13:30
調査メンバー (50音順)	天野(篤)、国崎、中村(功)、中村(信)、中森、萩原、水上	天野(篤)、国崎、中村(功)、中村(信)、中森、萩原、藤吉、三島、水上	天野(篤)、天野(教)、中村(功)、中村(信)、中森、萩原、藤吉、水上	天野(篤)、天野(教)、萩原、藤吉、水上
コールサイン	JOZZ2AP-FM	JOZZ2AY-FM	JOZZ2AF-FM(注1)	JOY22AI-FM
周波数	79.7MHz	78.9MHz	78.1MHz	80.7MHz
送信出力	20W	20W	10W(注2)	10W(調査時は30W)
開局	2000年3月10日	2007年9月29日	1997年4月27日	2011年5月17日
本社・演奏所	宮城県仙台市泉区泉中央一丁目7-1	宮城県仙台市太白区長町3-9-10	宮城県塩竈市尾島町27-22(調査時は塩竈市役所に臨時演奏所)	宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56(南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」)
送信所	宮城県仙台市泉区将監10-1-122	宮城県仙台市太白区長町5-3-2(「たいはつくる」屋上)	宮城県塩竈市赤坂1-1恵クレール塩竈赤坂ヒルズ(調査時は市役所屋上にアンテナ仮設)	宮城県本吉郡南三陸町戸倉字波伝谷213(調査時は演奏所と同じ)
中継局	なし	なし	なし	なし
種別	常設のまま	常設のまま	常設→臨時	臨時
出資者	仙台市泉区を中心とした商工業者、個人約60名	民間資本	自治体(塩竈市4%、松島町2%)及び民間資本(出資者40名位)の第3セクター	町営
放送エリア人口	約330千人	約500千人	約19千世帯	2013年3月31日廃止

注1：しおがまさいがいエフエムとしては JOY22T-FM

注2：調査時点は臨時災害放送局として 100W で運用中

注3：臨時災害放送局は、放送法第8条に規定する「臨時かつ一時の目的のための放送」(臨時目的放送)のうち、「暴風、豪雨、洪水、地震、大規模な火事その他による災害が発生した場合に、その被害を軽減するために役立つこと」を目的とする放送を行う放送局。口頭による申請により、即座に免許の付与と周波数の割当が行われる。ただし、コミュニティ放送局(cFM)がある市町村に関しては基本的にcFM設備を使って実施されるため、臨時中継局の開局や空中線電力の臨時増力を申請することになる。(出典：Wikipedia「臨時災害放送局」)

2.1. fmいずみ

2.1.1. 地震発生直後

2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震により、仙台市泉区は震度6弱の揺れに見舞われた。泉中央駅ビルに本社サテライトスタジオ



オがある「f mいずみ」では、そのとき女性パーソナリティが一人で音楽番組を生放送中だった(図 2.1)。盛土地盤や建物の関係から震度 7 かと思うような激しい揺れを感じ、パーソナリティは声が出なかった。事務室にいた阿部清人事業部長がヘルメットをかぶってすぐにスタジオに入り、用意していた定型文を繰り返し読み上げ「強い揺れは 1 分で収まる」と安心感を与える放送をした。



図 2.1 fmいずみ 本社サテライトスタジオ

しかし、まだ揺れている最中の 2~3 分で停電、非常照明が点かず、窓もないので真っ暗になった。入居するビルの非常ベルが鳴り響いた。UPS(無停電電源装置)でミキサーなど主な放送機器は少しの間動いたが、壁に固定していたマスターが倒れ、同録用の PC などの器材が故障した(図 2.2)。送信所の商用電源も落ち、UPS も古くなっていたので、14 時 50 分から 15 時の間に無変調ではなく完全に停波した。送信所までの通信回線(NTT 専用線)もおそらく切れた。



図 2.2 fmいずみ局内の被害状況(マスターが倒れた)
※ 図 2.2~2.10 は、いずれもfmいずみ阿部氏提供

15 時前、建物やペデストリアンデッキが危険だとの指示を受け、スタッフは全員退去し、ビルは閉鎖された。ちなみにビルのテナントは当時いっぱいだったが、この被害経験でだいぶ引越していった。

2.1.2. 当日のそれから

阿部氏はその後、災害時の放送協定を結んでいる NHK 仙台放送局に向かった。この協定は、災害対策本部が立ち上がる事態に際して、cFM が NHK の番組(ニュース情報)を使える、cFM も NHK の求めに応じて協力するといったもので、NTT の電話会議システムで曜日ごとに日頃から放送する訓練を重ねていた。

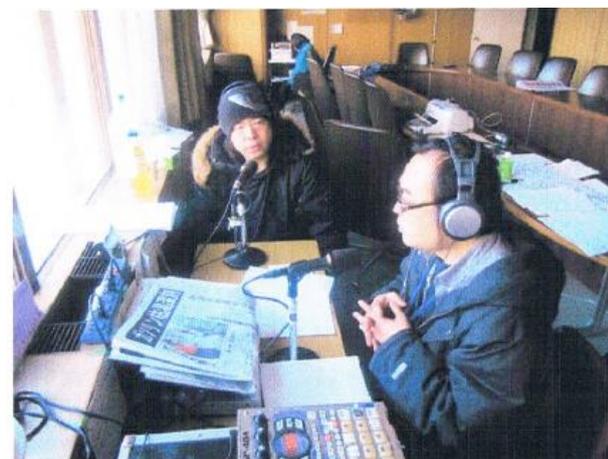


図 2.3 泉区役所に設けた臨時演奏所(右が阿部氏)

訪れた NHK は、電気が灯り室内の散乱もなかった。そして阿部氏は、3 月 11 日 16 時 30 分から 12 日 1 時すぎにかけて、NHK ラジオ第 1 に「防災士の…」という肩書紹介で出演した。泉中央から NHK に来る途中に目にした道路の橋の段差などの光景を話した。通電火災を

防ぐため、避難の際にはブレーカーを落とすなどのアドバイスも。多くの人びとが避難していたが、外は雪が降り寒かったので、体温を保つのにカーテンや新聞紙で暖をとれると呼びかけた。真っ暗で心細い思いをしている人たちには「明けない夜はない、日の出時刻は 5 時 54 分」と語りかけた。津波による多賀城の孤立、歩道橋に 5 人が取り残されている、荒浜で 200～300 人の犠牲者、などの被災情報が入ってきた。 → 4.2. (p.80) 参照

2.1.3. 放送の再開

翌朝 8 時、スタッフが集まり復旧に向けた作業に着手した。演奏所のあるビルは上層階ほど壁や天井が傷み、スプリンクラーの配管が破損して天井から漏れ出した水でそこら中水浸しだった。そこから使える放送機材を持ち出し、倉庫とラジオカーから無線機、中継機材をかき集め、発動機で送信所を復旧した。

そして 3 月 12 日 13 時、泉区役所 3F 会議室の仮設スタジオから緊急放送を再開した (図 2.3)。窓からアンテナを出し、送信所に向けて送信した。停電が 3 日間続いたため、コピー用紙を使って手書きで「災害情報 FM 79.7MHz 放送中」という貼り紙を 100 枚ほど電柱に貼り付け、ラジオが聴けることを知らせた (図 2.4)。

3 月 12 日から 22 日までは区役所で、さらに 23 日から 31 日まではみやぎ仙台商工会に移り、毎日 10～17 時に放送した。2～3 ヶ月間使ってもよいとのことだったが、4 月 1 日から元の駅ビルが使えるとの連絡を受け、戻って 24 時間放送を再開した。幸いマスターは無事で、PC に素材が入れてあった CM も流せるようになった。

なお、仙台市内には cFM が全部で 3 局あったが、いずれも「臨時災害放送局」にはならなかった。

2.1.4. 放送内容

仙台市泉区周辺は、地震 (主に 3 月 11 日本震と 4 月 7 日最大余震) により、電気、



図 2.4 災害情報を 79.7MHz で放送中と知らせる貼り紙



図 2.5 泉区役所前の救援物資集積所

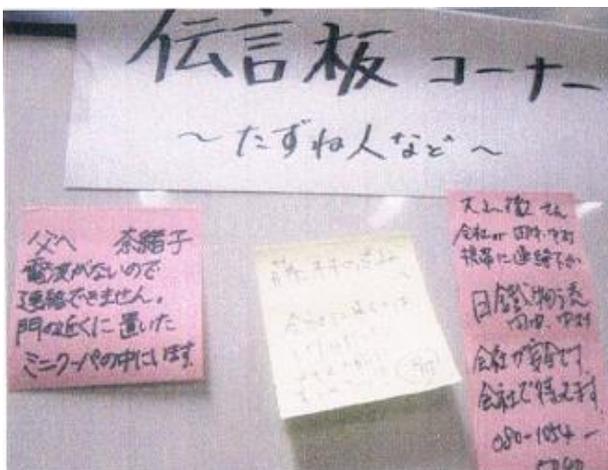


図 2.6 安否情報もまちで取材して回り流した

電話、水道、ガス、道路（斜面崩壊）、宅地（造成地盤の変動）、交通などに被害が発生し、多数の住民が避難した。大量の被害を生じたところはマスメディアで報じられるが、泉区内のように数世帯ずつだとあまり注目されなかった。

3月12日の放送再開第一声は、泉の現状。区役所は情報収集で手いっぱいなので“自助・共助・公助”のうち“共助”が重要だと伝えた。支援物資の集積所が目の前にあり、「明治乳業のパック入りの飲料が届いた」「〇〇県から物資が届いた」と、リスナーに安心してもらえるようにリアルタイムでその様子を伝えた(図2.5)。“被害情報”もだが、今後に向けて何か動きがあるという“安心情報”を伝えるのが大事だと思い、停電復旧地区の推移なども鋭意流した。それで安心したという声があった。

ほとんど取材手段がない中、情報をどうやって集めるかに苦心した。協力者を集めることも考えたが、連絡をとる手段がなかった。ニュースソースはアナログな紙媒体が基本だった(図2.6)。貼り紙が最も有効な手段で、こういう時は貼る場所を街中に作るべきだと思った。スタッフが足で稼いだ生活情報、災害対策本部などからの公的情報、インターネットやメールで得た情報(3月13日からモバイルでネットにつながった)を流した。

【生活情報】

スタッフが市民目線で泉区周辺を歩き、食糧が手に入るところ、開いている店の情報などを流した(図2.7)。例えば、居酒屋の冷蔵貯蔵食材の供出(ちょうど歓送迎会の時期だった)、弁当屋の臨時営業、風呂に入れる施設、理・美容室で洗髪しているところなど。当初、店の前の貼り紙を写メールしスタジオで書きとって放送していたら、そのうち地域からメールで営業情報などが寄せられてきた。牛乳、お米、納豆など、どこの店で何を売っているのかの情報を出した。



図 2.7 まちに出て拾った生活情報



図 2.8 泉区にある仙台市立七北田小学校の避難所



図 2.9 避難所での水の配給

【避難所情報】

近所の避難所の様子を伝えた（図 2.8）。主に取材したのは千人収容の七北田小学校体育館で、ひとり一日水 125 ミリリットル、ごはん紙コップ半分、バナナ 1 本という配給だった（図 2.9）。年間を通じて地域と学校とが協力しあっているため、混乱は起きなかった。3月13日（日）夕方、電気が点いた瞬間には拍手が湧きあがった。マンションが多い地区で、多くの避難者が帰宅した。



図 2.10 救援物資配給に並ぶ長蛇の列

残る避難者はのちに隣の七北田中学校に移動して、小学校で卒業式が行われた。式を録音してオンエアしたが、校長先生は「自然との共存をみんなで考えないと…」と話していた。

余談だが、避難所の食事状況には偏りがあった（学校側が運営している避難所は公平性を期していたが、自治会が運営していたところは近所の持ち寄りなどで炊き出しがなされていた）。避難所の運営は3日目あたりに学校から自治会に移行されるのが理想で、学校が自治会と協議会を設けてお願いした事例があった。この時期を越すと自治会が運営を嫌がる傾向があり、タイミングが大切とのことだった。

【公的情報】

災害放送協定に基づく要請に応じ、災害対策本部の情報を24時間放送した。ファクスで届く災害対策本部報から被害規模、避難所別避難者数など。そして5名ほどのスタッフで区役所、避難所やまちなかを取材して、例えば、待ち時間（場所によっては2時間）を加味した給水車情報（いつどこに並ぶとすぐ手に入りやすいか）やおむつの入手先などをきめ細かく放送した（図 2.10）。

2.1.5. ITの活用

阿部氏は「とにかく連絡が取れなかったのが想定外だった」という。当初は電気も電話もすべて途絶え、スタッフ個人のイーモバイル回線だけが使えた。局のメールが復旧するには3~4日要したが、主だったウェブサイトにはすぐつながり、2日目からツイッターやブログ（excite）のコメント欄でやりとりをした（図 2.11~2.12）。なお、リスナーからは、かつてのハガキに替わり、ファクス→メール or ウェブで寄せられるのが普通。また cFM では、サッカー「ベガルタ仙台」の全試合中継に人気がある程度で、日頃、リスナーの反応が薄いのが現実だという。しかし、震災時の反応は違よかった。

気象庁（台）の情報は、一般向けにネットで提供されるページを普段から用いている。ID、PW に入る専用ページへもアクセスできるが、むしろわかりにくい。緊急地震速報は、契約している NTT の端末で届いたが、伝えられなかった。大津波警報など津波に関する情報は、NHK ラジオ第1をつけておいて、放送再開後、それに基づき流した。

なお、この間の災害放送に対し、費用的な援助はなかった。

以上のように、fmいずみは、大地震に見舞われ自らも被災し、初動の緊急放送こそできなかったが、地元自治体や地域の協力を得て1日を経ずして放送再開にこぎつけた。そして住民の暮らしのニーズに密着した内容を逐次伝えた。被災地では停電でテレビが視られず、ラジオが頼りの情報源だったので、早期に復旧し身近な情報を流し続けた意義は大きい。避難所や遠方から通うスタッフも居た中、持ち前の社会貢献マインドと、地域に根ざした民間cFMならではの取り組みがみられた。

なお阿部氏のご親切に、深謝申し上げます。

fmいずみ 79.7MHz ブログ
fm797.exblog.jp
トップ | ログイン



情報提供お待ちしています。

只今、泉区役所より緊急放送中です。電話、fax、メールはまだ復旧していませんので情報提供こちらのブログにてお待ちしております。

by fm797izumi | 2011-03-13 12:47 | [Trackback](#) | [Comments\(20\)](#)

トラックバックURL: <http://fm797.exblog.jp/trackback/>
トラックバックする(会員専用) [ヘルプ]

Commented by 半平太くん at 2011-03-13 14:00 x

臨時で泉区役所からの生放送なんですか、fmいずみも被害が甚大と言う事で...それにしても東日本大震災本日に今までに経験した事のないような地震でしたよね、揺れも長く続き本当に恐怖の瞬間でした。

因みに自分のところは幸い家の中の物は散らしてませんが家族も無事なのでこれで良しとせねば、あとは近所の人達と普段以上に助け合って何とか乗り切っていきたいですが、ただ、まだ連絡のつかない友達がいるので不安です...そしてfmいずみのパーソナリティ・スタッフの皆さんは全員大丈夫なんですか? ?。

Commented by エスエスシー at 2011-03-13 14:13 x

語学ボランティアのご案内です。

交通事情、不要トラブルを回避するべく、今は現地には赴かず、mixi、facebook、Twitter、ブログ使って、被災し日本語に苦労している外国人の方々にサポートします。
【現時点でのまとめ】

ボランティア100名程度が待機中

1対応可能語学

英語、中国語(北京、広東、上海、台湾)、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、フランス語、マレー語、タイ語、インドネシア語

ポルトガル語、ロシア語、タガログ語、スロベニア語、アラビア語、トルコ語、チェコ・スロバキア語、フィンランド語

2海外医療看護士経験者 2名

mixi「大地震ネットワーク」コミュニティでご確認願います。

Commented by 根岸和昭 at 2011-03-13 15:06 x

すいません。
泉区鶴ヶ丘に一人暮らししていた「国分カツ子」の安否が不明です。携帯は所有してあらず、どこに避難しているかも不明です。
何か情報ありましたら教えていただけませんか?

axis2410@gmail.com
までお願いします。

Commented by 了解しました at 2011-03-13 15:20 x

>根岸さま
早速放送しました。何度も定期的にアナウンスします。
fmいずみ

Commented by 荒木(東京在住) at 2011-03-13 15:40 x

泉区得志に祖父と両親がいますが、生存の連絡はありましたが、その後一切の連絡がとれません。
少しでも現地の状況を伺いたのですが、東京からFMいずみを聞く方法はありませんか?
宜しくお願いします。

Commented by fm797izumi at 2011-03-13 15:50

>荒木さま
残念ながら東京では聴くことができません。
もう少し詳細分かりましたら教えてください。
アナウンスして情報入りしたら、コメント入れます。

Commented at 2011-03-13 16:00 x

ブログの持ち主だけが見える非公開コメントです。

Commented at 2011-03-13 16:07 x

ブログの持ち主だけが見える非公開コメントです。

Commented by fm797izumi at 2011-03-13 17:56

今日は電力の関係で放送終了いたしました。
生存確認は、明日必ず放送します。情報入りしたら、必ずコメント入れます。

Commented by HIROMI at 2011-03-13 18:53 x

上谷川の町内会の会長としております小坂金雄と連絡が取れません。
どなたか安否をご存じないでしょうか。

Commented by fm797izumi at 2011-03-13 20:04

荒木さま
スタッフ目視確認情報。
泉中央、待望殿、七北田の一部、高玉、泉ヶ丘、八乙女の一部の電気が回復してました。

Commented by 根岸和昭 at 2011-03-13 20:14 x

fmいずみ様
放送ありがとうございます。

先ほど、安否確認の連絡が入りました。無事わかり少し安心しました。
まだまだ、大変な事態が続きますが我々にできることがあればさせていただきます。

この度はありがとうございました。

Commented by 荒木 at 2011-03-13 23:20 x

スタッフのみなさん、ありがとうございます。
将監は通電したみたいで、携帯から電話が先ほどきました。
本当にありがとうございます。

ただ、金曜の夜からまったく水分が取れないとの事でした。
年記者だけの家には給水に並ぶのも困難みたいで...
早く配給がつかって欲しいです。

Commented by 田中 at 2011-03-13 23:33 x

富谷町日吉台の、田中ひとみです。
開上在住の
ヒダチキヨミさん
ヒダチアスカちゃん
をご存知の方がいらっしゃいましたら、
080 3328 9883までご連絡下さい。

よろしくお願ひします

Commented by イリザワ at 2011-03-14 03:40 x

どなたか、多賀城市高崎(実家)の、シダ ユウコさんをご存じの方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。もしかするとご結婚されて苗字は旧姓、住所もご実家の住所かもしれません。オーストラリアのビクターハーバーの友人、トリッシュさんが懐いています。私はトリッシュさんの友人で代わりに、日本語で探しています。
連絡先: kaana-rose.17854@ezweb.ne.jp

Commented by anesan at 2011-03-14 09:49 x

レッドゾーンパーソナリティの小原健一さんと以前一緒にレース組していました。
連絡が取れず心配しています。安否情報があれば教えてください。

Commented by fm797izumi at 2011-03-14 10:37

安否確認の皆様、只今情報を整理して随時放送いたします。
情報入りしたら随時お知らせします。以後情報はメールにてお願ひします。

Commented by fm797izumi at 2011-03-14 12:56

>anesanさま
14日13時頃にレッドゾーン担当の小原さんと連絡取れて無事を確認しました。
ご心配おかけましたが家族全員大丈夫ですとのことでした。

Commented by anesan at 2011-03-14 13:17 x

ありがとうございました。関係者伝えます。

名前:

URL:

非公開コメント

図 2.11 fmいずみのブログ (<http://fm797.exblog.jp/>)

- 22 -



fmizumi
@fmizumi

宮城県仙台市泉区泉中央
ラジオ放送局のfmizumiです。宮城県仙台市泉区。スタジオは地下鉄泉中央駅ビル3F。J-ウェーブ仙台のホーム・ユアテックスタジアム徒歩5分。周波数79.7MHz。HPから生放送の映像を見ることができますよ。このツイッターは番組パーソナリティが担当します！フォローよろしくお願いします。
<http://fm797.co.jp>

フォローする

ツイート

お気に入り フォロー フォロー リスト

している ▾ されている



fmizumi fmizumi
仙台市泉区七北田字八乙女で、民家の西側のり面・擁壁が、10m四方にわたり崩れました。震災による亀裂で、雨対策としてブルーシートがはられていた場所です。これまでは大丈夫だった場所でも、危険箇所のチェックを。
5月30日



fmizumi fmizumi
仙台市内では、複数の箇所で道路の冠水、家屋への床下浸水が出ています。卸町団地一帯では、歩道まで冠水しているところがあるという



fmizumi fmizumi
情報訂正 > 泉中央セルパ本日4/13(水)13時から無事に全館営業しました。明日4/14(木)は10～19時まで営業致します。
4月13日



fmizumi fmizumi
4/18(土)に再開する仙台市天文台にて14時からソプラノ・フルート・ピアノの女性3名の「リマー-じゅ」によるコンサートを入場無料で開催します。
4月13日



fmizumi fmizumi
仙台市天文台4/18(土)9時より再開決定しました！、展示室、プラネタリウムなどは通常通り利用OK。大型望遠鏡は当面利用できません。
4月13日



fmizumi fmizumi
泉パークタウンスタジオは、4月29日(金・祝)10時、一部店舗・サービスを除いて営業再開決定！！
4月12日



fmizumi fmizumi
泉中央のセルパさんは明日4/10(日)より、1F食彩館と、2Fカプリチオーザのみ営業を再開することとなりました。
4月9日



fmizumi fmizumi
4/9(土)fmizumiのスタジオがある地下鉄泉中央駅ビル「スウィング」は4/7地震の影響により全館休業です。
4月9日



fmizumi fmizumi
泉区役所からお知らせ泉区内の非難状況ですが、七北田体育館44人(4/9現在)です。4/7の地震の影響で今後避難者が増えるかもしれないとのこと。
4月9日



fmizumi fmizumi
本日4/9(土)も一昨日の余震の影響により、通常のタイムテーブルを変更してお届けいたします。サタドラは休止、J-WAVEの番組は休止、その他は収録番組は一部を除いて休止となります。
4月9日



fmizumi fmizumi
昨日の余震の影響でベガルタ情報番組「ベガバラ」をはじめ放送を予定していました番組が休止となってしまいました。楽しみにしていました皆様大変すみません。一日も早い復旧するように致しますので今しばらくお待ちください。
4月8日



fmizumi fmizumi
セルパさん4/9(土)の全館オープンが予定でしたが余震の影響で休業となりました。4/10(日)は1Fの食彩館が営業予定です。
4月8日



fmizumi fmizumi
停電中ですが、発電機で放送中です！ 情報提供は、メールにてお待ちしております。
4月8日



fmizumi fmizumi
泉中央のセルパ全館営業再開します！ ■4/9(土) 10時～18時 1階食彩館および2階一部店舗 部分営業 12時～18時 2～5階 全館営業再開 ■4/10(日)以降、当面 10時～18時 全館営業
4月7日



fmizumi fmizumi
本日12時から19日TBSラジオで生放送した「サンドウィッチマン 今、俺たちができること、みんなができること」を放送。被災地から東京に買ったサンドが、皆様からの被災地へ向けた応援メッセージを募集。震災にあわれた方に私たちは今、何が出来るのか？サンドと一緒に考えましょう！
3月22日



fmizumi fmizumi
Fw:Fwd: 東京:ラジオ番組電話インタビュー 15時台に俳優渡辺謙さんから届いた被災地の方を勇気づける詩の朗読を放送します。詩は宮沢賢二作「雨にも負けず、風にも負けず」です。是非お聴き下さい。
3月17日



fmizumi fmizumi
3月14日(月)本日も引き続き10時から泉区災害対策本部がある泉区役所3Fに設置したfmizumi災害情報スタジオから17時までFM79.7mhzより放送します。
3月14日



fmizumi fmizumi
無料バスの運行 運行区間 地下鉄泉中央駅 <> 台原駅(直通 途中無停車) 運行時間 6:30～20:30までの30分間隔(朝夕は増便対応) 運行期間 地下鉄台原駅から泉中央駅までの運行を再開するまで。 #izumi
3月14日



fmizumi fmizumi
「仙台市地下鉄南北線」情報 運行ダイヤ 南行(台原駅発) 5:42～23:50 概ね8分間隔 北行(富沢駅発) 5:35～23:47 概ね8分間隔 #izumi
3月14日



fmizumi fmizumi
仙台市地下鉄南北線情報 3月14日(月)始発から運行を部分再開しました。運行区間 富沢駅～台原駅の折り返し運転。(台原駅～泉中央駅は運行見合わせのため無料バスの運行を実施します) #izumi
3月14日



fmizumi fmizumi
続報。仙台市水道局より、14日(月)お昼頃まで給水開始する場所です。桂小、七北田小、虹の丘小、長命ヶ丘小、将監小、向陽台小、泉区役所、住吉台小、館中、黒松小、寺岡中。 #izumi
3月14日



fmizumi fmizumi
仙台市水道局より、14日(月)7時頃から給水開始する場所です。将監中央小、南光台小、高森小。 #izumi
3月14日



fmizumi fmizumi
泉区の花は「すいせん」です。風雪に耐え春一番に花を開く花。泉区の発展、希望を表わしています。東日本大震災の被害を力あわせて乗り越えて、春一番にすいせんの花を咲かせましょう！
3月13日



fmizumi fmizumi
3月13日本日17時まで泉区役所からの緊急放送しました。限られ電力なかなか出来るだけ放送しています。明日も10時から放送予定です #izumi
3月13日



fmizumi fmizumi
泉中央ビルスウィングにお動めの皆様へ。13日も館内には、入れませんでした。いつは入れれか分りましたら速報いたします。
3月13日



fmizumi fmizumi
15時から30分仙台市泉区の情報中心にお届けしています。情報求む
3月13日



fmizumi fmizumi
fmizumiは只今泉区役所より緊急放送しています。何か情報提供お待ちしています。
3月13日



fmizumi fmizumi
新年、明けましておめでとうございます！ 今年最初のサタデードライブマーケットはこの午後二時から～お相手はバズーカ安田です♪
3月13日

図 2.12 fmizumiの Twitter (<http://twitter.com/#!/fmizumi>)

2.2. エフエムたいはく

2.2.1. 地震発生直後

仙台市太白区にある「エフエムたいはく」は、「地域に身近な、地域が主役の放送局」「みなさんが笑顔になれる放送局」「防災・減災に役立つ放送局」をコンセプトとしている（図 2.13～2.14）。話をうかがった野田社長は2代目。仙台市や太白区との資本関係はない。ちなみに近傍の例では、宮城県岩沼市の「エフエム岩沼」は市の出資が49%あり、毎日市長が出演する番組があるそうだ。



2011年3月11日の地震発生直後、あたりは停電した。そのとき野田社長は近くの長町商店街で経営している電気屋の方にいた。すぐにエフエムたいはくに戻り、生放送中だったので自ら「皆さん大丈夫ですか」と呼びかける放送を行った。災害時の放送マニュアルは作っていなかった。20～30分ほどで非常用電源が切れてしまい停波した。その後はワンセグで情報収集にあたり、途方もない巨大災害だと認識した。翌12日も停波したまま手が打てなかった。よって、地震発生当初は、ほとんどリスナーの役に立てなかった。

2.2.2. 放送再開まで

3月13日に東北電力南営業所に行き、エフエムたいはくのある地区と放送アンテナが立っている高層マンションのある地区の電気の復旧を急いでほしいと要請した。しかし、個別対応はできないとの理由で断られた。あとから分かったことだが、放送アンテナが立っている高層マンションは予備電源を備えており、1日半ほど電源が生きていた。

14日には太白区役所に赴き、仙台市の情報をどのように入手すればいいか相談した。しかし、区役所も混乱状態で「区からは出せない。仙台市の災害対策本部のホームページで確認してほしい」という返事だった。区役所の電気は復旧していたが、エフエムたいはくの地区はまだだったので、ホームページの閲覧はできなかった。

15日午前、スタジオの電気が復旧した。放送アンテナのある地区はまだ停電中のため放送再開できなかった。アンテナの状況確認のため30階分を階段で上った。外見上無事なことは確認できた。

同日夕方、ようやく放送アンテナの電気も復旧した。電源の回復にともないミュージックバード（東京 FM グループの音楽専門ラジオ）からの音楽が自動復帰して流れてきた。アンテナの状態を確かめに30階の屋上にもう1回上がり、大丈夫だろうと判断した。夜に停波のお詫び放送を行い、16日から災害特別放送を開始すること告げて、あとはヒーリング的な音楽を流した。

16日の震災発生時刻に近い14時から本格的に放送再開し、災害特別放送を行った。3.11の震災発生から5日間停波していたことになる。

2.2.3. 放送内容

3月16日の放送開始までに、仙台市災害対策本部や气象台、宮城県広報課のホームページで収集した



図 2.13 エフエムたいはくの外観

情報を整理し、それを題材に生放送した。安否情報、避難所情報、生活情報が中心だった。この放送は同録して、生放送の合間に 30 分間の情報コーナーとして流すスタイルとした。夜の 11 時まで生放送、それ以降はミュージックバードを活用した。聞く人がほっとするように選曲には気を遣い、エフエム局らしく音楽を流し続ける努力をした。情報コーナーの内容は毎日更新した。3 月末までこのスタイルを続けた。ただ、エフエムたいはくには正規の社員はおらず十分なマンパワーがないため、放送できる情報量には限界があった。規模が小さい cFM として、量をこなすより継続的に行うことが重要だと考え、できる範囲で情報提供を続ける努力をした。この点は、放送局の規模で役割が異なると割り切った。

エフエムたいはくがカバーするエリアは、仙台市内の太白区、若林区、宮城野区などのほか、隣接する名取市、岩沼市と、多賀城市の一部まで聴ける。被災者のためにできるだけ情報提供をしたいという思いから、17 日に、以前からエフエムたいはくと関係を持ちたいと打診のあった名取市役所を訪ね、情報提供を申し入れた。名取市はありがたいと歓迎してくれ、情報提供してくるようになった。夜ファクスを送信してもらい、その内容を生で放送、それを録音しておいて後で繰り返し流すというスタイルとした。ちなみに名取市は、その後 4 月 7 日に臨時災害放送局を新規開局した。

宮城県はメールでさまざまな情報提供をしてくれた。生活情報や空いている温泉などの情報もあった。県は積極的に情報提供しようとする姿勢があったが、仙台市は逆で「必要なら自分で取りに來い」という情報提供のスタンスだった。つまり、地元の行政とのつながりが弱いところがエフエムたいはくの課題だった。

リスナーからの情報提供は、普段はメールとファクス、

最近ではメールがほとんどになった。平時はラジオネームだが、災害時には名前と住所の明記をお願いした。もっとも多いのは安否を問い合わせるもの。「おかげさまで見つかりました」というお礼ハガキも来た。スタジオに情報提供や報告のために訪ねてくる人もいた。

また、野田社長の出身地である兵庫県姫路市からは、多くの応援や支援物資が入り、随時活動内容（若林区に 4 人の保健師が入っている、物資の提供がき



図 2.14 エフエムたいはくの入口脇に掲げられた張り紙

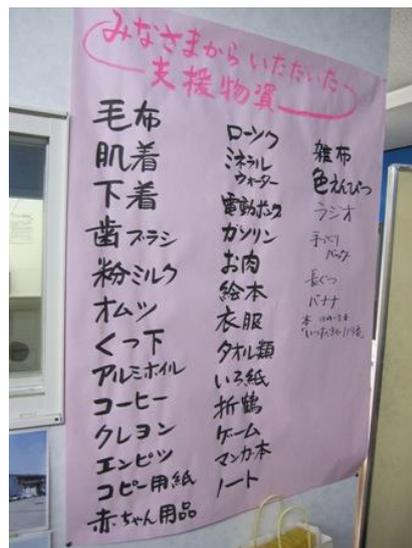


図 2.15 これまでエフエムたいはくに寄せられた支援物資のリスト



図 2.16 エフエムたいはくのスタッフがボランティアに入った南三陸町の写真

ている、仕事や住居の提供の申し出があるなど）を紹介した（図 2.15）。姫路市の危機管理課と電話をつなぎ、応援メッセージを流したことも。姫路市は 3 月末で 1 億円以上の義援金を集めてくれるなど、支援に大変協力的でありがたかった。

このほか、社員ではないにも関わらずスタッフがまめに来てくれたのがありがたかった。仕事がなくなったり休みになったりしたということで、連日来てくれたパーソナリティもいた。週 2 回の契約スタッフも毎日来てくれた。災害時の放送にはしゃべり手や技術、情報係など最低 6 人のスタッフが必要。スタッフの協力のおかげで放送を続けられたと思っている。いちいち指示をしなくても、みながちゃんと動いてくれた。

そして、スタッフで宮城県南三陸町に支援に行った（図 2.16）。神戸の方の呼びかけで寄贈された 3 万枚を超える手作りのスクールバッグを支援物資として持参した。宮城県登米市、南三陸町の臨時災害放送局の立ち上げも支援した。

2.2.4. 震災時の放送を振り返って

震災時の放送を振り返ると、まず設備面の弱みが浮かび上がった。

- ① 停波経験から、非常電源は最低でも 3 日間必要と感じた。メンテナンスやコストの観点から、発電機のリース会社との契約を検討中。
- ② 警報などの緊急情報が来ない。緊急地震速報が放送に割り込むシステムには 100 万円単位のコストがかかるので、導入予定はない。

上記②に関しては、現在、(一財)マルチメディア振興センター（総務省）が「公共情報コモンズ」という災害情報などの流通基盤を運営しており、これに加わると、気象庁や地方自治体などからの緊急情報が無償で受け取れる。cFM もせんだい泉エフエム放送、エフエムベイエリアなど 47 局（2014 年 2 月時点）がすでに加入して利用中で、電源やネット回線が存続していることが前提になるが、ひとつの解決策になろう。

次に、震災に関する番組面の取り組みとして。

2011 年 7 月 2 日に東京の FM 世田谷の協力でエフエムたいはくの音声を全国放送する機会があり、市長のメッセージを流そうと思ったが、取り付けるのに大変苦労した。①生出演、②電話出演、③市まで行って録音と具体的に 3 つの方法を示して依頼したが最初は断られた。市長の判断か秘書課の判断かすらも判然としない。被災地の市長として情報発信すべきではないかと再度交渉し、ようやく「では録音しに来てください」ということになった。実は 5 月 11 日の震災特別放送の時も、市長の声がほしいと頼んだが断られた。東北随一の大都市で大手メディアも発達している中、行政とのつながりが無い小さな放送局の悩みだ。ちなみにこの震災特別放送は毎月 11 日にやっている。

さらに、野田社長自身が進行役を務める「3.11 から」という番組を企画した。7 月 6 日が第 1 回の放送。次回からはさまざまなゲストを呼んで、いろいろな話を聞いていきたい。誰でも呼べるタイトルだと思うので、何年かかけてやっていきたい。また、今年 9 月に設立 4 周年を迎えるので、3.11 と関連づけた震災特別番組を企画したいとの話だった。局のコンセプトどおり、みんなの街の防災・減災放送への積極姿勢が感じられた。

2.3. ベイウエーブ

2.3.1. 地震発生直後



ベイウエーブは、震災当時、海から 150m ほどの塩竈市尾島町にスタジオがあった(図 2.17)。これまでチリ地震津波でも豪雨でも浸水しなかった場所だが、今回は想定を越す津波で被災した。また、局に隣接して CATV 局(宮城ケーブルテレビ株式会社:愛称マリネット)があり、日頃から業務上の連携を行っていた。

3月11日、地震発生直前に緊急地震速報を伝える装置が鳴動した。当初は小さ目の震度が予告されていたが、揺れが始まるとともに装置から非常に大きい揺れに注意しろとアナウンスされた。放送中の B スタジオからリスナーに「地震に注意してほしい」と呼びかけようと思ったが、大きな揺れでできなかつた。本震の揺れの 10 秒程度で停電になり、3 分間ほど揺れていた。A スタジオには無停電装置があるが B スタジオにはなく、放送が中断した。

その後、CATV 局と共同で発電機による電源確保を試みた。消防関係者からは大津波警報発表による避難を命じられたが、続けて発電しようと努力した。再度消防関係者が「10メートルの津波が来るから避難しろ」と伝えてきたので、放送をなんとか継続しようとしたものの、人命を優先すべきだと判断して断念した。

自家用車で塩竈神社まで避難した。車載テレビで名取市、仙台空港の津波被害状況を確認、また避難者から塩竈市も大きく被災していると聞いた。すでに停波していたため、津波の襲来が落ち着いたら再度放送しようと思い 11 日の夜、スタジオへ行こうとしたが、浸水で到達できなかった。一晩、スタッフ 4 名とともに過ごした。

2.3.2. 放送の再開

翌 12 日朝、なんとかスタジオまでたどり着くことができた。cFM のスタジオも CATV 局の発電機も浸水して使用不能なことが分かった。CATV 局と今後の運営について相談した結果、市全域が停電だったことから、視聴困難な CATV よりもまずラジオを優先して復旧させようという結論に達した。

横田氏がかねてから交流のある市の防災課長に相談したところ、市の防災無線が故障や電源切れで使えなくなっており、庁舎 2F の本局にある非常用バッテリーを FM 放送に振り向けられるとの提案をもらった。そこで市役所の会議室と電源を借りることにし、13 日の朝から準備を始め、放送機材を運び込んで、午後 6 時 40 分に放送を再開した。市と CATV 局スタッフの全面的な協力が早期復旧を後押しした。

当時の塩竈市はライフラインが壊滅的で、市役所内での情報伝達すらままならず、市民に伝える情報も準備できていなかった。



図 2.17 ベイウエーブの位置(図中「A」) ©Google

このため放送再開は市役所からの期待も大きく、市長からのプレッシャーもあった。1 週間は、防災無線などの情報伝達手段を失った市の情報を中心に放送した。

一方、地震翌日から、仙台在住のスタッフが、個人アカウントのツイッターでバイウエーブスタッフの安否、放送再開などについて情報発信した（図 2.18）。RT から、cFM 放送再開が被災者を励ましていたと読み取れる。

震災 3~4 日後には、局の女性アナウンサーと CATV 局のアナウンサーで放送していたが、当初放送していた場所（2F 災対会議室）も避難所になってしまい、継続使用が困難となった。そのため庁舎 4F のスペースに移動して、そこから 1 ヶ月以上にわたって放送した。さらに 4 月 27 日には、市役所 4F の広い部屋に引っ越した（図 2.20）。

2.3.3. 臨時災害放送局への移行

3 月 18 日には、市役所内に設置された衛星電話を利用し、福島のアナウンサーである MTS の川井氏に連絡を取ることができた。その際に「臨時災害放送局」のアドバイスを受けたことから、当日 14 時 20 分に総合通信局に申請して 100W の送信許可をもらった。臨時災害放送局の開局手続きは電話 1 本だった。追って市長名で申請してほしいので、次からは市役所のしかるべき人から連絡がほしいと言われた。期間は 2 年。今回の震災に限っては、申請期間はどれだけでもいいとのことだった。

臨時災害放送局になったことで、①出力（ワット数）が増えた、②責任者が首長（塩竈市長）になった、③日本財団より財政支援（期間は 4 か月間）を受けることができた。併せて、いままで受信用アンテナで行っていた送信を送信用の大きなアンテナに変更した（図 2.21）。震災前は 10W で運用しており、当初 20W で申請する案もあったが、それでは視聴エリアがほとんど変わらなかった。100W でもアンテナの地上高が低いので、以前のエリアより狭いかもかもしれない。カバレッジエリアは、塩竈市の 95%と、松島町の遊覧船発着場など、多賀城市・七ヶ浜町も半分くらい。人口では 18 万人ほどになる。

なお、浸水したスタジオは、泥かきなどの掃除は終わったものの、建物裏の斜面が危険な状態になっているため、引っ越すことに決めた。また、現在の市役所屋上の仮設アンテナでは標高 20 メートル程度で地上高が稼げず、これから一番聴いてもらいたい伊保石地区の仮設



図 2.18 バイウエーブのスタッフから Tweet (<https://twitter.com/781fm>)

住宅に電波が届きにくい状況にため、なるべく早く本来の送信所（標高約80メートル）から電波を発射できるように努力している。

2.3.4. 放送内容

10日頃まで市役所ではインターネットが利用できなかったが、スタッフの私物のイーモバイルは4~5日目くらいから途切れ途切れながらもネットにつながった。市役所のサー



図 2.19 ペイウェブの Twitter

パーもダウンしておりホームページの更新ができなかったが、16日からベイウェブのアカウントを用いてツイッターで情報発信を行った(図 2.19)。ツイッターの更新は市内のNPOスタッフがボランティアで担ってくれた。これらの情報が役に立ったという声も聞いた。

【ライフライン、安否情報】

ちょうど放送再開するころ、市役所が発行する「災害対策本部ニュース」の第1号がで



図 2.20 塩竈市役所 4F の仮設スタジオ

きあがった。そこにはライフラインの情報や、犠牲者の情報などが記されており、繰り返し放送した(図 2.22)。

14日朝から、市役所広報課の職員と協力して、停電で印刷機が使えないため手書きフォーマットの紙を使った安否情報の収集を開始した。また、16日には、周辺の松島町、利府町、七ヶ浜町、多賀城市の広域記者クラブからも情報発信したいという相談があり、範囲を広げて対応した。これらの情報を盛り込むと1番組が2時間半程度の長さとなったが、これを繰り返し放送した。つまり、放送開始1~2週間は、ライフライン情報、安否情報、亡くなった人の情報、避難所情報などを放送した。

【生活情報】

1週間目以降は「水」情報へのニーズが高くなり、〇〇商店前で給水しているとか、自衛隊が給水しているが1人2リットルまでなど、給水場所や量の制限など細かい情報を入れた。また、塩竈市は通勤等で仙台市に通う方が多く、ガソリン供給も限られていたため、2週間目ぐらいから臨時バスの情報も流すようにした。ただ、時刻や経路が頻繁に変更されるため、インターネットでの時刻表などの情報収集が役に立った。近隣のホテルが重油で風呂を沸かした入浴サービスを開始したり、廃業した銭湯が営業再開したといった風呂情報、スーパーの営業再開、炊き出し、物資配布の情報についてもアナウンスを行った。また、物資配給についても、市役所では避難所以外に配る手だてがなかったが、横田氏が仲介し



図 2.21 塩竈市役所屋上の仮設アンテナ

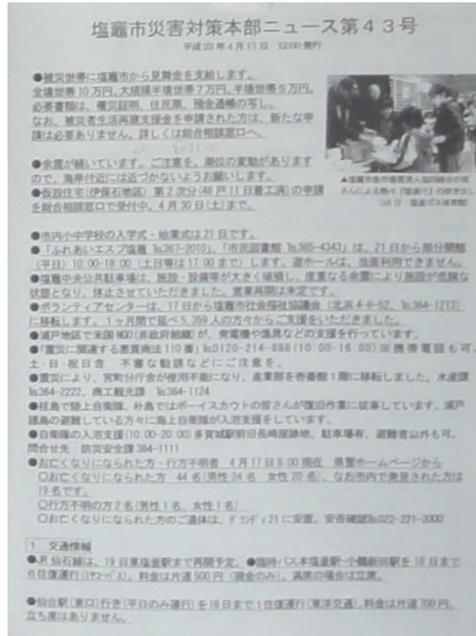


図 2.22 塩竈市災害対策本部ニュース

て商工会議所青年部やロータリークラブなどのネットワークを活用し、自宅被災者へ配布するなどの支援活動も行った。さらに、打撲治療ができる接骨院や人工透析施設、塾の生徒向けの情報なども扱った。

【被災者からの感謝のメッセージ】

震災1ヶ月目の4月11日に、リスナーからの声をきっかけにして、消防や自衛隊の方々に感謝の気持ちを伝える「伝えなかったありがとう」という特番を行った。メールサーバの復旧に伴い、リスナーから消防や自衛隊の方へのメッセージを受け取った。それまでも激励メールなどもいただいていたようだが、残念ながら半分程度消失してしまった。

2.3.5. 放送局の備え

図 2.23 に、ベイウェーブがまとめた「放送局の備えについて」を示す。これは、東日本大震災の被災体験に基づいた、今後の cFM に対する貴重な提言だ。

いくつか補足すると、今回、通常のスタジオでは重視していなかったものが役立った。とくに、早い段階から使えたイーモバイルが重宝し、地震の情報や津波の有無など、インターネットが途絶していた市役所の災対本部にも情報提供を行った。また、サウンドカードは便利で、音源はすべて PC にいれておいて、ミキサーに直結することにより放送に乗せることができた。アンテナの同軸ケーブルの長いものは容易に調達できないと思うので備えておくとうい。他局から自転車をもらい、ガソリン不足の中で重宝した。ライト類は必須で、意外に便利だったのが USB 接続のライトだった。単 1 乾電池が枯渇し amazon でスペーサーを買った。長靴もなかった。家族と 1 週間会えないのは心理的に負担になる。避難場所は確保すべき。給水所では 3 時間待ちとかがざらにあるので、湧水などを知っておくとよい、などだ。

2.3.6. 質疑応答

Q：リスナーからなにか放送してほしいリクエストはあったか？

A：なかった、というよりリスナーからの通信環境がなかった。メールサーバの障害もあり、情報をくみ取れていない。ただ、市役所から道路状況など放送してほしいなど、大量のリクエストがあり、それでいっぱいだった。また、地盤沈下が激しく、マリンゲートとよばれる施設では 70 センチ程度下がっており、大潮で簡単に浸水してしまうのはどうしよう？ などという話をした。

Q：ほかに情報発信のリクエストは？

A：ここに逃げているからという情報を流してほしいとか。安否以外にも、ちょっとした打撲などの治療を行っている接骨院や人工透析の情報発信依頼があった。他に塾の生徒向けのアナウンスなど。8~9 割は安否関連情報。受け取った情報はすべて流した。

Q：平日 10 時 30 分から放送されていた「我が家の防災メモ！」とは？

A：塩竈市婦人防火クラブ連合会の小林眞佐子会長が、火災予防だけでなく、災害などの様々な豆知識を披露し説明してくれる番組。5 分番組で 15 パターンぐらい作っており、適宜放送している。放送は 2010 年度から開始した。また小林氏には震災後の特番にも出演してもらっており、今何をしなければいけないかなどと話をしてもらっている。

【放送局の備えについて】

宮城県塩竈市 ベイウェーブ

東日本大震災において役に立った物、普段はあまり使わない機材等がとても役に立ちました。

- E-Mobile (Wifi) ⇒ 震災後4日目から復旧し、接続可能になりました。
- サウンドカード (オーディオインターフェイス・USB接続)
PCをミキサーに直接入力する為。編集・同録等 2～3個あれば便利
- アンテナ用、送信用同軸ケーブル 仮設アンテナの設置
- エネループ (充電池)

*残念ながら非常用発電機や備蓄していた災害キットは津波で全く使用できませんでした。
*大事な物は2階に置くようにしました。

★震災時用意しておく便利な物

- 軍手・厚手のゴム手袋・長くつ・マスク・スコップ・復旧グッズ
- 自転車 (ガソリン)
- 懐中電灯類 (ランタン・LEDライト・クリップライト・USBライト等)
- 乾電池
- 食糧 (カセットコンロで調理できる物) カップ麺・アルファ米等
- ペットボトル水 (2リットル) を数ケース
空きペットボトルは捨てずに給水に活用。
- ロープ・ワイヤー (4～5mm) 100m・ワイヤークリップ・ターンバックル
⇒ 仮設アンテナ固定
- ガソリン (携行缶)
- ストーブ (ファンヒーターではなく灯油だけで使用可能な物)
- カセットコンロ (ボンベも)
- A4用紙
- トイレットペーパー・ティッシュ・生理用品
- 毛布等の防寒用品

★被災地で全く無くなった物

- ガソリン ○ラジオ ○懐中電灯 ○電池 (特に単一) ○長くつ

図 2.23 ベイウェーブがまとめた「放送局の備えについて」

Q：現在はどのような番組構成にしているか？

A：最近、朝9時にJ-WAVEから手動で切り替えを行い、災害対策本部情報をところどころ入れながら、様々なジャンルの懐かしい音楽などを流している。

また、福島県が近いので、原発関連の話題も流している。発災当初は北風だったが、夏になって南風になって放射能が気になってきており、市役所の災害対策ニュースも放射能関連の情報が非常に多い。市民の方から、個人的に測っているのを放送しないかと問いかけがあったが、お断りした。

Q：現在でも周辺市町の情報提供はしているのか？

A：イベント情報の提供を行っている。多賀城の避難者は200～300名くらいでほとんど仮設住宅に移ってもらっているから、災対本部の情報提供は行っていない。当初に比べ、広報誌等も充実し、緊急情報提供のニーズは減っている。

発信する側としては、複数の市町の情報を流すと混乱すると思われたので、5分程度曲を流すなどのインターバルを設けて、次の情報提供を行うよう心掛けた。

多賀城市では、市民への情報提供が行き届かなかったようであり、なぜコミュニティFMがなかったのかと議会で問われている。

Q：一番苦しかったことは？

A：過去の地震などの被害をみても、宮城県沖地震が起きたら危ないだろうとは思ったが、スタジオは大丈夫だろうとタカをくくっていた。また、さすがに自宅が被災しているスタッフにすぐ駆けつけろともいえないため、体制が整ってから出社するように伝えた。スタッフのうち2名は、自宅が全壊していた。4月の最大余震で全壊になってしまったスタッフもいた。CATV局からはスタッフを1名派遣してもらうことができた。このような巨大災害では、みんな被災してしまっているため、スタッフの確保が困難だった。

Q：市役所と仲がいい秘訣は？

A：市役所の防災課長とは以前から付き合いが深く、非常にスムーズにやり取りができた。横田氏が市の観光マップの作成（しおナビ）を行っている。しおナビという名称が市の循環バスなどにも使ってもらっている。いろいろな取材も受けたりしており、広報や観光の部局とは密接な関係で、市の職員よりも市役所のことを知っているかもしれない。

■補足：塩釜市在住 タクシー運転手の話

ベイFMはとても役に立った。

自宅は津波の被害はなかったが、電気・水道が止まった。それで電気や水道の復旧情報が役に立った。開通の時には家にいなくてはならないので。

避難所に住んでいなかったのも、食料と水の確保に苦労した。2日間は何も食べなかった。在宅難民だった。避難所に行ったら食べ物をくれた。

5日間くらいは仕事もできなかった。タクシーのガスがなかった。ガソリンがなくて、喧嘩になっていた。

2.4. FMみなさん

2.4.1. 開局

南三陸町（佐藤仁町長）は、東北地方太平洋沖地震発生から2ヶ月あまり経過した2011年5月17日12時、臨時災害放送局を開局した。東日本大震災に伴い多数開設された臨時災害放送局のひとつだが、母体となる既存cFM局のない、基礎自治体が新設した臨時目的放送だ。NHK放送文化研究所の村上圭子氏らの調査によると、同じような新設局開局のきっかけは、地域外の団体や個人からの申し出がほぼ半数だという。

スタジオを設置した南三陸町総合体育館「ベイサイドアリーナ」は大規模な避難所で、町役場（災害対策本部）や議会、警察、消防本部、災害ボランティアセンター、赤十字など町の中核施設の仮庁舎も集積していた（図2.24～2.25）。場所柄、取材やテレビ中継なども多い（図2.26）。当日もAKB48が被災地の応援（コンサートと握手会）に来るということでFM放送やツイッターから情報を得た避難者ら住民が集まっていた。ちなみに日本災害情報学会員が複数関わっている「福興市」もこの場所で開かれるなど、広場はさまざまなイベント会場となっていた。

南三陸災害エフエムの開局をコーディネートしたのは、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」の宇田川真之主任研究員。「ラジオ関西（三枝博行社長）」、「FMながおか（脇屋雄介社長）」、「登米コミュニティエフエム“H@FM”（斉藤恵一社長）」らから、放送機材の提供と運営指導など諸々の開局支援を受けた。ラジオは、寄付されたものを地域住民に配布した。

宇田川氏によれば、津波等で被災した自治体では、直後の3～4月にかけて次々と臨時災害放送局が立ち上がり、住民にラジオを通じて避難所、道路交通、ライフラインなどの生活関連情報を提供できるようになった。しかし、とくに著しく被災した南三陸町では、母体となるcFMもなく空白地帯のままだった。2003年11月、日本災害情報学会「2003年宮城県沖の地震災害情報調査団」*で訪ねた旧志津川町防災対策庁舎は、元々立地がよくなかったことか



図 2.24 南三陸災害エフエムのスタジオが設置されたベイサイドアリーナ

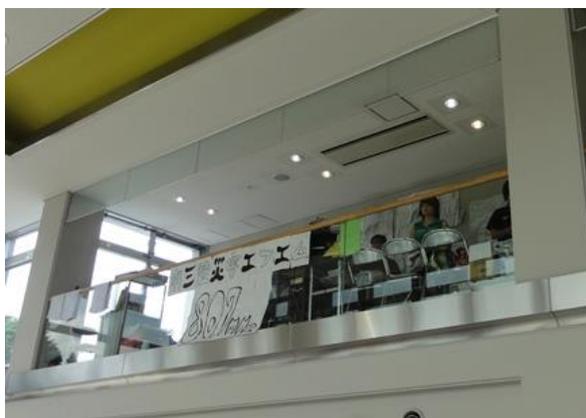


図 2.25 南三陸災害エフエムの仮設スタジオ



図 2.26 ベイサイドアリーナで見かけたテレビ中継車

ら、それなりに強固で高さのある構造としており、完全に水没しながらも骨組みだけは残っていた。隣接する町役場の庁舎は、まさに見る影もなく、役場自体が大きな人的・物的ダメージを被っていた（図 2.27～2.30）。頼りの防災行政無線もむろん使えなくなったままで、「減災報道研究会」で旧交のあったラジオ関係者らに声をかけあって、町の情報発信機能を急ぎ支援することにしたそうだ。

※ http://www.jasdis.gr.jp/06chousa/images/pdf/miyagi_chousa.pdf に報告書掲載

2.4.2. 運営体制

上述のように南三陸町自体が被災して必ずしも十分機能しない中、災害放送に縁の深い人たちの思いのこもった支援により臨時災害放送局が立ち上げられ、ボランティアや被災者らの共助で運営が始まった（図 2.31）。

最初は、流通科学大学（神戸市）の学生や現地のボランティアらの手により放送がスタートした。その後、緊急雇用創出事業により仕事のない被災者を 10 名ほど受け入れ、隣の登米市にある H@!FM で研修をし、放送を担ってもらった。今回、責任者に代わってお話をうかがった木南孝幸氏も、北海道中川郡本別町から南三陸町の支援に派遣されていた。原職は総合ケアセンター高齢者福祉担当で、ラジオ放送とはこれまでまったく無縁の門外漢だった。

毎日 10 時から 15 時まで生放送し、その録音の再放送と音楽で 24 時間電波を発している。提供する情報の内容は、町役場、消防、警察、県や省庁からのお知らせ、地域の生活情報、天気などで、避難所の様子やボラセン、ひまわりの種子なども取材したそうだ。

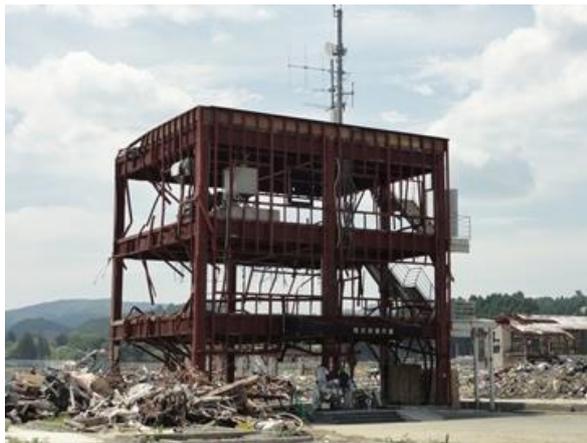


図 2.27 南三陸町(旧志津川町)防災対策庁舎



図 2.28 2003 年当時の志津川町防災対策庁舎

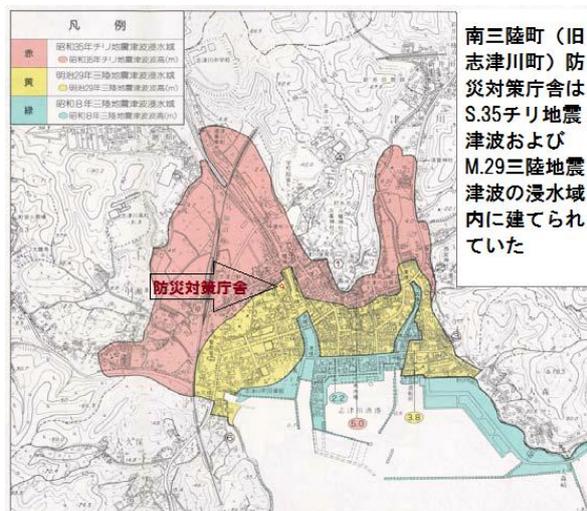


図 2.29 志津川の津波浸水実績と、防災対策庁舎の位置関係(黄色の領域内にある)

2.4.3. 課題

ヒアリングした当時抱えていた課題は、送信所のある位置のせいで、まちなかでも聴きづらいエリアがあり、歌津方面は入らないことだった。が、その後7月21日には送信所を移し、ロケーションの改善で不感地帯の解消が進んだようだ(図2.32)。

南三陸町の3月11日の大津波警報や避難放送は、危機管理課職員の遠藤未希さん(故人)が防災行政無線を通じて必死に呼びかけを続け、多くの町民を救った。当時、南三陸町にはコミュニティ放送局は無く、また周辺地域の既存他局でも発災に伴う停電等の原因から突発災害に対する有効なアラートは、ほとんど発せられなかった。南三陸町のように壊滅的な被害を受けた地域の住民にとって、避難生活や復旧・復興に向けた情報源はテレビよりもラジオに頼るところが大きく、防災行政無線に代わって伝えられる町役場などのお知らせ、地域の生活関連情報は、間違いなく被災者支援に貢献していよう。

今後の課題は先々どうなるかだ。いずれ防災行政無線の代役としての臨時的位置づけが終わり、今は緊急雇用やさまざまな支援を受けながら運営しているが、スポンサーが付き、独立した収益事業として成り立つ見込みはそもそも薄い。将来にわたって受け皿を整えられ放送が続けられるかどうか心配される。(その後、2013年3月いっばいで廃止された。)

いずれにしても被災地に入って一からコミュニティFM放送局を立ち上げることは決して容易いことでなく、設立や運営に尽力された方々に対し、深く敬意を表したい。

2.5. まとめ

2.5.1. 調査結果の要約

東日本大震災に伴って設置された臨時災害放送局は図2.33の26局(中継局3を除く)が



図 2.30 1960年チリ地震津波の志津川の浸水状況 (アジア航測(株)撮影)



図 2.31 南三陸災害エフエムの運営状況



図 2.32 演奏所(当初の送信所)と新送信所位置 (背景地図は「マピオン」<http://www.mapion.co.jp>)

「東日本大震災」に伴う臨時災害放送局の開設状況

平成23年6月9日現在

●被災者向けにラジオで地域密着情報を届けるため、臨時災害放送局等がこれまでに26局(中継局3局を除く。)開設されています。

※廃止・運用休止中の花巻市、奥州市、福島市、いわき市、つくば市、鹿嶋市については、通常のコミュニティFM局として運用中

凡例
 ○○町 自治体が新規開局
 □□市 コミュニティFM局がベース

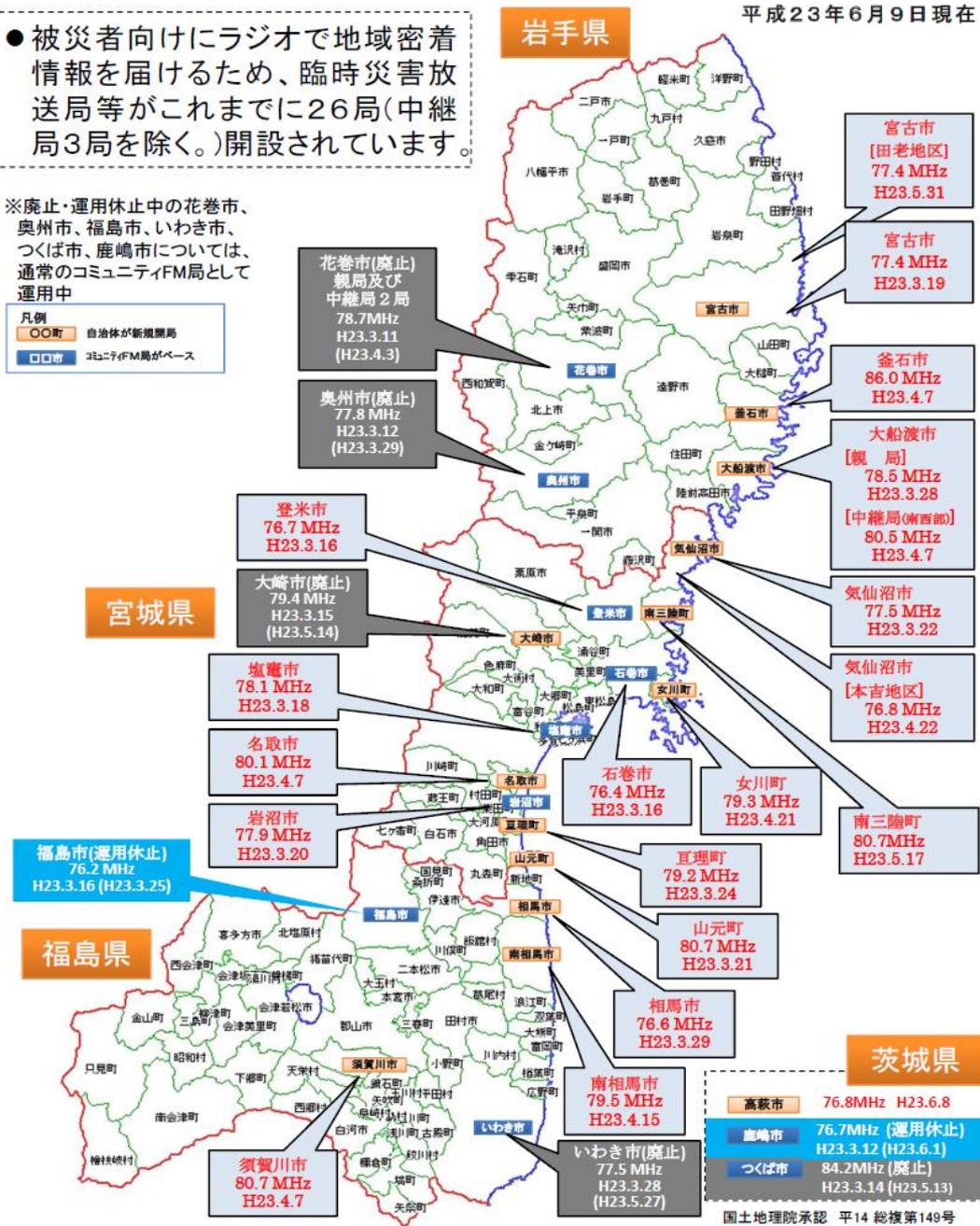


図 2.33 東日本大震災に伴う臨時災害放送局の開設状況 (総務省情報流通行政局衛星・地域放送課資料)

あり、うちコミュニティFM局がベースの「BAY-WAVE (塩竈市)」、新規開局の「南三陸災害FM」、そして同一自治体中に3局ありどこも臨時災害放送局にならなかった仙台市内コミュニティFM3局のうち「f mいずみ」「エフエムたいはく」についてヒアリング調査した。

(1) f mいずみ

仙台市泉区周辺をカバーするコミュニティFM放送局「f mいずみ」(図 2.34)は、3月11日の本震災直後に被災して停波した。揺れている途中に停電、入居するビルも危険で閉鎖され

た。このため初動情報はほとんど伝えられなかった。その夜、災害時協定先の NHK 仙台ラジオ第 1 に阿部清人事業部長が防災士として出演し、被災者に向けてアドバイスなどを伝えた。翌 12 日の 13 時には、泉区役所内に仮設スタジオを設け、早くも放送を再開した。停電が数日間続き情報通信が途絶した環境下、取材力の関係から災害の全容こそ報道できなかったものの、行政からの災害関連情報、救援物資、避難所、ライフライン復旧状況など、被災者の生活維持に求められる身近な情報を足で拾い集め、当時の限られた伝達手段＝ラジオを通じて伝えた。災害時に cFM に期待される役割をしっかりと果たしたと言えよう。

(2) エフエムたいはく

仙台市太白区周辺をカバーするコミュニティ FM 放送局「エフエムたいはく」(図 2.35)は、地震による停電に伴い、3月11日から5日間停波した。このため初期には何も伝えられなかった。電気が復旧した16日午後からは、市災害対策本部や気象台、県広報課のホームページなどから収集した情報を基に、安否、避難所、生活情報などを中心に放送した。十分なマンパワーがなく、オンエアできる情報量には限りがあった。名取市は申し出に応え市民へ伝えたい情報をファクスで送ってきたし、宮城県はメールでさまざまな情報提供をしてくれた。しかし肝心のお膝元仙台市(太白区)は協力的でなかった。震災を振り返り、地元自治体との関係をどう築くか、そして非常電源等の放送設備の強化、震災特別番組の継続実施、さらにスタッフの協力のおかげで放送が続けられたことに感謝していた。なお、南三陸町など激甚被災地の支援も行った。

(3) ベイウェーブ

塩竈市の臨海部にあるコミュニティ FM 放送局「ベイウェーブ」(図 2.36)は、地震で揺



図 2.34 fmいずみでのヒアリング調査
(左端が阿部氏)



図 2.35 エフエムたいはくでのヒアリング調査
(橙色の洋服が野田氏)



図 2.36 ベイウェーブ(塩竈市役所)でのヒアリング調査(左端が横田氏)



図 2.37 ヒアリング調査に伺った FM みなさん
(ベイサイドアリーナ、右端が木南氏)

れている途中に停電して放送が止まり、その後、津波警報が出たことから高台へと避難した。翌日、浸水した中で復旧を試みたが自家発電が動かずだめだった。旧知の市の防災課長に相談したところ、非常電源と場所が借りられることになり、13日夕方から市庁舎の一角に移って放送を再開した。防災無線をはじめ広報手段を失った市からは、市民向け放送を強く要請された。日頃から市と親密な関係を培ってきたこと、防災番組を編成するなど防災への関心が高かったことから、災害時のcFMとしての役割を果たすことができた。放送では、市と連携して集めた安否情報や、多賀城市などほかの自治体の情報をも流した。18日には総務省に臨時災害放送局を申請し、出力を10Wから100Wに強化した。またイーモバイルでインターネットにつないで情報収集し、ツイッターで情報を発信した。ただし、メールサーバのダウン、携帯電話使用不可でリスナーからの要望などは直接受信できなかった。

(4) FM みなさん（南三陸災害エフエム）

東日本大震災で甚大な被害を受けた南三陸町は、5月17日にベイサイドアリーナに臨時災害放送局「FM みなさん」（図 2.37）を新設した。開局は災害放送に縁のある多くの支援者によって行われ、運営は学生らのボランティア、そして緊急雇用創出事業により雇用した地元の被災者らが充てられた。放送した内容は、町役場、消防、警察、県や省庁からのお知らせ、地域の生活情報、天気などだった。

2.5.2. cFMが果たした役割と今後の課題

(1) 緊急放送

コミュニティ FM 放送局にとって防災・減災目的放送は切り離せない。しかし今回調査した既存3局とも初動の緊急情報は伝えられなかった。つまり、cFMの経営規模からすると本格的な耐震化、無停電化、多重化、24時間365日体制など、万全な備えは望むべくもない。よって、突然の大災害時には被災する側になってしまう可能性があり、発災の緊急放送を確実に行うことまで期待するのは些か酷なようだ。

(2) 生活情報に強みを発揮

その一方、公的情報のほかスタッフの取材、リスナーからの情報などきめ細かい生活情報を意欲的に収集し放送し続け、マスメディアとは異なるcFMへの期待に応える機能を発揮した。「停電中は情報収集」と割り切って足で情報を稼いでいた局もあった。資金面、スタッフ面で必ずしも恵まれているとはいえない局が多い中、cFMの果たすべき役割に対するスタッフの強い使命感、責任感、そして地域やリスナーへの共感・愛着がうかがえた。こういった高い意識が、震災直後の混乱期からきめ細かい生活情報を流し続けたcFMを支えたと言えよう。

(3) 日頃の協力関係が奏功

自治体、CATV、NHKなど他機関との事前協定や日頃の協力関係が、早期の放送再開に大きく貢献していた。場所や電源の確保、信頼できる情報の入手源として、行政との協力は重要だ。例えばベイウェーブは、日頃の塩竈市との密接な関係から、早期の放送再開や臨時災害放送局移行まで円滑に対応できた。また、CATV局スタッフの協力、NPOスタッフの協力

など、日頃の人脈や信頼関係が大いに役立ったという。こうしたことがコミュニティ FM の人的、資金的な限界のなかでの災害放送を支えた。臨時災害放送局はもとより、既存の cFM が市民への広報手段を失った行政の貴重な情報提供チャネルとして機能したこともあり、近隣自治体を含め災害時の cFM 活用についての体制強化、ルール作り、そして人間関係作りを平時からしておくことが望まれる。

(4) IT ツールと SNS の活用

今回「スタッフ個人所有のモバイルインターネット」が役立った。また、津波による被害を受けなかった地域在住のスタッフがツイッターで放送再開を伝えるなど、個人的な機転を利かせた IT や SNS の活用が見られた。よって、モバイルインターネットのクラウドインフラを局の戦略として予め整えておくことが望ましい。SNS は情報の信頼性や利用者層などの点で発展途上にあるが、行政の情報発信の実質的な代替手段となったケースもあり、有事の際の情報発信のオプションとして検討しておく価値があろう。平時から公式アカウントを整備し、市民の認知度を上げておくこと、信頼性の高い情報入手源も確保しておくことなどが必要だ。

(5) 放送継続体制の強化

地震による建物損壊、機材類の故障および停電による停波続出は今後の大きな課題といえ、cFM の事業継続体制を強化したい。スタジオの耐震補強、什器備品や放送機材の固定、送信所を含む非常電源（さらには燃料）の確保は不可欠であり、資金面での公的な支援も欲しい。例えば f m いずみには NHK と相互協定があったが、このようにレジリエンスの高い放送局との事前協定を締結しておくことも事業継続力向上策の一つとして考えられる。臨時災害放送局のメリットや免許申請方法なども押さえておきたい。また、サウンドカードや自転車、電池、スเปーパー、ライトなど有用性が浮き彫りになった備品もあり、備えの一層の拡充が望まれる。

1995 年阪神・淡路大震災の時に立ち上がった災害時の臨時 FM 放送だが、2004 年中越地震、2007 年中越沖地震、2008 年岩手・宮城内陸地震などでの経験を踏まえて発達・成熟し、2011 年東日本大震災では情報伝達手段として欠かせない働きをした。阪神・淡路から 15 年以上が経ち、その間、社会の情報通信環境も著しく変化した。cFM 自体も電気や通信の断絶で当初かなり苦労したが、避難生活などで必要な災害情報を伝える手段として、昔ながらのラジオが役立ったこと、さらにローカルな情報を扱うためにはミニ FM が適していることなどが改めて認識された。つまり、今回の震災でも cFM の役割が実証され、存在意義が確かめられた。

最後に、開局や放送再開に取り組まれた関係各位の社会貢献意識に敬意を表したい。そして、全国の cFM が「有事に強い地域密着型災害情報チャネル」として、災害時にも地域の大きな力となることを期待したい。

3. ラジオ局ヒアリング調査

東日本大震災では、激甚な災害時の情報源として、商用電源なしでも動くラジオが改めて注目された。地震や津波発生の初動期（本震発生から数時間までを細かく、津波警報が解除、あるいは情報孤立が解消される頃まで）を中心に、県域ラジオ放送がどのように防災・減災に貢献したかを知るため、仙台にあるエフエム仙台、TBC ラジオ、東京にある NHK ラジオセンターの3局を訪ね、放送に携わった方々から当時の話をうかがった。

3.1. 東日本大震災にみるラジオの活躍

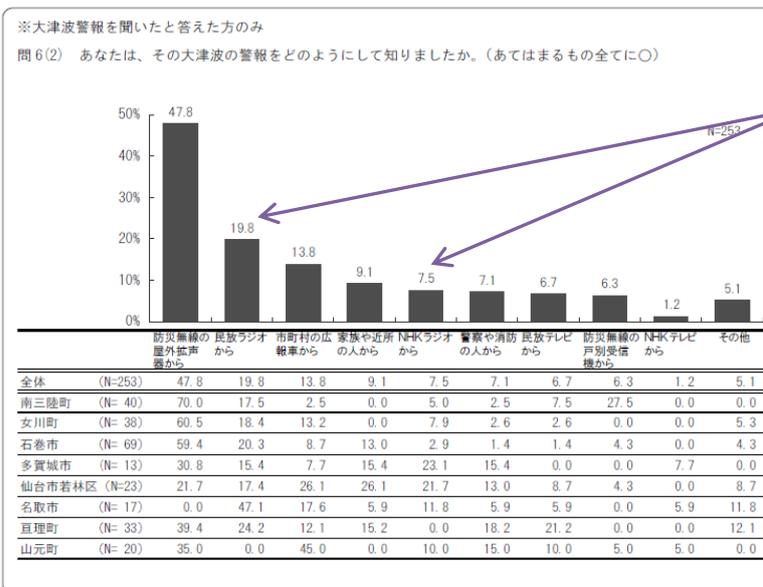
3.1.1 既往調査結果におけるラジオのポジション

東北地方太平洋沖地震発生時、ラジオからの“命を救う情報”が、どれほど地域住民の役に立ったのか、まず受け手への既往アンケート調査結果をレビューした。

(1) 宮城県沿岸部における被災地アンケート（平成 23 年 5 月 サーベイリサーチセンター）

(5) 大津波警報の認知媒体

「防災無線」が全体の約半数、停電等の影響でテレビは1割未満に留まっている



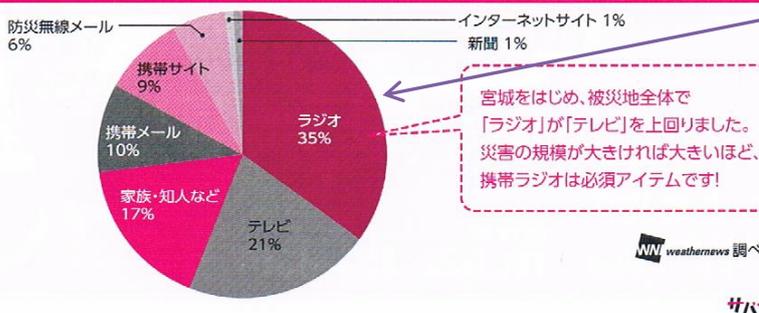
「大津波警報」認知媒体の27.3%がラジオ（2位）
宮城県沿岸部（8市町）
18避難所の避難者（成人）
個別面接調査
4月15日～17日
N=253,MA

※津波から生き延びた人びとが大津波警報を知ったのは、防災無線に次いでラジオからが多かった。

図 3.1 大津波警報をどのようにして知りましたか？

(2) 東日本大震災 津波調査結果（2011年9月 ウェザーニューズ）

津波警報は最初に何で知りましたか？(宮城)

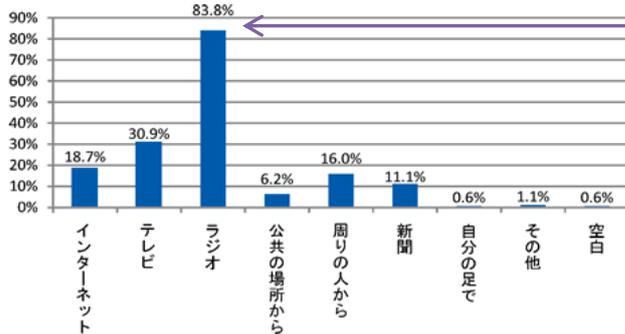


「津波警報」認知媒体の35%がラジオ（1位）
北海道～千葉県の被災者（うち宮城県）
WNIのネット利用者へ質問票調査
5月18日～6月12日
N=5296,SA

宮城をはじめ、被災地全体で「ラジオ」が「テレビ」を上回りました。災害の規模が大きければ大きいほど、携帯ラジオは必須アイテムです！

図 3.2 津波警報は最初に何で知りましたか？(宮城)

(3) Date fm 「東日本大震災アンケート」 集計結果 (2011年10月 エフエム仙台)



※ラジオが突出。

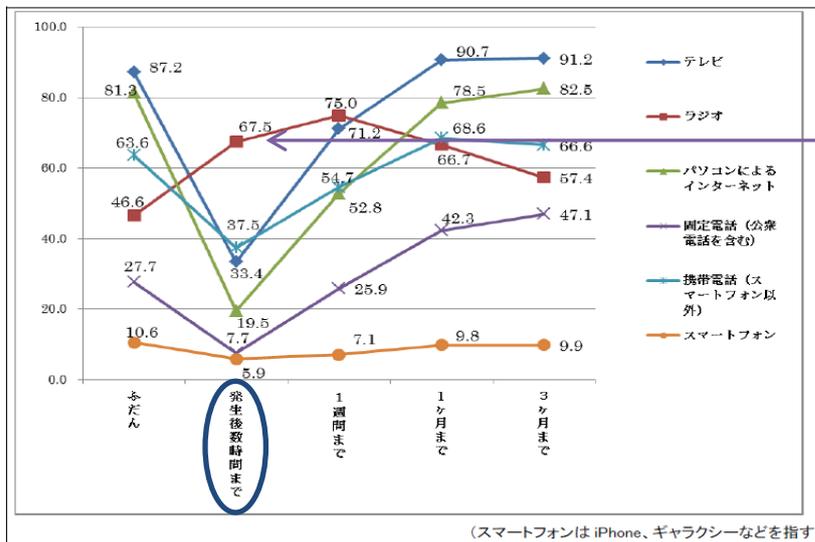
直後のライフラインや生活情報をラジオから得た 83.8% (1位)

仙台市等の Datefm リスナー 質問票調査
6月16日~7月25日
N=418,MA

図 3.3 震災直後のライフラインや生活情報を何で得ましたか？

(4) 東日本大震災 情報行動調査報告書 (2011年9月 情報支援プロボノ・プラットフォーム)

インターネット調査: 利用できた情報ツール、機器: 震災当日はラジオがトップ



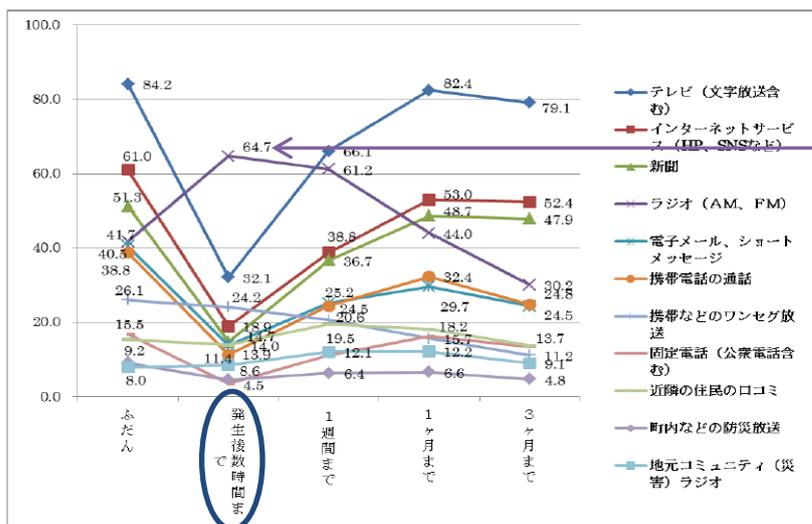
直後に 67.5% の人がラジオを利用できた (1位)

岩手・宮城・福島3県 (183市町村) 被災地の住民
インターネット調査
7月4日~11日
N=2815,MA

図 3.4 利用できた情報ツール、機器

※発生直後、2/3の人びとがラジオを使い、一般に利用されている情報媒体のトップに躍り出た。

インターネット調査: 役に立った情報源、震災当日はラジオ、テレビ、ワンセグ放送の順

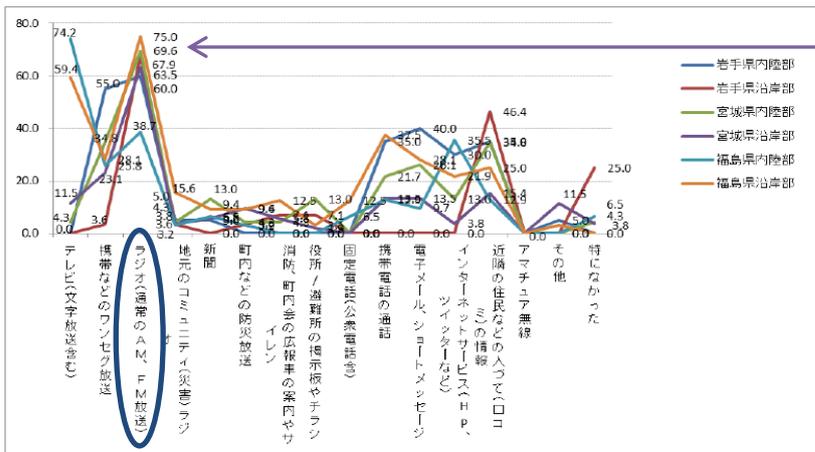


直後にラジオが役に立った 64.7% (1位)

岩手・宮城・福島3県 (183市町村) 被災地の住民
インターネット調査
7月4日~11日
N=2815,MA

図 3.5 役に立った情報源

面談調査：役に立った情報源、地震発生直後、地域別



直後にラジオが役に立った60~75% (沿岸部1位)
 岩手・宮城・福島3県被災地の住民個別面談調査
 7月1日~31日
 N=186,MA

※発生から数時間〜数日間、通常のAM・FMラジオが一番役に立った。停電で視れないテレビに代わる有用な情報源だった。

図 3.6 役に立った情報源 (地域別)

以上の引用資料を通じて捉えられるのは、東日本大震災の被災地では、地震直後に緊急情報が求められつつも、電力の供給や情報通信などが損なわれた深刻な事態に直面し、ポータブルラジオやカーラジオ等によって津波警報、さらにその後のライフラインや生活情報を得ることができたという実態だ。

なお、同様な情報入手手段に関する受け手への調査として、8.2.6~8.2.7 (p.353~356) 前後に、三陸沿岸被災住民に対してわれわれが実施したアンケート結果を掲載したので参照されたい。

3.1.2 ラジオの緊急地震速報などの初動

上述のように、住民の命はラジオの情報にかかっていた。そこで、調査で訪ねた各ラジオ局の緊急地震速報と第一声などの初動状況に関して、表 3.1 に整理した。

全体的には、NHK が最も素早い対応が行われ、東北放送ラジオもほぼ同時刻で緊急情報を流した。エフエム仙台は、地震の揺れで放送機器に一時的な支障が出、10分ほど遅れての放送だった。この辺りは放送局の事業規模などが影響した感じだ。

緊急地震速報は、最大予測震度5弱程度になった14時46分49秒の第4報が、速い局では3秒のちに放送された。エフエム仙台では、反映までに10秒以上タイムラグがあり対応関係が判然としないが、第4報の震度5弱、第12報の震度5強、第14報の震度6弱をそれぞれ超えた3度、緊急地震速報が流れた模様だ。いつもの地震のときにどうなっているのかにもよるが、リスナーは緊迫感を覚えただろう。

津波からの避難行動で最も決定的だった時間帯は、あとから振り返ると、14時46分からの30分間だったといえるが、気象庁は14時49分に津波警報の第1報を、そして遅まきながら15時14分に第2報を出し、津波の予想高さなどを更新した。宮城県で予想高さが10メートルになったという情報は、NHKラジオが最も遅く、実は15時30分にさらに出された第3報の更新・拡大を伝える際、はじめて伝えられた。その時間帯にはすでに三陸沿岸の各地に巨大な津波が流れこんでおり、予測情報としてはほとんど用をなさなかった。

表 3.1 各ラジオ局の緊急地震速報と第一声など

局名	気象庁発表	エフエム仙台	東北放送ラジオ	NHK ラジオ
放送中の番組	地震発生 14:46'18"	『AIRJAM Friday』 常禅寺通りサテライト スタジオからの生	NRN 系列『ミュージック スクランブル』の録音	国会生中継
緊急地震速報	14:46'49"～ 14:48'37"	14:47'03" 14:47'47" 14:48'41"	14:46'52"	14:46'52"
第一声		14:59'34"	14:48'18"	14:47'49"
大津波警報	14:49	15:00'35"	14:50'50"	14:50'40"
予想高さ 6m	14:50	15:14'13"	14:51'50"	14:51'10"
予想高さ 10m	15:14	15:22'00"	15:15 すぎ?	15:32'35"

3.2. エフエム仙台

3.2.1. 調査概要

(1) 聞き取り調査の概要

- ・日時 2011年7月8日(金) 13:30～15:00
- ・訪問先 エフエム仙台本社
- ・応対者 執行役員 板橋恵子氏、放送本部放送部長 田中正明氏、
放送本部放送部制作チームマネージャー 浅野彰信氏
- ・調査者 藤吉洋一郎、天野 篤、天野教義、国崎信江、中村 功、中村信郎、中森広道、
萩原健太、三島和子、水上知之

(2) 放送局の概要

- ・種別 FMラジオ放送局 (JFN系列)
- ・会社名 株式会社エフエム仙台
- ・愛称 **Date fm** 【デート・エフエム】 仙台・宮城らしさ“D・A・T・E＝「伊達」”
“デートの時のようにドキドキ・ワクワクが詰まっている”リスナーとホットコ
ミュニケーションを持つ“デート感覚”ない関係 “常に新鮮・up-to-date”な話題
を提供
- ・コールサイン 音声：JOJU-FM 文字多重：JOJU-FCM
- ・周波数/送信出力 仙 台/77.1MHz・5kW 気仙沼/81.3MHz・100W
鳴 子/84.1MHz・10W 志津川/84.1MHz・10W
白 石/81.4MHz・1W
- ・創立/放送開始 昭和57年3月1日/昭和57年12月1日
- ・本社・スタジオ 宮城県仙台市青葉区本町2丁目10-28
- ・送信所(仙台) 宮城県仙台市太白区茂ヶ崎3丁目12-1
- ・放送時間 05:00～28:00 (24時間)
- ・出資者 (株)河北新報社など
- ・放送エリア 宮城県全域、福島・山形・秋田・岩手県の一部(区域内人口約500万人)
- ・備考 宮城県唯一の民放FM局。仙台ライフライン防災情報ネットワーク(1999年11月
6日発足)の会員。平時にメディアが果たすべき役割は災害への備えに関する啓発
と考え、7年前から防災啓発番組「Sunday Morning Wave」(日曜08:30～09:00)



を放送。専門家がレギュラー出演する「地震に自信を」のコーナーで、毎週地震・津波にまつわる話を流し続けてきた。外国人向けには「GLOBAL TALK」、研究の最前線を伝える「東北大学防災 UPDATES！」というコーナーも。放送以外では、「わが家の地震防災ハンドブック」を10万部制作し無料配布、2006年からは毎年非常食のコンテスト「サバ・メシ*コンテスト」を開催。2009年、仙台ライフライン防災情報ネットワークの10周年記念事業として「こども防災大学」も実施した。

3.2.2. 聞き取り調査の結果

(1) 当日の様子

2011年3月11日、東北地方太平洋沖地震発生とほぼ同時に「緊急地震速報」が流れた後、14:48:06から22秒間、送信所の停電により停波、14:49:33から約10分程度、今度はシステムトラブルにより無音状態となった。本社は自動的に自家発電に切り替わったため、トラブル解消後に放送を再開した。午後3時から「災害特番」に切り換えてCM抜きで放送した。312時間におよぶ災害特番の始まりだった。しかし、当初は“情報の入手”が困難を極めた。以下、エフエム仙台の3人の方々の発言から当時の実態についてまとめた（田中正明氏が震災関連特番を統括）。

- ・激しい揺れとほぼ並行して、緊急地震速報のコメントが続けて3回、放送中に割り込んできた。
- ・幸いなことに放送機器にそれほど被害がなく、送信所の停電やシステムトラブルにより約10分間放送を送出できなかったが、その後放送を再開、すぐに特番体制に切り替えた。もし地震発生が深夜、早朝なら、人的確保も含めて早期復旧は難しかっただろう。
- ・初めのうち情報は地震情報、震度、津波情報などを繰り返し伝えた。
- ・しかし、肝心の災害情報をどこから入手するかが問題だった。電気がダウンして、テレビ、インターネット、電話もダメだった。東京支社との専用線による内線は無事だった。
- ・気象台から送られた津波の情報を繰り返し伝えた。余震も立て続けに起こり、身の危険を感じながら放送を続けた。それまでの知識を総動員し「ガラスの落下に気を付けて」、「信号が止まっているのでスピードを落として」という注意喚起を、数時間放送し続けた。
- ・特番を始めた午後3時ごろには、沿岸部では津波の第1波が観測されていた。エフエム仙台は津波に関する情報を伝え、「高台に避難してください」と呼び掛け続けた。詳しい放送はできなかったが、15:00に大津波警報を、その後15:22にかけて津波の高さが6メートル、そして10メートルを超える予想だと伝えた。
- ・地元の情報をとれないのがきつかった。仙台市の災害対策本部が立ち上がった時、そこに職員を張り付けることをかねてから考えていたので、さっそく2名張り付かせた。しかし、運悪く地震が起きた日、午後4時半ごろから雪が降ってきて、仙台市内も3月上旬には珍しく雪が積もった。自転車も使えず、歩いて情報を収集する体制をとった。ところが、災害対策本部からは具体的な情報は何も得られなかった。なぜかというと、仙台市自体が情報収集に大わらわだったからだ。このため、当初は東京から入手できた若干の情報や、ウェザーニューズからの情報を放送していた。

- ・「災害時はラジオしか生き残れない」という自負をもって頑張った。ラジオ離れの昨今だが、震災でラジオに戻ってきた人もいた。
- ・午後3時から特番が始まり、夜10時からネット特番が始まるという連絡があったので、その間のアナウンサーローテーションおよび番組構成を確認した。
- ・報道の取材力、人的不足により、機動力の面が不安だった。
- ・宮城県は震度6強だったが、内陸で建物の被害はほとんどなく、沿岸部とはひどさの度合いの認知にかなりギャップがあった。若林区で200~300名の遺体が浮いていたと聞いてもにわかには信じられなかった。
- ・大津波が広範囲に起きたのはイメージできていなかった。仙台空港に津波が来たテレビ映像を見て、初めて実態を知ることができた。
- ・多賀城に津波が来たと聞いても、なんであんなところに津波が来るのだろうと不思議だった。多賀城、名取、岩沼はもともと津波が来るようなところではないと思っていたので、津波が襲ったと聞いても半信半疑、津波被害の全体像を確認するまでに数日かかった。
- ・FMアンテナを利用して、局でアナログテレビ放送が見られる状況になってからは、テレビ画面の情報をリライトして伝えた。テレビが有力な情報源となった。
- ・震災の影響により数日間、Bフレッツの回線に障害が発生し、局のメールは使えなかった。そこで、イーモバイルの通信モジュール（Pocket WiFi）でネットに接続し、急きょGメールのアカウントを取得して、Gメール宛の情報提供をリスナーに呼びかけ情報を得た。
- ・Gメールに寄せられた情報も信ぴょう性が未確認のまま流していた。危険情報と安否確認の情報をひたすら流し続けるという状況だった。
- ・日頃から外国人に向けた防災情報を発信していたこともあり、当日の夜には、仙台国際交流協会のスタッフが数名の災害時語学ボランティアの外国人を連れて来社、彼らをスタジオに入れ、英語、中国語、韓国語で災害情報を放送することができた。その後も入れ替わり立ち替わり来社したボランティアをスタジオに迎え、常に外国語でも新しい災害情報を放送し続けた。
- ・放送再開後、仙台からは普段と変わらない電波が出ていたが、一部エリアでは2~4日間放送中断が続いた。これは、震災発生直後に鳴子、志津川、白石中継局の商用電源が停電し、非常用発電機にて放送を継続したが、震災による道路の寸断により現地へ出向くことが困難な中、燃料切れで放送機器が停止したものだ。

(2) 翌日以降の展開

- ・東北大学の今村文彦先生は、出張先の東京で被災されたが、翌々日の朝から仙台のスタジオに入って解説してくれた。それが大きかった。今村先生は毎週日曜日の朝の番組に出演してもらっていて、毎回、津波の話などをしてもらっている。



図 3.7 エフエム仙台でのヒアリング調査
(向こう側の中央が板橋氏)

もう7年も続いている。3月11日の直後のその放送にも忙しい最中なのに出してくれた。

- 一番想定できていなかったのは、ライフラインが止まった後のことだった。それが何日間続くのかなかなか見通せなかった。仙台ではライフラインの中でもガスの停止が長かった。ガスを送り出すところが地震で破壊されたほか、ガス管のチェックに時間がかかったからだ。ライフライン状況をリスナーに伝えるときに、まずはガス栓を閉じるという作業を呼びかけることから始めた。その後はガス局側が仙台市内の復旧状況を毎日UPしていたので、それを放送していた。仙台には全国から約3,000人のガスの復旧に関わる人が応援にきた。それでも結局、復旧に1ヶ月以上かかった。
- 水道は上水道だけでなく、下水道にも影響があり、汚物処理に対しても不都合が起きた。
- 宮城県内のラジオ9局で組織する「みやぎラジオネットワーク」では、数年前から共同で防災番組を制作、同時生放送を行ってきた。昨年は、6月を防災月間とし、1ヶ月にわたって各局のアナウンサーが共同制作した防災スポットを流すことを試み、好評を博していた。
- 3月13日以降はライフラインネットが動きだした。「仙台ライフライン防災情報ネットワーク」のメーリングリストで13日の午前10時前にJR東日本から運行状況の情報が入ってきた。仙台市ガス局、NTT東日本などもMLで情報を発信した。とくに、日ごろからの交流などでMLの相手と顔の見える関係作りができていたことが、今回、気象台への依頼などで大変役立った。仙台では医師会もライフラインネットに加わっていて、いろいろな面で役に立った。しかし、反省すべき点はメールがダウンしてしまったことと、仙台市消防局が主体となっていたが手が回らなかったことで、メディアに対して情報発信が迅速にできていなかったことだ。
- 電気が復旧してからは普通の状況で情報収集できるようになった。インターネットが使えるようになり、情報の信ぴょう性も確認できるようになった。情報関係は1週間ぐらいで落ち着いてきた。
- 3月22日午前6時まではTOKYO FMと自社の特番を組み合わせた24時間災害特別放送を続けた(CM枠、クレジット等は無し)。それからは基本、通常放送に戻したが、25日までの7:30~21:00は災害特番を放送した(CM枠、クレジット等は無し)。
- 4月以降、放送は通常に戻った。生活情報も、安否情報も各エリアの情報がメインになった。人が少ないので、社員だけでまかなうことができず、制作会社やフリーの人を集めて24時間の放送を続けることができた。
- auの携帯電話向けFM放送配信サービスLISMO WAVE、IPサイマルラジオ協議会のインターネットサイマル配信サービスradikoへも番組を配信した。前者は4月末日をもって平常のスタイル(放送エリアのみが聴取できる)に戻ったが、後者は震災緊急措置として、現在も全国で同時再送信を聴くことができる。

(3) 放送の課題

- 当初は大津波が広範囲に起きたことがイメージできず、津波被害の全体像を把握するまでには数日かかった。若林区で200~300人死亡という情報がわりと早い段階から流れたが、それ以降の情報がなかった。仙台空港のエアショットをテレビで見て、初めて津波のイメージができた。

- これまで何とか、防災に関する番組やイベントを実施してきたが、備えていた宮城沖地震の想定をはるかに超える災害の規模であり、なかなかイメージ通りの行動ができなかった。
- ニュースソースは朝日、読売、河北新報からローテーションで情報が来るようになっていたが、当初は停電でPCが使えなかったのも、どこからも入ってこなかった。
- これまではニュースの部屋にテレビがあったが、今回の地震以降は、スタジオにテレビを置くようになった。すべてのチャンネルをチェックした。
- 災害対策本部には張り付くのではなく、情報を取りに行くようにした。
- 安否情報については、信ぴょう性の問題があったが、とにかくやった。個人情報もあったがオープンに、来たものはすべて公開した。重複もあるがおよそ1万件寄せられた。局舎の前にテーブルを置いて、直接訪ねてきた人からも受け付けた。放送した情報をビルの前に張り出した。携帯の充電器もそこで利用できるようにした。
- コンビニやガソリンスタンドでは店が開く前に行列ができていた。
- 3月14日午前自衛隊機から白波がたっているという情報があったが、出所を確認せずに放送してしまったことがあり、信憑性ある情報をどこから得るのかの反省材料だった(テレビも同様の放送)。
- 今回、ツイッターが有効な情報手段になった。気仙沼市ではツイッターを利用してきめ細かい情報を出していたので、そこからも情報を取って流した。
- ここまで携帯が使えないのは予想外だった。携帯電話のメールも送信できない状況だったので、誰ともつながらない状況が続き、被災者は不安だった。携帯各社ともに災害時の対応を見直しているはず。アンテナが地震や津波でダメになって、携帯の電波を中継できなくなったところが、あちこち生じていたようだ。
- 携帯電話は地震発生直後には通じていたため、その時点では「無事」ときいた相手が、30分後の津波で亡くなっていたケースがあったという話をいくつも聞いた。
- 「災害用伝言ダイヤル171を使用してください」という放送をしたが、リスナーからは「何度トライアルしてもつながらなかった」という苦情があった。話し中になっていたという。
- 地震から4ヶ月がたった最近では、災害情報への被災者自身の関心が薄くなって来ているが、被災したステーションとして、途切れずになんとかつないでいかななくてはならないという思いから、災害情報の時間を決めて情報を出している。今後は復興に向けてのイベントも伝えていきたい。宮城県知事も七夕を復興の第一歩と位置付けていくと言っている。
- 6月20日から1ヶ月間、今後の防災・減災への取り組みを進めるための資料として「Datefm 東日本大震災アンケート」を実施しており、現在返答を待っている。寄せられる中に、津波避難のマニュアルは「まったく役に立たなかった」、「知ってはいたけど何もできなかった」という声もあるが、「高台に逃げた」など、役に立ったという声があったのが救いだ。
- 1年前のチリ地震の際、早々に出された津波警報と津波予想に反して、大したことなしに終わったことから、今回も「どうせ来ないだろう」と高をくくって、避難しなかった人たちが大勢いた可能性がある。大雨のような進行性災害における予警報などで、どうしても「空振り」側が多く「見逃し」側は少ないのと軌を一にする“オオカミ少年”問題だ。予想がはずれたときに、信頼をつなぎとめられるようにする、事後の取り組みが大切だろう。

- ・音楽に救われたというリスナーは多かった。海にまつわる曲やビッグウェーブなどの歌詞があるものは避けるなど神経を使って選曲した。

3.2.3. まとめ

エフエム仙台は、大地震が発生したとき、サテライトスタジオからの放送中だった。送信所の停電やシステムトラブルなどで停波や無音状態が発生したが、10分程度で復旧し放送を再開、強い余震が続く中で放送を続けた。ただし鳴子、志津川、白石の中継局は、停電と非常電源の燃料切れ（補給できない）で2～4日間中断した。

わずかな時間で放送を再開したものの情報の入手は困難を極めた。情報通信手段が軒並みダウンし、被害の全容など必要な情報が思うように得られなかった。市内は信号が止まり、車も動いていなかった。仙台市の対策本部から情報を得ようと、職員を歩いて市役所に行かせたが、市自体が情報収集に大わらわで、初めの段階では市の災害対策本部は情報源にならなかった。

当初は気象台からの警報など、余震や津波に関する注意喚起を繰り返し放送した。テレビが映るようになってようやく信じがたい被害状況を知り、画面を見ながら実況放送した。その後、モバイルでネットにアクセスし、フリーなクラウド型サイトを利用することで、リスナーからの情報を集めた。ツイッターも有効だった。危険情報、安否確認情報（約1万件）をひたすら流したが、信憑性の確認はできないままだった。さらに、ライフラインの復旧情報、生活情報なども伝えた。おおむね1週間後にこうした情報関係は落ち着き、2週間後に特番編成を終えた。また、通常の放送波だけでなく、LISMO WAVE、radiko を通じて、ネットで全国にサイマル配信した。

ともかく、東部道路まで津波が来ることなど想定していなかったなど、地震の規模が大きすぎた。それでも「災害時にはラジオしか生き残れない」という思いで頑張った。複数の外国語の放送もした。

ヒアリング時の感想としては、

- ✓ 自家発電を備えていてコミュニティFM局とは規模が異なる県域局でも、停電や情報通信ダウンの影響を少なからず受けた。アナログな足での取材、貼り紙、入口でのテーブル受付、FMアンテナによるアナログテレビ放送受信などが有効だった。
 - ✓ テレビを視聴しながらのラジオ実況放送は、被災者に対し効果的だった。
 - ✓ 危険を伝えるのと同程度に、安否確認情報や生活情報、さらには多言語放送をした。
- など、そもそも取材体制が弱く音楽番組中心のFM放送局が、人員をはじめ何かと充足しない環境に置かれた中で、地域のためによくがんばったと言えよう。

なお、当日説明用の資料として配られた、

- ・資料 1-1 3月11日の時系列メモ（文中のSTLとはStudio to Transmitter Linkで、放送内容を演奏所から送信所へ送る回線のこと）
 - ・資料 4-1 東日本大震災放送 中間報告（4月5日）
 - ・災害特番 1時間単位での参考フォーマット
- を、以下に示す。

2011年3月11日(金)

- 14:47:00 頃 地震発生
- 14:47:03 緊急地震速報動作(1回目)
- 14:47:23 地震のためSTLのアンテナの方向がズレてノイズ発生(2回)
- 14:47:30 頃 緊急地震速報の発令と、実際に大きな揺れを感じたため、直ちに緊急事態を宣言(五十嵐)。
- 14:47:47 緊急地震速報動作(2回目)
- 14:48:06 停電のため送信機が一時送信停止、同時に演奏所も停電
- 14:48:28 自家発電動作し、送信機が復帰し送信開始/演奏所は無停電電源で動作
- 14:48:41 緊急地震速報動作(3回目)
- 14:49:33 無音:緊急地震速報から通常のプログラムに復帰したが、復帰先がJ-ST(サテライト)であったため、J-STの被災と共に音声途絶えたために無音となった。
- ◎ 緊急地震速報のコメント終了後も揺れが続き、事務所のデスクからは物が落ち、PCのディスプレイが飛び跳ね、立っているのが困難であった。
 - ◎ 演奏所の事務室関係は停電で消灯、モニターができずにマスターで状況確認。
 - ◎ 音声が出ていない事を確認したが、STLからの電波は出ており、STLに音声が出ていない事がわかり、APSの状況を確認し緊急用スタジオ「C-st」に切り替え実施するが音声せず。緊急用スイッチャー列を使いC-stに切り替えて音声をだした。
 - ◎ マシン室のロッカー(高さ1.2m)が転倒。
 - ◎ 中継局はリモコンが普通のため確認できないが、気仙沼は放送波で放送を確認できた。志津川は発電機のため放送継続と思われる/白石・鳴子はバッテリーの状況次第。
- 14:59:34 音声復旧/C-STより地震関連情報(アナウンス)、栗原市で震度7、M7.9
- 15:00:35 大津波警報発令の放送開始/避難を呼びかけるアナウンス
- 15:14:13 6mの津波の恐れありの情報送出/避難呼びかけ
- 15:22:00 津波の高さが10mをこえる情報送出
- ◎ 停電のためCATVのラインが不通となりTVが受信できないため単独のアンテナをつけ、アナログで受信。
 - ◎ このあと、FM監視用アンテナを使用してTVの受信
 - ◎ インターネットが使用不能(サーバーに繋がらない)ためインターネットでの情報収集が不
 - ◎ 電話が有線、携帯共規制がかかっているため情報収集が難しいため、青葉区役所の防災センターに人を派遣し、徒歩で情報収集/携帯メールは使用可能。
 - ◎ JFNの内線電話が使用不能(回線不良)。東京支社への内線電話は正常に動作。
 - ◎ 事務所が停電のため照明が点かないため仮設の照明を用意/発電機回路で点灯
- 16:37:45 マグニチュードが7.9から8.4に修正された事を伝えた。
- 17:00:00 クッション音楽
- 18:47:20 災害用伝言ダイヤルの開設の告知
- 18:49:00 軽傷の受け入れ可能病院の告知
- 18:50:40 「2011年東北地方太平洋沖地震」と気象庁が命名の告知
- 21:00:00 東京電力福島第一原発で煙が上がっている事の一報。
- 22:00:00 東京FMからの災害特番に切り替えて放送/石垣アナが電話で東京に入り中実施。
- 22:55:00 TFMの番組配信が終了したため無音/自動穴埋めでクッション音楽送出

東日本大震災放送 中間報告

◎平成23年3月11日（金） 14時46分 東北地方太平洋沖大地震発生

- ・宮城県栗原市で震度7 を観測
- ・宮城県中部 震度6強
- ・緊急地震速報 14:47:03 1回目動作 続けて計3回動作
- ・演奏所をはじめ、東北地方が全面停電。

◎15時00分 直ちに災害特別番組に切り替えて放送開始

- ・地震情報、大津波情報
- ・局員による市内の状況レポート
- ・仙台市災害対策本部（青葉区役所）に人員を派遣し情報収集

◎被害状況

- ・地震で停電（演奏所、送信所共）／共に非常用発電機で運用。
演奏所は 12日（土） 18時まで
送信所は 14日（月） 17時まで
- ・停電によりテレビ共聴システムがダウン（ケーブルテレビ）
- ・インターネットがダウン（回線及びサーバーのダウン）
- ・電話の規制（固定、携帯とも）、及びKDDIのケーブル切断により東京への通話が困難。
- ・東京支社との内線は正常動作のため東京へは支社経由で実施
- ・中継局は連絡線（携帯電話）不通により確認できないが、気仙沼中継局（100W）は本社で放送波を確認
- ・他の中継局（3局）は停電のため、燃料切れまたはバッテリー切れで一時停波があった模様。
- ・白石中継局の機材取り付けラック（Cチャンネル）が変形しているとの連絡（放送は継続）。

◎対応

- ・電話は携帯、携帯メール、内線での東京支社経由、着信で対応
- ・メールはWi-Fi（無線サービス）経由でGメールで対応（安否情報）
- ・11日（金） 23:55から多言語（英語、中国語、韓国語）での災害情報の放送開始
内容を変えながら現在も放送中
特番期間中は2時間に1回程度放送
- ・12日（土）より安否情報を放送開始（局舎前およびGメールでの受付）
- ・13日（日）、14日（月）に局舎前で携帯電話の充電サービスを実施
- ・食事は当初非常食（アルファ米）と備蓄の水、買出しした食料で対応
二日目からは自炊（当初は非常電源使用）
- ・弊社ラジオカーを緊急車両として登録し、取材等に使用（ガソリンの補給ができた）



◎災害放送の編成状況

- ・地震直後に災害特別放送の実施を宣言
- ・22日（火）の06時間まではTFMの災害特別番組と自社による特別番組を適宜選択して放送（CM枠、クレジット等は無し）
- ・22日（火）の06時から3月25日（金）までは、基本通常放送（主にネット番組）としたが、07：30～21：00 は災害特別番組を放送（CM枠、クレジット等は無し）
- ・3月28日（月）～4月7日（木）の月～木 11：30～12：55は自社による災害特別番組を放送
- ・4月1日（金）からは基本通常放送とし一部災害情報番組を放送。
- ・3月中で380時間以上、4月になってもワイド番組を中心に生活情報、安否情報を放送。

◎スタッフ状況

- ・社員及び関連会社、外部スタッフが集合
- ・13日（日）までは2時間程度のローテーションでスタッフ割りを行い生放送
- ・14日（月）からは生ワイド番組のスタッフチームをその番組時間を担当する事をベースに24時間のスタッフ割りを作成し対応（ネット番組、TFMの特別番組も取り入れた）

◎ラジオの配布

- ・JFNからの援助物資としての530台のラジオが19日（土）に仙台到着
仙台市災害対策本部（物資集積所）経由で400台配布
石巻市、女川町に130台を直接届けた。
- ・エフエム沖縄より万歩計つきFMラジオ250台が25日（金）に仙台到着
（FM沖縄の西向氏が来仙、直送）

弊社のラジオカーで石巻専修大学を拠点に活動しているボランティア団体「ピースポート」に届けた



災害特番 1 時間単位での参考フォーマット

- 0'00" * 地震・津波等の震災に関する速報・ヘッドライン
 * 天気概要
 * その他企業・学校の情報

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次の震災に関する速報・ヘッドライン、天気概要に関しては〇〇時頃にお伝えします。」

- 5'00" M. _____ / _____
 * 安否情報

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次の安否情報は〇〇時頃にお伝えします。」

- 15'00" M. _____ / _____
 * ライフライン関係(各自治体 電気・ガス・水道 避難所 住宅 等...)
 *

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次のライフライン関係に関する情報は〇〇時頃にお伝えします。」

- 20'00" M. _____ / _____
 * 安否情報

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次の安否情報は〇〇時頃にお伝えします。」

- 30'00" M. _____ / _____
 * 生活必需品に関する情報(炊き出し、店舗営業などについて)

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次の生活必需品に関する情報は〇〇時頃にお伝えします。」

- 40'00" M. _____ / _____
 * 安否情報

AN 戻で、可能な限りにその情報カテゴリーについて次の実施時間を告知。
 Ex)「次の安否情報は〇〇時頃にお伝えします。」

- 50'00" M. _____ / _____
 * 速報、アドレス告知、メッセージ等..

58'58" SB

- * おおよそのフォーマットです。このフォーマットは参考程度に進行して下さい。
- * Traffic・Weather がある時間は、従来のフォーマット通りその時間に実施して下さい。
- * その上で、各情報ごとにその都度、次にそのカテゴリーの情報をお伝えする予定の時間をお知らせ下さい。
- * 時間に関してもおおよそのものですので、各自判断してインフォメーションして下さい。
- * その他、今後中継等イレギュラーなものも入ってくると思いますが対応して下さい。
- * アーティスト・スポーツ選手等応援メッセージ・コメント等も今後対応して下さい。
- * 楽曲の OA に関しては、リスナーを元気になる、勇気が出る、癒される・・・、とにかく今、心に音楽を届けましょう。
- * 曲数に関しても、自由です。是非、リクエストにも応じながら放送して下さい。

3.3. TBC（東北放送）ラジオ

3.3.1. 調査概要

(1) 聞き取り調査の概要

- ・日 時 2011年7月8日(金) 11:30~12:50
- ・訪問先 TBC 東北放送本社
- ・応対者 報道制作局部長 若生哲旺氏、
報道制作局アナウンス部長 藤沢智子氏、
報道制作局アナウンス部次長 根本宣彦氏
- ・調査者 藤吉洋一郎、天野 篤、天野教義、
国崎信江、中村 功、中村信郎、中森広道、
萩原健太、三島和子、水上知之、村木正顕



図 3.8 TBC ラジオでのヒアリング調査(向こう側向かって右が藤沢氏、左が根本氏)

(2) 放送局の概要

- ・種 別 AM ラジオ・テレビ兼営放送局（ラジオ：JRN・NRN 系列、テレビ：JNN 系列）
- ・会社名 東北放送株式会社
- ・略 称 TBC
- ・コールサイン ラジオ：JOIR
- ・周波数/送信出力 仙 台/1260kHz・20kW 気仙沼/801kHz・100W
鳴 子/1557kHz・100W 志津川/1215kHz・100W
- ・設立/放送開始 1951年12月10日/1952年5月1日
- ・本社・スタジオ 仙台市太白区八木山香澄町26番1号
- ・送信所（仙台・ラジオ） 仙台市若林区荒井字瀬戸川北15-2
- ・放送時間 24時間
- ・出資者 (株)河北新報社など
- ・放送エリア 宮城県全域、福島・山形・岩手県の一部（区域内世帯数約184万世帯）
- ・備 考 宮城県唯一の民放AM局。仙台ライフライン防災情報ネットワーク（1999年11月6日発足）の会員。2002年4月、東北地方の放送局として初めて予報業務許可事業者になり「私立TBC气象台」というユニークなコーナーを設けている。2011年3月22~24日には、大阪MBSラジオの「ネットワーク3・11」（そもそもは阪神・淡路大震災にちなんだ「ネットワーク1・17」という番組の東日本大震災版）が同時オンエアされ、最終の25日には、TBCで放送した報道特別番組が逆にMBSで生中継された。

TBC東北放送

3.3.2. 聞き取り調査の結果

(1) 発災直後

TBC 東北放送ラジオは、東北地方太平洋沖地震が発生した2011年3月11日14時46分から連続11日間256時間にわたって、東日本大震災特別番組を放送した。CM抜きで40人体制（アナウンサー17人、ラジオ関係のスタッフ、社長室など）で。

表 3.2 TBC 東北放送ラジオ 2011.3.11 14:46:23～14:59:59 オンエア リライト

時	分秒	放送内容	備考	
14	46:23	じゃあ一つずつ単語の解説からいきましょうか。いちばん最初に出てきた仙台弁の後の“べんちゃら”これだけ聞くと“おべんちゃら”に聞こえてね、なんかお世辞とかそっちのほうかな、なんて思うんですけど、実は“べんちゃら”は“おしゃべり”という意味なんです。メモリましたか？	録音番組	
	46:43	次の“おらやんだ”これはなんとなく伝わってきましたか...		
	46:52	緊急地震速報 です。地震が発生しました。すぐに身の安全をはかってください。運転中の方は急ブレーキを踏まずに、ハザードランプをつけ、スピードを落としてください。	14:46:48.8に発した緊急地震速報に基づく自動音声割込	
	47:13	気象庁が緊急地震速報を発表しました。宮城県に強い揺れがくるおそれがあります。運転中の方は急ブレーキを踏まずに、ハザードランプをつけ、スピードを落としてください。屋内にいる人は、まず身の安全をはかってください。		
	47:31	...ね、ほおほおほお、ほんで最後の“いですかね”っていうのは、“嫌いです”ってことなんですって。じゃあつなげていくと、“仙台のおしゃべりは私は嫌いです。少しだけ来てください。嫌いです。”えっ?! ちょっと来たのに、もう一回ダメ押しで嫌いですって言われる? またなぞが増えた気がしますけれども、...	録音番組	
	48:03	空白 15 秒間(雑音)		
	48:18	えーこちらは TBC、仙台 TBC 東北放送です。 今、宮城県地方に大きな揺れ を感じています。かなり激しい揺れを感じております。どうか落ち着いて行動してください。	緊急生特番	
	48:33	情報が入り次第、またお伝えしますが、今、大きな揺れを感じております。まだ揺れています。どうぞ身の安全をはかってください。		
	48:43	えー車運転中の方は道路わきに停めてください。えー宮城県に強い揺れがきています。身の安全をはかってください。なおも揺れは続いています。なおも揺れは続いています。身の安全をはかってください。えー車を運転中の方はただちに止まってください。物が落ちてきそうな場所や大きな家具、窓からは離れてください。頭を座布団やクッションなどで保護してください。		
	49:14	まだ揺れています。まだ揺れています。どうぞ身の安全をはかってください。		
	49:23	今入りました情報では、 震度 6 強が宮城県北部、それから宮城県中部 、震度 6 強宮城県北部、宮城県中部。震度 6 弱が岩手県の沿岸部、岩手県内陸南部、宮城県南部などです。震度 6 強、震度 6 強の地震が起きております。		
	49:43	まだ揺れています。揺れは少しおさまりましたが、まだ揺れは続いています。震度 6 強宮城県北部、宮城県中部、震度 6 強が宮城県北部、宮城県中部です。どうぞ身の安全をまずはかってください。		
	49:58	揺れは少しずつおさまってきました。揺れは少しおさまってきました。どうぞ落ち着いて行動してください。落ち着いて行動してください。		
	50:09	まだ揺れは続いております。 震度 6 強宮城県、震度 7 が宮城県北部 、震度 7 が宮城県北部と今発表がありました。震度 7 が宮城県北部、震度 7 宮城県北部。以下震度 6 強が宮城県中部、福島県浜通り、震度 7 宮城県北部でした。		
	50:34	津波の恐れもありますので、今しばらくお待ちください。このまま TBC ラジオをお聞きください。		
	50:43	震度 7 宮城県北部、震度 7 宮城県北部、震度 6 強...		
	50:50	今、 太平洋沿岸に大津波警報が発表 になりました。太平洋沿岸に大津波警報が発表になりました。太平洋沿岸に大津波警報が発表になりました。		14:49 に大津波警報発表
	51:07	気象庁は 2 時 50 分、宮城県に大津波警報が出ました。宮城県の太平洋側に大津波警報を出しました。大津波が押し寄せ、大きな災害の起こる恐れがあります。 予想される津波の高さは、高いところで平常の海面より 3 メートル以上 です。高いところで平常の海面より 3 メートル以上。特に三陸沿岸では非常に高くなる場所があります。		
	51:33	宮城県の沿岸に大津波警報、宮城県の沿岸に大津波警報が出ました。大津波が押し寄せ大きな災害の起こる恐れがあります。予想される津波の高さは、高いところで平常の海面よりも 3 メートル以上、平常の海面よりも 3 メートル以上。特に三陸沿岸では非常に高くなる場所があります。厳重に警戒してください。海岸にいるかたはただちに避難してください。		

時	分秒	放送内容	備考
14	51:50	なお宮城県の津波到達予想時刻ですが、3時まもなくです。まもなくです。えー今時刻が2時52分です。まだ揺れています。津波到達予想時刻が宮城県では3時。あと7分ほどと予想されております。予想される津波の高さは6メートルです。予想される津波の高さ6メートルです。津波の高さは6メートルが予想されています。	14:50に津波予想高さ6m(宮城)発表
	52:33	嚴重な警戒が必要です。ただちに避難してください。ただちに避難してください。宮城県の大津波の予想到達時刻はあと7分後3時、あと7分後と予想されています。	
	52:48	予想される津波の高さは6メートル、予想される津波の高さは6メートルとなっています。ただちに避難してください。ただちに避難してください。ただちに避難が必要です。宮城県に大津波警報が出ています。	
	53:03	気象台は先ほど2時50分、宮城県の沿岸に大津波警報を出しました。予想される津波の高さは6メートルです。予想される津波の高さは6メートル。その到達予想時刻が3時。到達予想時刻が3時。まもなくあと6分後です。あと6分後、津波が押し寄せてくる恐れがあります。ただちに避難してください。身の安全をはかって直ちに避難してください。	
	53:33	なお揺れはまだ続いています。宮城県に大津波警報が出されました。宮城県に大津波警報が出されました。津波到達時間は... 仙台港の津波の到達予想時間が3時40分 、3時40分。 石巻の鮎川が3時10分 、石巻の鮎川が3時10分。大津波が到達の恐れがあります。その高さは6メートル。また場所によってはもっと高くなる恐れがあります。宮城県に大津波警報が出されています。ただちに、ただちに避難してください。ただちに避難してください。	
	54:13	宮城県に大津波警報が出ています。石巻市鮎川に到達する予想時刻が3時10分、あと15分後です。あと15分後、石巻市鮎川は3時10分。なお仙台港に津波到達予想時刻が3時40分、3時40分。いずれにしても間もなくです。揺れはまだ続いています。	
	54:38	宮城県に大津波警報が出されています。ただちに避難してください。宮城県に大津波警報です。津波の高さはおよそ6メートル、6メートル。なおも余震が続いています。	
	54:53	冷静な対応をお願いします。津波警報が出されています。海岸沿岸部にお住まいの方、ただちに避難してください。大津波警報です。大津波警報です。	
	55:03	宮城県に大津波警報、太平洋沿岸に大津波警報が出されています。津波の到達予想時刻、石巻市鮎川が3時10分、それから仙台港が3時40分、時刻は今2時55分です。石巻鮎川に予想される津波到達時刻は10分ないし、15分後予想されています。時間がありません、ただちに避難してください。時間がありません、ただちに高台に避難してください。	
	55:35	まだ余震が続いています。仙台港への到達時刻が3時40分です。大津波警報が出ています。大津波警報が出ています。宮城県の沿岸に大津波警報。大きな津波が押し寄せて、大きな災害の起こる恐れがあります。予想される津波の高さは高いところで平常の海面よりも3メートル以上、特に三陸では非常に高くなる恐れがあります。	
	56:03	嚴重に警戒してください。直ちに避難が必要です。直ちに避難が必要です。津波の到達予想時刻、石巻市鮎川であと10分ないし15分、3時10分、3時10分。なお仙台港では3時40分とみられています。今時刻は2時56分をまわっています。まもなく津波の到着が予想されます。まもなく津波の到着が予想されています。	
	56:37	宮城県に大津波警報が出されています。宮城県に大津波警報が出されています。TBCラジオは引き続き情報をお伝えいたします。TBCラジオは引き続き情報をお伝えしております。	
	56:55	宮城県の沿岸に大津波警報が出ましたので、これから緊急警報信号によるTBC津波情報をお伝えします。 緊急警報信号 によるTBCの津波情報をお伝えします。	
	57:06	緊急警報信号	
	57:20	こちらはTBCラジオです。宮城県に大津波警報が出されています。宮城県に大津波警報が出されています。津波の到達予想時刻、石巻市鮎川で3時10分、3時10分。今時刻は2時58分になるところです。間もなく第一波が到達しそうです。	

時	分秒	放送内容	備考
14	57:43	嚴重な警戒です。まずは避難してください。出されている警報は大津波警報です。大津波警報です。まずは避難してください。身の安全をはかってください。なお仙台港はそれより少し遅れて3時40分ほどです。3時40分に予想されています。	
	58:02	先ほど宮城県を中心に大きな地震がありました。震度7が宮城県北部、震度7が宮城県北部、震度6強が宮城県中部、福島県浜通り、福島県中部と...震度7が宮城県北部、震度7宮城県北部、震度6強が宮城県中部、福島県浜通り、震度6弱が岩手県などとなっております。	
	58:31	先ほど2時46分頃、大きな地震がありました。マグニチュードは7.9、マグニチュードは7.9となっております。今また余震が起きています。今また余震が起きています。マグニチュードは7.9、マグニチュード7.9。この地震によって大津波警報が出ています。	その後16時にMj8.4、17時半にMw8.8、2日後にMw9.0発表
	58:53	沿岸部にお住まいの方ただちに避難してください。それから住宅などの被害も予想されますが、身の安全をまずははかってください。身の安全をはかって落ち着いて行動してください。身の安全をはかって落ち着いて行動してください。	
	59:12	なお今入った情報では女川原発1号機から2号機3号機にかけて自動停止しました。女川原発は自動停止しております。女川原発は3機とも停止しました。	
	59:23	先ほど2時46分頃、大きな地震がありました。震度7を観測しています。震度7は宮城県の北部です。震度7宮城県北部。この地震によって大津波警報が出されています。鮎川の予想到達時刻はあと10分後、3時10分、仙台港は3時40分となっております。	その後15:14に津波予想高さ10m(宮城)発表
	59:47	時刻はまもなく3時になります。時刻まもなく3時です。まもなく鮎川に予想されております津波ですが、大津波警報、岩手県それから宮城県、福島県に大津波...	

地震が起きた時は、ワイド番組の中の「ミュージックスクランブル」というニッポン放送の録音放送だった(表3.2)。緊急地震速報が14時46分52秒に作動し、チャイムと37秒間録音してある音声は自動的に流れた。緊急地震速報の注意喚起が終わり元のコーナーに一度戻った後、本来ならAサイトに居るワイドのアナウンサーがすぐに話すはずだった。だがマイクが通じず、10数秒後Bサイト、デジタル対応テレビ局舎のニューススタジオから、ニュースデスク担当アナが割り込んでラジオに音声を送った。揺れへの注意喚起、震度速報などを放送した。地震直後に停電して、自家発電に切り替わった。

14時50分には太平洋沿岸に大津波警報(定義は高さ3メートル以上)、52分には宮城県で予想される津波の高さ6メートルを流した。大津波警報だったので大変だと、沿岸部へすぐに避難を呼びかけた。14時57分に緊急警報放送システムEWS(Emergency Warning System)の信号を送出した。EWSはスムーズに出せなかったが、津波警報の際に義務づけられているものだ。その後、津波の予想高さは10メートルとなった。大津波警報や余震への注意喚起は頻繁に繰り返し伝えた。

被害状況は、15時37分に女川のテレビカメラに映った津波の様子をリアルタイムで伝えた。15時57分には仙台空港の情報カメラを描写して話した。最初の津波到達情報の値は低く、海面変動何センチ(たとえば14時59分に大船渡で20センチ)などと言っていたが、その数字を出すのはやめようという話もあった。

气象台とのラインは16時ころまで生きていた。防災情報提供システムから気象庁の津波情報が来ていたのが、じきに断絶した。共同通信の端末だけはずっと動いていた。

当初は得られる情報量が少なかった。渋滞で動きがとれない状況に陥ったまちなかの様子など、自らの体験を語った。そのほかTBCテレビの中継の音声や、オンエアのモニター画面

に映る情景をスタジオで描写して話した。災害時優先電話による取材も行った。

夕方になって、ラジオカーとの中継（毎日1台出している）、電話レポート、ファクスが順次可能になった。ラジオは通常、Aサイトの第8スタジオから放送しているが、1963年の古い建物で危険があることと、自家発電の燃料節減のために閉じて、Bサイトの2畳ほどのスペースから、男女1人ずつとフロアディレクターの3名が、11日間24時間体制で送ることになった。

20時27分、リスナー向けにメール、ファクスなどでの情報提供を呼びかけた。メールは度重なる地震災害（2003年5月26日三陸南地震、7月26日宮城県北部の地震、9月26日十勝沖地震）を受けて「saigai@1260.jp」というメールアドレスを設定してあった。2005年8月16日の宮城地震や2010年2月28日のチリ地震津波の際、すでに使われるようになっていた。メールはたくさん来た。当初は学校、病院、介護施設などの無事情報、あるいは翌日の休校・休園のお知らせなど、個別の安心情報を優先して流した。夜が更けるに従い救援要請（寒くなって助けてください）や安否確認の照会が増えた。多くは携帯メールで、ファクスはわずかだった。

21時過ぎにツイッターを用いた発信を始めた。

(2) 翌日から

翌12日の7時頃から本格的にツイッターで情報発信した。ラジオで放送した情報をもとに、無事、救援要請、学校、ライフライン、生活関連情報などを書き込んだ。生活関連情報は、コンビニにものがなくなり大型スーパーが閉鎖された中、開いているスーパーや商店（食べ物など）、炊き出し、風呂（断水、ガス被害が長かった）、美容室の洗髪、コインランドリー、給水（当初）、ガスの開通、携帯電話の復旧状況などだった。ただしガソリンスタンドの状況については、少数の空いている店や救援関係車両のみの場所とかがあり、かえって混乱する（新聞が一度出したところ夜中から列をなして大きな問題となった）ためはずした。

当初の3、4日はリスナーの情報が一番。その間に余震、原発、地震全般の被害情報（津波のほかにも家屋倒壊や地すべり・土砂崩れの被害が泉、栗原、大崎などであったが、情報は乏しかった）などを流した。

(3) 停波

仙台市若林区荒井（海拔2メートル、仙台東部道路の海側）にあるメインのラジオ送信所（出力20kW、図3.9）が、3月11日の津波で浸水した。商用電源が途絶え、すぐにバックアップの自家発電装置が働いたが、12日4時30分に燃料の枯渇で止まった。このため、仙台の親局（本社テレビ塔）にある非常用アンテナとサテライト送信所（気仙沼、志津川、鳴子）のみで放送した。100Wの減力放送では、八木山から半径10キロメートルくらいの範囲にししか電波を送ることができず、とくに被害の大きな石巻市や県南地域（亘理町、山元町など）には届いていなかった。その状態は15日12時50分まで続き、道路のがれき撤去と、JNN各局からの燃料補給により、18日17時過ぎようやく通電が仮復旧し送信できるようになった。一時減力を余儀なくされた経験から、今は燃料タンクの容量を大きくし、補給回数も増やしている。



図 3.9 仙台市若林区にある TBC ラジオ送信所の津波被災状況(2011.3.13 アジア航測(株)撮影)

電波が届かないエリアを補おうと、3月15日昼前から22日6時29分までインターネットの動画配信サービス USTREAM で放送音声を流した。16日14時過ぎからはニコニコ動画の「ニコニコ生放送」でも再配信を開始した。当時の放送は CM や音楽が一切ないので著作権的にもやりやすかった。これらの対策により、県外からも安否確認や救援物資など支援情報がメールやファクスで伝えられるようになった。

(4) その後

3月16日未明の3時には、MBS「ネットワーク3・11」を6時間遅れの時差で放送した。この番組は、大阪の毎日放送ラジオ（「ネットワーク1・17」制作チーム）が15～18日と21～25日の21:00～21:30に期間限定でオンエアしたもので、うち22～24日は21時から同時ネットした。MBSはradiko.jpを通じて3月13～31日まで全国どこでも聴くことができた（東北地方太平洋沖地震への期間限定緊急対応でエリア制限が解除され、全国でサイマル聴取が可能になった）。

3月22日6時29分から60秒間、震災後初めてのステーションブレイクを出した。これでCMなしでの24時間放送は終了した。引き続き情報センターから、東日本大震災ラジオ報道特別番組として、ニュース、天気、交通情報、ラジオカー中継、生活関連情報、安否確認情報などを流した。12時に通常の第8スタジオに戻り、16時からワイドのレギュラー番組を再開した。21時から前述の「ネットワーク3・11」、21時30分から30分間は再びニュース、交通状況、生活情報、安否情報を伝える報道特番を生放送した（24日まで）。

3月25日は、21時からラジオ報道特別番組「東日本大震災から2週間」を120分間生放送し、MBS「ネットワーク3・11」を番組内でクロス放送した。3月26日までは社のアナウンサーがすべて担当し、その後ワイド番組のレギュラーパーソナリティが戻り、28日からほぼ平常どおり音楽も放送した。無論、随時、震災関連情報を入れながら。

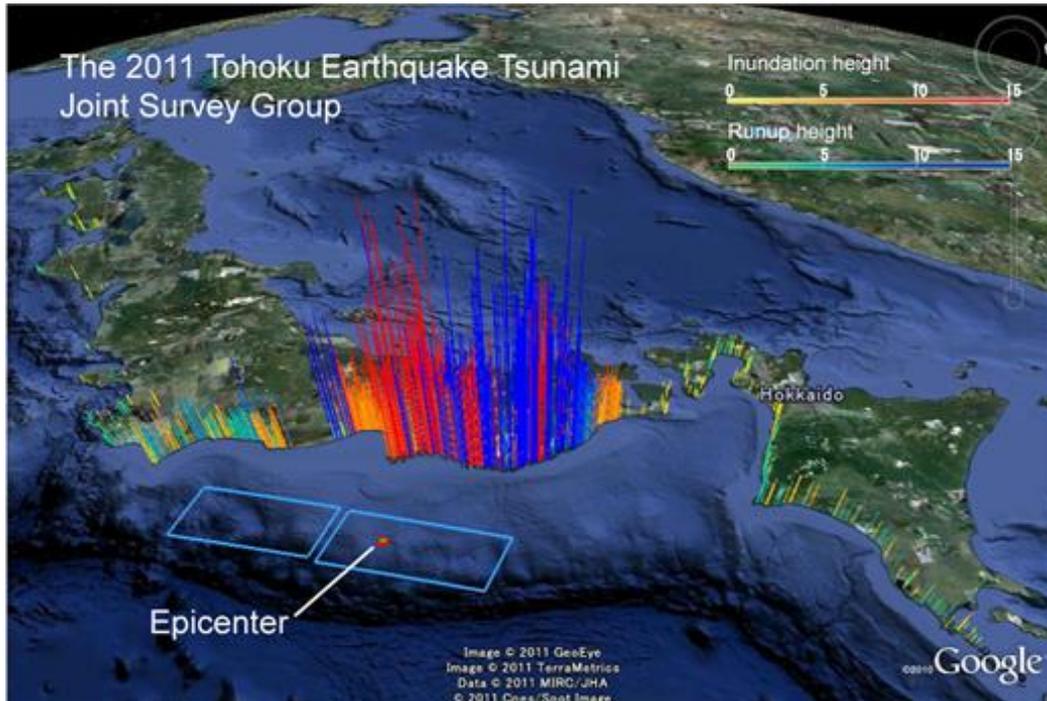


図 3.10 東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ (<http://www.coastal.jp/ttjt/>)による津波の浸水痕跡高・遡上高速報値(2011.9.4 参照)

4月4日時点で完全に通常の状態に復帰（ラジオカーは被災地を中心に取材継続）した。その頃も震災特番や、余震の緊急地震速報、津波警報などを放送した。

4月18日から毎週月曜日の20時に震災に特化した30分番組「3.11 みやぎホットライン」をやっている。JNN 三陸支局からのレポートや、研究者・識者らに出演してもらう番組で、これは今も USTREAM に同時配信している。

radiko.jp 復興支援プロジェクトも、5月からさしあたり6ヶ月間の予定で始まった。被災地の現状を全国に正確に届け、ふるさとを離れた避難者へふるさとの様子を伝えている。

現在、ワイド番組の中でも各種手続きの案内、物資の不足状況などを伝え続けており、午後ワイドではラジオカーが被災地に出向いている。

なお、東北放送では、全国ニュースを共同通信と JRN の朝から、ローカルニュースを TBC の取材から編集して放送している。

(5) 質疑応答

Q：緊急アナウンスコメントは？

A：マイクロホンの向かいにコメントのプレートがある。割込放送したスタジオにも準備していた。第一報はアナウンサー歴42年の鈴木俊光囑託が伝えた。だいたい頭に入っているが、細かいところでは役に立ったという。マニュアルに基本的な問題はなかった。ただし、大津波警報で「(高台と) 鉄筋コンクリート3階以上の建物へ避難」のコメントは使えなかった。また、志津川などでは「指定避難場所」も危なかった。多くは施設のグラウンドなどだが、どこが安全なのか、一番悪いことを考えなければいけない。7年前に宮城県が出した被害想定とは浸水高で4~5倍の開きがあった。気象台からの大津波警報は、時間の経過とともに予想高さが3メートル以上→6メートル→10メートルと大きく

なっていった。「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」のデータを見ると、あちこちで予想を上回った。最悪の事態を想定し、マニュアルやコメントを変えなければいけない。

Q：広域が停電しているとわかったのは？

A：発災当時、名取から移動中だったが、県内全域が停電していることはすぐにわかった。社屋も自家発電になり、「テレビはワンセグを除いて届けられてなさそうだ。ワンセグもバッテリーが無くなるのでそうは続かない。ラジオだけが情報源だろう」と話していた。TBCは、地域唯一のラテ兼営民放。局内では東京に向けて頑張っているテレビに技術者がとられ、ラジオを助ける技術者が少なかった（技術部はラテ兼務）。そのかわりテレビの報道内容をコピーで回して共有することができた。逆にラジオのリスナーからもらった情報をテレビに提供することもあった。テレビは被害報道、ラジオは生活関連情報や地域の一般情報が主だった。

Q：燃油の苦労は？

A：燃料は、一時期、全く手に入らなかった。本社も自家発電なので、節約するためにAサイトは閉じ、Bサイトの情報センターのみを使った。備蓄燃料が無くなれば、最悪、ラジオを残そうと考えていた。取材の車も市内のみで遠出はできなかった。ガソリン不足の影響は3月15日ころまで続いた。

(5) 大津波警報の認知媒体

「防災無線」が全体の約半数、停電等の影響でテレビは1割未満に留まっている

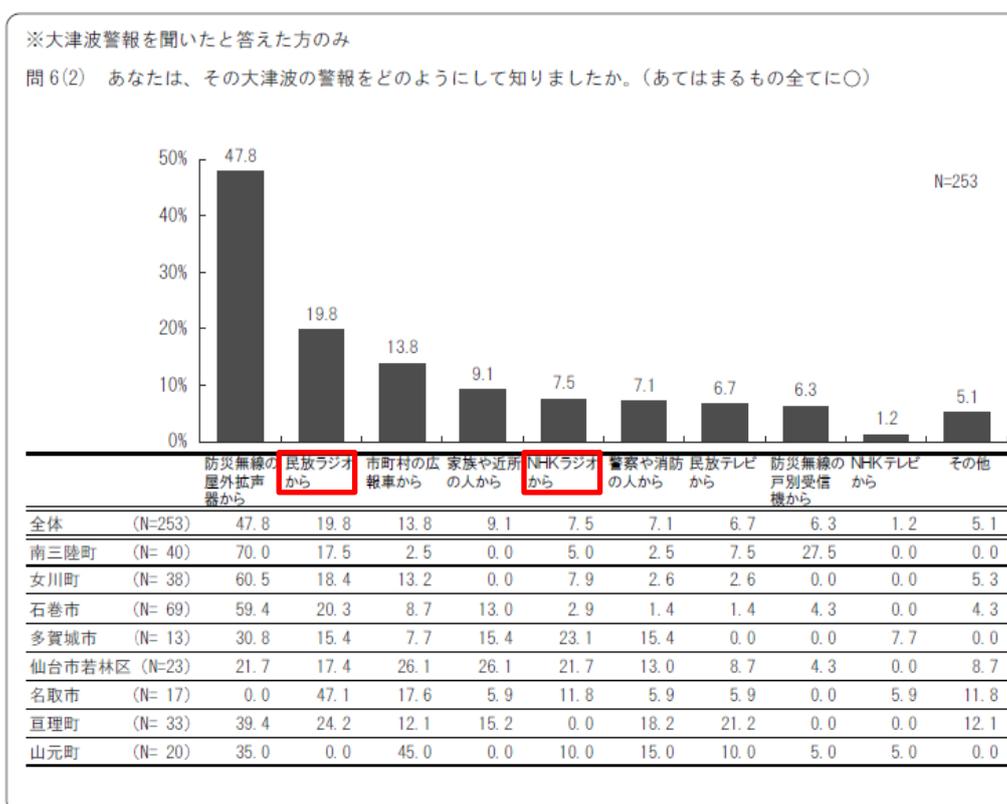


図 3.11 「宮城県沿岸部における被災地アンケート」平成 23 年 5 月 サーベイリサーチセンター調査結果

Q. 大津波警報の認知媒体のアンケート調査結果（図 3.11）で、民放が NHK より多いのはなぜか？

A. 普段から民放ラジオのほうがレイティングが高い（＝よく聴かれている）。NHK ラジオは地域向け枠が少ない（正時前に 5 分など）が、TBC は 6 割近く自社率があり、ラジオといえば地元民放ラジオという意識ではないかと思う。NHK ラジオの場合、テレビの音声を流したり、全中の合間にローカルが入るかたちが多い。アナウンサーの声も普段から聞きなれておらず、民放は聞きなれた声。誰かがわかり親近感がわいて心強かったと大勢の人から言われた。「いつもはリラックスしてしゃべっている人が、今回は緊迫した声だったので避難した」という人もいた。TBC はリスナーにとっては家族みたいなもので、停波した時には大丈夫か、と心配してもらった。

Q. リスナー情報の収集手段は？

A. リスナーからの声は、発災直後から saigai@1260.jp に多くのメールが届いていた。局のネット回線が数日間使えなくなり、受信したのは時間が少し経ってから。ラジオの制作部長やディレクター陣がメールチェックし、アナウンサーへと渡した。携帯メールの場合、無記名のことが多く、誰がどこから送ってきたのかわからない（たとえば安否をどこの誰に連絡すればいいのか）。このため「メールには本名（ラジオネームではなく）と簡単な住所を入れて」と呼びかけた。また、情報の信頼性チェックができなかった。このため「TBC としては確認がとれていません」と断りを入れ、リスナー情報を信用し、裏付けをとらずに放送した。ただ、営業店舗、入浴情報などはメールを受けて予めスタッフが確認してから流した。救援要請は警察に連絡して、それから放送した。携帯充電情報が役に立った。

リスナーから寄せられた情報は延べ約 2 万件に及び、半分以上が安否の問い合わせや行方探し。量が膨大で情報の整理が大変だった。読み上げが追い付かず「無事です」は置いておいて「探している」安否問い合わせのほうを流した。整理が追い付かず繰り返し読んでしまったりしたので、一人が専属になって地域ごとに分けて整理してみた。なお県警発表も犠牲者名簿だけ流し、避難者名簿は読み上げなかった。

《加注：IBC 岩手放送著・荒蝦夷編「その時、ラジオだけが聴こえていた」より》

この点は IBC 岩手放送とは対照的だった。IBC は、あるきっかけから、死者や行方不明者の情報ではなく、生存者の名前や避難先を優先して伝えるようにした。すると、避難所名簿が次々と寄せられてくるようになり、それをラジオの放送やネットにあげ続けた。被災者に安心感を与えるのが県民ラジオに課せられた役割、という思いからだったという。

Q. 自前の取材は？

A. 気仙沼、石巻、古川、白石に TBC の取材拠点があったが、支局員から情報は入ってこなかった。いずれも人員はカメラマン兼記者一人。気仙沼支局は身内が被災し、石巻支局は最初つながったが連絡が途切れた。たまたま気仙沼で取材していたクルーがホテルで被災者とともに過ごして戻ってきたり、地デジ関連で出ていた人が帰ってきた。そういう人に出演してもらい、被災した人からの様子を伝えてもらう状態だった。

また TBC の防災レポーター（10 名近く）は、連絡がつかない、被災したなどで、活用できなかった。ラジオレポーターには 1, 2 か月後に出てもらった。

翌朝、「TBS テレビ」のヘリコプターでアナウンサーがレポートした映像が映り、テレビ中継車が現地に向かった。仙台にある放送局で取材ヘリが生きていたのは、津波前に飛び立つことができた NHK だけだった（運よく機体整備を行っている最中で、すぐ飛べる状況にあった）。他社のヘリはすべて仙台空港で津波に流された。

Q. ソーシャルメディアなどの利用は？

A. 今回のようにツイッターを利用したのは初めてだった（たまたま詳しい人が居て番組宣伝用にスタートしていた）。ツイッターはメールと違い、もらったものは使わず、専ら情報発信に活用した。気をつけたのは、リツイートで拡散希望したツイッターが情報源となったメールが（巡り巡って時間遅れで）少なからず送られてくることだった。日を追うごとに多数のメールが寄せられるようになり、そのチェックや整理、問い合わせに応える作業に時間が費やされるようになった。貴重な情報源だけに、今後の課題といえる。

Q. 東北放送本社の立地は？

A. 市街地から TBC 本社までは 3 ルートある。うち東北大学ルートは今も通行止、おたやまルートはゴールデンウィーク前までだめだった。愛宕橋ルートだけとなり、取材や通勤が大変だった。ガソリンが底をつき自家用車は使えず、バスも燃料不足で減便になり、数日後から朝と 19 時半以降にシャトルバスを運行した。なお、食料には困らなかったが、水道は復旧までに時間がかかり、トイレの使用を制限してトラックで水を運ぶなどした。

Q. 強い揺れによる市街地の被害は？

A. 内陸部でも、落下物によりお母さんと子供が亡くなったりしている。家屋の倒壊、道路などに被害が多く発生した。仙台市地下鉄南北線長町駅周辺などは直上の道が陥没して凹凸が目立つ。岩切などにもラジオカーを出した。内陸部で、行政の支援が回らないところもあった。

また、4 月 7 日深夜に発生した最大余震のほうが内陸の被害はむしろ大きく、2, 3 人が亡くなった。発生時間帯もある。

Q. 被災地のリスナーからの指摘は？

A. 交通事情、燃料不足などから被災地になかなか出向けないでいたとき、取材の偏りのクレームが来た。とても気がかりだったが、被災地の電話の復旧が遅れ、取材に出ても電波の届かないところは連絡がつけられなかった。

しばらくしてラジオカーで中継のため被災地を訪ねた。藤沢智子氏が車から降りてひとこと謝ると、とても喜んでくれ歓迎された。

3.3.3. まとめ

東北放送ラジオは、ワイドの中で NRN 系列『ミュージックスクランブル』の録音番組を放送しているとき大地震に遭遇した。当初は気象台からの大津波警報など、注意や避難の呼びかけを、その後はリスナーからの安否確認や生活関連情報を中心として、地域に向けた特別番組を放送した。ヒアリング結果を要約し、以下にまとめた。

(1) 地震発生直後

- 「緊急地震速報」が14時46分52秒に作動し、チャイムと37秒の録音音声で自動割込みでオンエア。
- その10数秒後、使えるスタジオから、揺れへの注意喚起、震度速報などを生放送した。
- 14時57分、緊急警報放送システムEWS信号を送出した。
- 地震発生から連続11日・256時間、CM抜きで震災特別番組を放送。
- 地震直後に停電し、自家発電が稼働したが、じき燃料切れなどにより送信所・中継所の一部は停波した。
- 3月15日からUSTREAMを、16日からニコニコ動画を通じて、3月21日までストリーミング配信した。

(2) それから

- 当初、得られる情報が少なかった。気象台の防災情報提供システム(16時頃に回線断絶)、テレビ、共同通信の端末への配信くらいだった。
- まちなかの様子など自らの体験、TBCテレビの中継音声や画面に映る情景をスタジオで描写して話した。
- 夕方以降、ラジオカーとの中継、電話レポート、ファクスが順次可能になった。
- 20時半、リスナーにメール(モバイルで受信)やファクスでの情報提供を呼びかけた。初めは学校、病院、介護施設などの無事情報、翌日の休校・休園のお知らせなど、夜が更けるに従い救援要請や安否確認の照会が増えた。殆どが携帯メールで、ファクスは僅かだった。
- 過去の地震災害を受け、saigai@1260.jpという災害専用メールアドレスを用意していた。情報提供を呼びかける前にも、リスナーからの投稿はサーバまで届いていた(2005年8月16日宮城地震、2010年2月28日チリ地震津波の際も使われた)。
- 翌朝7時頃から本格的にTwitterで情報発信した。ラジオで放送した無事、救援要請、学校、ライフライン、生活関連情報などを書き込んだ。
- 具体的には、開いている店(食料品等)、炊き出し、風呂、美容室の洗髪、コインランドリー、給水、電気、ガス、携帯電話等の復旧状況などを書き込み、ガソリンスタンドの状況は混乱を避けるためにはずした。
- 3~4日はリスナーの情報が一番。その間に余震、原発、被害情報などを交えたが、情報は乏しかった。リスナーからの情報は延べ約2万件に及び、半分以上が安否問い合わせや行方探し。整理に苦労した。
- 携帯メールには無記名が多く「メールには本名と住所を」と呼びかけた。情報の信頼性チェックもできず「TBCでは確認がとれていません」と断りを入れて放送した。
- 交通事情、3月15日頃まで続いた燃料不足から、被災地へなかなか行けなかった。このため取材の偏りのお叱りを受けた。しばらくしてラジオカーでおなじみのアナウンサーが出向いたところ、とても歓迎され、ともに無事を喜び合った。ふだんから身近で聞きなれた地元ラジオ局ならではのエピソードだ。
- 支局員や防災レポーターからの情報も入ってこなかった。被災し、連絡がとれなかった。

(3) 教訓など

- 宮城沖地震への備えに努めていた大手放送局は、致命的な被害こそ免れたものの、想定外の困難な事態に陥った。
- それでもマニュアルやコメントをはじめとする事前準備が功を奏し、非常用アンテナなど臨機の対応、系列局からの支援などにより、放送そのものの事業継続に対するダメージはわずかに抑えられた。
- 気象台からの重要な警報類は（中身の妥当性はともかく）ほぼリアルタイムに伝えられたが、余震が続き津波警報が解除される前に回線が切れており、その原因を究明して改善したい。
- 全体としてみれば、ライフライン・インフラの断絶の影響が大きかった。つまりまず、電源のバックアップ（自家発電用燃料等）から強化する必要がある。
- また、取材への影響を最小化するため、通信回線の多重化、多様化、同種回線でも、たとえばモバイルの複数キャリア利用や、衛星携帯電話の整備などにより、冗長性を高めたい。メールやブログ、ツイッターなどについて、クラウドのサーバ活用も考えられる。
- 携帯メールなどで届くリスナーの情報はとても貴重で有難かったが、多量の整理には課題を残した。
- 県域局としては、支局等との情報連絡体制や、サテライト中継局の維持体制も宿題。
- 行政など防災関係機関との情報共有ホットラインも整えたい。
- 新たに試みられたインターネット配信との組み合わせは有事対応の面で注目され、今後うまく使いこなせるようにして発展させたい。
- 最後はやはり人。“このような場合にはラジオしかない”という自覚が、放送局の現場を支え、困難な状況を乗り越えた粘り強い放送につながったといえるのではないか。

県域ラジオは、そもそもの可聴エリアの広さ、発災前からリスナーにチューニングされていることが多い（例えば車で長距離移動中の場合 cFM は不向き）、商用電源に依存しなくても長時間聴ける、受信機が安い、身近な情報をふんだんに送れるなど、緊急時・災害直後の情報伝達媒体として優れた特性を有している。これからももっと多くの人々に伝えるため、“ふだんから聴いてもらえる努力”（充実した魅力ある番組づくり）と、取材面を含めた耐災害性（事業継続）強化を期待したい。

先般、総務省では「放送ネットワークの強靱化に関する検討会」で、地デジ化で空いた V-Low 帯域の新たな活用（マルチメディア放送、コミュニティ放送、AM ラジオ放送事業者等による災害対策・難聴対策としての FM 波利用）方針を打ち出した。そして 2013 年 1 月、東北放送は、宮城県で V-Low マルチメディア放送に係る「実験試験局の本免許」を取得した。この実証実験では、既存メディア（放送、通信、電話、防災行政無線など）との相互補完を行い、輻そうが発生しない放送波の特徴を活かした災害時における住民への確実かつ迅速な情報伝達について、地方自治体や防災機関と連携しながら検証する計画だという（図 3.12）。こういった新たな取組が災害情報伝達の強靱化につながると期待されるが、あえて付け加えるならば、現行の AM アナログ放送（ローテク）はデジタルにはない強みを有しており、今後ともきつと維持してほしい。

○送信所および受信想定エリア、実証実験のイメージ



◆気仙沼局(中継局)

- ・アナログテレビ鉄塔を(長の森山)使用
- ・出力10W
- ・気仙沼市で実証実験を実施

<参考として>

- ※県内世帯カバー率 2.3%
- ※平成17年国勢調査による宮城県世帯数(865,200世帯)で算出



◆仙台局(親局)

- ・アナログテレビ鉄塔を(八木山)使用
- ・出力1kW
- ・名取市ほかで実証実験を実施

<参考として>

- ※県内世帯カバー率67.1%
- ※平成17年国勢調査による宮城県世帯数(865,200世帯)で算出




<受信端末①>

- ・Androidタブレット10.1型
- ・Androidアプリケーション
- ・USBドングルV-Lowチューナー



<受信端末②>

- ・安心安全端末
- ・ACおよび電池駆動
- ・V-Lowチューナー、アンテナ一体型

以上

<本件に関するお問い合わせ>

- ◆実験について：東北放送 技術局メディア開発部 担当 吉田 (宮城V-Lowマルチメディア放送実験協議会事務局)
- ◆免許について：東北放送 技術局技術管理部 担当 増田

東北放送株式会社

〒982-0831 宮城県仙台市太白区八木山香澄町26番1号

電話：022-229-1111 (代) / 022-229-1682 (メディア開発部) / 022-229-1724 (技術管理部)

図 3.12 V-Low マルチメディア放送の実証実験 (出典:東北放送 Press Release 2013.1.11)

3.4. NHKラジオセンター

3.4.1. 聞き取り調査の概要

- ・日時 2011年10月21日(金) 16:30~18:00
- ・訪問先 NHK ラジオセンター
- ・応対者 アナウンス室エグゼクティブアナウンサー 伊藤博英氏、
ラジオセンターチーフプロデューサー 真貝昌洋氏
- ・調査者 藤吉洋一郎、天野教義、大西勝也、中森広道、干川剛史、三島和子、福長秀彦



3.4.2. 聞き取り調査の結果

(1) 伊藤エグゼクティブアナウンサー

地震発生時から当初はテレビの音声をラジオ第一にもスルーで流したが、午後3時30分からラジオ単独に切り替え、ラジオ第一、FMにスルーで流した。私はこの時の放送のキャスターを担当した。62時間の特番の始まりだった。

テレビは、映像と音声に加えて、画面に文字をダブって情報を付け加えるなど、今、何が起きているかを伝えるのに適したメディアだが、ラジオは同時には一つのことしか伝えることができない。しかし、テレビは避難する時に持ち出すことはできないが、ラジオは持って避難することができる。今回のような大災害の場合には、決め手になるのはラジオだと考えて、最初から被災地向けを意識して放送した。途中まで逃げて、ラジオを聴き、津波の情報などを確かめて、安全な場所に移動する。そういう形で被害軽減に役立つことを願い、避難の呼び掛けを繰り返し繰り返し行った。

ラジオはテレビに比べると一度に多くのことを伝えることはできない。そこで情報に優先順位をつけて、順次伝えていくようにした。ラジオは避難をした先などで、一緒に聞くことができるのも特徴だ。

避難を呼びかけるにしても、パニックを起こすきっかけとなつてはいけないので、あまり脅かすようなことは放送できない。今回もせいぜい「避難をしてください」といった言い方にとどまった。しかし、これでは「一刻も早く逃げてください!」といった気持ちが伝わったかどうか疑問が残った。もっと「逃げろ!」「危険です!」といったより切迫した言い方が必要だったかもしれない。放送を聞いた人が、行動のスイッチを素早く入れる放送とはどんなものか? これからも考えていかなければならない。

(2) 真貝チーフプロデューサー

緊急地震速報はラジオのスタジオから放送した。20秒くらいで大津波警報が出されたので、ラジオにはその後はテレビの音が流れた。ちなみに、NHKの緊急時のマニュアルでは津波警報が発表されるなどの場合には、ラジオ、テレビのすべての波に総合テレビの放送が流れるようになっている。



図 3.13 NHK ラジオセンターヒアリング調査

午後 3 時 30 分からラジオは単独の放送を開始したが、すでに津波が到達した地域があり、午後 3 時くらいの時点で、もっと避難の呼び掛けができなかったかと思う。テレビはどうしても目に入ってくるものに引っ張られてしまうため、今起きていることをとにかく伝えることになる。この段階での基本的な情報は“避難の呼び掛け”なはずなのに、被災地の人々は避難すべきかどうか、ちょっと迷ってしまうところがあるようだ。

被災地からの原稿に「津波が来ている！」というのがなく、放送をしている側としても、何が起きているのかよくわからないままだった。津波到達の第一報が 50 センチ程度であったことから、“本当に津波は来るのか？”と迷いが生じてしまった。津波が来ているのが分かるようになったのは、午後 4 時ごろからであった。

どうすれば“逃げよう！”というスイッチが入るのか知りたい。「腰まで来た！」とか「屋根まで来た！」といった情報が欲しかった。しかし、現地は通信手段が途絶えていたため、こうした原稿はいつさい出なかった。

それに、これまでの経験でも、脅かすような情報の伝え方はやったことがないのだが、“10 メートルの津波”だったら、“3 階建ての屋根までの高さになる”とか、“たくさんの死者が出る恐れがある”などと言うべきだったのかもしれない。しかし、とても言えなかった。テレビの映像でも、人や車が流されているアップ映像はなるべく使わないように配慮した。けれども、そんなことでも伝えないことには、“逃げなくては！”という気持ちにはなってもらえないのではないのか？

それに、津波は“波”というよりは、一定の高さの海そのものがやってくることだということは、伝えきれなかった。“10 メートルの波！”でいいのか？ 波ではなく“海そのもの”だ。

ラジオ放送をテレビと分離したのが午後 3 時半になったのは、体制をとるのに時間がかかったからだ。長時間の放送を続けるための人員配置などが必要になる。午後 3 時半のスタート時でのラジオセンターの報道・情報番組関係の人員体制は次のとおりだった。編責 1 名、スタジオデスク 2 名、アナ 2 名、原稿仕訳デスク 2 名、各局連絡 2 名、音切り・電話 3 名、電話リサーチ 3 名、解説委員 1 名、以上 16 名。

以下、質疑応答を示す。

Q. 人員や局舎や設備の被災など、業務継続面の影響はどの程度生じたか？

A. 地震で設備は壊れなかった。ロッカーなど固定していなかったものは倒れたものもあった。

14～18 インチのモニターテレビが倒れた。

Q. 地震の揺れと津波で中継局など送信経路にダメージは生じなかったか？

A. ビルの揺れはいつまでも止まらなかった。

Q. 局間の連携をいつのタイミングから行ったか？

A. 午後 11 時 50 分からローカル枠を 5 分設けた。基本的に東京からは全国向けの情報を常時流し、ローカルからは全国放送への参加という形で実施。このほか、各局は随時全国放送を脱してローカル放送を実施した。例えば、午後 3 時 40 分から盛岡・仙台は脱して地域向けのローカル放送を実施。午後 4 時 6 分からは仙台から東北管中を実施。

内容的にはどうしても内陸部の情報ばかりとなり、沿岸部の情報は入ってこなかった。

取材はしていても、停電に加えて、通信手段が途絶えていたため、情報を送る方法がなかった。

Q. 帰宅難民の問題はどう対処したか？

A. もう少しやり方があったのではないかと反省している。2 波出しと言って、全国向けの情報とは別個に、首都圏向けのローカル放送を、1 時間に 10 分とか、1 都 6 県向けに放送した。

Q. 被災地では停電のためラジオしか受信できないと分かったのはいつ？

A. 初めからラジオしか届かないと思って放送していた。

Q. ローカル局のラジオの対応が弱いのではないか？

A. ラジカーがあればいろいろ可能になるのだが、そのラジカーすら地方各局は持っていない。いまの NHK の状況では地方各局にラジオ放送の強化を求めることは困難だ。

Q. コミュニティ FM との連携については？

A. 最初の 1 週間くらいは、確かに、被災地地元の情報が薄かった。そのような段階では地元のコミュニティ FM と協力できるかもしれない。しかし、それ以降になるといわば“ドローカル”な話題や情報をどこまで県域放送の素材として活用できるかという疑問が出てくる。常時連携といった関係作りが困難な理由だと思う。

Q. 関東の FM 放送はどう対応したのか？

A. NHK のラジオ総体として、ローカル放送の在り方については、考え直す必要があるようだ。(FM 放送については担当違いで、はっきりした回答が得られなかった。)

3.4.3. 地震発生から 1 時間のラジオ放送

東北地方太平洋沖地震が発生した 14 時 46 分のおよそ 30 分後、三陸沿岸部に 10 メートル前後に達する大津波が押し寄せた。さらにその後の 30 分には、大津波の到達範囲は宮城県を経て、福島県まで拡大していった。この発生から 1 時間という震災の初動期に「命を救う情報はどうなっていたのか」に焦点をあて、放送がどのように防災・減災に貢献することができたかを検証した。停電した被災地域でも受信できたメディアという意味で、NHK ラジオの発生から 1 時間余の放送記録（東京）を見直してみた（表 3.3）。

震災報道特番は、2011 年 3 月 11 日 14 時 46 分、国会中継を中断して緊急地震速報が出たことを伝えるところから始まった。これは予め録音されていた音声で自動で流れたのだが、途中からラジオスタジオに入ったアナウンサーの生の音声に変わった。さらに 48 分からはテレビの音声をラジオにも流す緊急放送に入ったため、声はテレビスタジオからのアナウンスに変わった。緊急地震速報が出たことと、東京のスタジオが揺れていることを伝えた。49 分からは最大震度が震度 7 であったことを伝える地震速報に変わった。14 時 50 分からは緊急警報放送信号のピロピロ音が入り、津波警報が出たことを伝えた。50 分 30 秒すぎには「海岸や川の河口付近には絶対に近づかないでください」と初めて津波への注意が出てきた。その後「海岸や川の河口付近には絶対に近づかないでください。また海岸付近の方は早く安全な高いところに避難してください」と初めて避難を呼びかけた。それまでの 1 分半は大津波や津波の警報の中身を読み上げるのににかかった時間だ。繰り返し避難を呼び掛けたが、時間帯により

頻度にばらつきがあったこと、事態の変化にもかかわらず呼びかけの文言が変化しなかったことなどが、後から見ると気になる。たとえば「海岸や川の河口付近の方は早く安全な高台に避難してください」「津波がまもなく到達すると予想されていますので早く安全な高台に避難してください」「まもなく4分から5分ほどでこの到達予想時刻になりますけれども、あくまで目安ですので早めに、早めに高いところに避難してください」「6メートルの津波が押し寄せると予想されていますので早めに安全な高台に避難してください」「高い津波が押し寄せる恐れがありますので速やかに安全な高いところに避難してください」などだ。

そして、気象庁が15時14分に発表した大津波警報の追加情報（第2報）では、大津波警報の対象範囲を拡大したことを含め、警報・注意報の区分ごとに発表されている津波予報区がすべて放送で伝えられた。しかし、実はこれだけではなく、予想される津波の高さが宮城県10メートル以上、岩手県と福島県6メートルと、それぞれ最初の警報発表の時と比べて2倍にかさ上げされていた。が、そのことが一度もアナウンスされずに終わっていた。津波の規模が尋常でないことを人びとに知らせる大切な情報であったはずなのに、どうしてこのようなことが起きてしまったのだろうか？ 15時30分まではNHKのラジオにはテレビの音声が続いていた。気象庁がこの大津波警報の追加情報を発表した時、すでにNHKのテレビ画面では、岩手県釜石市の港に大津波が到達していることが、ロボットカメラの映像で明らかになっていたうえ、東京のスタジオも折から激しい地震の揺れに襲われていた。いずれも急いで伝えたい情報で、結果として追加情報の中の津波の予想高さの見直しについては、テレビ画面に文字表示されていたものの、アナウンスされることは無く終わった。大津波の規模が尋常ではないことを示していた気象庁の意図は、混乱の中で埋もれて音声とならず、被災地でNHKラジオを聴いていた人びとには、うまく届かなかった。

表 3.3 NHK ラジオ第一(2011年3月11日 地震発生から15時台)

時	分秒	放送内容	備考
14	46:10	細川厚生労働大臣:あるいはまた平成22年度補正予算では、子宮頸がん予防ワクチンなどへの摂取事業の財政支援、これは1085億円でありますけれども、また保育所の整備のための安心こども基金の拡充、これも968億円でございます。またさらに地方財政計画に、子供の現物サービスのための特別枠というのを設けまして、地方交付税に1000億円加算をいたしているところでございます。このような対応を講じ…	国会中継
14	46:52	緊急地震速報 です。宮城県沖で地震。次の地域は強い揺れに警戒してください。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県。 緊急地震速報 です。宮城県沖で地震。次の地域は強い揺れに警戒してください。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県。 緊急地震速報 でした。該当する地域の方々は倒れやすい家具などから離れ、テーブルの下などに入って身を守ってください。車を運転中の方は慌てずに車をゆっくり停めてください。上から落ちてくるもの、倒れてくるものに気をつけてください。地震の詳しい情報は入り次第お伝えします。	緊急地震速報
14	47:49	アナ:緊急地震速報が出ました。次の地域は強い揺れに警戒してください。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県です。次の地域は強い揺れに警戒してください。該当する地域の方々は倒れやすい家具などから離れて身を守ってください。いま東京のNHKのスタジオでも揺れを感じています。スタジオで揺れを…	
14	48:26	※全波ラ・テスルー放送のため、この間、表5.3(p.222~237)の総合テレビ音声と同一	(省略)
15	30:00	伊藤アナウンサー:3時半を回ったところです、引き続きラジオセンターからお伝えしてまいります。お伝えしておりますように、宮城県で震度7の揺れを観測する地震があり、気象庁は午後2時50分に宮城県と岩手県、それに福島県の沿岸に大津波警報を出しました。さらに気象庁は新たに青森県の太平洋沿岸と茨城県の沿岸、それに千葉県の上総半島と外房に大津波警報を出しました。大津波警報が出ている地域の皆さん、河口から離れてください。高台に避難してください。海を見に行くのは危険です。どうぞ	ラジオ分離

		控えてください。大津波警報が出ています。また新たな地震の情報です。これは2時46分頃の地震です。2時46分頃東北地方で強い地震がありました。大津波警報が追加されました。北海道の太平洋沿岸東部、北海道の太平洋沿岸中部、伊豆諸島、北海道の太平洋沿岸西部に大津波警報が追加されました。各地で観測された津波の高さは次のとおりです。これらの津波は駿潮所で観測されたものです。場所によってはさらに大きな津波が到達している可能性があります。岩手県の釜石港で午後3時21分に4メートル20センチの津波が観測されました。また、岩手県の大船渡港で午後3時15分に3メートル30センチ。宮城県の石巻市鮎川で、午後3時20分に3メートル30センチ。岩手県宮古港で、午後3時19分に2メートル80センチ。福島県相馬港では午後2時56分に30センチの津波を観測しています。各地で津波が観測されています。川の河口付近、そして海岸から離れてください。高台に避難してください。	
15	31:58	NHKが釜石市に設置した屋外カメラの映像により、海岸沿いに停めてあった自動車が多数、海水に浸かっている様子が確認できます。車は水に浮いたり押し流されたりしており、周辺ではさらに一部の建物も押し寄せられる波に流されています。大津波警報です。大津波警報が出ています。岩手県の津波到達を確認しました。予想される高さは10メートル以上となっています。大津波警報で予想される津波の高さです。宮城県は津波到達を確認しています。予想される高さ10メートル以上です。福島県で津波到達を確認しています。予想される高さは10メートル以上となっています。また千葉県は九十九里・外房でこちらも津波到達を確認しています。予想される高さは10メートル以上です。また青森県の太平洋沿岸でも津波の到達を確認しました。予想される高さは8メートルです。引き続き、大津波警報が出ている地域です。茨城県もすでに到達と推測されています。予想される高さは10メートル以上です。伊豆諸島もすでに津波到達と予測されています。予想される高さは4メートル。北海道の太平洋沿岸東部もすでに津波到達と推測されています。予想される高さは3メートル。また北海道の太平洋沿岸中部ではすでに到達と推測されています。予想される高さは6メートルです。さらに大津波警報が出ている北海道の太平洋沿岸西部では3時40分が津波到達予想時刻です。いまから6分ほど後になります。予想される高さは4メートルとみられています。	
15	33:50	それでは現在の様子を各地から聞いていきたいと思えます。まず、福島県の南相馬市立小高中学校に電話がつながっています。小高中学校の原中信雄校長と電話がつながっています。原中さん。「はい、どうもどうも」お忙しいところ恐縮です。「いえいえ」地震の揺れはどのように感じましたか。「今はね小康状態になっていますが、落ち着いていますが、あのやはり5分おきくらいにきています。ちょこちょこと」その後も余震がきています。「揺れが来ています」そのときの揺れですけれども、たとえば部屋の中のもの倒れたり、あるいは火が出たりとかはありませんでしたか。「火とかそういうことはないんですが、あの部屋の中の本箱が倒れて本が全部ね、崩れ落ちています。そういう状況です」そうですか。生徒のみなさんはどうでしょうか。「生徒はね、きょう午前中、卒業式でした。きょうは午前で放課したので、子供は校舎に残ってないので幸いでした」そうですか、建物への被害や影響などは出ていませんか。「建物の被害はとくに無いのですが、ただ体育館がちょっと老朽化しているところ、後ろのね、東の壁が崩れたという状況ですね。あとは校舎のまわりに亀裂が入ったということですね」校舎に亀裂が入っていると。「校舎のところの、いわゆる駐車場ですか、玄関前の所がね」校舎の地面ですね。「地面、地面にね、地割れが起こったと」地面に亀裂が入っているということですか。「そういう、その程度です、今のところ」小高中学校は高台にありますか。「高台です」そうですか、そこからあのう、町の様子ですとか海岸線の様子とか見えますか。「見えます。見えますけど家屋が崩壊していることは見えないんですけど、瓦屋根がね、飛んでいるところ、崩れているところあります」瓦屋根が崩れているところがある。あの、町の中で火の手が上がっているような様子はありますか。「それはいいです。今のところは、いいです」そこから海は見えますか。「見えません。見えません。高台にあるのですがね、ちょっと、海からちょっと離れているものですから。特に海は見えないです」そうですか、はい、生徒はいない、ということは今のところ学校関係で生徒の被害などは出ていないということ。「被害者なしです。倒壊によってけがとか死者は出ていないということです」そうですか、わかりました。ありがとうございます。「はい、はいども、はいども」福島県の南相馬市立小高中学校の原中信雄校長に電話で聞きました。	
15	36:05	宮城県で震度7の揺れを観測する地震があり、気象庁は午後2時50分に宮城県と岩手県、それに福島県の沿岸に大津波警報を出しました。さらに気象庁は新たに青森県の太平洋沿岸と茨城県の沿岸、それに千葉県の九十九里浜と外房に大津波警報を出しました。各地で大津波警報が出ています。どうぞ沿岸、そして川の河口付近から離れてください。できれば高台に避難してください。大津波警報が出ています。東北地方の	

		<p>各沿岸に、津波が押し寄せています。どうぞご注意ください。津波の到達を確認しました。岩手県です。予想される高さは10メートル以上となっています。大津波警報が出ている地域の予想される津波の高さです。宮城県はすでに津波到達を確認しています。予想される高さは10メートル以上です。危険です、どうぞ高台に避難してください。川の河口付近そして海岸に近づかないでください。福島県でも津波の到達を確認しています。予想される高さは10メートル以上です。千葉県の九十九里・外房も津波到達を確認しています。予想される高さは10メートル以上となっています。津波は1度だけでなく何度も繰り返し押し寄せます。津波は最初に押し寄せた波よりも第2波、第3波の方が高くなる場合があります。大津波警報、津波警報が解除されるまで海岸付近には近づかないでください。津波は1度だけでなく、何度も繰り返し押し寄せます。引き続き各地で予想される津波の高さです。青森県の太平洋沿岸ですすでに津波到達を確認しました。予想される高さは8メートルとなっています。茨城県でもすでに津波到達と推測されています。予想される高さは10メートル以上です。伊豆諸島もすでに到達と推測されています。予想される高さは4メートルです。北海道の太平洋沿岸東部は予想される高さ3メートル。すでに津波到達と推測されています。北海道の太平洋沿岸中部もすでに到達と推測されています。予想される高さは6メートルとなっています。北海道の太平洋沿岸西部では午後3時40分に津波到達と予想されています。あと1分あまりです。予想される高さは4メートルとなっています。</p>	
15	38:36	<p>2時46分頃東北地方で震度7を観測する強い地震がありました。宮城県北部の栗原市で震度7を観測しています。各地に大津波警報が出ています。青森県の太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、茨城県などに大津波警報が出ています。どうぞ海岸、そして川の河口付近から離れてください。高台に避難してください。海の様子を見に行くのは大変危険です。震度6強を観測した宮城県大崎市の消防本部によりますと、市内でけが人が出ているという救急要請が多数入っているということです。また建物が倒壊しているという情報も複数入っているということです。また、仙台市青葉区宮町では住宅の屋根瓦が落ちたり電柱が斜めに倒れたりする被害がありました。周辺の人たちは家の外に出て不安そうに周囲の様子を確認していました。震度6強を観測した宮城県登米市にある登米市消防本部では午後3時20分現在、5件の救助要請が入っており、このうち呼吸ができない状態だという通報だということです。このうち1件は呼吸ができない状態だという通報だということです。ほかの4件は物が上から落ちてきたり、転んでけがをしたという通報だったということです。</p>	
15	40:13	<p>宮城県で震度7を観測する地震があり、気象庁は午後2時50分に青森、岩手、宮城、そして茨城、千葉県に大津波警報を出しました。すでに各地で津波が観測されています。午後3時40分に北海道の太平洋沿岸西部が津波の到達予想時刻です。いまその3時40分になったところです。予想される高さは4メートルとなっています。宮城県で震度7の揺れを観測する地震があり、気象庁は午後2時50分に青森県、岩手県、宮城県、茨城県、福島県、千葉県にかけて大津波警報を出しました。海岸、そして川の河口付近から離れてください。海岸の様子を見に行くのは大変危険です。高台に避難してください。</p>	
15	41:08	<p>宮城県気仙沼市の情報です。宮城県気仙沼市の危機管理室によりますと、消防から市内の本吉町の大森地内で土砂崩れによって逃げ遅れた人が埋まっているという情報が寄せられました。消防が救助に向かうとともに、情報収集を急いでいます。人数や細かい場所はまだつかめていないということです。宮城県気仙沼市の危機管理室によりますと、消防から市内の本吉町の大森地内で土砂崩れによって逃げ遅れた人が埋まっているという情報が入ったということです。</p>	
15	41:44	<p>NHKが宮城県気仙沼市の気仙沼湾に向かって設置したカメラの映像からは津波が何度も押し寄せているのが確認できます。100トン以上の船が何隻も陸に押し流されています。大津波警報が出されたことを受けて、福島県富岡町では沿岸部の住民に対して避難指示を出しました。青森県の六ヶ所村は、午後3時10分に太平洋沿岸の全ての地域に避難指示を出しました。また青森県の八戸市と三沢市、それにおいらせ町では、午後3時に太平洋沿岸の全ての地域に避難勧告を出しました。大津波警報と津波警報が出ている地域の皆さんにお伝えします。大津波警報が出ている地域で、海岸や川の河口付近、それに海に近い川沿いにいる方は早く安全な高台に避難してください。大きな津波が来る危険があります。津波は湾の奥など地形によっては発表された高さの数倍まで駆け上がる場合があります。また、岩手県の沿岸、そして宮城県北部の沿岸はリアス式の海岸になっています。入り江が深くなっている分、津波がより高くなる危険があります。どうぞ川の河口付近、海岸部から離れてください。できれば高台に避難してください。</p>	

15	43:03	<p>宮城県で震度7の揺れを観測する地震があり、気象庁は午後2時 50 分に青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県にかけて大津波警報を出しました。また大津波警報とともに、ともに津波警報も各地に出ています。では、津波警報が出ている地域です。現在、津波警報が出ているのは千葉県の内房です。すでに到達と推測されています。予想される高さは2メートル。そして相模湾と三浦半島の予想される高さは2メートル。こちらすでに到達と推測されています。静岡県で予想される高さは2メートルです。すでに到達と推測されています。津波警報が出ている地域です。東京湾の内湾も津波警報が出ています。予想される高さ1メートル。津波の到達予想時刻は午後3時40 分ということですから、時間的にはすでに数分過ぎています。また小笠原諸島は予想される高さ2メートルこちらは午後4時が津波の到達予想時刻です。三重県南部にも津波警報が出ています。こちらは到達予想時刻が午後4時ちょうど。予想される高さは2メートル。青森県の日本海沿岸にも津波警報です。4時 10 分頃到達と予想されています。予想される高さは2メートルです。引き続き津波警報が出ている地域です。愛知県の外海が午後4時 10 分頃の到達で予想される高さは1メートル。和歌山県が予想される高さ2メートルで午後4時 10 分頃、到達予想時刻です。そして青森県陸奥湾が予想される高さが1メートルで、午後4時 20 分頃。また伊勢湾・三河湾が予想される高さ1メートルで4時 30 分頃、津波の到達予想時刻です。警報は広い範囲に出ています。高知県にも津波警報が出ています。こちらの津波の予想到達時刻は午後4時 30 分、予想される高さは2メートルとなっています。北海道の日本海沿岸南部で予想の高さが1メートル。4時 40 分頃の到達予想です。徳島県の予想の高さが2メートル。午後4時 40 分頃の到達予想です。そして淡路島南部にも警報が出ています。4時 50 分頃の到達予想で予想される高さは 1 メートルとなっています。各地に出ている津波警報についてお伝えしています。九州宮崎県にも津波警報です。午後5時ちょうどの到達予想時刻で高さは1メートル。愛媛県の宇和海沿岸で午後5時 10 分頃、予想の高さは1メートル。大分県の豊後水道沿岸も予想の高さ1メートルです。5時 10 分頃の到達予想です。そして九州鹿児島県東部で予想の高さが1メートル、午後5時 10 分頃となっています。各地に出ている津波警報です。種子島屋久島地方にも津波警報が出ています。午後5時 10 分頃の到達予想です。予想の高さは1メートルです。奄美諸島・トカラ列島は午後5時 10 分頃の到達予想で予想される高さは1メートルです。大東島地方は予想される高さ1メートルで午後5時 10 分頃、沖縄本島地方は予想される高さ1メートル、午後5時 40 分頃の到達予想となっています。津波警報は宮古島八重山地方にも出ています。午後6時 10 分頃の到達予想で予想の高さは1メートルとなっています。津波は1度だけでなく何度も繰り返し押し寄せます。津波は最初に押し寄せた波より第2波、第3波の方が高くなることもあります。津波警報、大津波警報が解除されるまで海岸付近には近づかないください。</p>	
15	47:05	<p>NHK では津波関係の情報を引き続きお伝えして参ります。気象庁は午後3時半に新たに大津波警報追加して発表しました。そして予想される津波の高さも修正しました。大津波警報が出ている沿岸と、予想される津波の高さは次のとおりです。整理してお伝えします。岩手県と宮城県、福島県、茨城県それに千葉県の九十九里浜と外房が高さ10 メートル以上、青森県の太平洋沿岸が高さ8メートル、北海道の太平洋沿岸中部が高さ6メートル、北海道の太平洋沿岸西部と伊豆諸島が高さ4メートル、北海道の太平洋沿岸東部が3メートルとなっています。また津波警報は、北海道の日本海沿岸南部と青森県の日本海沿岸と陸奥湾、小笠原諸島、千葉県内房と東京湾内湾から沖縄県の宮古島八重山地方にかけての広い範囲に出されています。津波は高いところで2メートルが予想されています。津波は場所によってはさらに数倍の高さになり、何度も押し寄せます。海岸や川の河口付近、海に近い川沿いにいる方、早く安全な高台に避難してください。海岸などに様子を見に行くのは大変危険です。絶対にやめてください。海岸や川の河口付近にいらっしゃる方、海に近い川沿いにいる方、早く安全な高台に避難してください。海岸などに様子を見に行くのは大変に危険です。絶対にやめてください。気象庁は午後3時半に新たに大津波警報を追加して発表しました。予想される津波の高さも修正しています。岩手県と宮城県、福島県、茨城県それに千葉県の九十九里浜と外房で高さ 10 メートル以上と予測されています。また、青森県の太平洋沿岸で高さ8メートル、北海道の太平洋沿岸中部で高さ6メートル、そして北海道の太平洋沿岸西部と伊豆諸島が高さ4メートル、北海道の太平洋沿岸東部が3メートルとなっています。海岸そして川の河口付近から離れてください。</p>	
15	49:16	<p>それでは、仙台放送局の現在の状況について整理してお伝えします。仙台放送局、和田政宗アナウンサーです。「はい。私は仙台放送局から出て、いま震度7を観測しました栗原に向かって車で移動しているところです。地震発生時、私は自宅におりました。</p>	

		<p>鉄筋コンクリート造りの3階建のアパートの1室にいたんですけれども、強い横揺れが1分ほど続きました。まず強い揺れがきまして、そのあと緩やかな横揺れ、これも強い揺れでした。そのあとさらに強くなりまして、家の中の食器、棚からは食器が落ちて、あらかた食器が落ちたような状況でした。私はあの帯広で十勝沖地震を経験しまして、そのとき帯広が震度5弱という震度だったんですけど、それと比べますと、もう、その比ではないというぐらいの揺れでございました。そのあと外に出ましたところ、電柱が傾いている様子がありました。そして屋根瓦が数軒、数軒の屋根瓦が落ちている様子が見えました。外に人が多数出ていましたが、けがをしている様子ですとか、建物自体が倒壊している様子はありませんでした。ただNHK仙台放送局の周りは焦げ臭いにおいが立ちこめていました。住民の人たちは不安そうにNHKの周りですとか、それぞれの家の前に出ているような状況です。そして市内は停電しています。停電している状況で信号もついていません。私が見てきている状況はこのような状況でございます」和田さん、今、移動中ということですが、たとえば道路が波打っているとか、亀裂が入っているとかそういう状況はありますか。「はい、NHKを出ていま5、6分経っておりますけれども、道路に亀裂が入っている状況、建物が倒壊しているような状況はいまのところありません。市の中心部から北側に向かっております。ただ停電の状況は続いています」はい、信号がついていないということですね。「その通りです。電気も全くついていない状況です」車で移動中の方、どうぞ信号がついていないということです。安全運転を心がけてください。仙台放送局の和田アナウンサーに伝えてもらいました。</p>
15	51:28	<p>宮城県大崎市にある大崎地域消防本部によりますと、この地震で少なくとも20人から30人が頭や手足にけがをしたという通報が入っているということです。震度7の揺れを観測した宮城県栗原市の消防本部総務課の野村みきおさんは、通報が多数寄せられていて詳しい状況がわからないが、5台の救急車がいま2往復してけが人を病院に運んでいるので10人以上のけが人がいると思われる。住宅ではタンクが倒れるなどの被害が出ているが倒壊したなどという情報は今のところ入っていないと話しています。震度7の揺れを観測した栗原市の状況です。通報が多数寄せられて詳しい状況はわからないが、5台の救急車が2往復してけが人を病院に運んでいるので10人以上のけが人がいると思われる。住宅ではタンクが倒れるなどの被害が出ているが倒壊したなどという情報は今のところ入っていないということです。そして山形県の情報です。山形市消防本部によりますと山形市の中心部にあるホテル・キャッスルで地震による火災が起きたという情報が寄せられ、消防車が出動しているということです。けが人がいるかどうかはわかりません。山形市中心部のホテル・キャッスルで地震による火災が起きたという情報が寄せられたということです。</p>
15	52:52	<p>次は東京の情報です。東京消防庁によりますと、これまでのところ墨田区、中央区、江東区、大田区、豊島区、荒川区、足立区、八王子市で地震によるものとみられる火事があわせて8件起きているということです。地震によるものとみられる火事があわせて8件起きているということです。墨田区、中央区、江東区、大田区、豊島区、荒川区、足立区、八王子市です。また、他にも火災の通報が多数入っているということです。現在、けが人の情報や被害状況の確認を進めています。その後も余震が続いています。どうぞ火の取り扱いを注意ください。火の元を確認して火を消してください。千代田区によりますと、千代田区九段の九段会館で屋根が崩落し、けが人が出ている模様だということで、現在区役所などが詳細を調べています。東京千代田区の情報です。</p>
15	53:43	<p>福島県いわき市です。福島県南部いわき市の情報です。いわき市消防本部に入った連絡によりますと、いわき市錦町にあるタンクが爆発したという通報があり、現在、詳しい状況を調べています。消防によりますと、けが人が出ているという情報があり、詳しく調べています。今の情報は、福島県いわき市いわき市消防本部に入った情報です。錦町にあるタンクが爆発したという通報があり、現在詳しい状況を調べています。次は神奈川県横浜です。横浜市消防局によりますと、横浜市戸塚区と、戸塚区と旭区であわせて2ヶ所で住宅火災が起きているという通報があり、現在確認にあたっています。横浜市の戸塚区と旭区でも住宅火災という情報があります。各地で火災の情報が入ってきています。どうぞ火の元をご確認ください。余震も続いています。栃木県的那須烏山市を管轄する南那須地区消防本部によりますと震度6弱を観測した那須烏山市では家屋の倒壊や土砂崩れなどの被害が出ているという通報があった。地震によるけが人も複数いる模様だということです。2時46分頃、東北地方で震度7を観測する強い地震がありました。震源は三陸沖です。震度7を宮城県の栗原市で観測しています。現在大津波警報が出ています。津波は1波だけでなく何度も押し寄せる可能性があります。どうぞ海岸、そして川の河口付近から離れてください。高台に避難してください。次は仙台市の情報です。仙台市消防局によりますと午後3時半までに市内で火災が8件</p>

		<p>起きているうえ、救助の要請が5件、救急の要請が 11 件入っているということです。またガス漏れなどの通報も3件入っており、けが人などの情報も多数寄せられているということです。地震が、大きな地震がありますと、ガス管にヒビが入ったりする可能性があります。どうぞ火の元をご確認ください。仙台市消防局によりますと火災が8件、午後3時半現在で、市内で火災が8件起きている上、救助の要請が5件、救急の要請が 11 件入っているということです。また先程、仙台市内の情報によりますと、市内の信号が止まっているという情報がありました。車を運転している方、十分お気をつけください。</p>
15	56:11	<p>気象庁の観測によりますと三陸沖で最初の地震が起きたのは午後2時 46 分頃でマグニチュード 7.9 と推定されています。この地震では宮城県栗原市で震度7の非常に激しい揺れを観測しました。その後、本州の太平洋、太平洋側では大きな地震が相次いで発生しています。午後3時6分頃には三陸沖でマグニチュード 7.0 の地震が起きて岩手県と青森県で震度5弱の揺れを観測しました。そして午後3時 15 分頃にはその南側の茨城県沖でマグニチュード 7.4 の地震が起き、茨城県鉾田市で震度6弱の激しい揺れを観測しました。さらに午後3時 26 分頃には三陸沖でマグニチュード 7.2 の地震が起きて、北日本と東日本の広い範囲で震度4の揺れを観測しています。この後も、津波と地震の揺れに厳重な警戒が必要です。気象庁の観測によりますと三陸沖で最初の地震が起きたのは午後2時 46 分頃でした。マグニチュード 7.9 と推定されています。この地震で宮城県の栗原市で震度7の非常に激しい揺れを観測しました。その後も各地で余震とみられる揺れを観測しています。また、各地から火災の情報なども入っています。火の取り扱いには十分にお気をつけください。津波の第 1 波の予想到達時刻と予想される津波の高さ、改めてお伝えします。あくまで目安です。実際にはもっと早く到達する恐れがあります。海岸や川の河口付近から離れてください。高台に避難してください。大津波警報が出ている地域の予想される津波の高さです。岩手県の予想津波の高さは 10 メートル以上となっています。そして、宮城県で予想される高さが 10 メートル以上、福島県でも予想される高さ 10 メートル以上、千葉県の九十九里・外房で予想される高さ 10 メートル以上、青森県の太平洋沿岸でも予想される高さ8メートルとなっています。さらに大津波警報が出ている茨城県では予想の高さ 10 メートル以上、伊豆諸島で予想される高さ4メートル、北海道の太平洋沿岸東部で3メートル、北海道の太平洋沿岸中部で高さ6メートルと予想されています。川の河口付近そして海岸から離れてください。海岸の様子を見に行くのは非常に危険です。控えてください。大津波警報が出ている北海道の太平洋沿岸西部では予想される高さ4メートルと予想されています。気象庁は午後2時40分頃に起きた三陸沖の、午後2時46分頃に起きた三陸沖の地震のマグニチュードを 7.9 から 8.4 に修正しました。繰り返しお伝えします。気象庁は午後2時46分頃に起きた三陸沖の地震のマグニチュードを 7.9 から 8.4 に修正しました。</p>
15	59:22	<p>気象庁の観測によりますと、三陸沖で最初の地震が起きたのは午後2時46分頃で、マグニチュード 7.9 と最初は発表されましたが、それが先程 8.4 に修正されました。この地震で宮城県の栗原市で震度7の非常に激しい揺れを観測しました。その後も太平洋の沿岸では大きな地震が相次いで発生しています。午後3時6分頃には三陸沖でマグニチュード 7.0 の地震が起きて岩手県と青森県で震度5弱の揺れを観測し、午後3時 15 分には、その南側の茨城県沖でマグニチュード 7.4 の地震が起き、茨城県鉾田市で震度6弱の激しい揺れを観測しました。その南側の茨城県沖でマグニチュード 7.4 の地震が起き、茨城県鉾田市で震度6弱の激しい揺れを観測しました。午後3時 26 分頃には、三陸沖でマグニチュード 7.2 の地震が起きて、北日本と東日本の広い範囲で震度4の揺れを観測しています。各地で余震がきています。この後も津波と地震の揺れに厳重な警戒が必要です。大津波警報が出ています。また内陸部でも予想を超える津波が押し寄せる恐れがあります。十分にご注意ください。海岸から離れたところまで津波が押し寄せる恐れがあります。</p>
16	00:50	<p>山崎登解説委員:とくに川沿い、大きな川の周辺にいらっしゃる方、大きな川から離れてください。津波は海岸や川の河口付近だけではなく、かなり奥深い内陸まで押し寄せることがあります。大きな川沿いに今いらっしゃる方、どうぞ避難をしてください。現在、各地に大津波警報が出ています。予想される津波の高さ 10 メートルを超えるところもあります。どうぞ海岸部、そして川の周辺から離れて、高台に避難してください。</p>

3.4.4. まとめ

東日本大震災は、阪神・淡路大震災以降、わが国で最大の被害をもたらした広域複合災害だが、デジタル化が進み情報通信が発達した現在において、ラジオ放送がどのように防災・

減災に貢献したかを知り、今後役立つヒントを見出そうとした。すなわち、激甚な広域複合災害を経験した放送局が、どのような体制で取材を行い、いかに情報発信し、地域の防災・減災に役だったのか、その過程でどんな工夫をしたのか、片やどのような課題が見出されたのか、そして今後の改善の方向性などについてヒアリングした。

NHK ラジオセンターへの聞き取りでは「15時くらいの時点で、もっと避難の呼び掛けができなかったかと思う。現地からの原稿が途絶えている状況下では、放送をしている側としても、何が起きているのかよくわからないままだった。この段階での基本的な情報は“避難の呼び掛け”なはずなのに、津波到達の第一報が数10センチ程度であったことで迷いが生じた。避難を呼びかけるにしても、パニックを起こすきっかけとなってはいけないので、あまり脅かすような放送はできない。今回もせいぜい『避難をしてください』といった言い方にとどまった。しかし、これでは『一刻も早く逃げてください!』といった気持ちが伝わったかどうか。『逃げろ!』『危険です!』といったより切迫した言い方が必要だったかもしれない。放送を聞いた人が、行動のスイッチを素早く入れる放送とはどんなものか? これからも考えていかなければならない」との話だった。

テレビは映像と音声に加えて画面に文字をダブって情報を付け加えるなど、いま何が起きているかを複合的に伝えるのに適したメディアだが、音声だけのラジオは同時に一つのことしか伝えられない。膨大な情報に埋もれてしま



図 3.14 NHK テレビ画面 (3.11 14:46~15:10)

わないよう、優先順位をつけ、大事なことから伝えるのが原則だ。とくに今回、結果的には津波の規模がただごとではなく、2日前の前震、1年前のチリ地震津波、その他各地での大津波警報などがオーバーだったという住民の刷り込みを覆せる、避難を強く促す明確なメッセージが欲しかった。単に避難を呼びかけても避難をしようとしないう人たちが多いことは以前からたびたび指摘されており、そのあたりの工夫が求められる。

言い直すと、命を救う情報をもっと被災者に届くようにするためには、被災地にいる人々が、自分の命にかかわる大事な情報を聞き逃したり、気づかなかつたりしないように、①大事な情報は優先的に繰り返し言葉で伝える、②分かりやすい表現で伝えることを原則に、気象庁とメディア、自治体などの間で、日頃から情報伝達の打ち合わせと訓練を積み重ね、非常事態に即応できるように備えたい。さらに、かねてから指摘されているとおり、避難に関しては、被災者に呼び掛けが届いてもなかなか直ちに避難行動につながらない問題があり、東日本大震災でも少なからず同様の悲劇が繰り返された。この問題の解決のためには、心理学的な側面からの対応策を含め、さらに検討の余地が残されている。

今まさに多メディア全盛時代だが、いつでも、どこでも、誰にでも接することができるメディアは、結局、昔ながらのラジオしかなかった。これが、災害情報面における今回の災害の大きな教訓のひとつと言えるだろう。



図 3.15 NHK テレビ画面(3.11 15:30~15:50)

4. NHK仙台放送局ヒアリング調査

4.1. 調査概要

- ・日時 2011年12月2日(金) 14:00～16:00
- ・訪問先 NHK 仙台放送局
- ・応対者 局長 菅俊秀氏、放送部長 菅野利美氏、技術部長 西村昌一氏、
放送部報道専任部長 辻村和人氏、放送部編成計画専任部長 芦立広氏、
放送部アナウンス担当部長 羽塚由氏、
技術部企画・総合デスク専任部長 横山一郎氏
- ・調査者 天野篤、天野教義、東方幸雄、三島和子、福長秀彦
- ・調査法 聞き取り

4.2. 調査結果

(1) 菅俊秀 局長

- ・NHK 仙台局は、東北6県を管轄するNHK 東北ブロックの拠点局。
- ・東日本大震災では、災害報道をはじめ、公共放送としての基本的な役割を果たした。
- ・停電などを伴う大災害時には、ラジオなどさまざまな情報伝達方法を用いて伝えねばならないことを再認識した。被災地ではテレビを視ることができない方が大勢居た。



図 4.1 NHK 仙台放送局ヒアリング調査の様子

- ・NHK 仙台局としては、ラジオ放送の強化、災害FM 設立時の協力などを検討している。
- ・地域に密着したラジオとして、来年度、新しいローカル番組を制作したい。
- ・また、臨時災害放送局（コミュニティーFM）の早期立ち上げにどう協力できるか、放送機材および放送内容の連携強化など、具体的な検討を進めている。

(2) 菅野利美 放送部長（テレビ番組制作について）

- ・NHK 仙台局として、東日本大震災の放送には総力をあげて取り組んでいる。NHK スペシャルをこれまで20本以上制作した。うち「果て無き苦闘 巨大津波 医師たちの記録」は「第31回地方の時代映像祭2011」のグランプリを受賞した。
- ・総合テレビの平日12:20～12:45「ひるブラ」等の時間帯には、震災半年まで独自、その後はマルチ編成で東北ローカルの震災関連ニュースを流している。当面この体制を続ける。
- ・NHK 全体としては、東日本大震災プロジェクト「明日へ—支えあおう—」を立ち上げた。ローカルの番組としては、3月20日(日)に「被災地からの声」を総合テレビで開始し、当初はほぼ毎日、5月中旬からは週1回放送している。
- ・11月18日(金)の夜73分間、ローカル放送特番「徹底討論 ふるさと宮城の復興は」を制作、宮城県知事が生出演して視聴者と対話した。好評で12月1日(木)、43分間に短縮して全国放送した。

(3) 芦立広 放送部編成計画専任部長（テレビ放送について）

- 3月11日(金)から1週間は、24時間全国放送で震災報道を続けた。仙台局では中継対応、映像、原稿を出していった。この間、テレビでは多くの時間をローカルにできず、補足する形で「脱」してローカル放送をした。
- 3月19日(土)から全国放送で通常番組が復活した。朝の連ドラと大河ドラマ、ほかに「世界遺産への招待」とか1日に6時間くらい復活した。連続テレビ小説と大河ドラマについては被災地といえどもそういう番組を見てほしいという希望があるかもしれないが、行方不明者が1万人もいて捜索も進んでいる最中、「世界遺産」などは直ちに復活させるような視聴者感情ではないと判断した。よって、19日以降も震災以外の放送をする時間帯は、仙台東北ブロック向けに震災関連の別番組を流した。震災関連ニュース、それに「東北ライフライン情報」という名前の番組で給水所、病院などの生活情報を伝えた。また「被災地からの声」という番組を立ち上げ、避難所からの生の声などを毎日放送した。被災者に役立つような専門家、たとえば医師、防災専門家、ボランティア団体のリーダーらをゲストに呼び、「被災者いま訴えたいこと」というタイトルで放送した。これらの仙台発の独自番組は、多いときには1日12時間にわたった。
- 2週間後3月23日(水)からは、例年、春の選抜高校野球大会の放送時間だが、東北地方のチームが出場している試合や決勝戦を除いて教育テレビで放送し、総合テレビでは震災関連ニュース、被災地関連情報を放送した。この間、教育はマルチ編成として、サブチャンネルで通常の番組を流した。

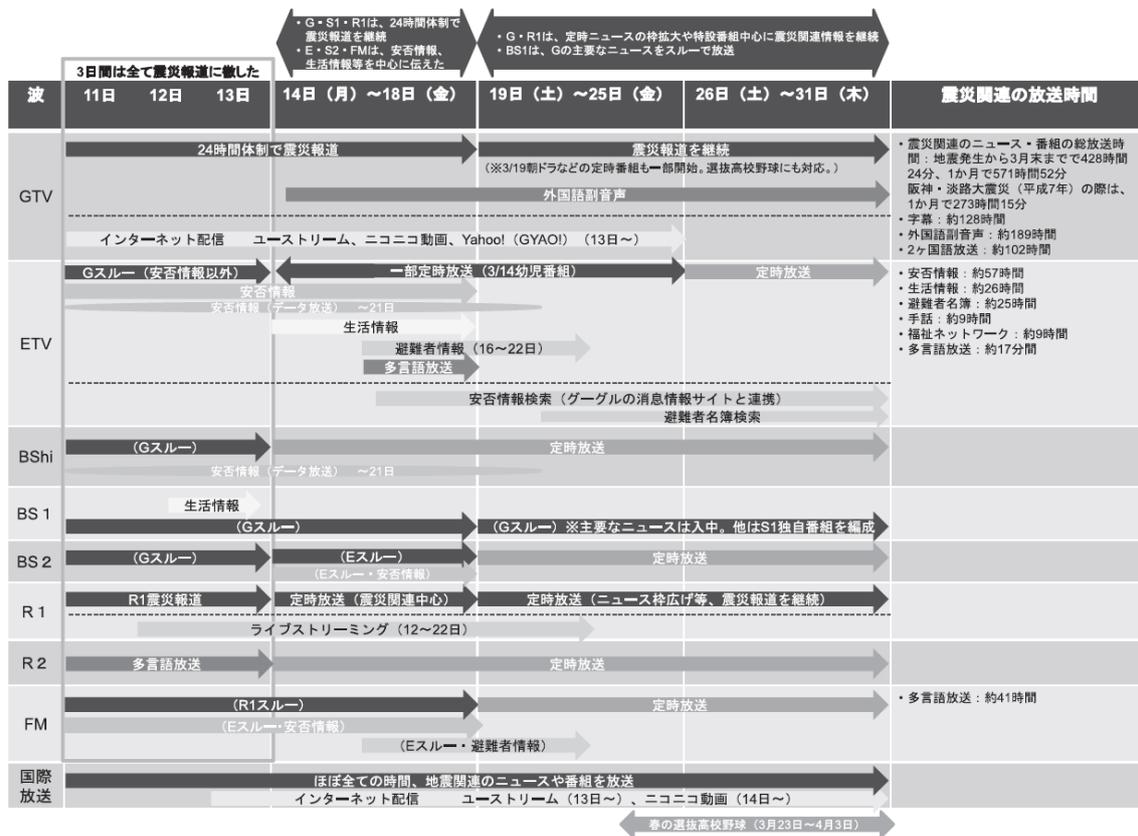


図 4.2 NHK の東日本大震災対応 (出典: NHK 年鑑'11)

- 1ヶ月後から徐々に被災地情報の時間帯を減らしていった。3ヶ月後には夜の時間帯は通常番組に戻っていったが、日中は震災関連の放送を続ける編成を組んだ。
- このほか全国放送で、NHKスペシャル、クローズアップ現代以外にも震災関連のドキュメントなどをかなりの本数、制作放送した。東北ブロック向けの放送だが、全国放送になった番組もある。
- 6月頃から、被災地を勇気づけ、元気づける目的で「歌おう！東北のど自慢」を制作している。簡易カラオケセットを使って、1日で予選と本番を行い、月1回ペースで放送しているが好評で継続している。
- 「被災地からの声」はキャスターに石巻出身の津田アナウンサーを起用した。津田アナは近親者に犠牲者もあり、被災者の立場からの姿勢が共感を呼んでいる。

(4) 羽塚由 放送部アナウンス担当部長（ラジオ放送について）

- 現在の業務は、①東北地方アナウンサーの責任者として全国から応援を集めて、配置を決め、勤務の管理、安全管理を行っている。②ラジオ放送の責任者と、テレビ、ラジオのアナウンサーの責任者を務めるとともに、生活情報の責任者を務めている。
- ラジオは、3月11日は国会中継中だった。14時46分の地震発生とともにテレビと同じ放送（音声）を流した。これは大きな災害があったとき、NHKはテレビ、ラジオの同時放送を流すのが義務（T-Rスルー）。かつ、しばらくの間は強制的に全国放送となり、ローカルの放送ができないQF信号がかかった。
- 仙台局では、QF信号が解除されて後、16時09分に東北ブロック向けの特設ニュースという形で独自放送をスタートした。大津波警報と高台への避難の呼びかけを繰り返した。全国放送でも大津波警報など同じ内容を放送していたので、放送したらちょっと休んで、また原稿が整ったら独自放送をするという、全国放送に放送を重ねていく「上乘せ」という手法で放送した。
- fmいずみ（地元コミュニティFM局）のアナウンサーが、地震発生当日の夕方スタジオを訪ねて来られ、レポートさせて欲しいと言ってきた。fmいずみは停波していたので、泉区からここまでの被害の状況を放送で伝えたいとNHKに出演を求めてきた。また、このアナウンサーは防災士の資格を持っていたので、余震があるたびに放送でどうしたらいいかなどのアドバイスをした。2001年から、NHK仙台局と、東北放送、エフエム仙台、県内のコミュニティFM局で「みやぎラジオプロジェクト」を組織し、次の想定宮城県沖地震に備えて連携を申し合わせ、毎年1回共同でラジオの防災番組を開発してきた。そういう繋がりがあって、このアナウンサーはNHKを頼ってきた。 → 2.1.2. (p.18) 参照
- 数日、東北ブロック向けに特設ニュースを放送した。その後は生活情報、ライフライン情報などを立ち上げることとなった。生活情報は、電気、ガス、水道、病院、JR、高速などを、テレビは1日2時間、ラジオは最大で6時間放送した。
- この生活情報のスタイルは、新潟中越沖地震のあとにアナウンス室が作成した「生活情報スタートキット」に基づき制作した。キットは県域を基本に書かれていて、ラジオは宮城県域を想定して放送した。一方、テレビは、災害が4県にまたがっていること、そして盛

岡局や福島局のパワーを考慮すると独自情報は出せないだろうと判断して、東北ブロック向け（「管中」）を選択した。仙台局の生活情報プロジェクトが、北は青森県から南は福島県までの自治体一つ一つに電話で取材し情報を集めた。このため大規模になり、関連団体、本部からの応援職員、外部プロダクション、OB、東北大学の学生ら 30 人規模でプロジェクトを構成した。結果的には、ブロック向けの放送をテレビで選択したことで、情報のきめ細かさの点では、地域の民放局にかなわなかったのではないかと反省している。

- ・今後に向け、地域の細かな情報を収集し放送していくか、県域でテレビ、ラジオを放送していく。そのために日ごろから視聴者との双方向性が重要でそうした仕組みを日ごろから作っておくこと、いざというときにメール等で情報が寄せられる体制の構築が必要だと思っている。

(5) 辻村和人 報道選任部長（報道統括）

- ・平日日中の発災という時間帯の好条件に恵まれ、日没までに被害状況の把握ができ、取材を進めていったが、大きな被害地域は沿岸部で、そこまで行くのが難しかった。
- ・気仙沼には3月11日の日付が変わるころに到着し、火災を中継した。
- ・南三陸にはその日には行き着けなかった。南三陸沿岸部の取材は13日中から。
- ・仙台市内は200人から300人の遺体があるという情報が入ったが、大津波警報が発令中かつ夜間で取材は不可能だった。翌朝を待った。
- ・今も全国各地から応援を受けている。盛岡、福島含む沿岸7箇所を取材拠点としている。

(6) 西村昌一 技術部部長

- ・地震直後に停電したが自家発電等が起動し、障害は軽微で、放送を続けられた。
- ・ヘリ映像とともにロボットカメラが津波を捉えた。津波警戒のロボットカメラは、お天気カメラと呼んでいるが、太平洋岸に10数箇所設置、会館から電話でリモートコントロールしている。映像はNHK専用のマイクロ回線または電話回線でそれぞれの会館に送っている。停電当初はバッテリーで映像を伝送できた。ただ津波被害で浸水したり、リモコンの電話回線が切れてしまった。2時間から3時間でほぼ全部のロボットカメラの映像が出せなくなったが、それまで津波襲来の映像を撮影することができた。たまたま昼間の災害だったが、もし夜間であれば映像は出せなかった。今後は長い時間使えるように電源の強化が必要だ。
- ・局間電話網は生きていて、仙台ー東京は生きていた。しかし出先の中継現場などがダメだった。3年前の岩手・宮城内陸地震の経験から衛星電話をかなりの台数配置していたが足りなかった。衛星携帯電話も地上の有線系が障害を受けると問題があった。通信系の強化が必要だと実感した。
- ・幸運なのは放送用アンテナ、親局の送信所（その下に約100ヶ所の送信所がある）が無事で助かった。このため放送機能が確保できた。ただ直後は衛星放送を放送所で受信して出すことも検討した。



図 4.3 大年寺山のテレビ塔（中央がNHK）

(7) 横山一郎 技術部企画・総合デスク選任部長

- ・会館屋上にある CS アンテナは無事だった。しかし、会館屋上のペントハウスの土台部分が地震で破壊され、ペントハウスが CS アンテナ側に傾いていた。CS アンテナを保護するため、ペントハウスが倒れないように工事をした。
- ・全局が停電したとき自家発電装置を稼働させた。しかし燃料が何日も持たない、早いところは翌日の夕方尽きてしまう。仙台もそのあと数時間しか燃料が持たない。燃料の灯油の手配に追われた。局間電話で応援を頼んだ。東北ブロック内では鶴岡から翌 12 日昼過ぎにギリギリ到着した。その後、名古屋、大阪からも燃料が届いた。停電は翌 12 日夜 7 時ごろ復帰した。放送用アンテナ、マイクロ回線等は軽油自家発電で対応できた。
- ・地震に対しては事前訓練でモニター系の表示システムを開発してきた。しかし、電源系、回線ルート、衛星携帯電話などの連絡系などの整備強化が必要だ。
- ・ロボットカメラを安全な地域に再配置を進めている、年度いっぱいには完了予定。
- ・安全管理として、全国からの応援の安全管理、福島放射性物質対策も進めている。

(8) 質疑応答

- Q. ロボットカメラ等放送設備の被害状況について、3 県の太平洋側でバッテリー切れ、倒壊など 31 台中 23 台ダウンしたというが？
- A. 内陸部も含め全部で 31 台、青森から福島まで沿岸部には 13 台あった。女川は施設自体が津波で流された。大船渡は設置していたビルが津波で損傷し、使用不能に。他はバッテリー切れや、電話線が不通になった。電話は B フレッツ（光回線）と自営マイクロと二重化してあった。しかし、IP に使用している B フレッツは地震でほとんどダウンした。自営マイクロ回線は生きていたので中間点で映像を切り替えて放送した。しかし、沿岸部のカメラは八戸（水産会館で非常電源があった）を除き、夕方にはすべてダウンした。東京は IP 回線=B フレッツで全国のロボットカメラが見られる。
- Q. 親局および中継局の被害状況は？
- A. 仙台市の大年寺山のデジタルおよびアナログ放送用アンテナは無事。中継局は電話回線、携帯電話で監視していたが電話がダウンしたため、約 100 箇所の中継局を人海戦術で見てもわかって電波が出ているかどうかを確認した。約 100 のうち損傷したのは 3 割ほどだった。
- Q. 地震発生時の様子は、初動の判断は？
- A. 緊急地震速報とほぼ同時に上下動があり激しい横揺れに変わった。横揺れは長く、立ってられなかった。とにかく長い揺れだった。仙台は震度 6 弱、ほとんどの者が宮城県沖地震が起きたと思ったが、それにしても長い揺れだと感じた。大津波警報では予想される津波が 6 メートルとあったが、宮城県沖地震の津波は 6 メートルとは思っていなかった。震度 7 が栗原で出たので栗原に第一陣の取材クルーを出した。電話はまったくダメで、災害時優先電話も使えなかった。原稿支援システムは使えた。津波の場合は沿岸部から中継することになっていたののでポイントに向けて中継車を向かわせたが、被害の大きい所に変更した。衛星中継車は気仙沼に向かった。

Q. 「二波出し」、全中「脱」、「管中」、「マルチ編成」については？

A. NHK は災害報道については「マルチ編成」しない、できないことになっている。

「ひるブラ」の12時20分から12時43分は、被災地情報を「管中」している。当初はメインのチャンネルでローカルの震災関連ニュース、サブのチャンネルで「ひるブラ」などの全国放送としたが、9月からはメインがネット番組、サブはローカル番組に変更した。

ローカルニュース枠のなかでは、3月12日から07時57分から3分間のローカルニュース、08時10分～08時33分のローカルで被災地関連ニュースを放送した。

なおアナログ放送は、メインのチャンネルだけが視聴できた。

Q. 16時09分にラジオのローカル放送を開始して何を伝えたか？

A. 全国放送は15時30分から伊藤アナウンサーが放送していたが、伊藤アナは東北地方をよく知っていることと、仙台にも独自情報はなかったので、いつ「脱」して独自放送に踏み切るのが悩みだった。そこで、気象庁記者会見の間に判断して独自情報をスタートした。気象庁会見の内容は津波について常備している呼びかけ文を放送しているだけだった。高いところに避難していて津波が到達している段階なのに、会見は悠長な感じがし、独自放送を決断した。16時09分から17時00分まで仙台発の放送をした。17時20分から17時43分まで上乘せした。正時には全中に戻し、準備が整ったら独自放送を繰り返した。ラジオにも原稿支援システムは入っている。

Q. cFM局への協力は独自判断なのか？

A. 独自判断だ。f m いずみの人自分が自分（羽塚氏）のところに来て、見てきたことを話してもいいかというので、どうぞと判断した。仮に東北放送が停波してNHKに来ても同じ対応をした。年に1回名刺を交換して顔を知っていたので。

Q. 停電で、テレビを見ることができない。ラジオに頼ったわけだが？

A. 振り返ってみれば、被災者にとってラジオが頼りだったと思うが、その時は手一杯で思いつかなかった。それに、当時はこんなに広範囲で停電しているとは思ってもよらなかった。

Q. 「仙台ライフライン防災情報ネットワーク」（東北大学・NHK仙台局・東北放送・仙台放送・宮城テレビ・東日本放送・エフエム仙台・仙台市総務局・仙台市消防局・仙台市水道局・仙台市ガス局・東北電力・NTT東日本・JR東日本・仙台市医師会・仙台管区気象台、図4.4参照）が生きていれば？

A. 連絡手段はパソコンのメール（やファクス）なので、回線の問題があったと思う。

Q. 生活情報スタートキットとは？

A. 配布されたCDを起動すると、①情報収集にはどういう体制を作るか、②どういう情報をとればいいのか、③放送の雛形原稿などが入っている。情報を打ち込んでプリントアウトし、テレビ、ラジオ、データ放送など各部署に配布して放送した。ただし、マニュアルはこれだけ大きな災害は想定しておらず、県域が前提だった。このためライフライン情報の収集に人手がかかった。

委託研究 「災害放送研究」プロジェクト
(平成8年4月～平成11年3月)

HBFのあゆみに戻る

平成7年1月の阪神・淡路大震災の半年後、放送文化基金は大震災時の電気・ガス・水道などライフライン各社と、報道機関の体験を証するシンポジウムを開催しました。震災直後の混乱の中、ライフライン各社に報道機関の取材が何社も集中し、さらなる混乱が発生する事態が起こったことなど、様々な問題点が報告され、災害時、最も重要なライフライン情報をスムーズに伝えるために、日常的な両者の連携システムを形成する必要性が明らかになりました。

基金ではプロジェクトを発足させ、委託研究として、全国各地で放送局・ライフライン・行政への聞き取りを行う現地調査、さらにその現地調査を踏まえ、震災を経験した放送局やライフラインの体験を直接聞き、地域内の情報交換を行う地域研究会を各地で実施しました。その結果、全国5つの地域でマスコミとライフラインのネットワークである研究会や連絡会が発足し、基金はそれぞれに助成援助を行いました。その後、各地の活動をとりまとめた全国的なネットワークも形成され、活発な活動が続けられています。

---委託研究「災害放送プロジェクト」への取り組み---

平成7年 (95年)	1月	阪神・淡路大震災が発生(1/17)	
	7月	シンポジウム～阪神大震災の検証「ライフライン情報と放送の役割」を開催(大阪7/18) 全国から600人が参加。記者や広報担当から生の体験をきく	
	8月	<阪神地区>共同研究プロジェクトが活動開始 「大規模災害発生時におけるライフライン情報と放送の役割」	
	10月	シンポジウム記録『あの日、あのとき何ができて、何ができなかったか』を発行	
平成8年 (96年)	4月	委託研究「災害放送研究」プロジェクト専門部会活動開始(4/10) (96年4月～3月まで3年間)	
		研究委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第一専門部会(取材) ・第二専門部会(放送) 左記の部会を設置するが4ヶ月後専門部会はひとつに

---活動内容---

年	月	現地調査	地域研究会	各地域研究会・連絡会	成果・発行物
平成8年 (96年)	10月	被災地神戸へ現地調査		KANSAIライフライン・マスコミ連絡会	
	12月	静岡、山形、新潟へ現地調査			
平成9年 (97年)	7月	札幌、鹿児島へ現地調査			
平成10年 (98年)	11月		地域研究会・静岡→(11/6)	静岡マスコミ・ライフライン研究会	<現地調査報告書> 鹿児島/北海道/静岡/新潟/山形
	1月	東京(首都圏)現地調査			
	2月	中国、四国現地調査			
	3月		地域研究会・札幌(3/10) 地域研究会・鹿児島→(3/27)	鹿児島ライフライン・マスコミ研究会	
	5月		地域研究会・松山→(5/29)	えひめライフライン・マスコミ連絡会	
	6月	東北現地調査			
平成11年 (99年)	9月		地域研究会・仙台→(9/18)	仙台ライフライン防災情報ネットワーク	HBFシリーズ4 『いのちと生活を守る情報を』
	4月～5月	アメリカ調査(4/29～5/9)			アメリカ調査報告書『地震をやっつける』
平成12年 (2000年)	10月	AMIC災害放送セミナー参加(バンコク・10/12～15)			
	1月				国際シンポジウム(東京)「大災害時におけるライフライン情報と放送の役割」を開催(1/14) HBFライブラリー1『災害』

災害情報学会発足(1999年4月)
研究者、行政、マスコミ、ライフラインの人々の集まり
●会長 廣井脩

日本災害情報ネットワーク設立
(他の4地域をまとめた形で)
<組織>
●代表世話人 松井一洋
(現KANSAIライフライン・マスコミ連絡会事務局長)
●世話人 各地連絡会幹事長
●顧問 廣井脩
(東京大学教授・災害情報学会会長)

図 4.4 「仙台ライフライン防災情報ネットワーク」と(公財)放送文化基金、廣井脩教授、日本災害情報学会の関わり
(出典:放送文化基金ホームページ <http://www.hbf.or.jp/about/pickup/history/itaku5.html> 2014/5 参照)

4.3. まとめ

菅局長の「3月11日の東日本大震災では、NHK 仙台放送局としては、ヘリコプター取材などにより基本的な役割を果たすことができた。しかし、震災の被災地では停電でテレビを視聴することができない方がほとんどだった。震災後、宮城県内の方々から『NHKのテレビ報道で伝えられた津波の恐ろしさを視聴することができなかった』という話をお聞きした。現実に色々なメディアも出てきているので、情報入手する方法だけでなく、ラジオなど様々な情報伝達方法を用いて、地元で必要としている人たちに届けることを考えて行かなければならないと再認識した」という話が、当時を端的に言い表していた。

テレビは、避難の呼びかけの連呼に始まり、取材や災害報道に総力を上げて奮闘するとともに、その後の復旧・復興に向けた被災者支援、追跡・検証番組制作などに精力的に取り組み、所定の成果をあげた。仙台局は、当初は「全中」に素材提供することが主要ミッションとなり、数日経て東北ブロックの「管中」でマルチ編成なども活用しながらローカル番組を放送しはじめた。

ラジオに関しては「管中」「県域」で生活情報などを伝えたが、地元の民放局は自主編成時間が長く中継番組やそのための専用中継車を持っていることから、キメ細かさではNHKが及ばなかった。また地元民放局は、日頃から番組を通じてメールなどによる視聴者との双方向回路ができていて、それが草の根の情報収集につながった。NHKも平常の番組の中でメールを活用するなど、視聴者との双方向性を生かせるような仕組みを考え、もっと地域に密着した情報を出していきたいとの話だった。

また、NHKは当初8波全中(QF、T-Rスルー)となったが、その後状況に応じて全国放送の定時番組を一時中断してローカル放送を出す「上乘せ」をするなど、地域のニーズに応えようと努めた。

その他の教訓としては、取材時、天カメ、送信所など、さまざまな場面でダメージを与えた長時間かつ広域に及んだ“商用電源断、電話(通信)回線断”への備え(燃料を含む)の必要性が特筆された。

NHKは、被災地の復旧・復興、ひいては日本全体が元気になるよう願って積極的に支援を行う東日本大震災プロジェクト「明日へ—支えあおう—」を立ち上げ、放送やWeb、イベントなどを通じて被災者を支援するとともに、日本全体が支えあって難局を乗り切るためにできることを総力をあげて進めている。年末年始、そして3月11日に向け、震災報道に努めていきたい、という宣言がなんとも頼もしかった。



5. テレビ番組録画調査

2011年3月11日14時46分から日没を迎えるまでの3時間余り、初動段階でテレビが何を伝えたのか、調査協力が得られた在京民放キー局（日本テレビ、TBS テレビ）とNHK総合の放送内容を文字起こした。

テレビは、全国、そして世界へ向けて、東日本大震災の最新の事態、津波の惨状などをつぶさに伝えた。報道特番が素早く立ち上がり、住民に対する避難の呼びかけ（具体性はともかくとして）も繰り返し行われた。しかし残念なことに被災地内では地震直後から大規模な停電が続き、テレビを視れるのは限られた人だけだった。また、東京電力福島第一原子力発電所事故に関する報道は、住民の生命と健康を最優先で守るべきという観点からは、あまり褒められた中身ではなかった。

そして、ここでは取り上げないが、国内観測史上最大規模の地震による災害の真相を明らかにして教訓を後世に残そうとする深堀り報道、復興に向けて被災者に寄り添い、励まし、助けあおうと指向するドキュメンタリー番組など、長期的なフォローも鋭意なされている。とくに熱心なNHKをはじめ、テレビ各局の一連の取り組みに対し敬意を表したい。

5.1. NTV

3月11日14時48分から18時にかけての日本テレビの録画を確認した。放送された音声と文字テロップをタイムラインで示すと表5.1となる。NTVの初期報道の特徴は、①立ち上がりが早かった、②早い時刻に陸を襲った宮古の大津波をライブ映像で流した、③翌日以降だが、東電福島第一原発事故の爆発映像を唯一、系列の福島中央テレビが無人カメラで捉えた、などだ。現地の系列局としては、福島中央テレビ、ミヤギテレビ、テレビ岩手などが登場した。ゲスト解説の専門家は、17:06～渡辺実氏（まちづくり計画研究所）だった。

表 5.1 日本テレビ（2011年3月11日 地震発生から17時台）

時	分/秒	テレビ音声	テロップ	備考
14	48:05	宮根:石原都知事の会見が行われる都庁にはナカヤマさんがいます。さあ、ナカヤマさん。		情報ライブ 「ミヤネ屋」 スタジオ 中継・東京 都庁 地震速報
	48:14	ナカヤマ:はい。今、ちょっと、地震でしょうかね。少し揺れている感じがしますけれども。 宮根:地震。		
	(48:30)	ナカヤマ:ええと、少し場内揺れてますね。 男性:そりゃ、都庁も揺れるわな。 ナカヤマ:少し大きめの揺れですよ。3から4くらいでしょうか。 宮根:今、何階。 ナカヤマ:今、6階ですね。かなり大きな横揺れになってます。このあとまもなく、石原都知事の会見ということになります。	NNN地震速報 ただいま、東京で地震とみられる揺れを感じました。	
14	48:38	CM		CM
14	49:38	豊田:今、東京の報道フロアが相当...揺れています。大丈夫ですか。ちょっと今、危険な状態ですので、今...		報道フロア
14	49:49	CM		CM中地震速報
	(50:22)		NNN地震速報	
14	50:49	宮根:強い地震があったようですが、豊田さん、今しゃべれますか。	午後2時46分頃、次の地域で震度7の地震がありました。	スタジオ
14	50:52	豊田:大変な揺れが起きています。ちょっと今あの、報道フロアもですね、相当な揺れがありました。私もあの、足もと、相当開いて立っていないと、非常に立っているのが困難な状況になっています。	震度7 宮城北部 震度6強 宮城中部、福島中通り、福島浜通り、茨城北部 震度6弱 岩手沿岸南部、岩手内陸北部、岩手内陸	報道フロア

14	51 : 04	<p>宮根：豊田さん、大阪も。</p> <p>豊田：今届いている情報をお伝えします。今。</p> <p>宮根：大阪もすごい揺れてましたよ、今。</p> <p>森若：15秒ほど前ですかね。</p> <p>豊田：皆さん、安全の確保をまず、安全をお願いします。</p> <p>宮根：大阪も。</p> <p>男性：うわあ、ちょっと</p> <p>男性：こりゃやばい。</p> <p>宮根：危ないですね。</p>	<p>南部、宮城南部</p> <p>震度5強 岩手沿岸北部、秋田内陸南部、山形村山、福島会津</p> <p>震度5弱 青森三八上北、山形庄内、山形最上、山形置賜</p>	<p>スタジオ</p> <p>報道フロア</p>
14	51 : 15	<p>豊田：火の元ですとか、あるいは上から落ちてこないかきちんと、皆さん、身の安全を確保してください。</p> <p>男性：うわあ。</p> <p>宮根：ああ。あの、豊田さん、大阪も今、相当揺れてますよ。</p> <p>豊田：そうですか。東京も今、つい先ほど、縦揺れから大きな横揺れに変わりました。</p> <p>宮根：大阪はずっと今、横揺れですね。</p> <p>男性：気持ちわる。</p> <p>森若：この映像は今、日本テレビの映像ですね。</p> <p>宮根：日本テレビですね。</p> <p>男性：日本テレビ。</p>		
14	51 : 35 51 : 55	<p>豊田：皆さん、身の安全を確保してください。火の元、それから、ええ、上から物が落ちてこないか。</p> <p>男性：何かマニュアル持ってんの。</p> <p>豊田：あるいは、家族の皆さんの状況はきちんとできているか、身の安全を確保してください。テーブルの下、それから机の下に潜るなどして、身の安全を図ってください。</p> <p>51 : 55 外に出る場合は、落ちてくる物に十分にご注意ください。揺れが小さくなったら、火を消してください。揺れが小さくなったら、火を消すように気を付けてください。また、海の近くの人は念のため高台に逃げるなど、津波にもご注意ください。車を運転している人はスピードを落とし。</p>		<p>地震発生時</p> <p>報道フロア</p>
14	52 : 13 52 : 17 52 : 27 (52 : 31)	<p>女性：あの、はけられる人はライトからはけてください。</p> <p>52 : 17 豊田：津波警報が出ていますね、今。津波、大津波警報が出ています。ご覧の宮城県沖、太平洋側ですね、大津波警報が出ていますのでくれぐれもご注意ください。</p> <p>52 : 27 現在、ご覧のように大津波警報が出ています。大津波警報が宮城県の太平洋岸、沿岸に出ています。くれぐれも皆さん、身の安全を確保してください。大津波警報が宮城県、太平洋側、こちら宮城沖で出ています。十分にご注意ください。</p>	<p>津波情報</p> <p>午後2時49分、気象庁は大津波・津波警報、注意報を発表</p> <p>大津波警報：岩手県 すでに津波到達か 3m予想</p> <p>大津波警報：宮城県 午後3時0分 6m予想</p> <p>大津波警報：福島県 午後3時10分 3m予想</p> <p>津波警報：千葉九十九里・外房 午後3時20分 2m予想</p>	<p>津波情報</p>
14	52 : 45 52 : 48	<p>宮根：まだ、東京は揺れが続いてますね。</p> <p>52 : 48 豊田：はい。気象庁はですね、先ほど、大津波、津波警報、注意報を発表しています。大津波警報が出ているのは岩手県、宮城県、福島県、津波警報が出ているのは千</p>		<p>中継・東京</p> <p>上空</p>

14	53 : 37	<p>葉九十九里、外房、そして伊豆諸島、茨城県、北海道太平洋中部、青森太平洋沿岸、そして津波注意報が出ているのは茨城内房、北海道太平洋東部、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋西部、小笠原諸島、三重南部、青森日本海沿岸、愛知外海（がいかい）、和歌山県、高知県、徳島県、宮崎県、種子島・屋久島地方、奄美・トカラです。</p> <p>非常に多くの地域で今、津波、大津波警報、それから津波注意報、警報、出ていますので、くれぐれもご注意ください。今、揺れがありまして、相当、報道フロア混乱しているんですが、皆さんも身の安全を確保してください。</p>	<p>津波警報：伊豆諸島 午後3時20分 1m 予想 津波警報：茨城県 午後3時30分 2m 予想 津波警報：北海道太平洋中部 午後3時30分 1m 予想 津波警報：青森太平洋沿岸 午後3時30分 1m 予想 津波注意報：千葉内房 午後3時20分 0.5m 予想 津波注意報：北海道太平洋東部 午後3時30分 0.5m 予想 津波注意報：相模湾・三浦半島 午後3時30分 0.5m 予想 津波注意報：静岡県 午後3時30分 0.5m 予想</p>	
14	53 : 54 54 : 10	<p>宮根：豊田さん、大阪もまだ揺れてます。 豊田：はい。今、大阪も揺れてますか。東京は今... 森若：煙が上がってますね。 宮根：これ、どっか、煙が上がってますね。お台場ですね。 豊田：今ちょっと、映像ご覧いただけますか。 アナ：東京お台場のフジテレビのあたりですが。 宮根：フジテレビの後方かな。 アナ：フジテレビの奥にはですね、広場などがありまして、また、あそこのあたりはですね、貨物船などが停泊している港であります。今、レインボーブリッジの奥を見えていますけれども、羽田空港の奥にですね、今カメラを移しました。今、都内の方にカメラを向けているところですが...</p>	<p>津波注意報：北海道太平洋西部 午後3時40分 0.5m 予想 津波注意報：小笠原諸島 午後4時0分 0.5m 予想 津波注意報：三重南部 午後4時0分 0.5m 予想 津波注意報：青森日本海沿岸 午後4時10分 0.5m 予想 津波注意報：愛知外海 午後4時10分 0.5m 予想 津波注意報：和歌山県 午後4時10分 0.5m 予想 津波注意報：高知県 午後4時30分 0.5m 予想 津波注意報：徳島県 午後4時40分 0.5m 予想 津波注意報：宮崎県 午後5時0分 0.5m 予想 津波注意報：種子島・屋久島地方 午後5時10分 0.5m 予想 津波注意報：奄美・トカラ 午後5時10分 0.5m 予想</p>	中継・東京 汐留 お台場
14	54 : 35	<p>宮根：すいません。あの、大津波警報が出ておりまして、今、宮城県は午後3時でした。 森若：3時前ですね、まだ。 宮根：今、上にスーパーがありました、大津波警報、もう一度繰り返していただけますでしょうか。</p>	<p>大津波・津波警報の沿岸では、直ちに安全な場所 に避難して下さい</p>	
14	54 : 48 55 : 10	<p>アナ：はい。大津波警報が出ています。画面の右下にですね、太平洋沿岸を中心に黄色いラインが津波注意報、そして赤いラインが津波警報、そしてピンクのラインが大津波警報です。大津波警報が太平洋の、そして北陸あたりの沿岸に出ています。津波警報が赤いライン、関東地方にもかかっています。 森若：フジイキャスターがお伝えしていますように、午後2時49分です、気象庁は大津波、津波警報を発表しました。まず、大津波警報が出ていますのは岩手県、宮城県、福島県、津波警報が出ているのは千葉の九十九里浜、伊豆諸島、茨城県、北海道の太平洋中部、青森太平洋沿岸、津波注意報が出ていますのは、千葉の内房、北海道太平洋東部、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋西部、小笠原諸島、三重南部、青森日本海沿岸、愛知の外海（そとうみ）、高知県、徳島県、宮崎県などとなっています。</p>		地震発生時 渋谷・情報 カメラ

14	56 : 04	アナ：現在、女川原子力発電所の現在の映像をご覧いただいています。カメラについて水滴の奥に少し煙が見えるかもしれません。こちらは MMT ミヤギテレビです。		ミヤギテレビ
	56 : 14	森若：はい。つながったようですね。どうぞ。		
14	56 : 15 (56 : 15)	柳瀬：...ミヤギテレビ、仙台市宮城野区にありますミヤギテレビのスタジオからお伝えします。先ほど、午後2時46分頃、非常に大きな揺れを感じました。宮城県では、宮城県北部で震度7の地震を観測しています。また、宮城県中部などで震度6強を観測しています。現在、宮城県の沿岸には大津波警報が発令されています。宮城県の沿岸は、午後3時に津波が到達する予想となっています。これは、先ほど、地震の直後のミヤギテレビ報道フロアの様子です。ミヤギテレビ報道フロアの地震直後の様子です。また、今も揺れを感じています。ミヤギテレビのスタジオ、また揺れを感じています。余震です。余震を感じています。	NNN地震速報 午後2時46分頃、地震がありました。 全国の市町村震度 震度7 栗原市 震度6強 涌谷町、登米市、大崎市、名取市、蔵王町、山元町、仙台宮城野区、塩竈市、東松島市、大衡村、白河市、須賀川市、二本松市、鏡石町、檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、筑西市、銚田市、大田原町、宇都宮市、真岡市、高根沢町、	地震速報 地震直後の ミヤギテレビ 報道フロア
	57 : 04	午後2時49分、宮城県の沿岸に大津波警報が発令されています。宮城県では、震度7を北部で観測しています。岩手県の沿岸から宮城県、福島県の沿岸に大津波警報が出されています。午後3時に津波が到達する予想となっています。沿岸の方は、直ちに高台に避難してください。沿岸にいる方は、直ちに高台に避難してください。午後3時に、大きな津波が到達する予想となっています。	震度6弱 大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、気仙沼市、南三陸町、白石市、角田町、岩沼市、大河原町、宮城川崎町、亘理町、仙台青葉区、仙台若林区、仙台泉区、石巻市、松島町、利府町、大和町、富谷町、郡山市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村、中島村、矢吹町、棚倉町、玉川村、浅川町、小野町、田村市、福島伊達市、いわき市、相馬市、広野町、川内村、	
	57 : 38	現在ご覧いただいているのは、地震直後のミヤギテレビの報道フロアです。そして、こちらは、宮城県の沿岸、女川町にあります女川原子力発電所の現在の様子です。女川原子力発電所の現在の様子をご覧いただいています。女川原子力発電所に関する情報は、今のところ入ってきていません。スタジオはまだ揺れています。	飯館村、南相馬市、猪苗代町、水戸市、高萩市、ひたちなか市、東海村、常陸大宮市、小美玉市、土浦市、石岡市、取手市、つくば市、茨城鹿嶋市、桜川市、那須町、那須塩原市、芳賀町、那須烏山市、栃木那珂川町、桐生市、宮代町、成田市、印西市、	
	58 : 10	アナ：宮城県のスタジオはまだ揺れています。地震に関して(?)、お伝えしました。 午後2時46分頃、震度7の...たのは宮城県の北部、震度6強が宮城県の中部、福島中通り、福島浜通り。	震度5強 八戸市、東北町、五戸町、階上町、おいらせ町、宮古市、山田町、盛岡市、八幡平市、北上市、遠野町、福島会津、平泉町、宮城加美町、色麻町、柴田町、丸森町、七ヶ浜町、秋田市、大	
	58 : 31	また、ミヤギテレビのスタジオは揺れを感じています。今度は縦揺れです。今度は縦揺れです。現在、宮城県の沿岸、大津波警報が発令されています。また、非常に大きな揺れを感じています。縦揺れと、そして横揺れが合わさったような揺れを、今感じています。最初に地震が発生したのは午後2時46分です。そこから現在、15分弱が経過していますが、ミヤギテレビのスタジオではまだ揺れを感じている状態です。	仙市、上山町、中山町、尾花沢市、米沢市、福島市、大玉村、天栄村、泉崎村、矢祭町、石川町、平田村、古殿町、三春町、本宮町、葛尾村、会津若松市、喜多方市、磐梯町、会津坂下町、湯川村、会津美里町、常陸太田市、古河市、竜ヶ崎町、八千代町、守谷市、坂東市、稲敷市、常総市、つくばみらい市、日光市、矢板市、佐野市、鹿沼市、	
	59 : 04	県内の各港では現在、船が沖に向かって避難を始めています。宮城県の沿岸には現在、大津波警報が発令されていて、もうまもなくになりますが、津波の到達予想時刻は午後3時となっています。	小山町、上三川町、益子町、茂木町、岩舟町、栃木さくら市、下野市、沼田市、前橋市、高崎市、渋川市、群馬明和町、群馬千代田町、大泉町、邑楽町、熊谷市、行田市、加須市、東松山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、久喜市、吉見町、川口市、春日部市、草加市、戸田市、三郷市、幸手市、吉	
	59 : 21	アナ：柳瀬さん。		

		柳瀬：こちらは、女川原子力発電所の現在の様子です。大津波警報、午後3時に津波が到達する予想となっています。海の近くにいる方は、直ちに高台に避難してください。海の近くにいる方は、直ちに高台に避難してください。まもなく、津波の到達予想時刻です。まもなく、津波の到達予想時刻の午後3時になります。海の近くにいる方は...	川市、川島町、白岡町、杉戸町、さいたま中央区、東金市、旭市、千葉神崎町、多古町、白子町、香取市、山武市、千葉中央区、千葉花見川区、千葉若葉区、千葉美浜区、野田市、佐倉市、習志野市、柏市、八千代市、浦安市、白井市、千葉栄町、鋸南町、東京千代田区、東京江東区、東京中野区、東京杉並区、東京荒川区、東京板橋区、東京足立区、東京江戸川区、新島村、横浜中区、川崎川崎区、寒川町、二宮町、中央市、忍野村	
14	59 : 42	アナ：日本テレビのスタジオから震度などをお伝えして参ります。日本テレビのスタジオから震度などをお伝えして参ります。震度7が宮城県の北部、震度6強が宮城県の中部、福島県の浜通り、そして茨城県北部、茨城県南部、震度6弱が岩手沿岸南部、岩手内陸北部、福島の会津、栃木県の北部、栃木県南部、千葉県の北西部、震度5強が青森県三八上北、岩手県沿岸北部などとなっています。	震度5弱 十和田市、野辺地町、七戸町、六戸町、三戸町、青森南部町、久慈市、普代村、野田村、二戸市、雫石町、葛巻町、岩手町、軽米町、柴波町、多賀城市、井川町、由利本荘市、横手市、鶴岡市、酒田市、三川町、遊佐町、庄内町、新庄市、最上町、舟形町、大蔵町、戸沢村、村山市、天童市、東根市、山辺町、河北町、大石田町、南陽市、高島町、山形川西町、白鷹町、塙町、鮫川村、下郷町、西会津町、柳津町、南会津町、利根町、塩谷町、栃木市、西方町、壬生町、野木町、中之条町、伊勢崎市、太田市、館林市、安中市、吉岡町、板倉町、みどり市、本庄市、嵐山町、埼玉美里町、上里町、川越市、狭山市、上尾市、越谷市、蕨市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、八潮市、富士見市、蓮田市、坂戸市、鶴ヶ島市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、松伏町、さいたま浦和区、秩父市、横瀬市、銚子市、茂原市、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、睦沢町、長生村、匝瑳市、横芝光町。千葉稲毛区、千葉緑区、市川市、船橋市、松戸市、市原市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、千葉酒々井町、富里市、館山市、木更津市、君津市、いすみ市、南房総市、東京中央区、東京港区、東京新宿区、東京文京区、東京台東区、東京墨田区、東京品川区、東京目黒区、東京大田区、東京世田谷区、東京渋谷区、東京豊島区、東京北区、東京練馬区、東京葛飾区、八王子市、武蔵野市、三鷹市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、西東京市、狛江市、東大和市、清瀬市、多摩市、稲城市、川崎幸区、川崎中原区、川崎宮前区、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、神奈川大井町、松田町、相模原中央区、相模原南区、相模原緑区、刈羽村、南魚沼市、甲府市、南アルプス市、笛吹市、山梨来た杜市、甲州市、富士川町、山中湖村、富士河口湖町、佐久市、長野南牧村、御殿場市	報道フロア
15	00 : 20	沿岸で生活をされている方は、大津波警報が出ている場所もあります。十分に津波に注意をして、備えてください。	震度5弱 十和田市、野辺地町、七戸町、六戸町、三戸町、青森南部町、久慈市、普代村、野田村、二戸市、雫石町、葛巻町、岩手町、軽米町、柴波町、多賀城市、井川町、由利本荘市、横手市、鶴岡市、酒田市、三川町、遊佐町、庄内町、新庄市、最上町、舟形町、大蔵町、戸沢村、村山市、天童市、東根市、山辺町、河北町、大石田町、南陽市、高島町、山形川西町、白鷹町、塙町、鮫川村、下郷町、西会津町、柳津町、南会津町、利根町、塩谷町、栃木市、西方町、壬生町、野木町、中之条町、伊勢崎市、太田市、館林市、安中市、吉岡町、板倉町、みどり市、本庄市、嵐山町、埼玉美里町、上里町、川越市、狭山市、上尾市、越谷市、蕨市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、八潮市、富士見市、蓮田市、坂戸市、鶴ヶ島市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、松伏町、さいたま浦和区、秩父市、横瀬市、銚子市、茂原市、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、睦沢町、長生村、匝瑳市、横芝光町。千葉稲毛区、千葉緑区、市川市、船橋市、松戸市、市原市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、千葉酒々井町、富里市、館山市、木更津市、君津市、いすみ市、南房総市、東京中央区、東京港区、東京新宿区、東京文京区、東京台東区、東京墨田区、東京品川区、東京目黒区、東京大田区、東京世田谷区、東京渋谷区、東京豊島区、東京北区、東京練馬区、東京葛飾区、八王子市、武蔵野市、三鷹市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、西東京市、狛江市、東大和市、清瀬市、多摩市、稲城市、川崎幸区、川崎中原区、川崎宮前区、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、神奈川大井町、松田町、相模原中央区、相模原南区、相模原緑区、刈羽村、南魚沼市、甲府市、南アルプス市、笛吹市、山梨来た杜市、甲州市、富士川町、山中湖村、富士河口湖町、佐久市、長野南牧村、御殿場市	
15	00 : 27	豊田：海の近くにいる人は直ちに避難してください。海から離れた高台や、丈夫で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は、新幹線以上の速さで襲ってくることもあります。今すぐ逃げてください。海に遊びに行ったりはせず、よく知らない場所ならば、地元の人に安全な場所を聞いて逃げてください。	震度5弱 十和田市、野辺地町、七戸町、六戸町、三戸町、青森南部町、久慈市、普代村、野田村、二戸市、雫石町、葛巻町、岩手町、軽米町、柴波町、多賀城市、井川町、由利本荘市、横手市、鶴岡市、酒田市、三川町、遊佐町、庄内町、新庄市、最上町、舟形町、大蔵町、戸沢村、村山市、天童市、東根市、山辺町、河北町、大石田町、南陽市、高島町、山形川西町、白鷹町、塙町、鮫川村、下郷町、西会津町、柳津町、南会津町、利根町、塩谷町、栃木市、西方町、壬生町、野木町、中之条町、伊勢崎市、太田市、館林市、安中市、吉岡町、板倉町、みどり市、本庄市、嵐山町、埼玉美里町、上里町、川越市、狭山市、上尾市、越谷市、蕨市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、北本市、八潮市、富士見市、蓮田市、坂戸市、鶴ヶ島市、伊奈町、三芳町、毛呂山町、松伏町、さいたま浦和区、秩父市、横瀬市、銚子市、茂原市、東庄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、睦沢町、長生村、匝瑳市、横芝光町。千葉稲毛区、千葉緑区、市川市、船橋市、松戸市、市原市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、四街道市、八街市、千葉酒々井町、富里市、館山市、木更津市、君津市、いすみ市、南房総市、東京中央区、東京港区、東京新宿区、東京文京区、東京台東区、東京墨田区、東京品川区、東京目黒区、東京大田区、東京世田谷区、東京渋谷区、東京豊島区、東京北区、東京練馬区、東京葛飾区、八王子市、武蔵野市、三鷹市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、西東京市、狛江市、東大和市、清瀬市、多摩市、稲城市、川崎幸区、川崎中原区、川崎宮前区、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、神奈川大井町、松田町、相模原中央区、相模原南区、相模原緑区、刈羽村、南魚沼市、甲府市、南アルプス市、笛吹市、山梨来た杜市、甲州市、富士川町、山中湖村、富士河口湖町、佐久市、長野南牧村、御殿場市	
	00 : 50	大津波、津波警報、注意報を発表しています。では、大津波警報が出ている場所を確認します、岩手県、宮城県、福島県、津波警報が出ているのは千葉九十九里、外房、伊豆諸島、茨城県、北海道太平洋中部、青森太平洋沿岸、津波注意報がでていますが千葉内房、北海道太平洋東部、相模湾、三浦半島、静岡県、北海道太平洋西部などとなっています。今、フジイキャスターの方に新しい情報、入ってきますね。		
15	01 : 35	アナ：今ですね、東京のお台場のフジテレビの建物の奥ですが、黒煙が上がっています。あのあたりはですね、貨物船などが停泊しています、貨物船のターミナルなどにもなっている場所です。また、建物などが少し密集している場所でもあります。黒い煙が上がっています。東京のお台場の状況をご覧いただいておりますが、画面の右下に、皆様、日本列島の地図があります。	東京中央区、東京港区、東京新宿区、東京文京区、東京台東区、東京墨田区、東京品川区、東京目黒区、東京大田区、東京世田谷区、東京渋谷区、東京豊島区、東京北区、東京練馬区、東京葛飾区、八王子市、武蔵野市、三鷹市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、西東京市、狛江市、東大和市、清瀬市、多摩市、稲城市、川崎幸区、川崎中原区、川崎宮前区、平塚市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、厚木市、伊勢原市、南足柄市、中井町、神奈川大井町、松田町、相模原中央区、相模原南区、相模原緑区、刈羽村、南魚沼市、甲府市、南アルプス市、笛吹市、山梨来た杜市、甲州市、富士川町、山中湖村、富士河口湖町、佐久市、長野南牧村、御殿場市	中継・東京お台場
	01 : 57	北陸の太平洋沿岸では大津波警報が出ています。そして、関東の沿岸でも津波警報が出ています。釜石、宮古のあたり、0.3m、0.4m という高さの津波を計測しているという情報が入ってきています。大津波警報が出ている沿岸地域にお住まいの方は、ぜひ海に近づかないでください。	震源地は三陸沖	
	02 : 18	また、新しいニュースが入ってきました。総理大臣官邸には、国会審議が一時中断となり、菅総理大臣が戻りま		

		した。官邸には国土交通大臣や外務大臣など関係閣僚が集まりまして、官邸では情報収集を急いでいます。	深さ 10km マグニチュード 7.9	
15	02 : 33	東京お台場のフジテレビの建物、こちらは都内からカメラで撮影をしています。東京湾に出っ張ったような建物の地域なんですけれども、そのあたりで黒い煙が上がっています。火災が発生したての、黒い煙が上がっています。東京お台場の現在の様子、画面の手前にはレインボーブリッジも見えています。そのレインボーブリッジには、車が動いている様子もうかがえることができます。現在、東京での震度は収まっています。		
15	03 : 01 03 : 24	豊田：気象庁から新しい情報が入ってきました。津波の時刻と高さは次の通りです。岩手の大船渡では、午後 2 時 54 分に最大波 0.2m などとなっています。場所によっては大きな津波が到達する可能性もあります。今後、津波の高さはさらに高くなることも考えられます。 ここで津波に対する注意をお伝えします。今海の近くにいる人は直ちに避難してください。海から離れた高台や、丈夫で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は、新幹線以上の早さで襲ってくることもあります。今すぐ逃げてください。海に遊びに行かないでください。地元の人に安全な場所を聞いて、今すぐ逃げてください。		中継・岩手 宮古
15	03 : 50 04 : 06	アナ：また、大きな余震がある可能性も十分に考えられます。まずは落ち着いてください。そして、テーブルや机の下に潜って身の安全を図ってください。このあと、余震も想定されます。強い揺れは 1 分ほど収まりますので、テーブルや机の下に潜って身の安全を図ってください。 気象庁によりますと、午後 3 時現在観測されました津波の時刻と高さは次の通りです。宮城県石巻市の鮎川では午後 2 時 59 分に最大波 0.5m、岩手県の釜石では午後 2 時 56 分に 0.2m、そして、岩手県の大船渡では午後 2 時 54 分に最大波 0.2m、およそ 20cm を計測しています。		
15	04 : 31	豊田：都内の地震の影響が、今入ってきました。警視庁によりますと、東京江東区青海のテレコムセンタービルから黒煙が上がっているということです。今ご覧いただいています、この映像がそうです。フジテレビ、お台場にありますフジテレビのちょうど裏のところでしょうか。黒煙がまた一つ、上がり始めました。都内の地震の影響をお伝えします。警視庁によりますと、東京江東区青海のテレコムセンタービルから黒煙が上がっているということです。		中継・東京 お台場
15	05 : 03	アナ：これは、お台場のテレコムセンターの映像をご覧ください。都内の 1 カ所で火災が起きている模様ですが、東北地方、そして北海道などを含めて全国的に大きな揺れを観測しました。各地でこういった混乱の		

15	05 : 34 05 : 55	<p>状況が見受けられるということになりますが、現在、東京の映像をご覧いただいております。各地の被害など入ってきましたら各地のテレビ局から伝えてもらうことにいたしますが、東京お台場のテレコムセンターという場所がありまして、そのあたりから黒煙が上がっています。火災が起きている模様です。</p> <p>なお、レインボーブリッジが手前にありまして高速道路が走っているんですが、車の通りも1台、2台ちらほら見受けることができます。車を運転している人は、スピードを落として道路の左側に車を寄せて停めてください。テレビ、そしてラジオはそのまま切らないでください。新しい情報が入り次第、テレビ、ラジオなどで随時お伝えして参ります。</p> <p>こちらは、東京お台場のテレコムセンターの火災の映像をご覧いただいております。海の近くの人は念のため高台などに逃げるなど、津波に対する対策を取ってください。車を運転している人は、スピードを落とし道路の左側に車を寄せて止めてください。</p>	
15	06 : 11 06 : 37 06 : 52 07 : 10 07 : 33	<p>こちらは、地震が発生した当時の町の様子です。そして、何か1列に波打っているのは、これは津波の状況でしょうか。最大でも0.5mなどを中心に、岩手県の宮古ですが、津波があったという情報が手元に入って参りました。東京などでも震度5以上、震度5弱を観測している地域、東京の渋谷区、豊島区、そして葛飾区などです。</p> <p>これは、東京都内の映像を、上空のヘリコプターからお伝えしているところです。画面の左手前には皇居、そして真ん中には東京スカイツリー建設中です。そして、東京駅をまたぐようにいたしまして、右側にカメラを向けていきますと東京湾です。</p> <p>もうちょっと右側にカメラを向けますとレインボーブリッジ、私たちがいます東京の汐留は画面の左側です。中心央にあります橋がレインボーブリッジ、そしてその奥にありますのがフジテレビの社屋です。その奥には何かクレーンのようなものが見えますが、貨物船などが停泊をしている貨物船乗り場。</p> <p>そして、そのテレコムセンターから、あ、炎が見えます。炎が見えます。お台場のテレコムセンターから炎が上がっています。ここから見受ける感じで言いますと、高さ10階くらいの建物の上空、最上階から炎が上がっているように見えます。黒い煙が上がっています。テレコムセンターから火災が起きました。東京のお台場地区です。</p> <p>車は、市内を走っている様子というのをうかがうことはできません。東京の揺れは止まっていますが、東京お台場青海地区にありますテレコムセンターの最上階から火災です。現在炎が上がっているのが、この上空のヘリコプターのカメラから見るすることができます。</p>	<p>中継・岩手 宮古</p> <p>東京お台場 東京上空</p>

15	07:51	大津波警報が出ています。太平洋沿岸を中心に北海道、東北、そして関東。太平洋を中心に大津波警報、津波警報、そして津波注意報が出ています。海のそばにいる人は念のため高台に逃げるなど、津波に注意してください。		
15	08:05 08:25	豊田:さて、ここで新しい情報が気象庁から入ってきました。午後3時前に発生した震度7の地震を受けまして、午後4時から、午後4時から気象庁の横山地震津波監視課長が記者会見を行って、津波などの防災について説明を行う予定です。 今、まだですね、東京のこちらのスタジオ、揺れています。先ほども余震がありました。皆さん、気を付けてください。		
15	08:32 08:48	アナ:テーブルや机の下に潜って身の安全を図ってください。また、大きな地震がある可能性もあります。これは、高さおよそ100mありますテレコムセンターの地上最上階です。再び、東京でも揺れを感じるようになりました。再び、東京でも揺れを感じています。 テレコムセンターの建物の最上階です。町には車が走っていますが、余震が始まりました。東京を中心に太平洋沿岸、ぜひ気を付けてください。車を運転している人は、スピードを落とし、道路の左側に車を寄せて停めてください。東京のお台場です。テレコムセンターの建物の最上階、火災が起きています。太平洋沿岸を中心に大津波警報、津波警報が出ています。		
15	09:18 (09:25)	震度の中心、震源の中心は東北地方と見られていますので、ぜひ、東北地方を中心に災害の、震度の状況など入りましたら、東北地方の中心のテレビ局から情報を入れたいと考えております。報道フロアに多くの情報を入れてほしいと思います。東京は現在、余震を感じましたが、一番大きな地震と比べますとそれほどの大きさは感じませんでした。日本テレビの報道局の震度計は震度2を計測しています。	NNN地震速報 ただいま、東京で地震とみられる揺れを感じました 東京・日本テレビの震度計では震度2を記録しています 気象庁の震度情報、津波情報は情報が入り次第お伝えします	地震速報
15	09:47 10:03	最上階では火災が起きています。東京のお台場です。テレコムセンターの建物の最上階では火災が起きています。黒い煙が上がっていますので、まだ火災が起きたばかりということが考えられます。テレコムセンターの最上階で火災が起きています。 まだ、大きな余震が想定されます。余震にぜひ、注意をしてください。まずは、大きな余震があった場合には、テーブルや机の下に潜って身の安全を図ってください。強い揺れは1分ほどで収まります。外の出る場合は、落ちてくる物に注意してください。		中継・東京、お台場
15	10:22 (10:23)	豊田:揺れは収まっていますが、十分に落ち着いて気を付けてください。家族や仲間と声を掛け合って、そして、安全を確認し合うようご注意ください。子どもがおびえ	NNN地震速報 午後3時6分頃、次の地域で震度5弱の地震があ	地震速報

15	10 : 35	ていたら抱きしめてあげてください。 そして、火は消されたでしょうか。ガスコンロ、ストーブ、大丈夫ですか。湯沸かし器、そして風呂場、点検してください。それに、アイロンなど、熱を持つ電気機器も消してください。身の安全を確保した上で、火の安全、確認してください。	りました。 震度 5 弱 岩手沿岸南部、	中継・東京 お台場
	10 : 53	また、動くときは足もとに十分にご注意ください。割れたガラスなどでけがをしないよう、家の中でも靴を履くような状況で身の安全を確保してください。海の近くの人は念のため高台に逃げるなど、津波に注意してください。ガスは漏れていませんか。ガスの臭いや音がしたら窓を開けてください。たばこは絶対に吸わないでください。電気機器のスイッチも入れないでください。プロパンガスを使っている家では、ボンベが倒れていないか、ホースが外れていないか点検してください。		
	11 : 25	余震があるかもしれません。避難に備えて、ドアや窓は開けるよう心掛けてください。車を運転している人は、救急車両が通れるよう、道路の中央を空けてください。		
15	11 : 39	アナ：ご覧いただいている映像は、地震直後のミヤギテレビ、震源に近いミヤギテレビの報道フロアの様子です。先日起きました地震よりはるかに大きな揺れが、この報道フロアでも感じるすることができます。実は私も、先ほど日本テレビのアナウンス部、このビルにある高層階にいたんですが、発生当時 5 分ほど、大きな、大きな揺れがありました。		地震直後・ ミヤギテレビ報道フロア
	11 : 56	豊田：今、つながっていますね。 アナ：ミヤギテレビから、柳瀬アナウンサーです。		
15	11 : 56	柳瀬：気象庁によりますと、午後 2 時 46 分頃、三陸沖を震源とする地震がありました。宮城県の沿岸には現在、大津波警報が発令されています。宮城県の沿岸には、大津波警報が発令されています。海の近くにいる人はすぐに避難してください。海から離れた高台や、丈夫で強い鉄筋のビルなどに避難してください。		ミヤギテレビ 中継・女川 原子力発電所
	12 : 19	津波の到達予想時刻です。宮城県は、石巻市の鮎川で午後 3 時 10 分、この時間は既に経過していますが、石巻市の鮎川で午後 3 時 10 分、仙台港が午後 3 時 40 分、仙台港は午後 3 時 40 分が津波の到達予想時刻となっています。		
	12 : 39	アナ：柳瀬さん。 柳瀬：また、現在ご覧いただきました女川原子力発電所ですが、1 号機、2 号機、3 号機ともに地震直後に自動停止したという情報が入っています。		
15	12 : 52	ご覧いただいているのは、仙台市の現在の様子です。ご覧いただいているのは、仙台市の現在の様子です。ミヤギテレビの情報カメラでこの仙台市内の様子を確認する限りでは、市内に煙などが上がっているという場所は見られませんが、ここまですに入っている情報では、多賀		中継・仙台 市内

15	13:18	<p>城市の石油基地で煙が出ているという情報が入ってきています。</p> <p>現在ご覧いただいているのは、仙台市内の現在の様子です。午後2時46分頃、三陸沖を震源とする地震がありました。マグニチュードは7.9と推定されています。</p>		
15	13:34	<p>アナ：現時、宮城からの映像とアナウンスでお伝えしております。柳瀬さんです。</p>		
15	13:37	<p>柳瀬：あ、そしてまた、ミヤギテレビのスタジオでは揺れを感じています。余震を感じています。落ち着いて行動してください。頑丈なテーブルや机の下に身を隠すなどして、身の安全を確保してください。この揺れはじきに収まります。落ち着いて行動してください。</p>		ミヤギテレビ 中継・女川 原子力発電所
	13:54	<p>仙台市宮城野区にありますミヤギテレビのスタジオでは現在、余震を感じています。宮城県の沿岸には大津波警報が発令されています。この揺れはじきに収まりますので、落ち着いて行動してください。ご覧いただいているのは女川原子力発電所のあります、女川湾の様子です。宮城県の沿岸には現在、大津波警報が発令されています。津波の到達予想時刻は。</p>		
	14:21	<p>あ、そして、ミヤギテレビのスタジオはまた、余震を感じています。また、揺れを感じています。身の安全を確保してください。頭上などに気を付けて、落下物などには気を付けて、頑丈なテーブルや椅子の下に身を隠してください。そして、落ち着いたら、火を使っている方は火を止めてください。身の安全を確保した上で、火を使っている方は火を止めてください。このあとも余震が...</p>		
15	14:50	<p>アナ：ミヤギテレビから、ここまでお伝えしました。この時間は、宮城北部で起きました大きな地震のニュースをお伝えしています。地震が発生してからまもなく30分になろうとしています。このように、東京でもお台場地区で煙が上がっています。そして、時折下から突き上げるような、余震と思われる揺れをこの東新橋の日本テレビでも感じることができます。</p>		中継・東京 お台場
15	15:08	<p>豊田：関東地方では震度4規模の、余震と思われる地震も発生しています。都内の地震の影響です。警視庁によりますと、東京江東区青海のテレコムセンタービルの付近のビルの屋上から黒煙が上がっているということです。</p>		中継・東京 上空
	15:22 (15:36)	<p>そして、交通情報も入っています。羽田空港は15時現在、離着陸見合わせをしています。そして、D滑走路のみ開いているが、離着陸可能かは今確認中で、今のところ着陸の予定はないということです。現在A、B、Cの滑走路は閉鎖中とのこと。そして、JR東日本によりますと、首都圏の在来線はすべて運転を見合わせています。そのほかは、情報収集中です。</p>	<p>NNN津波情報</p> <p>午後3時14分、気象庁は津波関連の追加・変更を発表</p> <p>津波警報（津波注意報から変更）</p> <p>千葉内房、北海道太平洋東部、北海道太平洋西部、小笠原諸島、青森日本海沿岸</p>	津波情報
15	15:52	<p>アナ：このあとも、大きな揺れ、余震と思われる揺れが</p>	<p>大津波警報（津波警報から変更）</p>	

		<p>発生する可能性が十分にあります。ご注意ください。そして、これは現在、津波警報、津波注意報から変更になりました。ご覧いただいていますように、北海道の太平洋西部、津波警報です。津波注意報から変更になっています。小笠原諸島、それから画面でもご覧いただいておりますように、非常に太平洋側広い範囲に津波の、大津波の、また。</p>	<p>千葉九十九里・外房、茨城県、青森太平洋沿岸 津波注意報：東京湾内湾 午後3時40分 0.5 cm 予想 津波注意報：陸奥湾 午後4時20分 0.5 cm 予想 津波注意報：伊勢・三河 午後4時30分 0.5 cm 予想 津波注意報：北海道日本海南部 午後4時40分 0.5</p>	
15	16:16	<p>豊田：縦揺れですね。 アナ：新橋でも縦揺れ、余震を感じています。現在、この東新橋にあります日本テレビでも大きな揺れを感じました。 豊田：揺れています。縦揺れですね。</p>	<p>cm 予想 津波注意報：淡路島南部 午後4時50分 0.5 cm 予想 津波注意報：愛媛宇和海沿岸 午後5時10分 0.5 cm 予想</p>	
	16:25	<p>アナ：そうです、突き上げるような揺れ。そして、上にあります照明ですとかライトが大きく揺れています。このように、このあとも大きな余震が続くことが予想されます。十分にご注意ください。倒れてくる物はありませんでしょうか。割れそうになっている窓ガラスはありませんでしょうか。今後とも、十分にご注意ください。</p>	<p>津波注意報：大分豊後水道沿岸 午後5時10分 0.5 cm 予想 津波注意報：陸奥湾 午後4時20分 0.5 cm 予想 津波注意報：大東島地方 午後5時10分 0.5 cm 予想</p>	
	16:44	<p>豊田：縦揺れ、横揺れ続いていますので。 アナ：ああ、今、横揺れに変わりましたね。 豊田：はい、変わりましたね。皆さんも、頭の上から何か物が落ちてこないように、身の安全を確保してください。</p>	<p>津波注意報：鹿児島西部 午後5時20分 0.5 cm 予想 津波注意報：沖縄本島地方 午後5時40分 0.5 cm 予想</p>	
15	16:54	<p>アナ：非常に大きな横揺れに、今変わりました。縦揺れが来たらから20秒ほど経ってから、この港区東新橋にあります日本テレビの報道フロアも大きな揺れを観測しています。</p>		
	17:07	<p>そして、このお台場地区を映しているカメラもご覧のように揺れているんです。このあとも余震が続くことが予想されます。近くにいる方と声を掛け合ってください。ひとりになっている方はいないでしょうか。慌てて外に飛び出すこともしないでください。冷静に行動をしてください。こちらから、今入っている情報を繰り返しお伝えします。</p>		
15	17:27	<p>豊田：また、津波の警報から注意報に変わったりしていますが、どうぞ、海の近くにいる人は直ちに避難をしてください。海から離れた高台、頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は新幹線以上の速さで襲ってくることもありますので、すぐに逃げてください。海に遊びに来ていてよく知らない場所ならば、地元の人の、安全な場所を聞いて、そして逃げてください。</p>		報道フロア
	17:52	<p>アナ：テーブル、それから、また、余震が発生しています。危険です。 豊田：危険な状態が続いています。揺れがまだ続いています。危険な状態は続いていますので、くれぐれも皆さん、自分の身の安全確保をまず第一に考えてください。いっしょにいらっしゃる仲間、それから家族、お子さん、</p>		

		きちんとそばに置いて、身の安全を確保してください。	
15	18 : 14	アナ：そして、こちらの映像は地震発生時の福島の第二原発の様子です。激しい横揺れが襲っています。福島の第二原発の様子をとらえています。これは地震発生時、今からおよそ30分前の大きな揺れのときの、福島第二原発をとらえています。	楡葉町、地震発生時の福島第二原発
	18 : 32	東北といいますと福島、それから宮城にもこのように原子力発電所が存在しています。あ、今ようやく、先ほどの余震が少し収まりかけています。	
	18 : 42	先ほど大きな、本震と思われる揺れがあったあと、このように引き続き、繰り返しこのような余震が起きることがあります。どうか冷静に行動してください。	
	18 : 50	それから、携帯電話ですとか電話がつながりにくい状況が続いていますが、まず身のまわりの安全を確保して、落ち着いて行動してください。こちらに入っている情報を随時お伝えしています	
15	19 : 01	豊田：警視庁によりますと、東京江東区の青海のテレコムセンタービルから黒煙が上がっているということです。 アナ：ああ、これは、テレコムセンターの隣のビルですね。 豊田：隣のビルですね。この黒煙はそうだということです。	中継・東京お台場
	19 : 12	くれぐれも、皆さんも火の元、火を扱っている部分、十分にご注意ください。そして、家族がきちんとそばにいますか。お子さん、大丈夫でしょうか。きちんと確認をして、身の安全をまず第一に確保してください。	
15	19 : 26	アナ：これは、お台場上空の映像です。ビル群がありまして、この向こうですね。屋上のあたりから炎が見えますし、黒い煙が立ち上がっています。	中継・お台場 岩手宮古
	19 : 35	さあ、そして海の様子、撮れますでしょうか、東北の海の様子。大津波警報、それから津波警報と、東北地方、太平洋沿岸に出されています。決して海岸の近く、河口付近には近づかないでください。ああ、これは、今。	
	19 : 48	豊田：今、もう既に津波が来ている模様ですね。 アナ：おそらく海の近く、河口付近だと思われませんが。宮古です。岩手県の宮古に、おそらくこれは津波です。積んである青いこの漁業用のかごでしょうか、大きなパレットでしょうか、水が押し寄せています。ゆっくりではありますが、水が上がってきていることが分かります。津波への警戒も必要です。	
	20 : 08	気象庁は先ほど、太平洋の沿岸、青森付近から関東付近までを大津波警報、津波警報を北海道の太平洋沿岸から小笠原諸島、そして西日本から沖縄方面にかけても津波注意報を発令しています。	
15	20 : 24	豊田：津波に対する注意をお伝えします。海の近くにいる人は直ちに避難してください。海から離れた高台や、	

		頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は新幹線以上の速さで襲ってくることもあります。もう既に丘の方に上がってきているところもありますので、くれぐれもご注意ください。	
15	20 : 42 20 : 50	アナ：こちらは岩手県の宮古の様子ですが、先ほどから1分ほどたたないうちにこのように水が増えまして、車の近くにまで水が押し寄せているのがうかがえます。 豊田：タイヤがもう浸水している状況ですね。海岸線が入り組んだ場所では、特に津波が高くなりますのでご注意ください。津波は丘に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくする可能性があります。津波は陸に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくする可能性があります。一刻も早く、津波の来ない場所に逃げてください。	中継・岩手県宮古
15	21 : 14 21 : 29 21 : 43	アナ：これは、駐車場だけではなくて手前の施設であったり、何か電線が架かっているような施設にも一面水という感じになっていますから、相当広い範囲でこのように、この宮古だけではなく、水が上がってきている、津波が襲っている可能性もあります。ご注意ください。 豊田：そして、津波は1回だけではありません。2回、3回と繰り返し襲ってきます。さらに、1回目よりも2回目、2回目よりも3回目の方が高いこともありますので、津波が来たあとも注意を続けてください。 津波警報や注意報が解除されるまでは、決して油断をしないようにお気を付けください。海の近くにいる人は直ちに避難をしてください。現在もまだ揺れが、関東でも感じています。くれぐれも皆さん、この揺れには十分にご注意ください。	
15	21 : 59 22 : 04 22 : 11	アナ：あ、そして、画面の奥ですね、かなり水が浸っている手前ではなく向こう、激しい、あ、トラックでしょうか、今、流されていきました。 豊田：トラックが流されていますね。 アナ：激しいその流れに車、車両が巻き込まれています。こちらから見ますと、1台、2台確認できたでしょうか。 そして、ご覧のように、これは通常のととき潮の流れが逆なんでしょうか、船が今、係留されている船が沖の方に、これは向かって流されていく様子が、岩手県の宮古です、ここには大津波警報が出されています。津波が発生する前は、よく、潮が引いてから大きな波が来るということを行います。宮古市というのは岩手県の中部、太平洋沿岸の三陸沖です。三陸です、リアス式海岸になっているところ。そして、画面の奥には退避するためでしょうか、動いている、現在動いている船の姿もとらえることができます。そして。	
15	22 : 44	豊田：先程から、建物の高さから比較しますと、ずいぶん水が上がってきているのが分かりますよね。 アナ：水かさが。もし、この近くにいらっしゃる方がい	

15	22 : 55	<p>ましたら、今すぐ高台、丈夫な建物に避難してください。</p> <p>豊田：くれぐれも、津波に対する警戒を続けてください。海岸線が入り組んだ場所では、特に津波が高くなりますので注意してください。</p> <p>アナ：ああ、そして、こちらは、車両がかなり水に浮かんで、そして流されていく様子です。駐車場が先ほどから水に浸っている映像ありましたが、あれからほんの1、2分でしょうか。</p> <p>豊田：そうですね。</p>	
15	23 : 15 23 : 23 23 : 28 23 : 47	<p>アナ：あつという間にこれだけ水が流れ、そして画面の奥はかなり大きな渦、強い流れになっています。</p> <p>ああ、これは何かのタンクでしょうか、もう半分あたり、向こうのかまぼこ型の施設もかなり水に浸かっています。</p> <p>豊田：はい。津波は陸に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくします。この車や、そして流された物に警戒することも十分必要です。津波は陸に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくしますので、一刻も早く、津波の来ない場所に逃げてください。</p> <p>そしてまた、津波は1回だけではありません。2回、3回と繰り返し襲ってきます。さらに、1回目よりも、2回目よりも、3回目の方が高いこともあります。1回来たあとも注意を続けてください。津波注意報。</p>	
15	24 : 00 24 : 10 24 : 33	<p>アナ：現在ご覧いただいているのは岩手の宮古の様子ですが、先ほどよりも潮の流れというのでしょうか、水の流れが非常に激しく、恐ろしさを感じます。</p> <p>情報を整理します。今日午後2時46分頃、東北地方で震度7を観測する地震が発生しました。気象庁は、ご覧いただいていますように、太平洋の沿岸に大津波警報を発令しています。ご覧いただいていますように、東北地方の青森あたりから関東の千葉あたりまでが大津波警報、画面ご覧いただいているところでピンクのラインです。</p> <p>それから、北海道の東部、太平洋沿岸から小笠原諸島までが津波警報、それ以外の西日本の太平洋沿岸、そして沖縄地方も津波注意報が出ています。</p>	
15	24 : 44 24 : 55	<p>豊田：現在ご覧いただいているのは岩手ですけれども、そのほかの沿岸部、そのほかの地域もこういった状況が十分に考えられますから、流れている物には十分にご注意ください。</p> <p>繰り返します。先ほどから岩手県のこの津波の状況を映像でご覧いただいています、ほかの地域でもこのような状況になっていることが考えられます。くれぐれも、流れてくる物にもご注意ください。余震、そして、流れてくる物にも十分にご注意してください。ご自身の、まず身の安全をとにかく確保することを第一に考えてください。ほかの地域でも津波情報出ていますので、くれ</p>	

		ぐれも、こういった流れてくる物、余震、十分にご注意 いただきたいと思います。		
15	25:26	アナ:これは、仙台市内の様子です。仙台市内の様子、 おそらく大年寺山の鉄塔からの映像だと思いますが、太 平洋の方向を見えています。方角で言いますと仙台市内か ら東、向こうに見えるのが太平洋です。仙台市内とい いますと、この画で見ても、大津波警報が出てい ます。現地、宮城からの映像です。お伝えします。		中継・仙台 市内
15	25:47 (25:47) 25:50	男性...する情報をお伝えしています。午後2時46分頃、 三陸沖を震源とする震度7... 豊田:そちらは岩手ですね。岩手です、岩手です。	NNN津波情報 午後3時23分までに観測された津波と時刻と高さ	テレビ岩手 津波情報
15	25:53 26:23 26:43	男性:道路の信号が消えています。道路では、車が進行 するのに大変危険な状態となっています。避難をされる 方、そしてこれから外に出る方、外出する際には十分に 注意をしてください。現在、岩手県内各地で停電のため 信号機が消えて、車の進行が支障を来しています。そし て、余震による頭上からの落下物にも、引き続き注意し てください。 これは先ほどの様子です。現在の様子ではありません。 先ほど、宮古港にあっていうまに津波が押し寄せて、潮 位が上がった様子です。潮位が上がりました。これは先 ほどの様子です。画面には「L i v e」と出ていますが、 ちょうど強く潮が押し寄せてきたときの様子です。 こうなるほんの5分ぐらい前までは、宮古魚市場では床 の部分が水没している程度だったんですが、ほんの数分 のうちに...	岩手釜石 午後3時21分 最大波 4.2m 宮城石巻市鮎川 午後3時20分 最大波 3.3m 岩手大船渡 午後3時15分 最大波 3.3m 岩手宮古 午後3時19分 最大波 2.8m 福島相馬 午後2時56分 最大波 0.3m 宮城広田湾沖 午後2時45分 場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達 の可能性もあります 今後、津波の高さはさらに高くなることも考えら れます 震源地は三陸沖 深さ10km マグニチュード7.9	テレビ岩手 岩手大船渡 岩手宮古
15	26:52 27:02 27:12 27:32	アナ:さて、岩手、宮城とお伝えしましたが、こちらは 上空からの都内の様子です。救急隊員が多く確認できま す。そして担架に乗せられた方々、東京上空です。 男性:東京駅です。 アナ:東京駅付近の映像だということです。東京駅付近、 東京都心です。あ、これは屋根から見ますと、東京都心 の皇居の。 あ、また縦揺れが始まりました、九段会館の近くですね。 千代田区の九段下です。また、この東京東新橋にありま す日本テレビも余震に襲われています。そして、宮城で も、今ご覧いただきましたように、同時に余震が発生し ています。落ち着いてください。 豊田:今、この場でも東京では揺れていますので、皆さ ん、十分に身の確保をしてください。身の安全を確保し てください。		中継・東京 上空 報道フロア
15	27:37	アナ:身の安全を確保してください。頑丈なテーブル、 椅子の下に潜るなどして、頭上に十分に注意して、身の 安全を確保してください。まだ、ミヤギテレビのスタジ オは揺れています。余震を感じています。落ち着いて、 身の安全を確保してください。		ミヤギテレ ビ

15	27:54	アナ：このように、地震が起きています。余震と思われる揺れが襲っています。東京は震度5強と震度5弱を観測しています。また、揺れが発生しています。		報道フロア
	28:03	豊田：今、揺れてますね。 アナ：縦揺れです。今、小刻みな揺れが今、東京の汐留のスタジオにも襲っています。壊れた物、崩れかかった物などには、非常に危険です、ご注意ください。 豊田：ぜひ、火の元にも十分にご注意ください。そして、皆さんの身のまわり、大丈夫でしょうか。ガラスが落ちていないでしょうか。今も縦揺れが続いています。くれぐれも、まだ余震が続くものと思って行動してください。 身の安全を第一に考えて、逃げる道がきちんと確保できているのか、その部分を十分にご注意の上、身の安全を確保してください。		
	28:28	男性：今、揺れてます。 豊田：今も揺れています。家族の皆さんは大丈夫でしょうか。お互い声を掛け合って、落ち着いて行動をしてください。身の安全をまず第一に考えて、周りにいる人に声を掛け合って、それぞれ安全にできているのか、確認をしてください。		
15	28:52	アナ：実は私、本震が発生したときにこのビルの上層階にいて階段でここまで下りてきたんですが、そのあいだ、壁が崩れかかっているところがいくつかありました。近づかないでください。		中継・東京 上空、九段 会館
	29:02 (29:03)	そして、九段会館です。東京の都心、千代田区の九段会館付近での救助の様子です。現在、ヘリコプターからの映像です。九段南の九段会館でけが人が多数出ていると情報があり、警視庁と東京消防庁が確認を急いでいる、まさにその上空の映像です。九段会館では専門学校の卒業式が行われていたということです。	NNN地震速報 午後3時27分頃、次の地域で震度4の地震がありました 震度4 山形村山、福島中通り、福島浜通り、茨城南部	地震速報
	29:24	現在こちらから確認できるのは、多くのレスキュー隊、そして救助隊が担架に人を乗せまして、手当をしている様子がうかがえます。この九段会館では、専門学校の卒業式が行われていたということです。	震度3 宮城南部、山形庄内、山形置賜、福島会津、茨城北部、栃木北部、栃木南部、群馬北部、東京23区、新潟下越	
	29:39	今から45分ほど前に発生しました、東北、宮城北部を震度7という地震が襲いまして、東京でも震度5強、震度5弱を観測しています。このように千代田区、都心でもけが人が多数出ているということです。懸命な救助活動が行われている様子です。	津波情報、各地の詳しい震度などは、情報が入り次第お伝えします	
15	29:58	豊田：まだ、余震があるかもしれません。どうぞ、皆さんも避難に備えてドアや窓は開けて、身の安全を第一に行動してください。揺れは収まっていますが、まだ続く可能性があります。そして今、政府からの情報が入っています。		
15	30:14	男性：官邸、行ってみようか。		
	30:15	アナ：さあ、そして、政府の対応はどうなっていますで		中継・東京

15	33 : 04 33 : 35	<p>豊田：大津波警報が広がっています。広い範囲で大津波警報が発令されています。十分に、海の近くの人はご注意ください。</p> <p>アナ：茨城県です。茨城県の大津波警報ですが、到達予想が、予想の高さが 10m 以上です。茨城県に大津波警報が出ています。既に津波が到達している予想で、予想の高さは 10m 以上ということです。気象庁によりますと、2 時 46 分頃の大津波警報、茨城県で予想の高さが 10m です。映像はテレビ岩手のスタジオに変わっています。岩手の映像、届きますでしょうか。</p> <p>豊田：岩手からの情報、つなげますか。</p>	<p>愛知外海 津波警報（津波注意報から変更） 陸奥湾 津波警報（津波注意報から変更） 高知県 津波警報（津波注意報から変更） 伊勢・三河湾 津波警報（津波注意報から変更） 徳島県 津波警報（津波注意報から変更） 北海道日本海南部</p>	
15	33 : 38 34 : 01	<p>男性：...15 分頃から 20 分頃のあいだに、岩手県の沿岸では 2m から 4m の津波の到達が確認されているんですが、3 時半現在、岩手県内で 10m 以上の津波の到達が確認されました。岩手県では午後 3 時半までに、10m 以上の津波の到達が確認されました。</p> <p>午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とする、マグニチュード 7.9 と推定される大変強い地震が発生しました。地震の震源は宮城県の牡鹿半島の東南東 130 キロ付近、地震の震源は牡鹿半島の東南東 130 キロ付近、地震の強さを表すマグニチュードは 7.9 と推測されます。そして、岩手県では現在までに、10m 以上の津波の到達が確認されています。10m 以上の津波の到達が確認されています。</p>	<p>津波警報（津波注意報から変更） 淡路島南部 津波警報（津波注意報から変更） 宮崎県 津波警報（津波注意報から変更） 愛媛県宇和海沿岸 津波警報（津波注意報から変更） 大分豊後水道沿岸 津波警報（津波注意報から変更） 鹿児島県東部 津波警報（津波注意報から変更） 種子島・屋久島地方</p>	テレビ岩手
15	34 : 34 34 : 46 35 : 11	<p>アナ：では、東京からお伝えします。東京からもお伝えします。ここで情報が入ってきました。2 時 46 分頃大きな地震がありましたが、その地震とは違う大きな揺れが発生しました。</p> <p>15 時 15 分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュードは 7.4 という地震がありました。15 時 15 分頃、茨城県沖を震源とする、先ほどとは違う地震です、マグニチュード 7.4 という地震が発生し、先ほど気象庁は、茨城県に予想の高さが 10m 以上という大津波警報を発令しました。十分にご注意ください。</p> <p>繰り返します。今日起こりました 2 時 46 分頃の地震、そして先ほど発生しました 3 時 15 分頃の地震、この地震によりまして日本の広い範囲で大津波警報が出されています。北から見ますと、北海道の東部、太平洋沿岸から三陸、そして関東、伊豆諸島、ここまでが大津波警報です。</p>	<p>津波警報（津波注意報から変更） 奄美・トカラ 津波警報（津波注意報から変更） 大東島地方 津波警報（津波注意報から変更） 沖縄本島地方 津波警報（津波注意報から変更） 宮古島・八重山地方 大津波警報（津波警報から変更） 北海道太平洋中部 大津波警報（津波警報から変更） 伊豆諸島 大津波警報（津波警報から変更） 北海道太平洋東部 大津波警報（津波警報から変更） 北海道太平洋西部</p>	
15	35 : 34 35 : 40	<p>豊田：いずれにしても、太平洋沿岸の地域の人は十分にご注意ください。海の近くにいる人は直ちに避難をしてください。</p> <p>アナ：ご覧いただいているのは渋谷駅前の様子ですが、人々が立ち止まっています。時折余震が発生しますから、もし発生したら慌てず、動かず、落ちてくる物に気を付けながらその場に控えていてください。その場にとどまっています。</p>	<p>津波注意報：北海道オホーツク海 午後 4 時 40 分 0.5m 予想 津波注意報：大阪府 午後 5 時 10 分 0.5m 予想 津波注意報：兵庫・瀬戸内海沿岸 午後 5 時 10 分 0.5m 予想 津波注意報：愛媛瀬戸内海沿岸 午後 6 時 20 分 0.5m 予想 津波注意報：長崎西方 午後 6 時 30 分 0.5m 予想</p>	中継・東京 渋谷

15	35 : 56	豊田：まずは安全が確保されるまでは、状況を把握してください。海の近くにいる人は直ちに避難してください。海から離れた高台、そして頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は、新幹線以上の速さで襲ってくることもあります。すぐに逃げてください。	津波注意報：熊本天草灘沿岸 午後6時30分 0.5m 予想 津波注意報：香川 午後6時40分 0.5m 予想 津波注意報：有明・八代海 午後7時10分 0.5m 予想	中継・東京 千代田区 新橋
	36 : 12	アナ：また、また余震が発生しています。情報を整理しますと、今日、短い時間のあいだにマグニチュード7を超える二つの地震が発生しました。一つは宮城県北部、2時46分頃に発生しました震度7を観測した地震。そして、およそその30分後です、3時15分頃、茨城県沖を震源とするマグニチュード7.4という地震が発生しました。大津波警報が各地に出されています。	津波注意報：岡山 午後7時30分 0.5m 予想 大津波・津波警報の沿岸では、直ちに安全な場所に避難してください	
15	36 : 38	豊田：広い範囲で大津波警報が出されていますので、海のそばにいる人は十分にご注意ください。特に、海岸線が入り組んだ場所では、特に津波が高くなる可能性があります。注意してください。津波は陸に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくします。一刻も早く、津波の来ない場所に逃げてください。		
	36 : 59	また、津波は1回だけでなく、2回、3回と繰り返し襲ってきます。さらに、1回目より2回目、2回目より3回目の方が高いということもありますので、1回来たあとも注意を続けてください。津波警報や注意報が解除されるまでは、決して油断しないでください。		
	37 : 17	繰り返します。海の近くにいる人とは直ちに避難をしてください。広い範囲で大津波警報が出されています。海から離れた高台や、頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。		
15	37 : 29	アナ：こちらは、岩手の様子ですね。おそらく盛岡市だとは思われますが、岩手県内の市内の様子ですが、建物への被害ですとか煙が上がっているなどの様子はこちらから確認。		中継・テレビ岩手、盛岡市
	37 : 42	あ、ありますね。画面の奥ですね。画面の奥、ビル街の奥に、煙突でしょうか、被害でなければいいんですが。この手前の煙ではなくて向こうですが、煙が、白い煙が若干上がっているのが確認できますが。震源に近い岩手ではありますが、この映像で見える限りは大きな崩落ですとか煙が上がっている、炎が上がっているという様子は確認できません。テレビ岩手からの情報カメラです。気になるのは、津波の情報です。		
15	38 : 10	豊田：大津波警報が出されている地域は非常に広がっています。海岸線が入り組んだ場所では、特に津波が高くなる可能性がありますので十分にご注意ください。津波は陸に上がってからも、建物や車を巻き込んで被害を大きくします。こちらの岩手でも、多くの車が流されています。一刻も早く、津波の来ない場所に逃げてください。		中継・岩手 宮古
	38 : 32	また、流された物にも十分にご注意ください。津波は1		

		<p>回だけではなく、2回、3回と繰り返し襲ってきます。</p> <p>1回目よりも2回目、2回目よりも3回目と高くなる場合がありますので、1回来たあとも注意を続けてください。津波警報や注意報が解除されるまでは、決して油断をしませんように。特に、海から離れた高台、頑丈で高い鉄筋のビルなどに、とにかく高いところに逃げてください。</p>	
15	<p>38 : 59</p> <p>39 : 15</p> <p>39 : 48</p>	<p>アナ：ご覧いただいているのは、先ほどの映像です。先ほどの映像です。津波の情報が入っています。既に到達しているところがあります。3時19分、宮古で2.8m、3時20分、宮城県の鮎川で3.3m。</p> <p>そして、この東北を震源とする地震とはまた別の地震が3時15分に茨城県沖で発生しました。地震の規模を示すマグニチュードは7.4。この影響で、気象庁は先ほど、茨城県にも大津波警報を発令しました。予想の高さは10m だということです、失礼、10m 以上だということです。大津波警報が広い範囲、それから、沖縄を含めましても津波警報。ですから、日本列島すべて、太平洋沿岸を中心として津波に十分な警戒が必要です。</p> <p>豊田：そして、情報が入ってきました。このあと4時から、気象庁で会見が行われるということです。</p>	
15	<p>39 : 53</p> <p>40 : 19</p> <p>40 : 26</p>	<p>アナ：そして、こちらは上空からの映像です。都心でしょうか。清掃センターでしょうか、煙突が見えます。上空のヘリコプター、都内の映像です。煙が見えます。この町中の中心から白い煙が上がっています。白い煙突に、横に赤いようなラインが4本入っている、3本入っているこの煙突の近く、マンションなども見えますが住宅街でしょうか。白い煙が上がっています。</p> <p>都内上空からの、ヘリコプターの映像です。都内での被害というものがあるかもしれません。</p> <p>そして、福島の情報が入ってきました。地震直後、郡山市大平町にあるイベント会場で火災が発生し、現在も燃えています。こちらは都内の映像です。線路の沿線ですね。鉄道の線路の沿線で、住宅街の中心で、おそらく火災と思われる白い煙が上がっています。</p>	<p>中継・都内 上空</p>
15	<p>40 : 50</p> <p>41 : 00</p>	<p>男性：埼玉県。</p> <p>アナ：埼玉県という情報があります。</p> <p>男性：埼玉のどこ。</p> <p>アナ：いずれにしても、関東地方です。</p> <p>豊田：八潮市ですか。埼玉県の八潮市の状況だという情報が入ってきています。真っ白い煙が上がっています。</p> <p>アナ：はい。線路脇の住宅街で激しい煙が上がっています。ああ、今、救急車両、消防車の姿も今、見えますでしょうか。線路とこの燃えているあいだに1台、救急車両が到着しています。まだ、消火活動は行われていないでしょうか。</p> <p>豊田：いないもようですね。</p>	<p>中継・埼玉 上空 八潮市</p>

15	<p>41 : 20</p> <p>41 : 34</p> <p>41 : 50</p> <p>42 : 12</p>	<p>アナ：ああ、ホースは見えますね。消火活動のホースは延ばされています。その脇にある線路ですが、電車はおそらく止まっているのでしょうか、電車の通過は確認できません。埼玉県上空。</p> <p>あ、これは2軒ですね、2軒。そして、車両が今、近くにちらっと見えました。ご覧いただいているのは、埼玉県上空の火災現場の様子です。2軒並んでいるこの住宅の2階か3階あたりから、あ、今、始まりました。放水が始まりました。</p> <p>消防隊が駆けつけまして、あらゆる方向から放水活動を始めています。埼玉県の八潮市という情報が入っています。上空のヘリコプターから火災現場の様子をとらえています。線路の脇ですね、これは車両でしょうか、電車は止まっているようです。パトロールカーも現場に待機して、あ、もう1台の消防車も確認できました。</p> <p>埼玉県で火災が発生しています。2軒並んだ住宅が煙を上げています。消火活動は始まっています。ご覧のように、都内でもこのように被害が出るのが、可能性があります、その恐れがあります。十分ご注意ください。</p>	中継・埼玉 上空
15	<p>42 : 28</p> <p>42 : 57</p> <p>43 : 14</p>	<p>豊田：揺れが収まったあと、動き出すときの注意をお伝えします。頭を守るためにヘルメットですとか、座布団、帽子などをぜひかぶってください。そして、エレベーターは使わないでください。階段を使いましょう。エレベーターは、停電や余震で閉じ込められる可能性があります。エレベーターは、余震や停電で閉じ込められる心配がありますので、階段でゆっくりと上り下りしてください。慌てると、踏み外してけがをします。くれぐれも、ゆっくりと、エレベーターを使わずに階段を使ってください。</p> <p>アナ：そして、こちらは仙台市内の様子ですが、これは仙台市内の中心部から北を見えています。メインストリート、そして、こちらは仙台の市民病院の姿をとらえています。大きな窓ガラスの割れですとか崩落は確認、どうでしょうか、できるでしょうか。</p> <p>豊田：開けているのか、割れているのか、気を付けていただきたいと思います。</p> <p>アナ：今ご覧いただいている、宮城からのレポートです。伝えてもらいます。</p>	中継・仙台 市内
15	<p>43 : 22</p> <p>43 : 40</p>	<p>アナ：また、揺れが発生しています。午後2時46分に発生した地震から、まもなく1時間が経過しようとしていますが、依然として余震が発生しています。このあとも、県内では余震が発生する可能性がありますので、引き続き、身の安全を確保してください。</p> <p>ここで、詳しい震度についてお伝えします。震度7を観測したのが栗原市築館、震度7を観測したのが栗原市築館、震度6強が涌谷町、登米市、大崎市、登米市米山、登米市南方、大崎市古川、震度6強を観測したのが、大</p>	ミヤギテレビ

15	44:25	崎市古川、大崎市鹿島台、名取市増田、蔵王町円田、山元町、仙台市宮城野区苦竹、塩竈市、東松島市、大衡村などとなっています。 ここで、中継が出ていますので...		
15	44:28 (44:32) 44:42 44:56	アナ：宮城からお伝えしました、宮城からお伝えしました。今宮城からお伝えした内容によりますと、先日の地震でも、それから数年前の宮城・岩手内陸地震でも大きな被害が出た栗原が一番大きな震度、7を観測したということです。 豊田：そして、政府の反応です。14時50分、宮城県を震源とする地震を受け、総理大臣官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置しました。 アナ：宮城からの中継です、宮城からの中継です。 豊田：あ、中継ですか。はい、お願いします。	NNN津波情報 午後3時42分までに観測された津波の時刻と高さ 岩手釜石 午後3時21分 最大波4.1m以上 岩手宮古 午後3時21分 最大波4.0m以上 宮城石巻市鮎川 午後3時20分 最大波3.3m以上 岩手大船渡 午後3時15分 最大波3.2m以上 千葉銚子 午後3時37分 最大波2.2m 茨城大洗 午後3時27分 最大波1.8m 千葉館山市布良 午後3時27分 最大波1.3m	津波情報
15	45:00 45:19	男性：渋滞になっております。この先、河北インターチェンジにつながる道なんですけれども、その先で陥没が起きているという情報が入っております。そのためもあり、このように今、道の駅「上品の郷（じょうごんのさと）」の前はかなりの渋滞で、一向に進まないという状況になっております。 45:19 雪の影響、インターチェンジ近いという影響もあるんでしょうが、陥没の影響もあり、このような状態が続いていると思われま。そしてですね、今こちら上品の郷なんですけど、中は完全に閉鎖しております。中、スタッフの方が避難を催促しております。今、皆様、お客様はいらっしやらないということです。以上で終わります。	北海道浦河 午後3時19分 第1波0.1m引き 北海道えりも町 午後3時18分 第1波0.1m引き 今後、津波の高さはさらに高くなることも考えられます 震源地は三陸沖 深さ10km マグニチュード7.9	中継・石巻市「上品の郷」
15	45:45 46:08	豊田：...てます、揺れてます。 アナ：また、東京で余震を観測しています。縦揺れが始まっています。そして、先ほど気象庁が、茨城県に予想の高さ10mという大津波警報を出しましたが、大洗で先ほど1.8mの波が到達しました。このあと、第2波、第3波の方が大きくなる恐れもあります。十分にご注意ください。 46:08 現在ご覧いただいている新橋、また、われわれがいるこの新橋も横揺れと縦揺れ、余震が引き続いて起こっています。		中継・東京新橋
15	46:15 46:36	豊田：そうですね。外に出るときはくれぐれもご注意ください。頭を守るためにヘルメットですとか、座布団、帽子などをかぶってください。エレベーターを使わないでください。階段を使ってください。エレベーターは、停電や余震で閉じ込められる心配があります。階段でゆっくりと上り下りをしてください。踏み外してけがをしないように、十分にご注意ください。 46:36 そして、外に出たら壊れた建物や自動販売機、ブロック塀には近寄らないでください。切れて垂れ下がった電線には決して触らないでください。どういった状況になっているか、まだ明らかになっていませんので、外に出ま		中継・江の島

15	46:59	<p>したら壊れた建物や自動販売機、ブロック塀には近寄らないでください。切れて垂れ下がった電線には決して触らないでください。</p> <p>そして、近所で助けを求めている人はいないでしょうか。けがをしている人はいないでしょうか。隣近所で助け合うことも、どうぞ忘れないでください。特にお年寄りや子ども、体の不自由な方がいないかどうか、どうぞ十分に確認をして、注意をしてあげてください。</p>		
	47:15	<p>繰り返します。近所で助けを求めている人はいないでしょうか。けがをしている人はいないでしょうか。隣近所で助け合うことも、ぜひ忘れないでください。特にお年寄りや子どもさん、そして体の不自由な方はいらっしゃるかどうか、十分に注意して、外で皆さん助け合いで、安全をまず第一に確保して行動してください。</p>		
15	47:36	<p>アナ：ご覧いただいているのは東京都心、東京の上空の様子です。先ほどお伝えしました、住宅街の消火活動が続いている様子です。そして、それでは、警視庁から伝えてもらいます。お願いします。</p>		中継・足立区上空
15	47:48	<p>男性：はい、警視庁です。記者クラブは建物の9階にあります。まず縦揺れがあり、その後大きな揺れを感じました。揺れは数分間続きました。建物のエレベーターはすべて止まりました。また、体に感じる、比較的大きな余震をこれまでに5度ほど感じています。</p>		警視庁記者クラブ
	48:09	<p>被害の状況です。警視庁によりますと、東京江東区青海</p>	<p>NNN地震速報</p> <p>午後3時41分頃、地震がありました</p> <p>全国の市町村震度</p> <p>震度4 大船渡、釜石</p> <p>震度3 八戸市、六戸町、五戸町、青森南部町、階上町、おいらせ町、宮古市、盛岡市、葛巻町、岩手町、滝沢村、八幡平市、花巻市、北上市、一関市、平泉町、気仙沼市、涌谷町、大熊町、真岡町</p> <p>震源地は岩手県沖 深さ50km マグニチュード5.7</p>	中継・足立区上空
	(48:19)	<p>の建築中のビルから出火し、黒煙が上がっています。また、千代田区九段南の九段会館のホールで天井が落下し、けが人が多数出ています。消防が現場でけが人の手当をしています。</p>		地震速報
	48:32	<p>このホールでは観光関連の専門学校の卒業式が行われていて、地震当時、600人ほどがいたということです。また、東京消防庁によりますと、都内では、午後3時半までに少なくとも10件の火事が起きているということです。</p>		
	48:48	<p>被害の状況を繰り返します。警視庁によりますと、東京江東区青海の建築中のビルで出火し黒煙が上がっています。また、千代田区内にある九段会館のホールで天井が落下し、けが人が多数出ています。九段会館では観光関連の専門学校の卒業式が行われていて、地震当時、600人ほどがいたということです。</p>		
	49:17	<p>東京消防庁によりますと、都内では、午後3時半までに少なくとも10件の火事が起きているということです。警視庁から、以上です。</p>		
15	49:26	<p>アナ：そして、今ご覧いただいているように、公衆電話ですとか、それから携帯電話もつながらない状況が続いていますから、災害用の伝言ダイヤルなどをご利用することをお勧めします。</p>		中継・東京八王子
	49:37	<p>そして、先ほど警視庁内をお伝えしましたが、神奈川県</p>		

15	50 : 07	<p>内の被害の状況が入ってきました。警察などによりますと、横浜駅前のボウリング場の天井が落ち、10人が下敷きになっているということです。横浜駅前のボウリング場の天井が落ち、10人が下敷きになっているということです。また、神奈川県庁の外壁がはがれ落ちているほか、横浜市のJR関内駅の屋根が崩れ落ちているなど、多数の建物に被害が出ています。</p> <p>さらに、多くの地域で停電が続いています。電話が非常につながりにくい状況が続いていて、一部の地域で110番がつかなくなっているということです。また、神奈川県内は鉄道が全線運行停止しているほか、県内の高速道路も全線で通行止めとなっています。</p>		中継・神奈川江ノ島
15	50 : 26 50 : 49	<p>銀座の様子です。建物の窓ガラスが割れまして、地面にこのガラスの破片が飛び散って落ちているという状況が続いています。</p> <p>男性：最初少しずつだったんですけど、だんだんだんだん大きくなってそれが長時間ですね。ガラスの割れる音がしたので、どこか分らなかったですね、はい。</p> <p>女性：こちらに公園があるんですけども、会社から歩いて、このようにたくさん人が避難をしています。多くの人がこちらの公園に避難をしているところです。</p> <p>女性：揺れを感じたときはデスクにいて、それで、揺れが結構最初は軽かったんですけどずいぶん続いたので、続いて大きくなってきたんで、それで慌てて机の中に...</p>		
15	51 : 19 51 : 48	<p>アナ：東京都心のレポートをお伝えしました。</p> <p>豊田：揺れが収まって外にでる場合は、くれぐれも安全確保を第一に考えてください。まだ、余震は続く可能性があります。頭を守るためにヘルメットや座布団、そして帽子などをかぶってください。エレベーターは使わないでください。そして、階段を使ってください。エレベーターは、停電や余震で今後も閉じ込められる心配があります。階段ではゆっくりと上り下りして、踏み外してけがをしないよう、くれぐれもご注意ください。</p> <p>外にでたら壊れた建物や自動販売機、ブロック塀には近寄らないでください。切れて垂れ下がった電線には決して触らないでください。</p> <p>そして、近所で助けを求めている人はいないでしょうか。けがをしている人、そして隣近所で合うことも忘れないでください。けがをしている人はいないでしょうか。ご家族の確認をお願いします。</p>		中継・都内上空
15	52 : 09	<p>アナ：そして、こちらは都内の上空の様子ですが、おそらく都内から東京湾をはさんで対岸です。おそらく千葉県方面だと思いますが、先ほど煙、それから炎を確認することができました。東京都も、この画で言いますと大津波警報、もしくは津波警報が出ています。東京湾、湾岸一体を今上空からご覧いただいております。今ヘリコプターがいるのが東京や埼玉あたり、そして、この東京</p>		

15	52 : 40 52 : 59	<p>湾をはさんで対岸です、向こう、千葉県あたりから黒い煙が上がっています。</p> <p>そして、ああ、海に近いところでは炎が上がっているのが見えます。このあたりは湾岸地域のコンビナート、化学コンビナートなどが並んでいるところですが、尋常ではないこの炎が上がりまして、真っ黒な煙が立ち上がっているのが海を越えまして確認できます。</p> <p>そして、こうした状況ですから携帯電話、現在つながりにくくなっています。現在、携帯電話がつながりにくくなっていますのでご紹介します。NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話各社が、安否情報を確認できる災害伝言板の設置を行いました。携帯電話各社が、安否情報を確認できる災害伝言板の設置を行いました。安否情報の登録や確認を、携帯電話のトップページやパソコンから行うことができます。電話が通じなくなっていますから、安否情報の登録や確認を、携帯電話のトップページやパソコンから行うことができるということです。安否情報を確認できる災害伝言板を、どうぞご利用ください。</p>	
15	53 : 47 54 : 27 54 : 42	<p>豊田：そして、大津波警報の情報が入っています。北海道太平洋沿岸東部で、津波の到達の推測が3mと予想されています。既に到達しているということなのですが、ここでは3mの予想となっています。北海道太平洋沿岸中部では既に津波が到達しているということですが、推測では6mの予想となっています。そして、北海道太平洋沿岸西部、午後3時40分に到達ということになっています。こちらのほうでは4mの予想となっています。ただし、状況によっては時間のずれがありますので、十分にご注意ください。</p> <p>さらに、千葉県九十九里・外房では津波の到達を確認したということで、こちらでは10m以上の予想となっています。この前後もさらに津波が襲ってくる可能性がありますので、十分にご注意ください。</p> <p>岩手県、宮城県、福島県、茨城県でも津波到達を確認したということです。こちらでも10m以上の予想ということです。</p>	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
15	54 : 51 55 : 07 55 : 21	<p>アナ：これは福島でしょうか、激しい炎が上がっています。消火活動の様子です。VTRでお伝えしていますが、消火器で今消火活動を行っていますが、何か配電盤でしょうか、何か火が吹き出るように炎がこの窓のあたり、格子を突き破りまして。</p> <p>あ、郡山ですね、こちらは郡山の様子です。高い建物の位置から、おそらく地震発生直後の瞬間の様子をとらえています。郡山市内の様子です。福島県にも大津波警報が出されています、ご注意ください。</p> <p>それから、災害用の伝言ダイヤル、伝言板ダイヤルの利用をお勧めします。携帯電話が通じなくなっています。</p>	中継・郡山市内

15	55 : 33	災害用の伝言板を、どうぞご利用ください。 豊田：揺れが収まっても、どうぞ外に出るときは頭を守るためにヘルメットですとか座布団、帽子などをぜひかぶって、身の安全を第一に考えてください。まだ、余震が起きることが考えられます。十分にご注意ください。		中継・都内 上空
15	55 : 48 55 : 57 56 : 16	アナ：これはディズニーランドですね。千葉県の舞浜ですね。東京湾を今上空からご覧いただいております。東京にも津波警報が出されています。 最初の地震発生から、既に1時間10分が経過しています。大きな揺れが2度続きました。宮城県沖を震源とする地震、そしてそのあと3時15分に発生しました茨城県沖を震源とする大きな地震、この二つの地震がありまして、日本の広い範囲で津波警報、大津波警報が出されています。 東京ディズニーリゾートの駐車場ですが、これは液状化でしょうか、駐車場が水浸しになっていますね。水をかぶったというよりも、停まっている車のあたりが水浸し、反射して、沈んでいるのでしょうか。		中継・千葉 上空
15	56 : 33 56 : 48 56 : 55	豊田：先ほど情報が、千葉県の九十九里・外房では津波到達を確認したという情報が入ってきました。先ほどの予想では10m以上ということですが、この津波かどうかは確認できませんが、非常に危険な状態は続いています。 アナ：これだけ多くの車が駐車場に停めているということは、ディズニーリゾートの中にも多くの人が訪れていたことが考えられます。 そして、ご覧いただいているのが、津波の影響によるものなのか液状化によるものなのかは分かりませんが、大きく広い範囲で水をかぶったというよりも、この辺一体が何か沈み込むような感じで水に浸かっているという、ご覧の映像です。浸かっていないところもあります。この一体が、何か沈み込むように水をかぶっているという状況です。		
15	57 : 16 57 : 24 (57:25) 57 : 32	警視庁によりますと、新しい情報です、都内では川が氾濫する恐れがあります。川には近づかないようにしてください。 そして、これはディズニーリゾートの中の様子ですが、人々が立ち止まっていますね。立ち止まって、身を寄せ合っています。 豊田：落下物がないところで、きちんと身の安全を確保しているという状況ですね。 アナ：そうですね。ご覧のように、広いところで座って身を寄せ合いながら。	NNN津波速報 午後3時55分までに観測された津波の時刻と高さ 福島相馬 午後3時50分 最大波 7.3m 以上 茨城大洗 午後3時43分 最大波 3.9m 青森八戸 午後3時51分 最大波 2.3m 北海道浦河 午後3時47分 最大波 2.1m	津波速報
15	57 : 43	福島の相馬に最大波 7.3mの津波を、これは、観測しました。茨城の大洗にも最大波 3.3mを越える津波、八戸が 2.3mです。最大波、一番大きな波、ご覧のように2m、3mを越える津波が日本の各地を襲っています。十	八丈島八重根 午後3時48分 最大波 1.4m 八丈島神湊 午後3時45分 最大波 1.2m 神奈川小田原 午後3時48分 最大波 0.9m 青森むつ市関根浜 午後3時51分 最大波 0.8m	中継・東京 ディズニー リゾート上 空

15	58 : 14	<p>分にご注意ください。河口には、そして海岸には近づかないでください。それから、先ほど警視庁の発表にありましたように、川にも近づかないでください。地盤が緩んでいて、川が決壊する恐れがあります。</p>	<p>北海道中町霧多夫港 午後3時50分 最大波0.8m 三宅島阿古 午後3時39分 最大波0.6m</p>	
	58 : 27	<p>豊田：また、原子力保安院によりますと、午後3時現在、関東全域で400万6千件の停電が確認されています。関東全域で400万6千件の停電、関東全域で停電が確認されています。</p> <p>アナ：また、余震が発生しています。最初の地震が発生してから1時間13分が経過しましたがけれども、また、東京の新橋のスタジオでも縦揺れを感じています。そして、今ご覧いただいているのが。まもなく、気象庁の情報が入って参ります。入り次第、こちらからお伝えします。ヘリコプターで確認してしましても、東京ディズニーリゾートのあたりも…。</p>	<p>北海道白老港 午後3時40分 第1波0.6m引 北海道苫小牧西港 午後3時37分 第1波高さ不明 場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p> <p>今後、津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p> <p>震源地は三陸沖 深さ10km マグニチュード7.9</p>	
15	58 : 49	<p>マグニチュードの変更が発表されました。マグニチュードの変更が発表されました。三陸沖を震源とする本震が、マグニチュード7.9からマグニチュード8.4に変更されました。三陸沖を震源とする本震、マグニチュードがマグニチュード8.4に変更されました。</p>		中継・千葉上空
	59 : 10	<p>かつて経験したことのない規模の地震が発生しました。そして、午後3時40分現在、東北電力は地震直後から岩手県内全域で停電となっています。</p>	<p>NNN地震速報 午後3時57分頃、関東地方で震度4の地震がありました</p>	地震速報
	(59 : 22)	<p>ディズニーリゾート上空から駐車場の様子を見ていますが、動いている車はほとんどありません。おそらく、皆さんは広い場所で待機して身を寄せ合っているものと思われます。</p>	<p>震度4 千葉北東部 震度3 茨城北部 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北西部</p>	
	59 : 34	<p>そして、これは岩手県の宮古の様子です。繰り返しお伝えしています。</p>		
15	59 : 39	<p>新しい情報が入ってきました。気仙沼市の消防本部によりますと、潮の潮位が引いていると、海の潮位が引いているという情報が寄せられています。町中の人々が続々と高台に向かっているということです。気仙沼市で、防災無線などで避難勧告を呼びかけています。</p>	<p>津波情報、各地の詳しい震度などは情報が入り次第お伝えします</p>	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
	59 : 59	<p>豊田：また、関東各地で余震が続いています。さらに津波情報が入ってくる可能性がありますので、このあとも十分に警戒してください。関東各地で震度3、4規模の余震が現在も続いていますので、くれぐれもこのあとの行動も十分にご注意ください。</p>		
16	00 : 14	<p>アナ：これは飛行場ですね。羽田でしょうか、今一瞬映りました。飛行場です。これはどちらの映像でしょうか。クレーン車が見えます。広い、滑走路でしょうか。千葉上空です。千葉上空の映像です。先ほど一瞬、タラップのようなものが見えたんですが、これは千葉上空の映像です。情報が入り次第、お伝えします。</p>		中継・千葉上空
16	00 : 34	<p>豊田：津波注意報が出ていますが津波だけではなく、海だけではなく、川でも氾濫に十分ご注意ください。海か</p>		

16	00 : 55 01 : 08	<p>ら川に水が入ってくることも十分に考えられます。海だけではなく、川の氾濫にも十分にご注意ください。揺れが収まっても、どうぞ落ち着いて行動をしてください。まだ、余震が続いています。</p> <p>アナ: この千葉ですとか東京には海拔ゼロメートル地帯がありまして、非常に地盤が弱いところがあります。海からの津波への警戒だけでなく、地盤が緩んでいること、そして川の氾濫にも注意が必要です。</p> <p>羽田空港から東京湾を越えまして対岸、千葉県のみ原市付近だと思われますが、煙が上がっています。東京湾を越えまして、煙が上がっています。激しく炎が上がっています。</p>	
16	01 : 21 01 : 48	<p>さて、ご覧いただいているのは羽田空港からの映像ですが、その羽田の情報が入ってきました。</p> <p>羽田空港では、地震が発生してからすべての飛行機の離陸を見合わせていますが、着陸は15時40分に再開しました。羽田空港は地震が発生してからすべての飛行機の離陸、出発を見合わせていますが、着陸は15時40分、今から20分ほど前に再開しました。</p> <p>また、滑走路4本のうち、2本が使用できる状態だということです。滑走路4本のうち、2本が使用できる状態だということです。</p> <p>まもなく、菅総理の会見も行われますし、気象庁も会見を行うようです。気象庁の会見です。</p>	中継・羽田 空港
16	02 : 09 02 : 33 03 : 05	<p>横山: はい、地震津波監視課長の横山です、よろしくお願ひします。まず最初に、津波警報が出ています。大津波の津波警報が北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島。</p> <p>これらの地域に大津波の津波警報が出ていますので、住民の方は高いところに避難してください。できるだけ高いところに避難してください。今も津波が来ていますけれども、まだ来ていないところでもこれからさらに大きな津波が来る可能性がありますので、絶対に戻らないでください。高いところに避難したまま、しばらくは避難を続けてください。警報が解除されるまでは絶対に戻らないでください。よろしくお願ひします。</p> <p>それから、津波警報が北海道から沖縄地方まで、太平洋沿岸中心に出ています。津波警報が出ている地域につきましても、高いところに避難して、しばらくは避難所にいてください。まだこれから大きな津波が来る可能性がありますので、しばらくは避難を続けてください。</p>	中継・気象 庁 中継・千葉 上空
16	03 : 32 03 : 47	<p>今回の地震は非常に大きな地震でしたので、津波の続く時間もかなり長くなると思われます。そういうことですので、避難を続けるようよろしくお願ひします。</p> <p>それから、注意報が出ている地域につきましては、海岸</p>	

16	03 : 55	<p>から離れて海のほうに行かない、近づかないということ によりお願いします。</p> <p>それから、強い揺れがあった地域につきましても、今後 余震による強い揺れの可能性がありますので、強い揺れ に警戒してください。まだ、非常に大きな地震でしたの で、余震も大きな地震が起こる可能性がありますので、 十分揺れについても警戒してください。以上です。</p>		
16	04 : 20 04 : 43 05 : 17 05 : 44	<p>続けて、今回の地震の概況についてご説明します。地震 の発生日時ですけれども、本日 11 日 14 時 46 分頃です。 マグニチュードは 8.4、これは暫定値ですけれども、先ほ ど精査した結果 8.4 ということになっております。</p> <p>それから、地震の発生場所ですけれども、これは地震の 破壊開始地点ということで決してそのピンポイント だけが壊れた訳ではないので、東北地方の沖から関東地 方の沖合までかなり地震が分布しているようですので、 かなりの破壊域があったものと思われます。</p> <p>破壊開始地点は三陸沖、牡鹿半島の東南東約 30km 付近 で、震源の深さは 10km、これは速報値でございますけ れども、震源の深さは 10km と推定されています。それ から、発振機構ですけれども、西北西、東南東方向に圧 力軸をもつ逆断層型です。</p> <p>観測されました震度ですけれども、震度 7 が観測され たのが宮城県の栗原市、それから震度 6 強を観測したのが 宮城県の涌谷町、登米市、大崎市、名取市など、宮城県、 福島県、茨城県、栃木県の 4 県 28 市町村で震度 6 強を 観測しております。そのほか、東北地方を中心に北海道 から九州地方にかけて、震度 6 弱から震度 1 を観測して おります。</p>		
16	06 : 27 07 : 31	<p>大津波警報が出ている地域は先ほど申し上げました通 りです。それから、津波の津波警報を発表しているのが 北海道日本海沿岸南部、青森県日本海沿岸、陸奥湾、千 葉県内房、東京湾内湾、小笠原諸島、相模湾・三浦半島、 静岡県、愛知県外海、伊勢・三河湾、三重県南部、淡路 島南部、和歌山県、徳島県、愛知県宇和海沿岸、高知県、 大分県豊後水道沿岸、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・ 屋久島地方、奄美諸島、トカラ列島、沖縄本島地方、大 東島地方、宮古島・八重山地方です。</p> <p>それから、津波注意報を発表した地域がオホーツク海沿 岸、大阪府、兵庫県瀬戸内海沿岸、岡山県、香川県、愛 媛県、愛媛県瀬戸内海沿岸ですね、有明・八代海、長崎 県西方、熊本県天草灘沿岸、大分県瀬戸内海沿岸、鹿児 島県西部、以上です。</p>		
16	08 : 03	<p>津波の観測状況ですけれども、最大の高さで 4 m を越え るものが観測されておりますけれども、一部地域で停電 とか、それから通信回線の切断等がありまして欠測など がございますので、実際に到達している津波が分らない という地域がございます。</p>		

16	08:34	ただ、10m以上という大津波の津波警報を出している地域は 10m以上を予測しているところもありますので、相当高い津波が現在来ているものと思われます。十分、警戒してください。		
	08:51	それから、余震活動の状況ですけれども、多数の余震が観測されていますけれども、余震がかなり重なっていますので非常に分離が難しいというところで現在何回ということは申し上げられませんが、現在も引き続き余震活動が活発な状況が続いていると思われますので、そういった強い揺れに引き続き警戒してください。		
	09:22 (9:30)	それから、この地震に対して、地震の検知後 8.6 秒後に緊急地震速報の警報を発表しています。あとは資料でご説明しますが、	NNN津波情報 午後4時8分、気象庁は津波関連の追加・変更を	津波情報
16	09:52	アナ：現在の映像をご覧いただいているのは、これは千葉県の被害です。千葉市消防局によりますと、中央区川崎町にありますJFEケミカルで火災が発生しているということです。また、千葉市の花見川区長作町にあるマンションでは建物火災が起きています。若葉区の多部田第一公園付近でも、建物火災が発生しているということです。	発表 津波警報（津波注意報から変更） 鹿児島西部 津波警報（津波注意報から変更） 大分瀬戸内海沿岸 大津波警報（津波警報から変更） 小笠原諸島	
	10:14	千葉の上空からの現在の映像を映していますが、この丸いガスですね、容器の中にはブタンガスという非常に揮発性の高いガスが入っておりまして、引火する可能性も十分に考えられるということです。	大津波警報（津波警報から変更） 青森県日本海沿岸 大津波警報（津波警報から変更） 和歌山県	
16	10:27	豊田：また、津波警報が大津波警報に変更になっていますので、海の近くにいらっしゃる方は十分にご注意ください。そして、津波警報、注意報、出ていますね。気象庁は津波関連の変更を発表しています。	大津波警報（津波警報から変更） 徳島県 大津波警報（津波警報から変更） 千葉内房	
	10:43	大津波警報が出ているのは岩手県、宮城県、福島県、青森太平洋沿岸、茨城県、千葉九十九里・外房、北海道太平洋中部、伊豆諸島、北海道太平洋東部、北海道太平洋西部です。大津波警報に変更になっていますので、十分に、海の近くに近づかないよう気を付けてください。	大津波警報（津波警報から変更） 相模湾・三浦半島 大津波警報（津波警報から変更） 静岡県	
	11:08	津波警報となっているのは愛知外海、三重南部、東京湾内湾、陸奥湾、高知県、伊勢・三河湾、北海道日本海南部、淡路島南部、宮城県、種子島・屋久島地方、奄美・トカラ、鹿児島東部、愛媛宇和海沿岸、大分豊後水道沿岸、沖縄本島地方、宮古島・八重山地方など、各地に大津波警報や津波警報が出ています。十分にご注意ください。	津波注意報：山形県 すでに津波到達か 0.5m 予想 津波注意報：秋田県 午後5時0分 0.5m 予想 津波注意報：新潟上中下越 午後5時30分 0.5m 予想 津波注意報：山形県 午後5時30分 0.5m 予想 津波注意報：石川能登：午後5時30分 0.5m 予想 津波注意報：山口瀬戸内海沿岸 午後8時10分 0.5m 予想	中継・東京 新橋
16	11:49 (11:55)	アナ：気象庁によりますと、午後3時55分までに観測された津波の時刻と高さは次の通りです。福島県の相馬では午後3時50分に最大波7.3m以上、岩手県の釜石では午後3時21分に最大波4.1m以上、岩手県の宮古では午後3時21分に最大波4m以上、茨城県の大洗では午後3時43分に最大波3.9m、北海道のえりも町では午後3時44分に最大波3.5m、宮城県の石巻市では午後3時	津波注意報：広島県 午後9時0分 0.5m 予想 津波注意報：佐渡 午後10時30分 0.5m 予想 大津波・津波警報の沿岸では直ちに安全な場所に避難して下さい NNN津波情報 午後2時46分頃、地震がありました	津波情報

		20分に最大波3.3m以上、岩手県の大船渡では午後3時15分に最大波3.2m以上。以上、3m以上津波を観測した地点が、太平洋側を中心に多く起こっています。	津波到達予想時刻と予想高さ 小笠原諸島（到達推測）すでに津波到達か 4m 予想	
16	12:37	千葉県の上空、石油コンビナートなどが多く並んでおります。千葉県の市原市の上空です。隣には石油コンビナートのガスを充満したようなタンクなどもありまして、あの中にはライターなどに使われるブタンガスが充填されている可能性があるということです。	青森日本海沿岸（到達推測）すでに津波到達か 3m 予想 和歌山県（到達推測）すでに津波到達か 3m 予想 東京湾内湾（到達推測）すでに津波到達か 2m 予想	中継・千葉上空
	12:55	太平洋側を中心に大津波警報の範囲が広がっています。関東までは、先ほどまでは津波警報で留まっていたんですが、茨城県の沖合で3時15分に起きましたマグニチュード7.4の地震から、関東地方も大津波警報に変わりました。	愛知外海（到達推測）すでに津波到達か 2m 予想 三重南部（到達推測）すでに津波到達か 2m 予想	
	13:13	そして、これは宮城県の川でしょうか、海でしょうか。海の、七ヶ浜町という場所ですが、建物のすぐそばでは非常に川幅の広いような大きな川に見えますが、これは地震の影響を受けた水の流れだと思われまます。海や川には絶対に近づかないでください。海や川には絶対に近づかないでください。	津波注意報：山形県すでに津波到達か 0.5m 予想 徳島県（高く変更）午後4時40分 3m 予想 宮崎県（高く変更）午後5時0分 2m 予想 津波注意報：秋田県午後5時0分 0.5m 予想 鹿児島東部（高く変更）午後5時10分 2m 予想 種子島・屋久島地方（高く変更）午後5時10分 2m 予想	
	13:36	豊田：海の近くにいる人は、直ちに避難してください。海から離れた高台や、頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。	奄美・トカラ（高く変更）午後5時10分 2m 予想	
16	13:45	アナ：神奈川県鎌倉市内で、川の水が引いているということです。神奈川県鎌倉市内で、川の水が引いているということです。津波の恐れもありますので、川から、そして海から十分に距離をとってください。神奈川県鎌倉市内で、川の水が引いているということです。	鹿児島西部（高く変更）午後5時20分 1m 予想 津波注意報：新潟上中下越 午後5時30分 0.5m 予想 津波注意報：富山県 午後5時30分 0.5m 予想 津波注意報：石川能登 午後5時30分 0.5m 予想	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
	14:01	豊田：また、津波や川の氾濫は、陸に上がってからも建物や車を巻き込んで被害を大きくしますので、一刻も早くそういった水の来ない場所に逃げてください。特に海では、海岸線が入り組んだ場所では波が高くなりますので、十分にご注意ください。	大分瀬戸内海沿岸（高く変更）午後5時50分 1m 予想 津波注意報：山口瀬戸内海沿岸 午後8時10分 0.5m 予想 津波注意報：広島県 午後9時0分 0.5m 予想	
	14:19	アナ：北海道の太平洋中部、そして茨城県などを中心とした太平洋側では、先ほどは10m以上を予想した津波がもう到達したということですが、その津波の高さの詳しい値というのはこちらには入ってきていませんが、このあとも連続して津波が陸に押し寄せる可能性もありますので、海、川には絶対に近づかないでください。	津波注意報：佐渡 午後10時30分 0.5m 予想 青森太平洋沿岸（到達確認）津波到達を確認 10m 以上予想 茨城県（到達確認）津波到達を確認 10m 以上予想 北海道太平洋中部（到達確認）津波到達を確認 8m 予想	
	14:41	そして、先ほどから比べますと、石油コンビナートの炎の高さがどんどん上がっています。内陸のほうに、海からの風を受けまして、その炎が上がってきました。ガスが充填されているであろう可能性がある、その石油コンビナートの内側に火災の火が上がってきています。	北海道太平洋東部（到達確認）津波到達を確認 6m 予想 北海道太平洋西部（到達確認）津波到達を確認 6m 予想	中継・千葉上空
	14:58	豊田：くれぐれも、津波警報、注意報が解除されるまでは決して油断しないで下さい。	伊豆諸島（到達確認）津波到達を確認 6m 予想 千葉内房（到達確認）津波到達を確認 4m 予想	
	14:58	アナ：それでは、ミヤギテレビのスタジオから中継です。	相模湾・三浦半島（到達確認）津波到達を確認 3m 予想	
16	15:08	アナ：...発令中です。沿岸の人たちは高台に避難してく	m 予想	中継・宮城

	(15:27)	<p>ださい。まだ避難を終えていないという方は、高台に避難してください。また、第1波のあと、第2波、第3波のほうで津波が高い可能性が十分にありますので、第1波が引いて以降、大丈夫そうだという個人の判断はしないで、沿岸に住む方は高台に避難してください。</p>	<p>静岡県（到達確認） 津波到達を確認 3m 予想 場所によって津波の高さが予想より高くなる可能性があります 震源地は三陸沖 深さ 20km マグニチュード 8.4 NNN津波情報</p>	<p>県仙台南内 津波情報</p>
16	15:34	<p>繰り返してお伝えします。午後2時46分頃、三陸沖を震源とする地震がありました。震源の深さはおよそ 10km、地震の規模、マグニチュードは 8.4 と推定されています。</p> <p>ミヤギテレビのスタジオは、今も余震を感じています。小刻みな横揺れを感じています。少し揺れが強くなりました。身の安全を確保してください。余震です。身の安全を確保してください。この揺れはじきに収まりますので、落ち着いて身の安全を確保してください。</p>	<p>午後4時10分までに観測された津波の時刻と高さ 北海道根室花咲 午後3時57分 最大波 2.8m 北海道十勝港 午後3時57分 最大波 2.8m 青森八戸 午後3時57分 最大波 2.3m 青森むつ市関根浜 午後3時57分 最大波 2.1m 北海道釧路 午後3時51分 最大波 2.0m 北海道白老港 午後4時1分 最大波 1.8m 北海道浜中町霧多布港 午後3時55分 最大波 1.3m 静岡県南伊豆町石廊先 午後3時56分 最大波 0.8m 三宅島坪田 午後3時34分 最大波 0.8m 静岡下田港 午後3時57分 最大波 0.7m 静岡伊東 午後3時52分 最大波 0.7m 神津島港 午後3時49分 最大波 0.6m</p>	<p>ミヤギテレビ 中継・宮城県七ヶ浜町 多聞山</p>
	16:15	<p>午後2時46分に地震を観測してから既に1時間半が経過していますが、まだ余震が続いています。このあとも余震が発生する可能性は十分にありますので、引き続き身の安全を確保してください。</p>	<p>北海道苫小牧西港 午後4時3分 最大波 0.4m 北海道苫小牧東港 午後3時40分 第1波 0.2m 引場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p>	
	16:34	<p>午後2時46分、地震がありました。三陸沖を震源とする地震がありました。震源の深さは 10km、地震の規模はマグニチュード 8.4 と推定されています。そして、ご覧いただいているのは、先ほど...</p>		
16	16:46	<p>アナ: それでは、日本テレビのスタジオから情報をお伝えして参ります。神奈川県江ノ島の様子をご覧ください。実はですね、この江ノ島に架かる橋のあたりは海の水で充満しているはずなんです、その水が海の方の方に引いています。川の水が引いているという情報もありまして、神奈川県鎌倉市内を中心に津波の恐れがあるということです。川、そして海には絶対に近づかないでください。川、そして海には絶対に近づかないでください。</p>	<p>今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p>	<p>中継・神奈川県川江ノ島</p>
	17:18	<p>東浜と西浜に分かれるこの江ノ島ですが、この水が陸地で分断されているというシーンはほとんど見たことがありません。川の水、そして海の水が引いています。津波の恐れもありますので、川や海には絶対に近づかないでください。</p>	<p>NNN地震速報 午後4時15分頃、東北・関東地方で震度4の地震がありました 震度4 福島中通り 福島浜通り 福島会津 栃木北部 栃木南部</p>	<p>地震速報</p>
	(17:21)		<p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉西北部</p>	
16	17:35	<p>豊田: 特に、揺れが収まって外に出る場合は、十分に頭など、自分の体をきちんと確保して、安全を確保してお出かけください。頭を守るためにヘルメットや座布団、帽子などをかぶってください。</p>	<p>津波情報、各地の詳しい震度などは情報が入り次第お伝えします</p>	
	17:47	<p>そして、エレベーターは使わないでください。階段を使いましょう。エレベーターは、停電や余震で閉じ込められる心配があります。現在もこの関東地方で揺れを感じていますので、余震が続く可能性があります。エレベーターは、停電や余震で閉じ込められる心配がありますので、階段でゆっくりと上り下りしてください。慌てると踏み外してけがをします。どうぞ、十分にご注意くださ</p>		

16	18 : 12	い。 また、外にでたら壊れた建物や自動販売機、ブロック塀には近寄らないでください。切れて垂れ下がった電線には決して触らないでください。		中継・都内 上空
	18 : 23	近所で助けを求めている人はいないでしょうか。けがをしている人はいないでしょうか。隣近所で助け合うことも、ぜひ忘れないでください。隣近所で声を掛け合うことも、どうぞ忘れないでください。特にお年寄りや子ども、体の不自由な人がいないか十分にご注意ください。揺れが収まったときには、そういったまわりの注意もぜひひしてあげてください。くれぐれもご注意ください。		
16	18 : 47	アナ：これは、千葉市の千葉マリスタジアムの上空の映像です。これはですね、陸地からおよそ1 kmほど入ったところではありますが、駐車場、これは海の水ではなく地面からしみ出すような、液状化現象が起こっているものと想定されます。また、駐車場から車を出している市民の皆さんがいますが、水浸しの中、買い物袋などを持ちまして自分の車まで戻っているところです。		中継・千葉 上空
	19 : 10	ただですね、海が非常に近い場所ですので、なるべく早く海から離れてください。川から離れてください。神奈川県鎌倉市では、江ノ島の海のあたりを中心に水が引いています。今不体裁がありました。大変、申し訳ありませんでした。		
16	19 : 26	江ノ島の状況をご覧いただいておりますが、この大津波警報などを引き起こしていますのは、二つの大きな地震です。宮城県の北部に午後2時46分、震度7、マグニチュード8.4、午後3時15分に茨城県沖、マグニチュード7.4、この二つの大きな地震が大津波警報などを引き起こしています。		中継・神奈 川江ノ島
	19 : 47	江ノ島の海の様子を見ていただいても、水が引いているのがわかります。これから、これから津波の恐れがありますので、海、そして川には絶対に近づかないでください。 それでは、福島中央テレビのスタジオから中継で伝えてもらいます。		
16	20 : 04	アナ：はい。それでは、福島県郡山市にありますニュースセンターからお伝えします。午後3時前に起きた地震で、福島県内では最大で震度6強を観測しました。太平洋沿岸の相馬市、相馬市といいますのは宮城県寄りの沿岸の町なんです、午後3時50分に高さ7.3m以上の津波を観測しました。繰り返してお伝えしていますが、高台などに避難し、絶対に海や川には近づかないでください。		福島中央テ レビ
	20 : 31	福島県内の震度は白河、須賀川、二本松、鏡石、浪江などで震度6強。ですから、福島県の中部、それから宮城寄りの方の沿岸の町ですね、で震度6強。郡山、田村、いわき、猪苗代などで震度6弱。これは県の中部の町です。		

		福島、伊達、会津坂下、会津美里などで震度5強。これは県の北部と会津の地域です。会津若松、喜多方、南会津などで震度5弱を観測しました。		
16	20:59 21:15 (21:20) 21:32 21:49	福島中央テレビの本社がある郡山市では、5、6階建てのビルの1階部分がつぶれているほか、駐車場のブロック塀が倒れているところもあります。この映像です。そして、至るところでガラスの破片が飛び散っています。また、郡山市内のイベント会場やコンビニエンスストアで火事が起きています。また、郡山市やいわき市でガス漏れが発生しているという情報があります。こちらは、コンビニエンスストアの火事の映像です。地震で起きた、コンビニエンスストアの火事の映像です。また、ここから近い、郡山市民文化センターでは500人規模のイベントが行われていましたが、避難して無事だったということです。こちらは、コンビニエンスストア消火活動の様子です。そして、こちらは郡山駅前の様子です。おそらく、建物の中にいた人が外に逃げたものと思われます。交通機関ですが、県内の高速道路、福島県内の高速道路はすべて通行止めとなっています。JRは東北新幹線、山形新幹線など、すべての運転を見合わせています。気象台によりますと、福島県沿岸では、10m以上の津波の到達が観測されたところもあるということです。	NNN地震速報 午後4時15分頃、地震がありました 全国の市町村震度 震度4 郡山市 須賀川市 二本松市 桑折町 田村市 いわき市 喜多方市 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 会津美里町 大田原市 那須町 高根沢町 震源は福島県沖 深さ10km マグニチュード6.8	地震速報
16	22:10 22:24 22:38	先ほど取材してきた別のアナウンサーの話を聞きますと、市内の道では至るところで瓦やガラス片が落ちたり、塀が倒れたりしているということです。住宅街の小さな道では、両側の家の塀が倒れ通れなくなっている場所もあるということです。そして、停電が続いています。信号はまったく機能していない状況で、大きな交差点ごとに警察官が立って、手信号や笛で車や人を整理しているという状況です。家の明かりもついていないということです。また、町なかでは警察の方の大きな声やサイレンの音などがあちらこちらから響き、ちょっと騒然とした状況だということです。ただ、住民の方は、動揺しているものの、パニックなどにはなっていないということです。また、隣近所で声を掛け合い、安全を確認し合う姿が町のあちらこちらで見られたということです。		
16	22:58 (23:18) 23:24	そして、ビルが倒壊した場所なんですけれども、4階建てのビルの1階の半分が押しつぶされた場所があったということです。柱に入っている鉄筋がひしゃげていたそうです。地震が発生したとき20人ほどの方が集会に参加していたんですが、逃げた方によると椅子に身を隠し、ひしゃげたビルのあいだから這い出して全員逃げた。ただ、体を強く打ったり、頭などから血を流して病院に運ばれる人もいたということです。余震が起きますと大きく傾いたビルが揺れて、二次災害	NNN津波情報 午後4時21分までに観測された津波の時刻と高さ 北海道十勝港 午後3時57分 最大波2.7m 北海道苫小牧西港 午後4時12分 最大波1.9m 神奈川横須賀 午後4時8分 最大波0.9m	津波情報

		の危険が高いと、取材したアナウンサーは感じたということです。	和歌山那智勝浦町浦神 午後4時18分 最大波0.2m 和歌山串本町袋港 午後4時19分 最大波技弱	
16	23:33	こちらは、地震が発生したときの郡山市、FCTニュースセンター内の映像です。揺れとしては、震度3から4の揺れが起きたあと、だんだん大きな揺れへと変わっていきました。そして、本棚のものが崩れたり、あるいはガラスのショーケースなどが倒れてガラスがこなごなに割れたりというようなことが、このFCTの郡山市の本社の中でも見られました。ご覧のように、立ってられない状況です。	場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります 今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます 震源地は三陸沖 深さ20km マグニチュード8.4	
	24:01	そして、こちらが郡山市内のコンビニエンスストアの火事の映像です。先ほどご覧いただきましたように火事が起きて、そのあと自分たちで持っている消火器で消火作業、そのあと消防車が駆けつけてきたということで、ご覧のように、一部では火事も起きています。		
16	24:16	アナ：それでは、日本テレビのスタジオから情報をお伝えして参ります。 豊田：原子力発電所の情報が入ってきました。東京電力によりますと、福島第一原発で運転中の1号機、2号機、3号機は自動停止しました。また、福島第二原発の1号機、2号機、3号機、4号機も自動停止しました。現在、被害状況について確認中です。一方、柏崎原発は今のところ問題なく運転しているということです。		中継・都内 上空
	24:45	また、東北電力によりますと、宮城県北東部にある女川原発の1号機、2号機、3号機が自動停止したということです。東北地域では停電の被害が出ている模様ですが、現在調査中ということです。		
16	25:00	アナ：この地震を受けまして、午後4時から気象庁は会見を行いました。震源は東北地方の沖から関東地方にかけて分布していて、もっとも大きかった地震のマグニチュードは8.4だとしています。気象庁は、津波が続く時間はかなり長くなると警戒を呼びかけています。また、余震についても、強い揺れだったので余震も大きくなる可能性があると話しています。		
	25:23	また、津波警報から大津波警報に切り替えられた地域をご紹介します。青森県日本海の沿岸、千葉県の内房、小笠原諸島、相模湾、三浦半島、静岡県、和歌山県、徳島県。繰り返しお伝えします。津波警報から大津波警報に切り替えられた地域です。青森県の日本海沿岸、千葉県内房、小笠原諸島、相模湾、三浦半島、静岡県、和歌山県、徳島県です。		
	25:56	現在、携帯電話はつながりにくくなっています。このため、NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話各社が、安否情報を確認できる災害伝言板の設置を行いました。安否情報の登録や確認を、携帯電話のトップページやパソコンから行うことができるということです。		
16	26:15	豊田：また、成田空港では、地震が発生してからすべて		中継・羽田

16	26 : 35	<p>の飛行機の離陸を見合わせていますが、施設の被害やけが人などが出ていない模様です。そして、羽田空港では、飛行機の着陸は 15 時 40 分に再開しました。また、滑走路 4 本のうち、2 本が使用できる状態だということです。現在入っている情報です。</p> <p>アナ：羽田空港の情報カメラから、対岸の千葉県市原市の、石油コンビナートなどが密集している地域の火災を映しています。それでは、これは羽田空港の情報です。そして、まもなく総理官邸で総理の会見が行われる模様ですが、その前に、テレビ岩手のスタジオから中継で伝えてもらいます。</p>	空港
16	26 : 58	<p>アナ：それでは、岩手県のテレビ岩手からお伝えしていきます。2 時 46 分頃に発生したマグニチュード 8.4 の地震で、岩手県は震源に近い沿岸南部のほか。あ、また余震を感じています。現在、岩手県の盛岡市で余震と見られる揺れを感じています。マグニチュード 8.4 の地震で、岩手県では震源に近い沿岸の南部、そして内陸の北部と南部で震度 6 弱、さらに沿岸の北部で震度 5 強という強い揺れを観測しました。</p>	テレビ岩手
16	27 : 32	<p>それでは、地震が発生したときの様子です。これは、岩手県の盛岡市で撮影した、地震が発生した直後の様子です。盛岡市内の震度は震度 5 強でした。最初はかたかたかと縦揺れから始まったんですが、やがてどんどんその揺れが強くなって行って、時間にすればだいたい 1 分を越えて 2 分近く揺れ続けました。おとといの三陸沖を震源とする地震と比べても、おそらく倍以上の時間揺れていたと思います。</p>	
	28 : 11	<p>そして、地震が発生した直後の、テレビ岩手の社内の様子です。このフロアはビルの 4 階にあります。ビルの 4 階なんですけど、もう揺れている最中はこういうかたちでロッカーが倒れてくるのを押さえたり、そして机の上のものがどんどん散乱して床に落ちたという感じでした。そして、電気が消えて一時的に停電はしましたが、そのあと、このテレビ岩手の社内は自家発電で電気は復旧しています。</p>	
16	28 : 45	<p>さあ、そして、この地震によって岩手県の沿岸では、既に 10m 以上の津波の到達を確認しています。今ご覧いただきましたのは、地震発生から 30 分ほど経った、午後 3 時 10 分頃から 15 分頃にかけての沿岸、宮古港に津波が押し寄せる様子です。岩手県の沿岸の宮古港には、3 時 10 分頃から 15 分頃にかけて高さ 4 m の大津波が押し寄せました。</p>	
	29 : 16	<p>そして、画面の今右の隅に見えているのが、魚市場の屋根です。ですから、ここで普段の海面からおそらく 4、5 m 高い状態ということになると思います。地震が発生して、ほんの 5 分ぐらい前までは、この宮古魚市場の建物がほぼすべて見えていたんですが、津波が押し寄せて</p>	

16	29 : 40 29 : 53	<p>ほんの2分ほどのあいだに屋根まで。</p> <p>あ、また強い揺れを感じています。また、強い余震を感じています。岩手県の盛岡市内、がたがたと、また小刻みな揺れが続いています。ほぼ収まりました。</p> <p>これ、現在のお天気カメラの様子です。盛岡市内は今、雪が舞い始めました。そして、信号機は消えています。これは盛岡市の中心部、大通商店街という一角なのですが、現在の様子です。東北電力によりますと、現在、岩手県内すべてで停電状態にあります。東北電力によりますと、岩手県内すべてで今停電状態、このように信号機も消えている状態です。今の強い揺れ、少し収まりました。</p>		
16	30 : 24 30 : 54 31 : 14	<p>それでは、地震発生後に。あ、改めて、宮古港に津波が押し寄せる様子ご覧いただきましょう。これは、だいたい時間は3時10分頃から始まって、この頃は12、13分頃だと思われれます。魚市場の後ろに停めてあった車が、もう完全に水面に浮かんでいる状態です。普段よりも、水位は4mから5mほど高い状態になっています。そして、浮かんでいる車の奥に、どんどんどん沖のほうから波が押し寄せてくる様子が撮影されました。沖のほうからどんどんどん、陸に向かって押し寄せていき、そしておそらく電気をつないでいる電柱だと思えますが、それがそれに巻き込まれて倒れていきました。</p> <p>車も浮かんでいる状態、そして、ほぼ、魚市場に隣接する建物も、屋根まで水没している状態です。手前も、これは魚市場関連の建物なのですが、屋根まで完全に水没しています。普段よりも4mから5mほど、一気に、大津波によって水位が上がりました。波はこのあといったん引きますが、決して海岸には近づかないでください。決して海岸には近づかないでください。</p> <p>それでは、地震発生後の盛岡市の様子、県庁からのレポート、ヒライアナウンサーです。</p>		
16	31 : 51 32 : 08 (32:28) 32 : 51	<p>ヒライ：はい。盛岡市内丸にある、岩手県の岩手県庁4階になります。この4階には防災通信、消防、防災危機管理の課がありまして、県庁職員が情報収集を今行っているところです。</p> <p>奥の部屋になりますが、お分かりになりますでしょうか。私の後ろの奥の部屋ですが、こちらには午後2時46分から岩手県の災害対策本部を設置し、各担当の職員、そのほか各方面の担当、自衛隊、警察、消防、日赤、また、この県庁は現在自家発電で動いていますが、各市町村で停電や電力被害があるため東北電力の担当者も加わり対策を行い、同時に各市町村への指示、情報収集を現在行っています。</p> <p>また、達増知事は地震直後、知事公舎で連絡と準備を行いまして、テレビで被害を確認し、コメントを県庁職員に述べています。こちらに急いで向かいまして、人命最優先で対応しなければならない。県職員、各市町村の職</p>	<p>NNN地震速報</p> <p>午後4時30分頃、次の地域で震度5弱の地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 福島会津 栃木北部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形庄内 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉西北部 新潟中越 新潟下越</p> <p>津波情報、各地の詳しい震度などは情報が入り次</p>	<p>中継・岩手県庁</p> <p>地震速報</p>

		員も総動員で県民のため動くよう指示しました。	第お伝えします	
16	33:18 33:33 (33:42) 33:56 34:08 34:25	また、奥の部屋も含めてこちらで情報収集を行っていますので、しっかりとした確認はできていないのですが、こちらに入っている情報を今お伝えいたします。 こちらには、被害情報として大船渡支部からの情報、停電、倒壊情報、ただしこれは不明となっています。陸前高田市消防本部情報、倒壊し建物が見えない部分がある。3時15分には、盛岡市内で火災が3件発生した。3時15分には宮古消防本部情報として、負傷者の救急情報が1件入っている。負傷の程度は今は不明となっています。 また、3時17分には釜石支部情報として、釜石合同庁舎で停電がありましたが、自家発電に切り替えています。周辺が倒壊し建物が確認できない部分があるという情報が入っています。 また、岩手県沿岸の田老町では、津波が堤防を越え、町なかに入っているという情報が入っています。岩手県沿岸の田老町では3時23分に、津波が堤防を越え、町なかに入り込んでいるという情報が入っています	NNN地震速報 午後4時30分頃、次の地域で震度5弱の地震がありました 震度5弱 福島浜通り 震度4 福島中通り 福島会津 栃木北部 震度3 青森三八上北 宮城北部 宮城南部 宮城中部 秋田県沿岸南部 山形庄内 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 新潟中越 新潟下越 津波情報、各地の詳しい震度などは情報が入り次第お伝えします	地震速報
16	34:44 34:57 (35:11)	続けます。3時25分では、釜石で、家屋が流されているという情報が入りました。岩手県の釜石市では、家屋が流されているという情報が入っています。 また、岩手県内陸の金ヶ崎では、火災が発生し、3件の火災、建物が2件となっています。山田町でも、見える範囲でも家が流されている状況で、職員は把握できないという数が報告されています。 いずれにしても、岩手県沿岸部では火災、並びに見える範囲で家が流されている部分が多く、被害が大きいものと思われま。現在のところ、以上です。	NNN地震速報 午後4時29分頃、地震がありました 全国の市町村震度 震度5強 大崎市 震度5弱 一関市 色麻町 涌谷町 栗原市	地震速報
16	35:27 35:32 35:50	アナ:日本テレビのスタジオから情報をお伝えして参ります。日本テレビのスタジオから情報をお伝えして参ります。 茨城県の高萩市消防本部によりますと、高萩市安良川で家屋が倒壊し、70代の女性1人が死亡したということです。茨城県の高萩市消防本部によりますと、高萩市安良川で家屋が倒壊し、70代の女性1人が死亡したということです。 また、気象庁によりますと、午後4時30分頃、およそ6分ほど前ですが、震度5弱の地震がありました。震度5弱を観測したのは福島県の浜通り、震度4を観測したのは福島県の中通り、福島、会津、栃木北部となっています。津波情報、各地の詳しい震度などは情報が入り次第お伝えしますが、余震がまだ続く可能性がありますので十分にご注意ください。	二本松市 富岡町 大熊町 双葉町 浪江町 南相馬市 震度4 八戸市 七戸町 東北町 五戸町 青森南部町 階上町 おいらせ町 宮古市 久慈市 野田村 大船渡市 盛岡市 滝沢村 八幡平市 花巻市 北上市 金ヶ崎町 平泉町 気仙沼市 登米市 名取市 柴田町 丸森町 仙台青葉区 仙台宮城野区 仙台若林区 松島町 利府町 秋田市 村山市 天童市 中山町 河北町 白鷹町 郡山市 白河市 須賀川市 桑折町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 古殿町 小野町 田村市 福島伊達市 本宮市 いわき市 相馬市 広野町 檜葉町 川内町 葛尾村 新地町 飯舘村 猪苗代町 会津三郷町 那須町 震源地は三陸沖 深さごく浅い マグニチュード6.6	中継・都内 上空
16	36:16	豊田:例え揺れが収まっても、さらに余震が続く可能性があります。落ち着いて行動してください。ぜひ、仲間や家族で声を掛け合って、安全を確認してください。子		

16	36 : 31 36 : 44 36 : 53 37 : 06	<p>どもさんが震えていましたら、抱きしめてあげてください。</p> <p>そして、火は確認できましたでしょうか。火は消しましたでしょうか。ガスコンロやストーブは大丈夫でしょうか。湯沸かし器やお風呂場も点検してください。そして、アイロンなど、熱を持つ電気器具も消してください。</p> <p>動くときは、どうぞ足もとには十分ご注意ください。割れたガラスなどでけがをしませんよう、家の中でも靴を履いてください。</p> <p>海の近くの人は、念のため高台に逃げるなど、津波に十分ご注意ください。海の近くの人は、津波にはくれぐれもご注意ください。また、川の近くにお住まいの方も、どうぞ十分ご注意ください。</p> <p>ガスは漏れていませんか。ガスの臭いや音がしたら、窓を開けてください。タバコは絶対に吸わないで下さい。電気器具のスイッチも入れないでください。そして、プロパンガスを使っている家では、ボンベが倒れていないか、ホースが外れていないか点検してください。</p>	中継・神奈川江ノ島	
16	37 : 23	<p>アナ：神奈川県江ノ島の様子です。先ほどまで水がない部分がありました、陸地が見えていましたが、水が橋の下から逆側の西浜、東浜、一つにつながりました。津波である可能性も考えられます。海、そして川には絶対に近づかないでください。海や川には絶対に近づかないでください。川の水の水位が引いているということです。津波の可能性もありますので、神奈川県鎌倉市を中心とした神奈川県の相模湾沿いの皆さんは、海や川には絶対に近づかないでください。</p> <p>続きまして、東京千代田区にあります、日本武道館のそばにあります、九段会館から中継です。</p>		
16	38 : 07	<p>記者：こちら、東京の九段会館前に来ています。1階の天井が抜けたということで、多くの負傷者が出ている模様です。私こちらの会場の、30分前に着いたんですけども、十数名の人が既に運ばれている模様です。中には重症の方も出ている模様です。以上、九段下前から中継しました。</p>	中継・東京千代田区	
16	38 : 37 (38:37)	<p>アナ：先ほどお伝えしましたが、神奈川県鎌倉市を中心に、津波の予想される部分もあります。水位が上がってきました。水位が上がってきました。川の水が引いてきたという情報がありまして、津波の可能性も考えられます。</p> <p>38 : 53 大津波警報が画面ご覧のように、北海道から四国の手前までピンク色のラインが敷いてあるところですが、これが大津波警報です。東海地方と四国の、和歌山のあたりでしょうか、あのあいだに赤くなった、津波警報になった、戻った部分がありますが、今後も津波の情報に十分警戒をしてください。</p>	<p>NNN津波情報</p> <p>午後4時36分までに観測された津波の時刻と高さ</p> <p>北海道十勝港 午後3時57分 最大波 2.8m 以上</p> <p>北海道苫小牧東港 午後4時17分 最大波 2.5m</p> <p>北海道函館 午後4時32分 最大波 1.9m</p> <p>八丈島八重根 午後3時48分 最大波 1.4m</p> <p>千葉館山市布良 午後3時37分 最大波 1.3m</p> <p>八丈島神湊 午後3時45分 最大波 1.2m</p> <p>北海道渡島森港 午後4時27分 最大波 1.1m</p> <p>静岡御前崎 午後4時19分 最大波 1.0m</p>	中継・神奈川江ノ島 津波情報

16	39 : 14 39 : 34	<p>大津波警報が出ている地域では、高いところで3 m以上の津波が予想されます。地域によっては、10mを越える津波も予想されています。津波警報が出ている地域では高いところで2 m程度、津波注意報が出ている地域では高いところで50cm程度の津波が予想されます。</p> <p>「東北地方太平洋沖地震」、今回の正式名称が発表されました。「東北地方太平洋沖地震」です。このあと、総理官邸で菅総理の会見が行われる予定ですが、まもなくです。</p>	<p>和歌山那智勝浦町浦神 午後4時33分 最大波0.9m 北海道室蘭港 午後4時29分 最大波0.9m 静岡清水 午後4時17分 最大波0.9m 神奈川横須賀 午後4時8分 最大波0.9m 神奈川小田原 午後3時48分 最大波0.9m 静岡焼津 午後4時10分 最大波0.8m 静岡南伊豆町石廊崎 午後3時56分 最大波0.8m 和歌山串本町袋港 午後4時33分 最大波0.7m 静岡伊東 午後3時52分 最大波0.7m</p>	
16	39 : 49 40 : 07	<p>豊田：津波に関しては、十分にご注意ください。海岸線が入り組んだ場所では、特に津波が高くなる可能性があります。ご注意ください。津波は、陸に上がってからも建物や車を巻き込んで被害を大きくします。一刻も早く、津波の来ない場所に逃げてください。</p> <p>また、津波は1回だけではありません。2回、3回と繰り返し襲ってきます。さらに、1回目よりも2回目、2回目よりも3回目の方が高いことがあります。1回来たあとも注意を続けてください。津波警報や注意報が解除されるまでは、決して油断しないでください。ぜひ、海の近くにいる人は、直ちに避難してください。海から離れた高台や、頑丈で高い鉄筋のビルなどに逃げてください。津波は新幹線以上の速さで襲ってくることもあります。すぐに逃げてください。</p> <p>アナ：それでは、総理官邸から中継です。ヒラモトさん。</p>	<p>神津島港 午後3時49分 最大波0.6m 三宅島阿古 午後3時39分 最大波0.6m 静岡西伊豆町田子 午後4時18分 最大波0.4m</p> <p>場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p> <p>今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p> <p>震源地は三陸沖 深さ20km マグニチュード8.4</p>	中継・都内 上空
16	40 : 45 41 : 06 41 : 21 41 : 41 41 : 57	<p>ヒラモト：はい。地震発生時、こちら総理大臣官邸も大きな揺れを感じました。国会審議中でしたけれども、菅総理大臣はその審議を上げ、すぐこちらの官邸に戻ってきて対策にあたっています。先ほど、午後4時過ぎから関係閣僚による対策会議が開かれました。菅総理は、冷静で迅速な対応をするよう指示しました。このあと、菅総理、記者会見を行う予定です。</p> <p>その、先ほど開かれた緊急災害対策会議では、菅総理は、こういうときこそ、助け合いの精神で冷静に、迅速に対応して欲しい。被害を最小限に留めることができるように、力を合わせて頑張ろうと指示を出しました。</p> <p>政府は地震を受け、総理大臣官邸に午後14時50分、危機管理センターに官邸対策室を設置しました。菅総理は被災状況の確認、住民の安全確保、ライフラインの確保、住民への的確な情報提供に全力を尽くすように指示を出しました。</p> <p>また、福山官房副長官によりますと、15時10分過ぎに宮城県知事から枝野官房長官に対して、自衛隊の派遣要請があったということです。また、菅総理は北沢防衛大臣に対し、自衛隊に最大限の活動をするように指示しました。</p> <p>これが、先ほど国会の、地震があったときの映像です。来週月曜日にも予定された審議ですけれども、現時点で</p>		中継・首相 官邸

		すべて中止となっています。菅総理はこのあと会見を行う予定です。以上、官邸でした。	
16	42:09 42:14 42:43 43:10 43:24 43:37	<p>アナ:今入っている情報によりますと、交通機関やライブラインなどにも大きな影響が出ています。豊田さん。</p> <p>豊田:はい。被害をまとめてあります。警視庁によりますと、東京江東区青海の建築中のビルから出火し、黒煙が上がっているということです。また、千代田区九段南の九段会館のホールで天井が落下し、けが人が少なくとも25人出ています。九段会館では観光関連の専門学校の卒業式が行われていて、地震当時600人ほどがいたということです。</p> <p>町田市内の大型スーパー、コストコでは車のスロープが崩れ車が下敷きになり、高齢の男女2人がけがをしています。女性は意識不明の重体だということです。江東区有明の国際展示場、いわゆる東京ビッグサイトでもけが人が4人出ています。江東区にあります薬品会社では、薬品を嗅いで2人が倒れているということです。</p> <p>東京消防庁によりますと、都内では午後3時半までに、少なくとも10件火事が起きているということです。足立区内では住宅4棟、200平方メートルが燃える火事が起きている。</p> <p>千葉県浦安市にある東京ディズニーランドでは、駐車場が水浸しになっているということです。江東区新木場1丁目でも、道路が水浸しになっているということです。</p> <p>東京ガスによる情報です。東京ガスは、茨城県の日立地区全域、3万5千軒のガスの供給を停止しました。また、茨城県牛久市の一部、453軒、龍ヶ崎市の一部、77軒、横浜市西区の一部、40軒でも供給を停止しています。</p>	<p>中継・東京 上空</p> <p>中継・東京 新橋</p>
16	43:58 44:03 44:30 (44:45)	<p>アナ:また、日本テレビの報道局、報道フロアでは震度1という表示がでました。余震を感じています。</p> <p>豊田:十分にご注意ください。神奈川県内の被害状況です。警察などによりますと、横浜駅前のポウリング上の天井が落ち10人が下敷きになっていましたが、先ほど全員救出され、いずれも軽症だということです。また、神奈川県庁の外壁がはがれ落ちているほか、横浜市のJR関内駅の屋根が崩れ落ちるなど、多数の建物に被害が出ています。</p> <p>さらに、多くの地域で停電が続いています。また、電話が非常につながりにくい状況が続いていて、一部の地域で110番がつかなくなっているということです。電話が非常につながりにくい状況が続いています。</p> <p>交通は、県内の鉄道が全線で運転を見合わせているほか、県内の高速道路も全線で通行止めとなっています。</p>	<p>中継・神奈 川江ノ島</p> <p>地震速報</p> <p>NNN地震速報 午後4時38分頃、地震がありました 全国の市町村震度 震度4 野田村</p>
16	44:55	<p>続いては、千葉県の被害の状況です。千葉市消防局によりますと、中央区にあるJFEケミカルの工場で、コークガスの施設で出火があり燃えているということです。また、千葉県印西市では、この地震の影響でけが人が4</p>	<p>震度3 八戸市 東北町 五戸町 階上町 おいらせ町 盛岡市 宮古市 二戸市 滝沢村 八幡平市 花巻市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 石巻市 松島町</p>

16	45:17	人出ているということです。 千葉県花見川区長作町にあるマンションでは、建物火災が起きているということです。若葉区の多部田第一公園付近でも、建物火災が発生しているということです。千葉県野田市でも、1件マンション火災が起きているということです。	震源地は岩手県沖 深さ 30km マグニチュード 5.9	中継・千葉 上空
	45:34	そして、千葉県消防によりますと、沿岸部全域で液状化現象が起きているということです。市内の新浦安より海側で、液状化現象か水道管の破裂かは分からない水があふれている情報があるということも入っています。		
	45:53 (46:01)	成田空港では、地震が発生してからすべての飛行機の離着陸を見合わせていますが、けが人は出しておらず、今のところ施設に被害も出ていないということです。一方、羽田空港では、飛行機の着陸を 15 時 40 分に再開しました。また、滑走路 4 本のうち、2本が使用できる状態だということです。		
16	46:17	千葉県内の情報に戻ります。千葉県内では、千葉市や浦安市で水道管から水漏れが発生しています。水道局では、液状化しているところには、車でも近づかないように注意を促しています。液状化しているところには、車でも近づかないように注意を促しています。	小笠原父島二見 午後 4 時 24 分 最大波 1.0m 横浜 午後 4 時 35 分 最大波 0.8m 三重熊野市遊木 午後 4 時 28 分 最大波 0.7m 静岡舞阪 午後 4 時 27 分 最大波 0.7m 北海道根室港 午後 4 時 22 分 最大波 0.3m 徳島由岐 午後 4 時 42 分 最大波 0.1m 和歌山県御坊市祓井戸 午後 4 時 41 分 最大波 0.1m 和歌山県白浜町堅田 午後 4 時 40 分 最大波 0.1m 高知室戸市室戸岬 午後 4 時 39 分 第 1 波高さ不明 三重尾鷲沖 午後 4 時 7 分	中継・都内 上空
	46:36	また、蛇口からお湯を出す場合に、いつもと同じ温度設定をしても、水圧の関係で熱湯になっている可能性があるということです。水道を使用する際は、十分にご注意ください。		
	46:50	また、首都圏の在来線と J R 東日本の新幹線は、全線で運転を見合わせています。先ほど J R 関内駅の屋根が崩れ落ちたという情報があり、こちらは現在確認しているということです。繰り返します。首都圏の在来線と J R 東日本の新幹線は、全線で運転を見合わせています。		
16	47:11	アナ:再び、江ノ島の状況を見ることできるでしょうか。先ほどまでですね、途中陸地が見えていたんですが、もしかすると満潮に近づいて水が上がってきた可能性もあります。	震源地は三陸沖 深さ 20km マグニチュード 8.4	中継・神奈 川江ノ島
	47:23	岩手県の宮古では、このあと夜 7 時 43 分に満潮を迎えます。岩手県の宮古では、このあと夜 7 時 43 分に満潮を迎えます。また、千葉県の銚子では午後 8 時 23 分に満潮を迎えます。銚子では午後 8 時 23 分に満潮を迎えます。それに伴いまして、津波の高さがさらに大きくなる可能性も十分に考えられます。海、そして川に、余震が収まったとしても、決して近づかないでください。海や川に、余震が収まったとしても、決して近づかないでください。		
	47:58	そして、このあと、菅総理大臣の会見が総理官邸で午後 4 時 55 分、午後 4 時 55 分を予定して始まるということです。こちらが、総理官邸の様子です。それまでのあいだ、ミヤギテレビのスタジオから現地の中継してもらい		

		ます。	
16	48 : 15 48 : 45	<p>アナ：...に発生した地震は震源が三陸沖、震源の深さは10km、地震の規模を示すマグニチュードは 8.4 と推定されていて、先ほど気象庁が「東北地方太平洋沖地震」と命名しました。地震の発生から既に2時間が経過しています。地震の発生から既に2時間が経過していますが、現在もまだ、余震が発生する可能性がありますので、引き続き警戒を続けてください。</p> <p>そして、現在ご覧いただいている高台に避難してきた方々は、避難所に指定されている小学校に移動しているということです。またサイレンが鳴っています。第3波に警戒するよう、サイレンが鳴っています。第1波到達以降も、くれぐれも海には近づかないようにしてください。</p>	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
16	49 : 11	<p>アナ：日本テレビのスタジオから情報をお伝えして参ります。先ほどですね、午後2時46分に起きました宮城県の沖、深さ10kmの位置ですけれども、この二つの地震がですね、総称となりまして「宮城・茨城沖地震」、「宮城・茨城沖地震」。これだけ離れた地域での震源の、二つの地震の総称というのは今までに例があったかどうか手もとに情報はありませんが、「宮城・茨城沖地震」、「宮城・茨城沖地震」と名称が先ほどから変更をされています。</p>	スタジオ
16	49 : 43 49 : 52 50 : 32	<p>豊田：そして、今津波の情報が入ってきました。気象庁によりますと、午後4時45分までに観測された、津波の時刻と高さは次の通りです。</p> <p>福島相馬では午後3時50分に最大波7.3m以上、岩手県の釜石では午後3時21分に最大波4.1m以上、岩手の宮古では午後3時21分に最大波4m以上が観測されています。また、茨城県の大洗では午後3時43分に最大波3.9m、北海道えりも町では午後3時44分に最大波3.5m、宮城の石巻市では午後3時20分に最大波3.3m以上です。</p> <p>そのほかでも、3m、2m、高い波が押し寄せています。くれぐれも津波には、今後も十分に警戒してください。</p> <p>アナ：ミヤギテレビのヤナセさん、今中継に出ることはできますか。それでは、ミヤギテレビから伝えてもらいます・</p>	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
16	50 : 52	<p>ヤナセ：七ヶ浜町の菖蒲田浜で死者1人という情報が入っていききました。気象庁は、今回の地震を「東北地方太平洋沖地震」と命名しています。そして、画面から見る限り、海面にはさまざまな浮遊物が確認できます。先ほど、この七ヶ浜町の近辺では、第3波の到来に警戒するよう、サイレンと防災無線が鳴っていました。県の災害対策本部によりますと、午後4時半現在、今ご覧いただいている七ヶ浜町の菖蒲田浜で死者が1人という情報が入ってきています。</p>	ミヤギテレビ

16	51 : 34	そして、こちらは仙台駅の様子です。これは、現在の仙台駅の様子です。	中継・仙台駅前
16	51 : 42 51 : 49 52 : 12	男性：はい、J R仙台駅前です。 ヤナセ：はい、伝えてください。 男性：はい、J R仙台駅前です。駅構内は、今入れない状態になっております。駅構内、上水道、下水道が破裂し、水浸しのような感じです。駅前エンタツパーキングの看板が今折れている状態です。また、市内の高層建築、S S 3 0の屋上アンテナ部分も折れた状態です。 今、信号もおもなところは生きていますが、細かい信号機は折れておりまして、ミヤギテレビからJ R仙台駅までの移動時間が約1時間以上かかりました。現在ですね、J R仙台駅の駅員さんがペDESTリアンデッキから降りるように指示があります。エスパルあたりから、先ほど煙が上がってございました。	
16	52 : 40 53 : 04	ヤナセ：現在の仙台駅の様子をご覧いただきました。引き続き、ミヤギテレビのスタジオから、午後2時46分頃に発生した地震についてお伝えします。これは、先ほど七ヶ浜町で第1波の津波が到達したときの映像です。第1波の津波が七ヶ浜町で確認されたときの映像です。これは午後... 男性：はい、こちらはまだ大丈夫です。まだ、非常に波の引きが強いので、はい。高さは大丈夫だと思うんですが、念のため、これはもう少し高台に上がったほうがいいかもしれません。	ミヤギテレビ
16	53 : 14 53 : 42 54 : 12	アナ：...をお伝えします。日本テレビから情報をお伝えして参ります。まもなく、総理官邸で菅総理大臣の会見が始まるものと見られます。先ほどは、宮城県内でも1人の死亡が確認されておりました。関東地方でも、1人の死亡が確認されています。身の安全を図って、余震に備えてください。午後4時55分ですから、およそ1分30秒後に定刻を迎えまして、菅総理大臣の会見が始まろうとしています。 このあと余震が起きる可能性もありますので、海や川には絶対に近づかないでください。また、地震の影響で、銀行のATM、現金自動預け払い機が一部で使えない状況となっています。みずほ銀行では午後4時40分現在、83カ所のATMが止まっています。また、三菱東京UFJ、三井住友銀行でも東北地方を中心に、一部のATMが使えない状況が続いているということです。 こちらは、千葉の鴨川の様子です。潮位が上がっている様子が見受けられます。波も少し高いようです。太平洋沿岸、北海道から関東地方そして東海、和歌山のあたりまで大津波警報が発令されています。大津波警報が発令されています。	中継・首相官邸 中継・千葉鴨川
16	54 : 33	今、枝野官房長官が総理官邸に入りまして、菅総理大臣が今、まもなく総理官邸に入る模様です。今、枝野官房	中継・首相官邸

16	54 : 57 55 : 17	<p>長官が中に入りました。まもなく、中継でお伝えして参ります。</p> <p>宮城・茨城沖大地震、この午後2時46分に起きた地震、宮城県の沖でした。そして、茨城県沖には午後3時15分です。菅総理大臣が総理官邸に入りました。そして、これから会見を行います。</p> <p>男性：それでは、只今から今回の地震につきまして、総理から国民の皆様へのメッセージがありますので、これから・・・。よろしくお願いいたします。</p>	
16	55 : 28 56 : 22 57 : 12	<p>菅総理：国民の皆様、もうテレビ、ラジオでご承知のように、本日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード8.4の、非常に強い地震が発生を致しました。これにより、東北地方を中心として、広い範囲で大きな被害が発生を致しております。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。なお、原子力施設につきましては、一部の原子力発電所が自動停止致しましたが、これまでのところ、外部への放射性物質等の影響は確認をされておられません。</p> <p>こうした事態を迎え、私を本部長とする緊急災害対策本部を直ちに設置を致しました。国民の皆様を確保し、被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げて取り組んで参ります。国民の皆様におかれましても、今後、引き続き注意深くテレビやラジオの報道をよく受けとめていただき、落ち着いて行動されるよう、心からお願いを申し上げます。</p> <p>男性：それでは、総理は今後地震への対応がありますので、引き続きまして...</p>	首相会見
16	57 : 17 57 : 34 57 : 59	<p>アナ：総理大臣の会見が終わりました。原子力発電所などで放射能漏れなどはないという、一つの安全確認がありました。5時55分から始まりました総理官邸の会見ですが、およそ2分ほどで終了しました。</p> <p>現在は、新橋の駅前の状況です。SL広場といたしまして、普段はサラリーマンが足早に行き来をするところですが、まわりに高い建物などもありまして、広場を求めて人々が集まっています。新橋の駅前。現在、関東地方ではゆるやかに余震が続いていますけれども、先ほどの大きな余震というのはまだ観測をされていません。</p> <p>それでは、もう一度こちらで情報をまとめてお伝えして参りますが、携帯電話がつながりにくくなっています。このため、NTTドコモ、au、ソフトバンク、携帯電話会社各社が、安否情報を確認できる災害伝言板の設置を行いました。安否情報の登録や確認を、携帯電話のトップページやパソコンから行うことができるということです。</p>	中継・東京 新橋駅前
16	58 : 22	<p>豊田：それでは、都内の被害の状況をお伝えします。警視庁と東京消防庁によりますと、東京千代田区九段南の九段会館のホールで天井が落下し、けが人が25人出て</p>	

16	59 : 06 59 : 30	<p>います。そのうち5人が重傷で、50代の女性が意識不明の重体だということです。九段会館では、観光関連の専門学校の卒業式が行われていて、地震当時600人ほどがいたということです。卒業式の出席者によりますと、地震があり、最初はばらばら砂ぼこりが落ちてきた。まわりの人が慌てないでくださいと言っていたら、強い揺れが来て大ホールの前のほうにある天井が落ちてきたということです。</p> <p>江東区青海の建築中のビルから出火し、黒煙が上がりました。町田市内の大型スーパー、コストコでは車のスロープが崩れ車が下敷きになり、高齢の男女2人がけがをしています。女性は意識不明の重体だということです。江東区有明の展示場、いわゆる東京ビッグサイトでも、けが人4人が出ています。</p> <p>アナ：現在、総理官邸では、枝野官房長官が会見をしているところです。</p>		中継・東京 千代田区
16	59 : 32 59 : 47	<p>枝野：…連絡は、先ほどの段階ではまだ取れておりません。しかしながら、事実上、自衛隊で制度上できる最大限のことは、福島方面に対しても既に実施しております。</p> <p>男性：読売新聞・・・。現在のところですね、東北地方の各県庁ですとか消防関係にですね、被害内容(?)をですね、役所と連絡が取れないということで、甚大な被害を受けていることが起きているというようなことは、そちらにございませんか。</p>		中継・首相 官邸
17	00 : 04 00 : 21 00 : 30 00 : 53	<p>枝野：今、まさに詳細について、それぞれ確認を致しているところでございます。従いまして、それぞれ確認できたところから、順にご報告はさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>女性：朝日新聞ですが、一部報道ですね、死傷者の数が出ているんですが、今現在、政府のほうでそういった発表されている・・・について・・・。</p> <p>枝野：さまざまな被害の情報は、集約センター（内閣情報集約センター）のほうに入ってきておりますが、現時点では、まずは被害の拡大防止、救援ということに全力を挙げておりまして、そうした被害の状況の整理については順次追ってですね、ご報告をさせていただきたいというふうに思っております。</p> <p>各省庁とも、もちろん被害の状況を把握をしてそれに対応して動いていただいている訳であります。現時点では、とにかく被害状況の整理以上に、それに対して緊急対応するというに全力を挙げております。</p>		
17	01 : 07 01 : 17	<p>男性：毎日新聞の・・・。震源地付近には原子力発電所かなり多いと思うんです。総理からも話ありましたが、原発の安全状況を・・・。</p> <p>枝野：総理からもお話を致しました通りですね、原子力発電所については現時点で被害、あるいは放射能漏れと</p>		

		<p>いう情報はございません。これは、官邸の危機管理センターのところにチーム参集して、直ちにですね、確認をして、その後も異常がないかどうか常に確認を取り続けているところでございます、現時点でそういった被害はありません。</p>		
17	01:47 (01:48) 01:57 02:12	<p>男性：読売新聞です。高速道路やですね、新幹線、・・・といった陸上の・・・。</p> <p>枝野：先ほどの対策本部、2回目の対策本部の時点で新幹線、JR東日本管内の新幹線については、止まっているけれども脱線等ですね、大きな被害は確認されていないということです。</p> <p>これについても、さらにそれぞれ、閉じ込められていたりする方、当然駅と駅のあいだなど、いらっしやと思いますので、そうした皆さんに対するフォローを含めてですね、国土交通大臣に対してはJR等との連系を取って、あるいは必要に応じて地域、電車等が止まっている地域の警察、消防とも連絡を取ってしっかりと安全の確認、そして、電車の中に今おられるような方についての対応をするようにという指示は下ろしております。</p>	<p>NNN津波情報</p> <p>午後5時0分までに観測された津波の時刻と高さ</p> <p>青森八戸 午後4時51分 最大波 2.7m</p> <p>小笠原父島二見 午後4時46分 最大波 1.8m</p> <p>徳島由岐 午後4時55分 最大波 1.0m</p> <p>和歌山白浜町堅田 午後4時52分 最大波 0.9m</p> <p>和歌山串本町袋港 午後4時56分 最大波 0.8m</p> <p>和歌山県御坊市祓井戸 午後5時54分 最大波 0.7m</p> <p>三重鳥羽 午後4時52分 最大波 0.5m</p> <p>青森外ヶ浜町竜飛 午後4時32分 最大波 0.5m</p> <p>高知県室戸市室戸岬 午後4時49分 最大波 0.4m</p> <p>和歌山県白浜沖 午後4時25分</p> <p>場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p> <p>今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p> <p>震源地は三陸沖 深さ 20km マグニチュード 8.4</p>	<p>津波情報</p> <p>中継・宮城県七ヶ浜町多聞山</p>
17	02:44 03:14 03:28	<p>豊田：東京から情報をお伝えします。宮城県警には、まず宮城県の情報です。宮城県警には、仙台市内で、中学生1人が波に飲み込まれて行方不明になっているという情報が寄せられているほか、石巻市でも、地震による落下物で1人が死亡したとの情報が入っており、現在、確認を急いでいます。また、宮城県警には、仙台市内の旅館の建物が倒壊し、中から人の声が聞こえるといった情報が入っています。</p> <p>また、沿岸部の都市では、スーパーの屋上に、避難した大勢の人が取り残されているという情報や、渡里町の防波堤にも、警察官や住民が取り残されているとの情報が入っています。</p> <p>アナ：今、宮城県の七ヶ浜の情報カメラを見っていますが、2階の建物まで、これは水に飲み込まれてしまったんでしょうか、外壁がもぎ取られるようにして、窓がありません。そして、その隙間から向こうの川の流れ、海の流れを見ることができます。非常に高い津波が襲った可能性もあります。</p>	<p>豊田：続いて、岩手県の情報です。山田町の中心市街地は、全域が水没しているということです。10人が屋根の上で救助を待っているということです。</p> <p>アナ：家屋が今、流れています。</p> <p>豊田：町内数カ所で、火災も発生しているということです。岩手県大船渡市小友町の赤崎地区（大船渡市赤崎町？）では、全域が水没しているということです。</p>	
17	03:50 04:03 04:15	<p>また、都内の被害状況です。警視庁と東京消防庁によりますと、東京千代田区九段南の九段会館のホールで天井が落下し、けが人が25人出ています。そのうち5人が</p>		<p>中継・東京新橋駅前</p>

17	04 : 34	重傷で、50代の女性が意識不明の重体だということです。	
	04 : 58	九段会館では、観光関連の専門学校の卒業式が行われていて、地震当時600人ほどがいたということです。卒業式の出席者によりますと、地震があり、最初はばらばら砂ぼこりが落ちてきた。まわりの人が慌てないでくださいと言っていたら、強い揺れが来て大ホールの前の方にある天井が落ちてきたということです。	
17	05 : 16	江東区有明の国際展示場、いわゆる東京ビッグサイトでもけが人が4人出ています。江東区北砂にある薬品会社では、薬品を嗅いで2人が倒れているということです。	
	05 : 30	都内では午後3時半までに、少なくとも10件火事が起きているということです。足立区内では住宅4棟、200平方メートルが燃える火事が起きている。	
	05 : 43	千葉県浦安市にある東京ディズニーランドでは、駐車場が水浸しになっているということです。江東区新木場1丁目でも、道路が水浸しになっているということです。	
	05 : 55	警視庁は被災地に向け、広域緊急援助隊を派遣する方針です。	
17	06 : 00	アナ：それでは、専門家に来ていただきました。まちづくり計画研究所の渡辺実さんです。よろしくお願ひします。	スタジオ
	06 : 06	渡辺：はい、よろしくお願ひします。 豊田：お願ひします。 アナ：一番大切なのは人命です。このあと、家に歩いて帰っていく人もいると思いますが、注意点を教えてください。	
17	06 : 12	渡辺：はい。今回の地震はですね、とても大きな、巨大地震の領域に入る地震が起きていますから、これからも余震、これも強い余震が想定されます。ですから、歩いてこれから帰宅される方、まずですね、とにかく、広い道路を歩いてください。	中継・宮城県七ヶ浜町多聞山
	06 : 31	アナ：広い道路を歩く。 渡辺：はい。というのは、余震で落下物、ガラスとか看板、これが落ちてくる可能性がありますから、とにかく、広い道路の真ん中あたりを、とにかく歩いて帰る。それから、たくさんの方がいちどきにこれから帰宅すると思いますから、慌てないことですね。で、自分の家がどっちの方向にあるのか、北のほうか南のほうか、だいたいいいですから、その感覚だけを持ちながら歩いてください。	
17	07 : 02	アナ：一つお伺ひしたいんですが、家に入っていないでしょうか。	中継・宮城 J R 仙台駅

17	09:41	<p>アナ：はい。そして、自分の家が安全かどうかを確認した上で、避難所などを利用することも考えるべきだということですね。</p> <p>渡辺：そういうことです、はい。</p> <p>アナ：渡辺さん、このあとも、余震の可能性というのは非常に高いと思われるんですが、このあと気を付けることは何でしょうか。</p> <p>渡辺：時間的に言うそうですね、もう今5時回ってますけれども、これから、夕食の準備とか、火気を使う時間帯に入ってきます。ですから。</p>	
17	09:57 10:21 10:40	<p>アナ：あ、今、青森県の現在の映像です。青森県の現在の映像です。道路で車が流されています。津波の影響を受けているのでしょうか。青森県の現在の映像です。軽自動車が見られていますので、高さとしては、水の高さは50cmほど見られますけれども、大きな流れが海から町へ流れ込んでいます。</p> <p>今、車が、川の流れのようなものを受けまして流れています。コンビニエンスストアの看板も、その流れに負けるようにして、押されるようにして流れています。奥にはトラックが通っています。まだ水が通っていない、水の被害を受けていない場所もありますが、仮設のプレハブの建物などが押されています。</p> <p>ああ、トラックが今、水をよけながら避難をしているところです。青森市内の様子です。今、トラックが何とか逃げている。ライトがついている状況の車もあります。ライトがついている状況の車もあります。ぜひ、海や川から離れてください。海や川から離れてください。絶対に近づかないでください。青森県の状況です。</p>	映像・青森 八戸
17	11:05 11:27	<p>八戸です。青森県八戸の状況です。これは収録された映像だという情報が、今入って参りました。これは、船などもありまして、これが港なのか一般道なのか分からないような状況になっています。船が護岸に倒れかかるようにして、なだれかかるようにして波の勢いを受けています。</p> <p>午後5時前の、八戸港の様子です。午後5時前の、八戸港の様子です。先ほど、現在の中継の映像だとお伝えしましたが、午後5時前の、録画の映像だということです。青森県の八戸市では、午後4時51分に、最大波2.7mの津波を観測したということです。2.7mといいますと、渡辺さん、もう人間の身長をはるかに越える高さというふうに考えていいですからね。</p>	
17	11:54	<p>渡辺：はい、これは、もう完全に大津波ですね。それで、今のようにですね、波が押し寄せているところに車が通ってましたね。まず、それはとても危険なことなんです。それから、津波は必ず、次引いてきますから。今押し寄せた波が今度は引いてきます。そのときに、ああいう波に飲み込まれた車両だとか建物だとか、これを海の方に</p>	

17	12:22	<p>もう1回、今度は戻そうとしますから。 アナ：引きずり込んでいく訳ですね。</p>		
		<p>渡辺：はい。</p>		
		<p>アナ：ですから、なるべく海から川、そして近づかないということが大前提です。これは、青森県八戸市、午後5時前の、津波の影響を受けました八戸港の様子です。海、そして川には絶対に近づかないでください。津波の情報を、豊田アナウンサーからまとめてもらいます。</p>		
	12:41	<p>豊田：観測情報が入ってきています。気象庁によりまして、午後5時までに観測された。</p>		
		<p>アナ：また、東京の日本テレビのスタジオが揺れています。</p>		
	12:47	<p>豊田：揺れていますね。津波の時刻と高さは、次の通りとなっています。</p>		
		<p>福島の相馬では午後3時50分に最大波7.3m以上、岩手の釜石では午後3時21分に最大波4.1m以上、岩手県の宮古では午後3時21分に最大波4m以上、茨城県大洗では午後3時43分に最大波3.9m。</p>		
17	13:13	<p>アナ：日本テレビの報道フロアでも、また揺れを感じました。震度1という状況ではありますが、この建物、震度1という数字にしては少し揺れが大きかったように思います。</p>		中継・東京 汐留
	13:25	<p>豊田：ぜひ、動きを見せるときは、必ず身の安全を確保してください。頭を守るためにヘルメットをかぶるですとか、座布団、帽子などをぜひかぶってください。</p>		
	13:36	<p>そして、まだ揺れています。エレベーターは、ぜひ使わないでください。階段を使ってください。エレベーターは、停電や余震で閉じこめられる心配があります。階段では、ゆっくりと上り下りをしてください。そして、慌てて踏み外すことのないよう、けがのないように移動してください。</p>		
	13:54	<p>外に出たら、壊れた建物や自動販売機、ブロック塀には近寄らないでください。そして、切れて垂れ下がった電線には決して触らないでください。</p>		
	14:05	<p>近所で助けを求めている人はいないでしょうか。けがをしている人はいないでしょうか。隣近所で助け合うことも、ぜひ忘れないでください。特にお年寄りや子ども、体の不自由な人がいないか、ぜひ注意してください。</p>		
17	14:19	<p>アナ：午後5時12分頃、東北、関東の広いエリアで、震度4以上の地震がありました。震度4、福島の浜通り、栃木南部です。そして、震度3、宮城を中心としました福島の中通り、茨城の、関東北部のほうにまで震度3を観測することになりました。</p>	<p>NNN地震速報 午後5時12分頃、東北・関東地方で震度4の地震がありました 震度4 福島浜通り 栃木南部</p>	地震速報
	(14:20)	<p>渡辺さん、このあと余震も続いてくると思いますが、どれぐらいの大きな余震というのが想定されるのでしょうか。</p>	<p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木北部 千葉北東部 千葉北西部</p>	
	14:41	<p>渡辺：そうですね、ちょっとまだ、よく分かりませんけ</p>		

17	15:00	<p>れども、いずれにしても、本震よりも余震のほうが小さいというふうには、一般的には言われます。</p> <p>アナ：考えがちですね。</p> <p>渡辺：はい。ただ、今回の場合には海溝型、海のほうで起きている地震ですから、この余震による津波も、これも要注意なんですね。</p> <p>アナ：なるほど。</p> <p>渡辺：規模が大きな余震があれば、津波を引き起こします。そのことも、頭に入れて置いていただきたいと思えます。</p>		中継・千葉 鴨川
17	15:16 15:30 15:53 (15:54)	<p>アナ：これからですね、日は暮れます、夜になりますが、そのときに一番注意するということはどんなことでしょうか。</p> <p>渡辺：これから、被災地の方々はですね、絶対に火気を使わないで欲しいですね。</p> <p>アナ：あ、火などを使わない。</p> <p>渡辺：はい。これから夕方になってきますから、夕食をつくろうとか、こういう行為をしなければならない時間なんですけれども、余震がありますから、もう火気は使わない、しばらく火気は使わないということ、ここに注意点を置いていただきたいと思えます。</p> <p>アナ：分かりました。例えば、停電をしているときなどを考えますと、夜になると真っ暗になる可能性があります。このときの注意点は、どうでしょうか。</p> <p>渡辺：これは、もう、懐中電灯。ろうそくはやめましょう。</p> <p>アナ：あ、ろうそくは。やはり、火気を使わないということが大前提ですね。</p> <p>渡辺：はい、懐中電灯で明かりを取ってください。</p>		中継・神奈 川江ノ島
			<p>NNN津波情報</p> <p>午後5時14分までに観測された津波の時刻と高さ 茨城大洗 午後4時52分 最大波4.2m 北海道浜中町霧多布港 午後4時58分 最大波2.0m</p>	津波情報
17	16:01 16:31	<p>アナ：はい、分かりました。そして、今、江ノ島の状況を見ているんですけれども、水がですね、うねるようにして。あ、今、茨城県の大洗では、4時52分に4m以上の津浪を観測しました。ぜひ、海や川には絶対に近づかないでください。</p> <p>渡辺：そうですね。</p> <p>アナ：今、江ノ島の橋の上を何かバイクのようなもので渡っている人もいますが。渡辺さん、これは、今逃げるという意味では、これは正しい避難方法なんですか。</p> <p>渡辺：さっきの東北地方の映像もそうなんですけど、これは、早く警察がですね、通行を遮断しないと。海のほうの、海沿いの道路については交通規制を掛けないとですね、そこを通ってしまう。ですから、これは、警察の対応がちょっと遅いですね。</p>	<p>千葉館山市布良 午後5時5分 最大波1.6m 高知土佐清水 午後5時11分 最大波0.9m 東京晴海 午後5時8分 最大波0.8m 千葉 午後5時9分 最大波0.7m 小笠原南鳥島 午後4時55分 最大波0.5m 高知 午後5時6分 最大波0.3m 徳島小松島 午後5時3分 第1波高さ不明 高知須崎港 午後5時0分 第1波高さ不明 場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p> <p>今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p> <p>震源地は三陸沖 深さ20km マグニチュード8.4</p>	
17	16:50	<p>アナ：なるほど。さらにですね、関東地方でも多くの犠牲者が出ているという情報が入ってきていますが、建物に閉じこめられている人たちもいると考えられますが、</p>		

17	17:07	<p>いっしょに救助活動をしてもいいのでしょうか。</p> <p>渡辺：そうですね、それはやっぱり、頭をしっかり守れる環境がある方は、それは、ぜひ救助、救出に関わっていただきたいと思うんですけども。やっぱり、ちょっと今回の地震は今までの地震と訳が違いますから、救助するにも、やはり、あまり素人の方がですね、手を出していっしょにつぶれてしまうという可能性を持ってますから、そこは要注意だと思います。</p>	中継・東京 汐留
	17:32	<p>アナ：はい。今はですね、羽田空港、いや、日本テレビの情報カメラから、東京湾の対岸にあります千葉県市原市の、石油コンビナート付近の火災の状況をご覧いただいています。</p> <p>地震の状況をまとめました。こちらをご覧ください。</p>	
17	17:50	<p>アナ：...は揺れています。揺れはじきに収まりますので、落ち着いて行動してください。頑丈なテーブルや机の下に身を隠してください。現在ご覧いただいているのは、最初の地震発生直後の、ミヤギテレビ報道フロアの映像です。</p>	地震発生直後のミヤギテレビ
	18:06	<p>ナレ：今日午後2時46分、宮城北部を襲った震度7の激しい揺れ。</p> <p>アナ：...には大津波警報が出されています。宮城県に関しては、石巻市の鮎川で...</p>	
	18:17	<p>アナ：地震です。大きな、非常に大きな揺れがありました。今、一度電気が消えていましたが、今再びつきました。揺れは、もう2分、3分近くに。揺れています。非常に大きい横揺れです。</p> <p>おととい、三陸沖で震度4の地震が、震度5弱の地震が発生しましたが、それから2日。まだ、詳しい震度の情報は入っていません。</p> <p>男性：すごい揺れだった。</p> <p>男性：強い地震を感じています。強い横揺れです。</p>	地震直後の 仙台市内
	18:51	<p>アナ：若林区で1件、泉区で1件、火災が発生しています。これは、地震発生直後の、国道45号の地震発生直後の様子です。水道管が破裂している影響でしょうか、幹線道路では水が漏れ出している場所があります。また、ガラスが破損しているところもありますので、外に出る方は、ガラスなど散乱している恐れがあります。靴はなるべく底の厚いものを履いてください。</p>	
17	19:23	<p>ナレ：仙台市内では至るところで火災が発生、宮城県知事は午後3時過ぎ、自衛隊に災害派遣を要請しました。この地震で、大津波警報も出されました。これは、仙台空港の映像。押し寄せた波に空港が飲み込まれていきます。</p>	
	19:42	<p>アナ：午後3時57分でした。徐々に黒く濁った波が、画面の右から滑走路に迫ってきています。</p> <p>ナレ：岩手県宮古市の港でも、押し寄せた津波が陸地に流れ込みました。流されているのは家や車。あらゆるも</p>	映像・仙台 空港、岩手 宮古港

17	20 : 03	<p>のが流されました。</p> <p>アナ：普段よりも、水位は4 mから5 mほど高い状態。どんどんどんどん、沖のほうから波が押し寄せてくる様子が撮影されました。手前も、これは魚市場関連の建物なのですが、屋根まで完全に水没しています。</p>		
17	20 : 23	<p>ナレ：福島県の郡山市内では。</p> <p>女性：こちらの交差点の角にあるビルは、1階が半分、もう完璧にひしゃげている状態です。</p> <p>ナレ：ビルの1階がつぶれているほか、ブロック塀が倒れました。</p>		映像・福島郡山
	20 : 42	<p>男性：郡山市図景の、国道4号沿いのコンビニエンスストアです。地震が起きたあと、事務所から火が出ておりまして、大きな煙が上がっています。非常に焦げ臭いです。消火器を当てたようなのですが、燃え広がっています。まわりは非常に焦げ臭いです</p> <p>ナレ：郡山市内でも、各地で火災が発生しました。</p>		
17	21 : 10	<p>アナ：東京の汐留報道フロアでも、再び余震を感じました。再び余震を感じました。新橋駅前には、一時集中していた人が少なくなっていますが、歩いて帰宅をされる時は余震に気を付けて、揺れた場合には道路の真ん中、あるいは座るなどして避難をしてください。道路の真ん中、あるいは座るなどして避難をしてください。日本テレビ報道局に設置されました震度計は、震度2を指しています。</p>		スタジオ 中継・東京 汐留
	20 : 36	<p>そして、先ほど2分。あ、これは宮城県の七ヶ浜、松島のあたりですが、高い波がしぶきを上げまして陸地に向かっていきます。画面の右下は、あの松島で有名な松の並木でしょうか。高い波が、渡辺さん。</p> <p>渡辺：浸水してますね。</p>		中継・宮城県七ヶ浜町 多聞山
17	21 : 56	<p>アナ：これは、津波と見ていいんでしょうか。</p> <p>渡辺：ああ、もう、津波ですね。今回、これだけ余震が続いていますから、津波も幾重にも幾重にも、今襲ってきているんですね。ですから、それが、襲ってくる波、引く波、それがさらにまた大きな波になって陸地に向かっていく。非常に複雑な、今動きをしていると思います。</p>		
	22 : 15	<p>アナ：渡辺さん、画面の左のほうからは流れがありまして、そして、右からは波の高い状況が見受けられるんですが、これは、戻ってくる水の力も影響しているということでしょうか。</p>		
	22 : 26	<p>渡辺：その通りだと思います。手前側が今戻ってる、海のほうへ向かって流れてる。で、さらにその向こう側に、今波頭を立ててこちらに襲ってきていますね。これが向かってくる波ですね。</p>		
17	22 : 37	<p>アナ：海や川からは離れてください。海や川からは離れてください。絶対に近づかないでください。海や川からは離れてください。絶対に近づかないでください。</p> <p>宮城県の七ヶ浜です。現在の様子です。画面の中央には、</p>		

17	23 : 09	船が1艘浮かんでいます。画面の中央には、船が1艘浮かんでいます。海から陸地に向かって津波が押し寄せています。海や川には絶対に近づかないでください。海や川には絶対に近づかないでください。津波が、陸地に向かって近づいています。		
	23 : 23 (23 : 35)	そして今、画面の中央から右に向かって、船が1艘浮かんでいます。津波が近づいています。海や川からは離れてください。絶対に近づかないでください。宮城県の七ヶ浜です。潮位が上がっています。		
	23 : 41	北海道から四国の、和歌山のあたりにかけて大津波警報。先ほど、徳島県にも大津波警報が発令されたということです。各地で、津波の影響を受ける可能性があります。海や川からは絶対に離れて、距離を置いて近づかないでください。 そして、午後5時20分、およそ3分ほど前ですが、神奈川県横浜市でも急激に水位が上昇したという情報が入りました。午後5時20分です。横浜でも急激に水位が上昇したという情報が入っています。	NNN地震速報 午後5時19分頃、地震がありました 全国の市町村震度 震度4 須賀川市 いわき市 茨城鹿嶋市 筑西市 銚田市 高根沢町 春日部市 銚子市 旭市 東庄町 匝瑳市 香取市 震源地は茨城県沖 深さごく浅い マグニチュード6.7	地震速報
17	23 : 58	渡辺さん、この状況で一番気を付けることは何でしょうか。 渡辺：とにかく、海に近寄らない。近寄らないだけではなくて、高台に逃げてください。高台がなければ、鉄筋コンクリートの建物で、3階以上の高さのところにおいてください。		中継・宮城県七ヶ浜町 多聞山
	24 : 15	アナ：はい。現在の宮城県の七ヶ浜、風光明媚な松島で有名な七ヶ浜の、現在の情報カメラの映像です。津波が、陸地に向かって波しぶきを上げて近づいています。		
	24 : 30	大津波警報が、北海道から四国の徳島に渡る太平洋沿岸、ピンク色のラインを敷いたところでありますが、太平洋の沿岸に大津波警報です。戻る波、そして寄せる波で高い津波ができ上がっています。川や海には絶対に近づかないでください。午後5時20分、神奈川県横浜市でも急激に水位の上昇があったという情報が入りました。		
17	24 : 57	あ、今また陸地に近づいて、渡辺さん、陸地に近づけば近づくほど。 渡辺：高さが増していきます。 アナ：高さが増していくんですね。		
	25 : 05	渡辺：はい。で、戻る波と寄せる波が合わさって、また波が高くなるんですね。今、この現象がまさに、帰る波と寄せる波、それが今入り交じっている状態。		
	25 : 19	アナ：宮城県の七ヶ浜の、現在の情報カメラです。先ほどから比べますと、陸地に寄せていた高い波はその姿を消してはいますが、渡辺さん、このあと、寄せた水が海に戻るときがまた危険なんですね。		
	25 : 33	渡辺：そうですね。で、これから、また余震がありますから、その余震によって発生する津波も想定しておかな		

		<p>ければいけないと思います。</p> <p>アナ：はい。それでは、N T T 東日本の電話関係の伝言板について、伝えてもらいます。</p>	
17	25 : 47	<p>豊田：はい。N T T 東日本によりますと、東京、茨城、栃木、福島、山形、岩手、宮城方面への通話が集中しているため通信規制を実施しており、つながりにくくなっているということです。また、福島、山形、岩手、宮城、秋田、青森の全域では、公衆電話を無料で利用できるということです。</p>	
	26 : 11	<p>また、N T T では災害用の伝言板を設置しており、安否情報をホームページから登録できるようにしています。N T T では災害用の伝言板を設置しており、安否情報をホームページから登録できるようにしています。音声で伝言を登録する災害用のサービスは、まだ利用できないということです。ご注意ください。</p>	
	26 : 35	<p>アナ：それでは、各地に津波が押し寄せている状況がありますが、東京千代田区の九段会館、多くのけが人が出ているということですが、サトウさん、伝えてください。</p>	
17	26 : 44	<p>サトウ：はい、東京千代田区の九段会館前です。こちらには、最新の情報が入って参りました。先ほどスタジオから伝えてもらった時点では 25 人という負傷者だったんですが、最新の情報では、28 名に負傷者が増えています。その中には、心肺停止の女性 1 人が含まれているということです。また、軽傷者が 17 名、重傷者が 6 名、さらに、それより少しけがが軽い中傷者が 5 名ということになっています。</p>	中継・東京千代田区九段会館前
	27 : 10	<p>そして、現在の状況なんです、私の後ろ、この内堀通りをはさみまして反対側に九段会館があるんですが、そちらの門の部分、先ほどまで緑色のシートが張られていました。駐車場部分で負傷者の方の救助だったり、そういったものが行われていたんですが、現在はその緑色のシートが外されまして、ほぼ負傷者の方々の搬送は終了したものと見られます。</p>	
17	27 : 33	<p>また、私のすぐ後ろには内堀通り通っているんですが、つい 5 分ほど前までは、ここは一般の車両は通行止め、完全に通行が規制されていました。ただ、5 分ほど前からご覧の通り、一般の車も通行できるようになっています。</p>	
	27 : 47	<p>また、当初の情報では倒壊の恐れがあるとされた九段会館なんです、ご覧いただけますでしょうか。私の見る限りでは外壁だったり、そういったものには亀裂、そういった大きな損傷は見ることできません。周囲の規制も解除されております。九段会館前からお伝えしました。</p>	
17	28 : 06	<p>アナ：サトウさん、私の声が聞こえますでしょうか。</p> <p>サトウ：はい。</p> <p>アナ：まだ余震が続く中で、家路についている皆さんも</p>	

17	28 : 23	<p>いると思いますが、どのような表情でしょうか。</p> <p>サトウ：もう一度、お願いします。</p> <p>アナ：家路についている皆さんの表情について、伝えてください。</p> <p>サトウ：そうですね、やはり、この内堀通りもかなり通行が多いんですけども、先ほどまではですね、大勢の方、ほぼ身動きがとれないほどこの歩道にも詰めかけていました。しかし、やはり車両の動きが出てきたということもありまして、そういった方々も、現在は、私の見る限りでは平常通りに歩いてらっしゃるというのが印象的です。</p>	中継・東京 駅
	28 : 43	<p>ただですね、外にいて感じますのは、日が落ちて参りましてかなり冷え込んで参りました。そういった部分も、これから少し心配されるのではないかなと思います。</p> <p>アナ：サトウさん、また、新しい情報が入りましたら伝えてください。</p> <p>サトウ：はい。</p>	
17	28 : 56	<p>アナ：続きまして、新横浜でたまたま新幹線に乗り合わせていた、中京テレビのホンダアナウンサーと電話がつながっています。ホンダさん、現在の状況はどうでしょうか。</p>	
	29 : 09	<p>ホンダ：はい、こちらですね、のぞみ 22 号に乗りましたホンダです。13 時 30 分に名古屋を出発致しまして、地震直後に新幹線がストップしました。で、今は新幹線、新横浜の手前 44km のところで止まっています。</p>	
	29 : 26	<p>既に 2 時間半以上缶詰状態となっていて、初めの 1 時間は電気も止まりまして、トイレも使えずに空調も止まった状態だったんですけども、今は復旧しました。車内静かなんですけども、お弁当などはすべて売り切れになってしまって、今飲み物のみの販売となっております。</p>	
17	29 : 48	<p>アナ：ホンダさん、実際に地震が起きた瞬間はどういう状況でしたか。</p> <p>ホンダ：実は、地震が起きた瞬間はあまり感じなかったんですけども、止まってから余震のようなものがありまして、新幹線も揺れまして車内、乗客の方、かなり不安そうになさってました。</p>	
	30 : 10	<p>アナ：このあと、その新幹線は新横浜駅に到着するのか、またはそのままなのか、どういう状況かアナウンスは入りましたか。</p>	
	30 : 29	<p>ホンダ：今のところアナウンスはまだ、復旧作業が続いておりまして、見込みは分かっていないという状況なんです。</p> <p>アナ：ああ、なるほど。</p> <p>ホンダ：ええ。車内も電話よりもメールはつながりやすいようで、皆さん、スケジュール変更したり、いつまで、これ缶詰状態が続くのか、という感じで不安そうに待つ</p>	

		ているという状態です。	
17	30 : 41	<p>アナ：ホンダさんは地震が起きてから、もうずっと席に座りっぱなしでしょうか。</p> <p>ホンダ：そうですね。たまに、ちょっと車内をぶらぶら歩いたり是可以するんですけども、基本的には皆さん座って待ってらっしゃいますし、私も座って待ってます。</p> <p>アナ：分かりました。新しい情報が入りましたら、またホンダさん、伝えてください。</p> <p>ホンダ：はい、分かりました。</p>	
17	31 : 00	<p>アナ：続きまして、総理官邸のヒラモトさんです。</p> <p>ヒラモト：はい、総理大臣官邸です。政府は午後4時過ぎから、全閣僚による緊急対策会議を開きました。そして、午後5時前、菅総理大臣が記者会見を開き、政府として、被害を押しやるため総力を挙げて取り組んでいくと話しました。</p>	
	31 : 20	<p>菅総理：国民の皆様の安全を確保し、被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げて取り組んで参ります。</p> <p>落ち着いて行動されるよう、心からお願いを申し上げます。</p>	
	31 : 39	<p>ヒラモト：また、菅総理は会見で、一部の原子力発電所が自動停止したが、外部への放射性物質への影響は確認していないと述べました。また、この後会見を開いた枝野官房長官は、今までで最大規模の被害が出ていることを前提に、最大限努力していくと述べています。</p>	
	31 : 57	<p>また、菅総理ですけれども、対策会議の冒頭で、政府としても、できる限り被害を最小限に留めるよう全身全霊頑張るので、国民の皆さんも助け合いの気持ちを持って、被害が最小限に食い止められるよう冷静、迅速に行動するよう、重ねてお願いを申し上げますと呼びかけました。</p>	
17	32 : 16	<p>菅総理は地震発生後、国会審議を切り上げ官邸に戻り、被災状況の確認、そして住民の安全、ライフラインの確保、的確な情報提供に全力を尽くすように指示を出しました。また、宮城県からの自衛隊の派遣要請を受け、菅総理は北沢防衛大臣に対し、自衛隊に最大限の活動をすよう指示を出しました。</p>	
	32 : 37	<p>また、この地震を受け、来週月曜日の国会審議はすべてキャンセルになりました。政府は、午後7時過ぎから次の緊急対策会議を開く予定で、危害状況の確認などを急いでいます。以上、官邸でした。</p>	
17	32 : 50	<p>アナ：続いては、都内の様子でしょうか。新橋の駅前です。先ほどから、帰り道をどうしようか迷っていらっしゃるサラリーマンの皆さんもいると思いますが、このあと家路に着くために、どのようなことを最優先に考えたらいでしょうか。改めて教えてください。</p>	中継・東京 新橋駅前 地震速報
	(33:06)		<p>NNN地震速報</p> <p>午後5時31分頃、東北・関東地方で震度4の地震がありました</p>
	33 : 08	<p>渡辺：はい。とにかく、余震がありますから、建物に近</p>	<p>震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り</p>

		<p>づかないで、できるだけ広い道路の真ん中を歩いてください。そして、建物に入るときには、その建物が耐震性があるかどうかというのが、一番のポイントです。でも、見た目分かりませんから、できるだけ、これから雨が降るかもしれないので、新しい建物に避難をするようにしてください。</p> <p>アナ：分かりました。新しい情報が入ってきました。</p>	<p>福島会津 栃木北部 震度3 山形村山 山形置賜 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木南部 千葉北西部</p>	
17	33 : 37	<p>豊田：はい。八戸海上保安部に入った連絡によりますと、岩手県久慈市の石油備蓄基地のタンクが、すべて全壊したということです。岩手県久慈市の石油備蓄基地のタンクが、すべて全壊したということです。火災などは起きていませんが、海上保安部などで被害の状況を調べています。</p> <p>アナ：こちらは、現在の岩手県の盛岡市内の様子です。もう一つ、新しい情報が入りました</p>		中継・岩手 盛岡市内
	34 : 00	<p>豊田：そして、もう一つあります。福島県南相馬市の老人保健施設、ヨッシーランドで建物が倒壊し、少なくとも5人の死者が出ているということです。津浪の被害で、沿岸部は甚大な被害が出ている模様です。</p>		
	(34 : 19)	<p>アナ：少なくとも5人の亡くなった方が出ているということで、津浪の被害が甚大だという情報が入って参りました。</p>	<p>NNN地震速報 午後5時31分頃、東北・関東地方で震度4の地震がありました</p>	地震速報
17	34 : 23	<p>今は、岩手県の盛岡市内、少し雪が降っているんでしょうか、少し暗くなって参りました。岩手県の久慈市では、石油備蓄基地タンクという場所がですね、全壊をしたということです。</p>	<p>震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山地方 福島中通り 福島浜通り 福島会津 栃木北部</p>	
	34 : 35	<p>震度4、宮城県の北部、南部、中部、福島県の中通り、浜通り、会津、栃木北部。現在、ご覧のように、右下には日本地図が書かれてありますが、北海道から四国の徳島にかけての太平洋沿岸で、大津波警報が出たままの状態になっています。大津波警報が出たままの状態になっています。海や川には絶対に近づかないでください。</p> <p>続いては、宮城県のJR仙台駅前ですが、構内に入ることができないという情報がありました。家路を急ぐ皆さんは、どのようにして帰ろうかと迷っていらっしゃると思いますが、なるべく大きな道路を使って帰ってください。</p>		中継・宮城 JR仙台駅
	(35 : 01)		<p>NNN地震速報 午後5時31分頃、地震がありました 全国の市町村震度</p>	地震速報
17	35 : 19	<p>こちらは、ミヤギテレビのワタナベさんですね。伝えられますか。</p>	<p>震度4 宮城加美町 色麻町 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 仙台青葉区 仙台商城野区</p>	
	35 : 23	<p>ワタナベ：現在、私の目の前のこのまわりの信号というのは正常に作動しているんですけども、だいぶ暗くはなってきましたけども、駅のまわりの建物に明かりを確認することはできません。ちょうど目の前のこちらの信号は、現在は動いておりません。動いている信号と動いていない信号がありまして。</p>	<p>仙台若林区 仙台太白区 東松山市 松島町 利府町 上山市 二本松市 川俣町 田村市 福島伊達市 相馬市 檜葉町 富岡町 双葉町 浪江町 新地町 飯舘村 南相馬市 猪苗代町 大田原市 那須町 震源地は福島県沖 深さ30km マグニチュード5.8</p>	
	35 : 45	<p>また、目の前の建物を見ますと、傾いていたり、アンテナが倒れているといった建物なども確認することが</p>		

		<p>できます。</p> <p>アナ：分かりました。新しい情報入りましたら、また伝えてください。</p>	
17	35 : 59	<p>続いては、これは、宮城県の、先ほどの松島の松の状況をご覧ください。ずいぶんと奥地にまで、潮、高波の被害です。</p> <p>あ、東京、日本テレビの報道局、再び揺れています。東京、日本テレビの報道局、再び揺れています。</p>	中継・宮城
	36 : 19	<p>画面の奥に見えます津浪の様子は先ほどほど高さはありませんが、相変わらず、水が陸地にしみ込んだ状態になっています。高い波を受けたものと思われませんが、船が1艘浮かんでいます。どちらともなく、方向感を失った状態で、船が1艘浮かんでいます。建物から、そして、少し離れた、これは木が倒れています。波の力の影響の大きさを物語っています。</p>	
	36 : 46	<p>北海道から四国の徳島にかけて太平洋沿岸では、大津波警報が発令されています。大津波警報が発令されていますので、海、川には絶対に近づかないでください。海や川には絶対に近づかないでください。</p> <p>それでは、この地震による被害をまとめました。</p>	
17	37 : 07	<p>ナレ：宮城県北部で起きた地震は、都心も襲いました。火災が起きたのは、東京江東区にある建築中のビル。</p>	
	37 : 24	<p>東京千代田区の九段会館では、観光関連の専門学校の卒業式が行われていました。けが人が多数出ているとの情報が出ています。空からの映像では、心臓マッサージを行い懸命に救助している、救急隊員の姿が見えます。天井が落下し、けが人が出たということです。九段会館の中には地震当時、600人ほどがいたといいます。九段会館の近くの飲食店は。</p>	
	38 : 05	<p>男性：経験したことがなかったんで、かなり恐かったです。食器がかなり割れて、ほとんど割れちゃいましたね。</p> <p>ナレ：東京消防庁によりますと、けが人は、25人が出たといいます。そのうち5人が重傷で、50代の女性が意識不明の重体だということです。</p>	
17	38 : 37	<p>東京都庁の中では。</p> <p>男性：普通に立ってられません。</p>	地震発生時 都庁
	38 : 47	<p>ナレ：揺れるライト。</p> <p>男性：震度7。</p> <p>男性：うん、宮城、震度7。</p> <p>男性：宮城、震度7。</p> <p>男性：エレベーター止まってる。</p> <p>女性：エレベーター、どうなってる。</p> <p>男性：止まっています。</p> <p>男性：エレベーター、今、只今止まっている状態です。</p>	
	38 : 58	<p>ナレ：エレベーターは停止しました。</p> <p>女性：エレベーターが完全に止まっています。</p> <p>男性：今立っているのが、今立っているのが非常に危険</p>	

17	39:15	<p>な状態です。</p> <p>男性:大きく揺れています。建物が大きく揺れています。</p> <p>男性:音、聞こえますでしょうか。ぎし、ぎし、ぎしと。</p> <p>男性:ばん、ばん、ばんという音が</p> <p>男性:非常に大きな音、鳴ってます。</p> <p>ここ、都庁では、石原氏が東京都知事選に出馬表明会見していたところでした。</p> <p>男性:じゃあ、会見中止と致します。</p> <p>男性:会見中止。</p>		
17	39:29 39:39 39:53 40:03 40:16	<p>ナレ:強い揺れはしばらく続きました。</p> <p>銀座では、地震の発生で逃げまどう人々が。</p> <p>女性:みんな、だーと逃げていったという感じです。</p> <p>男性:ああ、そうだったんですか。</p> <p>女性:はい。</p> <p>男性:どうでした、この揺れは。</p> <p>女性:長かったです。</p> <p>女性:恐いわねえ。</p> <p>39:53 女性:あちら、ご覧ください。窓ガラスが割れてしまっています。まわりにも、歩道にもかなり多くの人が出てきている状態です。</p> <p>40:03 ナレ:商業施設のガラスが割れていました。</p> <p>男性:あ、すごい揺れてますね。まだ、揺れてますね。</p> <p>みんな立ち止まっています。</p> <p>40:16 ナレ:新橋駅前の広場でも、地震に恐怖を覚えた人たちが集まっていました。</p> <p>女性:まだ。ふるえが止まらないです。</p> <p>男性:初めは大丈夫でしたけど、途中からはすごい恐かったですね。</p>		
17	40:28 41:02 41:23 41:44 41:53 42:13 (42:36) 42:47	<p>ナレ:地震は、国会で審議中にも。</p> <p>男性:危ないです。ひびが入る音が。</p> <p>41:02 ナレ:菅総理は現場を去り、官邸へと向かいました。</p> <p>男性:建物から人々が避難してくるのが見えます。</p> <p>41:23 ナレ:日本テレビの報道フロア。地震発生時の様子です。報道局内にある時計は激しく揺れました。</p> <p>男性:日本テレビが大きく揺れてます。</p> <p>41:44 ナレ:日本テレビの壁は、地震で剥がれてしまいました。</p> <p>41:53 女性:駅前のロータリーなんですけれども、このように、人がみんな集まってきています。交通機関ストップしますので、今ロータリーに人が集まってきていますね。</p> <p>男性:広いところに来たほうが安全かと思いましたので。携帯は、今通じません、はい。</p> <p>42:13 ナレ:千葉県の海岸沿いでは、いくつもの黒煙が舞い上がっています。地震により、工場から火災が発生しているのです。警察の情報によりますと、千葉市中央区のJFEケミカルの工場が燃えているということです。コークスガスの施設から出火があったといいます。</p> <p>(42:36) 速報:緊急地震速報です。緊急地震速報です。</p> <p>42:47</p>	<p>地震速報</p> <p>午後5時40分頃、東北・関東地方で震度5弱の地震がありました</p> <p>緊急地震速報</p>	<p>地震発生時 報道フロア</p> <p>地震速報</p> <p>緊急地震速</p>

17	42:53	ナレ：都内では少なくとも10件以上、火災が発生。東京江東区では、けが人が4人出ています。また、江戸川区の。	福島県で地震 強い揺れ警戒 茨城北部 福島	報
17	43:02	アナ：緊急地震速報です。福島県で地震があります。強い揺れに警戒してください。福島県で地震、強い揺れに警戒してください。茨城県北部、そして福島などで強い揺れに警戒をしてください。		スタジオ
	43:14	先ほどは、震度5弱の地震が観測されたばかりです。震度5弱が観測されたばかりですが、緊急地震速報です。強い揺れに警戒をしてください。茨城県北部、福島を中心に強い揺れを警戒してください。福島県で地震、緊急地震速報です。緊急地震速報、強い揺れに警戒してください。		中継・東京 新橋駅前
	43:35	先ほど震度5弱の地震が観測されました。そのときは、福島の浜通りが震度5弱で最大震度。宮城県中部、福島県中通りが震度4。宮城県北部、南部、山形県置賜、茨城県の北部、茨城県の南部、栃木県の北部、群馬県の南部、千葉県の北東部が震度3。今後の情報に注意をしてください。緊急地震速報が発令されましたが、強い揺れに警戒をしてください。		
17	44:05	豊田：そして、岩手県からの情報です。岩手県警のまとめによりますと、岩手県内で10人の死亡が確認されたということです。	午後5時40分頃、東北・関東地方で震度5強の地震がありました 震度5強 福島浜通り	地震速報
	44:13	アナ：今の緊急地震速報の影響を受けました、震度5強の地震が観測されました。福島の浜通り、震度5弱が福島の中通りです。緊急地震速報を受けましたその震度、最大震度、震度5強、福島県の浜通り。そして、震度4で宮城県の北部、宮城県の南部、宮城県の中部、山形の村山などとなっています。	震度5弱 福島中通り 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部 震度3 青森三八上北 岩手内陸南部 山形最上 福島会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区	
17	44:37	豊田：日が落ちまして寒くなっています、暗くなっています。どうぞ、火の扱いなどには十分にご注意ください。繰り返します。岩手県からの情報です。岩手県警のまとめによりますと、岩手県内で10人の死亡が確認されたということです。岩手県内で10人の方が亡くなったということです。		
	44:55	このほか、沿岸の山田町などで、建物などに閉じこめられたという情報もありまして、警察などで確認を急いでいるということです。		
	45:06	アナ：宮城・茨城沖大地震、余震が続いています。先ほどから、間隔を空けずに余震が続いています。また、大きな余震が起こる可能性もありますので、十分に注意をしてください。		中継・宮城
17	45:20	豊田：そして、交通情報が入ってきています。交通機関についてですが、J R東日本の新幹線と首都圏の在来線は全線で運転を見合わせていますが、J R東海では小田原から新大阪のあいだ、小田原から新大阪のあいだ、2時間半の遅れが出ているものの、運転を再開していると		中継・東京 駅

17	45 : 42 (45 : 45) 46 : 02 46 : 11	<p>ということです。</p> <p>また、東京メトロ、都営地下鉄、私鉄各線は午後5時半現在、全線で運転を見合わせていて、復旧の見通しは立っていません。東京メトロ、都営地下鉄、私鉄各線は午後5時半現在、全線で運転を見合わせていて、復旧の見通しは立っていません。</p> <p>都電荒川線は午後4時半過ぎに運転を再開し、都営バスは午後4時に全線で運転を再開したということです。</p> <p>私鉄各線の状況もあります。全線で運転を見合わせています。京王線、井の頭線は15時49分から、全線で運転を見合わせています。小田急電鉄、東武鉄道も全線で運転を見合わせています。つくばエクスプレスも運転を見合わせていて、復旧のめどは立っていません。また、京浜急行と京成電鉄も、全線で運転を見合わせています。</p>	<p>NNN地震速報</p> <p>午後5時41分頃、地震がありました</p> <p>全国の市町村震度</p> <p>震度5強 富岡町</p> <p>震度5弱 田村市 檜葉町 浪江町 南相馬市</p> <p>震度4 一関市 宮城加美町 色麻町 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 角田市 柴田町 丸森町 仙台青葉区 仙台宮城野区 仙台若林区 仙台太白区 東松島市 松島町 セツ浜町 利府町 上山市 天童市 米沢市 南陽市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市</p> <p>震源地は福島県沖 深さ30km マグニチュード5.8</p>	地震速報
17	46 : 39 46 : 49	<p>歩いて帰宅されるときは、余震に十分にお気を付けてください。揺れたら道路の真ん中に、あるいは座るなどして避難をしてください。</p> <p>交通機関、全線で見合わせのところが多くなっています。歩いて帰宅されるときは、余震には十分にご注意ください。揺れたら道路の真ん中、あるいは座るなどして、十分に気を付けてください、避難してください。</p>		
17	47 : 04 47 : 15 47 : 34	<p>アナ：それでは、ここで改めて、まちづくり計画研究所の渡辺実さんにお伺いしますが、マグニチュードが8.8、これは国内最大規模のマグニチュードだというふうに発表をされました。</p> <p>渡辺：はい、もう巨大地震ですね。ですから、最近の地震で言えばスマトラの、あの大津波を起こした地震、あれがマグニチュード9.0なんですね。ですから、あれに匹敵するぐらいの巨大な地震が起きたということだと思います。</p> <p>アナ：今までの日本の地震で言いますと、阪神・淡路大震災がマグニチュード7.3、関東大震災がマグニチュード7.9、で、大きな津波を起こしました1993年の北海道南西沖地震がマグニチュード7.8ということで、8以上、8以上のクラス、8.8というマグニチュードは国内最大規模の巨大地震だということです。</p>		スタジオ
17	47 : 59 48 : 09 48 : 32	<p>渡辺さん、都内は、もしかすると、このあと雨が降ってくる可能性もありますし、全国的にも天候が悪くなる可能性もあります。この頃について、注意することはどんなことでしょうか。</p> <p>渡辺：そうですね、とにかく、体温が下がってきますから、今度は防寒に注意をしなければいけない時間帯ですね。ですから、そのことを併せて、身の安全と寒さに対する防寒、これを頭に入れていく時間帯だと思います。</p> <p>アナ：ああ、そうですか。そのために必要なことはどんなことでしょうか。</p> <p>渡辺：できるだけ、部屋の中に入っていただきたいはな</p>		

		いんですけれども、やむを得ず入るとすれば、新しい建物の中で避難をする、これを考えていただきたいと思います。		
17	48 : 47 (49 : 05) 49 : 25	アナ：分かりました。豊田さん、先ほど岩手県内の情報がありました。あ、これは、現在の宮城県仙台市の映像です。火災が起きています。至るところで黒い煙が上がっています。渡辺さん、先ほども話がありましたが、火気はぜひ使わないでいただきたいというお話ですね。渡辺：はい、もう絶対に使わないでください。この余震が収まるまでは、ちょっと危ないですから。火災がまた連続して起きてしまうと、とても今消防車がですね、走れるような状態にはなってませんから、延焼してしまう。ですから、火気の取り扱いには、もう嚴重注意です。アナ：はい。宮城県の仙台市、これは市内でも2カ所の大きな炎が上がっています。こうなりますと、消防車の台数も足りなくなる上に、道路が、例えば陥没であるとかひび割れを起こしているということで、なかなか現場にたどり着くことができません。ぜひ、火気厳禁で、火を使わないでいただきたいということをご注意申し上げます。	津波情報 午後5時45分までに観測された津波の時刻と高さ 北海道浜中町霧多布港 午後5時27分 最大波2.3m 北海道苫小牧西港 午後5時30分 最大波2.1m 三重尾鷲 午後5時12分 最大波1.7m 横浜 午後5時37分 最大波1.6m 愛知田原市赤羽根 午後5時32分 最大波1.6m 神奈川横須賀 午後5時16分 最大波1.6m 高知須崎港 午後5時20分 最大波1.4m 静岡御前崎 午後5時18分 最大波1.4m 北海道渡島森港 午後5時8分 最大波1.2m	中継・宮城 仙台市 津波情報
17	49 : 47 50 : 16 50 : 31	豊田：そして、家族の皆さんと連絡を取りたがっている方も多いかと思います。NTT東日本によりますと、東京、茨城、栃木、福島、山形、岩手、宮城方面への通話が集中しています。そのため、通信規制を実施しており、つながりにくくなっているということです。また、福島、山形、岩手、宮城、秋田、青森の全域では、公衆電話を無料で利用できるということです。NTTでは、災害用の伝言板を設置しており、安否情報をホームページから登録できるようにしています。音声で伝言を登録する災害用のサービスは、まだ利用できないということです。また、現在、携帯電話もつながりにくい状況が続いています。このため、NTTドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話会社各社では、安否情報を確認できる災害伝言板の設置を行いました。安否情報の登録や確認を携帯電話のトップページや、各携帯電話会社のホームページから行うことができるということです。こちらをご利用ください。	和歌山県那智勝浦町浦神 午後5時33分 最大波1.0m 和歌山串本袋港 午後5時38分 最大波0.8m 静岡舞阪 午後5時37分 最大波0.8m 徳島小松島 午後5時24分 最大波0.7m 伊豆大島岡田 午後3時49分 最大波0.7m 和歌山 午後5時32分 最大波0.6m 高知 午後5時12分 最大波0.6m 大阪岬町淡輪 午後5時30分 第1波0.2m 南大東漁港 午後5時24分 最大波0.2m 淡路島洲本 午後5時20分 第1波0.2m 場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります 今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます	
17	50 : 58 51 : 20	アナ：宮城県仙台市の現在の情報カメラの映像です。大きな火災が起きています。大きな火災が起きています。二カ所で大きな火災が起きておまして、その炎の勢いは増すばかりです。この後、夕食時になりまして、火を使うこともあると思いますが、ぜひ火気厳禁でお願いいたします。渡辺さん、他に気を付けることはあるでしょうか。渡辺：そうですね。やっぱりまだまだ津波も襲ってくる可能性がありますから、絶対に海岸には近寄らない。海		

	(51:59)	<p>岸のそばにいらっしゃる方は、高台あるいは鉄筋コンクリートの3階以上において、この警報が解除されるまではそこから動かないでください。</p> <p>アナ:分かりました。これは羽田空港の情報カメラから、東京湾の対岸にあります、石油コンビナートなどが密集している工場地帯の火災の状況を映しております。千葉市の消防局によりますと、中央区川崎町にありますJFEケミカルで、火災が発生しているということです。これがそのJFEケミカルの火災かどうかの状況については分かっていませんが、大きな炎が上がっています。</p>	<p>NNN津波情報</p> <p>午後5時50分までに観測された津波の時刻と高さ</p>	津波情報
17	52:06	<p>豊田:そして、岩手からも情報が入ってきました。岩手県警のまとめによりますと、岩手県内で10人の死亡が確認されたということです。岩手県内で10の方が亡くなっています。この他、沿岸の山田町などで、数人の遺体が見つかったということで、警察などで確認を急いでいます。</p> <p>アナ:続きまして、中継先つながるでしょうか。気象庁のナカハマさん。</p>	<p>宮崎港 午後5時29分 最大波1.4m</p> <p>奄美大島奄美市小湊 午後5時41分 最大波1.1m</p> <p>宮崎日南市油津 午後5時19分 最大波1.0m</p> <p>宮崎日向細島 午後5時20分 最大波0.8m</p> <p>種子島熊野 午後5時16分 最大波0.8m</p> <p>鹿児島県南大隈町大泊 午後5時40分 最大波0.5m</p> <p>奄美大島奄美市名瀬 午後5時44分 最大波0.4m</p> <p>種子島西之表 午後5時31分 最大波0.2m</p>	
17	52:39	<p>ナカハマ:はい。気象庁からお伝えします。私、地震が発生しました午後2時46分頃にも、こちらの建物にいましたが、1、2分のゆっくりとした長い揺れを感じました。そして新しい情報です。先ほど気象庁は、午後5時30分に、先ほど午後2時46分に発生した三陸沖の地震について、マグニチュードを8.4から8.8に変更しました。この8.8という数字なんですけど、1896年の6月に、明治三陸地震が起きていますが、このときがマグニチュード8.5ですので、今回のこの地震は、国内最大級の地震の規模と見られます。</p>	<p>愛媛宇和島 午後5時42分 第1波高さ不明</p> <p>場所によっては検潮所の観測より大きな津波到達の可能性もあります</p> <p>今後津波の高さはさらに高くなることも考えられます</p> <p>震源地は三陸沖 深さ20km マグニチュード8.8</p>	中継・気象庁
	53:16	<p>気象庁では先ほど午後4時から記者会見を行いまして、大津波と津波警報の出ている沿岸では、大きな津波がすでに到達しているところもあり、今後も津波がさらに押し寄せる恐れがあるため、すぐに高台に避難して、警報が解除されるまで、絶対に海のそばに戻らないようにと呼び掛けています。</p>		
	53:34	<p>これまでに観測された津波の高さの数字は、あくまでも気象庁などが設置している津波の検潮所で記録した数字であり、これよりもさらに高い津波が到達している可能性もあるため、気象庁では津波警報が解除されるまでは、絶対に海岸に近づかないようにしてほしいと話しています。</p>		
17	53:53	<p>また、余震とみられる地震も続いています。気象庁では会見で、今回の地震がマグニチュード8を超えており、かなり広い範囲の断層が破壊された可能性があるという指摘をしています。午後3時過ぎにも茨城県沖、そしてつい先ほど、午後5時半過ぎですかね、福島県沖で大きな地震がありました。これらの地震との関連についても、現在調べています。今後はマグニチュード7程度の余震</p>		

		てくると思いますが。ぜひ帰宅を急がないでほしいという枝野官房長官の会見の内容でした。 それでは、福島中央テレビのスタジオから中継です。	
17	56:59	アナ: はい。福島からお伝えします。午後3時前に起きた宮城茨城沖大地震で、福島県内では最大で震度6強を観測しました。気象庁は太平洋沿岸に大津波警報を出していますが、福島県では10m以上の津波の到達が観測されたところもあるということです。再三繰り返していますが、高台などに避難し、海や川には絶対に近づかないでください。 余震も相継いでいます。先ほど午後5時40分には、浜通り、太平洋に面した市町村なんですけど、震度5強、中通り、こちらは会津をのぞく内陸部ですけど、震度5弱を観測しました。引き続き警戒してください。	福島中央テレビ
	57:40	福島県などによりますと、南相馬市の老人保健施設、ヨッシーランドで建物が倒壊し、少なくとも5人の死者が出ています。また、白河市の住宅地で土砂崩れがあり、5世帯8人の行方が分からないということです。須賀川市にある工場、ハヤシ精機では、社屋が倒壊し、けが人が出ているもようです。また、いわき市にある呉羽化学の工場で、爆発が起きたという情報もあります。双葉町では、住宅が全焼、住民が閉じ込められているという情報があります。また、双葉町では、津波で町中が水浸しになっているということです。	
	58:19	福島第一原子力発電所は、1号機から3号機が自動停止、4号機から6号機は定期検査中で運転していません。福島第二原発は、4機すべてが自動で停止しました。いずれも外部への放射能漏れの恐れはないということですが、このうち、福島第一原発は、外部電源が来ていない状態で、非常時の冷却系を使って炉内の温度と水位を保っている状態だということです。 余震も相継いでいて、午後5時40分には、浜通りで震度5強が観測されました。	
17	58:56	女性: こちらの交差点の角にあるビルは、1階が半分もう完璧にひしゃげている状態です。地震が起きた当時、1階には20人ほどの方がいたということですが、中には打ち身や、あと、けがをされて血を流している方もいらっしゃるそうです。そして、今この辺りの住民の方からは、ガス臭いという声が出ています。	
	59:24	男性: 郡山市図景の国道4号線のコンビニエンスストアです。地震が起きたあと、事務所から火が出ておりまして、大きな煙が上がっています。非常に焦げ臭いです。	

5.2. TBS

3月11日14時50分から18時にかけてのTBSテレビの録画を確認した。放送された音声と文字テロップ(一部)をタイムラインで表5.2に示した。TBSの初期報道の特徴は、①立ち上がりがあった、②宮古や仙台空港、富岡町の海岸(福島第一原発)を襲った大津波をライブ中継した、などだ。現地の系列局として

は、東北放送、IBC 岩手放送、テレビユー福島などが登場した。ゲスト解説の専門家は、16:02～島崎邦彦名誉教授（地震予知連絡会会長・東京大学）だった。

表 5.2 TBSテレビ（2011年3月11日 地震発生から17時台）

時	分/秒	テレビ音声	テロップ	備考
14	50:45	<p>蓮見：今、番組の途中ですが、先ほど緊急地震速報が入りました。すでに各地の震度の情報が入ってきています。震度7が宮城県の北部です。また震度6強が宮城県中部、福島県中通り、福島県浜通り、茨城県北部などとなっています。まずは落ち着いて行動してください。身の安全に注意をしてください。落下物などに控えてください。</p>		報道カメラ
	51:09	<p>また、津波の情報が、午後2時49分に入りました。現在日本地図東側、黄色く表示されている場所が、津波注意報です。太平洋側、大きな地域で津波注意報が出ています。また、東北では、大津波警報が出ています。岩手から宮城にかけての沿岸、大津波警報が出ています。河口付近、海岸付近には絶対に近づかないでください。また、関東の太平洋側の沿岸でも津波警報が出ています。津波の情報が入ってきています。先ほど2時49分ごろに、津波の情報が入りました。岩手の太平洋沿岸、それから宮城にかけての沿岸で、大津波警報が出ています。河口付近、海岸付近には近づかないでください。</p>		
	51:55	<p>まずは落ち着いて行動をしてください。すでに揺れがおさまっている地域、あるかもしれませんが、身の安全に注意してください。また、現在揺れがおさまっていない地域の皆さん、どうぞ落ち着いて行動をしてください。火の始末も揺れがおさまってからするように心がけてください。まずは身の安全に注意をしてください。</p>		
	52:17	<p>津波の到達予想が出ています。岩手県です。また、宮城県で午後3時頃、6mという津波の到達予想が出ています。また、千葉県の九十九里・外房、3時20分に2mの津波予想。伊豆諸島では午後3時20分頃、1mの津波予想。また、千葉県の内房、また、茨城県でも津波の到達予想が出ています。また、北海道の太平洋沿岸、青森県の太平洋沿岸でも津波の到達予想が出ています。まずは落ち着いて行動をしてください。</p>		
	52:49	<p>東京のスタジオもかなり揺れています。左、右に、横に大きく揺れています。午後3時40分頃には北海道太平洋沿岸部、また、小笠原諸島では午後4時頃、0.5mの津波の予想が出ています。現在、日本列島の北海道から九州にかけての沿岸、太平洋側で津波の警報、さらには大津波警報、そして津波の注意報が出ています。</p>		
14	53:15	<p>現在番組の途中でしたが、地震の情報をお伝えしています。先ほど緊急地震速報が出ました。そして、震度7を観測したのが宮城県の北部です。また、震度6強が宮城県の南部、宮城県中部、福島県中通り、福島県浜通り</p>		

14	53 : 46 54 : 35	<p>などとなっています。東京赤坂にありますTBSのスタジオでも、かなり強い揺れを感じました。震度7を観測したのは宮城県の北部です。また、宮城南部、また、栃木南部では震度6強を観測しています。</p> <p>落ち着いて行動をしてください。身の安全に注意をしてください。まわりにクッションや枕など、体を保護できるものがありましたら、それを頭からかぶり、また、体を保護するなどして落下物に備えてください。また、山形や埼玉、千葉でも震度5強、また、東京23区でも震度5強を観測しています。</p> <p>先ほど午後2時46分頃、かなり強い揺れの地震がありました。最高震度が震度7を観測しています、宮城県の北部、また、震度6強が宮城県の南部、宮城県中部、福島県中通り、福島県浜通りなどとなっています。また、栃木県、群馬県、千葉県などでも震度6弱を観測しています。また、東京23区、神奈川東部でも震度5強を観測しています。</p> <p>いったん、東京のスタジオ、揺れがおさまったように感じますが、大きな地震のあとには余震が来る恐れがあります。十分に注意をしてください。また、津波の情報が出ています。大津波警報が岩手から宮城の沿岸にかけて出ています。津波の警報も出ています。そして、黄色く表示されているのが津波の注意報です。</p> <p>それでは、情報を整理してお伝えしましょう。Nスタジオ、お願いします。</p>		
14	55 : 01 55 : 19 55 : 47 56 : 08	<p>長岡：はい、お伝えして参ります。先ほど2時46分頃、非常に強い地震がありました。地震の規模を示すマグニチュードは7.9、震源は三陸沖、深さはおよそ10キロです。ご覧いただいている広いエリアに大津波警報、津波警報、津波注意報が出されています。</p> <p>伊藤：対象エリアの海岸近くや川の河口付近にいる方は、ただちにその場を離れて、高台や津波避難ビルに指定された建物などに避難してください。避難するときは、海からより遠い場所よりも、より高い場所を目指して逃げてください。近くに高台などがいない場合は、鉄筋コンクリートなどでできた、背が高く頑丈な建物の、できれば3階以上に避難してください。決して様子を見に海へ近づいたりしないでください。</p> <p>長岡：東京のスタジオでも、かなり大きな揺れを感じました。津波の到達予想をご覧いただいております。岩手県では、第1波が到達したものと見られます。予想される高さは3m。宮城県は3時頃、もう間もなくです。6mの高さが予想されています。皆さん、河口付近、河口や海岸付近からは離れてください。</p> <p>それでは、現在の福島の様子、伝えてまいります。</p> <p>伊藤：福島では震度6強を観測しています。福島からお伝えします。</p>		Nスタジオ

14	56 : 22	アナ：先ほど福島県で大変強い揺れを観測しました。大変強い地震がありました。最大震度は7、宮城県の北部です。宮城県の北部で最大震度7です。現在、福島県には大津波警報が発表されています。そして、津波、午後3時10分頃、到達予想時刻となっています。予想される波の高さは3mです。予想される波の高さは3m、午後3時10分頃、津波の来る予想です。	福島TUF スタジオ
14	56 : 58 57 : 18 57 : 38 57 : 45 57 : 58 58 : 45	伊藤：お伝えしていますように、午後2時46分頃地震がありました。この地震で、最大震度は震度7を観測しています。宮城北部で震度7を観測しています。また、この地震に伴いまして、大津波警報、津波警報が出されています。ご覧の赤い線で示されている沿岸には、大津波警報が出されています。 長岡：東京赤坂のTBSのスタジオでも、かなり大きな揺れを感じました。まだスタジオの照明は動いているような状態です。まだ揺れが、地震のあとの揺れですね、照明が大きく揺れたまんまとなっています。テレビが倒れるなどの、そういうことも起きました。東京赤坂でも大変大きな揺れを感じました。 伊藤：大きな地震のあとには余震が来る恐れもあります。まずは、皆さん、落ち着いて行動してください。 長岡：これは、地震発生時の赤坂のスタジオの様子です。かなり照明が大きく、大きく揺れまして、スタジオに落ちてくるのではないかと、そう思うほどの大きな揺れでした。 解説1：局舎のエレベーターが止まったりですね、今スタジオの裏手の舞台をつくっている、そのセットの置き場があるんですけども、その辺にも白い煙がもうもうと上がっておりまして。スタッフが騒然となってみんな立ち尽くしていると、こういった状況でした。で、かなり揺れが長かったですね。 解説2：そうですね。やはり震度7ありますし、マグニチュードも7.7以上ありますので非常に大きな。 長岡：7.9ですね。 解説2：もう、マグニチュード8クラスの地震ですから。 解説1：7.9というのは、相当強いですね。阪神大震災。 解説2：よりもはるかに大きいですね。東北沖のいわゆるプレートが潜り込む、これはプレート境界型の地震ではないかというふうに思われますが。 長岡：大津波警報、津波警報、津波注意報、広い範囲に出されています。それでは、今の宮城の様子を伝えてもらいます。	Nスタジオ
14	58 : 53	アナ：大きな家具などから離れてください。頭を座布団やクッションなどで保護し、頑丈な机やテーブルの下など、安全な場所に隠れてください。あわてて外へ飛び出すのは危険です。落ち着いて行動してください。宮城県に震度7の地震が観測されています。そして、宮城県に	仙台TBC スタジオ 中継・気仙 沼港、TB C本社内

14	59 : 30	<p>大津波警報が出されています。皆さん、落ち着いて行動してください。宮城県に大津波警報が出されています。すぐに高いところ、高台など、鉄筋コンクリートのビルの3階以上など、安全な場所に避難してください。</p> <p>こちら、現在の気仙沼港の様子です。こちらから確認できる限りでは海面などに大きな変化は見られませんが、現在、宮城県に大津波警報が出されています。宮城県に津波が到達する予想時刻15時、予想される津波の高さは6mです。それより高くなる恐れもあります。皆さん、落ち着いて行動してください。沿岸部の方はただちに避難してください。急いで、高台や、鉄筋コンクリートのビルの3階以上など、安全な場所に避難してください。現在、宮城県に大津波警報が出されています。</p>		
15	00 : 11 00 : 45	<p>これは地震発生直後のTBC本社の様子です。緊急地震速報が発令された後、すぐに大きな揺れを感じました。そして、非常に強く長い揺れを感じました。私を感じた限りでは、1分以上も長い間、非常に強い揺れを感じました。そして、現在入ってきた情報によりますと、仙台市消防局によりますと、仙台市泉区原田で住宅が倒壊したという情報も入ってきています。仙台市消防局によりますと、仙台市泉区原田で住宅が倒壊したという情報も入ってきています。</p> <p>地震発生直後のTBCの本社の様子です。緊急地震速報が発令された後、すぐに強い揺れを、非常に強い揺れを感じました。スタジオ内でも大変強い揺れを感じました。立っているのがやっとなような、大きな揺れでした。そして、長く強い揺れが大きく1分以上も続きました。仙台市消防局によりますと、仙台市泉区原田で住宅1棟が倒壊したとの情報が入ってきました。仙台市消防局によりますと、仙台市泉区原田で住宅が倒壊したという情報も入ってきています。皆さん、落ち着いて行動してください。</p>		
15	01 : 29 01 : 57	<p>長岡：震度7を観測しました宮城からお伝えしました。先ほど午後2時46分頃、東北地方で震度7の、非常に強い地震がありました。気象庁は宮城県、岩手県、福島県に大津波警報を発表しました。宮城県では最大6mの大津波があるとしています。気象庁によりますと、震源は三陸沖、震源の深さはおよそ10キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7.9と推定されています。</p> <p>伊藤：また、先ほどの仙台からの情報ですと、住宅1棟が倒壊しているという情報も入ってきているようです。規模が比較的大きい地震のあとには、余震が来る可能性があります。皆さん、落ち着いて行動してください。</p>		Nスタジオ
15	02 : 10	<p>解説2：かなり余震来てますね。</p> <p>長岡：そうですね。東京でも感じる。</p> <p>解説2：東京でも揺れてますね</p>		

15	02 : 33	<p>解説 1 : 今も震度 2 がありましたよね、東京で。</p> <p>伊藤 : 東京でもかなり大きな揺れを感じました。</p> <p>解説 2 : 東京で 5 弱が各地で、東京都内でも出ていますね。</p> <p>解説 1 : ちょうど参議院では予算委員会の最中だったんですけども、議場も騒然となりまして。画面を見てもですね、国会議事堂の中が揺れている様子が出ておりました。</p>	
	02 : 45	<p>伊藤 : 今、赤坂のカメラからの、カメラの様子をご覧くださいませ。</p> <p>長岡 : 現在の様子ですね。煙でしょうか。</p> <p>伊藤 : はい。ちょっと、黒い煙でしょうか。確認は取れませんが、何か煙のようなものが見えています。</p> <p>長岡 : 現在の東京都心の様子ご覧いただいておりますが、東京タワーの手前に少し煙が上がっているようにも見えます。</p>	
	03 : 11	<p>伊藤 : そうですね、港区内。</p> <p>解説 1 : 港区内ですね、はい。TBS の本社の方から東京タワーの方に向かって見てますんで。</p> <p>伊藤 : 東京タワーの奥の方ですね。</p> <p>解説 1 : はい、はい。海に近い方向ということなんですけど。ただ、これは分かりません。</p> <p>伊藤 : そうですね。確認でき次第、またお伝えしたいと思いますが、何か黒い煙のようなものがこのカメラからは確認できます。</p>	
	04 : 00	<p>長岡 : 先ほど午後 2 時 46 分頃、東北地方で震度 7 の非常に強い地震がありました。気象庁は宮城県、岩手県、福島県に大津波警報を発表しています。ご覧の赤で示しているエリア、大津波警報です。そして、ピンクで示しているエリアには津波警報が出ています。</p> <p>伊藤 : 津波到達予想をご覧くださいませ。第 1 波の到達予想時刻は 3 時前後となっております。岩手県では、既に第 1 波が到達している可能性もあります。宮城県も到達予想時刻を過ぎています。宮城県では、予想される津波の高さは 6 m という事です。決して、はい。</p> <p>解説 2 : ...様子も、まず、波が引きましたので、波が上がってこなくても海岸線には近づかないでください。引き波ってということがありますので。</p> <p>伊藤 : そうですね、はい。</p> <p>解説 1 : それと、湾の奥とかですね、そういったところはさらに高さが高くなる可能性がありますので、余計に注意が必要だということですね。</p> <p>伊藤 : 予想される高さよりも、入り江の形状ですとか、場合によっては高く来ることがあります。皆さん、十分に注意してください。決して様子を見に海へ近づいたりしないでください。</p> <p>長岡 : それでは、震度 7 を観測しました仙台からお伝え</p>	

		します。仙台のスタジオ、つながりますでしょうか。	
15	04 : 27	アナ：宮城県に大津波警報が出されています。宮城県では最大震度7を観測しています。現在、宮城県に大津波警報が出されています。宮城県の津波の到達予想時刻15時、予想される津波の高さは6mです。急いで、高台やビルの、鉄筋コンクリートのビルの3階以上など、安全な場所に避難してください。現在、宮城県に大津波警報が出されています。最大震度は7を観測しています。皆さん、安全な場所にただちに避難してください。すぐに、鉄筋コンクリートのビルの3階以上など、安全な場所に避難してください。宮城県の津波到達予想時刻は、予想される津波の高さは6mです。	仙台TBC スタジオ 中継・気仙 沼港
	05 : 10	こちらは、現在の気仙沼港の様子です。画面で確認できる限りでは、海面の変化など、大きな変動は見られませんが、現在、宮城県には大津波警報が出ています。大津波が押し寄せ、大きな災害の起こる恐れがあります。予想される津波の高さは、高いところで、宮城県6mが予想されています。津波の到達予想時刻は15時です。15時ちょうどです。現在の気仙沼港の様子です。画面で確認できる限りでは、海面が揺れているのが分ります。	
	05 : 43	そして、現在、TBCのスタジオ内も揺れています。現在、こちら仙台市八木山にあるTBCのスタジオ内でも、さらに地震を感じています。揺れを感じています。気仙沼港の定点カメラの様子も、横に揺れているのが分ります。そして、波も変化が見られます。波も揺れているのが分ります。	
	06 : 02	皆さん、落ち着いて行動してください。現在、宮城県に大津波警報が出ています。すぐに、高台や、鉄筋コンクリートのビルの3階以上など、安全な場所に避難してください。河口や河川、入り江の周辺など、津波の大きくなりそうなところでは、特に警戒が必要です。現在、TBCのスタジオ内でも余震を感じています。揺れを感じています。	
	06 : 28	定点カメラ、気仙沼港の定点カメラ、激しく横に揺れているのが分ります。現在の気仙沼港の様子です。定点カメラが非常に激しく揺れています。皆さん、安全な場所に避難してください。津波警報が、大津波警報が出されています。宮城県に大津波警報が出されています。太平洋沿岸全域に大津波警報が出ています。または注意報も出されています。現在のTBCのスタジオが大きく揺れています。揺れを感じています。現在、TBCのスタジオ内でも大きく揺れています。スタジオの上の照明なども、大きく横に揺れているのが分ります。	
15	07 : 13	長岡：現在も余震が続いているようです。皆さん、落ち着いて、身の安全を図ってください。お伝えしておりますように、先ほど午後2時46分頃、東北地方で震度7の非常に強い地震がありました。ご覧いただいているの	Nスタジオ

		ます。そして、黒煙がもうもうと立ち上がっています。それでは、岩手のスタジオからお伝えします。	
15	10:03 10:47	アナ:...落ち着いてください。現在、岩手県沿岸には大津波警報が出されています。現在、岩手県沿岸にも大津波警報が出されています。既に岩手県の沿岸では津波を観測しています。宮古港、第1波が午後2時48分、高さは不明です。大船渡港の第1波が午後2時46分、20cmでした。最大波も20cmで午後2時54分に観測しています。また、釜石港の第1波が午後2時45分、10cm。最大波が午後2時56分、20cmでした。 岩手県沿岸、大津波警報が出されていますが、既に第1波を観測しています。宮古港で第1波が...	岩手IBC スタジオ
15	10:54	長岡:おとといも大きな揺れがあったばかりですけども、また、大きな地震が続いています。ご覧いただいているのは東京都心の様子なんですけど、お台場の辺りでしょうか。炎が上がっているのも見えます。東京でもかなり。 伊藤:あ、ビルの屋上ですね。 解説1:ビルの屋上ですね。はい。 伊藤:ビルの屋上から火が上がっています。そして、そこから黒い煙がもうもうと立ちのぼっているのが、こちらから確認できます。 解説1:建設中のビルか何かじゃないでしょうか。 伊藤:そうですね、上の方に青いものが何かかかっていますね。 解説1:油か何か漏れてですね、引火した可能性がありますね。ビルの屋上全体が激しく燃えていますね。 伊藤:それでは、最新情報を報道カメラからお伝え致します。	Nスタジオ
15	11:38 12:08 12:26	蓮見:はい、では、報道カメラからお伝えします。総理官邸では現在、菅総理以下、全閣僚が危機管理センターに集まり情報収集当たっています。総理官邸では現在、菅総理以下、全閣僚が危機管理センターに集まり情報収集に当たっています。また、防衛省では午後3時半から、北沢防衛大臣出席のもと対策会議が開かれています。防衛省では午後3時半から、北沢防衛大臣出席のもと対策会議が開かれています。 続いて、交通情報をお伝えします。JR東日本によりますと、首都圏の在来線は、午後3時現在ですべて運行を見合わせています。JR東日本によりますと、首都圏の在来線は、午後3時現在、すべて運行を見合わせています。 そして、空の便もお伝えします。全日空と日本航空によりますと、羽田空港では滑走路を一時閉鎖して、被害が出ていないか確認しています。このため、羽田空港では発着を見合わせています。また、仙台空港では、滑走路	報道カメラ

15	12:46	<p>に亀裂が確認されたということで、滑走路を閉鎖しているということです。</p> <p>もう一度お伝えします。先ほど午後2時46分頃、東北地方で震度7の非常に強い地震がありました。気象庁は宮城県、岩手県、福島県に大津波警報を発表しました。宮城県では、最大6mの大津波があるとしています。気象庁によりますと、震源は三陸沖、震源の深さはおよそ10キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7.9と推定されています。以上です。</p>	
15	13:18 13:48 14:05 14:18	<p>伊藤：はい。2時45分前後でしょうか、震度7の地震を宮城で観測しました。その後にもですね、震度5弱という地震を、ま、余震がたびたび起きているようです。</p> <p>長岡：午後2時46分頃、東北から関東にかけての広い範囲で非常に強い地震があり、宮城県の栗原市築館では震度7を観測しました。気象庁は宮城、岩手、福島の太平洋沿岸に大津波警報を出しました。</p> <p>ご覧いただいているのは、仙台市内にあるTBCの報道センターの様子です。地震発生直後の様子ですけども、プレートが大きく揺れまして、かなりの揺れを感じているのが分ります。東京のスタジオでも本当に長い揺れを感じました。</p> <p>伊藤：ご覧いただいているのは、大津波警報、また、津波警報、津波注意報が出されている沿岸を示すコンピューター画面です。ご覧いただいています、赤い線で示されているところには大津波警報が出されています。</p> <p>津波を観測しました。津波を観測した情報が、今入ってきています。石巻市鮎川では第1波を午後2時46分に、10cmの津波を観測しています。その後、52分に最大、これまでの最大波となる50cmの津波を観測しています。宮古では20cm、大船渡では引き波を観測した後に20cmの津波を観測しています。釜石でも第1波は引き波10cm、波の高さが引きました。その後に20cmの津波が来ています。</p> <p>長岡：宮城県では最大6mの大津波があると気象庁はしています。海岸や河口付近には決して近づかないください。それでは、福島のスタジオからお伝えします。</p>	Nスタジオ
15	15:00 15:15	<p>アナ：...物が落ちてくるなどの強い揺れを感じました。現在も余震が続いています。そして、午後3時10分を予想到達時刻として、大津波警報が福島県沖では発表されています。</p> <p>先ほど午後2時46分頃、大変強い地震がありました。三陸沖を震源とする地震です。県内の最大震度は6強です。震度6強が白河市、須賀川市、二本松市、鏡石町、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町です。震度6弱が郡山市、桑折町、国見町、川俣町、西郷村、中島村、矢吹町、棚倉町、玉川村、浅川町、小野町、田村市、伊達市、いわき市、川内村、相馬市、広野町、飯</p>	福島TUF スタジオ

15	18:40	<p>さは、高いところで平常の海面より3m以上に達する見込みです。</p> <p>大きな災害が起きる恐れが高いため、厳重に警戒してください。津波は1回だけではなく、繰り返し襲ってきます。最初の津波より2回目以降の方が高くなる場合があります。また、三陸沿岸は地形により、津波が予想より高くなる恐れがあります。大津波警報が解除されるまで、厳重に警戒してください。海岸の方には、ただちに高台に避難するよう呼びかけてください。</p>	
15	19:10 19:31 20:04	<p>蓮見：はい、では、報道カメラからお伝えします。総理官邸では先ほど、菅総理以下、全閣僚が危機管理センターに集まり情報収集に当たりました。菅総理は各閣僚に、いったん各役所に戻って対応するよう指示しました。現在は防災担当大臣が残って、被害状況の把握などに務めています。</p> <p>また、東京電力によりますと、午後3時現在、福島第一原発は1号機、2号機、3号機が地震直後に自動停止、福島第二原発は1号機から4号機が地震直後に自動停止しています。繰り返します。東京電力によりますと、午後3時現在、福島第一原発は1号機、2号機、3号機が地震直後に自動停止、福島第二原発は1号機から4号機が地震直後に自動停止しています。</p> <p>では、もう一度お伝えします。総理官邸では先ほど、菅総理以下、全閣僚が危機管理センターに集まり情報収集に当たりました。菅総理は各閣僚に、いったん各役所に戻って対応するよう指示しました。現在は防災担当大臣が残って、被害状況の把握などに務めています。報道カメラからは、以上です。</p>	報道カメラ
15	20:28 20:36	<p>長岡：ご覧いただいている映像ですけれども、学校でしょうか、校庭に生徒さんが避難しているような映像も見えました。</p> <p>大津波警報の範囲が広がっています。茨城県や千葉県まで、大津波警報となっています。海岸や河口付近には絶対に近づかないでください。</p> <p>解説1：今、宮古の情報カメラ出てますけれども、あれ、津波。</p> <p>伊藤：でしょうかね。</p> <p>解説1：ですね。</p> <p>伊藤：大きいですね。</p> <p>解説1：はい。</p> <p>伊藤：押し寄せてくる波の...</p> <p>解説1：今、湾の中に、はい、津波が押し寄せてきている状況が、そのまま見えますね。かなり大きな波ですね。</p> <p>伊藤：大きいですね。</p> <p>長岡：海岸や河口付近には絶対に近づかないでください。それでは、岩手のスタジオ、つながりますか。</p>	Nスタジオ

15	24 : 12	<p>し寄せて、今波がまた戻ってきている。</p> <p>解説 2 : いや、入ってますね、まだ。</p> <p>伊藤 : 入ってきて。</p> <p>解説 1 : 左から右の方向ですね。</p> <p>伊藤 : はい、津波を観測しています。</p> <p>長岡 : かなりの勢いで波が流れていますね。</p> <p>解説 2 : ほんで、住宅地がありますよね。</p> <p>伊藤 : 住宅地がありますね。</p> <p>解説 2 : ああ、これ相当。ああ。</p> <p>長岡 : うわあ。</p> <p>解説 1 : かなり漁港の、まちのほうにまで、ものすごい勢いで津波が押し寄せている状況が分るとは思いますけれども。これ、川ですね。</p> <p>解説 2 : 川ですね。</p> <p>伊藤 : 川をのぼっていると。</p> <p>解説 1 : 川の方を逆流しているんですね、津波が</p> <p>伊藤 : 今、大津波警報が出されています。対象エリアの海岸近く、川の河口付近にいる方はその場を離れてください。</p> <p>解説 1 : 宮古はかつて、三陸沖の津波でも大きな被害を出したところなんですね。</p> <p>長岡 : ご覧いただいているのは、岩手県宮古の情報カメラです。大津波警報が、岩手県沿岸には出されています。</p> <p>解説 1 : これ、手前の河口から奥の方のまちの方に向かってですね、津波がどんどん押し寄せている状況ですね。手前の橋のところ、車、通ってますけれども、非常に危険ですね。</p> <p>伊藤 : 危険ですね。はい。海岸近くに、ああ。</p> <p>解説 1 : あ、あの左の方に見えると思います。</p> <p>伊藤 : あ、今、波が壁に当たっている。</p> <p>解説 1 : はい、波が住宅街の方に。はい。ちょうど護岸だと思っんですね、川の護岸のところ当たって、そこからさらにまちの中の。</p> <p>伊藤 : の奥の方に、中に入っているんですね。</p> <p>解説 1 : はい、奥の方に、ええ、波が入ってきている状況ですね。</p> <p>伊藤 : はあ、なるほど。</p>		
	24 : 58	<p>長岡 : かなり、車も波に飲み込まれているようです。ご覧いただいているのは、岩手県宮古の情報カメラです。大津波警報が出されています。青森から千葉に至るまで、大津波警報が出されています。</p> <p>伊藤 : 繰り返しお伝えしますが、海岸近く、川の河口付近にいる方はただちにその場を離れて、高台や津波避難ビルに指定された建物などに避難してください。避難するときは、海からより遠い場所よりも、より高い場所を目指して逃げてください。鉄筋コンクリートなどでできた、できれば3階以上の建物に避難してください。決し</p>		

15	<p>25 : 34</p> <p>26 : 06</p> <p>26 : 29</p> <p>26 : 53</p>	<p>て様子を見に海へ近づいたりはしないでください。</p> <p>長岡：茨城南部でも、震度 6 弱を観測する地震がありました。</p> <p>伊藤：津波の観測しました、最新情報が入ってきています。釜石では最大波 4.2m の津波を観測しています。地震発生から 30 分以上たってからですね。3 時 21 分に、最大波となる 4 m20cm の津波を釜石で観測しています。大船渡では 3.3m、石巻市鮎川では 3.3m、宮古では 2.8m の津波を観測しました。</p> <p>解説 2：今の、茨城で 6 弱出ている地震は明らかに震源の場所が違いますので、先ほどの余震ではないですね。まったく別な地震だというふうに考えた方がいいと思いますね。</p> <p>長岡：それは、刺激されて連動してしまったとか、そういうことなんですか。</p> <p>解説 2：それはよく分りませんが、いずれにしても、この日本列島に沿って太平洋側の潜り込みのところがありますから、要するに大陸と大陸の接点ですね。</p> <p>伊藤：これは工業地帯の今、ヘリコプターの映像ですが、どこかはちょっと今は確認できませんけども、これはヘリコプター、現在飛んでいるヘリコプターの映像でしょうか。火が上がっているのが見えます。</p> <p>長岡：中継映像をご覧いただいております。千葉県の上空です。炎が上がっています。</p> <p>解説 1：製鉄所か何かのように見えますね。</p> <p>長岡：はい。情報が入ってきました。千葉市内の J F E スチールの工場から黒煙が上がっているということです。千葉市内の J F E スチールの工場から黒煙が上がっているということです。ご覧いただいているのが、その映像でしょうか。</p> <p>伊藤：ま、おそらくそうでしょうか、はい。確認はできていませんけれども、千葉県内、J F E スチールの工場から煙、火が上がっているということです。</p> <p>長岡：また、東京湾沿いの海浜幕張近くでは。</p>		
15	<p>27 : 16</p> <p>27 : 30</p>	<p>アナ：大きな余震が続いています。皆さん、落ち着いて行動してください。かなり大きな揺れを感じています。T B C でも、かなり大きな揺れ、照明が上下左右に大きく揺れています。</p> <p>あ、かなり大きく揺れています。T B C、ご覧のように、スタジオの中の照明がかなり大きく揺れています。カメラも揺れています。皆さん、落ち着いて行動してください。また、大きな余震を感じています。かなり長い揺れになっています。慌てず皆さん、落ち着いて行動してください。まだ揺れています。先ほどの地震の余震が、何度も何度も繰り返し来ています。何度も余震がありますので、皆さん、十分にご注意ください。そして、落ち着いて、慌てずに行動してください。</p>	(これ以降採録)	仙台 T B C スタジオ

15	<p>31 : 32</p> <p>31 : 51</p> <p>32 : 00</p> <p>32 : 24</p> <p>33 : 00</p>	<p>です。車が波に飲まれ、ま、簡単に本当に流されてしま うんですね。</p> <p>解説 2 : そうですね。</p> <p>伊藤 : はい。大変危険です。決して、近づいたりしない てください。大津波警報が北海道の沿岸にも広がりました ね。赤い線で示されているところが大津波警報です。</p> <p>解説 2 : 伊豆諸島ですね。</p> <p>解説 1 : 伊豆諸島ですね。はい。</p> <p>伊藤 : 伊豆諸島、また、北海道の沿岸の方まで、大津波 警報が広がっています。津波は最初の波よりも 2 回目、 3 回目の方が高くなる場合があります。津波警報が出て いる方は、地域の方は、海岸や川の河口付近などには決 して近づかないで避難してください。</p> <p>長岡 : 気象庁によりますと、既に一部で津波の到達が観 測されています。予想される津波の高さ、宮城県で 10m 以上、岩手、福島両県で 6 m とされ、沿岸の方、できる 限り海岸から離れてください。</p> <p>伊藤 : 今、情報が変わっていますでしょうか。岩手、宮 城、福島、また、茨城県の沿岸では予想される津波の高 さ、10m 以上という情報が出ています。</p> <p>解説 1 : はい、千葉、それから、そうですね。</p> <p>解説 2 : ... ですね。</p> <p>伊藤 : ま、千葉、はい、そうですね。</p> <p>解説 2 : 予想ですね。</p> <p>解説 1 : 予想ですね、予想。だから、先ほどよりも、さ らに高い波が予想される状況、非常に危険ですので、は い。</p> <p>伊藤 : 既に第 1 波を確認しているところ、地域が多くな っています。今後、さらに第 2 波、第 3 波の方が津波は 高くなる可能性がありますので、安心せずに、今この津 波警報が出ている地域の方たちはすぐに避難してくだ さい。</p> <p>長岡 : 海岸や河口付近の方、すぐに避難してください。 午後 2 時 46 分頃、東北から関東にかけての広い範囲で 非常に強い地震があり、宮城県北部の栗原市では震度 7 を観測しました。現在も余震が続いています。</p> <p>伊藤 : 余震が続いていますが、皆さん、まずは落ち着い て行動してください。ご覧いただいていますのは津波情 報です。赤い線で示されている沿岸には、大津波警報が 出ています。北海道の沿岸、そして、東北地方、そして、 伊豆諸島の沿岸にも大津波警報が出されています。</p> <p>長岡 : それでは、報道カメラから最新情報を伝えてもら います。</p>	<p>宮城中部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内陸 南部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 茨城南部 埼玉南部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>15 時 27 分頃地震がありました</p> <p>震度 4 三八上北 下北 岩手内陸北部 宮城北部 宮城中部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内陸 南部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 茨城南部 埼玉南部</p> <p>JNN津波情報</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 東北地方太平洋沿 岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 青森県 日本海沿岸 千葉県内房 東京湾内湾 相模湾・三浦 半島 小笠原諸島 東海地方 近畿四国太平洋沿岸 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子 島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄地方</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 兵庫県瀬戸内海沿 岸 大阪府 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 大分県瀬戸内海沿岸 有明・八代海 長崎県西方 熊 本県天草灘沿岸 鹿児島県西部</p> <p>JNN津波情報</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 東北地方太平洋沿 岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 青森県 日本海沿岸 千葉県内房 東京湾内湾 相模湾・三浦 半島 小笠原諸島 東海地方 近畿四国太平洋沿岸 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子 島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄地方</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 兵庫県瀬戸内海沿 岸 大阪府 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 大分県瀬戸内海沿岸 有明・八代海 長崎県西方 熊 本県天草灘沿岸 鹿児島県西部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>15 時 27 分頃地震がありました</p> <p>震度 4 日高東部 釧路中南部 三八上北 下北 岩 手内陸北部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内 陸南部 山形村山 福島浜通り</p> <p>JNN地震速報</p> <p>15 時 27 分頃地震がありました</p> <p>震度 4 日高東部 釧路中南部 三八上北 下北 岩 手内陸北部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内 陸南部 山形村山 福島浜通り</p>	<p>津波情報</p> <p>地震速報</p> <p>報道カメラ 津波情報</p>
15	33 : 20	<p>蓮見 : はい、交通情報をお伝えします。交通機関への影 響も広がっています。まずは、鉄道からです。午後 3 時 20 分現在、JR によりますと、首都圏の在来線はすべ て運行を見合わせています。また、東海道、上越、東北</p>	<p>JNN津波情報</p> <p>津波到達予想 岩手県 津波到達を確認 10m以上 津波到達予想 宮城県 津波到達を確認 10m以上 津波到達予想 福島県 津波到達を確認 10m以上</p>	報道カメラ 津波情報

15	33 : 55	<p>などの各新幹線も、全線で運転を見合わせています。東京、静岡の間では停電が起きていることに加え、線路の点検を行うため、復旧までには相当な時間がかかると見られています。また、東京メトロでも、全線で運転を見合わせています。</p> <p>続いて、道路への影響です。首都高速では、全線で通行止めとなっています。また、東名高速でも、東京と大井松田間で通行止めです。中央道、関越道、東北道、常磐道などでも、一部区間で通行止めとなっています。</p>	<p>津波到達予想 茨城県 既に津波到達と予測 10m 以上</p> <p>津波到達予想 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 伊豆諸島 既に津波到達と予測 4 m</p> <p>津波到達予想 千葉県内房 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 8 m</p>	
	34 : 11	<p>また、空の便です。全日空と日本航空によりますと、羽田空港では一時、滑走路を閉鎖して被害の確認を行っていましたが、2本の滑走路の安全が確認されたため、到着便については順次着陸しているということです。また、仙台空港では、滑走路に亀裂が確認されたということで、滑走路を閉鎖しているということです。</p>	<p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸中部 既に津波到達と予測 6 m</p> <p>津波到達予想 相模湾・三浦半島 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 静岡県 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸西部 15時40分 4 m</p>	
	34 : 36	<p>そして、午後3時現在の、地震によるライフラインへの影響をお伝えします。東京電力、東京ガスは、現在、地震による被害状況を確認中だということです。NTTドコモによりますと、地震の影響で、都内などで携帯電話がつながりにくくなっているということです。また、仙台市によりますと、午後3時現在、市内で大規模な停電が発生しているということです。</p>	<p>津波到達予想 東京湾内湾 15時40分 1 m</p> <p>津波到達予想 小笠原諸島 16時00分 2 m</p> <p>津波到達予想 三重県南部 16時00分 2 m</p> <p>津波到達予想 青森県日本外沿岸 16時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 和歌山県 16時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 愛知県外海 16時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 陸奥湾 16時20分 1 m</p> <p>津波到達予想 高知県 16時30分 2 m</p> <p>津波到達予想 伊勢・三河湾 16時30分 1 m</p> <p>津波到達予想 徳島県 16時40分 2 m</p> <p>津波到達予想 北海道日本海沿岸南部 16時40分 1 m</p> <p>津波到達予想 オホーツク海沿岸 16時40分 0.5m</p> <p>津波到達予想 淡路島南部 16時50分 1 m</p> <p>津波到達予想 宮崎県 17時00分 1 m</p>	
15	35 : 40	<p>長岡：ご覧いただいているのは、今の映像に戻れますでしょうか、福島県の富岡の海岸のもようをご覧いただいております。</p>	<p>津波到達予想 愛媛県宇和海沿岸 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大分県豊後水道沿岸 17時10分 1 m</p>	中継・福島 県富岡町
15	35 : 48	<p>アナ：画面をご覧いただいている方お分かりかと思いますが、鉄塔が見えますが、その鉄塔の上にまで波が大きく打ち寄せられました。このあとも、次々と波は襲ってくる恐れがあります。海岸や河口近くにいる方、念のためその場を離れて、津波の危険や心配がなくなるまで高台などの安全な場所に避難して下さい。津波が午後3時35分に来ました。津波、午後3時35分に来ました。</p>	<p>津波到達予想 鹿児島県東部 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 種子島・屋久島地方 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 奄美諸島・トカラ列島 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大島地方 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大阪府 17時10分 0.5m</p> <p>津波到達予想 兵庫県瀬戸内海沿岸 17時10分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 鹿児島県西部 17時20分 0.5m</p> <p>津波到達予想 沖縄本島地方 17時40分 1 m</p> <p>津波到達予想 大分県瀬戸内海沿岸 17時50分 0.5</p>	
	36 : 18	<p>今ご覧いただいているのは、富岡町の今現在の様子です。津波が来ています。先ほどご覧いただきましたように、大きな津波が来ています。岸壁に波が打ち寄せられた際、画面に映っています鉄塔よりも上の方まで、波が</p>		

		打ち寄せたように思われました。海岸や河口近くにいる方は、念のためその場を離れまして、津波の危険や心配がなくなるまで高台などの安全な場所に避難して下さい。県内沿岸には大津波警報が出されています。現在、県内沿岸には大津波警報が出されています。	m 津波到達予想 宮古島・八重山地方 18時10分 1m 津波到達予想 愛媛県瀬戸内海沿岸 18時20分 0.5m	
15	36:55	長岡：はい。それでは、震度7を観測しました宮城のスタジオからお伝えします。	津波到達予想 長崎県西方 18時30分 0.5m 津波到達予想 熊本県天草灘沿岸 18時30分 0.5m	地震速報
15	36:59	アナ：東北電力によりますと、現在、山形県の全域でも停電しているということです。 こちらは、仙台市内の様子です。現在の仙台市内の様子、ご覧いただいています。TBCの屋上から、仙台市内の様子をご覧いただいています。地震直後はビルもかなり揺れていました。ああ、そして、煙が見て取れます。煙が見て取れます。仙台市内の様子をご覧いただいています。ご覧のように、市街地で煙が起きています。火災でしょうか。既に仙台市内の火災の情報も入ってきています。仙台港付近で火災が起きているということです。こちらの、ご覧いただいているのは仙台市内、市街地の様子です。煙が出ています。火災の恐れがあります。仙台市内の現在の様子を、TBCの屋上のカメラからご覧いただいています。	津波到達予想 香川県 18時40分 0.5m 津波到達予想 有明・八代海 19時10分 0.5m 津波到達予想 岡山県 19時30分 0.5m JNN地震速報 15時26分頃の地震 M7.2 震源は三陸沖 深さは約10km 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度4 浦河町 釧路町 八戸市 七戸町 東北町 五戸町 青森南部町 おいらせ町 東通村 盛岡市 滝沢村 花巻市 一関市 平泉町 震度4 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 南三陸町 大崎市 仙台市 松島町 井川町 秋田市 大仙市 中山町 郡山市 震度4 須賀川市 二本松市 桑折町 田村市 福島	仙台TBC スタジオ 中継・仙台市内
15	37:55 38:19 38:43 38:53 39:08	伊藤：午後2時46分頃、東北から関東にかけての広い範囲で非常に強い地震があり、宮城県北部の栗原市では震度7を観測しました。また、午後3時15分頃ですが、茨城県沖でも最大震度6弱を観測する地震がありました。午後3時15分頃には、茨城県沖で最大震度6弱を観測する地震がありました。 長岡：火災のもよみの映像が入ってきました。場所、どちらでしょうか。消火活動が必死に続けられているようです。東京都内でも火災が発生しているという情報、入ってきましたけれども、これが、現在、ヘリコプターからの映像なんです、場所はまだ分かりませんね。新しい情報入りましたら、お伝えしますけれども。かなり各地で、仙台市内でも火の手が見えました。 解説1：そうですね。街の中で、はい、煙が上がってましたんで。工場からも、千葉の工場からも煙が上がってましたし、かなりいろいろなところで火災が起きていると、こういった状況ですね。 長岡：ロイター通信によりますと、アメリカ地質調査所は今回の地震のマグニチュードを8.8と発表しました。ロイター通信によりますと、アメリカ地質調査所は今回の地震のマグニチュードを8.8と発表しました。 伊藤：はい。そのほかの情報ですが、東北電力によりますと、午後3時半現在、宮城県の女川原発は地震直後から、1号機から3号機すべての原子炉が自動停止しているということです。宮城県の女川原発は1号機から3号	伊達市 相馬市 浪江町 新地町 土浦市 筑西市 宮代町 各地域の震度は以下の通りです 震度4 日高東部 釧路中南部 三八上北 下北 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城中部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内陸南部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 茨城南部 埼玉南部	Nスタジオ

15	39 : 38	機すべてが自動停止しています。また、東京電力により ますと、午後3時現在、福島第一原発は1号機、2号機、 3号機が地震直後に自動停止、福島第二原発は1号機か ら4号機が地震直後に自動停止しています。 長岡：それでは、福島のスタジオからお伝えします。	
15	39 : 40	アナ：...の様子です。瓶が落ちています。ガラスが散乱 しています。福島県内には大津波警報が出されていま す。津波は既に到達しています。予想される波の高さは 10m以上です。当初の予想の3倍以上を超える、10m 以上です。津波は何度も押し寄せます。海岸や河口近く にいる方は、念のためその場を離れまして、津波の危険 や心配がなくなるまで高台などの安全な場所に避難し てください。	福島TUF スタジオ 中継・福島 市内、テレ ビ福島本社 内、富岡町
	40 : 13	現在は、福島県です。福島県の様子です。福島県にあり ます酒店の様子です。そして、市内の様子です。こちら、 今、映像止まっていますけれども、これは地震発生直後、 福島県にありますテレビ福島本社内の様子です。両手で 支えていないと立ってられないような状況になって います。カメラが大きく揺れています。大きく揺れていま す。ご覧いただいているのは、福島県福島市にありま すテレビ福島本社内の、地震発生直後の様子です。現在、 福島県福島市にありますテレビ福島本社の映像、地震発 生直後の様子をご覧いただいています。両手でしっかりと 押さえていないと立ってられないような状況が見 て取れます。大きく揺れています。地震発生直後は、テ レビ福島本社内も停電となりました。停電となりまし た。大きく揺れています。	
	41 : 06	こちらは、地震発生直後の様子、福島県です。こちらは、 福島県富岡町です。福島県富岡町の海岸の様子です。今、 波が押し寄せています。津波が到達しています。津波が 到達しています。予想される波の高さ10m以上、当初 の予想の3倍以上を超える10m以上となっています。 津波は、このあとも何度も押し寄せます。海岸近く河口 付近にいる方は、念のためその場を離れて下さい。津波 の心配や危険がなくなるまで、高台などの安全な場所に 避難して下さい。現在、福島県富岡町にあります海の様 子です。今現在の様子です。津波が押し寄せています。 岸壁に波が打ち寄せています。津波が来ている様子が見 て取れます。先ほどは、画面上にあります鉄塔の上まで、 波が上がっていました。	
	41 : 56	そして、今、スタジオ、福島市のスタジオ内、揺れていま す。そして、今、カメラでもご覧いただけますでしょ うか、カメラが揺れています。余震が来ているものと思 われます。余震が来ているものと思われます。落ち着い て、けがをしないように、まず身の安全を図ってくださ い。火の始末、その場で火を消せる場合を除きまして...	
15	42 : 15	長岡：はい。大津波警報が北海道から千葉県の太平洋沿	Nスタジオ

		岸、そして、伊豆諸島にも大津波警報が出されています。ご覧の赤で示しているエリア、大津波警報です。そして、ピンクで示しているエリアは津波警報、黄色は津波注意報となっています。海岸や河口付近にいる方、その場から離れてください。大きな津波が押し寄せています。それでは、警視庁から最新情報をお伝えします。	
15	42 : 42 43 : 01	記者：はい、警視庁からお伝えします。警視庁によりますと、千代田区の九段会館では天井が落ち、けが人が複数出ているということで、心臓マッサージを受けているという人もいますということです。東京観光専門学校の卒業式が行われていたということです。 繰り返します。千代田区の九段会館では天井が落ち、けが人が複数出ているということで、中には心臓マッサージを受けている人もいますということです。当時、東京観光専門学校の卒業式が行われていたということです。警視庁は機動隊などを派遣しているほか、東京消防庁も活動を行っています。また、都内の高速道路は、車が入れないように入り口が封鎖されているということです。また、火災についてですが、江東区...	警視庁
15	43 : 31	記者：地震が起きたとき、国会では、参議院の決算委員会で菅総理が出席して審議が行われていましたが、地震の発生を受けて委員会は休憩に入り、菅総理は政府として対応に当たるため総理官邸に戻りました。総理官邸では全閣僚が危機管理センターに集まり、菅総理が閣僚に対し、各省庁に戻って情報収集に当たるように指示を出しました。このあと、全閣僚は再び官邸に集まることにしており、先ほどから順次、次々官邸に戻ってきています。また、政府は現在、緊急対策本部の設置に向けた手続きに入っています。さらに、午後3時過ぎには、宮城県知事から政府に自衛隊派遣の要請があったということです。詳しい政府としての対応の情報が入り次第、またお伝えします。こちらからは、以上です。	国会議事堂
15	44 : 25 (45 : 38) 44 : 54	長岡：東京消防庁によりますと、東京都内では10件の火災が起きているということです。東京都内では10件の火災が起きているということです。また、仙台市の消防局によりますと、仙台市内では火災が5件発生しているということです。仙台市内で火災が5件発生しているということです。また、総理官邸に入った情報によりますと、宮城県警と秋田県警から、見える範囲で建物の倒壊はないとの報告が、総理官邸に入っているということです。 伊藤：繰り返しお伝えしていますが、午後2時46分頃、東北から関東にかけての広い範囲で非常に強い地震があり、宮城県北部の栗原市では震度7を観測しました。また、午後3時15分頃、茨城県沖でも最大震度6弱を観測する地震がありました。震源の深さはおよそ80キ	JNN地震速報 15時41分頃の地震 M5.7 震源は岩手県沖 深さは約50km 震度3 八戸市 六戸町 五戸町 青森南部町 おいらせ町 宮古市 盛岡市 葛巻町 岩手町 滝沢村 八幡平市 花巻市 北上市 一関市 平泉町 気仙沼市 涌谷町 大熊町
			Nスタジオ 中継・女川、 東京上空、 九段会館上空 地震速報

15	<p>45 : 23</p> <p>45 : 42</p> <p>46 : 20</p>	<p>口、マグニチュードは7.4と推定され、茨城県鉾田市では震度6弱を観測しています。現在も断続的に余震が発生していますので、十分ご注意ください。</p> <p>最初の地震で、気象庁は青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉各県の太平洋沿岸に大津波警報を発令しましたが、現在はその範囲が北海道などにも広がっています。気象庁によりますと、一部ですでに、津波の到達が観測されています。</p> <p>長岡：こちらご覧いただいているのは、沿岸のカメラなんですけれども、建物の2階でしょうか、3階でしょうか。かなりの高さまで。</p> <p>解説1：女川ですね。</p> <p>長岡：水が上がってきていますね。</p> <p>解説1：防波堤の中のまちのほうまで海水が入り込んできていまして、ああいった状況になっているということです。</p> <p>長岡：船はもちろんなんですが、船の奥に見えるの、これ、屋根ですね。</p> <p>解説1：そうですね。</p> <p>加藤：はい。</p> <p>長岡：建物がすっぽり水に飲み込まれてしまっています。屋根の部分が見えます。かなり大きな津波が押し寄せています。沿岸からは離れてください。</p> <p>解説1：10m以上の大津波が来たということなので、まださらに警戒を続ける必要があります。</p> <p>長岡：ご覧いただいているのは、東京都内のヘリコプターからの映像です。東京都内のヘリコプター、上空を飛んでおります。</p> <p>伊藤：見える状況を話していただけますでしょうか。ヘリコプターの中から伝えてもらえますか。</p> <p>長岡：はい。ちょっと音声か。</p> <p>解説1：都内の状況です。</p> <p>伊藤：はい、そうですね。</p> <p>解説1：今ちょうど飯田橋付近だと思うんですけど、近くにありますが九段会館の天井の屋根が落ちているんですね、けが人が出ていると。</p> <p>伊藤：あ、東京、東京ドームですね。</p> <p>解説1：あ、東京ドームですね。もっと右のほうですね。で、けが人の方が出ていると。手当を受けているという情報がありました。どの程度のその天井が落ちたという状況なのか。</p> <p>伊藤：あ、九段。九段会館。</p> <p>解説1：ここですね。ここです。今右手に見えているこの緑の屋根のところですね。</p> <p>伊藤：はい。消防車が集まっています。</p> <p>解説1：今救助活動をしているということでしょうね。外から見た限りでは、建物の外側には損傷はないみたい</p>		
----	--	--	--	--

15	47:16	<p>ですけれども。</p> <p>伊藤：そうですね。</p> <p>解説1：中側ですね。</p> <p>伊藤：はい。先ほど警視庁からもお伝えしましたが、九段会館で天井が落ちたとの情報がありまして、けが人が多く、多数出ているということです。現在その九段会館上空を飛んでいますヘリコプターから、そのようをご覧いただいています。この建物の外側に、消防車などが駆け付けています。</p> <p>解説1：はい。レスキュー隊が来ているというふうに思われますけれども、この九段会館はけっこうあの、歴史のある古い建物なので。</p> <p>長岡：はい。ヘリとつながりました。</p>		
15	47:40 (47:46) 48:13	<p>ヘリ：九段会館上空です。九段会館の前には、多くの消防車、救急車が集まっております。周辺では、けがした人でしょうか。救急隊員によって処置されている人が大勢見られます。</p> <p>こちらでは...</p> <p>伊藤：はい、こちらからも確認できます。はい。どうぞ。</p> <p>ヘリ：こちらでは多くの。千代田区にあります、九段会館上空です。地震の影響でしょうか。こちらでは建物の外に、多くの人が出て来ております。中にはけが人でしょうか。救急隊員による処置されている方が多数見られます。この九段会館目の前の道路は、大変混雑...</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>15時41分頃の地震 M5.7</p> <p>震源は岩手県沖 深さは約50km</p> <p>震度4 大船渡市 釜石市</p> <p>JNN地震速報 15時41分頃の地震 M5.7</p> <p>震源は岩手県沖 深さは約50km</p> <p>震度4 大船渡市 釜石市</p>	ヘリコプター中継・東京上空、九段会館上空地震速報
15	48:36 48:57	<p>アナ：...起きまして、道路をふさいでいます。下りが通行止めとなっています。全部倒壊するか分からない状況ということで、非常に危険です。皆さん、絶対に近づかないでください。太白区の旅館が、仙台市太白区の旅館で、建物が崩れ、道路をふさいでいます。</p> <p>48:57 仙台市内の現在の様子です。TBC東北放送の屋上のカメラで、現在の仙台市内の様子、ご覧いただいています。先ほど2時46分頃、三陸沖を震源とする強い地震があり、栗原市で震度7の揺れを観測しました。現在の仙台市内の様子をご覧いただいています。現在県内を含む、青森から茨城にかけての太平洋沿岸に、大津波警報が発令されています。</p>		中継・仙台市太白区、仙台市内
15	49:22	<p>記者：TBC本社内にある一室なのですが、ご覧のように、机や本棚、棚などが散乱しています。揺れの大きさを物語っています。</p>		TBC本社内
15	49:46	<p>加藤：仙台からお伝えしました。続いて、こちらは大津波警報が出ています、北海道からお伝えします。</p>		
15	49:51	<p>アナ：高い津波、大きな津波になる可能性があります。海岸部や河口付近には、絶対に近づかないようにしてください。また、現在海岸付近にいる方は、速やかに高台や頑丈なビルの3階以上など、できるだけ高いところに</p>		北海道HBC 中継・北海道浦河町、

15	50 : 12	<p>避難してください。</p> <p>現在の浦河町の様子をご覧いただいています。浦河町を含む太平洋沿岸中部、こちらでは、6mの津波が予想されています。場所によっては、これよりもさらに高い津波になる可能性があります。さらに大きな津波になる可能性もあります。絶対に海岸付近や河口付近には、近づかないようにしてください。現在海岸付近にいる方、高台や頑丈なビルの3階以上など、できるだけ高いところに速やかに避難してください。現在北海道の太平洋沿岸東部、中部、西部に大津波警報が、日本海沿岸南部に津波警報が、また、オホーツク海沿岸には、津波注意報が発表されています。いずれの地域も、海岸や河口付近には、絶対に近づかないようにしてください。</p>		釧路
	51 : 06	<p>変わりまして、こちらは釧路の現在の様子です。こちら釧路川ですが、釧路川から岸壁に、水が流れ込んでいるのが確認できます。釧路では、津波の予想の高さ、3mとなっています。ただ場所によっては、この3mよりも、さらに高い津波が襲ってくることもあります。また津波は第1波が到達したあとも、第2波、第3波と繰り返し襲ってくる可能性があります。絶対に海岸付近や河口付近には、近づかないでください。釧路ですが、釧路川から水があふれているようです。車のタイヤに水がぶつかっています。</p>		
	51 : 45 (52 : 01)	<p>現在北海道の太平洋沿岸東部、中部、西部に、大津波警報が発表されています。太平洋沿岸東部では3m、太平洋沿岸中部は6m、太平洋沿岸西部、4mの津波が予想されています。ただ場所によっては、これよりもさらに高い津波、大きな津波になる可能性があります。海岸付近、河口付近には、絶対に近づかないようにしてください。現在ご覧いただいているのは、釧路市の様子です。</p>	<p>JNN地震速報 15時46分頃の地震 M5.7 震源は宮城県沖 深さは約10km 震度4 一関市 震度3 宮古市 大船渡市 花巻市 平泉町 気仙沼市 平田村</p>	地震速報
15	52 : 17	<p>情報カメラの映像です。ご覧いただいているのは、宮古の情報カメラの映像です。ご覧のように、津波により三陸の沿岸では、港が浸水、釜石や宮古の港で、多数の車が海に流されました。ご覧いただいているのは、宮古の出崎埠頭の映像です。魚市場や産直施設などがある場所ですね。駐車場の車が、ご覧のように津波で大きく流されました。</p>	<p>JNN地震速報 15時46分頃の地震 M5.7 震源は宮城県沖 深さは約10km 震度4 一関市 震度3 宮古市 大船渡市 花巻市 平泉町 気仙沼市 平田村</p>	宮城情報カメラ・宮古
	52 : 47	<p>現在県内沿岸には、大津波警報が出されています。すでに津波を観測しています。これまでに観測した津波です。宮古で最大波が、午後3時21分に4m、4m以上。そして大船渡市では、最大波午後3時15分、3.2m以上。釜石市で最大波、午後3時21分に、4.1m以上の津波を観測しています。大津波警報で、現在岩手県では、10m以上の非常に高い津波が予想されています。予想される津波の高さは、高いところで平常の海面より10m以上に達する見込みです。大きな災害が起きる恐れが高いため、厳重に警戒してください。津波は1回だけではなく、</p>		

		繰り返り襲ってきます。最初の津波より2回目以降のほうが...	
15	53:43 53:55	長岡：はい。お伝えしておりますように、午後2時46分頃、東北から関東にかけての広い範囲で、非常に強い地震があり、宮城県北部の栗原市では、震度7を観測しました。 また、この地震に続いて、午後3時15分頃、茨城県沖でも、最大震度6弱を観測する地震がありました。震源の深さおよそ80km、マグニチュード7.4と推定され、茨城県銚田市では、震度6弱を観測しています。現在も断続的に余震が発生していますので、十分ご注意ください。	Nスタジオ
15	54:15	長岡：また、最初の地震で気象庁は、北海道から千葉にかけての太平洋沿岸と伊豆諸島に、大津波警報を発令しました。ご覧いただいているのは、岩手県宮古の情報カメラの映像ですが、沿岸の駐車場に止めてあった車が、あっという間に波に飲み込まれていきます。気象庁によりますと、すでに一部で津波到達が確認されています。予想される津波の高さ、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の九十九里・外房で、10m以上となっています。沿岸の方はできる限り海岸から離れるようにしてください。	
15	54:49 54:55 55:29	長岡：あ、これは。 伊藤：銚子ですね。 長岡：銚子沖ですね。千葉県の銚子。 伊藤：船が傾いていますね。 解説1：明治のときの三陸沖地震では、マグニチュード8クラスですね、30mくらいの津波を観測していますから、十分そういう恐れもありますので。 伊藤：船の後ろのほう、人の姿が見えますね。 解説1：はい。 長岡：ご覧いただいているのは、千葉県銚子の沖なんですけれども、船が津波によって傾いているようです。そして、必死に船にしがみついている方の姿が見えます。画面上3人でしょうか。 解説1：はい。 長岡：見えますね。救助活動が行われているものと思われれます。 解説1：これ、陸地から流されていくのを、一生懸命に戻そうとしているんですね。 長岡：うわあ。はい。 伊藤：はい 解説1：まだ、舵の能力はあるので。これだけやはり非常に水圧が強いので。 伊藤：はい。 長岡：煙が上がっていますね。 解説1：これは、ふかしているんでしょうね。	

		長岡：そうですね。 伊藤：では続いて報道カメラから、これまでに入っている最新情報をお伝えします。		
15	55：56 56：37	蓮見：はい。では交通機関への影響からお伝えしようと思います。まずは鉄道です。午後3時40分現在、JRによりますと、首都圏の在来線は、すべて運行を見合わせています。小田急線も全線で運転を見合わせていて、職員が歩いて線路の安全を確認するため、復旧までにはかなりの時間がかかると見られています。また、東海道、上越、東北などの各新幹線も、全線で運転を見合わせています。東京、静岡のあいだでは、一時停電が起きていましたが、午後3時半頃、この停電については、復旧したということです。 先ほど傾いていた船の様子ですが、傾いていた船がようやく体位を戻した感じですが、また波に飲み込まれ、そして右側が傾いております。		報道カメラ
15	56：47 57：09 57：46	交通情報を続けてお伝えしますが、東京メトロと都営地下鉄でも、全線で運転を見合わせています。続いて道路への影響です。首都高速では、前線で通行止めとなっています。また、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道などでも、一部区間で通行止めとなっています。 続いて空の便です。全日空と日本航空によりますと、成田空港では、滑走路を閉鎖して、被害の確認を行っています。ターミナルの建物にも、被害が出ているということで、利用客らを建物の外に避難するよう、誘導しています。羽田空港では、一時滑走路を閉鎖して被害の確認を行っていましたが、2本の滑走路の安全が確認されたため、到着便については、順次着陸しているということです。仙台空港では、滑走路に亀裂が確認されたということで、滑走路を閉鎖しているということです。 そして、フェリーの情報です。東海汽船によりますと、伊豆大島から東京の竹芝に向かう高速船は、津波に警戒するため東京湾沖に避難をしているということです。その他のフェリーは、運行を見合わせています。以上です。		
15	58：01	長岡：はい。現在も余震を感じています。		
15	58：08	アナ：...盛岡市のバスセンター、地震発生直後の様子です。 男性：盛岡バスセンターです。バスセンターの建物の窓ガラスが割れています。 男性：ガラス壊れたんですか。 センター職員：3階のガラスがね、すっかり壊れました。ものすごい揺れだった。初めてです。		中継・盛岡 バスセンター
15	58：30 (59：01)	アナ：ご覧いただいているのは仙台空港の滑走路です。滑走路に津波が押し寄せています。滑走路に津波が押し寄せています。宮城県仙台空港です。現在大津波警報が出ていますが、まさに今、濁流が仙台空港の滑走路に押	JNN地震速報	仙台TBC 中継・仙台 空港 地震速報

		<p>が、実際に起きたということになります。それです、もう一つの後の地震のほうは。</p> <p>長岡：茨城ですね。</p> <p>島崎：茨城のほうは、それに今。</p> <p>長岡：先生、すいません。気象庁で会見が始まったようです。</p>		
16	<p>02 : 27 (02 : 58)</p> <p>03 : 01</p> <p>03 : 43</p> <p>04 : 16</p> <p>05 : 30</p>	<p>気象庁：...茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島、これらの地域に大津波の津波警報が出ていますので、住民の方は高いところに避難してください。できるだけ高いところに避難してください。今も津波が来ていますが、まだ来ていないところでも、これからさらに大きな津波が来る可能性がありますので、絶対に戻らないでください。高いところに避難したまま、しばらくは避難を続けてください。警報が解除されるまでは絶対に戻らないでください。よろしくお願ひします。</p> <p>それから、津波警報が北海道から沖縄地方まで、太平洋沿岸中心に出ています。津波警報が出ている地域につきましても、高いところに避難して、しばらくは避難所にいてください。まだこれから大きな津波が来る可能性がありますので、しばらくは避難を続けてください。非常に、今回の地震は非常に大きな地震でしたので、津波が続く時間もかなり長くなると思われます。そういうことですので、避難を続けるよう、よろしくお願ひします。</p> <p>それから、注意報が出ている地域につきましては、海岸から離れて海のほうに行かない。近づかないということで、よろしくお願ひします。それから、強い揺れがあった地域につきましても、今後余震による強い揺れの可能性がありますので、その強い揺れに警戒してください。まだ、非常に大きな地震でしたので、余震も大きな地震が起きる可能性がありますので、十分その揺れについても、警戒してください。以上です。</p> <p>続けて、今回の地震の概況について、ご説明します。地震の発生日時ですけども、本日11日、14時46分頃です。マグニチュードは8.4。これは暫定値ですけども、先ほど精査した結果、8.4ということになっております。それから、地震の発生場所ですけれども、これは地震の破壊開始点ということで、決してそのピンポイントだけが壊れたわけではないので、東北地方の沖から、関東地方の沖合まで、かなり地震が分布しているようですので、かなりの破壊域があったものと思われます。破壊開始点は三陸沖、牡鹿半島の東南東、約30km付近で、震源の深さは10km。これは速報値でございますけれども、震源の深さは10kmと推定されています。</p> <p>それから、発震機構ですけれども、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型です。観測されました震度ですけれども、震度7が観測されたのが、宮城県の栗原市。それから、震度6強を観測したのが、宮城県の涌谷町、</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>15時57分頃の地震 M6.1</p> <p>震源は茨城県沖 深さは約20km</p> <p>震度4 銚子市 旭市 香取市</p> <p>震度3 郡山市 白河市 須賀川市 鏡石町 泉崎村 中島村 矢吹町 玉川村 古殿町 田村市 檜葉町 大熊町 双葉町 水戸市 土浦市 石岡市 鹿嶋市 筑西市 銚田市 真岡市 益子町 高根沢町 春日部市 戸田市 吉川市 宮代町 東金市 神崎町 多古町 東庄町 九十九里町 芝山町 陸沢町 長生村 白子町 匝瑳市 八街市 印西市 富里市 いずみ市</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時01分頃地震がありました</p> <p>震度3 宮城北部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時01分頃地震がありました</p> <p>震度3 宮城北部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時01分頃地震がありました</p> <p>震度3 岩手内陸南部 宮城北部 茨城南部 千葉北東部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時01分頃地震がありました</p> <p>震度3 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 秋田沿岸南部 茨城南部 千葉北東部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時01分頃地震がありました</p> <p>震度3 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 秋田沿岸南部 茨城南部 千葉北東部</p>	<p>気象庁会 地震速報</p>

16	<p>09 : 29</p> <p>09 : 54</p> <p>10 : 34</p>	<p>表の内容だと言ってよろしいかと思ます。</p> <p>解説1 : それは、先生。そのプレート境界線上ということですか。いわゆる。</p> <p>島崎 : いわゆる日本海溝のところでプレートが沈み込む。そのことによって起こる地震じゃないか。</p> <p>解説1 : 10km ですよ。比較的浅いですね。</p> <p>島崎 : ええ。この場合、浅い、深いはあまり関係がなくて、プレートの境界全体が滑りますので、一番深いところは多分 40km くらいで、一番浅いところは、ほとんど 0 km に近いところが全部壊れている、そういう地震です。</p> <p>解説1 : 今回の津波が非常に高いじゃないですか。当初の想定 3m が 10m だった。これって地震のメカニズムか何かに関係があるんですか。今回のその津波の大きさ。</p> <p>島崎 : まだ詳細は分かりませんが、特にプレートの海溝ですね。沈み込む付近のところで起こりますと、非常に津波が大きくなる。これまでもそういう例がいくつもあります。あるいは、そのような揺れもありますけれども、そのような海溝付近のずるっとした動きが、ずれですね、それらによって海底がわっと持ち上がりますので、それがしかもですね、三陸から茨城くらいまで全部持ち上がるわけですから、この水が押し寄せて来るわけです。</p> <p>解説1 : 今これ、仙台空港が映っている、これですよ。海に近いんですけども、防波堤をもうはるかに、その越えて来ちゃったということですよ。</p> <p>島崎 : はい。巨大津波ですね。</p> <p>伊藤 : 気象庁の会見でも言っていましたけれども、大津波警報、現在も出されています。海岸付近、川の河口付近の方は、その場を離れて、高台や高いビルなどに避難してください。決して様子を見に海に近づいたりしないでください。</p>	<p>10m以上</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 8 m</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 6 m</p> <p>津波到達予想 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 3 m</p> <p>津波到達予想 静岡県 津波到達を確認 3 m</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 6 m</p> <p>津波到達予想 東京湾内湾 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 小笠原諸島 既に津波到達と予測 4 m</p> <p>津波到達予想 三重県南部 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 青森県日本海沿岸 既に津波到達と予測 3 m</p> <p>津波到達予想 和歌山県 既に津波到達と予測 3 m</p> <p>津波到達予想 愛知県外海 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 陸奥湾 16時20分 1 m</p> <p>津波到達予想 高知県 16時30分 2 m</p> <p>津波到達予想 伊勢・三河湾 16時30分 1 m</p> <p>津波到達予想 徳島県 16時40分 3 m</p> <p>津波到達予想 北海道日本海沿岸南部 16時40分 1 m</p> <p>津波到達予想 オホーツク海沿岸 16時40分 0.5m</p> <p>津波到達予想 淡路島南部 16時50分 1 m</p> <p>津波到達予想 宮崎県 17時00分 2 m</p> <p>津波到達予想 秋田県 17時00分 0.5m</p> <p>津波到達予想 鹿児島県東部 17時10分 2 m</p>	
16	<p>11 : 02</p> <p>(11 : 05)</p>	<p>長岡 : 新しい情報が入ってきました。先ほどお伝えした横浜市のボーリング場の屋根が落ち、およそ 10 人が下敷きとなっているという情報なんですけれども、消防などが救助活動を行い、全員救助され、命に別条はないということです。横浜市のボーリング場、全員救助され、命に別条はないということです。</p> <p>伊藤 : はい。では続いて、岩手からお伝えいたします。</p>	<p>津波到達予想 種子島・屋久島地方 17時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 奄美諸島・トカラ列島 17時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 愛媛県宇和海沿岸 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大分県豊後水道沿岸 17時10分 1 m</p>	地震速報
16	<p>11 : 24</p>	<p>アナ : はい。お伝えします。岩手県では、大津波警報が出されまして、大きな津波をすでに観測しています。宮古港で、最大波が 4 m 以上、大船渡港で 3.2m 以上、釜石港で 4.1m 以上です。現在映像が乱れましたが、ご覧いただいているのが、岩手県宮古市の出崎埠頭(ふとう)の映像です。ここには魚市場や産直施設などがあります。その駐車場に止められていたと見られる車が、津波</p>	<p>津波到達予想 大東島地方 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大阪府 17時10分 0.5m</p> <p>津波到達予想 兵庫県瀬戸内海沿岸 17時10分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 鹿児島県西部 17時20分 1 m</p> <p>津波到達予想 新潟県上中下越 17時30分 0.5m</p> <p>津波到達予想 富山県 17時30分 0.5m</p>	岩手 I B C 宮古市出崎埠頭

16	12 : 16	<p>によって大きく流されました。午後3時過ぎの映像です。岩手県宮古市で、出崎埠頭に止めてあった大量の車が、津波によって流されました。</p>	<p>津波到達予想 石川県能登 17時30分 0.5m 津波到達予想 沖縄県地方 17時40分 1m 津波到達予想 大分県瀬戸内海沿岸 17時50分 1m</p>
	12 : 51	<p>このほか、岩手県釜石市でも、港などで多数の車が海に流されたということです。三陸沿岸部では、港が浸水しています。また、県内の被害ですけれども、岩手県盛岡市内では、3カ所で火災が起きているということです。東北電力岩手支店によりますと、県内ほぼ全域で停電が発生しているもようだということです。これに伴って県内の道路では、信号機が動いていないところがあります。盛岡市内でも、信号機がほとんど動いていないということです。</p>	<p>津波到達予想 宮古島・八重山地方 18時10分 1m 津波到達予想 愛媛県瀬戸内海沿岸 18時20分 0.5m 津波到達予想 長崎県西方 18時30分 0.5m 津波到達予想 熊本県天草灘沿岸 18時30分 0.5m 津波到達予想 香川県 18時40分 0.5m 津波到達予想 有明・八代海 19時10分 0.5m</p>
	13 : 26	<p>また、交通情報ですが、JR東日本の新幹線、在来線、IGR岩手銀河鉄道、三陸鉄道という私鉄、すべて運転を見合わせています。また、花巻空港は現在閉鎖されています。県総合防災室によりますと、地震に伴って、盛岡市や釜石市などで火災が発生しているということです。また宮古市田老や山田では、津波で住宅に被害が出ているということです。まだ被害に関する詳しい情報は入っていません。</p>	<p>津波到達予想 岡山県 19時30分 0.5m 津波到達予想 山口県瀬戸内海沿岸 20時10分 0.5m 津波到達予想 広島県 21時00分 0.5m 津波到達予想 佐渡 22時30分 0.5m</p>
	14 : 13	<p>また、岩手県岩手町というところの道路が、複数箇所陥没しているということです。道路にも影響が出ています。岩手県では、沿岸で津波による被害が出ています。ご覧いただいているのは、岩手県宮古市の出崎埠頭の映像です。午後3時過ぎの映像です。津波が到達したとき、ここには魚市場や産直施設があるんですが、その駐車場に止められていたと見られる大量の車が、津波でご覧のように大きく流されました。宮古市以外でも、釜石市でもこのような被害、多数の車が海に流されている被害が出ているということです。三陸沿岸部では、港が浸水しています。</p>	<p>JNN地震速報 16時04分頃の地震 M5.8 震源は岩手県沖 深さは約20km 震度4 一関市 震度3 平内町 八戸市 七戸町 六戸町 東北町 三戸町 五戸町 青森南部町 階上町 おいらせ町 宮古市 久慈市 野田村 大船渡市 釜石市 盛岡市 二戸市 雫石町 滝沢村 八幡平市 花巻市 北上市 金ヶ崎町 平泉町 奥州市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 井川町 秋田市 大仙市</p>
	14 : 38	<p>また、岩手県では、達増知事が、人命最優先で対応を指示しています。岩手県庁も停電で、現在自家発電に切り替えています。釜石市のオイルターミナルでは、連絡が取れなくなっているということです。岩手県釜石市では、オイルターミナルと連絡が取れなくなっているということです。</p>	
	15 : 20	<p>ご覧いただいているのは、地震発生直後、盛岡市内の様子です。大きな揺れが長い時間続きました。岩手県内では、最大震度6弱を観測しました。岩手県の沿岸南部、内陸北部、内陸南部で、震度6弱、また、岩手県の沿岸北部では、震度5強を観測しました。沿岸には大津波警報が出されており、ご覧いただいているのは、先ほどご覧いただいた宮古市の地震発生直後の様子です。ご覧いただいているのは、地震発生直後、岩手県宮古市の情報カメラの映像です。</p>	
	15 : 20	<p>すでに宮古市には、午後3時21分に4m以上の最大波</p>	

16	21 : 22 22 : 03	<p>長岡：千葉県浦安市のディズニーランドでは、駐車場で液状化現象が起きたとみられ、水浸しになっているということです。ディズニーランドの駐車場で、液状化現象が起きたと見られ、駐車場が水浸しになっているという情報が入ってきました。また、ディズニーランドに来ていた。</p> <p>解説1：見えますね。左の駐車場のところが全部。はい。</p> <p>伊藤：駐車場の車を止めるスペースのラインが消えているのが、これは液状化のしている、液状化現象が見られるところでしょうか。</p> <p>島崎：下から泥水が吹き上げてきて。</p> <p>伊藤：はい。オレンジ色のラインがこの白っぽい液状化した泥のようなものが上がってきて、はい、それで、あふれています。</p> <p>ご覧いただいているのは、千葉県の浦安市、ディズニーランドの入り口付近、駐車場の状況です。液状化現象が起こっているということです。</p> <p>長岡：それでは仙台のスタジオから、新しい情報を伝えてもらいます。</p>	群馬北部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 神奈川東部 中越 下越 長野中部	
16	22 : 17 22 : 32 23 : 11	<p>アナ：...また入ってきています。また、津波が発生しておりまして、河口付近、そして仙台空港、もちろん港湾は津波が押し寄せていて、その被害がすでに出ています。</p> <p>仙台空港の様子です。これは普段は、飛行機が高度を下げて、間もなく、あ、すでに空港の施設の部分が、津波にのみ込まれている様子が見えます。これは先ほど仙台空港に津波が押し寄せた瞬間の映像をご覧ください。滑走路です。下に、右下にボーリングブリッジが見えます。これは普段は滑走路です。現在仙台空港は閉鎖されています。そしてカーゴと車両が、すでに津波に飲み込まれた様子を、これは先ほど到達した様子ですけれどもご覧ください。</p> <p>仙台空港が、津波の被害を受けている様子をご覧ください。こうして公共交通機関にも、大きな影響を与えています。ああ、すでに車が流されている様子もご覧ください。仙台空港は津波が押し寄せました。津波は繰り返し襲ってくる可能性があります。海上、海岸付近に近づくことは大変危険です。水辺からはくれぐれも、できる限り遠くまで離れてください。強い余震が繰り返し発生しております。また、気象庁は、今度も大きな余震と津波があると警戒を呼びかけています。</p>		仙台TBC スタジオ 仙台空港
16	23 : 56 24 : 10	<p>長岡：はい。仙台から伝えてもらいました。この地震で、茨城県内で、茨城県高萩市で1人の死亡が確認されたという情報が入ってきました。茨城県高萩市で、1人の死亡が確認されました。</p> <p>伊藤：はい。宮城北部で地震がありました。先ほど気象庁で会見を行いまして、マグニチュードは8.4と、暫定</p>		Nスタジオ

		<p>にいた 25 人がけがをしたということです。けが人の中には、意識不明で重体となっている人や、重傷者もいるもようです。九段会館、意識不明で重体となっている人や、重傷者もいるもようです。また横浜市のポーリング場ハマボールで、建物の屋根が落ちて、およそ 10 人が一時下敷きとなりましたが、消防などが救助活動を行い、全員軽傷で、命に別条はないということです。</p> <p>伊藤：続いて、北海道からお伝えいたします。</p>	
16	<p>27 : 15</p> <p>27 : 37</p> <p>28 : 07</p>	<p>アナ：北海道、太平洋沿岸西部にも、現在大津波警報が発表されています。画面下から水が流れ込んでいるのが確認できます。画面下から道路に向かって、水が流れこんでいるのが確認できます。こちらは現在の函館の様子です。現在の函館市内の様子をご覧ください。</p> <p>かなり水が、まちの中に流れ込んでいる、道路に流れ込んでいるのが確認できます。このように、津波は到達予想時刻を過ぎた後に襲ってくることもあります。海岸部や河口付近にいる方は、必ず高いところ、できるだけ高いところに避難するようにしてください。高台やビルの 3 階以上など、できるだけ高いところに、速やかに避難してください。津波警報などが解除されるまでは、河口付近、海岸付近には近づかないようにしてください。</p> <p>現在の函館の様子をご覧ください。函館市内、まちの中の道路に、水が流れ込んでいるのが確認できます。函館市内の道路、水が流れ込んでいるのが確認できます。かなり、かなりの勢いで、水が流れ込んでいます。函館方面でも、太平洋沿岸西部の各地には、4 m の津波が予想されています。場所によっては、この 4 m よりもさらに高い波が押し寄せてくる可能性があります。海岸部や河口付近には絶対に近づかない...</p>	<p>北海道 H B C</p> <p>中継・函館市内</p>
16	<p>28 : 43</p> <p>29 : 02</p> <p>29 : 19</p>	<p>伊藤：はい。福島ですね。</p> <p>アナ：はい、ええ、最新の情報が入ってきました。福島県からお伝えしています。福島県でも、大きな揺れを観測しまして、被害の情報が入ってきています。県によりますと、県や県警に、県によりますと、現在福島市ですね、福島市のスタジオも、また大きく揺れてきました。</p> <p>余震が現在続いています。今ご覧いただいている映像は、地震発生直後のテレビユー福島本社の様子です。福島市にあります、地震発生直後の様子です。そしてたった今なんです、福島市のスタジオも揺れています。現在も余震が続いていまして、福島市のスタジオも揺れています。</p> <p>そして、被害の状況なんです、県によりますと、須賀川市で死者 1 名という情報が入っています。亡くなられた方が 1 人いらっしゃるという情報が入ってきていました。須賀川市です。詳細はまだ分かっていません。そして、福島県の双葉町では、住宅が全壊して、中に住民が閉じ込められているという情報です。</p>	<p>福島 T U F</p> <p>テレビユー福島本社、富岡町</p>

16	29 : 40 30 : 00	<p>そして、こちらご覧いただいていますのは、津波の第1波。福島県の富岡町の津波の第1波の様子です。およそこちらは、45分から50分前でしょうか。福島県の富岡町で、津波の第1波を観測したときの情報です。富岡町では、ご覧のように、津波を観測しています。</p> <p>今、福島市のスタジオを映していただけますでしょうか。かなりまた大きく揺れてきました。福島市のスタジオ、今現在、大きく揺れてきています。このように余震がまだ続いている状況です。この後、落ち着いて皆さん行動していただきたいと思います。</p>		
16	30 : 16 (32 : 23) 31 : 06 31 : 22 31 : 56 32 : 17	<p>長岡：はい。気象庁は今回の地震について、東北地方太平洋沖地震としました。先ほどの気象庁の会見の内容をお伝えしてまいります。気象庁の発表によりますと、午後2時46分頃に発生した三陸沖の地震について、震源の深さはおおよそ10km。震源の規模を示すマグニチュードは8.4と推定されるということです。気象庁は今回の地震で、北海道から青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉、伊豆諸島の太平洋沿岸の他、青森の日本海側、また関東から徳島にいたる太平洋側でも、大津波警報を発令しました。今後半日から1日程度は、津波が継続する可能性があるということで、気象庁は警戒を呼びかけています。</p> <p>伊藤：はい。すでに津波を観測しています。津波は、最初の波よりも、その後に来る波のほうが高くなることもあります。警報が解除されるまでは、津波の危険や心配がなくなるまで、海岸や川の河口付近などには、決して近づかないでください。</p> <p>長岡：先生。この映像なんですけれども、先ほどの岩手県宮古の港の様子なんですけど、津波って本当にすごい勢いで来るんですね。</p> <p>島崎：ええ。海自体が押し寄せてくるんですね。それで、津波の波ということですからね、普通の波だと思ったら大間違いで、海全体が押し寄せてきて、先ほど第1波よりも第2波のほうが大きいと言いましたけれども、第1波と第2波のあいだはですね、何十分とかかる。要するに、第1波が来て10分だとか、長いあいだ、もうずっと水浸しになっているんですよ。</p> <p>そのあと、ごうっと言って、海全体が引いていくわけですね。引いていくと、沖合まで全部見えてしまう。港の底も見えてしまう。そういうかたちで、ずっと引いていって、それからまた今度押し寄せて来る。このときは、一気に行って、だんだん来るわけなんですけれども、こういうかたちで、今見えているようなかたちで来るわけなんですけど、非常に速いですから、先に逃げてないといけませんので、先ほどおっしゃったように、非常に速いから、先に逃げてないといけません。</p> <p>伊藤：そうですね。</p> <p>島崎：2番目は、最初よりも大きいことが多いです。さ</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>16時30分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 会津 栃木北部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 庄内 山形 村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北西部 中越 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時30分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 会津 栃木北部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 庄内 山形 村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北西部 中越 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時30分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 会津 栃木北部</p> <p>震度3 三八上北 宮城北部 宮城南部 宮城中部 秋田県沿岸南部 庄内</p>	Nスタジオ 地震速報

16	32 : 45	<p>らにですね、それがまた引いていって、また 10 分、20 分たってまた来る。これが 3 度、4 度、5 度、6 度と、半日から 1 日くらい続く、続きます。それでおそらくまあ、半日くらいになると、だんだん少なくて小さくなってきますけれども、3 度、4 度くらいまでは、最初よりも大きいことがありますので、十分注意しないといけません。</p> <p>解説 1 : 発生から 2 時間くらいもうたっていますけれども、それでもまだ、これまでよりも大きいのが来る可能性があるということですね。</p> <p>島崎 : はい。可能性あります。</p> <p>伊藤 : また、規模が比較的大きな地震でしたけれども、余震もやはり気を付けなくてはいけないのでしょうか。</p> <p>島崎 : あのう、1 日内は、特に大きな地震が、余震が起こりますので、そのあとも起こりますけれども、特にご注意くださいと思います。</p> <p>解説 1 : あの阪神大震災のときもそうだったんですけども、最初のその本震で、かなりビルの構造物が弱くなって、そのあとのそういう余震で倒壊した例なんかもあったんですけども、そういうのも気を付けたほうがいいですね。</p> <p>島崎 : そうですね。そういうことも考えられます。特に非常に広い地域で、中には地盤の悪いところも、あるいは家が弱いところもたくさんあると思いますので、そういうところは要は狙い撃ち的にですね、あちこちでおそらく被害が起きているのではないかと心配されます。</p> <p>長岡 : さあ、それでは、浦安市上空をヘリコプターが飛んでいます。ヘリコプターから伝えていただきます。</p>		
16	33 : 35 (33:37)	<p>ヘリ : はい。現在ヘリコプターは、千葉県浦安市にあります、ショッピングセンター近くに来ております。メイン道路では、液状化現象が上空から見て取れます。液状化現象は、ものすごく、歩いている人たちは、足元を気を付けて歩いているようにも見て取れます。こちら、浦安上空です。あ、幕張上空です。浦安上空です。ショッピングセンターそばの道路では、液状化現象が見て取れます。</p> <p>長岡 : 新浦安の...</p> <p>ヘリ : 液状化はかなりのこの周辺では多く見られることができます。</p>	<p>震度 3 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 中越 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時30分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 会津 栃木北部</p> <p>震度3 三八上北 宮城北部 宮城南 宮城中部</p>	ヘリコプター中継・浦安市上空 地震速報
16	34 : 27	<p>長岡 : はい。先生、新浦安の駅から近いところですけども、こちら埋め立て地になりますね。</p> <p>島崎 : はい。すべて埋め立て地ですので、液状化が大きくなります。</p> <p>伊藤 : 先ほどディズニーランドの駐車場もそうでしたけれども、泥のような水を含んだ、砂のようなものが上がってきていて、このまちの中の道路全体が水浸しになっていますね。</p>	<p>秋田県沿岸南部 庄内 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 中越 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時30分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p> <p>震度4 福島中通り 会津 栃木北部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南</p>	Nスタジオ

16	35 : 02	<p>島崎：ええ、そうですね。あのう、揺れによってですね、地面の中のこう、がさがさしたところが詰まってきて、そのために中に入っている水が場所がなくなったので、非常に圧力が高くなって地面にわっと吹き出してくる。そういう現象になります。</p>	<p>部 宮城中部 秋田県沿岸南部 庄内 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 中越 下越</p>
		<p>解説1：阪神大震災のポートアイランドという埋め立て地区がやっぱり同じようになりましてけれども、そうしますと、これ、ここのその浦安だけじゃなくて、かなり広い範囲で、東北から関東にかけて、埋め立て地は同じような状況が生まれているというふうに考えてもいいんですか。</p>	<p>JNN地震速報 16時30分頃地震がありました 震度5弱 福島浜通り 震度4 福島中通り 会津 栃木北部 震度3 三八上北 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南</p>
		<p>島崎：はい。そのとおりです。またあの、もと川だったところだとか、埋め立て地以外にも、液状化を起こしやすいところがありますので、そこでは非常に揺れが大きい場合には、建物自体が沈んだり、あるいは地下の土管が上がってきたり。要するに、地盤が液体になってしまうわけですから、それから、非常に横の方向にずれたりですね、いろんな被害が起こります。</p>	<p>部 宮城中部 秋田県沿岸南部 庄内 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 中越 下越</p>
		<p>伊藤：先ほど気象庁の地震について、「東北地方太平洋沖地震」というふうに、発表がありましたけれども、これはまあ、三陸沖とかですと、三陸沖とかではなくて、東北地方という名前を。</p>	<p>JNN地震速報 16時29分頃の地震 M6.6 震源は三陸沖 深さはごく浅い 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度5強 大崎市</p>
		<p>島崎：はい。非常に広い地域が震源となっているので、それに適した名前を、多分気象庁で考えられたのだらうと思います。</p>	<p>各地域の震度は以下の通りです 震度5強 宮城北部 震度5弱 岩手内陸南部 福島中通り 福島浜通り 震度4 三八上北 岩手県沿岸北部 岩手県沿岸南</p>
		<p>伊藤：はい。</p>	<p>部 岩手内陸北部 宮城南 宮城中部 秋田沿岸南 山形村山 山形置賜 会津 栃木北部 震度3 津軽北部 下北 秋田沿岸北部 秋田内陸北</p>
		<p>島崎：東北地方という非常に広い地域の太平洋沖で起きた。</p>	<p>部 秋田内陸南部 庄内 最上 茨城北部 茨城南 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東 千葉北西部 東京23区 神奈川東部 中越 下越 長野中部</p>
		<p>伊藤：はい。広い範囲ですよね。</p>	<p>JNN地震速報 16時29分頃の地震 M6.6 震源は三陸沖 深さはごく浅い 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度5強 大崎市</p>
		<p>島崎：その全体が大揺れをしている。全体が震源になっている。非常に大きな、日本で最大級の震源の規模だと思います。</p>	<p>各地域の震度は以下の通りです 震度5強 宮城北部 震度5弱 岩手内陸南部 福島中通り 福島浜通り 震度4 三八上北 岩手県沿岸北部 岩手県沿岸南</p>
		<p>解説1：さっき南あわじ市、兵庫県の淡路島のまちで、1万人の避難勧告ですか。</p>	<p>部 岩手内陸北部 宮城南 宮城中部 秋田沿岸南 山形村山 山形置賜 会津 栃木北部 震度3 津軽北部 下北 秋田沿岸北部 秋田内陸北</p>
		<p>伊藤：はい。そうですね。兵庫県南あわじ市で、住民およそ1万人に対して、避難勧告を出したということです。</p>	<p>部 秋田内陸南部 庄内 最上 茨城北部 茨城南 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東 千葉北西部 東京23区 神奈川東部 中越 下越 長野中部</p>
		<p>島崎：はい。淡路の南のほうではですね、南海地震などでかなりひどい被害が、津波の被害がありますので、やはり津波が回ってきて、ひょっとしたら瀬戸内海から同じように入ってくるのではないかという、そういうことだろうと思います。</p>	
		<p>解説1：そうしますと、これはもう太平洋側一帯ですね、静岡、それから愛知、和歌山も含めて、四国までですか。しばらくまだ、要するに警戒を続けなければいけない。半日。1日ですか。</p>	
		<p>島崎：ええ。そのとおりですね。半日から1日ぐらい、</p>	

		どのぐらいの被害になるかっていうのは、ちょっと今のところ予想がつきませんが、50cm ぐらいでも...	
16	37 : 14	<p>長岡: 新しい情報が、先生すいません、入ってきました。福島県白河広域消防本部に入った連絡によりますと、管内で発生した土砂崩れで、5 世帯 8 人が行方不明になっているということです。福島のスタジオ、つながりますでしょうか。</p> <p>伊藤: 土砂崩れ、土砂崩れで、5 世帯 8 人が行方不明になっているということです。</p> <p>長岡: 福島県白河広域消防本部に入った連絡によりますと、管内で発生した土砂崩れで、5 世帯 8 人が行方不明になっているということです。</p> <p>伊藤: 建物の倒壊という被害もちろん想定されますけど、土砂崩れといったことも起きて...</p>	
16	37 : 50	アナ: 福島県から情報をお伝えします。災害、被害の情報が入ってきています。須賀川市で死者 1 人という情報です。そして、双葉町で住宅が全壊し、中に住民が閉じ込められているということです。そして、福島市内から中継でお伝えします。	福島 T U F スタジオ
16	38 : 10	<p>アナ: 福島市のイオン福島に来ています。ここは多くのお客さんでにぎわうまちのショッピングセンターです。現在はみぞれが降り、非常に寒いといった天候です。そして、私の後ろをご覧ください。先日イオン福島になりまして、こちらでは大きな「サティ」という看板を外そうと足場を組んでいましたが、ぐちゃぐちゃに崩れ落ちていきます。足場の下敷きになった車のボンネットはへこみ、そして、フロントガラスもひびが入っている、そういった状況です。</p> <p>38 : 38</p> <p>最初に大きな地震のあった午後 2 時 45 分頃ですが、こちらでは大混乱になったということでした。今もなお、イオン福島の中は停電をしていて、フロアの中は水浸し、または、物が散乱している状態だということです。地震があったときはお客さんもパニック状態になり、悲鳴があちこちで飛び交っていたようです。そして、お子さんの名前を叫ぶお母さんの姿も多く見受けられたと、お店の方がお話ししていました。ただ、お客さんはすぐに避難したということで、けが人はいません。お客さんは無事に避難をして、けが人はいないということです。</p> <p>39 : 14</p> <p>こちらの中なんですけど、特に家庭用品や服飾雑貨がある 3 階のフロアで損傷が激しく、ほとんどの物が割れたり壊れ...</p>	中継・福島市
16	39 : 21	アナ: こちらはですね、こちらは、津波の第 1 波の...	福島 T U F スタジオ
16	39 : 24	蓮見: 地震発生からまもなく 2 時間余りが経過しようとしています。いったん、落ち着いてください。身の安全に注意して、落ち着いて行動してください。では、整理	報道カメラ

16	<p>39 : 57</p> <p>40 : 31</p> <p>40 : 50</p> <p>41 : 22</p> <p>41 : 36</p>	<p>して情報をお伝えします。関東地方でも被害の情報が入ってきています。茨城県によりますと、高萩市内で地震のため建物の屋根が崩れ、70代の女性1人が死亡したということです。さらに、龍ヶ崎市の消防によりますと、龍ヶ崎市寺後で建物の外壁が崩れ、60代の男性が心肺停止となっているということです。</p> <p>また、東京千代田区の九段会館では、屋根が落ちて中にいた25人がけがをしたということです。けが人の中には、意識不明で重体となっている人や重傷者もいるようです。また、横浜市のボウリング場ハマボールで建物の屋根が落ちて、およそ10人が一時下敷きとなりました。消防などが救助活動を行って、全員軽傷で命に別条はないということです。さらに、千葉県でも千葉市内で火災が起きて5人がけが、成田空港でも1人がけがをしたということです。</p> <p>そして、東北電力によりますと、午後4時半現在、青森県、秋田県、岩手県の全域と山形県、宮城県のほぼ全域で停電しているということです。午後4時半現在、青森県、秋田県、岩手県の全域と山形県、宮城県のほぼ全域で停電しているということです。</p> <p>次に、原発への影響です。経済産業省によりますと、午後2時46分現在、宮城県の女川原発は1号機から3号機、すべての原子炉が運転を停止しました。福島第一原発は1号機から3号機が運転を停止、福島第二原発は1号機から4号機すべてが運転を停止しました。茨城県の東海第二発電所は運転を停止しました。現時点で、故障や放射能漏れの報告はないということです。</p> <p>次にガスです。仙台市によりますと、市内の一部でガス漏れが発生しています。また、東京ガスによりますと、茨城県日立市の3万5千世帯でガスの供給が止まっているということです。</p> <p>続いて、電話への影響をお伝えします。NTTドコモによりますと、午後4時半現在、地震があった地域を中心に全国的に電話がつながりにくい状態が続いていて、災害地への不要、不急の連絡は避けるよう呼びかけています。また、現在、災害用の掲示板を運用していて、パソコンではドコモのホームページから、携帯電話ではiモードからアクセスできるということです。KDDIも電話がつながりにくい状態が続いていて、情報を随時インターネットのホームページ上にアップしています。また、ソフトバンクも東北、関東、東海地方の一部でつながりにくい状態が続いています。</p>		
16	<p>42 : 17</p> <p>(44 : 28)</p>	<p>そして、交通機関へも非常に大きな影響が出ています。まずは、鉄道です。午後4時半現在、JRによりますと、山手線を含む首都圏の在来線はすべて運行を見合わせています。また、私鉄各社によりますと、京王線、小田急線、東急線、東京メトロ、都営地下鉄でも全線で運転</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>16時38分頃の地震 M5.9</p> <p>震源は岩手県沖 深さ約30km</p>	<p>地震速報</p>

16	<p>42 : 47</p> <p>42 : 59</p> <p>43 : 18</p> <p>43 : 40</p> <p>44 : 04</p>	<p>を見合わせています。職員が歩いて線路の安全を確認するため、復旧までにはかなりの時間がかかると見られています。</p> <p>また、東海道、上越、東北などの各新幹線も全線で運転を見合わせています。まもなく帰宅時間を迎えるため、帰宅の足の大きな混乱が予想されます。</p> <p>続いて、道路への影響です。道路交通情報センターによりますと、関東地方では、首都高速を含む高速道路の全線で通行止めとなっています。また、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道などでも一部区間で通行止めとなっています。</p> <p>続いて、空の便です。全日空と日本航空によりますと、成田空港では滑走路を閉鎖して被害の確認を行っています。このため、成田に到着予定の便は、名古屋や金沢などに目的地を変更しています。ターミナルの建物にも被害が出ているということで、利用客らを建物の外に避難するよう誘導しています。</p> <p>羽田空港では一時、滑走路を閉鎖して被害の確認を行っていましたが、2本の滑走路の安全が確認されたため、到着便については順次着陸しているということです。このほか、仙台空港には午後4時前に津波が到達していて、現在滑走路を閉鎖しています。青森、山形、岩手、花巻の各空港も滑走路を閉鎖しています。</p> <p>続いて、フェリーです。東京汽船によりますと、伊豆大島から東京の竹芝に向かう高速船は津波に警戒するため、東京湾沖に避難しているということです。そのほかのフェリーは運航を見合わせています。</p> <p>最後に三菱東京、失礼しました。こちらからは以上です。</p>		
16	<p>44 : 25 (44:28)</p> <p>44 : 48</p> <p>45 : 08</p> <p>45 : 25</p>	<p>長岡：交通機関にもかなりの影響が出ているもようです。</p> <p>伊藤：午後2時46分頃、東北から関東の広い範囲にかけて起きた非常に強い地震で、気象庁は先ほど、地震の規模を示すマグニチュードを8.4と発表しました。震源地は三陸沖で、震源の深さは10キロ、宮城県北部の栗原市では震度7を観測しました。</p> <p>また、この地震に続いて、午後3時15分頃、茨城県沖でも最大震度6弱を観測する地震がありました。地震の強さを示すマグニチュードは7.4と推定され、茨城県鉾田市では震度6弱を観測しています。その後も、断続的に地震が発生しています。十分に皆さん、ご注意ください。</p> <p>最初の三陸沖の地震で気象庁は、北海道から青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉、伊豆諸島の太平洋沿岸のほか、青森の日本海側、また関東から徳島に至る太平洋側でも大津波警報を発令しました。</p> <p>気象庁によりますと、既に津波の到達が確認されているところがあります。予想される津波の高さは岩手、宮城、</p>	<p>震度4 野田村</p> <p>震度3 八戸市 東北町 五戸町 階上町 おいらせ町 宮古市 盛岡市 二戸市 滝沢村 八幡平市 花巻市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 石巻市 松島町</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時38分頃の地震 M5.9</p> <p>震源は岩手県沖 深さ約30km</p> <p>震度4 野田村</p> <p>震度3 八戸市 東北町 五戸町 階上町 おいらせ町 宮古市 盛岡市 二戸市 滝沢村 八幡平市 花巻市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 石巻市 松島町</p>	<p>Nスタジオ 地震速報</p>

		福島、茨城、千葉の九十九里・外房で10m以上となっていて、今後も大きな津波が来る恐れがありますので、沿岸の方はできる限り沿岸から離れ、安全な場所へ避難してください。はい。		
16	45:48 46:06 46:35 47:01	<p>長岡：スタジオには、地震予知連会長の島崎先生にお越しいただいておりますが、先生、おとといも地震がありましたけれども、あのおとといの地震と今日の地震の関連はどういうことになるのでしょうか。</p> <p>島崎：今から考えれば、おとといの地震は前震ということが出来るかもしれません。</p> <p>ただ、地震が起きてても、それは自分が前震であるということですね、示すようなものはありませんので、起きて、前震かどかというのは判断ができない。</p> <p>長岡：前震というのは前の地震という...</p> <p>島崎：前の地震ですね。</p> <p>伊藤：本震があとに来るっていう、その前に。</p> <p>島崎：本震の前に来る。ですから、前震であるってことが分かれば、このあと大きな地震が来るなっていうのが分かるんですけども、前震をいくら調べても自分が前震であると教えてくれないので、われわれは分からない訳ですね。</p> <p>しかし、今から考えればあれが前震で、おそらく今度の地震はそのごく近くから破壊が始まって、北から南へずうっと割れてきた。で、おそらく茨城県の沖ぐらまで割れた。そのために、波としては南の方に大きく揺れが来て、東京湾沿岸のタンクだとかあるいは高層ビルだとか、そういうものが大きく揺れている、まあ、そういう地震。</p> <p>かつ、非常に広い地域が震度6強になってますので、耐震性の弱い家に関してはかなり、多数倒れてる可能性がありますので、まだまだこれから被害が出てくるのではないかと心配されます。</p>		
16	47:15 (47:19)	伊藤：はい。これまでに到達しています、観測しました津波の高さなどをお伝えいたします。相馬では3時50分に7m30cm以上の津波を観測しました。釜石、宮古などでは4m以上の津波を観測しています。大洗でも3.9mの津波を観測しています。	JNN地震速報 16時45分頃地震がありました 震度3 茨城南部 千葉県北東部 JNN地震速報	地震速報
16	47:38 47:50	<p>長岡：被害の情報、入ってきております。福島県白河広域消防本部に入った連絡によりますと、管内で発生した土砂崩れで、5世帯8人が行方不明になっているということです。</p> <p>また、関東地方でも被害の情報、入っています。茨城県によりますと、高萩市内で地震のため建物の屋根が崩れ、70代の女性1人が死亡したということです。さらに、龍ヶ崎市の消防によりますと、龍ヶ崎市寺後で建物の外壁が崩れ、60代の男性が心肺停止となっていると</p>	16時45分頃地震がありました 震度3 茨城南部 千葉県北東部	

16	48 : 11	<p>ということです。</p> <p>また、東京千代田区の九段会館では、屋根が落ちて、中にいた 25 人がけがをしたということです。けが人の中には、意識不明で重体となっている人や重傷者もいるようです。また、横浜市のボウリング場ハマボールで建物の屋根が落ちて、およそ 10 人が一時下敷きとなりました。消防などが救助活動を行い、全員軽傷で命に別条はないということです。さらに、千葉県でも千葉市内で火災が起きていて 5 人がけが、成田空港でも 1 人がけがをしたということです。</p>		
16	48 : 44 49 : 08 50 : 02	<p>伊藤：この地震によりまして、北海道から東北地方、関東地方、そして徳島県の沿岸まで大津波警報が出されています。津波は最初の波よりも、2 回目、3 回目の方が高くなる場合があります。警報や注意報が解除されて津波の危険や心配がなくなるまでは、海岸や川の河口付近などには決して近づかないでください。</p> <p>長岡：広い範囲に大津波警報が出されています。津波の、到達した津波の情報が入ってきました。</p> <p>伊藤：えりも町では、えりも町庶野ですね、えりも町庶野では 3 m50cm の津波を観測しています。石巻市鮎川では 3.3m 以上、大船渡では 3.2m 以上、根室市花咲では 2.8m 以上の、あ、2.8m の津波を観測しています。相馬では 7 m 以上の津波を観測しています。かなり高い高さですね</p> <p>島崎：非常に高いですね、はい。</p> <p>伊藤：そして、釜石でも津波を観測しています。ご覧いただいていますように、北海道、そして東北地方、関東地方、そして徳島県の沿岸などに大津波警報が出されています。</p> <p>長岡：菅総理は、このあと午後 4 時 55 分から、官邸で国民へのメッセージを発表します。その後、枝野官房長官が記者会見することになっています。</p> <p>伊藤：規模が比較的大きい地震のあとには、余震が来る場合があります。傷んだ建物は、余震でさらに崩れる恐れなどもありますので、お気をつけください。今のうちに、高いところに置いてある物などを下ろしておいた方がいいかもしれません。</p> <p>長岡：ご覧いただいているのは、現在の北海道の...</p>		
16	50 : 27	<p>アナ：4,243 人に避難指示を出しています。これまでに、町内の 9 カ所の避難所に 410 人が避難しています。車が、前の部分を水の中に沈めて流されています。そして、こちら、これですね、今画面に映っています。ちょうどまん中に映っているのは車ですけれども、前の部分を水中に沈めたかたちで流されています。そして、右側から出てきた、コンテナのようにも見えますが、流されているようです。浦河町では現在、津波が襲ってきたようです。さまざまな物が流されています。</p>		北海道 H B C

16	51:03	津波は第1波の後も、第2波、第3波と繰り返し襲ってくる可能性があります。また、後から来た波の方が高いもの、大きなものになる可能性もあります。海岸部や河口付近には引き続き、絶対に近づかないようにしてください。現在海岸付近にいる方は、速やかに高いところに避難するようにしてください。	
16	51:25 51:56 52:06 52:23	<p>長岡：北海道からお伝えしました。北海道でも、かなり大きな波が押し寄せているようですね。今回の地震について気象庁は、「東北地方太平洋沖地震」としました。</p> <p>先生、かなり広い範囲にわたった地震だったと。</p> <p>島崎：はい、東北地方の南部から茨城県あたりまでの沖合全体がいっぺんに壊れた、最大規模、日本ではですね、最大規模の地震だと言ってよろしいと思います。</p> <p>解説1：そうですね、そういう指摘が出てますね。あと、土砂崩れですね、弱くなった地盤の土砂崩れ、宮城県の北部地震でしたですか、あれもいろいろところで土砂崩れが起きて生き埋めになってますが、そちらの備えていうのも、まだこれから必要になりますね。</p> <p>島崎：あちこちに危険な急傾斜地、あるいは山崩れが起きそうなところがございますので、日本は山国でもあり、また津波の海国でもありですね、あちらこちらに危険がございますので、ご注意いただいた方がよろしいかと思えますね。</p> <p>解説1：そうですね、身の安全をとにかくまず第一に確保することがね。</p> <p>島崎：はい、そうですね。</p> <p>長岡：地元自治体から避難情報が出ているかもしれません。十分ご確認ください。都内でも、都内や関東地方でも火の手が上がっている様子をご覧いただきました。被害の状況、刻々と入ってきております。午後2時46分頃、東北から関東の広い範囲にかけて起きた非常に強い地震で、気象庁は先ほど、地震の規模を示すマグニチュードは8.4と発表しました。このあとも、余震が続いています。十分お気を付けください。そして、大津波警報、出ています。十分に警戒してください。地震の情報、まとめてお伝えしました。このあとも、続けます。</p>	Nスタジオ
16	53:01	<p>男性：ああ、やばい。</p> <p>ええ、今すごい揺れが来ています。</p> <p>男性：ああ。</p>	福島TUF 本社
16	53:12	アナ：非常に強い揺れを感じました。	仙台TBC
16	53:14 53:35 53:39	<p>ナレ：今日午後2時46分、三陸沖を震源とする地震が起き、宮城県で震度7を観測した。各地で押し寄せる津波。海岸沿いに止まる何十台もの乗用車、そして、空港の滑走路をも飲み込んだ。</p> <p>アナ：まさに今、仙台空港に津波が押し寄せています。</p> <p>ヘリ：千葉県にありますコスモ石油の工場です。こちら</p>	ナレーション 仙台TBC ヘリコプター 中継・千葉市中央区

16	53:47	<p>の工場では大きな火災が起きております。</p> <p>ナレ：被害の規模は計り知れない。</p>		上空
16	53:51	<p>堀尾：こんばんは。</p> <p>長峰：こんばんは。</p> <p>堀尾：引き続き、地震情報をお伝えします。ご存じのように、今日午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード8.4の大きな地震がありまして、そのあとも、マグニチュード7以上の地震が3回ありました。これによって未曾有のですね、被害が起きております。特に津波の被害が甚大です。今日は、この情報をこれから続けてお伝えして参りたいと思います。</p> <p>長峰：まず、被害の大きい宮城県の東北放送からお伝えします。</p>		Nスタジオ
16	54:19 54:55	<p>アナ：2時46分でした。非常に長い揺れでした。今日午後2時46分、宮城県で震度7の強い地震が発生しました。各地で大きな被害が出ています。地震発生直後のTBCの様子をご覧いただいておりますが、また、沿岸では津波が発生して、被害が出ています。大津波警報が出されています。仙台港では10mの津波が到達したという情報が入っております。そして、津波が到達した直後の仙台空港の様子をご覧いただいております。</p> <p>54:55 女性：津波が滑走路に押し寄せていく様子です。</p> <p>アナ：ここ、滑走路です。もう、空港の施設が既に飲み込まれている様子が見えます。津波が仙台空港に到達した、今の状態、失礼しました。数時間前の様子ですね。</p> <p>女性：そして、現在も...</p>		仙台TBC 仙台空港
16	55:14	<p>長峰：総理大臣の記者会見が始まります。</p>		
16	55:24 (56:43) 55:58 56:18	<p>菅総理：国民の皆さま、もうテレビ、ラジオでご承知のように、本日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード8.4の非常に強い地震が発生をいたしました。これにより、東北地方を中心として、広い範囲で大きな被害が発生をいたしております。被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。</p> <p>55:58 なお、原子力施設につきましては、一部の原子力発電所が自動停止いたしました。これまでのところ、外部への放射性物質等の影響は確認をされておられません。</p> <p>56:18 こうした事態を迎え、私を本部長とする緊急災害対策本部をただちに設置をいたしました。国民の皆様の安全を確保し、被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げて取り組んで参ります。国民の皆さまにおかれましても、今後引き続き、注意深くテレビやラジオの報道をよく受け止めていただき、落ち着いて行動されるよう、心からお願いを申し上げます。</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃地震がありました</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃地震がありました</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り</p>	首相官邸 総理記者会見 地震速報
16	57:12 (57:40)	<p>長峰：はい。菅総理大臣の緊急記者会見、今聞いていただきました。原子力施設が自動停止したところがあって、今のところ、今のところですが、外部への放射能漏</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃地震がありました</p>	Nスタジオ 地震速報

		<p>などは確認されていないという、今発表がありました。</p> <p>堀尾：さて、スタジオのゲストをあらためてご紹介しましょう。</p> <p>長峰：はい。東京大学名誉教授で、地震予知連絡会会長の島崎邦彦さんです。お願いします。</p> <p>島崎：よろしくお願いします。</p> <p>長峰：そして、TBSの杉尾秀哉・解説室長、同じく、福島隆史・解説員にも加わってもらいます。</p> <p>堀尾：よろしくお願いします。</p> <p>長峰：はい。</p>	<p>震度3 三八上北 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南 宮城中 福島中通り 福島浜通り</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃地震がありました</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南 宮城中 福島中通り 福島浜通り</p>
16	57:46	堀尾：さて、今までご覧いただいたように、これほどの大津波が海岸線を越えて、逆流してまちを襲うという映像、本当にわれわれは初めて見るものですから、驚いているばかりなんです、マグニチュード7以上の地震が、30分のあいだに3回か4回起きているという、これはどういうことが考えられるのでしょうか。	
	58:03	島崎：日本でこれまで起きていたおそらく最大規模の地震が起きたということを、まず皆さん、考えていただかないといけないと思うんですね。それで、地震というのは、非常に広い地域が壊れることがあります。いっぺんに。今回の例で言うと、宮城県沖から茨城県沖までの、おそらく200km以上の非常に広い地域が壊れて、そこから強い波が出ています。ですから、東京の方は、はるばる、はるか向こうの三陸沖から波が来ているのではなくて、おそらく茨城県沖くらいの比較的近いところから、波が来ているということですね。	
	58:41	それから、その広い地域がいっぺんに上がりまして、海底が上がります。そうすると、海面も一緒に上がらざるを得ないですよ。その海面は、今度は波となってというか、水の塊となって、沿岸に押し寄せるわけで、特に東北地方の茨城県、あるいは、宮城県、岩手県のリアス式の中だとか、あるいは、突き出てる半島の先だとか、そういうところに波が集中してきますので、非常に高い津波が来ます。津波は何度も何度も襲って来て、まだ襲ってきますので、まだ注意が必要です。	
	59:18	堀尾：そうですね。第1波がちょっと引きかけたところも、まだまだこれから。	
		長峰：2波、3波と。	
		堀尾：1時間後、2時間後もあり得るんですね。	
		島崎：はい。まだまだ。おそらく1日近く、海面は動揺していると思いますので、それを考えていただきたいのと。	
		堀尾：そうですね。くれぐれも高いところに逃げていただく。	
	59:35	長峰：海岸。ええ。	
		島崎：それから、非常に大きな地震ですので、あっちこっちで余震が。先ほど言いました、その、宮城県あるい	

		<p>は岩手県の沖から、茨城県の沖のこの広い地域のあっちこちで余震が起こります。</p> <p>長峰：はい。</p> <p>島崎：中には、マグニチュード7.4になるような、茨城県のとこで起きた地震だとか、先ほど言われたように、マグニチュード7を超える地震がいくつも起きています。特に1日以内は、非常に大きな地震が起こり、まあ、2日目、3日目と、だんだん減ってはいきますけれども続きますので、そのことによって、本震でちょっと崩れたところがさらに余震で大きく崩れるということもありますので、ご注意くださいと思います。</p> <p>長峰：はい。もう海岸。はい。</p>		
17	<p>00：10</p> <p>(00：42)</p> <p>00：19</p> <p>00：35</p> <p>00：51</p> <p>01：02</p> <p>01：25</p>	<p>島崎：ええ。建物、それから津波、それから日本は山国ですので、あちこちに非常に危険な傾斜地がございます。</p> <p>長峰：崖崩れ、土砂崩れ、はい。</p> <p>島崎：崖崩れ、土砂崩れもありますので、それもやはりご注意くださいかなければなりませんね。</p> <p>堀尾：こんなふうにして、もう車がまとまってですね、波に飲まれていってしまうという状況。</p> <p>長峰：ものすごいスピードで来るんですね。</p> <p>島崎：はい。</p> <p>堀尾：ですね。</p> <p>島在：もう先に逃げないと、もう間に合わない</p> <p>堀尾：はい。とにかく情報がどんどん更新されていきますので、新しい情報をたびたびお伝えしてまいりたいと思いますね。はい。</p> <p>長峰：はい。気象庁は、午後4時から会見を開きまして、午後2時46分頃に発生した、東北地方太平洋沖地震について、震源の深さはおよそ10km。そして地震の規模を示すマグニチュードは、8.4と推定されると発表しました。</p> <p>震度情報が続々と入ってきています。震度3。</p> <p>堀尾：入ってますね。これは今起きた地震の情報。</p> <p>島崎：余震ですね。</p> <p>堀尾：余震ですね。</p> <p>長峰：今起きた地震ですね。余震が頻繁に起きていますので、強い揺れを感じたら、まず身の安全を図ってください。</p> <p>今回の地震で気象庁は、北海道から青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉、伊豆諸島の太平洋沿岸の他、青森の日本海側、また、千葉の内房、小笠原諸島、相模湾、三浦半島、静岡、和歌山、徳島にいたる太平洋側でも、大津波警報を発令しました。発表しました。</p> <p>気象庁によりますと、東北地方を中心に、震度6強から6弱の余震活動が続いているほか、今後1カ月程度は、マグニチュード7を超える余震が起きる可能性がある</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃の地震 M5.5</p> <p>震源は福島県沖 深さは約30km</p> <p>震度3 階上町 盛岡市 花巻市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 柴田町 仙台市 松島町 二本松市 桑折町 川俣町 福島伊達市 相馬市 檜葉町 川内村 双葉町 浪江町 新地町 飯館村 南相馬市</p> <p>JNN地震速報</p> <p>16時54分頃の地震 M5.5</p> <p>震源は福島県沖 深さは約30km</p> <p>震度3 階上町 盛岡市 花巻市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 柴田町 仙台市 松島町 二本松市 桑折町 川俣町 福島伊達市 相馬市 檜葉町 川内村 双葉町 浪江町 新地町 飯館村 南相馬市</p>	地震速報

		<p>としています。それから、今後半日から1日程度は、津波が継続する可能性があるということで、警報が解除されるまでは、避難するように強く呼びかけています。</p> <p>堀尾:では続いて、宮城の東北放送に切り替えてみます。</p>	
17	01:52 02:06 02:21 02:41 02:55 03:23	<p>記者:このままもしかしたら倒れちゃうかもしれないという危険な状況です。ああ、まだ余震が、余震がありました。揺れてます、揺れてます、揺れてます。危険ですね。</p> <p>アナ:取材の最中も、こうやって余震に見舞われると言いますか、非常に強い揺れを感じるんですけども、すでにこうやって傾いてるものが、この遊園地に限らずですけども、さらに余震で倒壊するとか、頭上に落ちてくるといいう可能性も十分あります。</p> <p>繰り返しお伝えしますが、今日2時46分頃、三陸沖を震源とする強い地震がありました。これは現在ベニエランドのですね、被害の様子を今ご覧いただいているところですが、最大震度、栗原市で7です。震度7が栗原市。そのほか、県内広い範囲で、震度6の揺れを観測しました。</p> <p>仙台空港が津波に襲われている状況をご覧いただいています。現在宮城県を含む、北海道から静岡にかけての太平洋沿岸に、大津波警報が出ています。宮城県を含む非常に広い範囲の太平洋沿岸に、大津波警報が出ています。</p> <p>今日、午後2時46分頃、三陸沖を震源とする強い地震がありました。震源の深さは、20(※10)km、地震の規模を示すマグニチュードは、8.4と推定されて、栗原市では震度7、仙台市、名取市、大崎市などでは、震度6強を観測しています。この地震で、宮城県を含む北海道から静岡県にかけての太平洋沿岸に、現在大津波警報が出ています。</p> <p>ご覧いただいている映像は、仙台空港に津波が到達したときの様子です。車両が流されていますね。宮城県には最大で10mの津波が予想されています。石巻市鮎川では、地震直後に10cmの第1波を観測しまして、午後3時20分には、3m30cm以上の...</p>	<p>仙台TBC 中継・八木山ベニエラント(仙台市太白区)</p>
17	03:48	<p>堀尾:さあこれは、千葉県の浦安市の上空、ああ、ではない、ですね。</p> <p>長峰:映像。浦安の上空です。ヌマクラ(?)カメラマン。ヘリコプターに乗っています、ヌマクラさん。</p>	<p>Nスタジオ</p>
17	04:00 (04:13)	<p>ヌマクラ:はい。こちらTBS、ええ、千葉上空です。現在映っている映像は、コンビナートの爆発現場です。先ほど一度、大きな炎が上がりました。現在も炎の勢いは衰えず、上空には黒い雲が舞っております。こちらコンビナート工場上空です。先ほどこちらで、大きな爆発がありました。ご覧のように、火の勢いは衰えておりません。</p>	<p>JNN津波情報 津波到達予想 岩手県 津波到達を確認 10m以上 津波到達予想 山形県 既に津波到達と予測 0.5m</p>

17	04 : 44 (04 : 48)	<p>堀尾：ヌマクラさん。</p> <p>ヌマクラ：はい。</p> <p>堀尾：えっとそちら、どこのコンビナートで、どのくらいの範囲に火が広がっているか分かりますか、上空から。</p> <p>ヌマクラ：ええ、われわれは、現在、東京湾上空から見ておりまして、遠くから寄ってるものなので、ええっと、千葉県の。</p> <p>長峰：千葉市にある。</p> <p>ヌマクラ：市原の辺りとしか、ちょっと分かりません。</p>	<p>津波到達予想 宮城県 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 福島県 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 茨城県 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 伊豆諸島 津波到達を確認 6 m</p> <p>津波到達予想 千葉県内房 津波到達を確認 4 m</p> <p>津波到達予想 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 10m以上</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 8 m</p>	
17	05 : 09 05 : 22 05 : 35 05 : 54 06 : 22	<p>長峰：はい。</p> <p>堀尾：はい。</p> <p>長峰：今、ヘリは浦安上空を飛んでいるんですが、コンビナートは千葉市、千葉県千葉市にあるということで。</p> <p>堀尾：これ先ほど。</p> <p>解説1：さっきからずっと燃えている、J F C スチールではないかといわれるところ。ずっと。</p> <p>堀尾：ずっと燃えてるものが。じゃあまた第2、第3の爆発が起きた可能性があるということですね。</p> <p>解説1：そうですね。1つのタンクはもう完全に壊れましたから。</p> <p>長峰：ええ。</p> <p>解説1：はい。これも、先生、これ、今回の地震の特徴的な、いわゆる長周期地振動。</p> <p>島崎：そうですね。いわゆる長周期地振動です。</p> <p>堀尾：振動の影響だということですね。</p> <p>長峰：で、爆発が。</p> <p>堀尾：あと、浦安市は液状化現象で、ずいぶん道が水浸しになっているところがあるようですね。</p> <p>島崎：そうです。ゆっくりした揺れと、それから、地面がほとんど液体と同様になってしまうという、両方の被害があるものですから。</p> <p>堀尾：これはもう本当にね・・・</p> <p>長峰：・・・何かありますか。</p> <p>解説2：これはおそらく長周期地震動と呼ばれる、ゆっくりした成分をたっぷり含んだ地震波がですね、コンビナートを揺らすんですね。巨大構造物に特に左右する地震波なんですけれども、これが、コンビナートの蓋というのは、浮き蓋になっていまして、これがそれでゆっくり揺られることによって、中に入っている石油に引火する。まあそういうような現象がかねてから指摘されてたんですけど、まさにその現象が起きたのかなという気がします。</p> <p>長峰：この火災は、広がる恐れっていうのはどうなんですか。コンビナートの火災というのは。</p> <p>解説1：タンクが、先ほど上空から見てましたら、タンクがかなりたくさんありましたので、ほかのタンクに移</p>	<p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 6 m</p> <p>津波到達予想 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 3 m</p> <p>津波到達予想 静岡県 津波到達を確認 3 m</p> <p>津波到達予想 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 6 m</p> <p>津波到達予想 東京湾内湾 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 小笠原諸島 既に津波到達と予測 4 m</p> <p>津波到達予想 三重県南部 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 青森県日本海沿岸 既に津波到達と予測 3 m</p> <p>津波到達予想 和歌山県 既に津波到達と予測 3 m</p> <p>津波到達予想 愛知県外海 既に津波到達と予測 2 m</p> <p>津波到達予想 陸奥湾 16時20分 1 m</p> <p>津波到達予想 高知県 16時30分 2 m</p> <p>津波到達予想 伊勢・三河湾 16時30分 1 m</p> <p>津波到達予想 徳島県 16時40分 3 m</p> <p>津波到達予想 北海道日本海沿岸南部 16時40分 1 m</p> <p>津波到達予想 オホーツク海沿岸 16時40分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 淡路島南部 16時50分 1 m</p> <p>津波到達予想 宮崎県 17時00分 2 m</p> <p>津波到達予想 秋田県 17時00分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 鹿児島県東部 17時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 種子島・屋久島地方 17時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 奄美諸島・トカラ列島 17時10分 2 m</p> <p>津波到達予想 愛媛県宇和海沿岸 17時10分 1 m</p> <p>津波到達予想 大分県豊後水道沿岸 17時10分 1 m</p>	Nスタジオ

17	<p>06 : 37</p> <p>06 : 52</p> <p>07 : 13</p>	<p>るという可能性も、これ、ありますよね。過去にありましたね、何度も。こういったそのタンクの爆発する、似た例が。</p> <p>解説 2 : 地震によって、その震源域からけっこう離れた場所で起きるという特徴的なものが、例えば十勝沖地震とかですね。かなり何百キロも離れた苫小牧にあるコンビナートで、同じような火災が起きたり。</p> <p>堀尾 : 心配なのはその消化活動ですよ。</p> <p>解説 1 : これ、できないと思いますね。</p> <p>堀尾 : このままの状態だと。</p> <p>解説 1 : このままの状態では、自然鎮火を待つしかないということではないでしょうか。</p> <p>長峰 : 例えばここに津波が来たら、これはもう大変なことになりますか。</p> <p>解説 1 : うん。</p> <p>長峰 : この千葉一帯にも出てますけれども。</p> <p>島崎 : どういうことになるんでしょうね。</p> <p>長峰 : 出てますけれども。九十九里の辺りとか、出ていますが。</p> <p>解説 2 : ただ、条件として悪くないのが、東京湾の内湾ですから、内側ですから、そんな何十メートルっていうような津波がやってくると、それはないですね。</p> <p>長峰 : それはないということですね。</p> <p>解説 2 : それは考えなくてもいいです。</p> <p>堀尾 : じゃあ岩手にちょっとカメラを切り替えて見ましょうか。</p> <p>長峰 : はい。岩手お願いします。</p>	<p>m</p> <p>津波到達予想 大東島地方 17 時 10 分 1 m</p> <p>津波到達予想 大阪府 17 時 10 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 兵庫県瀬戸内海沿岸 17 時 10 分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 鹿児島県西部 17 時 20 分 1 m</p> <p>津波到達予想 新潟県上中下越 17 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 富山県 17 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 石川県能登 17 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 沖縄県地方 17 時 40 分 1 m</p> <p>津波到達予想 大分県瀬戸内海沿岸 17 時 50 分 1 m</p> <p>津波到達予想 宮古島・八重山地方 18 時 10 分 1 m</p> <p>津波到達予想 愛媛県瀬戸内海沿岸 18 時 20 分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 長崎県西方 18 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 熊本県天草灘沿岸 18 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 香川県 18 時 40 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 有明・八代海 19 時 10 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 岡山県 19 時 30 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 山口県瀬戸内海沿岸 20 時 10 分 0.5 m</p> <p>津波到達予想 広島県 21 時 00 分 0.5m</p> <p>津波到達予想 佐渡 22 時 30 分 0.5m</p>	
17	<p>07 : 33</p> <p>(07 : 39)</p> <p>07 : 53</p> <p>08 : 37</p> <p>08 : 58</p>	<p>アナ : はい。岩手県盛岡市のスタジオからお伝えます。始めに岩手県でも、死亡の情報が入ってきました。岩手県の沿岸北部、久慈市で、車が流されて 1 人が死亡したということです。岩手県沿岸北部の久慈市で車が流され、1 人が死亡したということです。</p> <p>先ほどからご覧いただいていますこの映像は、岩手県の宮古市の映像です。ここには魚市場や産直施設などがあります、宮古市の出崎埠頭です。駐車していたとみられる車が、大量に津波によって流されました。大津波警報が発令されている岩手県内では、各地で 3 m 以上の津波が押し寄せています。宮古市では午後 3 時 21 分に最大波 4 m 以上、大船渡市では午後 3 時 15 分に、最大波 3.2m 以上、釜石市では午後 3 時 21 分に最大波 4.1m 以上、それぞれ観測しました。</p> <p>岩手県には、現在も大津波警報が出されています。ご覧のように、津波により三陸沿岸部では、港が浸水。岩手県の、ご覧いただいている宮古市やその他、釜石市の港などで、多数の車が海に流されたということです。</p> <p>さて、岩手県では、最大震度 6 弱の揺れを観測しました。6 弱が沿岸南部と内陸の各地。そして震度 5 弱が沿岸北</p>	<p>JNN地震速報 17 時 05 分頃に地震 M5.8</p> <p>震源は福島県沖 深さは約 30km</p> <p>震度 3 涌谷町 登米市 大崎市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 須賀川市 桑折町 田村市 福島伊達市 相馬市 樽葉町 双葉町 浪江町 南相馬市 猪苗代町 会津美里町</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17 時 05 分頃に地震 M5.8</p> <p>震源は福島県沖 深さは約 30km</p> <p>震度 3 涌谷町 登米市 大崎市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 須賀川市 桑折町 田村市 福島伊達市 相馬市 樽葉町 双葉町 浪江町 南相馬市 猪苗代町 会津美里町</p>	<p>岩手 IBC</p> <p>スタジオ</p> <p>宮古市出崎埠頭</p> <p>地震速報</p>

17	09:13	部でした。 現在の県内のライフラインや被害の情報です。ご覧いただいているのは、地震発生直後の盛岡市内のスーパーの様子です。東北電力岩手支店によりますと、県内ほぼ全域で停電が発生しているもようだそうです。これに伴って県内の道路では、信号機が動いていないところが多数あります。		
	09:37	交通情報です。J R 東日本の新幹線、在来線、I G R 岩手銀河鉄道、三陸鉄道、すべて運転を見合わせています。また、空の便、花巻空港は、現在閉鎖されています。そして高速道路は、県内のほぼ全線で通行止めとなっています。		
	10:00	被害情報です。初めにもお伝えしましたが、岩手県の沿岸北部、久慈市で、車が流され1人が死亡したということです。県総合防災室によりますと、地震に伴って、盛岡や釜石などでは、火災も発生しています。また、宮古市田老や山田町、こちらは沿岸ですが、津波で住宅に被害が出ているということです。その他、詳しい情報は入っていません。		
	10:28	また、岩手署によりますと、地震によって、岩手県岩手町というところの道路が、複数箇所陥没しており、信号が止まっているということです。県警の...		
17	10:42	長峰：はい。 堀尾：さあ、続いては気象庁、ハク(?)記者に伝えてもらえますか。気象庁お願いします。		
17	10:48	記者：はい。気象庁です。気象庁は、はい、気象庁は、先ほど記者会見を開き、今後1カ月は余震に対する注意が必要で、またこの間には、マグニチュード7クラスの余震が起きる可能性があるとしています。気象庁は先ほどの会見で、今回の地震の名称を「東北地方太平洋沖地震」と命名しました。また、当初7.9としたマグニチュードを8.4に修正したほか、青森県日本海沿岸、千葉県内房など、8カ所でていた津波警報を、大津波警報に引き上げるなどしました。		気象庁
	11:21	今回の地震は規模が非常に大きいため、気象庁は津波が半日から1日続くとしています。また、周期が長いから、何十分も後に、第2波、第3波が来る可能性があることから、津波が一度到達し終えたからといって、決して海外に戻らないよう、注意を呼びかけています。		
	11:41	気象庁は、余震活動の全貌は見えないとしています。断層の長さは数百キロに及ぶため、広範囲で余震に対する警戒が必要です。以上、気象庁からお伝えしました。		
17	11:54	堀尾：はい。気象庁からお伝えしました。では報道カメラからは、最新情報を佐古さん、伝えてください。お願いします。		
17	12:00	佐古：はい。今もありました、マグニチュード8.4と発		報道カメラ

17	<p>12 : 14</p> <p>12 : 35</p> <p>13 : 01</p> <p>13 : 27</p>	<p>表されました、東北地方太平洋沖地震は、午後2時46分頃発生しました。震源地は三陸沖で、震源の深さは10km、宮城県北部の栗原市では、震度7を観測しています。</p> <p>またこの地震に続いて、午後3時15分頃、茨城県沖でも、最大震度6弱を観測する地震がありました。こちらは震源の深さがおよそ80km。地震の強さを示すマグニチュードは7.4と推定され、茨城県鉾田市では、震度6弱を観測しています。その後も断続的に地震が発生しております。</p> <p>そして、最初の三陸沖の地震で気象庁は、北海道から徳島にいたる太平洋側や小笠原諸島、また、青森の日本海側でも、大津波警報を発令しました。予想される津波の高さは、岩手、宮城、福島、茨城、千葉の九十九里・外房で10m以上となっていて、今後も大きな津波が来る恐れがあります。沿岸の方はできる限り海岸から離れ、安全な場所に避難をしてください。</p> <p>最初の三陸沖の地震では、震度7を観測したのが宮城県栗原市。震度6強が仙台市、福島県白河市、茨城県日立市、宇都宮市。震度6弱が宮城県気仙沼市、福島県郡山市、水戸市、栃木県大田原市、岩手県釜石市、群馬県桐生市、埼玉県宮代町、千葉県成田市となっています。</p> <p>そして、被害状況ですけれども、宮城県警によりますと、石巻市で落下物により1人が死亡しました。また、仙台市では、中学生の男子生徒1人が津波に流されて、行方不明となっています。そしてこちらは岩手県ですが、現地の消防によりますと、岩手県久慈市の漁港で...</p>		
17	<p>13 : 48 (14 : 06)</p> <p>14 : 11</p> <p>14 : 29</p> <p>14 : 58</p>	<p>記者：今来てるんですかね。今来てます。再び福島から地震の情報をお伝えします。午後2時46分頃、三陸沖を震源とする地震がありまして、白川市や須賀川市などで、震度6強。郡山市など震度6弱を観測しました。そして、つい先ほども大きな余震がありました。十分にご注意ください。</p> <p>ご覧いただいているのは、福島県富岡町、津波の第1波の様子です。津波の第1波の様子です。大きく波がうねっています。そして岸壁に打ち付けています。午後3時35分の福島県富岡町、津波の第1波の様子です。波が大きく押し寄せています。</p> <p>これまでに入っている情報をお伝えします。福島県伊達市保原町の生協で、屋根が落下して、消防が救出に当たっていると情報が入ってきました。これは市民からの情報です。そして西郷村役場から、羽太地区で車1台が土砂崩れで埋まっているという情報が入っています。それから、社会福祉施設、太陽の国管理センターで、エレベーターに閉じ込められている人がいるということです。</p> <p>西郷村役場の情報によりますと、羽太地区で車1台が土</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木南部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木北部 千葉北東部 千葉北西部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木南部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木北部 千葉北東部 千葉北西部</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木南部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 栃木北部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部</p>	<p>福島TUF 地震速報</p>

17	<p>15 : 14</p> <p>15 : 37</p>	<p>砂崩れで埋まっているということです。そして、社会福祉施設、太陽の国の管理センターでは、エレベーターに閉じ込められている人がいるということです。</p> <p>さらに南相馬市原町区の老人施設ヨッシーランドでは、5人が亡くなったということです。5人が亡くなったということです。また、県によりますと、須賀川市で死者が1人いるということです。詳細は不明です。さらに双葉町で住宅が全壊して、中に住民が閉じ込められているという情報も、こちらには入って来ています。</p> <p>ご覧いただいているのは、地震発生直後の郡山第二中学校の様子です。安達地方広域消防本部によりますと、建物の倒壊が数件あるということです。うち、本宮市のアルプス物流で、一部建物が倒壊し、1人病院に搬送されました。容体は不明です。また、アサヒビール福島工場でも、一部建物に倒壊の危険があり、従業員が避難しているという情報が入ってきています。また、福島県天栄村では、けが人が1人いるという情報が入ってきています。さらに、伊達広域消防本部によりますと、管内で1人が心肺停止で病院に運ばれたという情報が入っています。情報が入っています。さらに...</p>	<p>JNN地震速報 17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木南部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 栃木北部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部</p> <p>JNN地震速報 17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 下越</p>	
17	<p>16 : 21</p> <p>(16 : 23)</p> <p>16 : 50</p> <p>17 : 23</p>	<p>佐古：はい。福島からお伝えしました。さて、関東地方でも被害の情報が入ってきています。茨城県によりますと、高萩市内で、この地震のために建物の屋根が崩れて、70代の女性1人が死亡したということです。さらに竜ヶ崎市の消防によりますと、竜ヶ崎市寺後で、建物の外壁が崩れ、60代の男性が心肺停止に。常陸太田市内でも、80代の女性が自宅で建物の下敷きとなり、心肺停止の状態だということです。</p> <p>また、東京千代田区の九段会館で、屋根が落ちて、中にいた25人が下敷きとなりました。このうち50代の女性1人が意識不明の重体。重傷者が5人いるもようです。さらに、栃木県芳賀町の本田技研で、建物の一部が倒壊し、1人が意識不明となっています。栃木県内では、下野市の国分寺中学校でも屋根が崩落し、生徒26人が下敷きになっているもようです。現在消防などが救助活動を続けています。</p> <p>また、横浜市のボウリング場、ハマボールで建物の屋根が落ちて、およそ10人が一時下敷きをなりました。消防などが救助活動を行って、全員軽傷で、命に別条はないということです。さらに千葉県でも、千葉市内で火災が起きて5人がけが。成田空港でも1人がけがをしたということです。</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃地震がありました</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃の地震 M6.4</p> <p>震源は茨城県沖 深さは約40km</p> <p>大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです</p> <p>震度4 いわき市 大田原市 高根沢町</p> <p>各地域の震度は以下の通りです</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 下越</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17時12分頃の地震 M6.4</p> <p>震源は茨城県沖 深さは約40km</p>	報道カメラ 地震速報
17	<p>17 : 41</p> <p>17 : 56</p>	<p>今回の東北地方太平洋沖地震で、これまでに千葉県や茨城県、それに岩手県などで、3人が死亡、5人が意識不明の重体という情報が入っています。また、土砂崩れや津波で、9人が行方不明です</p> <p>続いて、工場などへの影響です。千葉県市原市にあるコ</p>	<p>大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです</p> <p>震度4 いわき市 大田原市 高根沢町</p> <p>各地域の震度は以下の通りです</p> <p>震度4 福島浜通り 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中</p>	

		<p>スモ石油の製油所で、火災が起きています。タンクが燃えているようです。一方、J X 日鉱日石エネルギーは、宮城の仙台、茨城の鹿島、神奈川の根岸の各製油所について、現在操業を停止しています。また、日産自動車は、福島県いわき市にあるいわき工場への影響について、被害の状況などについて現在確認を進めています。</p>	<p>部 山形村山 山形置賜 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 下越は以下の通りです</p>
17	<p>18 : 26</p> <p>18 : 46</p> <p>19 : 30</p>	<p>それから、ライフラインです。東北電力によりますと、午後4時半現在、青森県、秋田県、岩手県の全域と、山形県、宮城県のほぼ全域で、停電しているということです。午後4時半現在、青森県、秋田県、岩手県の全域と、山形県、秋田県（※宮城県）のほぼ全域で停電しているということです。</p> <p>また、東京電力によりますと、午後4時半現在、関東地方の各地でも停電が起きていて、茨城県内で86万9900軒、栃木県内で56万8200軒、群馬県内で23万3900軒、埼玉県内で34万4700軒、千葉県内で35万2500軒、東京都内で11万9800軒、神奈川県内で128万8600軒、山梨県内で14万6000軒、静岡県内で11万8500軒が停電です。東京電力管内だけで、404万軒以上が現在停電しています。</p> <p>それから、ガスへの影響です。東京ガスによりますと、午後3時半現在、茨城県日立市の全域、およそ3万5千軒と、茨城県牛久市の一部、茨城県竜ヶ崎市の一部、横浜市西区の一部で、ガスの供給が停止しているということです。</p>	
17	<p>19 : 48</p> <p>20 : 34</p>	<p>それから、帰宅時間となっていますけれども、交通機関へも非常に大きな影響が出ています。まずは鉄道です。午後5時現在、J Rによりますと、山手線を含む首都圏の在来線は、すべて運行を見合わせています。また、私鉄各社によりますと、京王線、小田急線、東急線、西武線、東京メトロ、都営地下鉄でも、全線で運行を見合わせています。職員が歩いて線路の安全を確認するため、復旧までにはかなりの時間がかかると見られています。また、東海道新幹線は、東京静岡間で引き続き運行を見合わせています。上越、東北、秋田、長野、山形の各新幹線は、午後5時前に終日運行見合わせを決めました。また今、余震が起きています。東京TBSのこの局内でも、大きな揺れを感じています。皆さま、落ち着いて行動してください。また、都営バスは、午後5時前に運転を再開しましたが、間もなく帰宅時間を迎えるため、帰宅に大きな混乱が予想されます。また、首都圏の鉄道、全面的にストップしています。帰宅できない人が大勢出ている状況です。</p>	
17	20 : 58	<p>それから、政府の動きです。菅総理は、先ほど番組冒頭でもご覧いただきましたけれども、記者会見で、被災された方には心からお見舞いを申し上げます。国民の皆さま</p>	

		<p>まの安全を確保し、被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げて取り組む。国民の皆さまも、今後引き続き注意深くテレビやラジオの報道を見て、落ち着いて行動するよう、心からお願い申し上げますと、国民に呼び掛けました。またその後、枝野官房長官が会見を行って、被害の拡大、救援に全力を挙げており、被害状況は順次把握していくと述べ、緊急対応を優先していることを明らかにしました。さらに、余震や津波の第2波、第3波に備えてほしいと、呼び掛けています。</p>		
17	21 : 54	<p>また、韓国政府は、東北地方太平洋沖地震の発生を受けて、日本政府から要請があれば、救助活動や被害復旧を支援するため、消防防災庁の救助団を緊急派遣する予定だということです。現在、1次派遣のための救助隊員らおよそ40人、2次派遣のための隊員ら30人が対機しているということです。</p>		
17	22 : 17 22 : 45	<p>それから、警察庁からの情報です。中部、近畿、中国の各管区警察に対して、広域緊急援助隊の出動を警察庁が指示しました。出動準備が整い次第、被災地に向けて派遣します。警察庁によりますと、この地震による各地の被害ですが、福島県では、各地で土砂の崩落が確認されている他、福島県庁の本庁舎に被害が出ていて、県庁の機能が十分に果たせない状態になっているということです。</p> <p>一方、福島県警察本部の庁舎の建物にも被害が出ています。福島県警は、午後3時5分、警察本部の機能を福島警察署に移転しました。岩手県では釜石市内の橋が崩落した他、釜石港で車両数十台が海に浮いているのが確認されています。また、青森県と福島県の原因ですが、この原因には、外見上、異常は確認されていないということです。青森と福島の原因には、外見上、異常は確認されていないということです。</p>		
17	23 : 19 (23 : 33) 23 : 54	<p>そして、金融機関への影響ですが、みずほ銀行によりますと、東北地方など83の拠点に設置されている多数のATM、現金自動預け払い機が使用できない状態になっているということです。その他、三菱東京UFJ銀行と三井住友銀行も、東北地方などの一部のATMで、使用できない状態になっています。さらにセブン銀行によりますと、宮城、岩手、山形などの東北各県や、北関東地域のセブンイレブンにあるATM、およそ1600台が使えなくなっているということです。</p> <p>続いて、証券会社の影響です。国債の売買を仲介する日本相互証券は、地震直後に取引を中断し、その後の取引を中止しました。また、一方の証券、また一部の証券会社では、午後4時55分現在、東証の売買システムに接続する回線がダウンしているということです。</p>	<p>JNN地震速報 17時19分頃の地震 M6.7 震源は茨城県沖 深さはごく浅い 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度4 須賀川市 いわき市 鹿嶋市 筑西市 鉾田市 高根沢町 春日部市 銚子市 旭市 東庄町 匝瑳市 香取市 各地域の震度は以下の通りです 震度4 福島中通り 福島浜通り 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北東部 震度3 宮城北部 宮城南 宮城中部 山形村山 山形置賜 会津 茨城北部 栃木北部 群馬北部 群馬南部 埼玉北部 千葉北西部 千葉南部 東京23区 神奈川東部 神奈川西部 中越 山梨中・西部 山梨</p>	地震速報
17	24 : 14	<p>それから、再び帰宅時間となっています、交通機関への</p>		

		<p>情報をお伝えします。今ご覧いただいているのは、新宿駅南口の状況ですけれども、午後5時現在、JRによりまして、山手線を含む首都圏の在来線、ほぼ運行を見合わせています。すべて運行を見合わせています。また、私鉄各社によりまして、京王線、小田急線、東急線、西武線、東京メトロ、都営地下鉄でも、全線で運行を見合わせています。職員が歩いて線路の安全を確認するため、復旧までにはかなりの時間がかかると見られています。また、東海道新幹線は、東京静岡間で引き続き運行を見合わせています。さらに、上越、東北、秋田、長野、山形の各新幹線も、午後5時前に終日運行見合わせを決めました。</p>	<p>東部・富士五湖 JNN地震速報 17時19分頃の地震 M6.7 震源は茨城県沖 深さはごく浅い 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度4 須賀川市 いわき市 鹿嶋市 筑西市 鉾田市 高根沢町 春日部市 銚子市 旭市 東庄町 匝瑳市 香取市 各地域の震度は以下の通りです 震度4 福島中通り 福島浜通り 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北東部 震度3 宮城北部 宮城南 宮城中 山形村山 山形置賜 会津 茨城北部 栃木北部 群馬北部 群馬南部 埼玉北部 千葉北西部 千葉南部 東京23区 神奈川東部 神奈川西部 中越 山梨中・西部 山梨東部・富士五湖</p>
17	<p>25:03</p> <p>25:12</p>	<p>また、都営バスは、午後5時前に運転を再開しましたが、間もなく帰宅時間を迎えるため、帰宅に大きな混乱が予想されます。</p> <p>首都圏の鉄道は、全面的にストップしています。帰宅できない人が、大勢出ているもようです。現在ご覧いただいているのは、東京JR渋谷駅前の状況です。電話ボックスの前にはかなりの長蛇の列ができています。首都圏の交通機関、ほとんどがストップしていますが、東京都によりまして、午後4時、都営バスは全線で運転を再開したということです。また都営荒川線も、午後4時半過ぎに運転を再開したということです。ここまで、現在入っている被害状況について、まとめてお伝えしました。</p>	
17	<p>25:43</p> <p>25:58</p>	<p>堀尾：はい。ご覧いただいているのは、新宿の様子ですけれども。</p> <p>長峰：渋谷の駅も映っていました。</p> <p>堀尾：渋谷も、ええ。もうとにかく携帯電話が通じにくいという状態です。公衆電話の前にはたくさんの人が並んでいたり。</p> <p>長峰：もう列ができていますね。</p> <p>堀尾：あるいは、首都圏の交通機関は、もうほとんどがストップ。</p> <p>長峰：ほとんど、はい。</p> <p>堀尾：ただ。</p> <p>長峰：午後4時に都営バスは全線で運転を再開し、都営荒川線も、午後4時半過ぎに運転を再開したということですが、皆さん、帰る手段がないということで、連絡も取れない。</p> <p>解説1：はい。状態です。こういうときは、なるべく今いるところを動かさない。いわゆる帰宅困難者と言われて、地震が起きるときに、その、発生する、これも一つそうなんですけれども、とにかくこういうときには、今いる場所なんです、しばらくいて、その待機して、もうちょっと状況を見たほうが良いと思いますよ。</p> <p>長峰：はい。</p> <p>解説1：ええ。</p>	

17	26 : 25 26 : 40	堀尾：こうたびたび今余震が起きてますんで、この分दैくと、やっぱりこう、運転再開するまでの点検する、これはかなり時間かかりそうですね。 解説1：最終的にはずっとあの、作業員が見て回ります。 長峰：ええ。 解説1：それを確認するのにやっぱりかなりの時間がかかりますから。 長峰：そうですね。 堀尾：ええ。 解説1：はい。 長峰：電気も今ついていない状況が、今後夜深まってくと、まあ、本当にあの、パニック状態になる方がいらっしやるかもしれませんが、どうぞ落ち着いて、十分安全に注意をして、余震がまだ起きてますので、気を付けていただきたいと思います。 堀尾：では、地震発生からこれまでの被害を、VTRにまとめましたのでご覧いただきましょう。		
17	27 : 04	アナ：...ものが落ちてくる、棚が倒れるなどの、大変強い横揺れを感じました。かなり長い時間だったように思われます。 男性：...ええ。今すごい揺れを...		福島TUF
17	27 : 14	ナレ：午後2時46分、宮城三陸沖を震源とする、マグニチュード8.4の地震が発生した。		ナレーション
17	27 : 22	男性：TBCの本社内にある一室なんですが、ご覧のように、机や本棚、棚などが散乱しています。揺れの大きさを物語っています。 アナ：直後の宮城県庁の様子です。地震発生直後の県庁の様子。ものが棚から散乱している様子が伺えます。		宮城TBC
17	27 : 46	ナレ：震度7を記録したのは、宮城県の栗原市、宮城、福島、岩手を中心に、強い揺れが観測された		ナレーション
17	27 : 56	アナ：仙台空港も、津波の被害に遭いました。これはちょうど津波が到達している様子です。少し前の様子ですけれども、繰り返しお伝えしております。仙台空港も津波が到達しています。そして川を津波が、その逆流しているという状況もあります...		宮城TBC 仙台空港
17	28 : 15	ナレ：これは仙台空港の様子。津波が濁流となって、滑走路を飲み込んでいく様子が分かる。		ナレーション
17	28 : 46	アナ：現在の女川の様子、建物が完全に、そして車も流されている様子が見て取れます。建物が完全に海につかって、そして車が流されています。		宮城TBC 女川
17	29 : 00	ナレ：津波は住宅街も襲った。 アナ：津波が押し寄せ、そしてご覧のように...		ナレーション
17	29 : 05 29 : 15	ナレ：千葉県にあります、コスモ石油の工場です。こちらの工場では、大きな火災が起きております。 ナレ：千葉県の工場地帯。黒煙と炎を上げて、激しい火災が起きている。		ヘリコプター 千葉中央区上空

17	29 : 27 29 : 40	議員：...まとめたものが、この表です。これは、この表で間違いないかどうか、政府参考人にお尋ねします。 男性：机の下にお隠れください。		国会議事堂
17	29 : 49	ナレ：東京でも施設の屋根が崩落し、けが人が多数出たもようだ。		ナレーション
17	30 : 05 30 : 11	市民：駐車場の出口が崩壊しちゃって、今帰れない。出られないですね。 ナレ：東京町田市の大型ディスカウントストアでは、建物の一部が崩壊した。		東京都町田市 大型ディスカウントストア
17	30 : 22	女性：今、人々が公園のほうに逃げていきます。大きな余震が来ています。横浜市内です。 スピーカー：離れてください。建物から離れてください。倒壊する恐れがあります		横浜市内
17	30 : 39	男性：家が大きく揺れ、ずれております。地面から外壁が、隙間ができてしまいました。		横浜市内
17	30 : 48	男性：商品がすべて、床に飛散しております。ああ、これはひどい。		
17	30 : 54	市民：学校に、体育館にいたんですけど、卒業生を祝う会があって、ちょっと出し物みたいな、見てたんですけど、もう立ってられないぐらいに。 記者：立ってられない。 市民：はい。プールの水がざわっと出て来たので、そっちも危ないって言って、反対側から逃げたと。		
17	31 : 09	気象庁：今も津波が来ていますけれども、まだ来ていないところでも、これからさらに大きな津波が来る可能性がありますので、絶対に戻らないでください。高いところに避難...		気象庁
17	31 : 19	ナレ：気象庁は、北海道から関東地方までの太平洋岸に、大津波警報を発令した。		ナレーション
17	31 : 27	記者：津波が押し寄せて、海の水がここまで...		仙台新港
17	31 : 31	ナレ：仙台新港では10mの津波を観測。福島県相馬市でも、7.3mの津波が襲った。宮城県の東北電力、女川原発は、自動停止となった。また、東京電力の福島第一、第二原発とも、運転を停止した。		ナレーション
17	31 : 51	アナ：会津若松市内では、複数の箇所では液状化現象が起きているということです。こちらは地震発生直後のテレビュー福島、郡山支社の様子をご覧いただいています。郡山駅からですね、歩いて10分くらいにあります、郡山支社、テレビュー福島の様子をご覧いただいています。そしてこれは未確認情報なんですけれども、いわきの工場で、水蒸気爆発のようなものがあったという情報も、今入って来ました。そして、郡山市の、郡山広域消防本部によりますと...		福島TUF テレビュー 福島郡山支社
17	32 : 23	ナレ：これは茨城県。多数の家屋が倒壊していることが分かる。関東地方だけでも午後4時50分現在、少なくとも2人が死亡し、2人が心肺停止、3人が意識不明と		ナレーション

		なっている。		
17	32 : 50 (32 : 59)	堀尾：さあ、今までのVTR、振り返って見たんですけども、2時46分に起きた、東北地方太平洋沖地震。マグニチュードが大きくなりました。マグニチュード8.8に変更になりました。8.4だったんですけどもね、8.8に変わりました。 長峰：4から8.8に。 堀尾：かなり巨大地震と言えるわけですね。そうこうしているうちにも、今震度が、余震が起きていますね。 長峰：余震が起きております。 堀尾：さあ、続いては山形県の中山町、倒壊した倉庫前から中継で伝えてもらいます。	JNN地震速報 17時31分頃地震がありました 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り 会津 栃木北部 震度3 山形村山 山形置賜 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木南部 千葉北西部 JNN地震速報 7時31分頃地震がありました 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り 会津 栃木北部	Nスタジオ 地震速報
17	33 : 23 33 : 52 34 : 19 34 : 46 35 : 02	記者：山形県中山町にありますJA長崎にきています。JA長崎の、普段は米備蓄用に使われている小屋なんです、この小屋がですね、まるで大きな怪獣が近くを通過して、上から踏みつけたように、ぺちゃんこに上から、とてつもない圧力で押しつけられたように、屋根の一部が倒壊しています。普段は米の備蓄に使われているというこの小屋。ちょうど小屋の東側になるんですが、そちらがまるでぎ取られたように、上から踏みつけられたように、強い圧力で押しつぶされたかのように、激しく崩れています。 そして奥に土蔵があるのが見えますでしょうか。住宅、そして土蔵でしょうか。あちらの建物のすぐ手前側が、実は一般の町民の方がですね、普段使っている道路でした。この道路の上に、屋根がですね、まるで覆いかぶさるように、雪崩が襲いかかるように崩れていっている様子、ご覧いただけますでしょうか。こちらの道にですね、地震が起きた当時は人がいなかったということで、それは本当に不幸中の幸いでした。中に人がいて、そして車があった、そのことを想像するとですね、ぞっとします。 そしてこの山形県中山町では、先ほどから本当に、1、2分前もありました。強い余震を感じています。この余震の度に、この後ろにあります米の備蓄の小屋、この小屋がですね、ぎしぎしみしと音を立てて揺れます。非常にこのすぐそばにいと恐怖を感じ増す。激しい、地面がうなりを上げるかのようなその揺れ、その揺れと同時に、余震の度にこの建物がみししみしとうなりを上げるような、そういった状況が、今あります。 そしてこちら、残っている棟なんですけれども、建物自体、かたちは残っていても、柱がひしゃげ、そして壁がはがれ落ちるような状態。この状態ではとても中に入れるような状態ではありません。非常に危険です。余震の度にみししみと音を立てている。そんな建物です。 本当にですね、これ東側の屋根、ほんと建物のおよそ三分の一になりますでしょうかね。その三分の一ともいえるその屋根の部分がですね、大きく崩れまして、そして	震度3 山形村山 山形置賜 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木南部 千葉北西部 JNN地震速報 17時31分頃地震がありました 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 会津 栃木北部 震度3 岩手内陸南部 最上 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 JNN地震速報 17時31分頃地震がありました 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 会津 栃木北部 震度3 岩手内陸南部 最上 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 JNN地震速報 17時31分頃の地震 M5.8 震源は福島県沖 深さは約30km 大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです 震度4 加美町 色麻町 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 仙台市 東松島市 松島町 利府町 上山市 二本松市 川俣町 田村市 福島伊達市 相馬市 檜葉町 富岡町 双葉町 浪江町 新地町 飯舘村 南相馬市 猪苗代町 大田原市 那須町 各地域の震度は以下の通りです 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 福島中通り 福島浜通り 会津 栃木北部 震度3 三八上北 岩手内陸南部 最上 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木南部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部	中継・山形 県中山町

		道を覆いかぶせるように、道に覆いかぶさるように崩れている、そんな状態です。本当にここに通行人がいなくてよかったなというように心から思います。山形県の中 山町、長崎地区の倒壊現場からお伝えしました。	
17	35 : 28 36 : 02	長峰：お願いします。 記者：はい。東京千代田区の九段会館の前からお伝えします。私の後ろにある九段会館では、当時、日本観光専門学校 の卒業式が行われていました。父兄や生徒ら 737 名が参加していたということです。地震が発生すると同時に、1 階の大ホールの天井が崩落し、直撃をしたということです。28 名の方がけがをし、うち 6 名が重傷、そのうち 1 名の 50 代の女性の方が重体だということです。すでに皆さん、都内の病院へ搬送済みです。 当時にいた方に話を伺うことができたのですが、地震発生と同時に、すごい悲鳴と共に、多くの方が外へ逃げてきたということです。中には血だらけで搬送されるような方もいらっしゃったということです。現在はもう都内へ皆さん搬送が終了しているということです。以上、現場からお伝えしました。	
17	36 : 24 (36:29) 36 : 36 37 : 36	堀尾：はい。九段からお伝えしましたが、またちょっと揺れましたね。 長峰：ええ。頻りに余震が起きていますので、まず身の安全を図ってください。さて、現在もう 5 時 36 分を過ぎていますが、帰宅時間となっています。交通機関へも非常に大きな影響が出ています。 36 : 36 鉄道からお伝えします。午後 5 時現在、J R によりますと、山手線を含む首都圏の在来線は、全て運行を見合わせています。また、私鉄各社によりますと、京王線、小田急線、東急線、西武線、東京メトロ、都営地下鉄でも、全線で運行を見合わせています。職員が歩いて線路の安全を確認するため、復旧までにはかなりの時間がかかるとみられています。また東海道新幹線は、東京静岡間で、引き続き運行を見合わせています。上越、東北、秋田、長野、山形の各新幹線は、午後 5 時前に終日運行見合わせを決めました。都営バスは、午後 5 時前に運転を再開しましたが、間もなく帰宅時間を迎えますため、帰宅の足に大きな混乱が予想されます。 37 : 36 この今の映像は、J R 渋谷駅前。バスが入って来ていますが。 堀尾：渋谷駅ですね。 解説：渋谷駅ですね。バスが入って来ていますね。 解説：都営バスが動いていますんで、それで人が集まっているんだと思うんですけど。 長峰：ただ大変な混雑が予想されますので、どうか皆さん、落ち着いて行動してください。首都圏の鉄道が全面的にストップしているため、帰宅できない人が大勢います。	J N N 地震速報 17 時 34 分頃地震がありました 震度 3 三八上北 岩手沿岸北部 岩手内陸北部 岩手内陸南部 茨城北部 J N N 地震速報 17 時 34 分頃地震がありました 震度 3 三八上北 岩手沿岸北部 岩手内陸北部 岩手内陸南部 茨城北部
			N スタジオ 地震速報

17	37 : 57	<p>堀尾：はい。まだその、津波がどンドン押し寄せている所もあるし、危険性もありますんでね、本当に第2波、第3波、気を付けてほしいと思います。</p> <p>それから先ほど、マグニチュード。あ、仙台につながますか。</p> <p>長峰：あ、中継ですか。</p> <p>堀尾：はい。仙台、の、はい。</p> <p>長峰：はい。じゃあ仙台を呼びましょう。</p> <p>堀尾：続いていますか。呼びますか。</p> <p>長峰：はい。</p>		
17	38 : 18 (39 : 08) 38 : 40 39 : 17 39 : 54	<p>記者：...メートルの津波が予想されていて、石巻市鮎川では、地震直後に10cmの第1派。午後3時20分に、3m30cm以上の最大波を観測しています。ご覧いただいているのは、津波が発生して津波に襲われている仙台空港の様子です。</p> <p>アナ：ご覧いただいているように、各地で本当に津波が、その、猛威が牙をむくと言いますか。石巻市では、住宅10棟が流出したという情報が入って来ております。石巻市で、住宅10棟が流出ということです。これは仙台空港に津波が到達した様子をご覧いただいております。気象庁は、三陸沖大地震というふうに呼んでおりますけれども、マグニチュード8.8に修正しました。関東大震災の7.9を上回って、国内の観測史上歳代のマグニチュードだということです。今回の地震、マグニチュード8.8、観測史上最大級の地震ということになりました。</p> <p>記者：それでは、TBCの社員、ツカモトさんと電話がつながっているようです。ツカモトさん、お願いします。</p> <p>アナ：ツカモトさん。</p> <p>ツカモト：はい。ツカモトです。今私は、仙台駅前にいます。</p> <p>堀尾？：はい。</p> <p>ツカモト：ここに来るまで、市役所前から青葉通り、常禅寺、ずっと歩いてきましたが、大勢の人がですね、まちを行き交っていました。自宅へ向かう方、職場へ戻る方、それから公衆電話に並ぶ方が非常に目立ちました。</p> <p>アナ：公衆電話、はい。</p> <p>ツカモト：まだあの方、市内ですね、騒然とした状態が続いています。</p> <p>アナ：ツカモトさん。</p> <p>ツカモト：はい。</p> <p>アナ：えっと、仙台駅の中、まだ立ち入り禁止なんではないか。</p> <p>ツカモト：そうです。はい。仙台駅を取材しようと思ひまして、少し動いたんですがね、駅の中にはちょっと今入れない状態ですね。</p> <p>アナ：はい。あと、JRも全部止まっているんですが。</p> <p>ツカモト：はい。まさにおっしゃるとおりで、JR全線</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時35分頃の地震 M5.5</p> <p>震源は茨城県沖 深さはごく浅い</p> <p>震度3 須賀川市 富岡町 水戸市 日立市 東海村 城里町 土浦市 石岡市 取手市 つくば市 鹿嶋市 稲敷市 筑西市 銚田市 常総市 真岡市 旭市 匝瑳市 香取市 山武市 成田市 佐倉市 八街市 印西市</p>	<p>仙台駅前、 仙台空港 地震速報</p>

		<p>止まっている状態が続いている感じです。ちょっとそこまでまだ取材ができていない状態ですが。</p> <p>アナ：ツカモトさん。あと、バスターミナルに大勢の方が今避難と言いますか、いらっしやる様子が見えたんですが、バスはどうか。到着してるんですか。</p> <p>ツカモト：いえ、バスはですね、ほとんど到着していません。あ、今1台、ちょうど私の目の前を通過するバスがありますが、ああ、もうあの、乗客いっぱい状態で。</p> <p>アナ：そうですね。</p> <p>ツカモト：走って...</p>		
17	<p>40 : 35</p> <p>(42 : 31)</p> <p>41 : 00</p> <p>41 : 39</p> <p>42 : 06</p>	<p>堀尾：...放送からの中継を交えての、今、番組をご覧いただいた訳ですけども。さあ、マグニチュードが、一番最初は、2時46分に発生した地震。7.9から8.4に修正され、たった今8.8になりました。これは関東大震災のマグニチュードを上回るということですか。</p> <p>島崎：はるかに上回りますね。</p> <p>堀尾：おお。</p> <p>島崎：はい。多分、気象庁始まって以来の最大規模の地震です。</p> <p>マグニチュードというのは、震源域の広さを表していて、地震の波を出すところが非常に広い。東北の宮城県、あるいはひょっとしたら岩手県にかかっているかもしれない、その沖から、南のほうは茨城県の沖くらいまでがいつべんに壊れたという、それが全部地震の波を出す元になってるし、あるいは津波を起こすような海底の隆起の元になっている。非常に大きな地震で、非常に広い地域が激しく揺れてますので、地盤の悪い所、そういった所は、いわば狙い撃ち、あっちこっちにですね、大変な被害が広がって。</p> <p>堀尾：これはマグニチュード8.8が起きた後に、30分以内に3回、7以上が起きて、これ、余震と見ていいんですか。</p> <p>島崎：余震と見ていいと思います。はい。</p> <p>堀尾：そうですね。ああ、でも、われわれはその、直下型地震の恐ろしさというのは阪神淡路大震災、あるいは今回ニュージーランドのクライストチャーチもそうですね。</p> <p>解説：ニュージーランドもそうですね。はい。</p> <p>堀尾：今回はどうなんですか。その、海底からかなり浅いところで起きてますよね。</p> <p>島崎：はい。</p> <p>堀尾：その恐ろしさがやっぱり今回、如実に出てくるんじゃないでしょうか。</p> <p>島崎：今回は非常に広い地域で地震が起きているということですので。</p> <p>長峰：今また揺れてますね。</p> <p>解説：はい。揺れている。</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時40分頃地震がありました</p> <p>震度5弱 福島浜通り</p>	<p>TBS スタジオ</p> <p>地震速報</p>

		<p>堀尾：まだ揺れています。ああ、また余震がありました。</p> <p>島崎：非常に広い地域が、ええ、大きく揺れたということですから、被害の地域が非常に広い。固まってない。ものすごく広い地域になっています。</p> <p>解説：プレートの境界ですね。</p> <p>島崎：ええ。プレートの境界の地点。これからいろんなものが出て来ると思います。まだまだ報道されてない、たくさんの被害があります。それがまず第一ですね。</p> <p>堀尾：はい。ほんの一部の情報を、われわれはこの中継とかVTRでお伝えしますが、先ほど仙台市の、流れる名取川が、ぐわっと逆流して。</p> <p>長峰：ものすごい、ええ。</p> <p>堀尾：その、川の外側の田畑がすべて津波で押し流されて。</p> <p>解説：緊急地震速報です。</p>		
17	42 : 41	<p>緊急地震速報。</p> <p>緊急地震速報。</p>	<p>気象庁緊急地震速報 福島県で地震</p> <p>強い揺れ 茨城 福島</p>	緊急地震速報
17	42 : 44	<p>解説：福島県ですね。</p> <p>長峰：地震が起きました。そのため、茨城、福島に強い揺れが来る恐れがあります。直ちに身の安全を図ってください。福島県で地震が起きました。このため、茨城、福島で強い揺れが来る恐れがあります。身の安全を図ってください。落ち着いて身の安全を図ってください。上からものが落ちてこないか、気を付けてください。ガラス窓にも注意してください。福島県で地震が起きました。強い揺れが茨城、福島などに来る恐れがあります。十分注意してください。</p>		
	43 : 14	<p>緊急地震速報が出ています。福島県で地震が起きたため、強い揺れが茨城と福島に来る恐れがあります。茨城と福島などに来る恐れがありますので、十分に注意してください。緊急地震速報が出ています。福島県で地震が起きました。このために、強い揺れが茨城、福島などに襲ってくる恐れがあります。十分に注意してください。まず身の安全を図ってください。先ほどから頻りに余震が起きていますので、ものが壊れやすく、倒れやすくなっています。十分に注意してください。</p>		
	43 : 48 (43 : 50)	<p>今、画面上は緊急地震速報は、消えました。地震速報が今入って来ています。震度5強が、福島浜通りです。</p>	JNN地震速報	地震速報
17	43 : 55	<p>堀尾：震度5強ですね。</p> <p>長峰：震度5強が福島浜通り、震度5弱が福島中通りで観測されています。</p> <p>解説2：今出ていた地図ですと、その震源に当たるバツの部分、予想される震源が内陸だったですね。</p> <p>長峰：はい。</p> <p>解説2：ですから、震度5強という、かなり内陸で、強い揺れを感じたということではないでしょうか。今まで</p>	<p>17時40分頃地震がありました</p> <p>震度5強 福島浜通り</p> <p>震度5弱 福島中通り</p> <p>震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸南部 最上 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区</p>	

17	44 : 29	<p>は海底を震源とする地震が、かなり大きいものが起きてましたけれども、今回のは内陸でひょっとしたら浅い所なのかもしれません。地震が起きたのかもしれないというケースだと思います。</p> <p>堀尾：沖で起きる地震と内陸の地震が、こういう同時にまた起きてくるという。</p> <p>島崎：はい。こういうこともありますし。</p> <p>堀尾：あるんですね。</p> <p>島崎：はい。それから、沖で起きた地震の震源域というのは、実は日本の下のほうまで伸びていますので、そこで地震が起きますから。</p> <p>長峰：今地震が、つい先ほど揺れました福島から中継です。福島呼びます。お願いします。</p> <p>男性：福島から来るって。</p> <p>女性：福島から来るそうです。</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時40分頃地震がありました</p> <p>震度5強 福島浜通り</p> <p>震度5弱 福島中通り</p> <p>震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸南部 最上 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区</p>	
17	44 : 53 (45 : 22) 45 : 33 46 : 07	<p>アナ：はい。先ほど、大きな地震がありました。このスタジオも大きく揺れました。福島市のスタジオは、震度5弱を観測しました。そして福島県浜通りは、震度5強を観測しています。このスタジオも大きく揺れました。現在ですね、福島県内では、テレビ福島の調べでは、亡くなった方が6人。そして行方不明者が11人という情報が入っています。福島県内、5時半現在、午後5時半現在、テレビ福島の調べでは、亡くなった方が6人。行方不明者が11人という情報が入っています。</p> <p>45 : 33 福島県警では、の調べによりますと、福島県相馬市岩子地内で、津波でほぼ全域が水没したということです。相馬市岩子地内で、津波でほぼ全域が水没したということです。また、南相馬市は、建物の倒壊が複数あるという情報も入ってきています。そして、相馬市役所によりますと、津波は海岸線から3、4kmほどありまして、国道6号線の辺りまで来ているということです。死者、行方不明者の情報、こちらにはまだ入っていないということです。</p> <p>46 : 07 相馬で、津波の最大波は、午後3時50分現在、7.3m以上という情報が入ってきています。また、福島県内では、依然信号機が停電中のところがあります。運転をされている方、十分に注意してください。十分に注意してください。福島県内では、午後5時半現在、テレビ福島の調べでは、亡くなった方が6人。そして行方不明者が11人という情報が入っています。</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時41分頃の地震 M5.8</p> <p>震源は福島県沖 深さ約30km</p> <p>大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです</p> <p>震度5強 富岡町</p> <p>各地域の震度は以下の通りです</p> <p>震度5強 福島浜通り</p> <p>震度5弱 福島中通り</p> <p>震度4 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸北部 最上 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区</p> <p>JNN地震速報</p> <p>17時41分頃の地震 M5.8</p> <p>震源は福島県沖 深さ約30km</p> <p>大きなゆれを観測した市町村は以下の通りです</p> <p>震度5強 富岡町</p> <p>各地域の震度は以下の通りです</p> <p>震度5強 福島浜通り</p> <p>震度5弱 福島中通り</p> <p>震度4 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸北部 最上 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区</p>	福島TUFスタジオ地震速報
17	46 : 27	<p>長峰：はい。</p> <p>堀尾：はい。水没した地域が、もう福島には出て来てるということで、3、4km。</p> <p>解説：相馬市ですね。</p> <p>堀尾：相馬市ですね。</p> <p>解説：はい。</p> <p>堀尾：3、4km津波が入って来るとするのは、高さにし</p>	<p>震度4 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山 山形置賜 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 三八上北 岩手内陸北部 最上 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区</p>	

		<p>たらものすごい高さになるわけですね。</p> <p>島崎：そうですね。巨大津波だと思います。はい。</p> <p>堀尾：さあ、続いては、岩手、IBCをつないでみます。最新情報をお願いします。</p>	
17	46 : 45 47 : 11 47 : 43	<p>アナ：はい。岩手県内でも、人的被害が出ています。岩手県警察本部の発表によりますと、今回の地震で、県内では10人の死者が出たということです。10人のうち5人が大船渡、陸前高田が2人、また、久慈市で車に乗っていて津波にのみ込まれた1人、その他2人は不明です。また、山田町では、複数の遺体が確認されています。また、久慈市では建物が倒壊して、1人がけがをしています。その他、宮古、北上の消防にも、けが人の情報が入っています。また、二戸地区の広域消防本部管内で、地滑りが発生しています。また、花巻市の葛丸ダムで岩盤が崩落、川がせき止められたという情報も入ってきています。それから、遠野市と釜石市のあいだの新仙人峠道路で、橋が崩落したということです。</p> <p>岩手県内では、各地で3m以上の津波が押し寄せています。宮古市では、午後3時21分に、最大波4m以上、大船渡市では午後3時15分に、最大波3.2m以上、また、釜石市では午後3時21分に、最大波4.1m以上、大きな津波をそれぞれ観測しました。現在も大津波警報が発令されています。</p>	岩手 IBC スタジオ
17	48 : 10	<p>堀尾：はい。岩手からお伝えしました。さあ次は、茨城の大洗上空のヘリコプターから中継で伝えてもらいます。お願いします。</p>	
17	48 : 20	<p>男性：現在、大洗海岸上空です。津波の影響でしょうか。船がひっくり返っております。津波の影響で、漁船が数隻、ひっくり返っております。</p> <p>堀尾：どうですか。津波は海岸線を越えていますか。陸地にまで行ってますか。</p> <p>長峰：聞こえますか。</p> <p>堀尾：聞こえますか。</p> <p>長峰：あ、今、渦巻いてますね。</p> <p>堀尾：ああ、ほんとだ。</p> <p>男性：ご覧のように。</p> <p>堀尾：渦を巻いてますね。</p> <p>男性：ご覧のように、渦らしきものも。</p> <p>堀尾：そうですね。渦を巻いてますけども、心配なのは、どうですか、陸のほうに津波は押し寄せてるでしょうか。確認できますか、そちらから。</p> <p>男性：現在上空からは、津波が押し寄せてる様子は確認できておりません。</p>	中継・茨城大洗上空
17	49 : 25	<p>堀尾：どうですか。</p> <p>長峰：動きがありますよね、波の。</p> <p>堀尾：ありますよね。</p>	

		<p>島崎：あるいは、引き波のときかもしれませんね。</p> <p>堀尾：しれない。第1波が襲って、そして引いてるところかもしれませんね。</p> <p>解説：うん。第1波は…</p> <p>塩崎：まあ、かなり前ですから、3波目か、ええ。</p> <p>堀尾：ああ、そうですか。</p> <p>解説：ただ、あのう。</p> <p>長峰：水没してますよね。</p> <p>島崎：あ、水没、水が水没…</p> <p>堀尾：水没してますね。</p> <p>解説：トラックが、トラックがこう、ぐちゃぐちゃになってますので、多分あの辺まで、最大時は行ってたと思うんですよ。</p> <p>堀尾：茨城空港がもう水没してましたからね。</p> <p>解説：はい。</p>	
17	49 : 51	<p>長峰：この渦巻きというのはどういうことなんですかね。</p> <p>島崎：これは多分、水が引くときに、洗面器、洗面所やなんかでぐるぐるって引きますけれども、あれと似たような現象ではないかと思えますけどね。</p> <p>解説2：早いスピードで引いていくんですよ。</p> <p>島崎：はい。</p> <p>長峰：これ、船が浮いてるのか。何かちょっと。</p> <p>堀尾：浮いてますね。</p> <p>解説1：浮いてますね。</p> <p>長峰：これ、巻き込まれる恐れっていうのは。</p> <p>解説2：もうすでに引き波の中に引き寄せられているのかもしれない。</p>	
17	50 : 17	<p>堀尾：あと、倒れていた船がありました。あれもやっぱり津波で、ごとと倒れるわけですよ。</p> <p>解説2：そうですね。要するに、港に停泊している船というのは、津波が来たときに、そのまま持ってかれて、これが凶器になる可能性があるんですね。これが家にぶつかったり、あるいは逃げようとする人にぶつかったり。ですから、漁船をよく沖出しと言ってですね、津波が来る前に、港の外に出すっていうような行為もあるんですけども、津波がそれを来るまでに、例えば去年のチリの地震のように、余裕があればそれは可能なんですけども、今回のように、時間があまりないケースでは、それはあまり現実的ではない。むしろ漁業関係者も陸地に逃げるべきなんです。</p> <p>堀尾：津波によるこういう渦巻きというのは初めて見ましたけれども、恐ろしいですね。</p>	
17	51 : 00	<p>解説1：さっきもどこかの漁港で、大きな船を、一生懸命に沖出ししようとしているんですけど、押し波とその引き波のあいだに挟まれて、本当に転覆しそう。だか</p>	

17	51 : 22	<p>らまさそういう押し引きの中で、こういう渦ができてくるんだと思うんですね。</p> <p>堀尾：はい。</p> <p>長峰：高台に逃げるしかないですね。</p> <p>島崎：そうですね。避難がまず第一ですね。</p> <p>長峰：できるだけ遠くへ。ええ。</p> <p>島崎：これで見ると、やはりかなり陸の中まで入ってきている。</p> <p>堀尾：被害が入って。</p> <p>長峰：茨城県大洗上空です。だんだん暗くなってきます。海も暗くなってきましたね。</p> <p>堀尾：そうですね。電気がついているかどうか。停電状態があるかもしれません。</p> <p>長峰：船が散乱している状態ですね。大きな船が。</p> <p>堀尾：うわあ、もう。</p> <p>解説2：折り重なっていますね。</p> <p>折尾：転覆している、今中継でお伝えしておりますヘリコプターからの中継映像ですが、ご覧のように、ずいぶんともう、ばらばらになっているということですか。</p> <p>島崎：はい。無残に・・・</p> <p>長峰：重なり合っ。先生、液状化のような状態にも。液状化というのか、その。</p> <p>島崎：これは多分津波の水だと思います。</p> <p>長峰：水ですか。はい。</p> <p>島崎：津波が上がった水がそのまま残っている状況だと思います。</p>		
17	51 : 55	<p>堀尾：はい。さあ、では新しい情報を、サコさん、報道カメラから伝えてもらえますか。</p>		
17	52 : 00 52 : 30	<p>サコ：はい。お伝えします。先ほどからお伝えしていますように、今日午後2時46分頃、東北から関東の広い範囲にかけて起きた非常に強い地震は、東北地方太平洋沖地震と名付けられましたけれども、象庁は先ほど、地震の規模を示すマグニチュードを、8.8と発表しています。そして被害の状況ですが、新たに岩手県で10人の死亡が確認されています。これで死者は16人、重体は5人、11人が行方不明となっています。</p> <p>また関東地方でも被害の状況が入ってきています。千葉県野田市では、67歳の男性が倒れたブロック塀で、頭を打って死亡しました。茨城県高萩市では、建物の屋根が崩れ、70代の女性1人が死亡したということです。</p> <p>さらに栃木県芳賀町の本田技研で、建物の一部が倒壊し、30代から40代の男性1人が、壁に挟まれて死亡しました。また、茨城県竜ヶ崎寺後で建物の外壁が崩れ、60代の男性が心肺停止に、同じく茨城県の常陸太田市でも、80代の女性が、自宅で建物の下敷きになり、心肺停止の状態だということです。さらに、栃木県下野市の国分寺中学校で、石膏ボードが落下、生徒26人が下</p>	<p>JNN地震速報</p> <p>17時47分頃の地震 M6.0</p> <p>震源は福島県沖 深さは約20km</p> <p>震度3 大船渡市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 石巻 松島町 常総市</p> <p>JNN地震速報 17時47分頃の地震 M6.0</p> <p>震源は福島県沖 深さは約20km</p> <p>震度3 大船渡市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 石巻 松島町 常総市</p>	報道フロア

17	53 : 22	敷きになり、このうち 13 歳の生徒が意識不明の重体です。 東京千代田区の九段会館では、屋根が落ちて中にいた 25 人が下敷きとなりました。このうち、50 代の女性 1 人が意識不明の重体、重傷者が 5 人いるもようです。また、東京八王子市で、スーパーマーケットのスロープが壊れ、女性 1 人が意識不明の重体となっています。	
17	53 : 42 53 : 56 54 : 29	それから、宮城県警によりますと、仙台市太白区では、旅館が倒壊し、複数の人が閉じ込められているもようです。仙台市太白区の旅館が倒壊し、複数の人が中に閉じ込められているもようです。 帰宅時間を迎えています。公共の交通機関、ほとんどがストップしています。帰宅する人たちに、大きな影響が出ています。まずは鉄道です。午後 5 時 40 分現在、JR によりますと、山手線を含む首都圏の在来線はすべて運行を見合わせています。また、私鉄各社によりますと、京王線、小田急線、東急線、西武線、東武線、東京メトロ、都営地下鉄でも、全線で運行を見合わせています。職員が歩いて線路の安全を確認するため、運行の再開までにはかなりの時間がかかると見られています。 また、東海道新幹線は、東京静岡間で、引き続き運行を見合わせています。上越、長野、東北、秋田、山形の各新幹線は、午後 5 時前に終日運行見合わせを決めています。都営バスは午後 4 時に運行を再開しましたが、帰宅時間を迎えて、帰宅する人たちに大きな影響が出ています。	
17	54 : 50	続いて道路への影響です。道路交通情報センターによりますと、関東地方では、首都高速を含む高速道路の全線で、通行止めとなっています。また、東名高速、中央道、関越道、東北道、常磐道などでも、一部区間で通行止めとなっています。	
17	55 : 06 55 : 25	空の便です。成田空港では、滑走路を閉鎖して、被害の確認を行っています。このため、成田空港に到着予定の便は、名古屋や金沢などに目的地を変更しています。ターミナルの建物にも被害が出ているということで、利用客らを建物の外に避難するよう、誘導しています。 羽田空港では、一時 4 本の滑走路を閉鎖して、被害の確認を行っていましたが、2 本の滑走路の安全が確認されたため、便数を制限して発着を行っています。便数を制限して離着陸を行っています。 この他、仙台空港には、午後 4 時前に津波が到達してしまして、現在滑走路を閉鎖しています。青森、山形、岩手花巻の各空港も、滑走路を閉鎖しています。	
17	55 : 35	続いてフェリーです。東京汽船によりますと、伊豆大島から東京の竹芝に向かう高速船は、津波に警戒するため、東京湾沖に避難しているということです。そして、	

		<p>その他のフェリーも、運行を見合わせています。その他のフェリーは、運行を見合わせています。</p> <p>また、東京都庁によりますと、東京新宿区の都庁にある83台のエレベーターが、すべてストップしているということです。中に閉じ込められている人はいないということです。</p>	
17	56 : 21	<p>続いて、工場などへの影響です。千葉県市原市にある、コスモ石油の製油所で、火災が起きています。タンクが燃えているもようです。一方、J X日鉱日石エネルギーは、宮城の仙台、茨城の鹿島、神奈川の根岸の各製油所について、現在操業を停止しています。</p> <p>また、ソニーによりますと、宮城県の登米市、多賀城市、白石市、さらに福島県郡山市、本宮市にある、合わせて六つの工場の稼働を停止しているということです。すべての従業員が避難していて、復旧のめどは立っていないとしています。</p>	
	56 : 57	<p>トヨタ自動車は、本社に緊急対策本部を設置して、グループ会社を含めた全国の工場への被害状況を確認しています。日産自動車は、福島県いわき市にあるいわき工場への影響について、被害の状況などについて現在確認を進めています。</p>	
	57 : 15	<p>三井化学によりますと、茨城県神栖市と、千葉県茂原市にある二つの工場の操業を停止しています。火災やけが人などは出ていないということです。また、三菱化学では、茨城県神栖市にある事業所の操業を停止しています。火災やけが人などは出ていないということです。</p>	
17	57 : 34	<p>ライフラインについてお伝えします。東京電力によりますと、午後5時20分現在、青森県、秋田県、岩手県の全域と、山形県、宮城県のほぼ全域で停電しているということです。午後5時20分現在、青森、秋田、岩手の全域、山形、秋田のほぼ全域で停電しています。また、新潟県と福島県の一部地域でも停電しています。</p>	
	57 : 56	<p>さらに、関東地方各地でも、広い範囲で停電が発生しています。東京電力によりますと、午後5時14分現在、茨城県内で86万6100軒、栃木県内で56万8200軒、群馬県内で23万3700軒、埼玉県内で34万3100軒、千葉県内で34万9300軒、東京都内で11万2900軒、神奈川県内で128万1300軒、山梨県内で14万5000軒、静岡県内で11万8500軒が停電。東京電力管内だけで、401万軒以上が停電しています。</p>	
17	58 : 37	<p>続いてガスへの影響です。東京ガスによりますと、午後5時20分現在、茨城県日立市の全域およそ3万5000軒と、茨城県牛久市の一部、茨城県竜ヶ崎市の一部、横浜市西区の一部で、ガスの供給を停止しているということです。</p>	
	58 : 54	<p>続いて電話への影響です。NTTドコモ、KDDI、ソ</p>	

17	59:40	<p>フトバンクの携帯各社では、親族などと安否を確認できる、災害用掲示板の運用を行っていて、携帯電話やパソコンのホームページからアクセスすることができます。</p> <p>また、NTTでは、災害用伝言ダイヤル171の立ち上げに向けて準備しています。NTTによりますと、東北地方の被災地に向けた通話が、交換機の処理能力を超えたため、現在通話規制が行われています。また、福島、山形、岩手、宮城、秋田、青森の東北の6県の全域では、公衆電話を無料で使えるサービスを行っています。東北6県の全域で、公衆電話を無料で使えるサービスを行っています。</p> <p>携帯電話への影響ですが、NTTドコモでは、全国的に電話がつながりにくい状態が続いている他、iモードやメール機能も利用しにくくなっています。KDDIも電話がつながりにくい状態が続いていて、情報を随時インターネットのホームページ上にアップしています。ソフトバンクも、東北、関東、東海地方の一部で、つながりにくい状態が続いています。またNTTコミュニケーションズによりますと、国内の長距離電話や海外との国際通話もつながりにくい状況だということです。</p>	
----	-------	--	--

5.3. NHK

3月11日14時47分から18時にかけてのNHK総合テレビの録画を確認した。放送された音声とテロップをタイムラインに整理すると表5.3となる。NHKの初期報道の特徴は、①緊急地震速報に引き続き、地上波・衛星波・ラジオを一斉に緊急報道に切り替えて全波全中とした、②唯一のヘリテレ、多数の天カメで大津波のライブ映像を流した、③指定公共機関として津波警報・注意報の発表区域等を細かく伝え、繰り返し津波避難を呼びかけた、④当初は原発の状況には言及しなかったが、東電福島第一原発の10条・15条通報を最初に伝えた、などだ。ゲスト解説の専門家は、16:06～都司嘉宣准教授（東京大学）だった。

表 5.3 NHK総合テレビ(2011年3月11日 地震発生から17時台)

時	分/秒	テレビ音声	テロップ	備考
14	46:53 (46:53)	緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。緊急地震速報です。強い揺れに警戒してください。	緊急地震速報（気象庁） 宮城県沖で地震 強い揺れに警戒	緊急地震速報
14	47:11	アナ：緊急地震速報です。次の地域では、強い揺れに警戒してください。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県です。揺れが来るまではわずかな時間しかありません。けがをしないように、自分の身の安全を守ってください。倒れやすい家具などからは離れてください。また、上から落ちてくるものに気を付けてください。緊急地震速報が出ました。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県です。けがをしないように、身の安全を確保してください。倒れやすい家具などからは離れてください。今この国会でも揺れを感じています。先ほど、国会の中の揺れがまだ続いています。揺れが始まってから10秒以上が経過しました。次第に…	宮城 岩手 福島 秋田 山形	国会中継中の速報アナウンス
14	48:26	アナ：国会中継の途中ですが、地震・津波関連の情報をお伝えます。今、東京のスタジオも揺れています。東		国会中継中止 NHK ス

14	(48:38) 48:53 48:54	<p>京のスタジオも揺れています。緊急地震速報が出ました。宮城県、岩手県、福島県、秋田県、山形県に緊急地震速報です。また、今、東京のスタジオも揺れています。強い揺れを観測した地域の皆さんにお伝えします。落ち着いて行動してください。揺れがおさまってから火の始末をしてください。</p> <p>男性：揺れてるよ。(背後から)</p> <p>アナ：まず、上から落ちてくるものや倒れてくるものから身を守ってください。現在、東京渋谷のスタジオが大きく揺れています。東京渋谷のスタジオが大きく揺れています。</p>	<p>NHK地震速報</p> <p>午後2時46分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>揺れが強かった沿岸部では、念のため津波に注意してください</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p> <p>午後2時46分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>揺れが強かった沿岸部では、念のため津波に注意してください</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p>	<p>スタジオ 地震速報</p> <p>中継・仙台 市青葉区</p>
14	49:03 49:07 49:07 49:12	<p>男性：揺れてるよ。(背後から)</p> <p>アナ：建物の倒壊や山崩れの恐れがあります。</p> <p>男性：揺れてるから。(背後から)</p> <p>アナ：上から落ちてくるもの、倒れてくるものから身を守ってください。今、東京渋谷のスタジオが、非常に大きく揺れています。</p> <p>男性：揺れてるよ。東京撮って。(背後から)</p>	<p>震度7 宮城県北部</p> <p>震度6強 宮城県中部 副島浜通り</p> <p>震度6弱 岩手沿岸南部 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城南部分 副島中通り</p> <p>震度5強 岩手沿岸北部 秋田内陸南部</p>	<p>中継・宮城 県石巻</p>
14	49:14 49:27 49:28 49:30 49:31 49:38 49:47	<p>アナ：東京の渋谷のスタジオが非常に大きく揺れています。上から落ちてくるもの、倒れてくるものからまず身を守ってください。揺れがおさまるまでしばらく安全な場所にてください。</p> <p>男性：東京撮ってるよ。(背後から)</p> <p>アナ：揺れがおさまってから火の始末をしてください。</p> <p>男性：東京揺れてる。(背後から)</p> <p>アナ：NHKでは新しい情報が入り次第、お伝えします。テレビやラジオのスイッチを切らないでください。</p> <p>午後2時46分頃、東北地方で強い地震がありました。震度7が宮城県北部です。震度7が宮城県北部。</p> <p>男性：震度7言って。(背後から)</p> <p>アナ：また、震度5弱が山形、震度6強が宮城県中部、福島県中通り、福島県浜通り、茨城県北部、震度6弱が岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県南部などとなっています。</p>		<p>中継・東京 都渋谷</p>
14	50:15	津波警報音 (15秒間)	EWS	津波警報音
14	(50:34) 51:03	<p>アナ：…っているのは、岩手県、宮城県、福島県です。海岸や川の河口付近には絶対に近づかないでください。次に、津波警報が出ている沿岸です。北海道太平洋側沿岸です。今、津波に…今、津波警報が出ているのは、北海道太平洋側沿岸中部、青森県太平洋側沿岸、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島です。いずれも2mから1mの波が到達すると予想されています。</p> <p>男性：…もう一回。(背後から)</p> <p>アナ：もう一度、大津波警報の出ている沿岸をお伝えします。岩手県3m、宮城県6m、福島県3mです。大津波警報が出ている海岸や川の河口付近には絶対に近づ</p>	<p>午後2時46分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです</p> <p>大津波警報 岩手県 宮城県 福島県</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島</p> <p>津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 三重県南部 和歌山県 徳島県 高知県 宮崎県 種子島・屋久</p>	<p>大津波警報</p>

14	51 : 25	<p>かないでください。そして、津波が観測されています。失礼しました。津波の到達予想時刻と高さをお伝えしていきます。</p>	<p>島地方 奄美諸島・トカラ列島 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p>	<p>中継・宮城県気仙沼</p>
		<p>大津波警報が出ている岩手県は、既に到達と推測されています。予想される高さは3mとなっています。</p>	<p>大津波警報 岩手県 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 宮城県 午後3時0分ごろ 予想6m</p>	
	51 : 25	<p>同じく大津波警報が出ている宮城県は午後3時、予想高さは6mです。また、福島県は午後3時10分、予想高さは3mです。海岸や川の河口付近には絶対に近づかないでください。また、海岸付近の方は、早く安全な高い所に避難してください。</p>	<p>大津波警報 福島県 午後3時10分ごろ 予想3m 津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想2m 津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想1m 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想1m</p>	
	51 : 54	<p>次は津波警報です。津波警報が出ている千葉県九十九里・外房は午後3時20分、高さは2mの予想です。伊豆諸島は午後3時20分、高さは1mの予想です。次は北海道太平洋沿岸中部、午後3時30分、予想高さは1m、青森県太平洋沿岸は午後3時30分、予想高さ1mです。そして茨城県は午後3時30分、予想高さ2mです。</p>	<p>津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 茨城県 午後3時30分ごろ 予想2m 津波注意報 千葉県内房 午後3時20分ごろ 予想50cm</p>	
	52 : 23	<p>テレビの映像は、現在の気仙沼の様子です。現在の気仙沼の様子です。宮城県には大津波警報が出ています。午後3時に6mの津波が到達すると予想されています。大津波警報が出ている海岸や川の河口付近の方は、早く安全な高台に避難してください。この画面からは海面の変化、潮位の変化や津波のありなしを確認することはできませんが、早く安全な高台に避難してください。</p>	<p>津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 相模湾・三浦半島 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 静岡県 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想50cm</p>	
	52 : 50	<p>改めてお伝えしていきます。大津波警報が出ているのは岩手県で、予想高さ3m、既に到達と推測されています。同じく大津波警報の宮城県は午後3時、予想高さは6mです。福島県は午後3時10分、予想高さ3mです。大津波警報が出ている海岸や川の河口付近には、絶対に近づかないでください。早く安全な高い所に避難してください。</p>	<p>津波注意報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想50cm 津波注意報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想50cm 津波注意報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想50cm</p>	
	53 : 15	<p>続いて津波警報の出ている沿岸です。千葉県九十九里・外房は午後3時20分、予想高さ2m、伊豆諸島は午後3時20分、予想高さ1mです。同じく津波警報が出ている北海道太平洋沿岸中部、午後3時30分、予想高さは1m、青森県太平洋沿岸は午後3時30分、予想高さ1m、茨城県は午後3時30分、予想高さ2mです。津波警報が出ている海岸や川の河口付近には、絶対に近づかないでください。そして、早く安全な高い所に避難をしてください。そのほか広い範囲に津波注意報が出ています。</p>	<p>津波注意報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 高知県 午後4時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想50cm 津波注意報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想50cm 津波注意報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>	
	53 : 55	<p>繰り返してお伝えします。先ほどの地震で岩手県と宮城県、福島県に大津波警報が出ています。岩手県では3m、宮城県では午後3時に6mの津波が来ると、到達すると予想されています。宮城県の方、沿岸には絶対に近づかないでください。そして、早く安全な高い所に避難をしてください。午後3時に6mの津波が来ると推測されています。そして、福島県では午後3時10分に3mの津波が予想されています。この時刻と高さ、あくまでも目</p>	<p>震度3以上の地域は次のとおりです 震度7 宮城北部 震度6強 宮城中部 福島中通り 午後2時46分ごろ地震がありました 震源は三陸沖 深さ10キロ マグニチュード7.9</p>	

14	54 : 42	<p>安です。実際にはこれよりも早く津波が到達する恐れもあります。高さも、これより高い津波が来る場所もところによってはありますので、これはあくまで目安です。早く高い所に避難し、海岸や川の河口付近には絶対に近づかないようにしてください。</p> <p>そして、気仙沼の現在の様子ですけれども、まだ、このカメラの映像では揺れが確認できます。そして、津波がまもなく到達すると予想されていますので、早く安全な高台に避難してください。そして、この地震で宮城県の栗原市では震度7の強い揺れを観測しま…</p>		
14	55 : 00	<p>アナ：…かった地域の方は、落ち着いて行動してください。けがをしないように気をつけてください。この後も大きな余震がある可能性がありますので、引き続き警戒を続けてください。</p>	<p>午後2時46分ごろ東北地方で震度7の地震がありました</p> <p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 岩手県 宮城県 福島県</p>	<p>大津波警報 中継・宮城 県気仙沼</p>
55 : 12	<p>津波に関する情報を引き続きお伝えしていきます。現在、大津波警報が岩手県、宮城県、福島県に出ています。岩手県は、既に到達と予測されています。推測されています。予想高さは3m。宮城県は午後3時ちょうど、6mの津波が到達すると予想されています。そして、福島県では午後3時10分、3mの津波があると予想されています。</p>	<p>津波警報 北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島</p> <p>津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 三重県南部 和歌山県 徳島県 高知県 宮崎県 種子島・屋久島地方</p>		
55 : 33	<p>テレビの映像は現在の宮城県、気仙沼の港の様子です。この画面からは津波の様子は確認できません。到達予想時刻は3時。まもなく4分から5分ほどでこの到達予想時刻になりますけれども、あくまでも目安ですので、早めに高い所に避難をしてください。</p>	<p>津波注意報 奄美諸島・トカラ列島</p> <p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 すでに到達と推測 予想3m</p> <p>大津波警報 宮城県 午後3時0分ごろ 予想6m</p>		
55 : 53	<p>それでは、大津波警報が出ている宮城県、宮城県庁の総務部危機対策課主幹のシュトウヨシユキさんと電話がつながっています。シュトウさん。</p> <p>シュトウ：はい、シュトウです。</p> <p>アナ：大変なところを恐れ入ります。よろしく願い致します。</p> <p>シュトウ：いえ、はい。</p> <p>アナ：宮城県ではですね、大きな揺れを観測し、現在沿岸部にはですね、6mの津波が来ると予測されています。大津波警報が出ていますけれども、何かこう、揺れですか、あるいは津波でも結構です、被害の情報などは入っていますでしょうか。</p> <p>シュトウ：今のところですね、被害の情報というのは、ちょっとまだ入っておりません。</p> <p>アナ：はい。まだ入っていないですね。</p> <p>シュトウ：そうです。</p>	<p>大津波警報 福島県 午後3時10分ごろ 予想3m</p> <p>津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 茨城県 午後3時30分ごろ 予想2m</p> <p>津波注意報 千葉県内房 午後3時20分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 午後3時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 相模湾・三浦半島 午後3時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 静岡県 午後3時30分ごろ 予想50cm</p>		
56 : 27	<p>アナ：沿岸部では既にこう、避難の呼びかけなどはされていると思いますけれども、県としてはどのような態勢で対応を取っていかれるのでしょうか。</p> <p>シュトウ：既にですね、特別災害対策本部を設置しまして、対応に当たろうとしているところなんですけれども、</p>			

14	57 : 03	<p>県庁のほうもだいぶ書類等が散乱しておりまして、先ほど停電したという状況がありますので。</p>	
		<p>アナ：県庁が停電しているということですか。</p>	
		<p>シュトウ：はい。今、非常電源で対応していると思うんですけども。</p>	
		<p>アナ：現在、非常電源で対応していると。</p>	
		<p>シュトウ：はい。</p>	
	57 : 16	<p>アナ：仙台市ではですね、6強ですとか6弱の揺れをとことんによっては観測しています。かなり揺れもあったと思いますけれども、近くで物が倒れたりですとか、けがをした人とかはいませんか。</p>	
		<p>シュトウ：ええ、今は県庁の執務室の中なんですけども、書類が散乱していることと、けが人等は特にございません。</p>	
		<p>アナ：今のところはないということですね。分かりました。沿岸部に関する情報もまだ入っていないですか。</p>	
		<p>シュトウ：ええ、こちらには入っておりません。</p>	
		<p>アナ：分かりました。大変なところ恐れ入りました。ありがとうございました。</p>	
		<p>シュトウ：はい、いいえ。</p>	
		<p>アナ：宮城県庁のシュトウヨシユキさんに話を伺いました。</p>	
14	57 : 39	<p>では、引き続き津波に関する情報をお伝えしていきます。先ほど午後2時46分ごろ、東北地方で強い地震がありました。この地震で大津波警報、津波警報、津波注意報が出ています。大津波警報が出ているのは岩手県、宮城県、福島県です。岩手県では、既に津波が到達と推測されています。予想高さは3mです。そして、宮城県では、まもなく午後3時に津波が到達すると推測されています。予想される津波の高さは6mとなっています。</p>	<p>津波注意報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 小笠原諸島部 午後4時0分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想50cm</p>
	58 : 07	<p>また、福島県では午後3時10分、3mの津波が予想されています。大津波警報が出ている海岸や川の河口付近には、絶対に近づかないでください。また、沿岸付近にいる方、川の河口付近にいる方は、早く安全な高台に避難してください。この到達予想時刻と予想高さはあくまでも目安ですので、早めの行動をお願いします。</p>	<p>津波注意報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 高知県 午後4時30分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想50cm</p>
	58 : 28	<p>続いて津波警報の出ている千葉県九十九里・外房、午後3時20分に2m、伊豆諸島は午後3時20分、1mの予想です。そして、北海道太平洋沿岸中部、午後3時30分、予想高さ1m、青森県太平洋沿岸は午後3時30分、予想高さ1m、茨城県は午後3時30分、予想高さ2mです。この時刻と高さ、あくまでも目安ですので、早めの行動をお願いします。大津波警報と津波警報が出ている海岸や川の河口付近には、絶対に近づかないでください。また、沿岸部にいる方、川の河口付近にいる方、早く安全な高台に避難をしてください。</p>	<p>津波注意報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>
			<p>津波注意報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>
			<p>揺れの大きい地点は次のとおりです</p>
			<p>震度7 栗原市</p>
			<p>震度6強 仙台宮城野区 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 蔵王町 山元町 塩竈市 東松島市 大衡村 白河市 須賀川市 二本松市 鏡石町 樽葉町 富岡町 大熊町 双葉町 浪江町 新地町 日立市 筑西市 鉾</p>
	59 : 14	<p>そして、現在テレビの映像でも映っていますが、宮城県</p>	

		では、午後3時に6mの津波が到達すると予想されています。到達予想時刻は、ほぼこの時間です。到達予想時刻、まもなく3時となっています。6mの津波が押し寄せると予想されていますので、早めに安全な高台に避難をしてください。速やかに安全な高い所に避難をしてください。テレビの映像は宮城県、気仙沼の様子です。漁港が映っています。この画面、この高い位置からは津波のありなし、または潮位の変化などを見ることは、現在のところではできません。津波が到達するのは午後3時の予想です。高さは6mの予想です。	田市 宇都宮市 大田原市 真岡市 高根沢町 震度6弱 大船渡市 釜石市 滝沢村	
14	59:54	この地震で津波に関する情報が出ていますが、今、津波の観測の情報です。		
15	00:00 (00:17) 00:32 00:58 01:35 01:49	<p>…された津波、岩手県の大船渡港で午後2時54分、20cmの津波が観測されました。岩手県の大船渡港で午後2時54分、20cmの津波が観測されました。引き続き大津波警報と津波警報が出ていますので、該当する沿岸部の方は注意、警戒を続けてください。そして、大津波警報と津波警報が出ている沿岸の方、速く安全な高台に避難をしてください。速やかな避難が必要です。</p> <p>繰り返してお伝えしていきます。大津波警報が出ているのは岩手県と宮城県、福島県です。宮城県では午後3時に6mの津波が到達すると予想されています。午後3時、ちょうど今の時間です。この時間が到達予想時刻です。そして、予想される津波の高さは6mとなっています。高い津波が押し寄せる恐れがありますので、速やかに安全な高い所に避難をしてください。</p> <p>テレビの映像は仙台放送局の、地震が発生したときの様子です。かなり激しい揺れに見えます。天井からつり下がっているプレートが激しく揺れています。仙台市青葉区にあるNHK仙台放送局内の、地震が発生したときの映像です。机の上の物でしょうか、大きく散乱しています。床の上に落ちています。床の上に書類などが落ちています。天井からつり下がっているプレートが激しく揺れています。地震が発生したときの、NHK仙台放送局の様子です。仙台市ではところによって震度6強、あるいは震度6弱の揺れを観測しました。</p> <p>引き続きテレビの画面、福島県郡山市の、地震が発生したときの映像です。こども激しい揺れが確認できます。高い位置の映像です。カメラが激しく揺れています。建物への被害などは、この画面からは確認することはできませんけれども。</p> <p>これは、JR仙台駅の様子です。JR仙台駅、地震が発生したときの映像です。仙台市青葉区にあるJR仙台駅の、地震が発生したときの様子です。特に建物の被害など、この画面からはっきりと確認することはできませんけれども、仙台市では震度6弱、あるいは震度6強の揺れが観測されました。</p>	<p>午後2時53分ごろ東北地方で地震がありました 大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 岩手県 宮城県 福島県 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 三重県南部 和歌山県 徳島県 高知県 宮崎県 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです 大津波警報 岩手県 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 宮城県 午後3時0分ごろ 予想6m 大津波警報 福島県 午後3時10分ごろ 予想3m 津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想2m 津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想1m 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 茨城県 午後3時30分ごろ 予想2m 津波注意報 千葉県内房 午後3時20分ごろ 予想50cm 津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 相模湾・三浦半島 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 静岡県 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想50cm 津波注意報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想</p>	<p>中継・宮城県気仙沼 大津波警報</p> <p>NHK 仙台</p> <p>福島県郡山</p> <p>JR 仙台駅</p> <p>東京都内</p>

15	02 : 10	<p>ここで、新たに津波の観測の情報です。宮城県の石巻市鮎川で午後2時52分、50cmの津波が観測されました。宮城県の石巻市鮎川で午後2時52分、50cmの津波が観測されました。そして、岩手県大船渡港では午後2時54分、20cm、岩手県釜石港では午後2時56分、20cm、また、青森県つむ市関根浜では午後2時54分に数センチの微弱の津波を観測しています。また、津波は、繰り返し押し寄せる恐れがあります。これは、あくまでも現在観測された、津波に関する情報です。この後も引き続き、津波に警戒が必要です。</p>	<p>50cm 津波注意報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想 50cm 津波注意報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想 50cm 津波注意報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想 50cm 津波注意報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想 50cm 津波注意報 高知県 午後4時30分ごろ 予想 50cm</p>	
	02 : 56	<p>テレビの映像は、宮城県石巻市の現在の様子です。石巻市のこの、大きな川の河口付近でしょうか、現在の中継の映像です。特にこの位置からですと津波のありなし、潮位の変化には確認することができません。</p>	<p>津波注意報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想 50cm 津波注意報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想 50cm 津波注意報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想 50cm</p>	中継・宮城県石巻
	03 : 14	<p>そして、これは東京の港区お台場の様子です。上空からの映像です。ビルの高い所からですね、黒煙が上がっているのが見えます。ビルの高い位置から黒煙が上がっているのが見えます。また、この煙の下には赤い炎が見えます。これが地震による火災なのかは、この映像からははっきりとは分かりませんが、東京の港区お台場、NHKが港区に設置している屋上のカメラからの映像です。お台場地区付近で黒い煙が立ちこめているのが確認できます。これはビルの屋上のあたりでしょうか、高い煙が立ちこめているのが分かります。これは上空からの映像です。上空からの映像です。</p>	<p>津波注意報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想 50cm 午後2時46分ごろ地震がありました 震源は三陸沖 深さ10キロ マグニチュード7.9</p>	中継・東京お台場
15	03 : 56	<p>それでは、大津波警報が出ている、宮城県の七ヶ浜町総務課係長のタカハシツトムさんと電話がつながっています。タカハシさん。 タカハシ：はい。 アナ：大変なところを失礼します。よろしくおねがいします。 タカハシ：はい。 アナ：現在ですね、大津波警報が出ていまして、既に到達予想時刻は過ぎているんですけども、午後3時、6mの津波が到達すると予測されています。そちらにですね、海岸のあたりの情報ですとか、あるいはそのほか被害の情報、入っていますか。 タカハシ：被害の情報は入っていないんですが、地震発生と同時にですね、防災無線で避難の、海岸の所ですね、住民の方々に避難指示を出しております。 アナ：住民の方に避難指示を出しているということですね。 タカハシ：はい。 アナ：分かりました。この後もですね、引き続き警戒をよろしくお願いいたします。お忙しいところありがとうございました。 タカハシ：はい、失礼致します。</p>		中継・宮城県気仙沼

		アナ：宮城県七ヶ浜町のタカハシさんに電話で伺いました。		
15	04：48	引き続き、津波に関する情報をお伝えしていきます。	中継・東京 お台場	
15	04：54 (04：56)	津波警報音	大津波警報	
15	05：06	アナ：…をしてください。テレビの映像は東京都内の映像です。大川端から見たお台場の映像です。煙が上空に立ち込めている様子が見えます。地震による火災かどうかは分かりませんが、地震発生後このような映像が確認できました。現在の様子です。お台場付近の映像を、大川端の方向から見ています。上空には黒い煙が上がっているのが分かります。	午後2時46分ごろ東北地方で震度7の地震がありました 大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 岩手県 宮城県 福島県 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 三重県南部 和歌山県 徳島県 高知県 宮崎県 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです 大津波警報 岩手県 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 宮城県 午後3時0分ごろ 予想6m 大津波警報 福島県 午後3時10分ごろ 予想3m 津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想2m 津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想1m 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m	中継・東京 お台場
	05：36	先ほど午後2時46分ごろ東北地方で強い地震があり、この地震で津波警報、津波に関する情報が出ています。大津波警報が岩手県、既に津波は到達と推測されています。予想高さは3mです。また、宮城県では、午後3時に予想高さ6mの津波が予想されています。福島県は午後3時10分、3mの見込みです。そして、津波警報が千葉県九十九里・外房、午後3時20分、予想高さは2m、伊豆諸島は午後3時20分、予想高さ1m、そして、北海道太平洋沿岸中部、午後3時30分、予想高さ1m、青森太平洋沿岸は午後3時30分、予想高さ1m、茨城県は午後3時30分、予想高さ2mです。		
	06：28	男性：ああ、機長（？）、もう一回、回り込んでもらっていいですか。もう一回、回り込みます。		
	06：29	アナ：テレビの映像は現在の東京都内、新橋駅付近の様子です。人がたくさん路上に出ているのが確認できます。これは駅前の広場でしょうか、多くの人が広い所に出ています。上空からの映像です。東京都内、新橋駅付近の様子です。駅前の広場でしょうか、多くの人が路上に出ている様子が見えました。	中継・都内	
	06：55	引き続き大津波警報が岩手県と宮城県、福島県に出ています。テレビの映像は気仙沼の現在の様子です。カメラがですね、小刻みに揺れているのが分かります。気仙沼の現在の様子です。カメラが、この時間も小刻みに揺れています。この宮城県には、午後3時に6mの津波が予想されています。	中継・宮城 県気仙沼	
	07：16	アナ：映像は東京都内、新橋駅の様子です。新橋駅前の広場です。新橋駅前の広場に多くの人が集まっています。建物から出てきて、広い所に集まっている人々の姿が見えます。特に建物の被害ですとか、この映像からは特に被害の様子は確認することができませんけれども、東京都内、新橋駅の前の広場、多くの人が広い所に集まって立っているのが分かります。	中継・都内 新橋駅	
	07：47	東京都内でも揺れを観測しています。先ほどの午後2時46分ごろの地震で、大津波警報と津波警報、そして津波		

		注意報が出ています。		
15	08:01	現在もですね、大津波警報と津波警報が引き続き出ていますので、お伝えしていきます。大津波警報が岩手県です。既に到達と推測されています。予想高さは3mです。また、宮城県は午後3時、予想高さ6mとなっています。福島県は午後3時10分、まもなくです、予想高さは3mです。岩手県と宮城県では既に到達予想時刻を過ぎて		中継・都内
	(08:40)	いますが、この時刻はあくまでも目安です。この後も高い津波が押し寄せる恐れがあります。引き続き、警戒をお願いします。海岸や川の河口付近には、絶対に近づかないでください。また、沿岸付近にいる方は、早く安全な高台に避難をしてください。	午後3時6分ごろ東北地方で強い地震がありました	大津波警報
	08:42	津波警報は千葉県九十九里・外房で午後3時20分、2m、伊豆諸島は午後3時20分、1m、北海道太平洋沿岸中部、午後3時30分、1m、青森県太平洋沿岸、午後3時30分、1m、茨城県、午後3時30分、2mです。	大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 岩手県 宮城県 福島県 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県	
	09:01	そして、津波注意報も広い範囲に出ています。津波注意報の出ている沿岸をお伝えします。千葉県内房、午後3時20分、予想高さはいずれも、これからお伝えする場所は50cmの津波が予想されています。	愛知県外海 三重県南部 和歌山県 徳島県 高知県 宮崎県 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです	中継・宮城
	09:19	そして、同じく津波注意報です。50cmが予想されています。北海道太平洋沿岸東部、午後3時30分、相模湾・三浦半島、午後3時30分、静岡県、午後3時30分、北海道太平洋沿岸西部、午後3時40分、小笠原諸島、午後4時、三重県南部、午後4時、青森県日本海沿岸、午後4時10分、愛知県外海、午後4時10分、和歌山県、午後4時10分。	大津波警報 岩手県 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 宮城県 午後3時0分ごろ 予想6m 大津波警報 福島県 午後3時10分ごろ 予想3m 津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想2m 津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想1m 津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想1m	県気仙沼
	09:43	津波注意報の出ている沿岸をお伝えしています。高知県、午後4時30分、徳島県、午後4時40分、宮崎県、午後5時、種子島・屋久島地方、午後5時10分、奄美諸島・トカラ列島、午後5時10分、いずれも、予想高さは50cmです。広い範囲に、太平洋側を中心に津波注意報が出ていますので、該当する沿岸の方はどうぞ十分お気をつけください。	津波警報 青森県太平洋沿岸 午後3時30分ごろ 予想1m 津波警報 茨城県 午後3時30分ごろ 予想2m 津波注意報 千葉県内房 午後3時20分ごろ 予想50cm 津波注意報 北海道太平洋沿岸東部 午後3時30分ごろ 予想50cm	中継・岩手 県釜石
	10:09	先ほど午後2時46分ごろ、東北地方で震度7を観測する強い地震がありました。この地震で、宮城県の栗原市で震度7を観測し、岩手県、宮城県、福島県には大津波警報が出ました。揺れの強かった地域の方は、落ち着いて行動してください。大きな余震がある恐れもありますので、一度揺れが収まっても、この後も引き続き警戒を続けてください。	津波注意報 相模湾・三浦半島 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 静岡県 午後3時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想50cm 津波注意報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想50cm	
	10:32	テレビの映像は東京都内、お台場付近の映像です。先ほども上空からの映像でありましたが、ビルの高い位置から黒い煙が上がっているのが見えます。	津波注意報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想50cm	中継・都内
15	10:45	ここで、新たに津波が観測されました。津波の観測の情報をお伝えします。宮城県石巻市鮎川では午後2時52分、50cm、岩手県宮古港、午後2時54分、20cm、岩手	津波注意報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想	

		<p>県大船渡港、午後 2 時 54 分、20cm、岩手県釜石港、午後 2 時 56 分、20cm、青森県八戸港、午後 2 時 49 分、数センチの微弱の津波、青森県むつ市関根浜、午後 2 時 54 分、数センチの微弱の津波を観測しています。津波はこの後も 2 回、3 回と繰り返し押し寄せる恐れがありますので、引き続き警戒を続けてください。</p>	<p>50cm 津波注意報 和歌山県 午後 4 時 10 分ごろ 予想 50cm 津波注意報 高知県 午後 4 時 30 分ごろ 予想 50cm 津波注意報 徳島県 午後 4 時 40 分ごろ 予想 50cm 津波注意報 宮崎県 午後 5 時 0 分ごろ 予想 50cm</p>	
15	11 : 30	<p>それでは、警視庁から都内の様子についてお伝えします。</p> <p>男性：はい、警視庁です。NHKの記者クラブは建物の9階にあります。激しい縦揺れの後ゆっくりとした横揺れに変わり、徐々に強くなって、数分ほど続きました。</p> <p>(11 : 45) 揺れが強くなると共に、棚からは書類などが次々と落ちました。この地震で、建物のエレベーターはすべて止まっています。また、警視庁によりますと、この地震の影響で…</p>	<p>津波注意報 種子島・屋久島地方 午後 5 時 10 分ごろ 予想 50cm 津波注意報 奄美諸島・トカラ列島 午後 5 時 10 分ごろ 予想 50cm</p> <p>午後 3 時 6 分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>震度 3 以上の地域は次のとおりです 震度 5 弱 青森県三八上北 岩手県沿岸南部 岩手県</p>	<p>中継・警視庁</p> <p>地震速報</p>
15	12 : 00	<p>男性：…江東区のビルから火がでているほか、東京中野区の住宅が倒壊しているという情報が入っているということで、詳しい状況を調べています。東京消防庁によりますと、東京江東区で火災が発生したという情報が入っています。</p> <p>12 : 22 繰り返します。警視庁によりますと、この地震の影響で、東京江東区のビルから火がでているほか、東京中野区の住宅が倒壊しているという情報が入っているということで、詳しい状況を調べています。</p>	<p>内陸北部 震度 4 石狩南部 日高中部 津軽北部 津軽南部 青森北部 岩手沿岸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城中部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内陸北部 秋田内陸南部 山形庄内地方 山形村山地方 茨城南部 神奈川西部 伊豆地方</p>	<p>中継・警視庁、港区お台場</p>
15	12 : 35	<p>(12 : 44) アナ：警視庁から中継でお伝えしました。お伝えしますように、午後 2 時 46 分ごろ、東北地方で震度 7 を観測する強い地震がありました。この地震で、宮城県の栗原市で震度 7 を観測し、また、岩手県、宮城県、福島県には大津波警報が出ています。揺れの強かった地域の方は、落ち着いて行動してください。けがをしないように気をつけてください。割れたガラスですとか、壁が壊れている恐れもあります。足もとにも十分に注意をしてください。そして、この地震で、岩手県と宮城県、福島県には現在も引き続き大津波警報が出ていますので、海岸や川の河口付近の方は、絶対に近づかないようにしてください。また、早く安全な高い所に避難をしてください。</p> <p>13 : 21 それでは、NHKの仙台放送局のスタジオからお伝えします。</p> <p>谷地：はい。NHK仙台放送局のスタジオです。先ほどの、非常に大きな揺れを感じました。今も、たびたびスタジオの中が揺れています。ご覧いただいているのは、現在の気仙沼市の状況です。気仙沼湾の状況です。停泊している船が見えますが、たびたび画面が揺れているのが分かると思います。</p> <p>13 : 46 今、NHK仙台のスタジオでも大きな揺れを感じています。天井につり下げられている照明もですね、非常に大</p>	<p>午後 3 時 6 分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>震度 3 以上の地域は次のとおりです 震度 5 弱 青森三八上北 岩手沿岸南部 岩手内陸北部 震度 4 石狩南部 日高中部 津軽北部 津軽南部 青森下北 岩手沿岸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城中部 秋田沿岸北部 秋田沿岸南部 秋田内陸北部 秋田内陸南部 山形庄内地方 山形村山地方 茨城南部 神奈川西部 伊豆地方 震度 3 渡島東部 渡島西部 桧山地方 後志東部 空知南部 胆振西部 胆振中東部 日高東部 十勝中部 十勝南部 釧路中南部 宮城南 山形最上地方 山形置賜地方 福島中通り 福島浜通り 会津 茨城北部 栃木北部 栃木南部 群馬北部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 千葉南部 東京 23 区 神奈川東部 新潟中越地方 新潟下越地方 山梨東部・富士五湖 静岡東部</p>	<p>中継・都内地震速報</p> <p>NHK 仙台</p> <p>中継・宮城県気仙沼</p>

15	13:58	<p>きな音を立てて揺れたりするときもあるんですが。</p> <p>こちら、変わって、石巻市の状況です。架かっている大橋の上の車は、今走っているのが確認できます。かなり大きく揺れているのが分かります。現在の石巻市の状況です。地震で、今、これは揺れている状況です。石巻市鮎川では、午後2時52分に50cmの津波を観測しています。</p>		中継・宮城県石巻
	14:27 (14:38)	<p>大津波警報が出ている東北地方です。東北地方で2時46分ごろ、非常に強い地震がありました。宮城県の栗原市などで震度7を観測しています。</p>	午後3時6分ごろ東北地方で強い地震がありました	
	14:45	<p>岸壁を乗り越えて、岩手県の釜石市の現在の様子です。海水が…</p>	<p>大津波警報が追加されました</p> <p>青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房</p>	警報追加
15	14:53	<p>アナ：では、ここで、東京のスタジオからお伝えしていきます。東京のスタジオからお伝えします。新たな情報です。大津波警報が追加されました。</p>		NHK スタジオ
15	15:00 (15:03)	<p>アナ：青森県の太平洋沿岸と千葉県九十九里・外房、茨城県に大津波警報が追加されました。そして、テレビの映像は、現在の岩手県釜石市の様子です。津波が、これは押し寄せているものと見られます。大津波警報が追加されました。千葉県の内房、北海道太平洋沿岸。失礼しました。津波警報が追加されました。千葉県の内房、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸に津波警報が追加されました。</p>	<p>津波警報が追加されました</p> <p>北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島</p> <p>津波注意報が追加されました</p> <p>北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 伊勢湾・三河湾 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 大分県</p>	中継・岩手県釜石 警報追加
	15:35	<p>繰り返してお伝えします。警報が追加されています。まず、大津波警報の追加です。青森県太平洋沿岸です。そして、千葉県九十九里・外房、茨城県にも大津波警報が追加されました。</p>	<p>鹿兒島県東部 鹿兒島県西部 沖縄県</p> <p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです</p>	
	15:51	<p>テレビの映像は、岩手県釜石市の現在の様子です。海水があふれています。海水があふれて陸上に上がってきています。これは市場の付近でしょうか、波が押し寄せています。沿岸付近の方は、早く安全な高台に避難してください。</p>		
	16:01	<p>岩手県釜石市の現在の様子です。岸壁と海面との境が分からなくなっています。海水があふれて、これは港の中に入り込んできています。流れ込んできています。今、トラックがですね、少し浮いているようです。浮いて、流されようとしています。トラックが流されるところです。岩手県の釜石、海水があふれ、今、車が流されている様子が見えました。</p>		
	16:31	<p>そして、今、東京のスタジオも再びかなりの揺れを観測、</p>		

15	<p>(17:11)</p> <p>17:14</p>	<p>かなりの揺れを感じています。余震だと思われます。東京のスタジオも揺れを観測しています。余震がですね、この後も引き続きありますので、どうぞ皆さん、強い揺れには引き続き注意をしてください。この後も余震があります。建物の倒壊、山崩れ、がけ崩れ、引き続き警戒をしてください。そして、上から落ちてくる物や倒れてくる物から身を守ってください。丈夫なテーブルや机の下などに隠れてください。身近な、安全な所に身を寄せてください。</p> <p>現時の東京都内の様子です。高い位置に設置したカメラが揺れています。遠くには、黒い煙も見えます。地震による火災かは分かりませんが、この地震を観測した後に、この煙を確認することができました。東京都内、現在も、余震と思われる強い揺れを感じています。この後も余震があります。引き続きですね、強い揺れには警戒が必要です。けがをしないように気をつけてください。落ちてくる物や壊れ、倒れてくる物には、十分に注意をしてください。そして、安全な場所で身を守ってください。丈夫なテーブルや机の下などに隠れて、安全な所で身を守ってください。</p>	<p>午後3時6分ごろ東北地方で強い地震がありました</p> <p>大津波警報が追加されました</p> <p>青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房</p> <p>津波警報が追加されました</p> <p>北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部</p>	<p>警報追加</p> <p>中継・東京都内</p>
15	<p>17:50</p> <p>18:01</p> <p>18:48</p> <p>18:53</p> <p>19:18</p>	<p>新たな津波の情報です。津波を観測されました。先ほどからお伝えしていますように、宮城県の石巻市鮎川では午後2時52分、50cm。</p> <p>テレビの映像は、大船渡の今の様子です。波立っているのが分かります。逆流してきています。川をですね、逆流している様子です。大船渡の現在の様子です。海から海水が押し寄せているのが分かります。川のあたりを逆流している様子が確認できました。大船渡の現在の様子です。岩手県には大津波警報が出ていますので、この後も十分な警戒が必要です。そして、早く安全な高い所に避難してください。車がですね、海水につかっている様子が見えます。これは岸壁でしょうか、陸地にもですね、海の水があふれてきています。海水が陸地にもあふれてきている様子が見えます。岩手県には大津波警報が出ています。早く安全な高台に避難をしてください。</p> <p>釜石ですね。現在の釜石の様子です。</p> <p>続いて、この映像が釜石の様子です。岩手県の釜石の様子。水が、海水があふれています。多くの車が海水につかって、完全に沈んで、一部が大きく沈んでいる車が何台も見えます。岩手県釜石の現在の様子です。釜石の現在の様子。大津波警報が出ている岩手県の釜石、海水があふれています。</p> <p>海岸沿いの道路をですね、今、車が走っています。非常に危険ですので、早く安全な高台に移動してください。岩手県の釜石。大津波警報が、岩手県には出ています。沿岸付近の方は、早く安全な高台に避難をしてください。多くの車が海水につかって、一部が浮いている様子</p>	<p>津波警報が追加されました</p> <p>北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島</p> <p>津波注意報が追加されました</p> <p>北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 伊勢湾・三河湾 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 大分県 鹿児島県東部 鹿児島県西部 沖縄県</p> <p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島</p> <p>津波注意報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</p> <p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 千葉県九十九里・外房 午後3時20分ごろ 予想3m</p> <p>大津波警報 茨城県 午後3時30分ごろ 予想4m</p>	<p>中継・宮城県大船渡 警報追加</p> <p>中継・岩手県釜石</p>

15	20:04	<p>が見えます。車が流されて、海に浮いている様子です。車が流されて、これは海面でしょうか、海に浮いている様子が見えます。漁船と思われる船と同じ水につかっている車が、何台もあります。岩手県には現在も大津波警報が出ていますので、海岸付近の方は、早く安全な高台に避難をしてください。そして、またですね、今は防波堤を越えて。</p> <p>新たな映像です。小名浜の、福島県の小名浜の現在の様子です。海岸付近の映像、波がですね、これも陸上にあふれ出ています。多くの、これは何でしょう、箱ですね、ええ、水産関係で使う箱だと思いますが、流されています。波に乗って流されているのが分かります。そして、この波がですね、車、駐車場のあたりまで到達しています。あ、一部は道路にも出ていますね。道路も冠水し始めています。福島県の小名浜港、小名浜の現在の様子です。</p>	<p>大津波警報 千葉県内房 午後3時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 伊豆諸島 午後3時20分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸東部 午後3時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸中部 午後3時30分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波注意報 相模湾・三浦半島 午後3時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 静岡県 午後3時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 東京湾内湾 午後3時40分ごろ 予想50cm</p>	中継・福島 県小名浜
	20:41	<p>続いては、これは、岩手県の釜石の様子です。あふれた水が道路にあふれ出ています。あふれた水が、勢いよく流れ出ています。先ほどまで、この道路を車が走っているのが確認できました。この道路を、先ほどまで車が走っていました。そこに今、勢いよく海水があふれ出ていく様子が見えます。勢いよく海水があふれ出ています。その海水に、何台もの車が流されています。完全にひっくり返っています。横転して転覆している様子が見えます。車が数台、何台も流されています。岩手県の釜石市の、現在の様子です。</p>	<p>津波注意報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想50cm</p>	中継・岩手 県釜石
	21:15	<p>岩手県内には、現在も大津波警報が出ています。海岸や河口付近の方は、早く安全な高台に避難をしてください。海岸や河口付近の方は、早く安全な高台に避難してください。海岸や河口付近には絶対に近づかないでください。</p>	<p>津波注意報 高知県 午後4時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想50cm</p>	
	21:27	<p>お伝えしていますように、東北地方で、震度7を観測する地震がありました。あ、ええ、波の勢いが増しているようです。高い所まで、漁船もですね、勢いよく道路の方向に流れています。岩手県釜石の今の様子です。道路にですね、大きな船が流れています。勢いが増しています。津波の勢いが増している様子です。津波の勢いが激しくなっています。</p>	<p>津波注意報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>	中継・岩手 県釜石
	21:54	<p>そして、建物のほうにも波が到達しているのでしょうか、大きな水しぶきが上がっています。奥の建物のほうにも、あ、建物も流れていますね。建物も、奥で流れています。そして、多くの水しぶきが上がっています。</p>	<p>津波注意報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>	
	22:07	<p>さらに、画面の奥のほうもですね、沢山の海水があふれて流れ込んでいます。これは、津波だと思われます。大きな建物が流れていました。</p>	<p>津波注意報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想50cm</p>	
	22:17	<p>これも、建物のわきをですね、福島県の小名浜の様子ですけれども、福島県の小名浜でも建物のまわりをです</p>		中継・福島 県小名浜

15	22 : 40	<p>ね、かなりの海水が流れていて、数台の車が一気に流されています。数台の車が勢いよく流されています。完全に建物の周りをです、激しい波が押し寄せています。これは、大きな津波だと、津波です。</p>		中継・岩手 県釜石
	22 : 56	<p>そして、釜石の様子です。岩手県の釜石の様子です。釜石でも、先ほどから多くの水が流れています。水かさが高くなっているように感じられます。水かさが完全に高くなりました。岩手県の釜石の、現在の様子です。</p>		中継・福島 県いわき小 名浜
	23 : 21	<p>そして、続いては、岩手県の釜石の、現在の様子です。引き続きです、多くの海水が陸上に流れ込んでいます。先ほどに比べると、はるかに海水面が高くなっている様子が分かります。カメラが少し揺れています。余震と思われる。カメラが少し揺れています。</p>		中継・岩手 県釜石
	23 : 42	<p>岩手県の釜石、現在、大津波警報が出ています。安全な高台に避難してください。安全な高台に避難してください。釜石の現在の様子です。高架の上を走る道路に、人が見えます。そして、車もまだ動いています。この、高い位置にある道路にもです、だいぶ波が近づいてきています。安全な高い位置に避難する必要があります。この道路の奥のほう、一部は既に海水につかかってきています。この、高い位置を走っている道路もです、だいぶ海水面が近づいてきています。車が引き返していく様子が見えます。</p>		
	24 : 19	<p>さらに、画面の奥のほうには、建物でしょうか、流されています。車やさまざまな物と一緒に、大きな建物が流されている様子が見えています。そして、画面の中央付近の建物もです、ほとんどがこの海水に飲み込まれているように確認されます。岩手県釜石、現在の様子です。</p>		
15	24 : 43	<p>繰り返してお伝えします。先ほど、東北地方で、震度7を観測する強い地震がありました。宮城県の栗原市で震度7、岩手県、宮城県、福島県にはこの地震によって、大津波警報が出ています。大津波警報が出ている岩手県、宮城県、福島県の方、沿岸付近の方は、早く安全な高台に避難してください。こちらの画面から確認する、しますと、大きな津波が押し寄せていると、様子が見えます。</p>		中継・岩手 県釜石
	25 : 09	<p>改めて、大津波警報の出ている地域をお伝えします。青森県の太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、茨城県に大津波警報が出ています。そして、津波警報が千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿</p>		

		岸東部。		
15	25 : 27 (25 : 43) 25 : 59 26 : 23 26 : 47 27 : 17	<p>今、津波の観測の情報です。岩手県の釜石港で午後3時21分、4m20cmの津波が観測されました。また、岩手県大船渡港、午後3時15分、3m30cm、宮城県石巻市鮎川、午後3時20分、3m30cm、岩手県宮古港、午後3時19分、2m80cmです。高い津波が観測されています。津波は繰り返し押し寄せる恐れがありますので、引き続き警戒と注意が必要です。</p> <p>繰り返しお伝えします。岩手県の釜石港で午後3時21分、4m20cmの津波が観測されました。そして、岩手県大船渡港、午後3時15分、3m30cm、宮城県石巻市鮎川、午後3時20分、3m30cm、岩手県宮古港、午後3時19分、2m80cmの津波が観測されています。</p> <p>各地で観測された津波の高さは次の通りですが、これらの津波はですね、験潮所で観測されたもので、場所によってはさらに大きな津波が到達している可能性があります。また、津波は一回だけでなく何度も押し寄せ、二回目、三回目のほうが高くなることもあります。引き続き、海岸や河口付近には、絶対に近づかないでください。また、早く安全な高い所に避難をしてください。</p> <p>テレビの映像は、宮城県気仙沼市の、現在の様子です。この、波が渦巻いているように見えます。波が渦巻いているように見えます。この位置がどこなのかは分かりませんが、海面なのか、あるいは陸上なのか分かりませんが、大きく波が、白波を立てて渦巻いています。宮城県気仙沼の様子です。また、カメラもですね、小刻みに揺れています。カメラも揺れています。余震と思われる揺れでしょうか。引き続き、余震にも注意が必要です。</p> <p>お伝えしていますように、現在、青森県太平洋沿岸と宮城県、岩手県、福島県、千葉県九十九里・外房、茨城県に大津波警報、また、津波警報が千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸に津波警報が出ています。大津波警報と津波警報が出ている地域の皆さんにお伝えします。早く安全な高台に避難をしてください。海岸や河口付近には、絶対に近づかないでください。そして、また、この地震で震度7、あるいは6強、6弱の強い揺れを観測していますので、この後も余震があるかもしれません。引き続き、大きな揺れにも警戒が必要です。</p>	<p>午後3時15分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ80キロ マグニチュード7.4</p> <p>午後3時15分ごろ関東地方で震度6弱の地震がありました</p> <p>大津波警報が追加されました 青森県太平洋沿岸 茨城県 千葉県九十九里・外房 津波警報が追加されました</p> <p>北海道太平洋沿岸東部 北海道太平洋沿岸西部 青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島</p> <p>津波注意報が追加されました</p> <p>北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 伊勢湾・三河湾 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 大分県 鹿児島県東部 鹿児島県西部 沖縄県</p>	<p>地震速報</p> <p>中継・岩手県宮古 警報追加</p> <p>中継・宮城県気仙沼</p> <p>中継・岩手県釜石</p>
15	28 : 05 (28 : 15)	<p>では、ここで、地震に関する新たな、ええ、改めてお伝えします。午後2時46分ごろ地震がありました。震源は三陸沖、震源の深さ10キロメートル、地震の規模を示すマグニチュードは7.9と推定されています。この地震で、震度7を栗原市、また、震度6強を仙台市宮城野区、涌谷町、登米市、大崎市、名取市、蔵王町、山元町、塩竈市、東松島市、大衡村、白河市、深川市、二本松市、</p>	<p>午後3時15分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ80キロ マグニチュード7.4</p> <p>午後3時15分ごろ関東地方で震度6弱の地震がありました</p> <p>揺れの大きい地点は次のとおりです</p>	<p>中継・宮城県気仙沼 地震速報</p>

15	29 : 09	<p>鏡石町、同じく震度6強を檜葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町、日立市、笠間市、筑西市、鉾田市、宇都宮市、大田原市、同じく6強を真岡市、高根沢町で観測しています。揺れの強かった地域の方は、落ち着いて行動をしてください。揺れが強かった地域の方は、落ち着いて行動をしてください。この後も余震があるかもしれません。建物の倒壊、がけ崩れなどに引き続き警戒が必要です。</p> <p>テレビの映像は、宮城県気仙沼の、現在の様子です。大きな船が岸壁のあたりまで流されています。白い波と一緒に、大きな船が流されています。また、船の前方にはですね、港のさまざまな道具でしょうか、箱などが流されています。この、波と一緒に大きな船が流されている様子が見えます。かなり波立っています。ところによっては、大きくうねっています。白波が立っています。大きな船が、この流れに沿って動いています。かなり揺れています。大きな船が、この白波と共に流されている様子が見えます。宮城県気仙沼市の、現在の様子です。宮城県気仙沼市の、現在の様子。これはフェリーでしょうか、大きな船です。大きな船が流されている様子が確認できます。そして、さらにその奥、さらに白波が立っています。そして、住宅の屋根のような物、建物の屋根のような物も流されています。</p>	<p>震度6弱 鉾田市</p> <p>震度5強 土浦市 鹿嶋市 筑西市 真岡市 銚子市 旭市 多古町 匝瑳市 香取市 成田市</p> <p>震度5弱 白河市 須賀川市 二本松市 鏡石町 石岡市 利根町 大田原市 那須町 茂木町 芳賀町 高根沢町 那須烏山市 下野町 加須市 春日部市 草加市 八潮市 吉川氏 宮代町 千葉中央区 千葉若葉区 東金市 神崎町 東庄町 大網白里町 九十九里町 芝山町 一宮町 長生村 白子町 横芝光町 山武市 佐倉市 浦安市 八街道 印西市 栄町 富里市 いずみ市 東京江戸川区 二宮町</p>	中継・宮城県気仙沼
	30 : 05	<p>続いて、千葉県銚子市の、現在の様子。千葉県銚子。船が今、岸壁にぶつかりました。今、船が岸壁にぶつかって、これも、ななめになっていますので、流されているものと思われま。大きな船が今、岸壁に衝突し、ななめになりました。まわりは白い波が立っています。激しい波が立っています。流されています。千葉県銚子市、現在の様子です。この千葉県は、九十九里・外房に大津波警報が出ています。警戒が必要です。</p>		中継・千葉県銚子市
	30 : 33	<p>そして、再び、宮城県気仙沼の、現在の様子です。海の奥のほう、これは工場のタンクでしょうか、完全に海に浮いて流されているのが分かります。工場のタンクのような物が流されています。かなり大きな物です。海に浮いて流されているのが分かります。そして、海に近い岸壁の部分では、水が濁って激しい流れが起きています。水が濁って激しい流れが起きています。また、画面の一番左ですけれども、完全に、これは陸上から水があふれているのが、陸上に水があふれているのが確認されます。</p>		中継・宮城県気仙沼
	(31 : 03)		午後3時27分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました	地震速報
15	31 : 13 (31 : 16)	<p>被害の情報です。埼玉県警察本部によりますと、幸手市内の江戸川の堤防の一部が壊れているという情報があり、現在確認を急いでいるということです。江戸川の堤防の一部が、幸手市内で壊れているという情報があります。また。</p>	<p>大津波警報が追加されました</p> <p>北海道太平洋沿岸 伊豆諸島</p>	警報追加
15	31 : 29	<p>今、新たな情報です。大津波警報が追加されました。大</p>	<p>津波警報が追加されました</p>	警報追加

15	<p>32 : 33</p> <p>33 : 21</p> <p>34 : 02</p>	<p>津波警報が追加されました。北海道太平洋沿岸東部と北海道太平洋沿岸中部、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸西部に大津波警報が追加されました。また、津波警報も追加されました。相模湾・三浦半島、静岡県、東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、和歌山県、陸奥湾、伊勢湾・三河湾、高知県。大津波警報が追加されました。追加されているのは北海道日本海沿岸南部、徳島県、淡路島南部、津波警報が追加されています。同じく津波警報が出ているのが宮崎県、愛媛県宇和海沿岸、大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、大東島地方、沖縄本島地方、宮古島・八重山地方に津波警報が追加されました。</p> <p>お伝えしていますように、地震によって、津波に関する情報が出ています。大津波警報が岩手県、予想高さは10m以上です。既に、津波の到達は確認されています。また、宮城県は予想高さ10m以上、福島県も10m以上、千葉県九十九里・外房も10m以上、青森県太平洋沿岸は8m、そして、茨城県は10m以上、伊豆諸島、予想高さ4m、北海道太平洋沿岸東部、予想高さ3m、北海道太平洋沿岸中部、予想高さ6m。大津波警報の地域をお伝えしています。既に、いずれも津波が到達と推測されています。そして、北海道太平洋沿岸西部では午後3時40分、予想高さ4mとなっています。</p> <p>宮城県の気仙沼の、現在の映像です。栈橋が流された模様です。栈橋が流されて、建物のあたりにとどまっています。そして、そこに、さらに大きな漁船がですね、今、衝突しそうです。大きな漁船が今、同じ場所に流されてきました。画面の奥に行きましたね。栈橋が流され、その手前の大きな漁船が流されていきました。宮城県の気仙沼の、現在の様子です。波はですね、現在も、さらに陸上のほうに向かって流れ込んでいるのが見えます。気仙沼市の駐車場のあたりでしょうか、この建物のあたりに海水があふれ出ています。</p> <p>引き続き、大津波警報の地域をお伝えしていきます。大津波警報が北海道太平洋沿岸東部。大津波警報は岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、青森県太平洋沿岸、茨城県、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部。</p>	<p>東京湾内湾 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県</p> <p>津波注意報が追加されました</p> <p>オホーツク海沿岸 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸</p> <p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 陸奥湾 千葉県内房 東京湾内湾 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 鹿児島県西部</p>	<p>中継・宮城 気仙沼</p> <p>中継・都内</p> <p>中継・東京 都九段</p> <p>中継・千葉 県銚子</p>
15	<p>34 : 29</p> <p>34 : 33</p> <p>34 : 48</p>	<p>テレビの画面は、東京都内、九段の映像です。避難している人が見えます。</p> <p>津波に関する情報です。大津波警報が北海道太平洋沿岸西部に出ています。大津波警報が出ている海岸や川の河口付近の方は、早く安全な高台に避難をしてください。早く安全な高台に避難してください。</p> <p>テレビの画面は、千葉県銚子市の現在の様子です。海水があふれています。建物の中にまで水が押し寄せているのが分かります。道路でしょうか、道路も完全に冠水し</p>		

15	35 : 19 (35 : 20)	<p>ています。千葉県は、九十九里・外房に大津波警報が現在出ています。千葉県九十九里・外房、既に津波は到達と確認されています。予想高さは10m以上です。千葉県の銚子市の現在の様子です。銚子市の海岸付近の様子。現在は波はそれほど確認できませんが、道路が冠水している様子が見えます。</p> <p>そして、次は、宮城県の気仙沼の現在の様子です。先ほど、あの建物に近づいていた栈橋が、今度は引いています。海の方でしょうか、はっきりとは分かりませんが、先ほどの位置から大きく離れました。気仙沼の、宮城県気仙沼市の現在の様子です。波が、今度は引き始めているように見えます。逆流しています。先ほど3、4分前に確認したときは、逆の流れです。宮城県の気仙沼、大津波警報が出ています。宮城県には大津波警報が出ています。予想高さは10m以上となっています。海岸や河口付近からは、早く避難をしてください。安全な高台に避難する必要があります。</p>	<p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想8m</p>	中継・宮城県気仙沼警報更新
15	35 : 59	<p>この気仙沼に関する情報が入ってきました。宮城県気仙沼市の危機管理室によりますと、消防から、市内の本吉町の大森地区で、土砂崩れによって逃げ遅れた人が埋まっているという情報が寄せられました。消防が救助に向かうと共に、情報収集を急いでいる。人数やこまかな場所はまだつかめていないと話しています。気仙沼では被害の情報が入っています。逃げ遅れた人が埋まっているという情報がありました。</p>	<p>大津波警報 茨城県 すでに到達と推測 予想10m以上 大津波警報 伊豆諸島 すでに到達と推測 予想4m 大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 すでに到達と推測 予想6m 大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想4m</p>	
15	36 : 26 36 : 59 37 : 27	<p>そして、テレビの映像は、上空から見た東京都内、千代田区九段の現在の様子です。救急の車両が見えます。救急隊員も数人見えます。ストレッチャー、担架が運ばれています。また、毛布でしょうか、布団のような物も見えます。人がけがしているのかどうかは分かりませんが、多くの救急隊員が活動しています。救急の車両が見えます。九段の現在の様子、上空からの映像です。東京都内でも大きな揺れを観測しました。</p> <p>警視庁によりますと、この東京千代田区にある、結婚式場などが入った九段会館で、ホールの天井が崩落して複数のけが人が出ているということで、消防が現場に出て手当に当たっています。警視庁によりますと、東京千代田区にある、結婚式場などが入った九段会館で、ホールの天井が崩落して複数のけが人が出ているということで、消防が現場に出て手当に当たっています。</p> <p>この後も、余震があるかもしれません。先ほど強い揺れを感じた地域の方は、どうぞ、落ち着いて行動してください。安全な場所に避難する必要があります。</p> <p>今日午後2時46分ごろ、東北地方を中心に強い揺れがありました。栗原市では震度7の強い揺れを観測し、また、この地震で、青森県の太平洋沿岸と岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、茨城県などに大津</p>	<p>津波警報 千葉県内房 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 相模湾・三浦半島 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 静岡県 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 東京湾内湾 午後3時40分ごろ 予想1m 津波警報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想2m 津波警報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想2m 津波警報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想2m 津波警報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想1m 津波警報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想2m 津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m 津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m 津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m 津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m 津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想2m 津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m 津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想1m 津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予</p>	中継・都内

15	38 : 03	<p>波警報が出ています。大津波警報が出ている地域の皆さんは、早く安全な高台に避難をしてください。</p> <p>次は、テレビの映像は、仙台市内の現在の様子です。仙台市内、高い建物です。仙台市内でも震度6強、あるいは6弱の強い揺れを観測しました。震度6以上の揺れを観測した、仙台市の現在の様子です。県庁の映像です。仙台市青葉区にある、宮城県庁の今の様子です。宮城県庁では、先ほど電話で聞いたときには、災害の対策本部を設置して対応に当たっているという話がありました。仙台市の宮城県庁の現在の様子です。</p>	<p>想 1 m</p> <p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 大東島地方 午後5時 10 分ごろ 予想 1 m</p>	中継・宮城県仙台
15	38 : 43	<p>午後2時 46 分ごろ、東北地方で、震度7を観測する地震がありました。この地震で、広い範囲に大津波警報が出ています。大津波警報が出ているのは、岩手県、予想高さ 10m 以上、宮城県、予想高さ 10m 以上、福島県も予想高さ 10m 以上、千葉県九十九里・外房、予想高さ 10m 以上、青森県太平洋沿岸、予想高さ 8 m、大津波警報の地域をお伝えしています。茨城県は予想高さ 10m、伊豆諸島は予想高さ 4 m、北海道太平洋沿岸東部、予想高さ 3 m、北海道太平洋沿岸中部、予想高さ 6 m、北海道太平洋沿岸西部、午後3時 40 分、まもなくです、予想高さ 4 m となっています。</p>	<p>津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後4時 40 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後5時 10 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後5時 10 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想 50cm</p>	中継・宮城県気仙沼
	39 : 29	<p>そして、消防の情報です。消防によりますと、福島県郡山市から国見町にかけて、複数の道路で陥没が起きているということです。消防で詳しい被害の状況を調べています。余震があるかもしれませんので、この後も、道路の陥没などには十分な注意が必要です。福島県郡山市から国見町にかけて、道路の一部で陥没が起きているということです。注意が必要です。</p>	<p>津波注意報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時 50 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後6時 20 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 長崎県西方 午後6時 30 分ごろ 予想 50cm</p>	
	39 : 53	<p>そして、宮城県の情報です。宮城県の気仙沼市の危機管理室によりますと、消防から、市内の本吉町の大森地区で、土砂崩れによって逃げ遅れた人が埋まっているという情報が寄せられた。消防が救助に向かうと共に、情報収集を急いでいる。人数やこまかな場所はまだつかめていないと話しています。</p>	<p>津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後6時 30 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 香川県 午後6時 40 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 有明海・八代海 午後7時 10 分ごろ 予想 50cm</p> <p>津波注意報 岡山県 午後7時 30 分ごろ 予想 50cm</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p>	
	40 : 14	<p>テレビの映像は、現在の宮城県気仙沼の様子です。完全に建物のあたりまで、海水があふれています。宮城県には大津波警報が出ていまして、10m以上の津波があると予想されています。また、既に津波が到達が確認もされています。宮城県の気仙沼の現在の様子です。</p>		
	40 : 33	<p>繰り返してお伝えします。先ほどの地震で、宮城県には大津波警報が出ています。津波警報、大津波警報が出ている地域についてお伝えしていきます。</p>		
	40 : 45	<p>東京中央区の現在の様子です。上空からの映像です。建物の外、広い場所に多くの人が集まっています。道路にはですね、車が走行している様子が見えます。高い位置からの映像です。広い範囲に、広い地域に、広い場所に人々が出ています。東京都内、中央区の現在の様子です。</p>		中継・東京都中央区

		東京都内でも強い揺れが観測されました。この後も余震があるかもしれませんので、引き続き警戒をしてください。安全な場所に身を寄せて、身を守ってください。けがをしないように、十分に注意をしてください。		
15	41 : 25 41 : 58 (42 : 29)	先ほど午後2時46分ごろ、東北地方で強い地震がありました。東北地方で強い地震がありました。この地震で、大津波警報、津波警報、津波注意報が広い範囲に出ています。大津波警報が出ているのは岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、青森県太平洋沿岸、茨城県、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部に大津波警報が出ています。テレビの映像は、宮城県庁の地震が発生したときの様子です。宮城県庁の地震が発生したときの様子です。職員の方でしょうか、揺れに警戒して。そして、これは、デスクの上の物が大きく揺れています。書類などが大きく揺れています。書類が大きく揺れて、一部が落ちました。宮城県庁、地震が発生したときの様子です。仙台市内では、ところによっては震度6強を、また6弱の揺れを観測しました。宮城県庁内、地震が発生したときの様子です。書類が散乱しています。職員の方でしょうか、机の下に身を寄せる人もいます。揺れが続いています。地震が発生したときの、宮城県庁の様子です。	午後3時26分ごろ地震がありました 震源は三陸沖 深さ10キロ マグニチュード7.2	宮城県庁 地震速報
15	42 : 40 43 : 15 43 : 38	そして、仙台市内の様子です。ガラスが散乱しています、これはバス停でしょうか。バス停にあるガラスがですね、割れて散乱しました。人が抱き合っています。仙台市、地震が発生したときの様子です。バス停のガラスが割れて散乱している様子が見えました。NHK仙台放送局近くの映像です。仙台市内、震度6強や6弱の揺れを観測しています。多くの人が道路に出てきています。ヘルメットをかぶっている人もいます。仙台市内の、地震が発生したときの様子です。そして、これは午後3時20分、岩手県の宮古港の映像です。大きく泡だった波が、車や漁船と共に陸上に流れ込んできています。建物の一部が完全に水につかっています。建物のわきを、白波を立てて勢いよく、海水が流れ込んでいます。その海水と共に、大きな漁船、そして車が流されている様子が見えます。建物も流されています。続いて、仙台市内の、これは現在の様子です。ヘリコプターからの映像です。建物、マンションでしょうか、高い部分から煙が出ています。白い煙です。仙台市中心部の住宅街の映像です。仙台市中心部の住宅街の映像。これはマンションでしょうか、高いビル、上のほうから白い煙が上がっています。仙台市若林区の若林消防署によりますと、市内の荒井地区で住宅火災が発生して、消防車が出動しているということです。	午後3時26分ごろ東北・関東地方で震度4の地震がありました 大津波警報が追加されました 北海道太平洋沿岸 伊豆諸島 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 津波警報が追加されました 東京湾内湾 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道 沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県 津波注意報が追加されました オホーツク海沿岸 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海	仙台市内 警報追加 岩手県宮古 中継・仙台市内
15	44 : 10	今、新たに津波の観測の情報です。観測された津波の情		

(44:21)	<p>報をお伝えしていきます。岩手県の釜石港で午後3時21分、4m10cmの津波を観測しました。また、岩手県宮古港、午後3時21分、4m以上、宮城県石巻市鮎川、午後3時20分、3m30cm、岩手県大船渡港、午後3時15分、3m20cm、千葉県銚子市、午後3時37分、2m20cm、茨城県大洗港で午後3時27分、1m80cm、千葉県館山市、午後3時37分、1m30cmの高い津波を観測しています。この津波は、繰り返し押し寄せる恐れがあります。津波が観測されても、この後、引き続き波が押し寄せる恐れがあります。しかも、2回目、3回目の波のほうが高くなる恐れもありますので、このまま警戒を続けてください。</p>	<p>津波注意報が追加されました 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波警報 北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 陸奥湾 千葉県内房 東京湾内湾 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県 津波注意報 オホーツク海沿岸 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 大分県瀬戸内海沿岸 鹿児島県西部 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p>	<p>注意報追加</p>
15 45:04	<p>岩手県の釜石の、現在の様子です。この釜石、先ほどの位置から見ますと、この高架を走る道路のちょうど下のあたりまで海水が上がってきたんですが、今はいったん、波は引いています。波がいったん引いているようです。しかし、この後も、再び津波が押し寄せる恐れがあります。この後も、波が引いても、津波が押し寄せる恐れがありますので、引き続き警戒を続けてください。</p>	<p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想8m 大津波警報 茨城県 すでに到達と推測 予想10m以上</p>	<p>中継・岩手 県釜石</p>
45:27	<p>そして、宮城県の気仙沼の様子です。こちらも、波は引いている様子を確認することができます。この、波が引くのと共に、いろいろな多くの物が海面を浮いて流されているのが確認できます。宮城県気仙沼の様子です。先ほど、この位置から見ますと波が押し寄せている映像が確認できましたが、現在見ますと、逆に波が引いています。気仙沼、先ほど、3分ほど前よりも水位が下がっているということです。気仙沼、3分ほど前よりも水位が下がっているということです。そして、この波が引くのと同時に、多くの物が海面に浮いて流されています。</p>	<p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想8m 大津波警報 茨城県 すでに到達と推測 予想10m以上 大津波警報 伊豆諸島 すでに到達と推測 予想4m</p>	<p>中継・宮城 県気仙沼</p>
46:06	<p>石巻の現在の様子です。宮城県石巻の現在の様子です。雪で少し見えにくくなっていますが、海面に白波が立っていて大きなうねりができています。流れもあります。そして、画面のまん中に建物が見えます。画面のまん中、建物が見えて、完全に水につかっています。すぐそのそばを、漁船が転覆して流されている様子が見えました。宮城県の石巻の現在の様子です。引き続き大津波警報が出ていますので、厳重な警戒をしてください。建物が完全に水につかっています。そのまわりを激しい流れ、そして、その流れと同時に漁船が流されているのが確認できます。かなりのスピードです。かなりの勢いで漁船が流されています。漁船が、後ろ向きに流されています。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 すでに到達と推測 予想6m 大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想4m 津波警報 千葉県内房 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 相模湾・三浦半島 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 静岡県 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 東京湾内湾 午後3時40分ごろ 予想1m 津波警報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想2m</p>	<p>中継・宮城 県石巻</p>
15 46:51	<p>震度7の揺れを観測した、栗原市の情報です。宮城県栗原市の消防本部総務課のノムラミキオさんは、「通報が多数寄せられて詳しい状況が分からないが、5台の救急車が今、2往復してけが人を病院に運んでいるので、10人以上のけが人がいると思われる。住宅では、タンクが壊れるなどの被害が出ているが、倒壊したなどという情</p>	<p>津波警報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想2m 津波警報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想2m 津波警報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想1m 津波警報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想2m 津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m</p>	<p></p>

15	47:26	報は今のところ入ってきていない」と話しています。10人以上のけが人が出ている模様だという情報でした。震度7を観測した、宮城県栗原市の情報でした。	津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m		
	48:08	映像は、引き続き宮城県の石巻の様子です。数隻の漁船が渦を巻くようにですね、波に乗って流されています。その手前を、建物も流れている様子が見えます。この宮城県には現在、大津波警報が出ています。大津波警報が出ていますので、引き続き厳重な警戒が必要です。多くの波が流されています。石巻の港でしょうか、多くの漁船が渦を巻くように流れているように感じられます。そして、雪で少し見えにくいんですけども、海面は大きく波立っています。流れが出ているのが確認できます。その流れと同時に多くの漁船、かなり大きい船もあります、船が流されているのが確認できます。	津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m 津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m 津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想2m 津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m 津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想1m 津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m 津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想1m		
15	48:39	アナ:では、引き続き、地震と津波の情報をお伝えします。今日2時46分ごろ、東北地方で、震度7を観測する強い地震がありました。この地震で、各地に大津波、津波警報が出ています。津波は、既に東北地方や関東地方の太平洋側の各地で観測されていて、岩手県の釜石港では午後3時21分に4m10cmの津波を観測しています。	津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m 津波注意報 オホーツク海沿岸 午後4時40分ごろ 予想50cm 津波注意報 大阪府 午後5時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm	NHK スタジオ	
	49:02	テレビの画面でご覧いただいているのは、宮城県石巻港の現在の様子です。雪が強く降っていますが、その向こう、船が流されているのが分かります。依然として、この宮城県石巻市では、津波が押し寄せている様子が分かります。	津波注意報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想50cm 津波注意報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時50分ごろ 予想50cm 津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後6時20分ごろ 予想50cm		中継・宮城県石巻
	49:20	今日2時46分ごろ、東北地方で強い地震がありました。横浜市消防局によりますと、横浜市西区のボウリング場ハマボールで天井が崩れて複数のけが人が出ているという通報がありまして、現在救助に向かっています。また、警察によりますと、当時は10人前後がいたということです。横浜のボウリング場で天井が落ちたという情報です。また、宮城県の大崎市にある大崎地域消防本部によりますと、この地震で少なくとも20人から30人が、頭や手足にけがをしたという通報が入っているということです。	津波注意報 長崎県西方 午後6時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後6時30分ごろ 予想50cm 津波注意報 香川県 午後6時40分ごろ 予想50cm 津波注意報 有明海・八代海 午後7時10分ごろ 予想50cm 津波注意報 岡山県 午後7時30分ごろ 予想50cm		
	49:57	テレビの画面でご覧いただいているのは、茨城空港で地震が起きたときの様子です。天井から何か棒のような物が落ちました。激しくゆれて、天井の照明が揺れています。そして、天井のパネルが床に落ちました。大きな音			茨城空港

15	50 : 25	を立てて天井のパネルが落ちて、こなごなに砕けました。茨城空港の地震発生時の映像です。 お伝えしていますように、今日午後2時46分ごろ、東北地方で、震度7を観測する強い地震がありました。		
15	50 : 32 50 : 52	では、災害担当のツジムラ記者と共にお伝えします。 ツジムラ：はい。 アナ：少しお待ちください。これは、東京のJR新宿駅の南口でしょうか、駅前の様子が映っています。大勢の人が路上に出ている様子です。新宿駅の前からお伝えしています。 では、災害担当のツジムラ記者とお伝えします。ツジムラさん、各地ですね、津波の大きな被害が出ているようですね、この今回の地震ですね、改めてどんな地震だったのかまとめてください。 ツジムラ：はい。今日の午後2時46分ごろからですね、午後3時15分ごろにかけて3回の大きな地震が起きています。 アナ：3回、地震があったんですね。 ツジムラ：はい。まず1回目の地震が、午後2時46分ごろ起きました。震源地は三陸沖です。マグニチュードが7.9で、このときの地震で、宮城県栗原市では震度7の非常に激しい揺れを観測しています。		中継・JR 新宿駅 中継・北海道 広尾町
15	51 : 29 (51 : 38) 51 : 53	アナ：途中ですけれども、今、新しい映像が入ってきました。画面では、北海道の広尾町の現在の様子をお伝えしています。北海道の広尾町も、ご覧のように、海水が岸壁を越えて岸壁の上になだれ込んでいる様子が分かります。北海道広尾町の現在の様子です。 変わって、こちらは、青森県の八戸市の現在の様子です。八戸も今、岸壁を越えて波が流れ込んでいます。岸壁の上で、これ、ツジムラさん、乾いてますので、今、波が到達したというふうに推測されますね。岸壁を今越えて、始めて超えていると。 ツジムラ：ええと、そうですね、今押し寄せている波はそうだと思います。 アナ：船が既に岸壁にこう、くつつくようにして流されている様子も分かります。 ツジムラ：車がありますが、非常に危険ですね、これは。 アナ：今、岸壁の上には車が走っている様子も見えます。大津波警報、津波警報が出ていますので、どうぞ、海岸や河口付近からは早く避難してください。	午後3時41分ごろ地震がありました 震源は岩手県沖 深さ50キロ マグニチュード5.7 午後3時41分ごろ東北地方で震度4の地震がありました 揺れの大きい地点は次のとおりです 震度4 大船渡市 釜石市 震度3 八戸市 六戸町 五戸町 青森県南部町 階上町 午後3時46分ごろ地震がありました 震源は宮城県沖 深さ10キロ マグニチュード5.7 午後3時46分ごろ東北地方で震度4の地震がありました 揺れの大きい地点は次のとおりです 震度4 一関市 震度3 宮古市 大船渡市 花巻市 平泉町 気仙沼市 平田村	地震速報 中継・青森 県八戸
15	52 : 37	こちらは、東京都内の今の様子です。新宿駅の東口の様子です。東口の前の公園に、大勢の人が見えます。大勢の人が、建物から出てきたんでしょうか、この公園の中にとどまっている様子が分かります。大変多くの人の様子が見えます。東京都内、新宿駅の東口の様子です。 ツジムラさん、先ほどの話を続けますけれども、全部で今回、3回大きな地震があったということですね。		中継・都内 新宿駅東口

15	53 : 03	<p>ツジムラ：はい、そうです。1回目が午後2時46分に、三陸沖を震源とするマグニチュード7.9の地震が起きました。これで、宮城県の栗原市では震度7、それから、仙台から栃木県の広い範囲で震度6強の揺れを観測しています。続いて、午後3時6分ごろ、同じ三陸沖で今度はマグニチュード7.0の、先ほどの地震の余震と見られる地震が起きました。このときは、青森県八戸市など、これも広い範囲で震度5弱を観測しています。</p>		中継・千葉 県銚子
	53 : 42 (53 : 51)	<p>そして、3回目なんですけど、これが午後3時15分ごろありました。こちらはですね、先ほどの二つの地震と震源が下にやや下がってきまして、茨城県沖。午後3時15分の地震は茨城県沖で起きました。マグニチュードは7.4ですから、この一連の地震の中では2番目に大きな規模の地震ということになります。この地震で、茨城県銚田市で震度6弱を観測しています。こうして、いずれもマグニチュード7以上というですね、大きな地震が3回、わずか30分のあいだに3回起きましたので、広い範囲で今、津波警報が出ています。</p> <p>アナ：大津波警報ですね。</p>	<p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島 津波警報 北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 陸奥湾 千葉県内房 東京湾内湾 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県 津波注意報 オホーツク海沿岸 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 大分県瀬戸内海沿岸 鹿児島県西部 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです 大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上</p>	大津波警報 中継・北海 道広尾町
	54 : 23	<p>ツジムラ：大津波警報が、特に岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の九十九里と外房という、この範囲には高さ10m以上の大津波が予想されていて、実際に大きな、3、4mの大きな津波も既に観測されています。それで、それ以外にも、北海道から沖縄までの広い範囲に、津波警報が出ています。こちらのほうが、1mから2mの津波が予想されています。いずれにしましても、津波はですね、わずか数十センチでも。</p>	<p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上 大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想8m 大津波警報 茨城県 すでに到達と推測 予想10m以上 大津波警報 伊豆諸島 すでに到達と推測 予想4m 大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 すでに到達と推測 予想3m 大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 すでに到達と推測 予想6m 大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 午後3時40分ごろ 予想4m</p>	仙台市
15	54 : 57	<p>アナ：今、仙台市の映像が入ってきました。これは川でしょうか。</p> <p>ツジムラ：これは、川で津波が遡上している様子ですね。</p> <p>アナ：白波が画面の右のほうに向かって流れていく様子が分かります。これは、仙台市の名取川の現在の様子です。仙台市の名取川の現在の様子をご覧くださいませ。</p> <p>ツジムラ：こうした様子は1983年の日本海中部地震のときもですね、観測されています。これは、津波が押し寄せて、川を遡っている様子です。こうしたように、海沿いでなくとも、川の河川敷であつてもですね、津波は押し寄せますので、海沿いはもちろん海につながる川については、絶対に近づかないように厳重な警戒が必要です。</p>	<p>大津波警報 千葉県内房 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 相模湾・三浦半島 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 静岡県 すでに到達と推測 予想2m 津波警報 東京湾内湾 午後3時40分ごろ 予想1m</p>	
	55 : 52	<p>アナ：ご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近でしょうか、現在の状況をご覧くださいませ。海の方から。</p> <p>あ、そして今、これ、陸上の様子ですけども、家が津波で流されている様子が分かります。住宅や建物が津波で流されています。そして、畑も今、飲み込んでいきま</p>		

15	56 : 39	<p>す。建物や、そして車が見えます。黒い波が今、住宅や畑を飲み込んでいきます。仙台市の河口付近の、名取川の河口付近の様子です。</p>	津波警報 小笠原諸島 午後4時0分ごろ 予想2m
		<p>ツジムラ：海水と周辺の渦がいっしょになって、川だけではなく陸地も遡上しています。極めて危険な状態なので、すぐに避難する必要があります。</p>	津波警報 三重県南部 午後4時0分ごろ 予想2m
		<p>アナ：大津波警報や津波警報が出ている海岸や、そして川の、川岸付近の皆さんも、どうぞ、安全な所に避難してください。ご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近の映像です。</p>	津波警報 青森県日本海沿岸 午後4時10分ごろ 予想2m
		<p>ツジムラ：一度押し寄せると、しばらく引くことはありません。</p>	津波警報 愛知県外海 午後4時10分ごろ 予想1m
		<p>アナ：今、津波が道路の、幹線道路でしょうか、車が走っていますけれども、そのあたりまで今到達しました。そして、今、車が流されていくのが分かります。住宅や車などが今、津波で流されています。</p>	津波警報 和歌山県 午後4時10分ごろ 予想2m
		<p>ツジムラ：津波は通常の波と違いまして、後ろから続けて水が押し寄せてきます。ですから、いったんは止まったように見えても、それが後ろから次々に大量の海水が来ますので、警戒が必要です。</p>	津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m
		<p>アナ：仙台市の名取川の河口付近の様子です。今、流された津波が川の中に崩れ落ちていきました。</p>	津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m
		<p>今、新しい情報ですけれども、午後3時50分に相馬港で、7m30cm以上の津波を観測しています。</p>	津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m
		<p>ご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近の様子です。河口の、これは左岸でしょうか、海のほうから大きな波が来まして住宅や畑などを飲み込んで、そして今、濁流になって流されていきます。被害の情報などは分かりませんが、これは、ツジムラさん、大きな被害が。</p>	津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m
			津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想2m
			津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m
			津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想1m
			津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m
			津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想1m
			津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m
15	58 : 06	<p>ツジムラ：はい、今、気象庁から、最新の地震の規模について発表がありまして、マグニチュードが修正されました。2時46分に起きました、一番初めの地震についてはマグニチュード8.4、マグニチュード8.4というふうに推定されています。これは、本当に巨大地震ですね。東南海・南海地震に匹敵する巨大地震が起きたということです。</p>	
		<p>アナ：ご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近の映像です。あたり一帯、畑が広がっていたんですが、そのまわりを津波が今、飲み込んでいく様子です。畑や住宅、そして車などを今、津波が押し流しています。幹線道路を走っていた車も、先ほど流されていく様子分かりました。海岸や川岸の付近は大変危険です。</p>	
		<p>ツジムラ：こう見る限り、数キロの範囲で遡上していることが予想されます。ですから、海からかなり離れている所でも、高台に避難する必要があります。予想されている津波の高さは10m以上ですんで、少なくとも10m、</p>	

15	59 : 42	<p>20mの高台、もしくは、高台がなければですね、3階から4階建てのコンクリートのしっかりした建物、いずれか、今近い物に避難してください。海からなるべく離れる方向で、避難をしてください。</p> <p>アナ：もし、海から離れることが不可能な場合は、周辺の3階以上の、3階から4階以上のコンクリートの建物の、なるべく上の階まで避難してください。</p> <p>そして、今、炎も見えます。炎が見えます。こうして津波が押し寄せる場合は、いっしょに油なども押し流されて、このように水に覆われるのですが、火災の恐れもあります。大変危険です。</p> <p>ツジムラ：北海道南西沖地震のときも、津波が押し寄せたエリアでは広い範囲で火災が起きました。</p>		
16	00 : 00	<p>ツジムラ：今この海水と土砂とがれきが混ざったこの濁流に巻き込まれるの、非常に危険なので、すぐにこの、あの、周辺の方は避難してください。もし避難する高台がなければ、3階から4階建てのコンクリートのしっかりした建物、そういう建物に上がって、なるべく上層階にあがってください。</p>		
16	00 : 26 (00 : 35) 00 : 52 01 : 02 01 : 16 01 : 34	<p>アナ：ご覧いただいているのは、仙台市の現在の様子です。仙台市の名取川の河口付近の様子です。依然として津波が住宅や畑を飲み込んでいきます。画面の右側のほうには、炎も見えます。大変危険な状況です。これは仙台市の名取川の河口付近です。</p> <p>ツジムラ：木造の住宅ですと、この勢いだと勢いに押されてなぎ倒されてしまうことがあります。</p> <p>そしてまた住宅が建ち並んでいる所に津波が到達しそうです。</p> <p>ツジムラ：学校がありますね。</p> <p>アナ：はい。画面の右隅にはプールが見えます。現在、時刻は4時になったところです。</p> <p>波が今、ビニールハウスや住宅を飲み込んでいくところです。</p> <p>ツジムラ：スマトラ島沖の巨大地震の、で起きたインド洋の大津波のときでも、このようにがれきと海水が一緒になってですね、津波というよりも土砂の塊となって流れてくると、こういう状況があります。</p> <p>この場合は、通常の木造の民家では、押しながらされてしまうことがありますから、避難、もし避難するときはコンクリートのしっかりした土台の3階以上の建物、そちらに避難することが必要です。</p>	<p>午後3時57分ごろ関東地方でやや強い地震がありました</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p> <p>震度4 千葉北東部</p> <p>震度3 福島中通り 福島浜通り 茨城北部 茨城南 部 栃木南部 埼玉南部 千葉北西部 千葉南部</p>	<p>中継・宮城県仙台</p> <p>地震速報</p>
16	01 : 47	<p>アナ：大変危険な状況になっています。どうぞ安全な高台に避難してください。もし付近に高台がないという場合は、コンクリート造りの大きな頑丈な建物の、なるべく上の階のほうに避難してください。</p>		
16	02 : 02	<p>テレビの画面では、気象庁の記者会見の模様を。間もなく気象庁の会見が始まります。</p>		<p>中継・気象庁</p>

16	02 : 10 02 : 46 03 : 05 03 : 31 (03 : 42) 03 : 47 03 : 57 04 : 21	<p>ツジムラ：はい。地震津波監視課長のヨコヤマです。よろしくお願ひします。まず最初に、津波警報が出ています。大津波警報の津波警報、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、北海道太平洋沿岸西部、青森県太平洋沿岸、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、伊豆諸島、これらの地域に大津波の津波警報が出ていますので、住民の方は高い所に避難してください。できるだけ高い所に避難してください。</p> <p>今も津波が来ていますけども、まだ来ていない所でも、これからさらに大きな津波が来る可能性がありますので、絶対に戻らないでください。高い所に避難したまま、しばらくは避難を続けてください。警報が解除されるまでは絶対に戻らないでください。よろしくお願ひします。</p> <p>それから、津波警報が北海道から沖縄地方まで、太平洋沿岸中心に出ています。津波警報が出ている地域も、につきましても、高い所に避難してしばらくは避難所にいてください。まだこれから大きな津波が来る可能性がありますので、しばらくは避難を続けてください。</p> <p>非常に今回の地震は非常に大きな地震でしたので、津波が、の続く時間がかかなり長くなると思われます。そういうことですので、避難を続けるよう、よろしくお願ひします。</p> <p>それから、注意報が出ている地域につきましては、海岸から離れて、海のほうに行かない、近づかないということ、それから、注意報が出ている地域につきましては海岸から離れて海のほうに行かない、近づかないということで、よろしくお願ひします。</p> <p>それから、強い揺れがあった地域につきましても、今後余震による強い揺れの可能性がありますので、その強い揺れに警戒してください。まだあの、非常に大きな地震でしたので、余震も大きな地震が起こる可能性がありますので、十分その揺れについても警戒してください。はい。以上です。</p> <p>続けて、今回の地震の概況についてご説明します。</p>	<p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次のとおりです</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県</p> <p>大津波警報 福島県 茨城県 千葉九十九里・外房 伊豆諸島</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 陸奥湾 千葉県内房</p> <p>津波警報 東京湾内湾 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部</p> <p>種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク沿岸 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 大分県瀬戸内海沿岸 鹿児島県西部</p> <p>午後4時1分ごろ東北地方で地震がありました</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p> <p>震度3 宮城北部</p>	<p>大津波警報</p> <p>地震速報</p>
16	04 : 26 (04 : 42)	<p>アナ（気象庁と同時発言）：気象庁の会見が現在続いています。テレビの画面でお伝えしているのは、仙台市の名取川の河口付近の現在の様子です。これは河口から1.5km 付近の上空をヘリコプターが飛んでいます。</p> <p>男性：地震の発生についてですけども、本日14時46分ごろ、マグニチュードは8.4・・・先ほど精査した結果、8.4 ということになっております。それから地震の発生場所ですけども、これは破壊開始、地震の破壊開始点ということで、決してそこのピンポイントだけが壊れたわけじゃないので、東北地方…</p>	<p>大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 伊豆諸島</p>	<p>中継・宮城県仙台</p> <p>中継・気象庁</p> <p>大津波警報</p>
16	05 : 00	<p>…沖から、関東地方の沖合まで、かなりあのおう、地震が分布しているようですので、かなりの破壊域があったも</p>	<p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 青森県日本海沿岸 陸奥湾 千葉県内房 東京湾内湾 小笠原諸島 相</p>	

		のと思われます。破壊開始点は三陸沖、牡鹿半島の東南東…	模湾・三浦半島 静岡県 愛知県外海 津波警報 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部	
16	05 : 23	アナ：気象庁の会見が続いていますが、テレビの画面でお伝えしているのは、仙台市の名取川の河口付近の現在の様子です。津波が建物や道路、そして車などを押し流して、流れていく様子が分かります。	和歌山県 徳島県 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県豊後水道沿岸 宮崎県 鹿児島県東部 種子島・屋久島地方 奄美諸島・トカラ列島 沖縄県	中継・仙台 名取川
	05 : 36	現在、大津波警報が、岩手県、宮城県、福島県、千葉県九十九里・外房、青森県太平洋沿岸、茨城県、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、それに、北海道太平洋沿岸西部に出ています。海岸や河口付近、早く安全な高台に避難してください。また、安全な高台が近くに見当たらない場合は、丈夫なコンクリートの建物の3階から4階以上、上のほうの階に避難してください。		
	06 : 07 (06 : 17)	ご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近です。海岸から1.5kmほどの地点の上空を、ヘリコプターが飛んでいます。ご覧のように海から押し寄せた津波が、住宅や車、そして畑などを巻き込んで、多くの建物や住宅、そして車などが流されています。	午後4時ごろ東北・関東地方で地震がありました 震度3以上の地域は次のとおりです 震度3 岩手内陸南部 宮城北部 茨城南部 千葉北東部	地震速報
16	06 : 30	では、この時間は、東京大学の地震が専門の都司（嘉宣）准教授にもおこしいただいています。 都司さん。 都司：はい。 アナ：まずこの映像をご覧になって、大変大きな被害ですね。		
	06 : 41	都司：はい。あの、ちょうど地震が起きてから1時間20分ほどたつんですが、これは津波の第1波になりますね。で、マグニチュード8.4と訂正されましたけれども、これは震源が大きくて、しかも海底のずれの量が大きいで、少し長引くのと、もう一つは、これ、第1波を今迎えているわけなんです、第3波、第4波くらい、時間にして第1波が来てから2時間、3時間くらいまでは、それより高い波がさらに来る可能性がありますので、十分注意してください。これがたとえ一時的に引くことがあっても、その後また来る可能性がありますので、内陸にずっと居続けて、気象庁の警報が解除になるまでその場所にいてください。		
16	07 : 32	アナ：避難するというのがまず第一だと思うんですけども、どんな所にどのように避難したらよろしいのでしょうか。		
	07 : 38	都司：もしビルがありましたら、コンクリートのビルがありましたら、3階以上の場所、それから標高が平野よりも、できたら10m以上高い場所に移動してください。その際、これはあのう、車で逃げますと、車が浮き上がってしまう可能性があるのが、地理に詳しい人がすぐ高い所に行けるという見通しがあるならいいんですけども、できるだけ人間の足で、高い所へ階段で移動して		

		上がってください。		
	(08:15)	アナ：繰り返しますけれども、まだこれから津波は繰り返し来る恐れがあるということですね。 都司：はい。はい。あ、それと、川の中に入ってくる津波というのがあります。これは河口付近だけじゃなくて、河口から10km 辺りまでは津波が入っているはずなんです。その場所はまったく海が見えません。その海の周りの畑もそうです。そこで作業をしていて、ここは海と関係ないと思っても、そこに津波が入ってくる可能性があります。	大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県、宮城県	大津波警報
16	08:35	アナ：つまりその、対岸から遠い地点であっても、川の周辺では十分な警戒が必要だということですね。 都司：はい、そうです。そうです。 アナ：早く安全な高台に避難することが必要だということですね。 都司：はい、そうです。 アナ：それから、あのう、これも繰り返しになりますけれども、近くに高台が見当たらないような場合は、なるべく頑丈なコンクリート製などの建物の上のほうに避難するということですね。 都司：はい。まあ、できるだけ3階以上の場所、そういう所に避難してください。		
16	09:06	アナ：テレビでご覧いただいているのは、仙台市の名取川の河口付近の現在の様子です。		中継・仙台 名取川
	(09:10)	また、大津波警報の地点が追加されました。大津波警報の地点が追加されました、お伝えします。千葉県の内房、相模湾・三浦半島、静岡県、青森県日本海沿岸、小笠原諸島、和歌山県、徳島県に大津波警報が追加されました。	午後2時46分ごろ地震がありました 震源は三陸沖 深さ20キロ マグニチュード8.4 午後4時6分ごろ九州地方で地震がありました 大津波警報が追加されました	地震速報 警報追加
	09:30	繰り返してお伝えします。千葉県の内房、相模湾・三浦半島、静岡県、青森県日本海沿岸、小笠原諸島、和歌山県、徳島県に大津波警報が追加されました。大津波警報が出ている海岸や川や河口付近の皆さんは、早く安全な高台に避難すること。大津波警報、津波警報が出ている海岸や川の河口付近の皆さんは、早く安全な高台に避難すること。	青森県日本海沿岸 千葉県内房 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県 津波警報が追加されました 大分県瀬戸内海沿岸 鹿児島県西部 津波注意報が追加されました 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 広島県 山口県瀬戸内海沿岸	
	09:58	大津波警報が追加になりました。千葉県の内房、相模湾・三浦半島、静岡県、青森県日本海沿岸、小笠原諸島、和歌山県、徳島県に大津波警報が追加されました。また津波警報が鹿児島県西部、大分県、瀬戸内海沿岸に追加されました。	大津波警報、津波警報、津波注意報は次の通りです 大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 千葉県外房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県	
	10:13	テレビの画面では、千葉県市原市の石油コンビナートの映像をご覧いただいています。タンクが見えます。炎が見えます。千葉県市原市の消防本部によりますと、市原市、五井南海岸のコスモ石油の千葉精油所から、地震の後、火が出たと通報がありました。	津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	中継・千葉 市原市 コスモ石油
	10:35	これは再び仙台市内の現在の様子です。沖合に白い波が見えます。都司さん。	津波注意報 オホーツク海沿岸 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸	中継・宮城 県仙台市

16	13 : 45	<p>水のように見えるはずですね。しかも水の勢いが非常に速い。それで陸上を襲ってくる。その可能性があります。アナ：今新たな津波の波が海岸付近に到達しました。仙台市の名取川の河口付近の現在の様子です。すでにこの内陸のほうに今津波が先ほど押し寄せまして、住宅や畑、そして車などを押し流しました。ところどころ煙が上がっているのが分かります。</p> <p>都司：うん。</p>	<p>大津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想3m</p> <p>津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m</p>
16	14 : 07	<p>アナ：これ、かなり海岸から、あのう、遠く離れた地域まで被害の恐れがありますね。</p> <p>都司：はい。あのう、ううんと、2時46分ですか。これが本震だったんですが、その後、やはりマグニチュード7.4、7.2というふうな、十分津波を起こす、それ、断続で起こす能力のある大きさを持った地震が、南のほうに向かっていくつか起きてみたいですね。二つ、三つ、起きてるようですね。</p>	<p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p>
	14 : 34	<p>茨城県沖で起きたものが、ええっと、マグニチュード7.2ですか。これ、単独でも津波を引き起こす可能性があるんですよ。従いまして、この、今はニュースでもつばら、あのう、仙台、放送しておりますけど、茨城県、千葉県方面でも津波が、うん、今後押し寄せる可能性が非常に高いです。十分気を付けてください。</p>	<p>津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想2m</p>
	14 : 58	<p>アナ：はい。現在、大津波警報が出ている地域を繰り返してお伝えします。岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、いずれも津波の予想高さは10m以上となっています。また、千葉県内房4m、伊豆諸島6m、北海道太平洋沿岸東部6m、北海道太平洋沿岸中部8m、青森県太平洋沿岸10m以上、相模湾・三浦半島3m、静岡県北海道太平洋沿岸西部、静岡県が3mで、北海道太平洋沿岸西部は6m、そして小笠原諸島4m、青森県日本海沿岸3m、和歌山県3m、徳島県3m、以上が大津波警報が出ている地域です。</p>	<p>津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想50cm</p>
16	15 : 45	<p>引き続きテレビの画面では、仙台市の名取川の河口付近の様子です。津波が沖合から何度も押し寄せてくる様子が分かります。先ほど大きな波がこの内陸のほうまで達しまして、右側、画面の右側ですけれども、辺り一面が水浸しのような状態になっています。住宅や畑を押し流しました。大変危険な状況になっています。大津波警報、津波警報が出ている地域の皆さんは、安全な高台に避難してください。</p>	<p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後4時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 秋田県 午後5時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 新潟県上中下越 午後5時30分ごろ 予想50cm</p>
	16 : 17	<p>それから、津波警報が出ている地域をお伝えします。東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、陸奥湾、伊勢湾・三河湾、高知県、北海道日本海沿岸南部、淡路島南部、宮崎県、愛媛県宇和海沿岸。お伝えしているのは津波警報が出ている地域です。大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、大東島地方、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大分県瀬戸内</p>	<p>津波注意報 富山県 午後5時30分 予想50cm</p> <p>津波注意報 石川県能登 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後6時20分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 長崎県西方 午後6時30分ごろ 予想50cm</p>

		<p>海沿岸、宮古島・八重山地方、以上が津波警報が出ている地方です。いずれも予想される津波の高さは2mから1mとなっています。どうぞ、早く安全な高台に避難してください。仙台市の名取川の河口の付近の様子をご覧ください。沖合から何度も津波が押し寄せています。</p>	<p>津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後6時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 香川県 午後6時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 有明海・八代海 午後7時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 岡山県 午後7時30分ごろ 予想50cm</p>	
16	17:11	<p>都司さん。この映像をご覧になってですね。今回の津内の規模ですね。どのようにご覧になりますか。</p> <p>都司：はい。そうですね、あの、昭和8年の三陸津波ほど、そこまでの規模はないんですけども、江戸時代にも4回か5回ぐらい、そうですね、海岸からの高さ4、5mまで来た津波、何回かありました。で、日本列島全体で十何人か津波でお亡くなりになったようなことが起きております。今回もそれに匹敵する出来事ということになりますね。</p> <p>ただ、内陸での地震の被害も大きかったわけなので、交通の不便な所、内陸での地震による被害、すであって、さらにこれ。ううん、これは。</p>	<p>津波注意報 山口県瀬戸内海沿岸 午後8時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 広島県 午後9時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 佐渡 午後10時30分ごろ 予想50cm</p>	
	17:44	<p>アナ：茨城県の大洗町の現在の様子ですけども。</p> <p>都司：ああ。はい、はい。</p> <p>アナ：これ、津波、現在、あの、陸地の部分には水は見えませんが、漁船が、この、岸壁の上に上がっているのが分かりますね。</p> <p>都司：ああ、はははは。</p> <p>アナ：またあの、海岸の近くに人が歩いているのも見えます。</p> <p>都司：あ、危険だな。</p> <p>アナ：大変これは危険です。</p> <p>都司：うん、うん、うん、うん。</p>		中継・茨城県大洗町
	18:23	<p>アナ：どうぞあの、津波は二度、三度、繰り返し押し寄せることがあります。このようにですね、海岸の近くには絶対に近づかないでください。</p> <p>茨城県大洗町の現在の様子です。</p>		
16	18:25 (18:26) 18:50	<p>こちらは仙台空港の現在の様子です。仙台空港も、周りが水浸しになっているのが分かります。これは滑走路があるはずなんですけれども、滑走路が見えません。そしてターミナルビルの周りが、ご覧のように水浸しになっています。</p> <p>仙台空港です。管制塔が見えます。管制塔の周りもこのように水浸しになっています。仙台市、これは宮城県の名取市にあります仙台空港です。名取市にあります仙台空港。先ほどまでご覧いただいていました名取川の河口付近の比較的近い所にあります。仙台空港の周りも、ご覧のように水浸しになっている様子、水につかっている様子が分かります。滑走路がわずかに画面の上のほうに斜めに見えているのが分かりますが、空港の周り一面、水につかっています。</p>	<p>午後4時15分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました</p> <p>震度3以上の地域は次のとおりです</p> <p>震度4 福島中通り 福島浜通り 会津 栃木北部 栃木南部</p> <p>震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山地方 山形置賜地方 茨城北部 茨城南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部</p>	中継・仙台空港 地震速報

16	<p>19 : 33 (19 : 42)</p> <p>20 : 25</p>	<p>仙台空港は、この仙台湾に、のわりと近い所にあります。今、海岸が見えました。海岸のすぐ横に仙台空港があります。仙台空港は名取川の南にあります。テレビでご覧いただいているのは、宮城県名取市の仙台空港の様子です。画面の左側に名取川があるはずですが、滑走路が見えました。滑走路の周りも水につかっています。図面で見ますと、滑走路は2本あるはずなんですけれども、この映像からは1本しか滑走路が確認できません。水や土砂に埋まっているものと見られます。</p> <p>テレビでご覧いただいているのは、仙台空港の現在の様子です。飛行機や人の姿はこの映像からは確認できません。テレビでご覧いただいているのは、仙台空港の今の様子です。仙台空港は名取市にあります。名取市は仙台の南です。</p> <p>名取川がありますが、その名取川の少し南に位置している仙台空港の様子です。すぐ海岸沿いにあります。辺りは一面、水と土砂につかっています。そして道路が見えますけれども、仙台空港への取り付け道路が途中で埋まっているのが確認できます。画面の右下のほう、今、地図で隠れそうになっている部分です。ご覧いただいているのは、仙台空港の現在の様子です。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸岩手県 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 山口県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸</p> <p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想 10m 以上</p> <p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想 10m 以上</p> <p>大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想 10m 以上</p> <p>大津波警報 茨城県 津波到達を確認 予想 10m 以上</p>	津波警報
16	<p>21 : 29</p> <p>21 : 53</p> <p>22 : 05</p>	<p>そして今、ターミナル、石油コンビナートでしょうか。千葉縣市原市の様子です。コスモ石油の千葉製油所の現在の様子をご覧いただいています。大きな炎を上げてタンクが燃えています。炎が上がっています。コスモ石油の千葉精油所の現在の様子です。</p> <p>この時間は災害担当のツジムラ記者と、東京大学の都司准教授とお伝えしています。</p> <p>ツジムラさん。</p> <p>ツジムラ：はい。</p> <p>アナ：このように、今、タンクが燃えていますけれども。</p> <p>ツジムラ：はい。タンク火災は、これまで大きな地震の度にたびたび起きています。</p> <p>アナ：こちら仙台空港でしょうか。ターミナルビルの上に人の姿が見えます。仙台空港のターミナルビルの屋上に人の姿が見えます。ヘルメットをかぶった人、そしてスーツ姿の人や、普段着姿の人の姿も見えます。乗客でしょうか。確認はできませんけれども、仙台空港のターミナルビルの上空、今、屋上の映像が見れています。多くの人が屋上に避難している様子です。</p> <p>仙台空港は海岸から西に 1 km の地点にあります。その仙台空港のターミナルビルの屋上に、多くの人の姿が見えました。</p>	<p>大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想 10m 以上</p> <p>大津波警報 千葉県内房 津波到達を確認 予想 4 m</p> <p>大津波警報 伊豆諸島 津波到達を確認 予想 6 m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 予想 6 m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 予想 8 m</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想 10m 以上</p> <p>大津波警報 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 予想 3 m</p> <p>大津波警報 静岡県 津波到達を確認 予想 3 m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 予想 6 m</p> <p>大津波警報 小笠原諸島 すでに到達と推測 予想 4 m</p> <p>大津波警報 青森県日本海沿岸 すでに到達と推測 予想 3 m</p> <p>大津波警報 和歌山県 すでに到達と推測 予想 3 m</p> <p>大津波警報 徳島県 午後 4 時 40 分ごろ 予想 3 m</p> <p>津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想 2 m</p>	<p>中継・千葉 縣市原 コスモ石油</p> <p>中継・仙台 空港</p>
16	22 : 56	<p>ツジムラさん。そして、こちら先ほどからお伝えしています、コスモ石油の千葉製油所。大きな炎が上がっていますが。</p> <p>ツジムラ：はい。茨城県沖では、先ほどの一連の地震で、</p>	<p>津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想 2 m</p> <p>津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想 2 m</p> <p>津波警報 陸奥湾 午後 4 時 20 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 午後 4 時 30 分ごろ 予想</p>	<p>中継・千葉 縣市原 コスモ石油</p>

16	<p>23 : 35</p> <p>23 : 49</p> <p>24 : 03</p>	<p>マグニチュード 7.4 という大きな地震が起きていますし、遠い、離れた三陸沖では 8.4 という、非常に、あの、巨大な地震が起きました。</p> <p>こうした地震が起きますとですね、タンクの中の油が大きく揺さぶられて、タンクが壊れ火災が起きるといのは、これまでの地震でもたびたび起きています。</p> <p>アナ：あの、コスモ石油によりますと、高圧ガスのタンク付近から火が出て、高さ 30m あまりまで炎が上がっているということです。</p> <p>こちらは市原市、五井南海岸のコスモ石油の千葉製油所の現在の様子です。石油タンクから火が出て、大きな炎が上がっています。コスモ石油によりますと、高圧ガスのタンク付近から火が出ているという情報です。</p> <p>ツジムラ：太平洋側には、このように原油やガスといった、こういうようなコンビナートがありますので、同じような被害が起きてる恐れもあります。ですからそれについても警戒が必要です。</p> <p>それと、まずはこの、大津波警報が出ている地域につきましては、10m の津波が予想されますので、その範囲の人たちはすぐに高台に避難する必要がありますし、高台がなければ、3 階建て以上のコンクリート製の建物に避難することが必要です。今津波が押し寄せてなくても、これから押し寄せることは十分考えられます。これは宮城県だけの津波の被害じゃなくて、太平洋側ですね、北海道から沖縄までの太平洋側の広い範囲で同じような津波が押し寄せる恐れがありますので、大津波警報それから津波警報が出ている範囲の方々には、すぐに避難が必要です。</p>	<p>1 m</p> <p>津波警報 高知県 午後 4 時 30 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後 4 時 40 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 淡路島南部 午後 4 時 50 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 宮崎県 午後 5 時 0 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後 5 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後 5 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 鹿児島県東部 午後 5 時 10 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後 5 時 10 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後 5 時 10 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 大東島地方 午後 5 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 鹿児島県西部 午後 5 時 20 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 沖縄本島地方 午後 5 時 40 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後 5 時 50 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後 6 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後 4 時 40 分ごろ 予想 50 cm</p>
16	<p>24 : 45</p> <p>24 : 59</p> <p>25 : 40</p>	<p>アナ：はい。今日午後 2 時 46 分頃から、相次いで非常に強い地震がありました。宮城県の北部で震度 7。宮城県の南部や中部、福島県、それに茨城県や栃木県で震度 6 強の揺れを観測しています。</p> <p>この地震で大津波警報が岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸、和歌山県、徳島県に大津波警報が出ています。</p> <p>徳島県は午後 4 時 40 分が津波の到達予想時刻となっています。予想される津波の高さは 3 m です。その他の各地は、すでに津波は到達を確認、あるいは到達と推測されています。</p> <p>引き続き、津波警報が出ている地域です。東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、それに、以上はすでに津波が到達したと推測されています。そして、陸奥湾が午後 4 時 20 分、時刻は過ぎていますが、午後 4 時 20 分です。そして、伊勢湾・三河湾、午後 4 時 30 分、高知県、午</p>	<p>津波注意報 秋田県 午後 5 時 0 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後 5 時 10 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後 5 時 10 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 新潟県上中下越 午後 5 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 富山県 午後 5 時 30 分 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 石川県能登 午後 5 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後 6 時 20 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 長崎県西方 午後 6 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後 6 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 香川県 午後 6 時 40 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 有明海・八代海 午後 7 時 10 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 岡山県 午後 7 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p>

		<p>後 4 時 30 分、北海道日本海沿岸南部、午後 4 時 40 分、淡路島南部、午後 4 時 50 分、宮崎県午後 5 時、愛媛県宇和海沿岸、午後 5 時 10 分、大分県豊後水道沿岸、午後 5 時 10 分、鹿児島県東部、午後 5 時 10 分、種子島・屋久島地方、午後 5 時 10 分、奄美諸島・トカラ列島、午後 5 時 10 分、大東島地方、午後 5 時 10 分、鹿児島県西部、午後 5 時 20 分、沖縄本島地方、午後 5 時 40 分、大分県瀬戸内海沿岸、午後 5 時 50 分、宮古島・八重山地方、午後 6 時 10 分、いずれも津波警報が出ている地域、予想される高さは 1 m から 2 m です。</p>	<p>津波注意報 山口県瀬戸内海沿岸 午後 8 時 10 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 広島県 午後 9 時 0 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 佐渡 午後 10 時 30 分ごろ 予想 50 cm</p>	
16	26 : 44	<p>テレビでご覧いただいているのは、宮城県の阿武隈川の上空の映像です。この辺りも水につかっている様子が分かります。</p> <p>真ん中を流れている部分が、橋が左のほうから見えてきましたけれども、これが阿武隈川です。宮城県の阿武隈川の上流です。</p> <p>都司さん。まだこの、川岸の、川の表面にですね、波が立っているのが分かりますね。</p>		中継・宮城県 阿武隈川上空
	27 : 10	<p>都司：はい。はい。これはあの、波状段波とかポアとか呼ばれている現象で、非常に流れが速いんですね。しかも目で見た以上に、水が急に水位が上がります。だから、海岸で子どもたちが遊んでいる、あるいは農作業をやっている。これはどンドンどンドン上上がって行きます。そのとき非常に強い流れを感じるはずですね。それと、衝撃を感じるはずです。この段波、川の中をさかのぼる津波というのは、非常に警戒を要する一つの要素の一つになります。川の、内陸の、海岸からかなり中に入って、もう 10km も中だという所まで、警戒を緩めないでください。</p>		
16	27 : 49	<p>アナ：先ほどご覧いただきました名取川からは、さらに南に行ったところですよ。この辺りも住宅街ですけども。</p>		中継・宮城県 亘理町
	27 : 58	<p>あ、そして建物の上に今、人の姿が見えます。宮城県の亘理町の現在の様子です。住宅街が水につかっています。そして先ほど画面の右のほうに、建物の屋上に避難している人の姿も見えました。住宅街が水に、かなり大規模に、都司さん、これ、つかっていますね。</p>		
	28 : 20	<p>都司：はい。これで第 1 波でこうなっているわけなので、もし、高いこの家の中で高い所、あるいは、ビルの上のほうに行っている人は、第 1 波が終わったとって、これで安心して下に下りてこないでください。これはまだ第 1 波。この後、第 2 波、第 3 波、第 4 波くらい。少なくとも 3 時間ぐらいいは、この様子を、あのう、エニ（？）</p>		
	(28 : 55)	<p>していかなければいけないと思います。</p> <p>まあ、気象庁の警報解除まで、この状態で高い所において、命を助かり、あるいはけがをしていない人は、そのままの状態、高い所に居続けていてください。</p>	<p>午後 4 時 15 分ごろ地震がありました</p> <p>震源は福島県沖</p> <p>深さ 10 キロ マグニチュード 6.8</p> <p>午後 4 時 15 分ごろ東北・関東地方で震度 4 の地震</p>	地震速報

16	<p>28 : 59</p> <p>アナ：はい。今ですね。ええ、1人亡くなったとの情報が入ってきました。</p> <p>都司：ああ、はい。</p> <p>アナ：茨城県総合防災課によりますと、茨城県の高萩市で、建物が倒壊して1人が死亡したということです。被害があったのは、高萩市安良川のマッサージ店で、死亡したのは、治療に訪れていた60代から70代くらいの人の、70代くらいの女性と見られるということです。</p> <p>29 : 25</p> <p>茨城県総合防災課によりますと、茨城県の高萩市で建物が倒壊して、マッサージ店に治療に訪れていた60代から70代からの女性が死亡したということです。</p> <p>また、宮城県警察本部によりますと、仙台市宮城野区岡田地区で。</p> <p>29 : 44</p> <p>あ、今、岩手県の釜石市の現在の様子ですが、カメラが小刻みに、左右に揺れているのがわかります。余震と見られます。この後も余震の恐れがあります。また、津波も繰り返し押し寄せる恐れがあります。引き続き警戒してください。</p>	<p>がありました</p> <p>震度4 郡山市 須賀川市 二本松市 桑折町 田村市 いわき市 喜多方市 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 会津美里町 大田原市 那須町 高根沢町</p> <p>震度3 花巻市 一関市 仙台青葉区 仙台宮城野区 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 松島町 酒田市 上山市 村山市 天童市 山辺町 中山町 江北町 米沢市 南陽市 高島町 山形川西町 白鷹町 福島市 白川市 川俣町 大玉村 鏡石町 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 玉川村 平田村 浅川町 古段町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮町 相馬氏 広野町 檜葉町 富岡町 川内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 飯舘村 南相馬市 会津若松市 西会津町 柳津町 南会津町 水戸市 常陸大宮市 土浦市 石岡市 鹿嶋市 筑西市 銚田市 宇都宮市 矢板市 那須塩原市 足利市 栃木市 小山市 真岡市 上三川町 益子町 茂木町 芳賀町 野木町 岩舟町 さくら市 那須烏山市 栃木那珂川町 下野市 沼田市 伊勢崎市</p>	<p>中継・岩手県釜石</p>
16	<p>30 : 04</p> <p>こちらは八戸市の現在の様子です。こちらカメラが小刻みに揺れています。</p> <p>都司さん。</p> <p>都司：危ない。はい、はい。</p> <p>アナ：あう、今、海岸付近に人の姿が見えますけれども、これ非常に危険ですね。</p> <p>都司：はい。非常に危険です。</p> <p>アナ：はい。それから、余震も繰り返し来てますね。</p> <p>30 : 20</p> <p>都司：はい。あう、三陸沖で起きる、この地震というのは、同じような地震がいくつか繰り返す、そういう傾向が、江戸時代からの記録からもそういうことが言えます。しばらくはまだ余震の中にすごく大きなものがあります。引き続き警戒を続けていてください。</p> <p>それから、先ほどの堤防の上、一時的に潮が下がっているんですが、再び上がってくることも必ず起きることですので、あんなことをやってはいけません。高い所にすぐ移動しなければいけません。</p>	<p>市 伊勢崎市</p>	<p>中継・青森県八戸市</p>
16	<p>30 : 57</p> <p>アナ：こちらは福島県の富岡町の現在の様子です。福島第一原発が今映っています。カメラが小刻みに揺れています。余震と見られる揺れが起きています。繰り返し余震が起きています。</p> <p>31 : 14</p> <p>また、福島放送局、福島市にあります福島放送局でも、現在揺れが続いているという情報が入ってきました。</p> <p>被害の情報をお伝えします。宮城県警察本部によりますと、仙台市宮城野区岡田地区で、中学生くらいの子どもが津波に巻き込まれているという情報があるということです。仙台市宮城野区岡田地区で、中学生くらいの子どもが津波に巻き込まれているという情報があるとい</p> <p>(31 : 36)</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県</p>	<p>中継・福島県富岡町 福島第一原発</p> <p>大津波警報</p>

		うことです。また、仙台港の南防波堤で、警察官と住民、合わせて、およそ 20 人が取り残されている他、亶理町の海岸沿いの防波堤では、警察官 1 人と住民およそ 10 人が取り残されているということです。	千葉県九十九里・外房 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島	
16	32 : 03	その亶理町の現在の様子です。住宅街が水につかっています。 都司さん。 都司：はい。 アナ：今回は、かなり大きな津波が来ているようですが、ツジムラさん。 ツジムラ：はい。	南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	中継・宮城県亶理町
	32 : 18	アナ：この津波の高さですね。 ツジムラ：すでに観測されている津波の高さで、すでに 5 m 以上の津波が観測されています。福島県相馬港では、午後 3 時 50 分に、高さ 7 m30 cm 以上、30 cm 以上ということは、それ以上観測できてないということです。		
	(32 : 43)	で、それ以上高い津波が来たことが予想されます。岩手県釜石港でも、4 m10 cm、宮古港でも 4 m 以上、茨城県大洗港でも 3 m90、北海道えりも町でも 3 m50 cm など、広い範囲で 3 m 以上の津波がすでに押し寄せています。	午後 4 時 30 ごろ東北地方で強い地震がありました 震度 3 以上の地域は次のとおりです 震度 5 弱 福島浜通り 震度 4 福島中通り 会津 栃木北部	地震速報
	32 : 55	これは検潮所での津波の高さですんで、実際に押し寄せる津波は、これの 2 倍、3 倍ということは考えられます。津波に対する厳重な警戒が必要です。	震度 3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形庄内地方 山形村山地方 山形置賜地方 茨城北部 茨城南 部 栃木南部 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北 西部 新潟中越地方 新潟下越地方	
	33 : 05	あと、今回の地震について、気象庁は先ほど、「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」と名付けました。今回の地震、マグニチュード 8.4 の、極めて大きな巨大地震です。その後も余震と見られる地震、あるいは震源の位置を変えた地震が起きておりまして、その、それらいずれもマグニチュード 7 以上の地震になっています。特に津波には厳重な警戒が必要です。		
16	33 : 33	アナ：今日、午後 2 時 46 分頃、東北地方で、相次いで大きな地震がありました。この地震で、大津波警報や津波警報が出ています。あらためて大津波警報、津波警報が出ている地域をお伝えします。		
	33 : 45	大津波警報が出ているのは、岩手県、宮城県、福島県、	午後 4 時 30 分ごろ東北地方で強い地震がありました	地震速報
	(33 : 50)	茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸、和歌山県、以上はすでに津波が到達したことを確認、あるいは到達と推測されている地域です。 また徳島県、大津波警報が出ていますが、津波の到達予想時刻は午後 4 時 40 分となっています。予想される高さは 3 m です。以上が大津波警報が出ている地域です。	震度 5 弱 福島浜通り 震度 4 福島中通り 会津 栃木北部	
16	34 : 33	次に津波警報が出ている地域です。東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、陸奥湾、伊勢湾・三河湾、高知県、北海道日本海沿岸南部、淡路島南部、宮崎県、愛媛県宇		

16	(34:49) 35:07	和海岸、大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、大東島地方、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大分県瀬戸内海沿岸、宮古島・八重山地方、以上は津波警報が出ている地域です。 大津波警報、津波警報が出ている海岸や河口付近、あるいは川岸近くに住んでいる皆さん、早く安全な高台に避難してください。付近に高台がないという場合には、なるべく頑丈なコンクリート製の建物の3階から4階以上、なるべく上の階に避難してください。 津波は何度も押し寄せ、後から来る波のほうが高くなる場合があります。厳重な警戒を続けてください。	午後4時30分ごろ東北地方で強い地震がありました 震度5弱 福島浜通り	地震速報
16	(35:23)	被災の状況を引き続きお伝えします。福島県の相馬消防本部によりますと、福島県の相馬消防本部によりますと、南相馬市上渋佐の老人福祉施設のヨッシーランドが倒壊して、十数人が建物の下敷きになっているという情報があり、現在現場に向かっていているということです。 南相馬市、上渋佐の老人福祉施設、ヨッシーランドが倒壊して、十数人が建物の下敷きになっているという情報がある、現在現場に向かっていているということです。	午後4時29分ごろ地震がありました 震源は三陸沖 深さ ごく浅い マグニチュード6.6 午後4時29分ごろ東北地方で震度5強の地震がありました 震度5強 大崎市 震度5弱 一関市 色麻町 涌谷町 栗原市 二本松市 富岡町 大熊町 双葉町 浪江町 南相馬市 震度4 八戸市 七戸町 東北町 五戸町 青森南部町 階上町 おいらせ町 盛岡市 宮古市 久慈市 野田村 大船渡市 滝沢村 八幡平市 花巻市 北上市 金ヶ崎町 平泉町 仙台青葉区 仙台宮城野区 仙台若林区 気仙沼市 登米市 名取市 柴田町 丸森町 松島町	地震速報
16	36:03 36:15 36:34	こちらは千葉県市原市のコスモ石油のコンビナートの様子です。依然としてタンクの周りが大きな炎を上げて燃えています。高圧ガスのタンク付近から炎が上がっているという情報です。 神奈川県藤沢市の消防本部によりますと、この地震で1人が住宅の中で転倒し、もう1人が、屋外に倒れてきたパイプに当たり、救急隊が駆け付けたところ、いずれも意識不明の重体で、病院で手当を受けているということです。 またこれは宮城県の情報です。宮城県の気仙沼市にある、南気仙沼小学校には数百人の住民が避難していますが、体育館は3分の1の高さまで水につかっているため、3階建ての校舎の3階の教室などに避難しているということです。校舎の屋上からは、建物が燃える炎や、黒煙、黒い煙が見えるということです。 これは宮城県の気仙沼市の情報です。南気仙沼小学校には数百人の住民が避難していますが、体育館は3分の1の高さまで水につかっているため、3階建ての校舎の3階の教室などに避難しているということです。校舎の屋上からは、建物が燃える炎や、黒煙、黒い煙が見えるということです。	利府町 秋田市 村山市 天童市 中山町 河北町 白鷹町 郡山市 白河市 須賀川市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 古殿町 小野町 田村市 福島伊達市 本宮市 いわき市 相馬市 広野町 檜葉町 川内町 葛尾村 新地町 飯館村 猪苗代町 会津三郷町 那須町 震度3 平内町 外ヶ浜町 十和田市 三沢市 野辺地町 六戸町	中継・千葉県市原市 コスモ石油
16	37:20 37:31	それから東京電力によりますと、午後3時半現在、東京電力が供給している地域で、405万世帯が停電しているということです。東京電力では、現在復旧作業を進めています。 また、千葉県内でも、北西部や千葉市周辺など、各地で停電が相次いでいまして、確認を急いでいます。 そして、東北電力によりますと、午後3時半現在、青森		

16	37 : 58	<p>県、秋田県、岩手県では、全域で停電しています。青森県、秋田県、岩手県の全域が現在停電しています。また、山形県と宮城県では、ほぼ全域で停電し、福島県でも、一部の地域で停電しています。</p> <p>こちらは宮城県の山本町の様子です。宮城県の山本町の上空の様子です。港でしょうか。船が見えます。台船のような船が見えます。そして、岸壁の上からは煙のようなものも見えています。辺り一面は。</p>		中継・宮城県山本町
16	38 : 16 (38 : 29) 38 : 36 39 : 06 39 : 19 39 : 59	<p>ヘリコプターは福島県内に入っているということです。宮城県から、ヘリコプターは福島県に入りました。</p> <p>ご覧いただいているのは、福島県の北部の今の様子です。</p> <p>こちらは相馬港です。相馬港は、先ほど午後3時50分に、7m30cm以上の津波を観測しました。</p> <p>都司さん。</p> <p>都司：はい。</p> <p>アナ：あのう、津波は何度も押し寄せるということですね。</p> <p>都司：はい、はい、はい。</p> <p>アナ：今この映像を見た限りでも、相当な被害が出ている恐れがありますけれども、さらに、はい、これからも警戒が必要ですね。</p> <p>都司：これは第1波のものですね。まだ警戒を緩めてはいけません。この、いったん引いても、この後来る波が、前の第1波よりも高い可能性があります。</p> <p>アナ：またあの、東北地方だけではなくてですね、東北地方や関東地方だけではなくて、沖縄県まで津波注意報が出ていますけれども、相当震源から離れた所も警戒が必要ですね。</p> <p>都司：はい。マグニチュード8.4となりますと、紀伊半島、四国などのように、今回の震源から遠い地方でも、かなりの津波が行く可能性がありますね。</p> <p>それから、到達予想時刻というのは、あくまでも到達の予報時刻であって、まあ、あの、この時間より前に来ることは少ないんですけども、この時間から少し後に第1波が来る可能性があります。だからこの到達時刻が過ぎてまだ来てないから安全とは絶対に思わないでください。</p> <p>それから、到達予想という、時間の瞬間、時の一点なんですけれども、その後、2時間、3時間のちに、最大波が来ることもあります。そういうことも心得ておいてください。</p> <p>アナ：震源から遠い地域でも、嚴重な警戒が必要だということ。それから、到達予想時刻を過ぎても、警戒を続けることが必要だということですね。</p> <p>都司：はい。そうです。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 山口県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸</p> <p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです。</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 茨城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県内房 津波到達を確認 予想4m</p> <p>大津波警報 伊豆諸島 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 予想8m</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 静岡県 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 小笠原諸島 すでに到達と推測 予想4m</p>	中継・福島県相馬 大津波警報
16	40 : 11	<p>アナ：福島県の相馬市の上空からご覧いただいています</p>	大津波警報 青森県日本海沿岸 すでに到達と推測	中継・福島

16	40 : 42	<p>が、今煙りが見えています。住宅地のようですけども、辺りは水につかっています。</p> <p>そして火災が起きています。かなり広い範囲、何軒かの住宅が炎上しています。消防が出て、放水も 41 行われています。</p> <p>ツジムラさん。</p> <p>ツジムラ：はい。</p> <p>アナ：この、津波によって火災が起きるといこともあるわけですね。</p> <p>ツジムラ：そうですね。住宅には火の元がありますけれども、津波は家ごと押しつぶすように押し寄せますので、それが、火の気のものすべて外に投げ出されると。それで津波の、基本的には水ですけど、その中に、土砂とかがれきとかが混ざってまして、それらに引火すると、火の、火を含んだ土砂が押し寄せるといこと、このように広い範囲で火災が起きます。</p>	<p>予想 3 m</p> <p>大津波警報 和歌山県 すでに到達と推測 予想 3 m</p> <p>大津波警報 徳島県 午後 4 時 40 分ごろ 予想 3 m</p> <p>津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想 2 m</p> <p>津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想 2 m</p> <p>津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想 2 m</p> <p>津波警報 陸奥湾 午後 4 時 20 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 午後 4 時 30 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 高知県 午後 4 時 30 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後 4 時 40 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 淡路島南部 午後 4 時 50 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 宮崎県 午後 5 時 0 分ごろ 予想 2 m</p> <p>津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後 5 時 10 分ごろ 予想 1 m</p>	県相馬
16	41 : 13	<p>それと、一度津波で、家が相当な数、なぎ倒されてますから、そこに火がつくと、燃え広がるといこと、火災が起きたらしばらくは鎮火には時間がかかるとい思います。</p>	<p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後 5 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 鹿児島県東部 午後 5 時 10 分ごろ 予想 2 m</p>	
16	41 : 50	<p>こちらは福島県の相馬市の現在の様子です。福島県の相馬市では、今日午後 3 時 50 分頃、7 m30 cm 以上の津内を観測しました。</p> <p>これは港でしょうか。海と、それから陸地の境目が水につかっってしまっって分からなくなっています。また漁船でしょうか。船が横倒しになっている様子も分かります。</p> <p>また、多くの住宅が押し流されているようです。</p>	<p>津波警報 沖縄本島地方 午後 5 時 40 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後 5 時 50 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後 6 時 10 分ごろ 予想 1 m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後 4 時 40 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 秋田県 午後 5 時 0 分ごろ 予想 50 cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後 5 時 10 分ごろ 予想 50 cm</p>	
16	42 : 23	<p>そして広い範囲で、停電も起きています。東京電力によりますと、午後 3 時半現在、東京電力が供給している地域で、405 万世帯が停電しているといこと、また、千葉県内では、北西部や千葉市周辺など、各地で停電が相次いでいます。</p>		
16	42 : 39	<p>また、東北電力によりますと、午後 3 時半現在、青森県、秋田県、岩手県では、全域で停電しています。また、山形県と宮城県では、ほぼ全域で停電し、福島県でも一部の地域で停電しています。</p>		
16	42 : 54	<p>今日、午後 2 時 46 分頃、東北地方で最大震度 7 を観測する大きな地震がありました。この地震で、大津波警報、津波警報、津波注意報が出ています。</p>		
16	43 : 05	<p>大津波警報が出ている地域を繰り返してお伝えします。</p>		

16	43 : 39	<p>大津波警報は、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸、和歌山県、徳島県、以上の地域に大津波警報が出ています。</p> <p>また、津波警報が、東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、陸奥湾、伊勢湾・三河湾、高知県、北海道日本海沿岸南部、淡路島南部、宮崎県、愛媛県宇和海沿岸、大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、大東島地方、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大分県瀬戸内海沿岸、宮古島・八重山地方、以上の地域に津波警報が出ています。</p> <p>大津波警報、津波警報が出ている海岸や川岸付近の皆さん、どうぞ安全な高台に避難してください。早く安全な高台に避難してください。</p>		
16	44 ; 23 (44 : 45) 44 : 52 45 : 16 45 : 50	<p>はい。今、避難指示の情報が入りました。</p> <p>ツジムラ：はい。東北各県では、自治体が避難の指示を出しています。まず宮城県ですが、仙台市は、津波が押し寄せる恐れがあるとして、市内の太白区、宮城野区、若林区に避難指示を出しました。避難指示というのは、避難勧告ではなく指示ですので、直ちに避難してくださいということです。</p> <p>ただ、この場合気を付けなければならないのは、常に津波が押し寄せている地域で、建物3階、4階にいて、様子をご覧になっている方いらっしゃいましたら、慌てて、まだ下に水がある状態で避難するのは大変危険です。現在安全な場所にいらっしゃる方は、そこを動かないことが必要です。ただ、現在安全な場所にいらっしゃらない方については、直ちに避難することが必要です。</p> <p>続いて青森県です。青森県では、三沢市、八戸市、むつ市、六ヶ所村、東通村、階上町の太平洋沿岸、このすべての地域に避難指示を出しているということです。青森県の太平洋沿岸の多くの自治体は、避難指示が出ていますので、速やかに避難をすることが必要です。また、おいらせ町と風間浦村は、太平洋沿岸のすべての地域に、避難勧告を出しております。</p> <p>いずれにしましても、太平洋沿岸の地域では、大津波警報が出ていますので、すぐに避難することが必要です。それから、岩手県ですが、岩手県は久慈市が沿岸部に住む1489世帯。対象人数はおよそ4300人ですが、避難指示を出しています。</p> <p>宮城、青森、岩手では、自治体の避難指示が出ています。</p>	<p>午後4時38分ごろ地震がありました 震源は岩手県沖 深さ30キロ マグニチュード5.9 午後4時38分ごろ東北地方で震度4の地震がありました 震度4 野田村 震度3 八戸市 東北町 五戸町 階上町 おいらせ町 盛岡市 宮古市 二戸市 滝沢村 八幡平市 花巻市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 名取市 石巻市 松島町</p>	地震速報
16	46 : 12 (46 : 14)	<p>アナ：繰り返してお伝えします。この地震で東北の各地で住民に対して、避難の指示や勧告が出ています。仙台市は津波が押し寄せる恐れがあるため、市内の太白区、宮城野区、若林区に、避難指示を出しました。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸</p>	<p>中継・福島 県いわき、 小名浜 大津波警報</p>

		今のところ、停電があって、電力が供給されないということと、もう一つは、原子炉を冷やす非常用のディーゼル発電機が使えなくなったということで、この段階では、直ちに安全に関わるような状況ではありません。	<p> 潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 山口県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸 </p>	
16	49 : 32	アナ：ご覧いただいているのは、青森県の八戸市の現在の様子です。また津波が押し寄せていまして、そして陸地のほうに津波が流れ込んでいく様子です。道路に津波が達しました。	<p> 各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです </p> <p> 大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想 10m 以上 大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想 10m 以上 大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想 10m 以上 大津波警報 茨城県 津波到達を確認 予想 10m 以上 大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想 10m 以上 </p>	中継・青森県八戸市
	49 : 49	青森県の八戸市の現在の様子です。津波が岸壁を越えて、道路に押し寄せています。そして向こう側には、トラックや車が走っています。非常に危険な状況です。対岸や川の河口付近、また、川の川…		
16	50 : 00	アナ：…上流であっても、川岸の皆さんはぜひ、安全な高台に避難してください。青森県の八戸港の現在の様子です。津波が押し寄せています。	<p> 大津波警報 千葉県内房 津波到達を確認 予想 4 m 大津波警報 伊豆諸島 津波到達を確認 予想 6 m 大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 予想 6 m </p>	中継・青森県八戸
	50 : 16	繰り返してお伝えしますが、先ほどの福島第一原子力発電所ですが、地震で停止した5基の原発で、原子炉を安全に冷やすために必要な、非常用のディーゼル発電機の一部が使えなくなったということです。東京電力はただちに安全上の問題はないとしています、原子力災害対策特別措置法に基いて、異常事態を知らせる通報を国に行いました。	<p> 大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 予想 8 m 大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想 10m 以上 大津波警報 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 予想 3 m </p>	
	50 : 40	ツジムラ：今のところ、放射性物質が漏れるなど、外部への影響はないということです。この通報は、原子力施設に異常があった場合に通報する、国に通報する制度でして、平成11年の東海村の臨界事故の際につくられました。現時点では放射性物質が漏れる恐れはないということです、引き続き注意をする必要があると思います。	<p> 大津波警報 静岡県 津波到達を確認 予想 3 m 大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 予想 6 m 大津波警報 小笠原諸島 すでに到達と推測 予想 4 m 大津波警報 青森県日本海沿岸 すでに到達と推測 予想 3 m </p>	
16	51 : 05	アナ：今、亡くなった方の情報が入ってきました。福島県の相馬消防本部によりますと、南相馬市原町、上渋佐の老人福祉施設のヨッシーランドが倒壊し、十数人が建物の下敷きになっていて、このうち5人の死亡が確認されたということです。福島県南相馬市原町区上渋佐の老人福祉施設のヨッシーランドが倒壊し、十数人が建物の下敷きになっていて、このうち5人の死亡が確認されたということです。消防は現場で救助作業にあたっているということです。画面は引き続き。	<p> 大津波警報 和歌山県 すでに到達と推測 予想 3 m 大津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想 3 m 津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想 2 m 津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想 2 m 津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想 2 m 津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想 1 m 津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想 1 m 津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想 2 m </p>	
	51 : 44	あ、また、新しい情報です。宮城県警察本部によりますと、この津波で、宮城県石巻市にある内海橋付近で、行方不明者が多数出ているということです。宮城県石巻市にある内海橋付近で、行方不明者が多数出ているということです。	<p> 津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想 1 m 津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想 1 m 津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想 2 m </p>	
	52 : 01	テレビの画面、青森県八戸港ですが、今画面の右側から流れてきた船が、これは岸壁近くに泊まっていた船なんです、今衝突しました。	<p> 津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想 1 m 津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想 1 m </p>	
		都司さん、津波が相当な力で押し寄せているということ	<p> 津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想 2 </p>	

16	52 : 13	<p>ですね、これは。</p> <p>都司：はい。この速さ、秒速3m、4m、これは、人間は絶対立っていることができません。おそらく、死ぬことは免れないかと思えますね。こういうところにぜひ、絶対、出ないように。それと、映像で見ると少し遅いように見えるんですが、これは非常なスピードで陸の中へ入って行ってますね。市街地の中、これは、うっかりすると1階の天井あたりまで水がついてしまうような、そんな津波になるかと思えます。</p>	<p>m</p> <p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 沖縄県本島地方 午後5時40分ごろ 予想</p>	
16	52 : 48 53 : 07 53 : 47 54 : 08 54 : 29 (55 : 00)	<p>では、関東地方を中心とした交通機関の情報が入ってきました。地震の影響で、東北地方と関東地方の新幹線やJRの在来線、私鉄各線は午後4時40分現在、多くの路線で運転できなくなっています。まず、新幹線です。今、テレビの画面ですけれども、青森県八戸市、船が次々と流されてきて、そして、今横倒しになりました。交通情報の途中ですけれども、画面の様子をお伝えします。青森県八戸市の様子をお伝えします。船が流されて横倒しになりました。そして、画面の右側が海のほうなんですけれども、そちらから大きな船が次々と流されていきます。今船が横倒しになっているあたりは、これは津波が来る前は岸壁だった所です。その岸壁の上に大きな船が乗り上げて、そして横倒しになっています。</p> <p>そして、陸のほうにも津波が流れていくのがわかります。港のすぐ近く、このように多くの建物が立ち並んでいます。先ほどは、この、今画面の中央あたり、車も走っていましたが、そのあたりに海水が流れ込んでいきます。津波が流れ込んでいるのがわかります。</p> <p>都司さん、この津波の速さというのは相当速いですね。</p> <p>都司：そうですね。これ、そうですね、秒速3、4mぐらいになるんじゃないかな。</p> <p>アナ：1秒間に3mから4mぐらい進むということですね。</p> <p>都司：はい、はい、はい。洪水のときの大きな川の流れと同じぐらい、ということでしょうね。人間はもう何もすることができないことになるかと思えます。</p> <p>アナ：これ、大変危険な状況です。大変危険な状況になっています。大変危険な状況になっていますので、どうぞ、安全な高台に避難してください。青森県八戸市の現在の様子です。津波が住宅街に押し寄せてきています。津波が住宅街に押し寄せています。青森県の八戸市の今の様子です。そして、かなり速いスピードで、住宅街の奥深くまで流れ込んでいく様子です。大変危険な状況です。頑丈な建物の、なるべく上の階に避難してください。</p>	<p>1m</p> <p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想50cm</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後4時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 秋田県 午後5時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 新潟県上中下越 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 富山県 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 石川県能登 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後6時20分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 長崎県西方 午後6時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後6時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 香川県 午後6時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 有明海・八代海 午後7時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 岡山県 午後7時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 山口県瀬戸内海沿岸 午後8時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 広島県 午後9時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 佐渡 午後10時30分ごろ 予想50cm</p> <p>午後4時54分ごろ東北地方で地震がありました 震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り</p>	地震速報
16	55 : 11	<p>画面の左下では、総理大臣官邸の様子です。菅総理大臣の記者会見がまもなく始まります。</p> <p>男性：それでは、ただいまから、今回の地震につきまして総理から国民の皆様へ…</p>		中継・首相官邸

16	55 : 30	<p>アナ：テレビの画面では、青森県八戸市の今の様子です。車が津波で流されている様子も分かります。</p> <p>菅総理：国民の皆様、もうテレビ、ラジオでご承知のように、本日 14 時 46 分、三陸沖を震源とするマグニチュード 8.4 の、非常に強い地震が発生をいたしました。これにより、東北地方を中心として、広い範囲で大きな被害が発生をいたしております。被災された方々には心からお見舞いを申し上げます。なお、原子力施設につきましては、一部の原子力発電所が自動停止いたしました。これまでのところ、外部への放射性物質等の影響は確認をされておられません。</p>		
	56 : 23	<p>こうした事態をむかえ、私を本部長とする緊急災害対策本部をただちに設置をいたしました。国民の皆様の安全を確保し、被害を最小限に抑えるため、政府として総力を挙げて取り組んで参ります。国民の皆様におかれましても、今後、引き続き注意深くテレビやラジオの報道をよく受けとめていただき、落ち着いて行動されるよう、心からお願いを申し上げます。</p>		
16	57 : 13	<p>男性：それでは、総理はこの後（？）地震への対応がありますので、続きまして、枝野官房長官が質疑の対応を行わせていただきます。</p> <p>アナ：総理大臣官邸で菅総理大臣が今、発言しました。続いて、枝野官房長官の発言です。</p> <p>枝野：では、どうぞ。</p> <p>記者：毎日新聞のカゲヤマです。現在政府の把握している被害の状況、また、けが人が出ていればけが人の状況など、教えてください。</p>	<p>午後 4 時 54 分ごろ東北地方で地震がありました 震度 3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り</p>	地震速報
	(58 : 02)	<p>枝野：はい。関係機関からそれぞれ、被害の状況は刻一刻と本部のほうに入ってきております。まさに日々刻々、時々刻々として入っている状況でございますので、今後、その都度、確認がされた部分について発表させていただきますというふうに思っておりますが、現時点では相当甚大な被害が発生をしていると。そのことを前提に、総力を挙げて政府として被害の救援、そして拡大の防止に向けて最大限の努力をしているということをお伝えさせていただきたいと思っております。</p>	<p>午後 4 時 54 分ごろ東北地方で地震がありました 震度 3 青森県三八上北 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 福島浜通り</p>	地震速報
	58 : 17	<p>記者：毎日新聞です。宮城県知事から自衛隊派遣の要請があったと思いますが、今現在、どのように対応されていますか。</p> <p>枝野：15 時 2 分、宮城県知事から東北方面総官に対し災害派遣要請がなされております。それに先立ちまして、自衛隊のほうではUH-1、ヘリ映伝もできるヘリコプターなどを離陸させて対応をしておりますが、きちんと統計を取ってですね…</p>	<p>午後 4 時 54 分ごろ東北地方で地震がありました 震度 3 青森県三八上北 岩手内陸北部 岩手内陸南部 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 福島浜通り</p>	
16	58 : 51	<p>アナ：枝野官房長官の記者会見の途中ですが、テレビの画面でお伝えしているのは、仙台市の現在の様子です。遠くのほうに炎が見えます。かなり広い範囲が炎上して</p>		中継・仙台

16	(59:20) 59:33	<p>いるのが分かります。仙台市の、これは、南の方向だということです。仙台市の南の方向、広い範囲で炎が上がっているのが分かります。</p> <p>現在、時刻はもまなく5時になろうとしているところです。あたりは薄暗くなっています。仙台市の災害対策本部によりますと、午後4時現在、市内の消防署などには火災が14件、エレベーターに閉じ込められるなど、救助の要請が13件、けがなどのため救急要請が20件、ガス漏れの通報が4件寄せられているということです。</p> <p>テレビの画面でお伝えしているのは、仙台市から見た、仙台市の南方向を見た様子です。名取市の方向を見えています。火の手が上がっています。そして、黒い煙も上がっています。時刻はまもなく5時になるところです。あたりは、だんだんと薄暗くなってきています。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 山口県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸</p>	大津波警報
16	59:54	<p>こちらは、八戸市の現在の様子です。青森県の八戸市、これは、津波が引きはじめている様子です。</p> <p>ツジムラさん、今、津波がかなり速い速度で、これは、引きはじめているんですね。</p> <p>ツジムラ：そうですね。この画面から言いますと、右側が海の方になると思います。そちらのほうに、かなりの速度で波が引いています。この後いったん引いて波の動きが収まった後、また再び波は押し寄せます。その押し寄せる波は、既に来ている波よりも高く、遠くまで来る恐れもあります。ですから、この先数時間はですね、避難をしている所から絶対に動かないでください。</p>	<p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 茨城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県内房 津波到達を確認 予想4m</p> <p>大津波警報 伊豆諸島 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 予想8m</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 静岡県 津波到達を確認 予想3m</p>	中継・青森県八戸
17	00:39 00:56 01:14 01:57	<p>アナ：都司さん、そして今、船が横倒しになっているのが分かりますけれども、改めてこの津波のですね。</p> <p>あ、今、画面の下のほう、ライトをつけた車が見えます。</p> <p>都司：これ、人が、人が乗っている。うん。</p> <p>アナ：海岸付近は大変危険な状況になっていますので、どうぞ、警戒を続けてください。こちらは、北海道の苫小牧の今の様子です。上空のヘリコプターからの映像です。苫小牧市内の港の様子が見えています。</p> <p>ツジムラ：ここまで、宮城県の被害が、相当な甚大な被害が見えていますけれども、今回の地震はマグニチュード8.4という巨大地震ですんで、大津波の範囲も北海道から西日本のですね、太平洋沿岸に広がっています。特に、東北地方の沿岸は10mを越える津波が来ております。来ていることが予想されますので、特に三陸海岸はですね、そういう情報が今入っていませんけれども、三陸は入り組んだ海岸線がありまして、孤立をするとかなり危険ですので、広い範囲での警戒が必要です。</p> <p>アナ：これは、青森県八戸市の様子です。コンビニエンスストアが見えます。港近くのコンビニエンスストアが見えます。そのまわりを、かなり速い流れの水が流れていく様子が分かります。かなりの速度で水が流れていくのが分かります。コンビニエンスストアのまわり、水が</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 小笠原諸島 すでに到達と推測 予想4m</p> <p>大津波警報 青森県日本海沿岸 すでに到達と推測 予想3m</p> <p>大津波警報 和歌山県 すでに到達と推測 予想3m</p> <p>大津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想3m</p> <p>津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m</p>	中継・北海道苫小牧 中継・青森県八戸市

17	02 : 32	<p>かなり速いスピードで流れていきます。青森県の八戸市の現在の様子です。住宅街にまで、津波は押し寄せています。</p> <p>ツジムラ：今回の地震ではですね、福島県の相馬港で7m30cm以上、これは、7m30cmを越えて観測ができていないということですから、それ以上の津波が来ているのをはじめ、東北地方はもちろんですが、千葉県の銚子市でも2m20cm、北海道釧路港でも2mと、いずれも4m、3m、2mといった大津波が既に押し寄せてますので、広い範囲で、東北以外の地域についても、広い範囲ですぐに避難が必要です。</p> <p>03 : 03</p> <p>あともう一つ、先ほど政府の発表で緊急対策本部を設置されましたけども、警察庁はですね、今、中国地方、近畿地方、中国地方の管区の広域緊急援助隊およそ900人が宮城県、岩手県、福島県方面に向かっているということです。でも、まあ900人では人数はもちろん足りませんので、こうした規模の災害ですんで、広域的な応援を立ち上げる必要があると。全国の消防で今、緊急消防援助隊等の派遣が進んでいると思いますが、これを急ぐ必要があると思います。</p>	<p>津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想1m</p>	
17	03 : 38	<p>アナ：被害の情報が入ってきました。宮城県警察本部によりますと、石巻市湊地区で、落下物によって1人が死亡したということです。また、栃木県警察本部によりますと、栃木県芳賀町下高根沢にある、自動車メーカーのホンダの工場で天井が崩れて、女性1人が下敷きになり死亡しました。女性は30代から40代と見られ、警察は身元の確認を急いでいます。茨城県警察本部によりますと、茨城県の高萩市でも、建物が倒壊して1人が死亡しました。宮城県と栃木県、それに茨城県で、これは、人が亡くなるというような被害の情報も入っていますが。</p> <p>04 : 16</p> <p>ツジムラ：はい、茨城県でも余震、余震というか、震源域が広がったと見られる地震でマグニチュード7.4の地震が起きて、震度6弱の揺れが起こっています。いずれにしても、広い範囲でそのような揺れが起こっていますから、余震には厳重な警戒が必要です。</p> <p>04 : 33</p> <p>アナ：テレビの画面でお伝えしているのは、茨城県大洗町の現在の様子です。</p> <p>都司さん、今これ、水の様子は、これ、かなり建物のまわり水がつかって、そして、車が浮いたりつかっている様子が分かりますけれども、今、水の流れはちょっとわずかのように見えますけれども、依然として危険な状況であることは変わりないですね。</p> <p>04 : 54</p> <p>都司：一番高い所まで水が上がってきて、それで一時的に、ピークになったんで止まったんですね。この後引いていくほうの水の勢いが、これまた非常に速いスピードの流れを持つはずなんです。ことに、引く場合は水みちが一箇所に、こう集中して現れる可能性がありますの</p>	<p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想50cm</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 午後4時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 秋田県 午後5時0分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 大阪府 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 兵庫県瀬戸内海沿岸 午後5時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 新潟県上中下越 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 富山県 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 石川県能登 午後5時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 愛媛県瀬戸内海沿岸 午後6時20分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 長崎県西方 午後6時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 熊本県天草灘沿岸 午後6時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 香川県 午後6時40分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 有明海・八代海 午後7時10分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 岡山県 午後7時30分ごろ 予想50cm</p> <p>津波注意報 山口県瀬戸内海沿岸 午後8時10分ごろ</p>	中継・茨城県大洗町

17	10:59 (11:09)	<p>市五井南海岸のコスモ石油の千葉製油所から、午後3時48分ごろに火が出ました。ガスタンクや配管の付近から黒い煙を上げながら、炎が大きく燃え上がっています。コスモ石油によりますと、火が出ているのは高圧ガスのタンク付近で、炎は高さ30m余りまで上がっているということです。消防本部によりますと、この火災で、これまでに1人がけがをしたという情報があるということです、確認を急いでいます。</p> <p>ツジムラさん、繰り返しになりますけれども、各地で火災が起きていますが、現段階では津波への警戒が優先するということですね。</p> <p>ツジムラ：そうです。特に東北からですね、徳島県までの太平洋沿岸には大津波警報が出ています。10mを超える津波が押し寄せる恐れがありますし、津波は海岸から数キロ遡上することがあります。先ほど仙台でも見られましたように、津波はただ水の流れではなく、がれき、土砂を押し寄せてそのかたまりとなって押し寄せてきますので、警戒が必要です。</p>	<p>会津美里町</p> <p>午後5時5分ごろ地震がありました 震源は福島県沖 深さ30キロ マグニチュード5.8 午後5時5分ごろ東北地方で震度3の地震がありました 震度3 涌谷町 登米市 大崎市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 須賀川市 桑折町 田村市 福島伊達市 相馬市 檜葉町 双葉町 浪江町 南相馬市 猪苗代町 会津美里町</p>	地震速報
17	<p>11:34</p> <p>11:58</p> <p>12:31 (12:34)</p> <p>12:50</p> <p>13:11</p>	<p>アナ：被害の情報がまた入ってきました。栃木県警察本部によりますと、栃木県芳賀町下高根沢にある自動車メーカーのホンダの工場、男性1人が天井と壁にはさまれて死亡しました。男性は30代から40代だということで、警察で身元や事故の詳しい状況について調べています。</p> <p>また、岩手県に入った情報によりますと、久慈市で車が流されて1人が死亡したということです。テレビの画面は茨城県大洗町の現在の様子です。茨城県の鹿行広域事務組合消防本部によりますと、茨城県東部の湖、北浦に架かる鹿行大橋が落下したという情報が入っているということです。茨城県東部の湖、北浦に架かかります鹿行大橋が落下したという情報が入っているということです。消防には、車も何台か落ちたという情報が入っているということです。</p> <p>それから、宮城県警察本部によりますと、午後5時前、仙台市太白区向山で旅館の建物が倒壊し、中から3人の声が聞こえたということです。仙台市太白区向山で旅館の建物が倒壊して、中から3人の声が聞こえたということです。このうち、女性1人は救助されたということです。</p> <p>テレビの画面、茨城県大洗町の映像ですが、今、カメラが揺れています。余震と見られます。どうぞ、この後も余震の恐れがありますので、落ちてくる物や倒れてくる物から身を守ってください。また、引き続き大津波警報、津波警報が出ていますので、安全な高台や高い建物の上のほうに避難してください。</p> <p>ツジムラ：1回大きな地震が起きますと、それによって建物は大きな被害を受けています。見た目では建物もち</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸 青森県日本海沿岸 青森県太平洋沿岸 岩手県 宮城県 福島県 茨城県 千葉県九十九里・外房 千葉県内房 伊豆諸島 小笠原諸島 相模湾・三浦半島 静岡県 和歌山県 徳島県 津波警報 北海道日本海沿岸南部 陸奥湾 東京湾内湾 愛知県外海 伊勢湾・三河湾 三重県南部 淡路島南部 愛媛県宇和海沿岸 高知県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県</p> <p>津波注意報 オホーツク海沿岸 秋田県 山形県 新潟県 富山県 石川県能登 大阪府 兵庫県瀬戸内海沿岸 岡山県 広島県 香川県 愛媛県瀬戸内海沿岸 山口県瀬戸内海沿岸 有明海・八代海 長崎県西方 熊本県天草灘沿岸</p>	<p>中継・茨城県大洗町</p> <p>大津波警報</p>

		<p>やんとしているように見えても、柱などに亀裂が入って、その次の余震で崩れる恐れもあります。ですから、建物等に亀裂があるのを見たら、絶対にその建物には入らないということが必要です。</p>		
17	13:29	<p>アナ：この津波が押し寄せた地域の情報です。仙台市によりますと、被害の規模ははっきりとは分かっていませんが、仙台港周辺の広い範囲に津波が押し寄せ水浸しになっていると見られていまして、南蒲生浄化センターは2階まで水につかっているということです。また、宮城野区中野の中野小学校では、児童を含むおよそ140人が屋上に避難しているということです。</p>	<p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p>	中継・青森 県八戸
	13:56	<p>仙台市は地震の後、市バスと地下鉄のすべての路線を運休しているほか、市ガスの供給も午後4時半頃から停止しています。この後、東京都と新潟市、札幌市から消防の支援部隊が到着する予定だということです。</p>		
17	14:10	<p>総務省消防庁によりますと、今回の地震で、午後4時半現在、六つの都と県で合わせて少なくとも44件の火災が起きているほか、住宅が津波で流出したといった被害が起きています。このうち宮城県内では、仙台市の高層ビルで2件の火災が起きているほか、角田市でも2件、仙南地域で1件の、合わせて5件の火災が起きているということです。また、福島県ではいわき市で3件、白河地方で1件、郡山地方で5件、福島市で5件の、合わせて14件の火災が起きている。</p>	<p>午後5時12分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました 震度3以上の地域は次のとおりです 震度4 福島浜通り 栃木南部 震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木北部 千葉北東部 千葉北西部</p>	地震速報
	14:46	<p>岩手県では盛岡市で3件、金ヶ崎町で3件、北上市で2件の、合わせて8件の火災が起きています。さらに、茨城県では日立市で2件、ひたちなか市で3件、土浦市で1件、筑西地方で2件、稲敷地方で1件、常総地方で1件、茨城の西南地方で2件、鹿島地方で2件、阿見町で1件の、合わせて15件の火災が起きています。</p>	<p>午後5時12分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました 震度3以上の地域は次のとおりです 震度4 福島浜通り 栃木南部 震度3 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山地方 山形置賜地方 福島中通り 会津 茨城北部 茨城南</p>	中継・千葉 県市原
	15:28	<p>そして、先ほどからお伝えしていますが、千葉県では、市原市にあるコスモ石油の施設でガス漏れによる爆発が起きて、火災になっているということです。それに、東京港区の台場でも火災が起きています。</p> <p>火災以外の被害です。岩手県の二戸地区で地すべりが起きているほか、岩手県の久慈地方で石油備蓄用の屋外タンクが4基破損しています。また、宮城県気仙沼市では土砂崩れが起きているほか、石巻市で住宅10棟が津波で流出したということです。さらに、福島県のいわき市や福島市でも多数の建物が倒壊しているということです。</p>	<p>午後5時12分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました 大津波警報が追加されました 青森県日本海沿岸 千葉県内房</p>	
17	15:56	<p>では、青森県の八戸市役所と電話がつながっています。八戸市の職員の方、もしもし。</p> <p>茨島：もしもし。</p> <p>アナ：聞こえますでしょうか。</p> <p>茨島：はい。</p> <p>アナ：お忙しいところ大変申し訳ありませんが、今、八</p>		中継・青森 県八戸 地震速報

17	16:32	<p>戸市役所の周辺はどんな状況でしょうか。</p> <p>茨島：市の役所の周辺はですね、余震が続いております、小規模な建物の被害が確認されております。</p> <p>アナ：津波がですね、押し寄せている映像、こちらでお伝えしているんですけども、津波はどのような状況ですか。</p> <p>茨島：本部のほうに入ってきている情報としては、北部の多賀小学校に津波が押し寄せまして、避難していた方々が2階のほうに避難しました。</p> <p>(16:47) アナ：八戸市の、小学校の名前、もう一度よろしいでしょうか。</p> <p>茨島：多賀小学校です。</p> <p>アナ：多賀小学校ですね。</p> <p>男性：はい。</p> <p>アナ：そこに120人ほどですか。</p> <p>茨島：いえ、人数のほうはちょっと。</p> <p>アナ：人数…</p>	午後5時12分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ40キロ マグニチュード6.4	中継・千葉 県市原 中継・青森 県八戸 地震速報
17	16:57	砂嵐（4秒間）		映像中断
17	17:01	<p>アナ：…含む数ですね。</p> <p>茨島：はい。</p> <p>アナ：が避難しているということですね。</p> <p>茨島：はい。</p> <p>アナ：あの、茨島隆さんでよろしいでしょうか。</p> <p>茨島：はい。</p> <p>アナ：茨島さんをご覧になった、建物の周辺の様子はどうでしょうか。</p> <p>17:15 茨島：大きな被害はないんですけども、後で詳しく調査しないと。</p> <p>アナ：今、庁舎の中は電気はついていますか。</p> <p>茨島：まだ非常用の電源で動いている状況です。</p> <p>アナ：テレビは近くにありますか。</p> <p>茨島：あります。</p> <p>アナ：今NHKのテレビでですね、八戸市内の様子をお伝えしているんですけども、これは、港の近く、何という地域でしょうか。</p> <p>茨島：ちょっとテレビが遠くて、私の所からは確認できません。</p> <p>17:41 アナ：そうですか。そのほかですね、大きな被害の情報は何か入ってますでしょうか。</p> <p>茨島：今のところ、大きいのはまだないです。</p> <p>アナ：建物の中の様子はどうですか。物が落ちたり、壊れたりしていますか。</p> <p>茨島：本館のほう、建物、鉄筋（？）が古いほうがあるんですけども、こちらは書類が落ちて、ちょっと事務に支障があるような感じでした。</p> <p>アナ：なるほど。市民の皆さんの様子、被害の情報などは入っていますでしょうか。</p>	午後5時12分ごろ東北・関東地方で震度4の地震がありました 揺れの大きい地域は次のとおりです 震度4 いわき市 大田原市 高根沢町 震度3 一関市 仙台宮城野区 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 宮城川崎町 松島町 上山市 村山市 天童市 山辺町 中山町 河北町 米沢市 南陽市 高島町 山形川西町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 玉川村 浅川町 古殿町 田村市 福島伊達市 本宮市 相馬市 広野町 檜葉町 富岡町 河内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 飯館村 南相馬市 喜多方市 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 会津美里町 水戸市 土浦市 石岡市 鹿嶋市 坂東市 筑西市 神栖市 銚田市 宇都宮市 那須町 那須塩原市 真岡市 益子町 茂木町 芳賀町 さくら市 那須烏山市 栃木那珂川町 下野市 邑楽町 加須市 久喜市 川口市 春日部市 幸手市 宮代町 千葉中央区 旭市 多古町 白子町 名取市 成田市 柏市 印西市 白井市 村上市	地震速報

		<p>茨島：今、情報把握に努めています。</p> <p>アナ：そうですか、分かりました。ありがとうございます。八戸市の防災危機管理課の茨島隆さんに話を聞きました。</p>		
17	18：27	<p>ツジムラさん、新しい情報ですね。</p> <p>ツジムラ：はい。気象庁によりますと、今日起きましたマグニチュード8.4の、この東北地方太平洋沖地震なんですけど、気象庁の分析では、東北から関東の沿岸にかけて数百キロに及んで断層が破壊された可能性があるかと。つまり、震源の場所が点ではなくて面であると。それも、距離として数百キロ、ということが考えられるということです。従って、そのエリアの海底がすべて盛り上がったということになります。</p>		中継・千葉 縣市原
	18：58	<p>ですから、一箇所から津波が押し寄せているのではなくて、太平洋側から巨大な水のかたまりが面として押し寄せている。ですから、東北地方から関東地方、それから、これからは西日本になりますけども、大量の水を伴う津波が来ることが予想されます。</p>		
	19：18	<p>アナ：都司さん、この今の情報ですね、かなり大きな範囲で地震が起きたということですけども、これ、どのようにご覧になりますか。</p>		
	(19：29)	<p>都司：よく言われるんですけどね、東海地震・南海地震というのが起きてますね、それと同じ規模ですね。震源の大きさというのは、南海地震だと400kmぐらいというわけなんですけど、もう、南海地震が起きた、それに匹敵することが東北日本の沖合いで起きたことになりま</p>	<p>各沿岸の津波到達予想時刻と予想される津波の高さは次のとおりです</p> <p>大津波警報 岩手県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 宮城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 福島県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 茨城県 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県九十九里・外房 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 千葉県内房 津波到達を確認 予想4m</p> <p>大津波警報 伊豆諸島 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸東部 津波到達を確認 予想6m</p>	大津波警報
	19：48	<p>アナ：将来起こることが予想されている東海地震や東南海地震、南海地震と同じような規模の地震が起きたと見られるということですね。</p> <p>都司：規模と震源の大きさ、それから、津波の規模、まったくあれが起きたと考えなきゃいけないわけですね</p>		
17	20：06	<p>アナ：テレビでご覧いただいているのは、千葉縣市原市内のコスモ石油のコンビナートの様子です。炎が上がっています。そして、茨城県の大洗町ですが、また再び余震が起きています。</p>	<p>大津波警報 北海道太平洋沿岸中部 津波到達を確認 予想8m</p> <p>大津波警報 青森県太平洋沿岸 津波到達を確認 予想10m以上</p> <p>大津波警報 相模湾・三浦半島 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 静岡県 津波到達を確認 予想3m</p> <p>大津波警報 北海道太平洋沿岸西部 津波到達を確認 予想6m</p> <p>大津波警報 小笠原諸島 すでに到達と推測 予想4m</p> <p>大津波警報 青森県日本海沿岸 すでに到達と推測 予想3m</p> <p>大津波警報 和歌山県 すでに到達と推測 予想3m</p>	中継・茨城 県大洗町
	20：19	<p>都司さん、かなり広い範囲ですね、大きな地震が起きたということで余震も続いていますけれども、この余震の活動ですね、まだまだ続くというふうに考えたほうがいいわけですね。</p> <p>都司：そうですね。茨城県沖、福島県沖では、1938年だったかな、一群の、津波を伴う地震が次から次から、1週間ほどでしたか、起きたことがあります。この福島県、茨城県沖というのは割りにごろごろと大きな余震が、余震というよりか、もう1個1個別の地震と考えたほうがいいのかもしれないけれども、そういう起き方をしま</p>		

17	21:00	<p>アナ：東京のスタジオも今、わずかに揺れを感じます。これは、余震はですね、比較的こう、小さくなっていくようにも見える、思えるんですけども、この後大きな余震が来る可能性っていうのはどうなのでしょう。</p> <p>都司：本震より大きなものが来るっていうのはちょっと考えにくいんですけども、それでも、そうですね、陸上で震度5弱、強に達するような、そういう余震が起きる可能性はありますね。</p>	<p>大津波警報 徳島県 午後4時40分ごろ 予想3m</p> <p>津波警報 東京湾内湾 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 三重県南部 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 愛知県外海 すでに到達と推測 予想2m</p> <p>津波警報 陸奥湾 午後4時20分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 伊勢湾・三河湾 午後4時30分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 高知県 午後4時30分ごろ 予想2m</p>	中継・仙台
	21:22	<p>で、弱くなっていくように見えるというわけなんですけど、まだそうでもないですよ。本震を上回ることはない、また、本震よりマグニチュードが1以上小さいようなものが起きるとは思うんですが、それでも、マグニチュード7.4となると、単独で起きた場合にもかなりの大きな地震ということになりますので、やはり、警戒を要する。ときには、余震によって津波が誘発されている、そういうケースもあると思います。まだまだ、弱くなるように見えて、まだ、これから先しばらくは警戒を続けなきゃいけないと考えられます。</p>	<p>津波警報 北海道日本海沿岸南部 午後4時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 淡路島南部 午後4時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮崎県 午後5時0分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 愛媛県宇和海沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 大分県豊後水道沿岸 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県東部 午後5時10分ごろ 予想2m</p>	
	21:56	<p>アナ：仙台市では火災が起きています。これは、仙台市から南の方向を見た映像です。</p> <p>ツジムラさん、火災が各地で起きていますね。</p> <p>ツジムラ：はい。総務省のまとめでは4時半現在で44件起きていますが、実際はもっと多くの箇所、多くの火災が起きていると思います。</p>	<p>津波警報 種子島・屋久島地方 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 奄美諸島・トカラ列島 午後5時10分ごろ 予想2m</p> <p>津波警報 大東島地方 午後5時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 鹿児島県西部 午後5時20分ごろ 予想1m</p>	
17	22:19	<p>アナ：こちらは、北海道の広尾町の今の様子です。波、津波が、これは、都司さん、引いていく様子ですね。</p> <p>都司：引いていく状態ですね。これは、広尾となると震源から遠くなっていくので、三陸よりも大きくとはならないかもしれませんが、それでも人が住んでいる居住地に津波が入ってくる可能性があるのと、遠くなればなるほど、今度は継続時間が長くなります。震源に近い所では、まあ3時間、4時間で収まると考えてもいいかもしれませんが、遠い所はそれより、今度は時間が長くなります。</p>	<p>津波警報 沖縄本島地方 午後5時40分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 大分県瀬戸内海沿岸 午後5時50分ごろ 予想1m</p> <p>津波警報 宮古島・八重山地方 午後6時10分ごろ 予想1m</p> <p>津波注意報 山形県 すでに到達と推測 予想50cm</p>	中継・北海道十勝港
	22:56	<p>アナ：こちらは、北海道広尾町の十勝港の現在の様子です。波が岸壁を越えて、港の施設の中に流れ込んでいます。ドラム缶や棒のような物が今、港の中を漂っている様子です。</p>		
	23:11	<p>ツジムラ：まもなく日没を迎えますので、日が暮れますと回りの状況が見えなくなります。この後も大きな津波が繰り返し押し寄せますので、夜のうちに移動するのは極めて危険です。現時点で安全な場所に避難している人は、そこから動かないことが大切です。</p>		中継・青森県八戸
	23:34	<p>アナ：なるほど。先ほど、東北電力によりますと、東北地方の太平洋沿岸各地、広い範囲で停電が起きているようですけれども、今、まず、まだ真っ暗にならない前に、いち早く安全な所に避難すること。</p>	<p>午後5時19分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ ごく浅い マグニチュード</p>	地震速報

17	23 : 50	<p>ツジムラ：そうですね。</p> <p>アナ：それから、いったん避難したら、安全な所から離れないということです。</p> <p>ツジムラ：大事だと思います。いずれにしても、電力が再び復旧するには時間が掛かります。それに、今足もとが、もし沿岸の地域で津波が押し寄せていないとするならば、もう一刻も早く避難してください。夜のあいだに津波が来て避難するのでは、もう周辺の状況も分からないので、極めて危険です。ですから、西日本、沖縄にかけての津波警報が出ている地域の方々は、日が沈むまでに必ず避難が必要です。</p>	<p>6.7</p> <p>午後5時19分ごろ東北・関東地方で震度4の地震がありました</p> <p>揺れの大きい地点は次のとおりです</p> <p>震度4 須賀川市 いわき市 鹿嶋市 筑西市 銚田市 高根沢町 春日部市 銚子市 旭市 東庄町 匝瑳市 香取市</p> <p>震度3 仙台宮城野区 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 松島町 上山市 村山市 天童市 山辺町 中山町 南陽市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 玉川村 浅川町 古殿町 田村市 福島伊達市 本宮市 相馬市 広野町 檜葉町 富岡町 川内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 南相馬市 会津若松市 喜多方市 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 会津美里町 水戸市 常陸大宮市 土浦市 石岡市 利根町 坂東市 宇都宮市 大田原市 那須町 那須塩原市 栃木市 小山市 真岡市 上三川町 益子町 茂木町 芳賀町 野木町 岩舟町 さくら市 那須烏山市 栃木那珂川町 下野市 前橋市 沼田市 太田市 渋川市 群馬明和町 千代田町 大泉町 邑楽町 さいたま中央区 さいたま岩槻区 熊谷市 行田市 加須市 羽生市 鴻巣市 久喜市 吉見町 埼玉美里町 川口市 草加市 越谷市 蕨市 戸田市 鳩ヶ谷市 志木市 八潮市 富士見市 三郷市 幸手市 吉川市 川島町 宮代町 白岡町 杉戸町 松伏町 千葉中央区 千葉花見川区 千葉稲毛区 千葉若葉区 千葉緑区 千葉美浜区 茂原市 東金市 神崎町 多古町 大網白里町 九十九里町 芝山町 一宮町 睦沢町 長生村 白子町 長柄町 長南町 横芝光町 山武市 市川市 船橋市 野田市 成田市 佐倉市 習志野市 柏市 市原市 流山市 八千代市 我孫子市 鎌ヶ谷市 浦安市 四街道市 八街市 印西市 白井市 栄町 富里市 木更津市 君津氏 いずみ市 南房総市 東京江東区 東京大田区 東京荒川区 東京足立区 東京江戸川区 横浜中区 平塚市 二宮町 大井町 刈羽村 南魚沼市 中央市 忍野村</p> <p>震度2 八戸市 十和田市 七戸町 六戸町 東北町 五戸町</p>
17	24 : 21 24 : 51 25 : 25 26 : 00	<p>アナ：はじめから繰り返してお伝えします。今日午後2時46分頃、巨大な地震が相継いで起きました。震源は三陸沖、震源の深さ20キロ、地震の規模を示すマグニチュードは8.4と推定されています。この地震で、宮城県北部で震度7、震度6強を宮城県、福島県、茨城県、それに栃木県で観測しました。また、震度6弱を岩手県や群馬県、埼玉県、千葉県北西部でも震度6弱を観測しています。</p> <p>この地震で大津波警報、津波警報、津波注意報が出ています。大津波警報が出ているのは岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、北海道太平洋沿岸東部、北海道太平洋沿岸中部、青森県太平洋沿岸、相模湾・三浦半島、静岡県、北海道太平洋沿岸西部、小笠原諸島、青森県日本海沿岸、和歌山県、徳島県、以上の地域に大津波警報が出ています。</p> <p>また、津波警報が東京湾内湾、三重県南部、愛知県外海、陸奥湾、伊勢湾・三河湾、高知県、北海道日本海沿岸南部、淡路島南部、宮崎県、愛媛県宇和海沿岸、大分県豊後水道沿岸、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美諸島・トカラ列島、津波警報が出ている地域をお伝えしています。大東島地方、鹿児島県西部、沖縄本島地方、大分県瀬戸内海沿岸、宮古島・八重山地方、以上が、津波警報が出ている地域です。</p> <p>また、津波の高さですけれども、福島県相馬港では午後3時50分頃、7m30cm以上、岩手県の釜石港では午後3時21分に4m10cm以上の津波を観測しています。また、そのほか広い範囲で、かなりの高さの津波が観測されています。</p>	<p>震度4 須賀川市 いわき市 鹿嶋市 筑西市 銚田市 高根沢町 春日部市 銚子市 旭市 東庄町 匝瑳市 香取市</p> <p>震度3 仙台宮城野区 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 松島町 上山市 村山市 天童市 山辺町 中山町 南陽市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町 棚倉町 玉川村 浅川町 古殿町 田村市 福島伊達市 本宮市 相馬市 広野町 檜葉町 富岡町 川内村 大熊町 双葉町 浪江町 葛尾村 新地町 南相馬市 会津若松市 喜多方市 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 会津美里町 水戸市 常陸大宮市 土浦市 石岡市 利根町 坂東市 宇都宮市 大田原市 那須町 那須塩原市 栃木市 小山市 真岡市 上三川町 益子町 茂木町 芳賀町 野木町 岩舟町 さくら市 那須烏山市 栃木那珂川町 下野市 前橋市 沼田市 太田市 渋川市 群馬明和町 千代田町 大泉町 邑楽町 さいたま中央区 さいたま岩槻区 熊谷市 行田市 加須市 羽生市 鴻巣市 久喜市 吉見町 埼玉美里町 川口市 草加市 越谷市 蕨市 戸田市 鳩ヶ谷市 志木市 八潮市 富士見市 三郷市 幸手市 吉川市 川島町 宮代町 白岡町 杉戸町 松伏町 千葉中央区 千葉花見川区 千葉稲毛区 千葉若葉区 千葉緑区 千葉美浜区 茂原市 東金市 神崎町 多古町 大網白里町 九十九里町 芝山町 一宮町 睦沢町 長生村 白子町 長柄町 長南町 横芝光町 山武市 市川市 船橋市 野田市 成田市 佐倉市 習志野市 柏市 市原市 流山市 八千代市 我孫子市 鎌ヶ谷市 浦安市 四街道市 八街市 印西市 白井市 栄町 富里市 木更津市 君津氏 いずみ市 南房総市 東京江東区 東京大田区 東京荒川区 東京足立区 東京江戸川区 横浜中区 平塚市 二宮町 大井町 刈羽村 南魚沼市 中央市 忍野村</p> <p>震度2 八戸市 十和田市 七戸町 六戸町 東北町 五戸町</p>
17	26 : 17 26 : 42	<p>ツジムラ：これは、いずれも4m10cm以上ということで、それ以上観測できていません。ですから、実際は10mを越える津波が押し寄せているものと見られます。ですから、東北、関東地方の沿岸の方々は、一刻も早く避難してください。また、西日本の方々、これから津波が押し寄せますので、津波警報が出ている地域についても、必ず日が暮れる前に避難が必要です。</p> <p>アナ：はい。まだ津波が来ていないという地域の皆さん、</p>	<p>中継・北海道十勝港</p>

17	27 : 11	<p>日が暮れる前にですね、まだ真っ暗になる前に、いち早い避難をお願いします。</p> <p>ツジムラ：特に高齢者の方々は、避難、移動するまでに時間が掛かると、やはり、近所の方々が手助けをして避難することが必要です。お近くの、普段お付き合いのある高齢者の方々の安否を確認した上で、早めに避難をすること、皆さんで声を掛け合って避難することが必要です。</p> <p>アナ：はい。避難する際、どうぞ、近所にお年寄りだけの家がないか、子どもだけの家がないか、声を掛け合って避難してください。助け合って避難をしてください。それから、これから暗くなりますので、できれば懐中電灯ですとか、そういった物で足もとも照らしながらけがをしないように避難を、いち早い避難をお願いします。</p>	
17	27 : 34	<p>では、交通機関への影響、まとめてお伝えします。全国の鉄道への影響ですが、鉄道各社によりますと、午後5時15分現在、東北地方と関東地方の新幹線、JRの在来線、私鉄各線、地下鉄各線は全線で運転できなくなっています。繰り返します。東北地方と関東地方の新幹線、JRの在来線、私鉄各線、地下鉄各線は全線で運転できなくなっています。また、東海地方から近畿地方にかけて、海岸沿いの線路、路線を中心に運転できなくなっている路線があります。</p>	
28 : 09	<p>新幹線ですけれども、東北、上越、長野、山形、秋田の各新幹線は全線で運転できなくなっています。再開のめどは立っていません。東海道新幹線は、東海道新幹線は東京と新大阪のあいだの全線で運転できなくなっています。点検が終了した区間から運転を再開したいとしています。</p>		
28 : 31	<p>JRの在来線です。JR東日本の在来線は、首都圏の山手線や京浜東北線をはじめ、青森県内から静岡県内まで、現在すべての路線で運転できなくなっています。JR東日本の在来線、首都圏の山手線や京浜東北線をはじめ、青森県内から静岡県内まで、現在すべての路線で運転できなくなっています。</p>		
17	28 : 53	<p>JR東日本によりますと、午後5時15分現在、電車が脱線したなどの重大な事故の情報が入っていないということです。安全の確認にはしばらく時間が掛かるため、運転再開の見通しは立っていません。また、JR東海の在来線ですけれども、東海道線や御殿場線など、一部の路線で運転できなくなっています。さらに、JR西日本の在来線ですが、太平洋沿岸を走る紀勢線で運転できなくなっています。</p>	
29 : 21	<p>そして、私鉄です。首都圏の私鉄各社によりますと、私鉄各線と地下鉄の各線はすべて、安全点検のため運転できなくなっています。このうち東京の地下鉄、東京メト</p>		

		<p>ロによりますと、現在、係員が徒歩でトンネルの壁や架線に以上が起きていないか確認を行っているため、運転の再開までにはかなりの時間が掛かる見込みだということです。</p>	
17	29 : 44	<p>それから、避難の指示や勧告の情報です。この地震で、東北の各地で住民に対しまして、避難の指示や勧告が出されています。しかし、行政機関の建物が被害を受けるなどして、十分な避難の指示や勧告ができない状態になっている自治体もあると見られます。気象庁は、できるだけ高い所に避難してくださいと厳重な警戒を呼びかけています。</p>	
	30 : 05	<p>ツジムラ：大津波警報、津波注意報、これから長時間続きます。まもなく夜を迎えますけども、おそらく、夜通しこの警報は出続けます。津波も、これから明日にかけて大きな津波が押し寄せ続けます。ですから、決して、現在避難している場所から移動しないでください。現在安全な場所に避難している方は、絶対に、様子を見に戻らないでください。</p>	
	30 : 34	<p>それから、津波の被害の恐れのない地域、大きな揺れがあった地域においては、現在も倒壊した家屋等に人が閉じ込められている恐れがあります。こちらも、夜になりますと発見が難しくなりますので、救出には急ぐ必要があります。ただ、この場合でも、余震に十分な警戒が必要です。</p>	中継・青森 県八戸
	30 : 53	<p>アナ：避難指示が出ている地域を詳しくお伝えします。仙台市は津波が押し寄せるため。</p>	
17	31 : 01	<p>その前に、テレビでお伝えしている映像ですが、これ、苫小牧市内の現在の様子です。都司さん、また大きな、これ津波ですね。</p> <p>都司：はい。次第に遠い場所に、津波の被害っていうのが広がって行ってますね。北海道苫小牧となると、これはすぐ前の海で起きたわけではない、ちょっと離れたところなんですけれど、次第にそこに津波が伝わって行って、そこ、被害が出ているという様子がよく分かりますね。で、水の勢いがすごく速いことが分かりますね。</p>	中継・北海道 苫小牧
	31 : 33	<p>アナ：白波を立てるようにして流れていきます。これ、大変危険ですね。</p> <p>ツジ：大変危険ですね。こんなとこ、人が立っていたら、とても立ち続けることできません。完全に流されてしまいます。</p> <p>アナ：あの大きな船や、それから車まで押し流してしまうような、大変強い力があります。</p>	
17	31 : 51	<p>そして、仙台市内の映像ですが、また画面が細かく揺れているのが分かります。仙台市から南の方角を見ています。火災が起きています。</p>	中継・仙台
	31 : 59	<p>この宮城県仙台市で避難指示が出ている地域です。市内の宮城野区と若林区の太平洋側の地域は、避難指示が出</p>	

17	32 : 44	<p>ています。青森県です。三沢市、八戸市、むつ市、六ヶ所村、東通村、階上町は、太平洋沿岸のすべての地域に避難指示を出しています。また、おいらせ町と風間浦村は、太平洋沿岸のすべての地域に避難勧告を出しました。岩手県では、久慈市が沿岸部に住む 1489 世帯、およそ 4300 人に避難指示を出しました。それから、福島県ですけれども、福島県は富岡町、楢葉町、双葉町で、沿岸部に住む住民を対象に避難指示を出したということです。</p> <p>ツジムラ：先ほどもお話ししましたが、避難をする際にですね、実際にもう津波が押し寄せている地域については、行方が分からなくなっている方をその段階で捜索するのは極めて危険です。既に津波が押し寄せている地域では、避難場所から決して移動しないでください。それから、まだ津波が押し寄せてない地域、西日本、これから津波が押し寄せることは間違いありません。ですので、早めに皆さんで連れ合っって避難することが必要です。</p>		
17	33 : 13 (33 : 15) 33 : 36 34 : 16	<p>アナ：震度 6 強を観測した福島県白河市によりますと、白河市葉ノ木平で土砂崩れが起きて、住宅が押しつぶされて 8 人が埋まっているということです。福島県の白河市葉ノ木平で土砂崩れが起きて、住宅が押しつぶされて 8 人が埋まっているということです。現在、消防が救助活動を行っています。</p> <p>岩手県に入った連絡によりますと、久慈市で車が流され、1 人が死亡したということです。また、久慈市内で建物が崩れて、1 人がけがをしたということです。</p> <p>そして、首都圏では、これまでに三つの県で 3 人の死者が確認されています。このうち栃木県芳賀町下高根沢にある自動車メーカー、ホンダの工場では男性 1 人が天井と壁にはさまれて死亡し、警察が身元の確認を急いでいます。茨城県高萩市では、建物が倒壊して 1 人が死亡しました。千葉県野田市では 67 歳の男性が自宅の庭で転倒し、頭を強く打って病院に運ばれましたが、警察によると、死亡が確認されました。</p> <p>ツジムラ：かなり広域で被害が出ています。ですから、それぞれの地域の消防、または警察では限界があります。ですから、広域的な災害に備えるために早く、緊急消防援助隊、広域な緊急援助隊を派遣することが必要です。阪神大震災のときなどでも、国からの指示がなくても、実際に自分の地域で被害がないことが確認されたら、現地に向かった消防本部もありました。</p>	<p>午後 5 時 31 分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました</p> <p>震度 3 以上の地域は次のとおりです 震度 4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り 会津 栃木北部</p> <p>震度 3 山形村山地方 山形置賜地方 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木南部 千葉北西部</p> <p>午後 5 時 31 分ごろ東北・関東地方でやや強い地震がありました</p> <p>震度 3 以上の地域は次のとおりです 震度 4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 福島浜通り 会津 栃木北部</p> <p>震度 3 山形村山地方 山形置賜地方 福島中通り 茨城北部 茨城南部 栃木南部 千葉北西部</p>	<p>中継・茨城県大洗町 地震速報</p> <p>中継・北海道苫小牧</p>
17	34 : 46	<p>アナ：こちらは、北海道の苫小牧市の今の様子です。依然として、波が岸壁を越えて押し寄せています。北海道の苫小牧も津波が押し寄せています。震源からかなり離れた地域でも、津波が押し寄せています。大津波警報、津波警報が出ています。引き続き厳重な警戒をお願いします</p>		

17	35:10 (35:18)	ます。 今日、2時46分頃、大きな地震がありました。震源は三陸沖、震源の深さは20km。今回の地震を気象庁は「平成23年東北地方太平洋沖地震」という名前を付けました。	午後5時31分ごろ地震がありました 震源は福島県沖 深さ30キロ マグニチュード5.8 午後5時31分ごろ東北・関東地方で震度4の地震がありました	地震速報
17	35:25 35:53	これはNHKの茨城県の水戸放送局の様子です。いったん電気が消えました。そしてこれは、岩手県の釜石市の様子です。午後3時15分頃の様子です。VTRの映像です。津波で車が流されていきます。電柱も今、倒れたのが分かりました。車が次々と流されていく様子。 都司さん、相当大きな力の、巨大な津波ということですね。 都司：これ、何台かこう、ライトがついておりました。ということは、人が乗っているわけですね。で、これ、あの、車というのは、中、完全に空です。津波によって簡単に運ばれてしまいます。津内のとき、あるいは地震のとき、特に海の近くにいるとき、車に乗ったままいるというのは非常に危険なんですよね。うっかりすると、けがをしたり、あるいはお亡くなりになる数が、人の数がもっと増えてしまうんじゃないかという恐れがあります。		中継・岩手県釜石 中継・宮城県仙台名取付近
17	36:22 (36:26) 36:30	アナ：福島第一原子力発電所の情報です。福島県にある、東京電力の福島第一原子力発電所では、地震で停止した2機の原発で。 あ、今、新しい情報が入りました。今回起きた、東北地方太平洋沖地震ですが、気象庁が地震の規模を示すマグニチュードを、8.8に再修正しました。東北地方太平洋沖地震、今回の地震、気象庁は、東北地方太平洋沖地震と名付けましたが、マグニチュード8.8に再修正しました。 都司さん、8。 ツジムラ：マグニチュード8.8は、地震の観測が日本で始まった明治以降、国内では最大規模ということになります。巨大地震と、巨大地震です。	NHKニュース速報 東北地方太平洋沖地震 気象庁がM8.8に再修正 国内最大規模	NHK ニュース速報
17	37:04 37:19 37:43	アナ：繰り返しお伝えします。今回起きた東北地方太平洋沖地震、気象庁はマグニチュード8.8に再修正しました。これは国内では最大の、地震の観測が始まった明治以降、国内では最大の規模の地震です。 ツジムラ：東北の太平洋沿岸では、この地震で数百キロにわたって、地震の破壊が進んだと考えられます。1カ所が震源で起こる地震じゃなくて、かなり広い範囲で地盤の、岩盤の崩壊が起きたと。それによって、マグニチュード8.8という超巨大な揺れになったわけです。 アナ：都司さん、このマグニチュード8.8という、超巨大地震と言っていいと思うですけども。 都司：超巨大地震ですね。多分これはプレートの境界のずれの量、地震の原因となったずれの量というのが、10m		

17	38 : 20	<p>から 20m くらいずれたのかな。で、海底の盛り上がりの量も 5、6 m はこう、深い所で、隆起している可能性ありますね。で、これは、まあ、・・・古い記録から調べても、そんなには起きない大地震であったということになりますね。</p> <p>アナ：阪神淡路大震災に比べますと、これ、どのくらいの規模の地震になっているんですか。</p> <p>司：あれ、7.3 だったから、それより 1.6 大きいことに、1.5 大きいことになりますね。そうすると、100 倍。え、ちょっと待ってください。1 大きいと 32、そのさらに 4 倍。100 倍以上ですね。150 倍くらいの規模を持っていることになります。</p>		
17	38 : 49	<p>アナ：福島第一原子力発電所の情報をお伝えします。福島県にあります東京電力の福島第一原子力発電所では、地震で停止した 2 基の原発で、原子炉を安全に冷やすために必要な、非常用のディーゼル発電機のすべてが使えなくなり、冷却を継続して行く能力が十分ないと判断したということです。</p>		
	39 : 11	<p>このため東京電力は、原子力災害対策特別法に基づいて、午後 4 時に行った異常事態の通報に続き、午後 5 時に、緊急事態を知らせる通報を、経済産業省の原子力安全保安院に行いました。原子力安全保安院は、情報の確認を進め、今後の対応について検討しています。福島第一原発では、今のところ放射性物質が漏れるなどの外部への影響はないということです。原子力安全保安院は、引き続き監視を続けています。</p>		
	(39 : 33)		<p>午後 5 時 35 分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ ごく浅い マグニチュード 5.5</p>	<p>地震速報</p>
	39 : 42	<p>ツジムラさん、これは緊急事態を知らせる通報が行われたということですね。</p> <p>ツジムラ：はい。先ほど午後 4 時にですね、ディーゼル発電機が停電等で使えないことを示す、が確認されまして、異常事態の通報。それから今緊急事態の通報ということになりました。</p>	<p>午後 5 時 35 分ごろ東北・関東地方で震度 3 の地震がありました 震度 3 須賀川市 富岡町 水戸市 日立市 東海村 城里町 土浦市 石岡市 取手市 つくば市 鹿嶋市 稲敷市 筑西市 鉾田市 常盤氏 真岡市 旭市 匝瑳市 香取市 山武市 成田市 佐倉市 八街市 印西市</p>	
	40 : 21	<p>福島第一原子力発電所、地震で、原子力発電所の発電機自体は 2 基とも停止をしています。そしてその停止した原子炉を安全に冷やすために必要な非常用のディーゼル発電。停止している原発を冷やすために必要なディーゼル発電機、こちらがすべて使えなくなったということです。</p>		
	(40 : 39)	<p>つまりこれは、今、止まっている原子力発電所を、あ、原発の原子炉を、冷却を継続して行くことが難しくなったということです。このため、午後 5 時に緊急事態を知らせる通報を、原子力安全保安院に行ったということです。</p>		
	(40 : 39)	<p>今のところ放射性物質が漏れるなど、外部への影響はないということです。この対応を、今、原子力安全保安院が検討しているということです。</p>	<p>午後 5 時 35 分ごろ地震がありました 震源は茨城県沖 深さ ごく浅い マグニチュード 5.5</p>	<p>地震速報</p>
	40 : 47	<p>アナ：お伝えしていますように、今日、午後起きました、</p>	<p>午後 5 時 35 分ごろ東北・関東地方で震度 3 の地震がありました</p>	

		平成 23 年東北地方太平洋沖地震地震ですけれども、先ほど気象庁は、マグニチュード 8.8 に再修正しました。これは明治以降、観測を始めてから、国内最大規模の地震です。この後も引き続き厳重な警戒をお願いします。引き続き地震、津波の情報をお伝えします。	揺れの大きい地点は次のとおりです 震度 3 須賀川市 富岡町 水戸市 日立市 東海村 城里町 土浦市 石岡市 取手市 つくば市 鹿嶋市 稲敷市 筑西市 鉾田市 常盤氏 真岡市 旭市 匝瑳市 香取市 山武市 成田市 佐倉市 八街市 印西市	
17	41 : 14	アナ：では、引き続き津波と地震に関する情報をお伝えしていきます。今日午後、東北地方で、相次いで強い地震がありました。この地震で、太平洋沿岸の地域を中心に、大津波警報、津波警報などが出ていまして、各地ですでに数メートルの大きな津波が確認されています。一度津波が押し寄せましても、引き続き厳重な警戒が必要です。安全な高い所に避難をしてください。安全な高い所に避難してください。		
	41 : 43	避難できている方は、そのまま安全な場所を離れないようにしてください。また、高台が近くにない場合、丈夫な建物の上のほうに避難をしてください。建物で言いますと、ビルの 3 階以上の高い所に避難をする必要があります。また、海外や川沿いからは離れてください。海岸や川沿いには絶対に近づかないでください。 そして宮城県の栗原市で震度 7、その他、震度 6 強、震度 6 弱の強い揺れも観測されています。余震も続いていまして、現在もこの東京渋谷にある NHK のスタジオが揺れています。余震が続いています。揺れが強かった地域では、建物が倒壊したり、山崩れや崖崩れが起きたりする恐れがあります。道路の亀裂や地面の陥没などにも注意してください。 それでは、NHK 仙台放送局からお伝えします。		中継・宮城 県仙台 名取付近
17	42 : 42	アナ：はい。仙台のスタジオです。先ほどから繰り返し余震が続いています。東北地方には…	緊急地震速報（気象庁）	仙台・スタジオ
17	42 : 48	アナ：緊急地震速報です。緊急地震速報が出ました。強い揺れに警戒をしてください。福島県、茨城県で強い揺れに警戒が必要です。緊急地震速報です。福島県と茨城県で、強い揺れに警戒をしてください。緊急地震速報です。福島県と茨城県で強い揺れに警戒してください。 繰り返しお伝えします。現在緊急地震速報が出ました。福島県と茨城県です。福島県と茨城県の方は強い揺れに警戒をしてください。安全な場所で揺れに備えてください。丈夫なテーブルや机の下などに隠れてください。けがをしないように気を付けてください。テレビの映像は、現在の水戸市内の様子です。まだ揺れは、この画面からは確認できません。	福島県で地震 強い揺れに警戒 福島 茨城	緊急地震速報 東京・スタジオ
	43 : 36	福島県と茨城県に緊急地震速報が出ました。強い揺れに警戒が必要です。福島県と茨城県の方、強い揺れに警戒をしてください。今、緊急地震速報が出ました。福島県と茨城県の方、強い揺れに警戒が必要です。揺れが来るまでは、安全な場所に身を寄せてください。身の安全を確保してください。強い揺れに警戒が必要です。けがを		中継・茨城 県水戸

	(44:00)	しないように気を付けてください。丈夫なテーブルや机の下などに隠れてください。丈夫なテーブルや机の下などに隠れてください。	午後5時40分ごろ東北地方で強い地震がありました 震度3以上の地域は次のとおりです	地震速報
17	44:12	揺れによる被害に警戒が必要です。今。震度5強が福島県の浜通り。震度5弱が福島県の中通りです。画面で表示していますように、震度5強が福島県浜通り、震度5弱が福島県中通りです。揺れの強かった地域の方は落ち着いて行動してください。福島県の浜通り、震度5強、福島県中通り、震度5弱の揺れを観測しています。津波の警報が引き続き出ていますので、沿岸の方は引き続き十分に警戒をしてください。また、震度4が宮城北部、宮城中部、宮城南部、山形村山地方、山形置賜地方です。	震度5強 福島浜通り 震度5弱 福島中通り 震度4 宮城北部 宮城南部 宮城中部 山形村山地方 山形置賜地方 茨城北部 茨城南部 栃木北部 栃木南部 震度3 青森三八上北 岩手内陸南部 山形最上地方 会津 群馬南部 埼玉北部 埼玉南部 千葉北東部 千葉北西部 東京23区	
	45:03	あらためてお伝えします。午後5時40分頃、東北地方で強い地震がありました。震度5強が福島県浜通り、震度5弱が福島県中通り、また震度4が宮城県北部、宮城県中部、宮城県南部、山形県村山地方、山形県置賜地方。		
	45:26	テレビの映像は、現在の福島市の様子です。福島市の様子です。特に被害の状況はこの画面からは確認できません。福島県では浜通りで震度5強、中通りで5弱の揺れを観測しています。少しカメラが小刻みに、横に揺れているのがわかります。震度5強を福島県浜通り、震度5弱を福島県中通りで観測しています。揺れの強かった地域の方は、どうぞ落ち着いて行動してください。けがをしないように気を付けてください。落ちてくるものや倒れて来るものに十分な注意が必要です。またこの後も余震があるかもしれません。揺れが治まっても、余震の揺れに引き続き警戒をしてください。		中継・福島県福島市
17	46:09 (46:12)	今の地震の新たな情報です。午後5時41分頃の地震は、震源が福島県沖です。震源の深さは30km、地震の規模を示すマグニチュードは、5.8と推定されています。この地震で、震度5強が富岡町、そして震度5弱が田村市、楢葉町、浪江町、南相馬市で観測されています。	午後5時41分ごろ地震がありました 震源は福島県沖 深さ30キロ マグニチュード5.8 午後5時41分ごろ東北地方で震度5強の地震がありました	地震速報
	56:32	揺れの強かった地域の方は、落ち着いて行動してください。落ちてくるものや倒れて来るものに注意が必要です。また、いったん揺れが治まっても、この後も再び強い揺れが起きる恐れがあります。十分な警戒が必要です。建物が倒壊したり、山崩れや崖崩れが起きたりする恐れがあります。また、先ほどから続いています強い地震が相次いでいますので、地盤などが弱くなっている地域もあると思います。土砂崩れ、崖崩れには厳重な警戒が必要です。	揺れの大きい地点は次のとおりです 震度5強 富岡町 震度5弱 田村市 楢葉町 浪江町 南相馬市 震度4 一関市 仙台青葉区 仙台宮城野区 仙台若林区 仙台太白区 加美町 色麻町 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 角田市 柴田町 丸森町 東松島市 松島町 七ヶ浜町 利府町 上市市 天童市 米沢市 南陽市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市	
17	47:02	テレビの映像は、福島市の現在の様子です。福島市内中心部、通りに車が走っています。		
	47:14	そして、今日午後、相継いだ地震の影響で、現在も太平洋側を中心に、広い範囲で大津波警報や津波警報などが出ています。沿岸の地域の方、また、川の河口に近い方		

17	47:31	<p>は、この後も厳重な警戒が必要です。海岸付近には絶対に近づかないようにしてください。</p> <p>また、すでに各地で数メートルの大きな津波が観測されています。この後も再び、2回、3回、さらに多くの津波が押し寄せる恐れがあります。後からくる津波のほうが大きい恐れもあります。一度津波が観測されても、その後も、非常に危険ですので、注意が必要です。</p> <p>現在の福島市内の映像、中継の映像ですけれども、カメラが少し横に揺れています。福島市の現在の様子です。先ほど緊急地震速報が outcome、5強と5弱、浜通りで5強、中通りで5弱の揺れを観測しました。</p>	<p>震度3 階上町 野田村 花巻市 平泉町 気仙沼市 栗原市 宮城美里町 石巻市 富谷町 山形市 戸沢村 寒河江市 村山市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 山形川西町 西郷村 泉崎村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 塙町 鮫川村 石川町 平田村 会津若松市 喜多方市 下郷町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 柳津町 会津美里町 水戸市 常陸太田市 東海村 常陸大宮市 古河市 石岡市 竜ヶ崎市 取手市 牛久市 つくば市 鹿嶋市 五霞町 坂東市 稲敷市 筑西市 鉾田市 常総市 つくばみらい市 宇都宮市 日光市 矢板市 那須塩原市 鹿沼市 真岡市 益子町 茂木町 芳賀町 さくら市 栃木那珂町 下野町 前橋市 邑楽町 加須市 久喜市 春日部町 宮代町 千葉中央区 千葉花見川区 千葉稲毛区 千葉若葉区 千葉美浜区 神埼町 香取市 野田市 成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 栄町 富里市 東京千代田区 東京江戸川区 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市</p>	
17	48:27	<p>今日午後、東北地方で強い地震が相次いで起きています。この地震によって、大津波警報や津波警報などが outcome、出されています。そして、各地で数メートルを超える大きな津波がすでに確認されています。しかし津波は、繰り返し押し寄せる恐れがあります。津波は繰り返し押し寄せる恐れがあります。一度波が引いても、2度、3度と繰り返して大きな波が押し寄せる恐れがありますので、沿岸の地域の方はどうぞ厳重な警戒を続けてください。</p>		
	48:58	<p>現在の八戸市内の様子、テレビの画面で映されています。岸壁に完全に漁船が上がっています。かなり大きな船です。そして地面が揺れています。先ほどこの辺りも大きな津波が押し寄せました。陸のほうでは、大きな船が横倒しになっている様子も見えます。完全に陸に乗り上げています。</p>		中継・青森県八戸
	49:19 (49:29)	<p>今は潮位の激しい動きは確認されませんが、この後も引き続き、大きな津波が押し寄せる恐れがあります。津波は2回目、3回目のほうが高くなる可能性がありますので、引き続き厳重な警戒をしてください。</p>	<p>午後5時41分ごろ地震がありました 震源は福島県沖 深さ30キロ マグニチュード5.8 午後5時41分ごろ東北地方で震度5強の地震がありました</p>	地震速報
17	49:37	<p>福島県広野町役場によりますと、海岸からおおよそ100m離れている広野町下浅見川本町で、おおよそ50世帯が水につかっているということです。おおよそ50世帯が水につかっているということです。地区に住む人から、家族が取り残されているという通報があるということです。消防などは近づくことができないため、詳しい状況は分からないということです。</p>	<p>揺れの大きい地点は次のとおりです 震度5強 震度5強 富岡町 震度5弱 田村市 檜葉町 浪江町 南相馬市 震度4 一関市 仙台青葉区 仙台宮城野区 仙台若林区 仙台太白区 加美町 色麻町 涌谷町 登米市 大崎市 名取市 角田市 柴田町 丸森町 東松島市 松島町 七ヶ浜町 利府町 上市市 天童市 米沢市 南陽市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市</p>	
	50:00	<p>広野町では、町内全世帯に避難指示を出して、住民に避難を呼び掛けているということです。また、岩手県警察本部によりますと、午後5時現在、岩手県内では、10人の死亡が確認されているということです。岩手県警察本部の情報によりますと、午後5時現在、岩手県内では10人の死亡が確認されているということです。</p>		
17	50:26	<p>テレビの映像は、岩手県釜石市、午後3時15分頃、津</p>		

		波が確認されたときの様子です。陸地に激しい流れで、海水が押し寄せているのが確認できます。そして広い範囲で水しぶきも上がっています。岩手県釜石市、今日午後3時15分頃の津波が押し寄せたときの映像です。	市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市 震度3 階上町 野田村 花巻市 平泉町 気仙沼市 栗原市 宮城美里町 石巻市 富谷町 山形市 戸沢村 寒河江市 村山市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 山形川西町 西郷村 泉崎村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 塙町 鮫川村 石川町 平田村 会津若松市 喜多方市 下郷町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 柳津町 会津美里町 水戸市 常陸太田市 東海村 常陸大宮市 古河市 石岡市 竜ヶ崎市 取手市 牛久市 つくば市 鹿嶋市 五霞町 坂東市 稲敷市 筑西市 鉾田市 常総市 つくばみらい市 宇都宮市 日光市 矢板市 那須塩原市 鹿沼市 真岡市 益子町 茂木町 芳賀町 さくら市 栃木那珂町 下野町 前橋市 邑楽町 加須市 久喜市 春日部町 宮代町 千葉中央区 千葉花見川区 千葉稲毛区 千葉若葉区 千葉美浜区	
17	50 : 51	では、社会部のツジムラ記者と共にお伝えして行きます。	市 高島町 白鷹町 福島市 郡山市 白河市 須賀川市 二本松市 桑折町 川俣町 大玉村 鏡石町 中島村 玉川村 浅川町 古殿町 三春町 小野町 福島伊達市 本宮市 いわき市 広野町 川内村 大熊町 双葉町 葛尾村 新地町 飯舘村 日立市 大子町 城里町 土浦市 小田原市 那須町 高根沢町 那須烏山市 震度3 階上町 野田村 花巻市 平泉町 気仙沼市 栗原市 宮城美里町 石巻市 富谷町 山形市 戸沢村 寒河江市 村山市 山辺町 中山町 河北町 大石田町 山形川西町 西郷村 泉崎村 矢吹町 棚倉町 矢祭町 塙町 鮫川村 石川町 平田村 会津若松市 喜多方市 下郷町 磐梯町 猪苗代町 会津坂下町 湯川村 柳津町 会津美里町 水戸市 常陸太田市 東海村 常陸大宮市 古河市 石岡市 竜ヶ崎市 取手市 牛久市 つくば市 鹿嶋市 五霞町 坂東市 稲敷市 筑西市 鉾田市 常総市 つくばみらい市 宇都宮市 日光市 矢板市 那須塩原市 鹿沼市 真岡市 益子町 茂木町 芳賀町 さくら市 栃木那珂町 下野町 前橋市 邑楽町 加須市 久喜市 春日部町 宮代町 千葉中央区 千葉花見川区 千葉稲毛区 千葉若葉区 千葉美浜区	
	51 : 25	特に一度津波が押し寄せた場所でも、2度、3度と同じ規模か、さらにそれより大きな規模の津波が起きます。すでに宮城県内では、海岸から数キロの所まで強い流れが来ていますので、基本的に今避難している、されている方は、そこを動かないことが必要です。	神埼町 香取市 野田市 成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 栄町 富里市 東京千代田区 東京江戸川区 震度2 外ヶ浜町 八戸市 十和田市 野辺地町 七戸町 六戸町	
17	51 : 46	アナ：今、停電の情報が入りました。東北電力によりますと、午後4時現在、東北地方のおよそ440万世帯で停電しています。東北電力の情報によりますと、午後4時現在、東北地方のおよそ440万世帯で停電しています。青森県と岩手県、秋田県が全域で停電しているほか、宮城県と山形県が、ほぼ全域で停電。福島県が一部の地域で停電しています。		
	52 : 15	ツジムラさん、今の話にもありましたように、各地の日没の時刻なんですけれども、東北地方がですね、5時30分台と40分台、すでに日没の時刻を迎えています。		
	52 : 29	あ、今、上空からの映像なんですけれども、茨城県大洗町の現在の様子です。海面が渦を巻いているのが分かります。海面が渦を巻いているのが分かります。		中継・茨城県大洗町
17	52 : 41	それでは、東京大学地震研究所の都司准教授に話を聞きます。		
		都司さん。これ、現在のですね、茨城県の大洗町の海の様子なんですけれども、大きな渦を巻いていますね。		
		都司：はい。これは、堤防の端から非常に強い流れが入って来て、中のほうは止まっているものですから、このあいだで大きな渦が形成されるわけですね。		
		アナ：はい。小型の船が見えます。		
		都司：はい。これは、そうですね、あの、ほんろうされちゃって、完全に舵が利かなくなって、流れに任せるしかないということなんです、沖だしするのに手間取っていて、沖に避難することができなかったんですね。		
	53 : 17	アナ：地形によっては、海岸線の地形によっては、こういった現象も津波のときにあるということですね。		

17	(53:23)	<p>都司：はい。特に港の中に、これが起きやすいですね。</p> <p>アナ：港の中に起きやすい。</p> <p>都司：はい、はい、はい。</p> <p>アナ：こういう現象があるということは、まだこれから大きな津波が押し寄せる危険性はあるのでしょうか。</p>	<p>午後5時47分ごろ地震がありました</p> <p>震源は福島県沖 深さ20キロ マグニチュード6.0</p> <p>午後5時47分ごろ東北・関東地方で震度3の地震がありました</p> <p>揺れの大きい地点は次のとおりです</p>	地震速報
17	53:32	<p>アナ：はい。今回、マグニチュード8.8ということは、震源も非常に大きな震源範囲があったはずですね。ということは、先ほどからの映像でも分かるんですが、1回高くなってから、下がって、また上がるまでの時間が非常に長いんです。うっかりすると、40分、50分というふうな。非常に長い時間に上がって、下がって、また上がるということを繰り返すことになるでしょうね。</p> <p>ということは、いったん上がってきて、下がったからもう安心なんて決して思っはいけないということが言えると思います。</p>	<p>震度3 大船渡市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 石巻市 松島市 常総市</p> <p>午後5時47分ごろ地震がありました</p> <p>震源は福島県沖 深さ20キロ マグニチュード6.0</p> <p>午後5時47分ごろ東北・関東地方で震度3の地震がありました</p> <p>揺れの大きい地点は次のとおりです</p> <p>震度3 大船渡市 一関市 気仙沼市 涌谷町 栗原市 登米市 大崎市 石巻市 松島市 常総市</p>	
17	54:01	<p>アナ：津波が押し寄せるのと、引く周期が長いということですね。</p> <p>都司：周期が長いですね。</p> <p>アナ：そうしますと、しばらく引いたからといって安心してはいけないということですね。</p> <p>都司：決して安心してはいけません。警戒しなきゃいけない時間が長くなります。被災された地元にとってはちょっとつらいことなんですけれど、今夜の夜半過ぎ、あるいはあしたの朝頃まで警戒は続けなきゃいけないということになるかと思います。</p>		
17	54:25	<p>アナ：はい。ここで新たな情報です。NHKが午後5時現在でまとめたところ、今回の地震と津波で、これまでに確認されただけで、東北や関東地方で合わせて18人が死亡したほか、多数の行方不明者やけが人が出ています。NHKの午後5時現在のまとめで、東北や関東地方で合わせて18人が死亡し、多数の行方不明者やけが人が出ています。</p> <p>54:49 岩手県では、警察によりますと、10人の死亡が確認されたということです。また久慈市で3人がけがをして、病院で手当を受けた他、二戸市で転んでやけどをした人が1人、手当を受けているということです。</p> <p>宮城県では、津波のため、石巻市や気仙沼市などで、それぞれ行方不明者が出ていているということです。この他、七ヶ浜町で死者が出ていているという情報がありますが、人数など詳しいことは分かっていません。</p> <p>55:18 また、震度7を観測した栗原市では、少なくとも20人のけが人が出ていているということです。</p> <p>55:24 続いて福島県の情報です。南相馬市では、老人福祉施設が倒壊して、十数人が建物の下敷きになり、5人の死亡が確認されたということです。さらに須賀川市で1人が死亡し、8人の行方が分からなくなっているということです。</p>		中継・仙台

17	55 : 41	茨城県では、建物が倒壊し、1人が死亡、1人が心肺停止となっている他、多くのけが人が出ています。 千葉県では、北東部にある海岸の近くで、70歳から80歳くらいの男性が乗った軽トラックが津波に流されたという情報があり、確認を急いでいます。それから78歳の女性が、地震の揺れで転倒して、指の骨を折るけがをしました。
	56 : 06	東京都内では、30人以上のけが人が出ているということです。このうち、東京千代田区の九段開館では、大ホールの天井がはがれ落ち、25人がけがをして重傷の人もいるということです。また、江東区では、60代の男性が、都営住宅のベランダから落下して足を骨折した他、東京ビックサイトで4人がけがをしたという情報が入っているということです。
	56 : 31	そして、神奈川県では、倒れてきたパイプに当たって、1人が意識不明の重体となっている他、1人が住宅の中で転倒し、けがをしました。
	56 : 43	埼玉県では、さいたま市で8階建てのビルの外壁が崩れ落ちて、バイクで走っていた男性を直撃し、救急車で運ばれたということですが、けがの程度などはわかっていません。 次は栃木県の情報です。栃木県では、これまでに自動車メーカーの工場で天井が崩れて、男性1人が死亡しました。 群馬県では、合わせて6人がけがをしています。NHKのまとめの情報をお伝えしました。
	57 : 10	次は、地震による全国の鉄道への影響です。鉄道各社によりますと。午後5時30分現在、東北地方と関東地方の新幹線、JRの在来線、私鉄各線、地下鉄各線は、全線で運転できなくなっています。また、北海道と東北地方から近畿地方にかけて、海岸沿いの道路、路線を中心に、運転できなくなっている路線があります。
	57 : 36	まず新幹線に関する情報です。東北、上越、長野、山形、秋田の各新幹線は、現在全線で運転できなくなっています。運転再開のめどは立っていないということです。東海道新幹線は、東京と新大阪のあいだの全線で運転できなくなっています。点検が終了した区間から、運転を再開したいとしています。
	58 : 02	次に、JRの在来線です。JR東日本の在来線は、首都圏の山手線や、京浜東北線をはじめ、青森県内から静岡県内まで、現在ほとんどの路線で運転できなくなっています。長野県内と新潟県内では、一部の路線で運転を再開している所があるということです。
	58 : 25	また、JR東日本によりますと、午後5時30分現在、電車が脱線したなどの重大な事故の情報が入っていないということです。安全の確認には、しばらく時間がかかるため、運転の再開の見通しは立っていないというこ

		とです。 また J R 東海の在来線は、東海道線や御殿場線など、一部の路線で運転できなくなっています。J R 西日本の在来線は、太平洋沿岸を走る紀勢線で、運転できなくなっています。J R 北海道の在来線は、函館線や室蘭線などで運転できなくなっています。	
17	59 : 04	次は私鉄の情報です。首都圏の私鉄各社によりますと、私鉄各線と地下鉄の各線は、すべて安全点検のため運転できなくなっています。このうち、東京の地下鉄、東京メトロによりますと、現在係員が徒歩で、トンネルの壁や架線に異常が起きていないか確認を行っているため、運転の再開までにはかなりの時間がかかる見込みだということです。	
	59 : 30	新幹線の情報です。J R 東日本によりますと、東北、上越、長野、秋田、山形の五つの新幹線は、今日いっぱい運転を見合わせることを決めました。明日以降の運行はまだ決まっていません。新幹線の情報を繰り返します。	

発災から当日 18 時までの間のアナウンス量は、どの局もかな漢字混じりで数え 68,000 文字前後だった。

以上のように、テレビではぶっ通しの報道特別番組が生まれ、ヘリコプターやロボットカメラによる津波のライブ映像を含む豊富な災害情報が流され、他のメディアを圧倒した。海外からは「これだけの災害報道、防災報道ができるのは世界で NHK しかない」と言わしめた。

けれども発災当初、現地の地上取材は困難を極め、速報映像や取材内容を搬送する手段もすぐには整わなかった。最大の問題は、地震発生直後から、被災地では広域にわたる長時間の停電が発生し、普段と違いテレビがほぼ視れなかった（自家発のある事務所や車載テレビ、携帯のワンセグは例外）点で、警報や避難情報の伝達役としては、残念ながらあまり機能しなかった。つまり、頑張っただけ避難を呼びかけ続けた報道も、あまり活きなかったことになる。よく言われる“被災地外の人々”が起こった災害の被害状況を見聞きする手段、という感じがして残念でならない。なお、少し離れた北海道、茨城県や千葉県などでは、陸地に浸水するような大きさの波が、早い場所に比べ 30 分から 1 時間ほど遅れ、かつ停電も限られていたので、アラートの意味があったのではないだろうか。

6. 地デジのデータ放送の調査

現地に出向いた際、岩手および宮城・福島県下の全テレビ局の地上デジタルテレビ放送・データ放送画面を閲覧し、フルセグのデータ放送でどのような災害情報が被災地に向けて提供されているかを確認した。

6.1. 岩手県内

6.1.1. 調査概要

日時	2011年12月1日(木) 夜
場所	岩手県気仙郡住田町内 (CATV 再送信)
対象局	岩手めんこいテレビ MIT [フジテレビ系] [http://www.menkoi-tv.co.jp/] 岩手放送 IBC [TBS系] [http://www.ibc.co.jp/] 岩手朝日テレビ IAT [テレビ朝日系] [http://www.iat.co.jp/] テレビ岩手 TVI [日本テレビ系] [http://www.tvi.co.jp/] NHK 盛岡放送局 NHK [http://www.nhk.or.jp/morioka/] その他 (住田町ケーブルテレビ)

6.1.2. 閲覧結果

(1) 岩手めんこいテレビ MIT

MIT のデータ放送トップ画面のメニューは [ニュース] と [お天気] で、災害関連項目はなかった (基本的に同一系列の仙台放送などと同じ画面構成、図 6.1)。

12月1日夜の [ニュース] は 18 件で、『おおふなと夢商店街』オープン など東日本大震災関連が多かった (図 6.2)。[お天気] は一般的な予報画面だった。



図 6.1 岩手めんこいテレビ: データ放送・トップ画面

(2) 岩手放送 IBC

IBC のデータ放送トップ画面のメニューには、[天気] [ニュース] [番組情報] [スポーツ] と、災害関連で [地震] [津波] [絆プロ] の選択肢があった (基本的に同一系列の TBS テレビや東北放送などと同じ画面構成、図 6.3)。

[天気] は、[天気の地域設定] で指定したところの時系列予報がトップ画面に表示される。[天気] のメニューは [あなたの街の天気] [全国の天気] [全国の警報・注意報] [台風



図 6.2 岩手めんこいテレビ: データ放送・ニュース画面

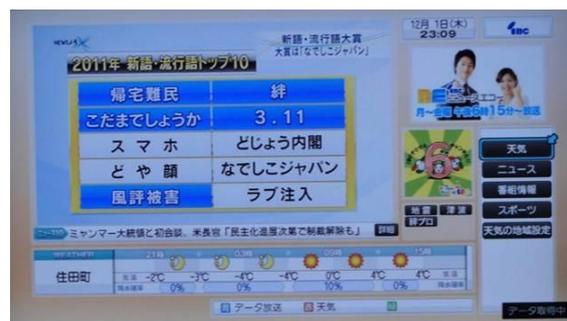


図 6.3 岩手放送: データ放送・トップ画面

情報] [岩手県内の天気] に分かれていて、当夜は周辺市町に「低温注意報」が出ていた(図 6.4)。

[地震] は、過去数件の地震の発生日時、震源地、規模、震度の情報が掲載されていた。

[津波] は、津波情報(大津波警報・津波警報・津波注意報)が発表されていれば表示される(図 6.5)。

[絆プロジェクト] は、JNN 系列テレビ 28 局、JRN 系列ラジオ 34 局で共同実施している全国プロジェクト。[はじめに] では「未曾有の被害をもたらした『東日本大震災』。被災された方々が一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるように、JNN・JRN では日本のココロをひとつに重ね、被災された方を支援する活動『JNN・JRN 絆 -きずな- プロジェクト』を実施しています。…」という紹介と、[共同災害募金] を呼び掛けていた(図 6.6)。

[絆プロジェクト] の [関連サイト] には、



図 6.4 岩手放送: データ放送・天気(警報・注意報)画面



図 6.5 岩手放送: データ放送・地震画面(左) 津波画面(右)

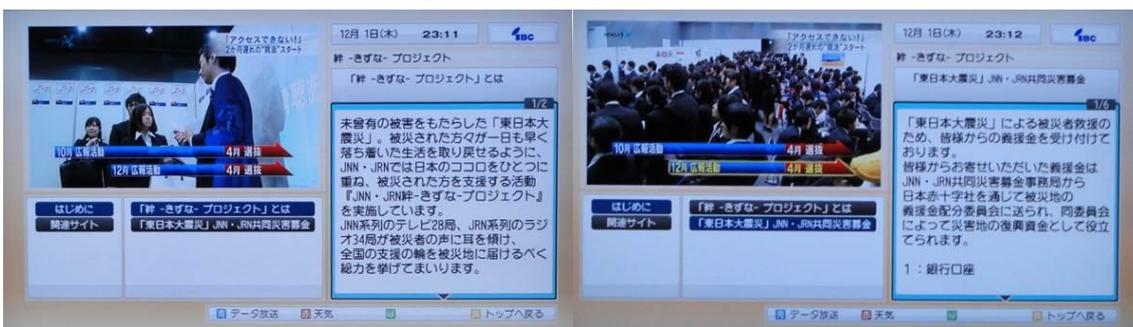


図 6.6 岩手放送: データ放送・絆プロジェクト(はじめに)画面

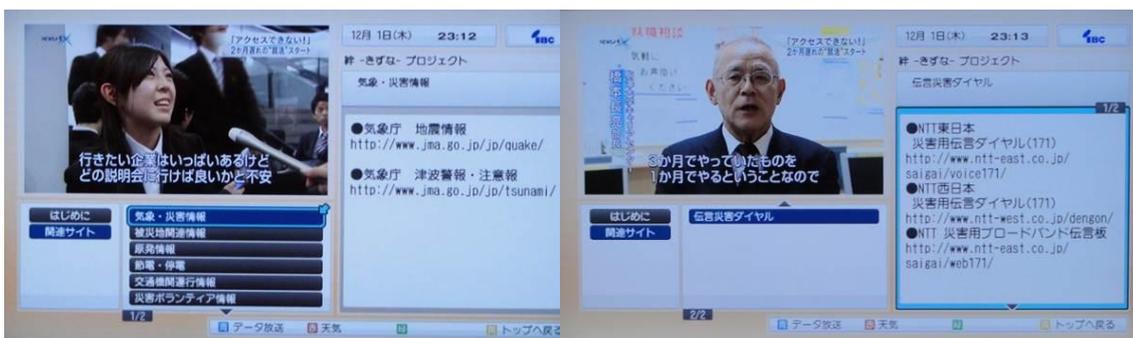


図 6.7 岩手放送: データ放送・絆プロジェクト(関連サイト)画面

[気象・災害情報] [被災地関連情報] [原発情報] [節電・停電] [交通機関運行情報] [災害ボランティア情報] [災害伝言ダイヤル]などの情報の入手先、アクセス先(WebのURL)が掲載されていた(無論、ネット接続PCのようにリンクで直接飛んで見れるわけではない、図6.7)。



図 6.8 岩手朝日テレビ:データ放送・トップ画面



図 6.9 岩手朝日テレビ放送:データ放送・IAT ニュース画面

(3) 岩手朝日テレビ IAT

IAT のデータ放送トップ画面のメニューは、[お天気情報] [ANN ニュース] [IAT ニュース] [やじうま星占い] [系列震災関連情報]が設けられていた(基本的に同一系列の仙台放送などと同じ画面構成、図6.8)。

12月1日夜の[IAT ニュース]をみると、やはり東日本大震災関連記事が目立った(図6.9)。

[系列震災関連情報]は、受信機がブロードバンド接続されていないと[お知らせ]が表示されて視れなかった(図6.10)。電波ではなくCATV(光ファイバ回線)経由の視聴でも別途LAN端子接続が要するというものだろう。些か残念に感じた。

そもそもPCやスマホなどでネットを用いていない家での代替手段としてデータ放送が活きるわけで、はたしてテレビだけのために高速インターネット回線を繋ごうとする家がどれほどあるだろうか。さらに言えば、災害時に不通の可能性が高まるルートで災害情報を流そうとするのは、安易な方法だろう。

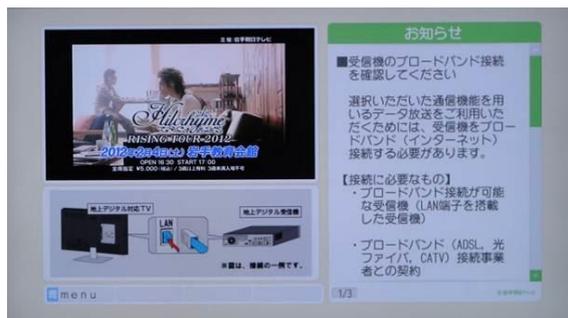


図 6.10 岩手朝日テレビ放送:データ放送・お知らせ



図 6.11 テレビ岩手:データ放送・トップ画面



図 6.12 テレビ岩手:データ放送・地震情報画面

(4) テレビ岩手 TVI

TVI のデータ放送トップ画面のメニューには、[ニュース] [天気] [地震情報] [高校サッカー] [5きげんテレビ] [番組情報] (以下多数スクロール) などと、[電力使用率 75.4% 詳しくはこちら] [第 90 回全国高校サッカー選手権大会 各試合の詳細はこちら] のバナーがあった (基本的に同一系列の宮城テレビ放送などと同じ画面構成、図 6.11)。電力使用率がトップ画面に表示されるのがユニークだ。

[地震情報] を選ぶと、最近の数個の地震について、震源地、規模、発生日時、最大震度、震源の深さ、震度の情報が地図とともに表示された (図 6.12)。

[ローカルニュース] は、「被災 3 県高速全車無料化スタート」「大船渡市最大規模の仮設商店街オープン」「被災地支援へ無料の入浴施設」「陸前高田復興計画案を了承」など、記事の多くが東日本大震災関連だった (図 6.13)。

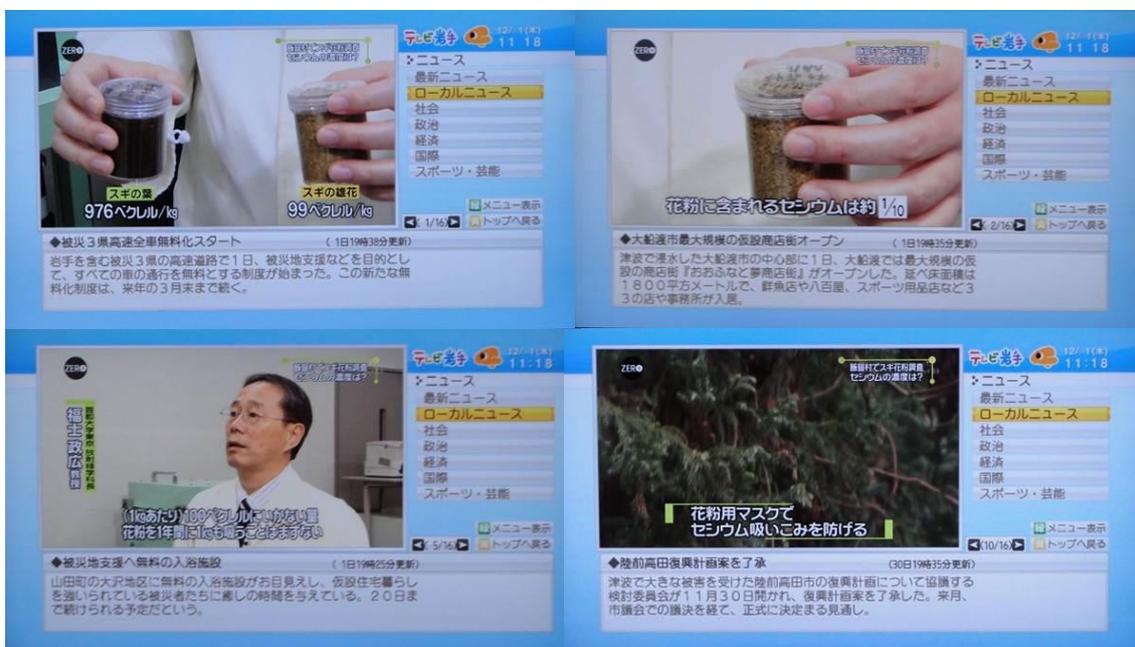


図 6.13 テレビ岩手: データ放送・ローカルニュース画面

(5) NHK 盛岡放送局 NHK 総合

NHK 総合のデータ放送トップ画面は、リモコンの色ボタンに [青] ニュース [赤] 気象情報 [緑] 地震・津波 を割り当て、メインメニューとして [地震関連・生活情報] [いわて暮らしガイド] [東北おでかけ情報] [Jリーグ] [紅白歌合戦] [カーネーション (注: 当時の連続テレビ小説)] [NHK データオンライン] などが並んでいた (図 6.14)。基本的に、全国ベースの表示をカスタマイズした入口だった。

その先は複数のメニュー階層を持ち、一番上の [地震関連・生活情報] を選ぶと、[市町村] 選択画面となり、岩手県下の被災 9 市町

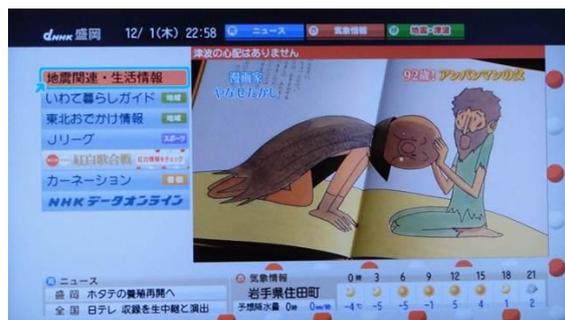


図 6.14 NHK 総合: データ放送・トップ画面

の被災者向け告知情報（例えば、岩泉町：被災者相談窓口、り災証明書の発行、ボランティア依頼・募集等 大船渡市：り災証明書の発行、災害義援金・被災者支援金など申請受付、法律相談等 釜石市：行方不明となった方の死亡届の受付、拾得物の公開等 田野畑村：日本年金機構出張相談所等 野田村：三陸のクルミを買い取ります等 宮古市：弁護士相談会のお知らせ、登記相談会のお知らせ、消毒剤の配布等 山田町：災害義援金と被災者生活再建支援資金、日本財団による弔慰金・見舞金支給窓口等 陸前高田市：市内5路線でワンコインバス、就職支援相談会等 久慈市：ボランティア依頼・募集等）などが視られた（図 6.20）。

この[地震関連・生活情報]は、2011年7月8日に仙台で視たデータ放送とメニュー構成の整理の仕方が違っていた。当時は、[被災者支援情報][相談窓口][ライフライン][医療・健康][交通情報][施設情報・催事][学校・子育て][雇用・企業支援]の分類が先にあり、そこから[被災者支援情報]に入ると[仮設住宅・建物被害][支援金・見舞金][支援物資][ボランティア～2][被災車両][支援情報]のメニューが、また[相談窓口]を選ぶとさらに[各種相談～3][捜索関連・遺失物][り災証明書][法律・融資]のメニューが現れ、そのジャンル別に各自治体などからの情報が列挙されていた。おそらく掲載する情報の種類や量などの変遷に伴って構成が変えられたと察せられるが、多くの視聴者にとって、必要な“地元”情報に素早くたどり着きやすくなったのではなかろうか。地デジ・データ放送の画面表示は操作からタイムラグがあるので、12月1日の盛岡のほうがストレスを感じなくてすむ。

次の[いわて暮らしガイド]は未完成だったが、[休日・夜間診療所案内][ライフライン連絡先][岩手県からのお知らせ]のメニューが用意されていた（図 6.15）。いずれも2007年新潟県中越沖地震の際にNHK新潟放送局で用いられていたメニューで、全県レベルかつ変化の少ない平時からの災害関連情報について[地震関連・生活情報]から分けて整理したのだろう（2007年新潟県中越沖地震時のNHKの地上デジタル放送先進利用事例は、われわれの

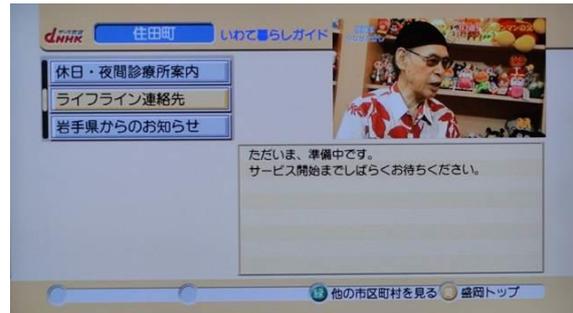


図 6.15 NHK 総合：データ放送・いわて暮らしガイド画面

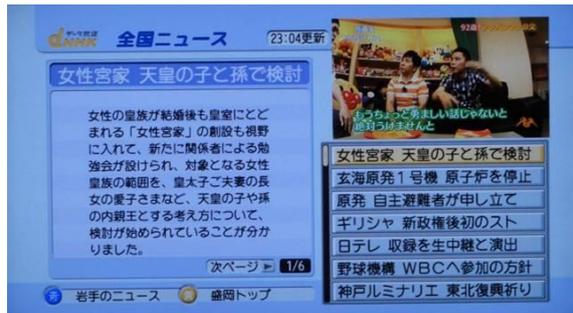


図 6.16 NHK 総合：データ放送・全国ニュース画面

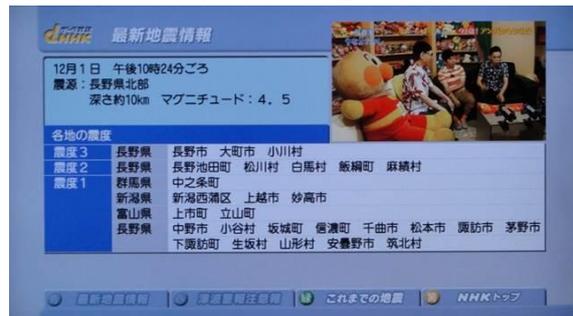


図 6.17 NHK 総合：データ放送・最新地震情報画面

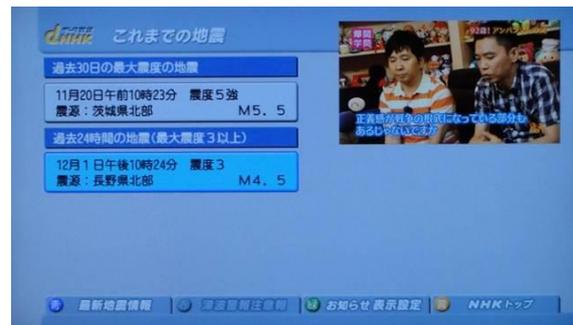


図 6.18 NHK 総合：データ放送・これまでの地震画面

研究会が催した報告会の招待講演「地デジ時代の災害報道 2007 新潟県中越沖地震（NHK 新潟放送局鈴木郁子放送部長）」http://www.jasdis.gr.jp/06chousa/2nd/kai_suzuki.pdfなどに詳しい。

NHK 総合のデータ放送は、被災地向け災害関連情報がとりわけ多く掲載されているが、その裏返しとしてメニュー階層が深くなりがちで、エンドユーザにリモコン操作の負担を強いていた。状況に応じて逐次コンテンツ構成に工夫を加え、視聴者が新しく必要な地域情報にたどりつきやすくなるように配慮されているのだが。

なお、[青]ニュース、[赤]気象情報、[緑]地震・津波は、かつて仙台や東京で見たものと同様で、全国一律のようだった（図 6.16～6.18）。

(6) その他（住田町ケーブルテレビ）

住田町ケーブルテレビでは、町独自のお知らせが、専用のチャンネルに全面文字画面で流されていた（図 6.19）。地元放送局などの地デジのデータ放送を、お知らせの広報チャンネルとして用いる地方自治体が近頃増えてきている。

住田町議会定例会録画放送

12月 6日（火）午後6:00～
一般質問

12月 7日（水）午後6:00～
一般質問

12月12日（月）午後6:00～
議案審議

求人情報

情報提供/ハローワーク大船渡
11月18日～11月25日受理分

気仙医師会からのお知らせ
休日当番医は次のとおりです。

月日	当番医名	電話番号
12月4日(日)	菊池医院	21-1620

・診察時間:午前9時～午後5時まで
・受診の時:まず電話で確認してください。

問い合わせ先
保健福祉課 健康推進係 46-3862(内線712)

気仙歯科医師会のお知らせ
休日当番医は次のとおりです。

月日	当番医名	電話番号
12月4日(日)	横澤歯科医院	46-3050

※なお、受付は**急患**のみ
・診察時間:午前9時～12時まで
・受診の時:まず電話で確認してください

問い合わせ先
保健福祉課 健康推進係 46-3862(内線712)

図 6.19 住田テレビ:町独自放送画面

6.1.3. まとめ

2011年12月1日、岩手県気仙郡住田町内で、岩手めんこいテレビ、IBC岩手放送、岩手朝日テレビ、テレビ岩手、NHK総合テレビ（盛岡放送局）の地上デジタル放送・データ放送を視た。どの局も7月上旬に仙台で見た同一系列のデータ放送画面と基本的に大差なかった。

岩手めんこいテレビは、シンプルなデータ放送画面で、他局同様、地域ニュースで震災関連記事が流されていた。岩手放送は、系列キー局のTBSテレビとほぼ同じデータ放送画面を用いており、防災関連情報などが充実していた。岩手朝日テレビは、肝心の[系列震災関連情報]についてインターネット接続が求められ視れなかった。何が提供されているのかもわ

からず、なんとかしてほしい。そしてテレビ岩手は、民放の平均以上の充実ぶりだった。

NHK 総合のデータ放送は、[地震関連・生活情報] のメニューに災害関連情報が豊富に掲載されていた。5ヶ月前に仙台で見た時は階層を持たせたジャンル別にメニューが整理されていたが、今回は市町別に変っていた（表 6.1）。時間経過とともに発信される情報量が減ってきたせいもあるが、この改良で、個々の視聴者にとって必要な“地元”の最新情報へ容易にたどり着けるようになった。つまり、災害情報の種類や量、被災地の広がり、復旧の進捗状況などにあわせ、そのときどきで局ごとにメニュー構成を変え、アクセシビリティに配慮しているように見受けられた。そしてNHKならではの注目されるのが、地震が発生した時の災害情報のプッシュ表示（リモコンのdボタンを押さないでも該当するデータ放送画面が表示され、押すと消える）で、逆L字とデータ放送機能をミックスしたような使い方だ。

なお、NHK 教育のデータ放送には、震災関連情報はなかった（BSは未確認）。

表 6.1 NHK 総合：データ放送の地震関連・生活情報メニュー構成

2011年7月8日のNHK総合・仙台放送局	2011年12月1日のNHK総合・盛岡放送局
[地震関連・生活情報] データ放送 └ [被災者支援情報] └ [仮設住宅・建物被害] └ 【塩竈市 被災建物の解体申請や補助】 ▼家屋解体処理や補助に関する申請 … [支援金・見舞金] [支援物資] [ボランティア～2] [被災車両] [支援情報] [相談窓口] └ [各種相談～3] [捜索関連・遺失物] [り災証明書] [法律・融資] [ライフライン] [医療・健康] [交通情報] [施設情報・催事] [学校・子育て] [雇用・企業支援]	[地震関連・生活情報] データ放送 └ [市町村] (←選択肢はないので実質不要) └ [岩泉町] └ 【被災者相談窓口】 日時：平日 8時30分～17時30分 … [大船渡市～2] [釜石市～2] [田野畑村] [野田村] [宮古市] [山田町] [陸前高田市～2] [久慈市]

以上のように、地上デジタル放送のデータ放送（フルセグ）を用いた災害情報の伝え方は、被災地岩手県内の放送局間でも結構違いがあった。

岩手・宮城・福島の3県では、地デジの完全移行が年度末頃まで延期されることになり、調査時点ではまだ誰もが等しくデータ放送を視られるわけではない。住田町の場合は幸いケーブルテレビがあるのでよいが、リアス式海岸沿岸部などでは衛星放送（この場合、東京圏の番組になる）でしか視聴できないエリアも少なからず生じてしまうのではないだろうか。もっと移行を遅らせるべきだという意味ではないが、せめて県オーダーの地域の暮らしに特化した災害情報が、2012年春以降も被災地の全世帯に等しく届く配慮を願いたい。

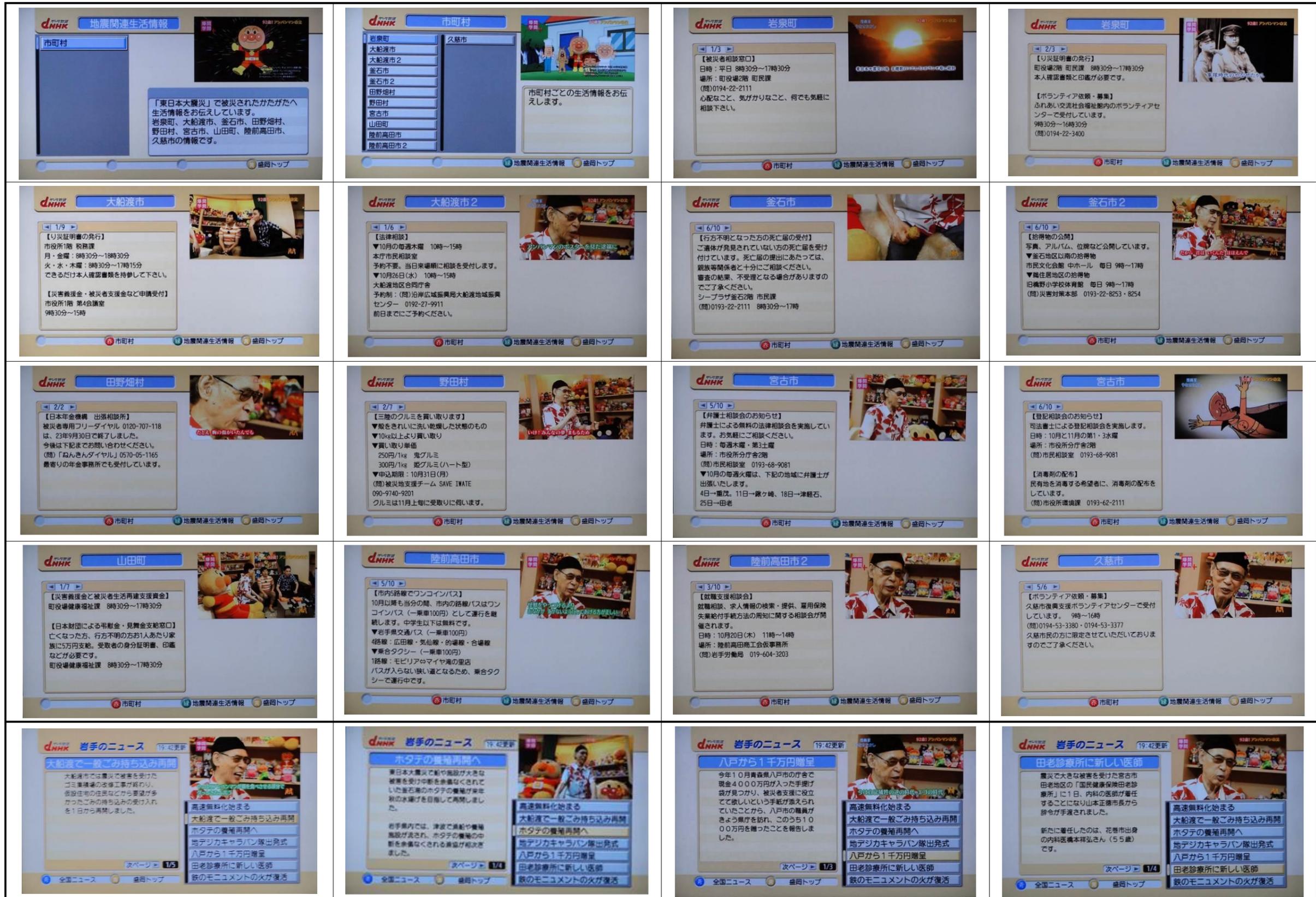


図 6.20 NHK 総合: データ放送・主な地震関連生活情報画面 岩手のニュース

6.2. 宮城県内

6.2.1. 調査概要

日 時	2011年7月7日(木) 夜～9日(土)朝
場 所	仙台市内
対象局	仙台放送 OX [フジテレビ系] [http://www.ox-tv.co.jp/] 東北放送 TBC [TBS系] [http://www.tbc-sendai.co.jp/] 東日本放送 KHB [テレビ朝日系] [http://www.khb-tv.co.jp/] 宮城テレビ放送 MMT [日本テレビ系] [http://www.mmt-tv.co.jp/] NHK 仙台放送局 NHK [http://www.nhk.or.jp/sendai/]

6.2.2. 閲覧結果

(1) 仙台放送 OX

OX のデータ放送トップ画面のメニューは [ニュース] と [お天気] で、災害関連に特化した項目はなかった (図 6.21)。トップ画面のお知らせ「東日本大震災復興キャンペーン『ともに』では皆さんの声を受付中」に、タイムリーさが感じられた。

7月8日夜の [ニュース] は 15 件あり、「秋篠宮ご夫妻 石巻市などを訪問」「女川漁港からイカ漁の船が出航」「仙台市 仮設住宅の募集終了へ」「石巻の大学生 大阪へ『就活ツアー』」など、東日本大震災関連が大部分を占めていた (図 6.22)。



図 6.21 仙台放送: データ放送・トップ画面

(2) 東北放送 TBC

TBC のデータ放送トップ画面のメニューは、[TBC 气象台] [ウォッチン] [ニュース] [番組情報] [スポーツ] などで、災害関連に特化した選択肢はなかった (図 6.23)。

ニュースは [全国のニュース] と [TBC のニュース] に分かれ、7月8日夜の全国は「保安院分離、来週から本格検討」などが、TBC のほうは 17 件で「絹川愛選手が被災地を訪問」「被災小学生と園児が交流」「挙式できなかったカップル招待した花火イベント」「県議選、再度延期に」「底引き網漁再開、荒浜漁港に水揚げ」「震災教訓に女性が考えるまちづくり」「『水産特区』反対で緊急集会」「県の復興計画 2 次案まとまる」など、東日本大震災関連が多数並んでいた (図 6.24)。



図 6.22 仙台放送: データ放送・ニュース画面



図 6.23 東北放送: データ放送・トップ画面

(3) 東日本放送 KHB

KHB のデータ放送トップ画面のメニューには、[お天気情報] [ANN ニュース] [地域のニュース] [やじマル! 星占い] などとともに、[県災害相談窓口] が設けられていた (図 6.25)。

7月8日夜の [地域のニュース] には、「7/8 地元木材で仮設住宅」「7/7 石巻魚市場に冷凍コンテナ寄贈」「7/6 仮設住宅用地ほぼ確保」「7/6 水尻橋仮橋2車線化」「7/6 宮城初の合板工場再開」など、数日分の東日本大震災関連記事が表示されていた (図 6.26)。

また [県災害相談窓口] では、「東日本大震災に関する各種相談窓口(宮城県)」「災害ボランティアについて」「義援金の受付に関する事」「生活福祉資金の貸付について」「被災者生活再建支援法に関する事」「災害救助法に関する事」「被災建築物の応急危険度判定に関する相談」「被災住宅に関する相談・建築確認申請手数料等の減免に関する相談」「住宅の応急修理制度」「応急措置に係る林地開発等手続の緩和」「震災廃棄物の処理体制」「土砂災害に関する相談」「食品営業許可に関する相談」「保護された被災動物に関する相談」「放射線・放射能に関する相談」「医療機関等に関する相談」「子育て関連の各種手当・助成制度の相談」「被災児童の養育に関する相談・子どもの心のケアに関する相談」「大人の心のケアに関する相談」「介護支援専門員証の再交付等に関する相談」「医療品に関する相談・毒物劇物に関する相談」「工場被害に関する相談」「制度資金・融資に関する相談(商工)」「中小企業者の経営に関する相談」「雇用・労働に関する相談等」「若年求職者の仕事に関する相談」「求職者の生活維持・就労に関する情報」「職業訓練等に関する相談窓口等について」「制度資金・融資に関する相談(農林水産)」「諸外国への食品輸出に関する相談」「農業に関する被害

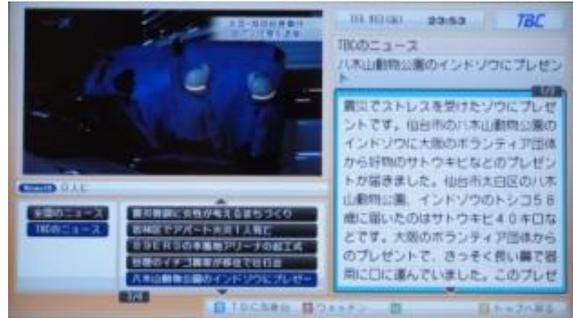


図 6.24 東北放送: データ放送・TBC ニュース画面



図 6.25 東日本放送: データ放送・トップ画面

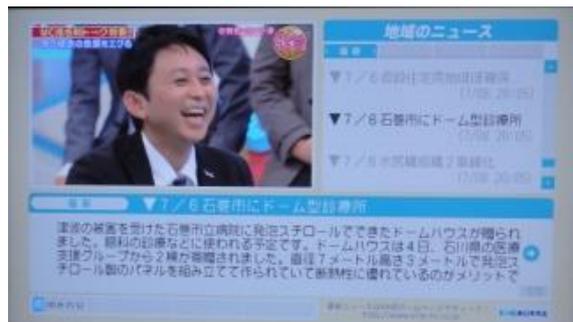


図 6.26 東日本放送: データ放送・地域のニュース

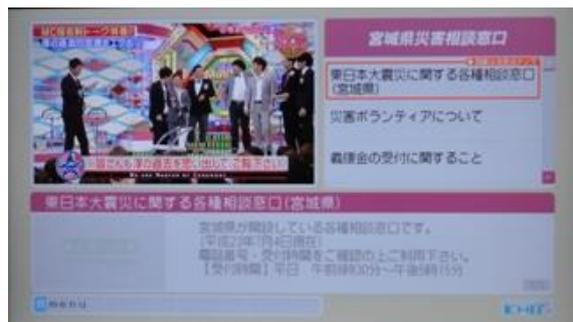


図 6.27 東日本放送: データ放送・県災害相談窓口

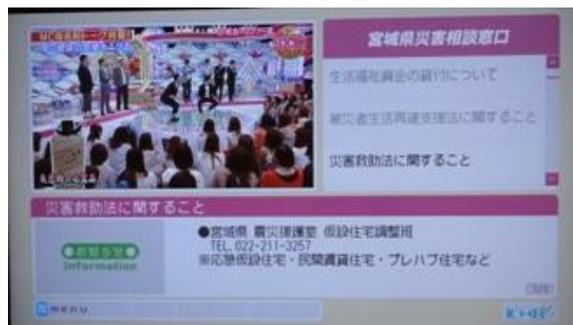


図 6.28 東日本放送: データ放送・災害救助法に関する事

の相談」「農業技術に関する相談」「営農再開に関する相談」「農作物・農業用施設被害に関する相談」「畜産被害に関する相談」「農地・農業用施設被害に関する相談」「林業用施設被害に関する相談」「林道施設被害に関する相談」「森林被害に関すること」「治山施設被害に関する相談」「漁業被害に関する相談」「漁港施設被害に関する相談」「被災した建設工事等の契約に関する相談」「県内公共交通機関に関する情報」「仙台空港に関する情報」「仙台空港アクセス鉄道に関する情報」「児童生徒への対応の相談」「県立高等学校の授業料の免除」「高等学校等育英奨学金の相談」「私立高等学校の授業料減免に関する相談」「自動車税等県税の取扱いに関する相談」「相談窓口の案内」「市町村役場の連絡先情報・市町村の窓口事務の状況」「消費生活相談(販売方法や契約のトラブルなど消費生活に関する相談)」「各地方の相談窓口」「NPO 法人に関する相談」「旅券(パスポート)の紛失等に関すること」「地上デジタル放送に関する相談」「法律電話相談(無料)」の各種問い合わせ先、連絡先が表示されていた(図 6.27~6.28)。



図 6.29 宮城テレビ放送:データ放送・トップ画面

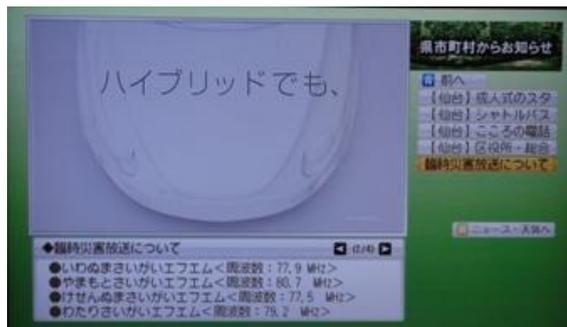


図 6.30 宮城テレビ放送:データ放送・県市町村からお知らせ



図 6.31 宮城テレビ放送:データ放送・宮城のニュース

(4) 宮城テレビ放送 MMT

MMT のデータ放送トップ画面のメニューには、[OH! バンデス] [県市町村からお知らせ] [ニュース] [天気] [番組情報] [地デジで健康生活] などと、[データ放送では地震情報をお送りしております 詳しくはこちらから] のバナーがあった(図 6.29)。

7月8日夜時点の [県市町村からお知らせ] では、「【県】運転免許証の有効期限延長について」「【県】県税の減免などについて」「【県】自動車税・個人事業税の納税通知書について」「【県】東日本大震災による津波で被災した自動車」「【県】震災の影響を受けた方からの雇用・労働に」「【県】勤労者向け地震災害特別融資制度について」「【仙台】定期予防接種の震災特例」「【仙台】保育所の一時預かり・特定保育」「【仙台】こころの電話相談」「臨時災害放送について」の簡単な説明が掲載されていた(図 6.30)。

同じく [宮城のニュース] では、「南三陸町で復興町民会議」「三陸道巡り気仙沼市で会合」「突きん棒漁準備進む」「最後の仮設募集は先着順」「南蒲生浄化センターの復旧方針」「震災遺児支援の寄付口座開設」「水中ロボットで海底調査」「松本復興相辞任で被災地の反応」など、16件ほとんどが東日本大震災関連だった(図 6.31)。

(5) NHK 仙台放送局 NHK 総合

NHK 総合のデータ放送トップ画面は、リモコンの色ボタンに [青] ニュース [赤] 気象情報 [緑] 地震・津波 を割り当てた上で、メインメニューとして [地震関連・生活情報] [電気の使用状況] [高校野球] [楽天L字情報] [プロ野球] [ベガルタ仙台] [テレビ温度計] [NHK データオンライン] などが並んでいた。基本的には全国ベースの表示をカスタマイズした感じの入口だった (図 6.32)。

その先は、いくつものメニュー階層を持ち、例えば一番上の [地震関連・生活情報] の中には、[被災者支援情報] [相談窓口] [ライフライン] [医療・健康] [交通情報] [施設情報・催事] [学校・子育て] [雇用・企業支援] がまずあった (図 6.33)。ここから [被災者支援情報] に入ると [仮設住宅・建物被害] [支援金・見舞金] [支援物資] [ボランティア~2] [被災車両] [支援情報] のメニューが、また [相談窓口] を選ぶとさらに [各種相談 1~3] [捜索関連・遺失物] [り災証明書] [法律・融資] のメニューが現れた (図 6.34)。このように、NHK 総合のデータ放送 (の奥のほう) には、被災地向けの災害関連情報がひとときわ多く掲載されていた。

また、メインメニューにある [電気の使用状況] では、東北電力の「電力使用状況」「電力予想」などが表示された (図 6.35)。NHK は多くの画面において、本線映像をかなり小さく抑えてデータ放送が見やすく表示されるが、メインメニューの [テレビ温度計] は、珍しく従来割付のデザインだった (図 6.36)。

[青]ニュースは、全国と仙台とに分かれ、7月9日朝の [宮城のニュース] では、「がんばろう東北フォーラム」「被災地の記録 ネット上公開へ」「お盆までの全員入居困難」「仙台空港 25 日から国際臨時便」など、東日本大震災関連記事が目立った (図 6.37)。



図 6.32 NHK 総合:データ放送・トップ画面

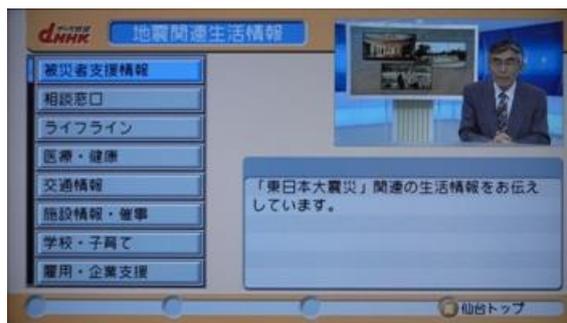


図 6.33 NHK 総合:データ放送・地震関連生活情報画面



図 6.34 NHK 総合:データ放送・相談窓口画面



図 6.35 NHK 総合:データ放送・でんき情報画面



図 6.36 NHK 総合:データ放送・テレビ温度計画面

〔赤〕**気象情報**は全国ベースだが、テレビに登録された郵便番号に基づき「あなたの街の天気」や、防災気象情報として宮城県下の「警報 注意報」「土砂災害警戒情報」「竜巻注意情報」がはじめに表示された（図 6.38～6.39）。

〔緑〕**地震・津波**では、各地の「最新地震情報」「これまでの地震」などが見られた（図 6.40～6.41）。これは全国一律のようだった。「津波警報注意報」のタブはあったが、そのときは発表がなく表示されなかった。

6.2.3. まとめ

2011年7月上旬、宮城県仙台市内で、仙台放送、東北放送、東日本放送、宮城テレビ放送、NHK総合テレビ（仙台放送局）の地上デジタル放送・データ放送を視た。

いずれの局も本線の番組、ホームページなどでは、東日本大震災関連が色濃く認められるが、ことデータ放送に関しては扱い方の差が大きかった。

仙台放送と東北放送は、データ放送に震災関連の特設ページはなく、地域のニュース（その多くは震災関連）をテキストで流すだけだった。

東日本放送は、震災関連の特設ページとして県災害相談窓口が用意されていた。宮城県ホームページの「相談窓口のごあんない～東日本大震災に関する各種相談窓口のお知らせ～」から引用した連絡先が列挙されていた。これはニュースなどと違ってスタティックな情報だろう。

宮城テレビ放送は、（宮城の）ニュースとは別に、「縣市町村からお知らせ」を掲載していた。かつて「安心・安全公共コモンズ」（現在の「公共情報コモンズ」）で想定していたような内容の住民向け行政情報が、適宜更新され提供されているようだった。

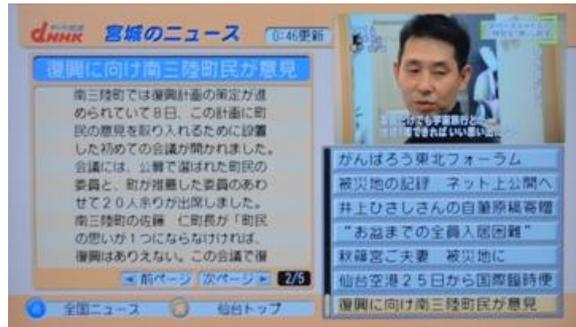


図 6.37 NHK 総合：データ放送・宮城のニュース画面



図 6.38 NHK 総合：データ放送・あなたの街の天気画面



図 6.39 NHK 総合：データ放送・防災気象情報画面

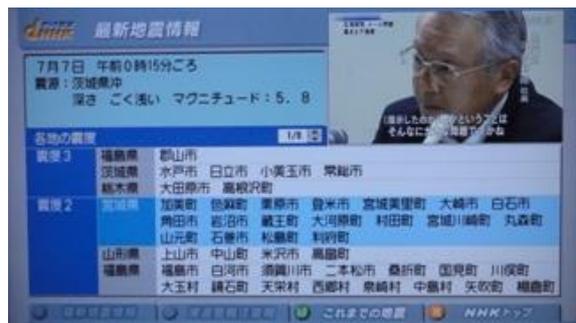


図 6.40 NHK 総合：データ放送・最新地震情報画面

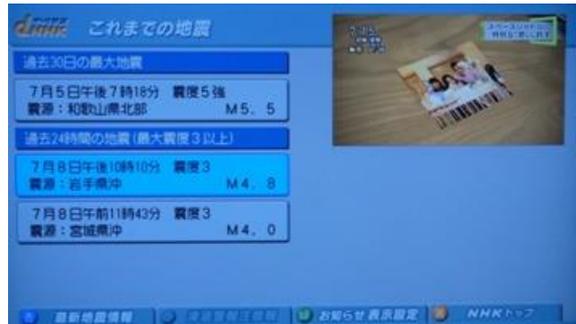


図 6.41 NHK 総合：データ放送・これまでの地震画面

NHK 総合のデータ放送では、メニューをたどって必要な情報にたどり着くまで一苦労するほど災害関連情報が豊富に掲載されていた。以前、新潟県中越沖地震災害等で使われた画面と似ているが、被害の生じ方や被災地の広がり、復旧の進捗状況などにあわせ、そのときどきでメニュー構成を変えているようだった。今後に向けて参考になるので、次頁に主な情報画面例を網羅しておく(図 6.43)。なお、NHK 教育のデータ放送には震災関連情報はなかった (BS は未確認)。

以上のように、地上デジタル放送のデータ放送(フルセグ)を用いた災害情報の伝え方は、被災地宮城県内の放送局間でだいぶ違いがあった。今のところ災害モードにシフトする NHK が明らかに抜きん出た感じだが、本線が CM 抜き特別編成の災害報道番組に移った段階では、民放でもデータ放送の領域配分を大幅に変えて差し支えないのではなかろうか。

近頃のデータ放送は、全体に賑やかで便利になり、郵便番号や路線など地点のプレ登録と連動した天気や交通情報表示、そして番組補完情報、ネット連動(参加型含む)など、積極的な展開が図られつつある。データ放送の情報量が増えたせいか、リモコンの d ボタンやメニュー選択を押してもなかなか表示されずにストレスを感じることもある。通常時、首都圏で平日朝 6 時台にデータ放送の表示切り替えに家庭用テレビ(電波で受信)が要する時間は、およそ 3 秒~30 秒かかった。単純に、さらに災害情報をオンするのは難しかろう。よって災害情報がしっかり伝えられるよう、非常時には、放送局単位で大幅に中身を切り替えるわけにはいかないだろうか。つまり、災害時に備えて予め準備を整えておいて、通常の編成における番組補完情報などは LAN 接続に移し、最優先される災害情報や交通情報やニュースや天気などの容量を大幅に増やしたい。これにより例えば、郵便番号でエリアを限って表示できる機能を活かして、数多の安否情報を見落とさずに素早く知ることができるようになり、視聴者のニーズに応えられる。検索型の安否情報提供も無論望ましいに違いないが、テレビはそもそも一方向の受身的なツールなので、登録された近隣に限って(or 近隣から)羅列表示される画面も捨てがたい。いずれにせよデータ放送の活用は発展途上の技術であり、今後、実用性向上にむけたよりいっそうの工夫を期待したい。



図 6.42 三陸沿岸の地デジ放送受信可能エリア: 飛び飛びの着色部分 (出典: Dpa ホームページ 2014.4.17)



図 6.43 NHK 総合: データ放送・主な東日本大震災(生活)関連情報画面

6.3. 福島県内

6.3.1. 調査概要

日時	2013年12月11日(水)夜、12月17日(火)夜
場所	福島県田村郡小野町内
対象局	福島放送 KFB [テレビ朝日系] [http://www.kfb.co.jp/] 福島テレビ FTV [フジテレビ系] [http://www.fukushima-tv.co.jp/] 福島中央テレビ FCT [日本テレビ系] [http://www.fct.co.jp/] テレビュー福島 TUF [TBS系] [http://www.tuf.co.jp/] NHK 福島放送局 NHK [http://www.nhk.or.jp/fukushima/]

6.3.2. 閲覧結果

(1) 福島放送 KFB

KFB のデータ放送トップ画面のメニューには、[天気] [ANN ニュース] [KFB ニュース] [系列震災関連情報] [ご利用の方へ] の選択肢があった (図 6.44)。[系列震災関連情報] は興味深かったが、ブロードバンドインターネット接続が必要で視聴できなかった。近頃でもブロードバンド接続されているテレビ受像機の割合は 1~2 割と聞き及ぶところだし、災害時に {放送波 and 通信回線 and 電源} の条件が満たされないと思えないようでは、脆弱性が増している。



図 6.44 福島放送:データ放送・トップ画面

(2) 福島テレビ FTV

FTV のデータ放送トップ画面のメニューは [ニュース] と [お天気] で、災害関連項目はなかった (図 6.45)。



図 6.45 福島テレビ:データ放送・トップ画面



図 6.46 福島テレビ:データ放送・トップ画面

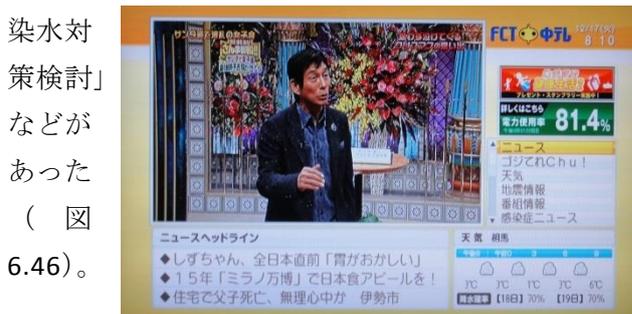


図 6.47 福島中央テレビ:データ放送・トップ画面



図 6.48 福島中央テレビ:データ放送・天気画面

などがあった (図 6.46)。

(3) 福島中央テレビ FCT

FCTのデータ放送トップ画面のメニューは、[地デジで健康生活2] [詳しくはこちら 電力使用率81.4%] [ニュース] [ゴジてれChu!] [天気] [地震情報] [番組情報] [感染症ニュース] (以下多数スクロール)などが設けられていた(図6.47)。全体に盛りだくさんで、例えば天気画面は図表などが充実していた(図6.48~6.49)。



図 6.49 福島中央テレビ:データ放送・天気画面

(4) テレビユー福島 TUF

TUFのデータ放送トップ画面のメニューには、[天気] [ニュース] [番組情報] [TUF番組情報] [キラリふくしま] [イベント情報] [スポーツ]があった(図6.50)。うちニュースは全国と福島に分かれていて、福島のニュースには「今月14日に中間貯蔵施設の設置要請(12月10日)」などがあった(図6.51)。天気には[あなたの街の天気] [全国の天気] [台風情報] [アメダス福島 積算雨量] [紫外線情報] [特別警報・警報・注意報] [気象衛星画像]に加え、[アメダス福島 風]があった(図6.52)。風向・風速を地図上に表すデータ放送画面は珍しいもので、イチエフ対応で設けられた情報のようだ。



図 6.50 テレビユー福島:データ放送・トップ画面

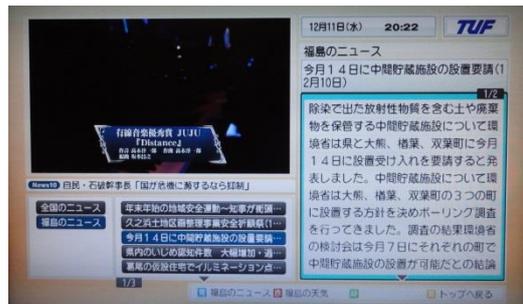


図 6.51 テレビユー福島:データ放送・福島のニュース画面

(5) NHK 盛岡放送局 NHK 総合

NHK総合のデータ放送トップ画面は、リモコンの色ボタンに[青]ニュース [赤]気象情報 [緑]地震・津波]を割り当て、メインメニューとして[ごちそうさん(注:当時の連続テレビ小説)] [dNHKsports] [放射線量測定値] [かつお(注:仙台放送局が制作した震災被災地を取り上げた特集ドラマ)] [福島暮らし安全] [休日・夜間診療所情報] [NHK福島放送局情報] [データオンライン] [ネットに接続している方へ] [Hybridcast]などが並んでいた(図6.53)。基本、全国版スタイルのカスタマイズだった。



図 6.52 テレビユー福島:データ放送・アメダス福島風画面

NHK福島放送局に限らないが、リモコン操作は結構煩わしいもので、①見つけやすい〜たどり着



図 6.53 NHK 総合:データ放送・トップ画面

きやすいよう、なるべく階層が深くならない（ボタンを



図 6.54 NHK 総合:データ放送・風の予報画面

選択する回数が少ない) ように防災コンテンツを置いてほしい、②「戻る」ボタンの操作で、ときに思った(一つ前の)画面に戻れないことがあるが、知らない画面に進まないでほしい。結局、掲載した情報の濃さとのトレードオフで、操作性はいまひとつだった。

画期的だと感じたのは、福島県民に向けて「風の予想」を提供しており、背景地図に事故を起こした福島第一原発の位置が明示されていた点だ(図 6.54~6.55)。さらに「放射線量測定値」も特筆される情報で、これを選ぶと図 6.56~6.59 の 4 画面にわたって福島県下各地の放射線量($\mu\text{Sv/h}$)観測値が表示された。この「放射線量測定値」へは、「福島暮らし安全」画面にあるメニューからも選択することができた(図 6.60)。

「福島のニュース」には「被災地で復興に向け起工式」「月命日 行方不明の一斉捜索」「年末の繁華街で防犯パトロール」「双葉町 試験的除染の地域拡大」「汚染水追加対策早期実施求める」などの記事があった(図 6.61)。

6.3.3. まとめ

2013 年 12 月 11 日と 17 日、福島県田村郡小野町内で、福島放送、福島テレビ、福島中央テレビ、テレビユー福島、NHK 総合テレビ(福島放送局)の地上デジタル放送・データ放送を視た。他の 2 県の調査と比べると 2 年以上後の閲覧になるが、福島では原発事故被害が依然として人びとに重くのしかかっていた。

福島放送は、「系列震災関連情報」のメニューが

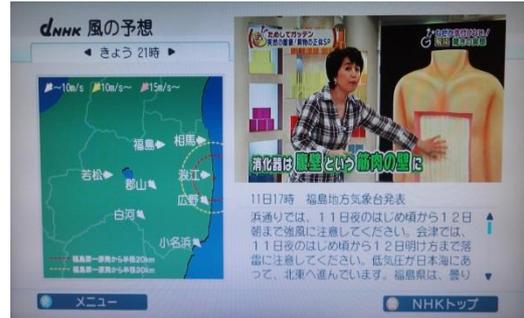


図 6.55 NHK 総合:データ放送・風の予報画面

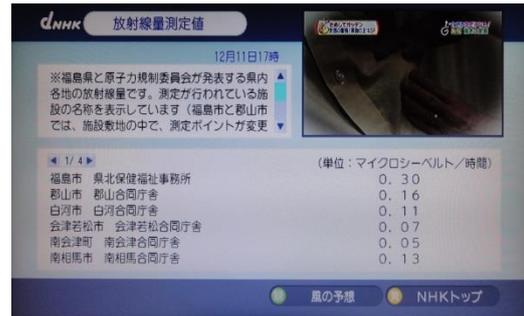


図 6.56 NHK 総合:データ放送・放射線量測定値画面

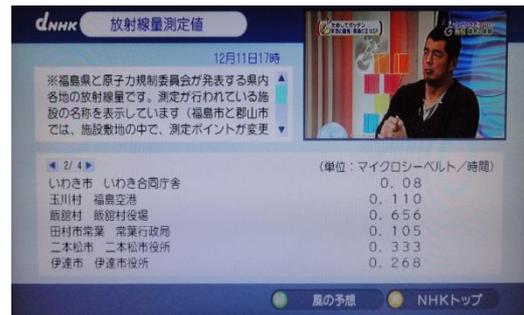


図 6.57 NHK 総合:データ放送・放射線量測定値画面

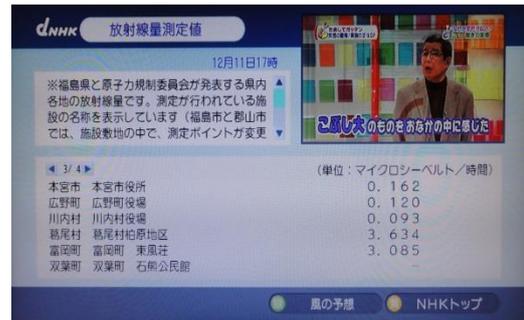


図 6.58 NHK 総合:データ放送・放射線量測定値画面

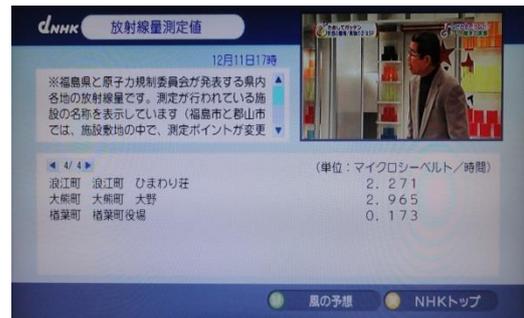


図 6.59 NHK 総合:データ放送・放射線量測定値画面

せっかくありながら、ブロードバンドインターネット接続が求められたため視られなかった。これは、系列で共通のようだ。福島テレビはシンプルなデータ放送画面で、震災関連に特化した情報提供は見られなかった。福島中央テレビは、トップ画面にある「電力使用率」の数字が目についた。テレビユー福島は、風向・風速の観測値を示す「アメダス福島 風」が特徴的だった。

そしてNHK総合のデータ放送は、福島ならではの「放射線量測定値」「風の予想」が掲載されていた。まさに地域の視聴者のニーズに応えた情報提供で、好感が持てる。欲を言うならば、異常値が生じた時など、全画面表示のままリモコンのdボタンを押してデータ放送の情報確認を促すオー

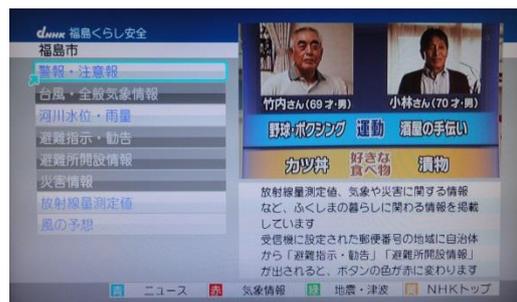


図 6.60 NHK 総合：データ放送・福島くらし安全画面

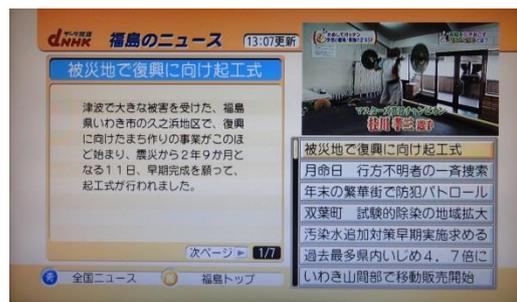


図 6.61 NHK 総合：データ放送・福島ニュース画面

バーレイアイコン（朝の民放で郵便番号登録地の天気予報表示に用いているようなイメージ、図 6.62）が小さくプッシュ表示されるとよいのではないか。

なおNHK教育のデータ放送には、震災関連情報はなかった（BSは未確認）。

以上のように、地上デジタル放送のデータ放送（フルセグ）を用いた災害情報の伝え方には、福島地域の放送局間でも違いがみられた。NHK福島放送局が最も地元のニーズに特化した情報を流していたが、実は



図 6.62 朝の民放のローカル天気予報のプッシュ表示画面

2014年3月13日現在でも47,683人（内閣府まとめ）がまだ県外へと避難している。残念ながらこれらの県民には福島からの電波は届いていない。せっかくデータを整理されていて、さほど重くなさそうな情報なので、例えば「気象情報」の「地域選択」で福島県下の市町村を選べば、全国のどこからでも放射線量などが視れるようにできないものだろうか。福島県では、まだまだ春が遠い世帯がたくさんあり、そのようなかたちで全国をカバーするNHKならではのユニバーサルサービスに期待したい。

※ 使用したテレビ画面は、すべて研究目的で現地撮影した写真です

7. 大船渡市役所ヒアリング調査

7.1. 調査概要

7.1.1. 調査の概要

- ・日 時 2011年12月1日(木) 13:30~16:00
- ・訪問先 大船渡市役所総務部防災管理室 (図7.1)
- ・応対者 鈴木宏延係長、村上智哉主任
- ・調査者 天野 篤、天野教義、東方幸雄、三島和子、水上知之、福長秀彦
- ・調査法 学会東日本大震災調査団様式にて聞き取り



図 7.1 大船渡市ヒアリング調査

7.1.2. 大船渡市の概要

大船渡市は、岩手県の沿岸南部 (図 7.2(A)) に位置する自然豊かで風光明媚な人口約 4 万人のまち。おもな産業は、世界三大漁場に数えられる三陸漁場を沖合に持つ水産、県内最大の港湾、石灰石鉱山とセメント、木工など。過去、1896 年明治三陸地震、1933 年昭和三陸地震、1960 年チリ地震津波、2010 年チリ地震津波で被害を受けた。

- ・面積 323.3 km² (2010.10.1)
- ・人口と世帯数 表 7.1 (2012.1.31)
- ・就業者数 第 1 次産業 2,365 人 (2005.10.1)
" 第 2 次産業 6,076 人 (")
" 第 3 次産業 12,144 人 (")
- ・事業所数 2,734 事業所 (2009.7.1)
- ・農家数 1,247 戸 (2010.2.1)
- ・漁業経営体数 877 経営体 (2008.11.1)

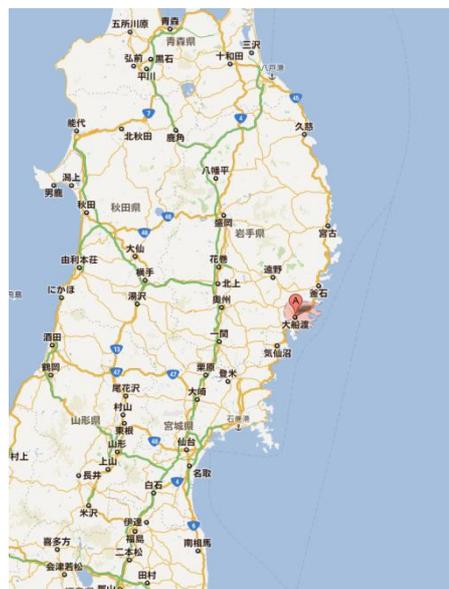


図 7.2 大船渡市の位置(A)
(出典: GoogleMaps)

表 7.1 大船渡市の人口と世帯数 (出典: 大船渡市ホームページ 2012.1.31 ()内は前月比)

	男	女	総 数	世 帯 数
住民基本台帳人口	18,891 人 (-6 人)	20,535 人 (-2 人)	39,426 人 (-8 人)	14,454 世帯 (1 世帯)
外国人登録人口	20 人 (-3 人)	102 人 (-1 人)	122 人 (-4 人)	49 世帯 (-4 世帯)
総 数	18,911 人 (-9 人)	20,637 人 (-3 人)	39,548 人 (-12 人)	14,503 世帯 (-3 世帯)

自治体の防災体制は、市役所の防災管理室に専任 2 名。消防は、大船渡地区消防組合大船渡消防本部 (大船渡消防署、三陸分署、綾里分遣所) があり、消防団は 12 分団 (うち 9 が被災エリア)、自主防災組織率は 74.2% だった。

7.2. 調査結果

大船渡市のヒアリング調査結果は、本章末尾の「日本災害情報学会 東日本大震災調査団 津波被災沿岸部自治体調査」様式に整理した。主な結果を以下に示す。

7.2.1. 被災概要

- 津波は、東北地方太平洋沖地震発生後約 10 分の引き波からはじまり、約 30 分後、急激に潮位が高まり市街地に浸水した。
- 市内の津波の高さは 10～15m 以上、最大遡上高さは 25m 以上に達した。
- 浸水面積は約 8k m²、市内の建物の 3 割以上が被災した（図 7.3）。
- 市民の犠牲者は 400 名、避難者は 8,700 名以上とみられる。

※ 2013 年 9 月 30 日現在の大船渡市発表資料で、死者 340 人、行方不明者 79 人、建物被害 5,556 世帯（全壊 2,789、大規模半壊 431、半壊 717、一部損壊 1,619）、物的被害 1 千億円以上、8 月 28 日に全避難所閉鎖

- 市役所本庁舎は、地震の揺れにより軽微な被害を受けたが、高台にあり津波は届かなかった（図 7.4）。市職員は、消防団活動中に 1 名が死亡した。

※ 消防団に属する職員は、災対本部要員として参集するか消防団活動のいずれを優先するかを予め決めてある

- 地震直後に市内は停電し、庁舎の自家発電は稼働したが、通信機能低下などの影響を受けた。
- 津波により NTT 局舎がダメージを受けて以降、電話もファクスもネットも通信回線は一切使えず、2 台の衛星電話のみ使えた。



図 7.3 大船渡駅周辺市街地の津波被災状況



図 7.4 大船渡市役所(本庁舎)

7.2.2. 災害情報

- 避難情報発表と解除は、気象台の津波警報・注意報に連動し、市内全域を対象として、避難指示を 11 日 14 時 49 分（警報）に、避難勧告への変更を 13 日 7 時 30 分（注意報）に、解除を 13 日 17 時 58 分（解除）に行った。
- 警報や避難情報は、同報系防災行政無線により、ほぼ計画どおり伝達した。市のホームページは使えなかった。
- 市役所本庁舎にある防災行政無線親機は非常用の自家発電で持ちこたえた。屋外拡声子局は 150 あるうち 25 局が津波で被災したが、残りはバッテリーで生きていた。
- 同報無線は屋外拡声子局中心の構成だが、旧三陸町内全戸や学校には戸別受信機が配られ、消防団屯所、漁協、農協などには防災行政無線を自動受信するアナログラジオが置かれていた。
- 防災行政無線による放送内容は、基本的に地域防災計画書の例文に従った（表 7.2）。そこには津波の予想高さは含まれていなかった。

表 7.2 防災行政無線内容別放送基準及び放送例文(大船渡市 地震・津波関係 抜粋)

放送内容	放送に係る基準	放送例文
地震発生	市内に震度4以上と思われる大規模な地震を感じた場合	緊急地震広報！(2回反復) ただいま、かなり大きな地震がありました。沿岸住民は、津波が心配されますので、自主的に高台に避難してください。また、火の元に気をつけ、今後の情報に十分注意してください。沿岸消防分団は水門を閉鎖し、警戒してください。…3回繰り返し
津波警報発表	岩手県に津波警報(大津波)が発表された場合	《サイレン吹鳴》3秒吹鳴—2秒休み(5回反復) 緊急津波広報！(2回反復) 避難指示発令！〇時〇分に大津波警報が発表されました。沿岸の住民は直ちに高台に避難してください。沿岸消防分団は、(水門を閉鎖し、)避難誘導・広報伝達にあたってください。…5回以上繰り返す

- 津波観測情報は、到達時刻と観測された高さを伝えた。
- 基本、例文にある表現で繰り返し放送したが、庁舎から見える津波の盛川越流状況などを追加して流した。
- 翌日以降は、被災地内の救助や捜索活動、がれき撤去作業時には、消防無線でも潮位変化などの情報を伝えた。
- 防災行政無線に関する課題は、①市本庁舎(合併前の大船渡市)と被災した三陸支所(合併前の三陸町)の2系統システムになっており、両親機間をつなぐNTT専用線が途絶えたことで三陸町に直接届かなくなった、②大船渡消防署からの遠隔操作に支障をきたした、③屋外拡声子局数の1/6が津波被害を受けた、④J-Alertと自動連動していない、⑤デジタル化するとアナログラジオで自動受信できなくなるなど。停電対策の強化とあわせ、改善が急務だ。
- なお、2011年4月7日の予震の揺れではバッテリーが壊れて一時親機が使えなくなり、電源車で応急対応した。
- 今回被災して以降、①臨時災害放送局(2011年3月31日から「おおふなとさいがいエフエム」を市役所本庁舎内に開局、2013年4月5日から公設民営方式のコミュニティFM局「FMねまらいん」に移行)、②携帯エリアメール(12月1日からNTTドコモ)、③twitterによる災害情報発信(図7.5)をはじめた。
- マスコミはとてもたくさんの情報を出してくれるがローカル情報に弱い。コミュ

大船渡市役所
@ofunato_city
大船渡市役所の公式アカウントです。岩手県の沿岸南部、大船渡の観光情報やイベント情報をつぶやきます。よろしくお願ひいたします。(ただし、お断り行ないます)
岩手県大船渡市 <http://www.city.ofunato.iwate.jp>

ツイート

大船渡市役所 @ofunato_city 2月24日
【イベント情報】(続き)三陸・大船渡第15回つばきまつりの詳しいスケジュールや開花情報につきましては、HPをご覧ください。 bit.ly/f32VM9 農林課 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月22日
【大船渡市災害対策本部】電気の状況(3/22現在)盛町、大船渡町の一部、末崎町の一部、赤崎町の一部、猪川町、立根町、日頃市町、三陸町越喜来の一部、三陸町吉浜の一部が復旧しています。 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月22日
【大船渡市災害対策本部】道路の状況(3/22現在)三陸縦貫自動車道:通行可、国道45号:通行可、国道107号:通行可、県道:通行可、市内各避難所への通行可 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月22日
【大船渡市災害対策本部】水道の状況(3/22現在)21日より盛町の一部、大船渡町の一部、猪川町の一部、赤崎町の一部で送水が始まりました。 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月22日
【大船渡市災害対策本部】(続き)電話の状況(3/22現在)携帯電話 NTT Docomo:三陸町越喜来の一部、三陸町綾里の一部で利用可能です。KDDI au:市役所周辺で使用可能です。 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月22日
【大船渡市災害対策本部】電話の状況(3/22現在)固定電話は市内全域不通です。携帯電話 NTT Docomo:盛町、大船渡町、末崎町の一部、赤崎町の一部、猪川町、立根町、日頃市町(続く) #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月18日
【大船渡市災害対策本部】安否確認につきまして、各避難所からの情報を市役所ホールに掲出ししているほか、テレビ・新聞等を通じて公表しています。なお、孤立している避難所はありません。 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月18日
【大船渡市災害対策本部】3月11日の地震・津波被害により、現在、市内全域において固定電話やインターネットが使用できない状態です。また、携帯電話の使用可能エリアもごく一部となっているため、避難所等にいる方は外部と連絡が取れない状態です。 #ofunato #iwate

大船渡市役所 @ofunato_city 3月11日
【イベント情報】世界の椿館・碓石において三陸・大船渡第14回つばきまつりを3月27日(日)まで開催しています。3月13日(日)は押し花体験が行われます。また、花の寄せ植え体験や郷土菓子の販売なども行われます。ぜひお越しください。農林課 #ofunato

図 7.5 大船渡市役所の twitter 公式アカウント

ニティ FM での情報提供はローカルな生活情報を提供するのに役だった。

- 地元紙（東海新報）が3月12日から継続して新聞を発行しており、避難生活に密着した細かい情報を載せてくれて助かった。市へ届けてもらい、沿岸地区本部に配送し、とても成果があった。

7.2.3. 避難行動

- 地震の揺れ方が特別だったので沿岸部では津波を直感した。「普段とは違う、津波が必ず来る」と思い、まず避難した。
- 51年前のチリ地震津波（1960年）の経験が生きた。それ以降、津波の避難訓練を継続的に行ってきたのが役だったと思う。
- 住民の中には「また津波警報か」と感じた人もいるかもしれないが、揺れが尋常ではなかったため危機感を持ったと思う。到達まで時間もあったので、避難がうまくいったのではないかと思う。
- しかし避難所の目の前に住んでいる方が、いつでもすぐ逃げられると思ったのか亡くなったという事例があった。一度避難しながら、自宅に戻った方もいたようだ。
- 大船渡市は、原則として徒歩での避難を呼びかけているが、特別な事由があり混乱を生じないならば車避難も容認している。震災当日はとくに車避難を禁止していない。
- 地震発生後、普段から時間帯により混み合う幹線道路では渋滞を生じていた。信号機はたぶん消えていた。

7.2.4. 避難所

- 津波の避難所、避難場所、津波避難ビル、避難経路などは、市と地域の自主防災組織（まちあるきワークショップ）の双方で選定していた。
- その際の浸水想定は、既往津波災害などに基づく県のシミュレーション結果を用い、今回の浸水範囲とほぼ合致していた（大船渡湾の奥の方がやや広めなくらい）。
- それでも58箇所ある避難所のうち、6箇所は浸水した。浸水程度はそれぞれだが、全部水没したところもある。火災の影響はなかった。
- 広域に多数の避難所が開設されたので、運営に関して市職員だけでは対応しきれなかった。体育館が避難所の場合は、学校の先生に対応してもらった。
- 避難所を統合していく中で、地域地域に避難所を設けてまとまって避難したいとの強い希望もあったが、そうすると市職員をすべてに配置できなかった。
- 地域でまとまって避難しているところの方が自主的な運営ができて我慢強く感じた。そうでない大きいところではトラブルが起きやすかった。行政に何かしてもらおうという感覚だったようだ。そのような気分では、協力しあっての避難所運営が成り立ちにくい。
- 指定避難所に行きたがらない人もいた。家の片づけをしながらの人は、どうしても近いところへ避難するので。
- 在宅避難者に情報、物資を届けることが難しかった。在宅避難者と避難所の人間で感情的なトラブルもあった。「なぜ食料だけもらいにくるのか」などと言われ、避難所にも

らに行くのがイヤという人もいた。支援の仕方を考えないといけない。

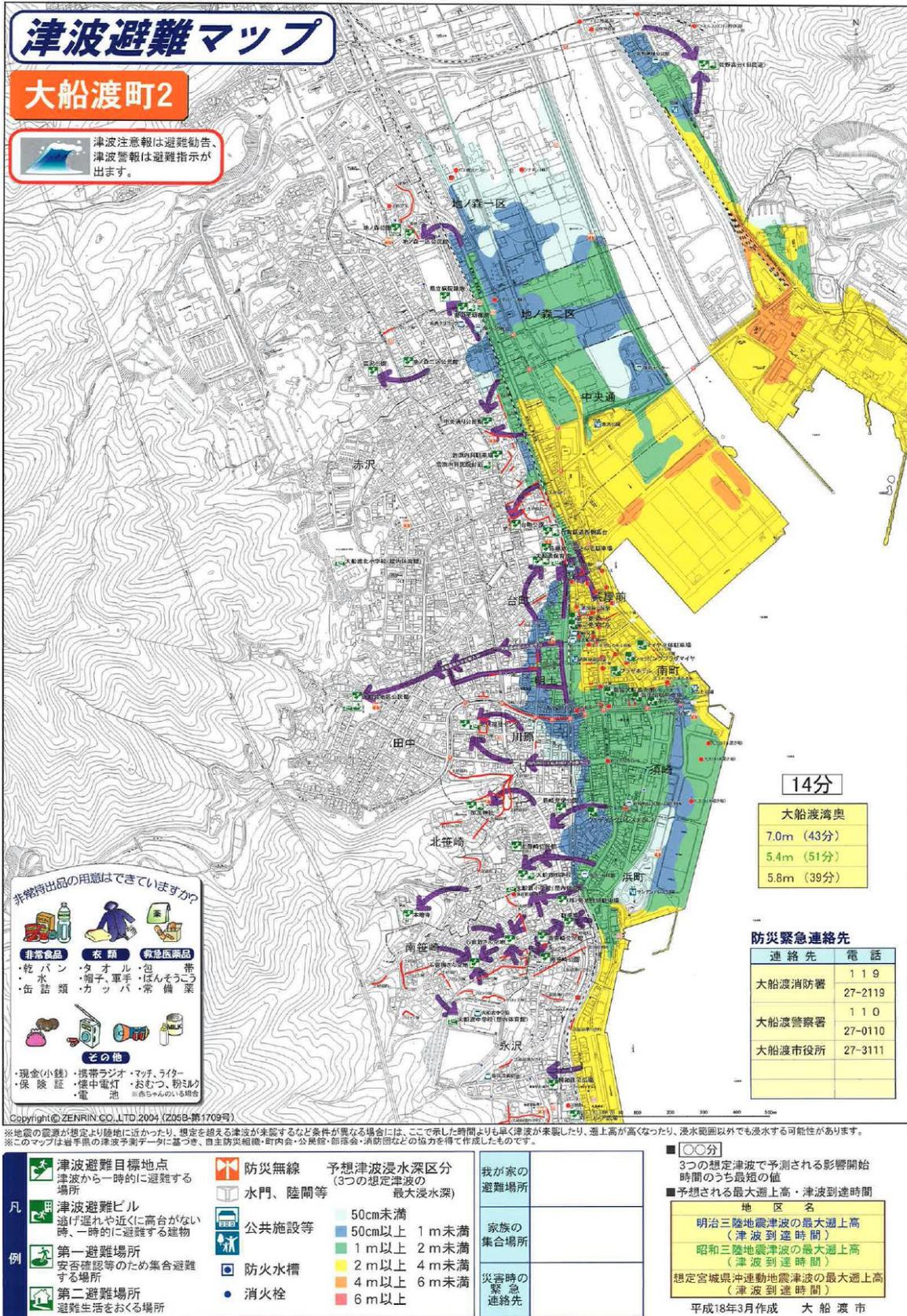


図 7.6 津波避難マップ(大船渡町2の例)

7.2.5. ライフライン

- 電気は、地震とともに市内全域が停電した。市役所は3月13日に、激甚な被災エリアを除く市域は4月25日に復旧した。
- 固定電話やファクスは、停電の影響もありすぐに通じなくなり、津波でNTT局舎が被災した後は5月のゴールデンウィーク明けまで使えなかった（図7.7）。
- ネット環境も電話と同様だったが、JAXA（3月24日～4月11日人工衛星きく8号）やWIDEプロジェクト（4月9日～8月21日人工衛星IPSTAR）による支援で、市災害対策本部など主要拠点の通信回線は最低限確保された。
- 携帯電話は、地震後、津波が来る前まではつながりにくかったものの通話やメールができた。津波後は不通になり、3月20日頃まで市役所付近でも圏外、ほぼ元通りに復旧したのは4月末か5月上旬。
- 上水道は、市内全域で断水し、5月27日に復旧した。
- 下水道は、一様な地盤沈降（0.7m程度）のため幸いにも被害が小さく、約1ヶ月で復旧した。



図 7.7 NTT 東日本大船渡支店被災状況

7.2.6. 物資

- ガソリンは、公用の緊急車両分はなんとか融通できたが、一般車両については当初1～2週間は不足した。
- 食料は、民間事業者と協定を結んでいたため備蓄していなかった。その事業者が被災したため入手困難になり、内陸部まで調達に行ったが足りなかった。避難所の地区の方々に持ち寄ってもらい、炊き出ししてもらった。県から食料が入ってきたのは一週間後。
- 発災当初の、はじめの3日をどう乗り切るのが問題。食料と水の確保が重要。ガレキで道が閉ざされすぐ手が回らない避難所もあったが、たまたま避難所などに備蓄があったので助かった。避難所毎に備蓄したり、すぐ届けられる食料や水を確保しておいたりすることが必要。
- 物資の受け入れと配布も難しい。集積場所、物品毎に配りやすいように配置するなどノウハウが必要。物資の数量が不足していると不公平感をもたれるので、工夫して配布した。沿岸地区本部（地域ごとの支所）の職員がそれぞれ工夫して配布していた。

7.2.7. 支援

- 災害ボランティアは3月12日から受け入れた。11月10日現在、累計25,000人以上。
- 海外からは、米軍（船艇、ヘリ、救助犬）、英国、中国、台湾が救助や捜索に来てくれた。ほかにオランダの民間ボランティア（救助犬）や、オール・ハンズ・ボランティアズなども。

- 自衛隊、消防、警察、他の自治体からの支援をたくさんもらった。代表的なのは、岩手県、「銀河連邦」に属する市町（大樹町、能代市、佐久市、相模原市、肝付町）、日本水道協会の市町村、その他医療・保健・福祉関連など。必ずしも事前協定なわけではない。
- 避難者の受け入れは、周辺自治体と協定を結んでいた。
- 国や県との関係では、物資を県に要請してもうまく手配されなかったことがあった。縦割りなので、品目毎に担当課が違い 1 回ですまされない。県と市のシステムティックな連携が望まれ、連絡員を市に配置してもらえれば、スムーズに調整できたと思う。

7.2.8. 事前計画

- 地域防災計画書の震災対策編に津波防災対策の章があった。
- 津波警報で避難指示、津波注意報で避難勧告と定めていた。
- 全体の避難計画は公式に定めていた。
- 要援護者の避難施設は決めていなかった。結果的に高台に関連施設が立地していたケースはある。
- 今回、医療ニーズの高い避難者については、県立大船渡病院の近くに集結させた。

7.2.9. 事前教育

- 市民に対する津波防災の周知啓発活動にはかなり力を入れていた。
- 広報媒体は、市の広報紙（図 7.8）、ホームページ、津波ハザードマップ、説明会、現地の標識設置など。
- 観光客に対しては、海水浴場へ防災行政無線拡声器、看板設置、駅に防災マップの掲示を。
- 学校教育では、配布した DVD を活用した学習、綾里小学校のように演劇「暴れ狂った海」や津波に特化した避難訓練などを行っていた。
- 市職員の津波防災訓練は、地域を含めて初動、参集訓練を年 2 回ほど実施していた。
- 市民参加の津波防災訓練は、1960 年 5 月のチリ津波地震の時期、毎年日曜日に行ってきた。全市民の 2 割にあたる約 8,000 人が参加。地域のメインイベントのひとつで、消防団の演習も兼ねている。
- 講演会などの広報イベントは、毎年ではないが、たとえばチリ地震津波 50 周年事業で防災シンポジウムを開催した。



図 7.8 市の広報の例

- 県の職員や気象台の方からアドバイスをもらっていた。

7.3. まとめ

(1) 被災状況

大船渡市は、2011年3月11日14時46分に発生した東北地方太平洋沖地震の約30分後、高さ10メートル以上の津波に襲われ、400名にも及ぶ市民が犠牲になり、沿岸部の低地集落を中心に壊滅的な被害を受けた。

市役所庁舎は高台にあり無傷だったが、地震直後から市内全域が停電、公衆回線は輻そうして、津波ですべてのライフラインが途絶した（当初は2台の衛星電話のみ使用可）。市域のライフライン復旧は、電気や電話は概ね4月下旬～5月上旬、水道は5月下旬だった。市庁舎は停電した2日間非常用電源が動き続け、最低限の電気が使えた。

(2) 災害情報

外部からの情報は、自家発で放送が視聴できたのと、県の衛星系ファクスより得られた。

気象台の津波警報・注意報に連動し、市内全域を対象として、3月11日14時49分（警報）に避難指示を出し、13日17時58分に避難勧告を解除した。

これらの情報伝達は、主に同報系防災行政無線により、地域防災計画書の放送例文（津波の予想高さを含まない）に従い、浸水時など臨機に広報した。

防災行政無線は役立ったが、①市本庁舎（旧大船渡市）と被災した三陸支所（旧三陸町）の2系統になっており、両親機間をつなぐNTT専用線が途絶えて三陸町に直接届かなくなった、②大船渡消防署からの遠隔操作に支障をきたした、③J-Alertは自動連動していない、④屋外拡声子局数の1/6が津波被害を受けた、⑤デジタル化するとアナログラジオで自動受信できなくなるなど、停電対策とあわせ、改善が急務。

被災して以降、①臨時災害放送局（3月31日「おおふなとさいがいエフエム」開局）、②携帯エリアメール（12月1日からNTTドコモ）、③twitterによる災害情報発信をはじめた。

通信は、JAXAやWIDEプロジェクトによる支援で、市災対本部など拠点の回線は最低限確保された。

マスメディアからも多くの情報が得られたが、コミュニティFMや地元紙が避難生活に密着した細かな地域情報を伝えてくれて助かった。

なお、現在は緊急速報（エリアメール）で災害・避難情報が流せるようになっている。

(3) 避難

普段から防災計画、体制整備、避難訓練、防災教育、意識啓発などに継続して取り組んでおり、今回は地震の揺れ方が特別だったので沿岸部では津波を直感し、多くの市民はすぐに避難した。それでも予想を上回る規模で、一部の避難所が浸水し、道路が渋滞するなど、



図 7.9 隣接する陸前高田市気仙川河口の現地調査
（左奥はまだ本物だった頃の「奇跡の一本松」）

さまざまな要因で逃げきれなかったケースがあった。

広い範囲で多数避難所が開設されたため、市職員だけでは運営の手が回らなかった。被災した自宅の近くで地域ごとにまとまって避難できると望ましいが、そうもいかないところではトラブルが生じやすくなった。沿岸地区本部（地域ごとの支所）で工夫して対応した。

(4) 支援

発災当初、とくに食料と水の確保に苦労した。市に備蓄がなく、協定していた事業者も被災したため、地域の人びとが持ち寄って3日ほどのいだ。ガソリンも1~2週間は不足した。県と市の連携は必ずしもシステマティックにできなかった。

情報や物資は避難所への提供となるが、もらいに来る在宅避難者と軋轢も生じた。物資の受け入れと集積場所、配布方法には難しいものがある。

海外を含め、たくさんの自治体やボランティアから支援をいただいた。義援金もとても有り難く深く感謝している。

大船渡市は、海に面する低地の物的被害がひどかったが、周辺市町とくらべて人的被害は小さめだった。また、市役所が被害を免れ、中心市街地でも無事な地域が残り壊滅しなかったこと、さらに地元の太平洋セメント大船渡工場による震災がれき処理が早くから行われたことなどから、比較的順調に復旧しつつあった。



図 7.10 大船渡市内の被災エリアに設けられた仮設店舗
(左:大船渡屋台村 右:おおふなと夢商店街)

津波被災地沿岸調査 調査票

これは、ヒアリングの元にするための調査票です。
必ず、ヒアリングして確認しつつ、お伺いしてください。

ヒアリング上の注意点

- ・ 2ページ「被災状況」は、ヒアリング前に調べておいて、確認をするようにしてください。
- ・ 地域防災計画（津波防災篇の部分、避難勧告・避難指示についての記述部分）については、HPにあればそれを準備して行ってください。なければ複写させていただいてください。
- ・ 市町村合併については事前に調べて行ってください。

依頼するもの

- ・ 浸水エリア（自治体としての地域区分があればお伺いしてください）
 - ※ もしもできれば、写真撮影させてもらうか、コピーを頂いてください
なし
- ・ ハザードマップ
 - ※ もしもできれば、写真撮影させてもらうか、コピーを頂いてください
コピー受領（発災以前）
- ・ 防災行政無線の記録
 - ※ 記録が残っていれば、写真を撮影させてもらうか、コピーを頂いてください。
記録が残ってなければ、YouTubeや報道などの記録から再現を試みてください。
放送例文受領（発災以前）

自治体名称 岩手県大船渡市

電話番号 0192-27-3111 FAX番号 0192-26-4477

E-mail 01776@city.ofunato.iwate.jp

ヒアリング協力者（所属部署） 総務部防災管理室 係長 鈴木宏延氏

総務部防災管理室 主任 村上智哉氏

【被災/避難の事実確認】

問1 被災状況について、わかる範囲でお教えてください（※ 調査時点、できるだけ調査員が調べる）

- ・津波到達時刻 第一波 14 時 54 分
- ・津波の高さ 第一波 -0.2m 第二波以降の津波の高さは 3.2~8.0m 以上（欠測）
- ・浸水深 11.8 m（出典：気象庁H.23.4.5 報道発表資料「痕跡等から推定した津波の高さ」）

平成 23 年 11 月 14 日 17:00 現在の 大船渡市 資料より ↓

- ・全壊数 2,768 世帯（罹災証明を発行した世帯数ベースでカウントしており棟数は把握していない）
大規模半壊 424 世帯 半壊 704 世帯 一部損壊 1,426 世帯
- ・死者数 339 人 ・行方不明 94 人
- ・床上浸水 未集計 床下浸水 未集計
- ・避難者数 最大時 8,737 人（3/15 時点） 避難所数 最大時 60 箇所（3/15 時）
- ・域外避難者数 約 1,000 人（全国避難者情報システムが稼働してからカウント、概数）
- ・市庁部局の職員数 410 人
- ・職員の死者・行方不明者数 1 人死亡

問2 職員でなくなられた方は、どのような理由で犠牲になった方が多かったですか？

消防団活動の最中。避難を呼びかけていて津波に巻き込まれた

問3 庁舎の被害についてお教えてください（地震による被害か、津波による被害か）

(1) 地震による被害で

1. 庁舎が使えなくなった

2. 庁舎の建物が破損した 地震で壁に亀裂などは入ったが、軽微で、使用に支障はない

3. 庁舎が停電した 地震で全館停電した。非常用自家発電が作動し庁舎の一部に通電。

4. 庁舎の通信網が使えなくなった

固定電話：地震発生から津波来襲まで構内交換機の電力が残っている間は庁舎内の電話が使えた。輻輳してつながりにくかった。じきに交換機の電力（バッテリー）がつかってしまったため使えなくなった。津波で NTT 局舎が被災した後まったく使えなくなった。

携帯電話：つながりにくかった。

インターネット：使えなくなった。

衛星電話：岩手県から支給されていた衛星電話（FAX 兼用）が使えた。大船渡消防署から衛星電話を 1 台借りた。

5. そのほか（具体的に：津波による NTT の局舎・通信設備の全壊、中継伝送路の著しい損傷で回線復旧に 1 ヶ月）

(2) 津波による被害で、

1. 庁舎が使えなくなった
2. 庁舎が浸水した

3. 庁舎が停電した
4. 庁舎の通信網が使えなくなった
5. その他(具体的に：津波による直接の被害はなし)

(3) 災害対策本部を本庁舎以外の場所に設置したり、移動したりしましたか。そのようなことがあった場合は、その理由も含めてお教えてください。

該当なし

【避難に関する情報】

問4 地震直後、住民に対して呼びかけをしましたか？

1. 避難を呼びかけた
2. 避難勧告を発した
3. 避難指示を発した 3月11日14:49
4. 津波警報を伝えた
5. その他(具体的に：)

問5 避難の呼びかけ、避難指示・避難勧告の発表はいつ発表し、いつ解除しましたか。

※ 発表時刻、切り替え、解除(呼びかけをやめた)時刻

※ 対象地域 市内全域

<u>避難指示</u>	<u>発令</u>	<u>3月11日</u>	<u>14時49分</u>
<u>避難勧告</u>	<u>発令</u>	<u>3月13日</u>	<u>7時30分</u>
	<u>解除</u>	<u>3月13日</u>	<u>17時58分</u>

<参考>

<u>大津波警報</u>	<u>3月11日</u>	<u>14時49分</u>
<u>津波警報に切り替え</u>	<u>3月12日</u>	<u>20時20分</u>
<u>津波注意報に切り替え</u>	<u>3月13日</u>	<u>7時30分</u>
<u>津波注意報解除</u>	<u>3月13日</u>	<u>17時58分</u>

問6 上記の避難や警報などの呼びかけに際して、お教えてください

- (1) 津波の予想の高さをつたえましたか？ 1. はい 2. いいえ

具体的に：地域防災計画書の例文にメートルの記載がない。意図的に津波の予想高さや到達予想時刻を伝えなかったわけではないが、例文になかったのでそうなった。余裕がなかったというほうが近い。市としては津波の危険を伝えられればいいという気持ちだけだった。放送は繰り返し行った。
気象庁発表の岩手県沿岸の津波予想高さが、3m(14時49分)→6m(15時14分)→10m(15時30分)と変化したこと自体は、テレビかラジオから覚知していた(J-Alertは定かでない)。

(2) 事前の放送文の雛形がありましたか？

1. はい 2. いいえ

具体的に： ※できれば当時の記録や当時の状況を示すものがあればいただければと思います
→地域防災計画のコピー受領

(3) 放送している内容を絞るなどの工夫を行いましたか？ 1. はい 2. いいえ 増やした

具体的に：地域防災計画書の例文に加え、「いま津波が盛川の堤防を越えて入ってきています（15:40 越流）」など市庁舎から目視で確認できた具体的な情報を盛り込んだ。監視カメラがないので、目に見えるものを実態として伝える必要があると思った。
第一波観測情報（-0.2m）については、到達時刻と観測された高さを伝えた。第二波、第三波に注意するように呼びかけた。その後、最大波の観測情報（3.2m 以上）も発表した。

(4) 放送する場所を絞るなどの工夫を行いましたか？ 1. はい 2. いいえ

具体的に：市内全域に放送した。

(5) 途中で、放送内容を変更しましたか。

具体的に：上記の通り。

(6) 放送内容の記録が残っていればお教えてください。

※だいたいでもかまわないので記載。映像が残っている場合には映像から起こす。その場合はソースを示す。

記録はない。

問7 何かよびかけ面で問題がありましたか？

防災行政無線の親機は庁舎の4階にある。放送の障害は特になかった。

非常用電源で作動。バッテリー→エンジンで作動するが燃料は24時間分はあった。燃料タンクが大きかったからかも。2日後（3/13）には電気が復旧したが、それまで電力が途絶えることはなかった。

4月7日の宮城県沖の地震（最大余震）時にバッテリーが故障して一時親機が使えなくなった。電源車で応急対応した。

屋外防災行政無線スピーカーは、150箇所のうち25箇所が津波で流失した。残った子局は停電していてもバッテリーでしばらく切れなくて使えた。

震災2日目（3/12）からは、防災行政無線が流失したエリアでも消防無線が使えたので、捜索やがれき撤去に入っていた人には無線で情報を伝えた。潮位の変化などがあれば随時伝えた。

問8 津波警報発表や津波発生時の避難指示、避難勧告として、どのような方法で住民に情報を伝えましたか（〇はいくつでも）

1. 屋外の防災行政無線

2. 戸別の防災行政無線（旧三陸町では平成13年度に全世帯に戸別無線を配布していた）

3. 広報車（台） 市の広報車ではなく消防団が別途呼びかけた。

4. 自動的に防災行政無線で注意を呼びかける 手動
5. モーターサイレン (51年前のチリ地震津波を契機に賀茂神社の津波警報塔にモーターサイレンが設置され、現在も運用中。市内ではここ1箇所、当日作動したかは把握していない)
6. ケーブルテレビ ケーブルテレビはない
7. コミュニティFMをつかった緊急防災放送 cFMはなかった。3月31日より生活に関連したお知らせなどの情報を、「おおふなとさいがいエフエム」(庁舎内にスタジオ)で放送している。
8. 防災メール なかった
9. エリアメール 震災当時はなかった。12月1日からNTTドコモのエリアメールを導入予定。
10. ソーシャルメディア 災害後twitterを活用するようになったが当時はなかった
11. ホームページ 使っていない(できなかった)
12. オフトーク通信 そのものがない
13. 半鐘 鳴らしていない
14. 自主防災組織を通じて注意を呼びかける
市から自主防災組織に呼びかける手段がなかったので把握していない。自主的にやったところもあると思う
15. その他(具体的に 消防無線のやりとり)
16. 注意の呼びかけはしない

問9 津波警報発表時や津波発生時などの緊急事態において津波への注意の呼びかけについて、計画上は、どのような対策をとる予定でしたか(○はいくつでも)

1. 屋外の防災行政無線
2. 戸別の防災行政無線
3. J-Alert 受信はしているが防災行政無線と自動連動していない。
4. 広報車(台)
5. 自動的に防災行政無線で注意を呼びかける
6. 無線式モーターサイレン
7. ケーブルテレビ
8. コミュニティFMをつかった緊急防災放送
9. 防災メール・エリアメール
10. ソーシャルメディア、ホームページ
11. オフトーク通信
12. 半鐘
13. 自主防災組織を通じて注意を呼びかける
14. その他(具体的に テレビ、ラジオも)
15. 注意の呼びかけはしない

問10 防災行政無線についてお伺いします。

(1) 防災行政無線の親機は、どこに設置されておりましたか

1. 本庁舎 本庁舎4階にある。旧三陸町の親機は三陸支所にあり、親機が2つある状態。NTT専用線で親機同士を結び、大船渡市役所→三陸支所→三陸町戸別無線と

いう形をとっている。三陸支所の庁舎が津波で被災し、電気も来なくなったため、親機は故障しなかったがその場で使えなくなった。一週間後に再稼働し、生活情報や支援情報を流している。

2. 消防本部
3. そのほか

(2) 防災行政無線は、遠隔制御ができるようになっていましたか

1. はい

(具体的にどこから：大船渡消防署から遠隔操作できる)

2. いいえ

(3) J-Alert は導入されていましたか

1. J-Alert を導入していて、防災行政無線で自動的に放送されることになっていた

2. J-Alert を導入していたが、防災行政無線とは連動していなかった

3. J-Alert は導入していなかった (入れる予定があれば、その時期)

(4) 防災行政無線は、計画上、どのように放送することになっていましたか。

1. J-Alert を導入していて、防災行政無線で自動的に放送されることになっていた

2. J-Alert 以外のシステムを通じて、津波警報、津波注意報と連動し、防災行政無線で自動的に放送されることになっていた (連動しているシステム：)

3. 職員が手動で放送することになっていた

4. 消防本部で放送されることになっていた

計画上、緊急放送は時間外も時間内もまず大船渡消防署から放送する。その後も市役所の業務時間外 (17:15~08:30) は消防署からの遠隔操作で防災行政無線を通じて放送することになっているが、震災当日は消防署の遠隔操作ができない状態になっており、第一報 (避難指示) から市役所で放送した。

5. その他 (具体的に：)

6. 防災行政無線はなかった (入れる予定があれば、その時期：)

(5) 防災行政無線は、実際に、どのように放送することになっていましたか。

1. J-Alert を導入していて、防災行政無線で自動的に放送された

2. J-Alert が聞こえ、職員が放送した

3. J-Alert 以外のシステムを通じて、津波警報、津波注意報と連動し、防災行政無線で自動的に放送された

4. 職員が直接、放送した

5. 消防本部で放送した

6. その他 (具体的に：)

問11 気象庁では、『大津波警報』『津波警報』『津波注意報』などの津波情報を発表していますが、貴自治体での津波災害対策では、津波情報の区別がどのような対策と連動していましたか（〇はいくつでも）また、もし連動しているとしたらどの情報と連動していますか。具体的にご記入下さい。

1. 避難勧告の発令基準と連動していた（⇨津波警報＝避難指示、津波注意報＝避難勧告）

2. 職員の非常参集の基準と連動していた（⇨津波警報＝全職員参集、津波注意報＝指定された職員招集、災対本部は注意報で立ち上げ）

※ 消防団に所属している職員は、あらかじめ災対本部要員が消防団活動のいずれを優先するか決めて上司に申告。毎年人事異動時に実施し各課で調整もしている。3.11でも職員参集、消防団それぞれの動きに混乱はなかった。

3. 海岸立ち入り規制等の基準と連動していた（⇨水門閉鎖との連動はある）

※ 国道の通行規制は道路管理事務所が実施するのでは。国道45号線は通行止めにしたはず。県道の通行規制は不明。

4. その他（具体的に）

5. 津波予報と避難勧告などは連動しておらず、適宜対応することになっている

問12 防災行政無線の設置エリア、戸別受信機の配布エリア、コミュニティFMなどと連動した緊急ラジオの配布エリアについてお教えてください。

・屋外防災行政無線は旧大船渡市105箇所、旧三陸町45箇所＝合計150箇所

このほかに戸別受信機は旧三陸町全戸配布

学校にも戸別受信機を配備している。

・cFMは震災当時にはなかった。

・消防団屯所に防災行政無線を拾うアナログラジオがある。大船渡市の防災行政無線の周波数に合わせてあり、電源を入れて「待機状態」にしておけば自動的に起動して音声が出る。このラジオは農協、漁協などにも配備している。

【避難手段・自動車】

問13 被災直後、津波が来るまでの避難のときに交通渋滞は発生しましたか？

1. 渋滞していた（具体的な様子：幹線道路は混んでいた）

※ できれば場所を

幹線道路（国道45線、駅前道路（丸森権現堂線＝230号線）日頃から混み合う道路だが震災当日は避難のため渋滞が助長されたと思う。

2. 渋滞はなかった

3. わからない

(前問で「1. 渋滞していた」とお答えの自治体)

問14 その渋滞していた場所は、いつも渋滞する場所でしたか？

時間帯によっては渋滞する道路である。

問15 津波発生時、貴自治体では次のような規制、避難計画はありましたか（〇はいくつでも）

1. 避難時の自家用車の使用を規制することになっていた
2. 津波襲来時の住民の避難経路を指定し、公表していた
3. 自治体内で交通止や交通規制箇所を決めていた
4. 避難の交通手段として自治体でバスや船を準備する計画になっていた
5. その他（具体的に：原則として徒歩での避難を呼びかけることにしているが、状況によって、特別な事由があり混乱を生じないなら車避難も容認するという記載が地域防災計画書にある。震災当日には特に車避難を禁止していない）

問16 貴自治体では、自動車避難に関してどのような方針でいましたか？

1. 自動車では避難しないように、平時から啓発活動を行っていた
 2. 自動車を使った要援護者の避難については、別に呼びかけを行っていた
 3. 自動車では避難することは原則禁止していた
 4. 自動車では避難することは原則禁止していたが、現実的にはやむをえないものとかんがえていた
 5. 特に問題視はしていなかった
- 原則として徒歩での避難を呼びかけているが、車避難を禁止してはいない。

問17 貴自治体で、自動車避難に関して、なんらかの課題があればお教えてください

答えは出ていない。

辺地などもあり車での避難を否定するわけにはいかない。途中で乗り捨てたりすると後続の車の避難の妨げになり、車での避難にも注意が必要と思っている。

信号は多分消えていたと思うが、確実なことは分からない。

【避難場所】

問18 津波の避難場所についてお伺いします。

(1) 津波の避難場所は、誰がどのように選定していますか？

1. 自治体が選定している 地域防災計画で指定している
2. 住民が選定している（具体的に：地域（自主防災組織）ごとにワークショップ（まちあるき）を行い、ハザードマップを作成。避難場所もワークショップで決めている：ワークショップのハザードマップ集の余部はないとのことなので、66地域を行政区単位でくくった一部のハザードマップのコピーをいただいた。）

※ 避難場所の選定：宮城県沖地震（M8）及び明治三陸、昭和三陸津波を想定。最大津波高（想定）は三陸町吉浜の10.8m、最大遡上高（想定）は白浜の31.8m。県のシミュレーション結果に基づく。今回の浸水範囲は、シミュレーションとほぼ同じ範囲（大船渡湾の奥の方はやや広め）であった。

3. 指定していない

(2) 津波避難ビルの指定はしていますか？

1. いくつかのビルを、津波避難ビルに指定している（ 10弱 箇所）
2. 津波避難専用の高所を設けている（ 箇所）
3. そのほか（具体的に：避難ビルとして使わせてもらうよう、自治会がビルオーナーに個別に協力依頼。駅前の8階建ビルなどがあるが、数は多くない）
4. 津波避難は高台を基本としており、津波避難ビルは設けていない

問19 津波について、避難所に関して問題のあった場所がありましたか？

1. 津波避難ビルの高さを超えて、津波が到達したところがあった（ 0 箇所）
2. 避難所まで、津波が到達したところがあった（ 6 箇所）

※ 58箇所の避難所のうち6箇所が浸水。浸水の程度は違うが、全部浸水したところもある

3. 避難場所まで、津波が到達したところがあった（ 0 箇所）
4. 津波避難ビルが火災に巻き込まれたところがあった（ 0 箇所）
5. 津波避難所が火災に巻き込まれたところがあった（ 0 箇所）

※ 火災は何カ所かで発生したが、大火には至らず。浸水後事務所等からの発火はあったが、避難所が火災に巻き込まれることはなかった。

6. 津波避難ビルについて、施錠などのため避難できなかったところがあった（ 0 箇所）
7. 津波避難所について、施錠などのため避難できなかったところがあった（ 0 箇所）

問20 津波発生時の避難場所はどのように設定されておりましたか（○はいくつでも）

1. 津波を想定した避難場所は、津波を想定した避難場所として特別に定めていた
2. 津波発生時の避難場所は、他の自然災害と同じ場所に指定していた
3. 各自主防災組織（自治会ごと）に、避難場所を決めていた
4. 津波発生時の避難場所は、指定しておらず、付近の高台へとだけ呼びかけることになっていた
5. その他（具体的に：医療ニーズの高い避難者については、県立大船渡病院の近くに集結させた）

【復旧期】

問21 当日、地震直後からの庁舎の停電、電話、FAX、携帯電話の疎通状況についてお教えてください。

(1) 停電の状況

市内全域停電。3/13復旧

(2) 電話・FAXの疎通状況

固定電話は不通。FAXも停電で使えず。県の衛星系の電話（FAX付き）は使えた。

(3) 携帯電話の疎通状況

携帯電話は不通。3/20頃まで「圏外」と表示されていた。津波が来るまではつながりにくかったが通話でき、メールが何通か届いたが、来襲後はメールも届かなくなった。

問22 市町村内停電はどのくらいでしたか？

1. 停電していた 最大（市内全）世帯 最大（46）日間 4月25日まで（ただし、全滅した被災エリアを除く）

※ できればエリアを

2. 停電していなかった
3. わからない

問23 断水はどのくらいでしたか？

1. 断水していた 最大（市内全）世帯？ 最大（78）日間 5月27日に上水道が全域で復旧（井戸のところもある）

※ できればエリアを

2. 断水していなかった
3. わからない

問24 下水道の損傷はどのくらいでしたか？

1. 下水が使えなくなっていた 最大（?）世帯 最大（約30）日間 4月上旬には稼働できた（地下の施設は4月上旬に稼働。土地全体が地盤沈下したため、管のズレがなく復旧は早くできた）

※ できればエリアを

2. 下水道が使えなくなったことはなかった
3. わからない

問25 電話はつかえましたか？

1. 固定電話がつかえなかった
（5）月（上旬）日頃 もしくは（ ）週間後 まで

理由； 1. 停電のため 2. 規制のため 3. その他(具体的に： 津波による局舎の被災、電柱や架空線の流失のため。5月上旬には全域で使えるようになった)

2. 携帯電話がつかえなかった

市役所付近は(3)月(20)日頃 もしくは()週間後 まで
市全域は(35)月(20上旬)日頃 もしくは()週間後 まで

理由； 1. 停電のため 2. 規制のため 3. その他(具体的に： 通信設備がダウン)

3. メールがつかえなかった

()月()日頃 もしくは()週間後 まで

理由； 1. 停電のため 2. 規制のため 3. その他(具体的に： 通信設備がダウン)

携帯メールは携帯電話が復旧するまで使えなかった。

Webメールは固定電話が復旧した5月上旬から使えた。市役所内のイントラネットのみ。市内 のインターネット環境はまだ使えなかったと思う。

JAXAが人工衛星きく8号を利用して、3/24~4/11まで災害対策本部でインターネット回線(Web)を確保した。庁舎内職員用端末(Mail)への接続は、慶應義塾大学WIDE Projectなどの「震災復興インターネット」プロジェクトによる人工衛星IPSTARを利用。4/9~8/21。

市役所のメールサーバは5月上旬に復旧。

4. ホームページがつかえなかった

()月()日頃 もしくは()週間後 まで(上記の人工衛星を使って)

理由； 1. 停電のため 2. 規制のため 3. その他(具体的に：)

市のHPの更新ができなかった。ツイッターなどでの情報発信もしていなかった。

【物資・ガソリンについて】

問26 ガソリンが入ってくるようになったのは、いつくらいですか？

・緊急の公用として十分ではないが手に入れ始めた時期 (3)月(11)日頃 もしくは()週間後

直後からなんとか融通していたが量は不足していた。緊急車両については問題なかった。

・一般向けに十分ではないが、供給され始めた時期 ()月()日頃 もしくは(1~2)週間後

一般車両については十分でなかった。はっきりした時期は不明。ある時期から急に入ってくるよう

になった。1～2週間以内は大変だった。

問27 避難者用の食料が入ってくるようになったのはいつくらいですか？

- ・十分ではないが、供給され始めた時期 () 月 () 日頃 もしくは () 週間後
エリア内では民間事業者と協定を締結しているため備蓄はない。その事業者も被災したため物資を入手できなかった。近くや内陸部に食料調達に行ったが、量が足りずすべての避難所には行き渡らなかった。3/11夜から地区毎で持ち寄り炊き出ししてもらった。県から食料が入ってきたのは1週間後だった。

問28 ボランティアが来るようになったのはいつくらいですか？

- ・十分ではないが、来訪しはじめた時期 (3) 月 (12) 日頃 もしくは () 週間後
ボランティアの受付を設置したのは3月12日。2011年11月10日現在、累計25,000人以上。海外からはオランダの民間ボランティア（救助犬による捜索）や、オール・ハンズ・ボランティアズなども。

【広域連携】

問29 他の自治体からの支援を受けましたか？

1. 事前協定があり、応援を受けた

2. 事前協定はなかったが、応援を受けた

自治体間交流があった。「銀河連邦」という。JAXAの研究所がある自治体（共和国）で組織しており、相模原市や肝付町などが入っている。協定がなくても「友だちの友だち」が支援してくれた。他の自治体からの支援はたくさんあった。

（事前協定の有無はそれぞれだった）

3. 事前協定はなかったし、応援を受けなかった

※差し支えなければ事前協定の内容をもらってください

問30 それは具体的にどのような支援をうけましたか

(1) 応援してくれた自治体：相模原市、浜松市など多数

職員個人のつながりから支援をしてくれた自治体もある

(2) 受けた支援

1. 職員の派遣 (累計千人 程度)

2. 水・食料などの提供

3. 毛布など物資の提供

4. 避難者の受け入れ

5. そのほか 義援金

【協定】

問31 津波発生時において、貴自治体の地域内で住民の避難が困難な場合のことについては想定されてい

【避難計画・施設】

問35 避難実施計画を定めるに当たって、高齢者、子供、病人等要援護者の保護のための避難施設を決めていましたか。(○は1つ)

1. 避難施設は決めていなかった
2. いくつかの地域について避難施設を決めていた
3. 全ての地域について避難施設を決めていた
4. わからない

問36 避難のことを考えて、高齢者、子供、病人等要援護者の施設の設置に関してあらかじめ考えていた方針がありましたか。(○は1つ)

1. 元々施設をつくるときに、津波の被害をさけるために高台に設置した場所がある。
(具体的に：)
2. 津波の被害をさけるためにというわけではないが、たまたま結果的に高台に設置した場所がある。
(具体的に： 交通アクセスを考えて立地。施設の利用ニーズの高い人もその近くに移動していたのが結果的によかったかも)
3. 将来計画としては、要援護者の入所する施設を高台に移す計画はあったが、未実施であった。
4. そのほか
5. わからない

【事前教育】

問37 貴自治体では、津波災害に関する自治体住民への広報活動をどのように行っていましたか。
(○はいくつでも)

1. 学校教育を通して行っていた 配布したDVDを活用した学習、綾里小学校の演劇「暴れ狂った海」や津波に特化した避難訓練など、熱心にやっているところもある
2. 行政内部で津波防災訓練を行っていた (年 2 回程度) 地域を含めて初動訓練、職員参集訓練
3. 住民参加の津波防災訓練を行っていた (年 1 回程度) 51年前のチリ津波地震の時期(5月)に実施
4. 津波災害にかんする講演会、勉強会などのイベントを設けて行っていた (年 回程度)
毎年ではないが、チリ地震津波50周年のシンポジウムや講演会を実施している

問38 直近の津波防災訓練の参加者は何人ですか。そして、それは住民の方々の何割程度に当たりますか。
おおよそ構いませんので、具体的な数字を()の中に記入して下さい。

(8,000) 人 : (2) 割
全市民(約40,000人)対象、地域のメインなイベントのひとつで、日曜に実施。サイレンを鳴らして訓練開始を周知。消防団の演習も兼ねている。

問39 津波や防災に関して、内外のどなたかに「アドバイザー」になってもらっている方はいますか？
差し支えなければ教えてください。
岩手県の職員の方や気象台の方など(主に市の職員で対応)

問 40 自治体住民に対して、日頃から津波への注意に関する情報をどのようなメディアで広報していますか。(〇はいくつでも)

1. 津波防災パンフレット
2. 津波に限らない防災に関するパンフレット
3. 自治体の広報紙 「防災コーナー」を連載
4. 出前講座・説明会
5. 学習会
6. 専門家を呼んでの講演会
7. 津波ハザードマップ 全戸配布
8. 自治体のホームページ
9. Twitter や Facebook などを用いた広報 震災以降開始
10. その他(具体的に: 現地の標識)

【避難広報・ハザードマップ】

問41 津波ハザードマップは事前につけていましたか。また、どのような方法で配布していましたか？

1. ハザードマップは作成済。自治体内全戸に配布
2. ハザードマップは作成済。浸水エリアに配布
3. ハザードマップはあるが、配布していなかった
4. そのほか(具体的に:)
5. 作成予定であり、まだ作成していなかった
6. ハザードマップはなかったし、作成予定もなかった

【避難広報】

問 42 津波災害に関して、普段の広報活動はどれくらい行き届いていたと思いますか。(〇はひとつ)

1. 住民に非常によく周知されていた、と思う
2. 住民には十分に周知されていなかった、と思う
3. 住民にはある程度周知されていた、と思う
4. その他(具体的に:)

【避難広報・観光客対策】

問 43 海岸に来る観光客や海水浴・サーファーなどへの津波に関する日頃からの広報活動はどのような手段を使われていましたか。(〇はいくつでも)

1. 海岸に防災行政無線を設置していた 海水浴場に設置
2. ホテル、宿泊施設等に津波防災マップをおいていた
3. 道路に津波にかんする看板や掲示板を立てていた
4. 海岸に津波にかんする看板、掲示板を立てていた
5. 観光案内所で津波について案内していた

6. 津波に限らず、安全に対する啓発はおこなっている。
7. 海洋気象情報に関する情報提供を行っている。
8. その他（具体的に：駅に浸水マップ、ワークショップの避難誘導地図を掲示）
9. 海水浴場はない
10. 特に特段の対策はたてていない。

【合併問題】

問44 合併についてお伺いします。

(1) ここ数年で合併はありましたか ※できれば、ヒアリング前に調べておくこと 近年のもののみで可。

1. 最近、合併した（旧市町村名 平成13年に三陸町と合併（編入））
2. 最近、合併はしていない

(2) 今回の災害を経験して、「合併」したが故の課題はありますか？

1. 地域が広くて連携が取れない
2. 担当職員がお互いに土地勘がないので、対応が遅れがちになる傾向がある。

3. 防災行政無線が連動していない（しなくなった）

大船渡市役所の親機と旧三陸町の親機の2つがあり、NTTの専用線で結んでいる。三陸支所が津波で被災したため連動ができなくなり、職員が伝言で同じ内容を伝えて、三陸支所の親機から流した。

4. そのほか（具体的に： ）
5. この数年で、合併はしていない
6. 部署が複数の庁舎に分散していて連携がとりにくい
7. 問題はなかった

問45 避難所開設や運営にかんして、問題点がありましたか？ お気づきの範囲でお教えてください

指定避難所に行きたがらない人がいた。家の片づけをしながらの人は、近いところへ避難する。広域に多数の避難所が開設される状態となり市職員がすべての避難所に配置できなかった。学校の先生が体育館の避難所の運営をしたところもある。
地区毎にまとまって避難したがる傾向が強かった。まとまって避難しているところの方が自主的な運営ができ我慢強いと感じた。そうでないところではトラブルが起きやすく、行政に何かしてもらおうという気分だったようだ。

問46 国、県との関係で貴自治体において、困ったこと・苦労したこと、は何ですか？

調整が大変。物資を要請してもうまく手配されなかったことがあった。

組織が縦割り。たとえばガソリンは県を通じて入るが、品目毎に担当課が違うので説明が1回ですまない。2回3回と説明や要請をしなければならなかった。県と市のシステムティックな連携が望まれる。

県との連携については、県から連絡員を市に配置してもらえれば、スムーズに調整出来ると思う。

問47 今回の災害を通して、貴自治体において、もっとも困ったこと・苦労したこと、は何ですか？

特に類似の市町村に伝えたいことがあればお教えてください。

発災当初をどう乗り切ることが問題。食料と水の確保が重要。

すぐ手が回らない避難所もあったが、たまたま避難所などに備蓄があったので助かった。

避難所毎に備蓄したり、すぐ届けられる食料や水を確保しておいたりすることが必要。

物資の受け入れと配布も難しい。集積場所、物品毎に配りやすいように配置するなどノウハウが必要。

物資の数量が不足していると不公平感をもたれるので、工夫して配布する。

沿岸地区本部（地域ごとの支所）の職員がそれぞれ工夫して配布していた。

問48 今回の災害を通して、貴自治体において、情報面での課題、があればお教えてください

在宅避難者に情報、物資を届けることが難しかった。

在宅避難者と避難所の人で感情的なトラブルもあった。「食料だけもらいにくる」などと嫌みを言われ、避難所にもらいに行くのがイヤという人もいた。支援の仕方を考えないといけない。

マスコミは多くの情報を提供してくれるがローカル情報に弱い。

コミュニティエフエムでの情報提供はローカルな生活情報を提供するのに役だった。

行政無線は停電対策が急務。

地元紙（東海新報）が3/12から継続して新聞を作成しており、避難生活に密着した細かい情報も載せてくれて助かった。

【地域の概要】

F 1 貴自治体で消防団は何分団ありますか。そのうち、今回の被災地域に該当する分団は何分団ですか

全体で (12) 分団
被災エリアで (9) 分団

F 2 消防団を管理する担当部署名をお教えてください。

大船渡消防本部

F 3 町内会ごとに見て、自主防災組織の組織率はどれくらいですか。おおまかな割合を()の中に記入して下さい。

(74.2%) 程度

F 4 貴自治体では、過去、津波の被害がありましたか。(※事前調査の上、確認)

1. 1896年明治三陸地震	2. 1933年昭和三陸地震	3. 1960年チリ地震津波（もつともひどかった）
	4. 2010年チリ地震津波（漁業関連で養殖筏などかなりの被害）	

※ 被害の程度がわかれば

F 5 貴自治体では、震災前、防災担当の専従者はいましたか。またその防災業務の割合はどれくらいですか（○はいくつでも）

1. 専門の部署がある	(2 名)
1. 専門の部署はないが、専任の防災担当者がある	(名)
2. 兼任であるが、防災業務の割合が高い	(名)
3. 兼任で、防災業務の割合が低い	(名)
4. その他(具体的に)
5. 防災担当のポストがない	

その他（市民の避難行動）

- ・揺れが特別だったので沿岸部では津波を直感した。必ず来ると思い、まず避難した。
- ・チリ地震津波（51年前の方）の経験が生きた。それ以降津波の避難訓練を継続的に行ってきたのが役だったと思う。
- ・住民の中には、「また津波警報か」と感じた人もいるかもしれないが、揺れが尋常ではなかったため危機感を持ったと思う。到達まで時間もあったので、避難がうまくいったのではないかと思う。しかし避難所の目の前に住んでいる方が、いつでも逃げられると思ったのか亡くなったということがあった。
- ・一度避難しながら、家に戻った人もいたと思う。

8. 三陸沿岸被災住民アンケート調査

8.1. 調査概要

東北地方太平洋沖地震において、発生直後、数日、1ヶ月後、1年余後に、災害情報の受け手である三陸沿岸の津波被災者がどのような情報を欲し、どこから手に入れ、接した情報をいかに受け止めて避難行動や再起へとつなげたのか。当時の実態と課題などを明らかにするため、2012年3月から6月にかけて、岩手県釜石市、岩手県大船渡市、宮城県気仙沼市を対象に、地元で支援活動をしている方々の協力を得、配票調査法による被災住民アンケート調査を実施した。調査票と単純集計結果を本章末尾に示す。

考察に際しては、類似調査である、東洋大学中村功教授、日本大学中森広道教授・福田充教授が2012年に発表した「東日本大震災時の災害情報の伝達と住民の行動—陸前高田市・南三陸町・仙台市・名取市・山元町住民調査をもとにして—」という災害情報調査研究レポート（アンケート調査データ）を一部引照した。その際、本調査同様、三陸沿岸に位置する{陸前高田(N=157)+南三陸(N=164)}($\Sigma N=321$)と、仙台平野南部沿岸に位置する{仙台(N=62)+名取(N=108)+山元(N=151)}($\Sigma N=321$)をそれぞれ括ったデータと、この{釜石(N=53)+大船渡(N=172)+気仙沼(N=32)}($\Sigma N=257$)とを主に比較した(図8.1)。

また、家族全員の安否がわかるまでの日数(図8.26)と信頼できる情報源(図8.30)は、福島第一原発事故に伴い福島県から新潟県へ広域避難した方々(N=114)を対象に、後日、別途実施したアンケート調査「検証～東日本大震災～命を支える情報はどうなっていたのか」(http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv5_report.pdf)のデータと対比した。

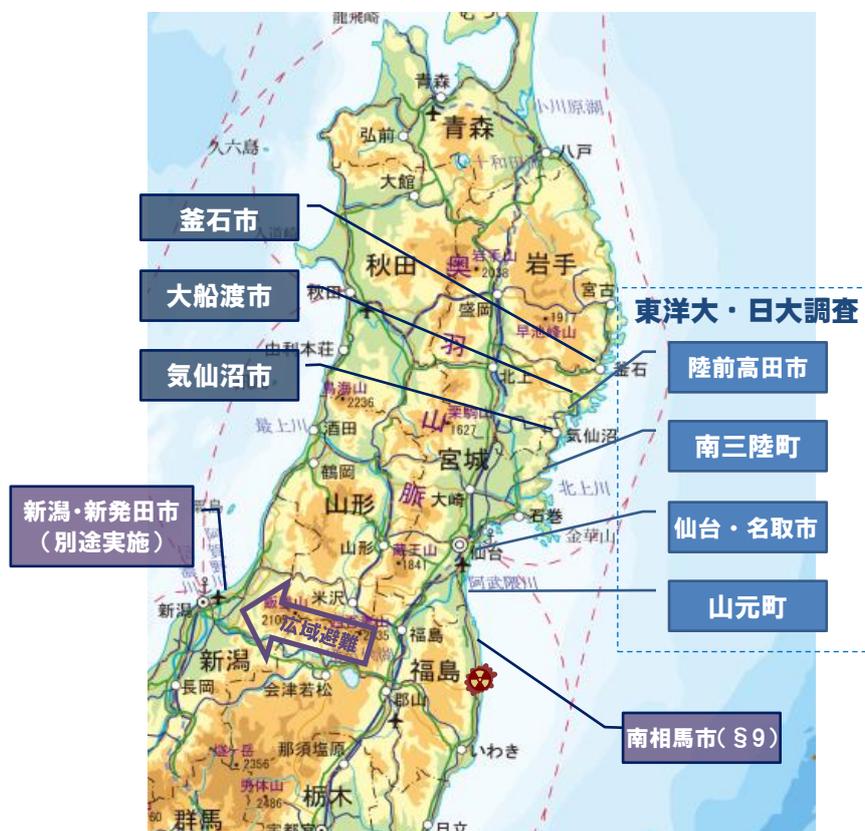


図8.1 アンケート調査実施地区

8.2. 調査結果

8.2.1. 回答者のプロフィール

アンケート回答者は、男性4割・女性6割、60歳以上が過半数を占め、勤め人は3割程度の構成だった。自宅から海岸までの距離は、徒歩10分以内が6割超。東日本大震災による自宅の被災状況は、全壊が7割、半壊・一部損壊を加えると9割近くに達し、地震の揺れより津波による被害がはるかに大きかった。地震が起きた瞬間の居場所は、自宅が47%、自宅のある市の中が44%で、9割以上が自宅やその周辺にいた。

被災してから後の生活場所は、避難所等7割、仮設住宅6割、自宅2割弱などだった。避難所等には地震当日にその8割、翌日までに9割が入り、人によりバラつきがあるが仮設住宅に移るまで概ね2~3ヶ月間過ごしていた。避難先は、市民会館、集会所、体育館、厚生施設、老人ホーム、病院、温泉旅館、お寺、実家・親戚・知人宅などだった。

前述した東洋大・日大による近傍の類似アンケート調査と比べると、プロフィールはほぼ同じ構成で、被害程度は若干軽めだった。東洋大・日大調査は訪問面接法で実施されたが、その際「各市町の人口比率にできるだけ近づけるように年齢性別を考慮して対象者を決定」しており、結果的に本調査もそれに沿っていたことになる。

8.2.2. 地震発生直後の反応

2011年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震発生直後にとった行動は、「屋外に出た」が63.0%でトップだった(MA、図8.3)。次いで「津波が来るかもしれないと思すぐに避難した」が40.9%、「家族などの安否を確かめるために電話した」が27.2%（うち携帯電話利用が2/3）、以下「ラジオなどから情報を得た」「出先から自宅に向かった」「隣近所で声をかけあった」などが続いた。海や川へ近づいた人はさすがに少なかった。その他の自由記述としては「津波を連想して避難や避難支援をした」「間一髪だった」「火の始末をした」「電話がつながらなかった」「津波の想像はしなかった」など多数あった。家族をはじめ周囲とやりとりをして避難したケースも少なくなかった。

東洋大・日大による近傍の類似アンケート調査結果では、回答の選択肢にいくらか相違があるが、ほぼ同じ傾向を示していた。細かく見ると、仙台平野南部沿岸では、すぐ津波を連想して反射的に避難対応を始めた人の割合が、三陸沿岸に比べると少なかった。

次に、地震の揺れを感じた段階で「津波が必ず来ると思った」のは46.7%、「もしかしたら来るといった」を足すと78.2%に達した(図8.2)。つまり3/4超の人が津波襲来を連想した。

この設問は地域間で差が明確で、三陸沿岸で前者が43.4~69.5%、「もしや」を足した後者が67.9~84.4%と多数派だったのに対し、仙台・名取ではそれぞれ24.1%と50.6%、山元ではそれぞれ18.5%と35.7%と少なかった(表8.1)。

すぐに津波が来ると直感した理由は、「地震の揺れ方が尋常ではなかったから」が93.5%と群を抜いていた(MA、図8.4)。

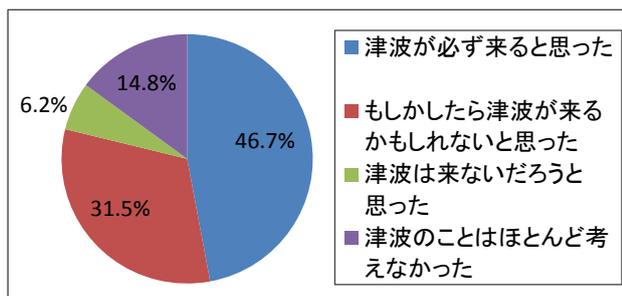


図 8.2 揺れを感じた時に津波襲来を直感したか(問 5)

いつもと違う揺れ方に、これはただごとではないと感じたという声は、今回よく耳にした。つまり、助かった人にとって津波は必ずしも不意打ちではなく、いかんせん想定を超えた規模だった。

津波による自宅被害の想像は、図 8.5 のとおりまちまちで、半数近くは自宅が流されたり水に浸かるような規模の被害を予想しなかった。さらに、実際に生じた被害と較べたのが図 8.6 で、津波の現象としての規模や破壊力が、頭の中の予想を大きく上回ったことがわかる。これは他の地域でほぼ同様で、“正常化の

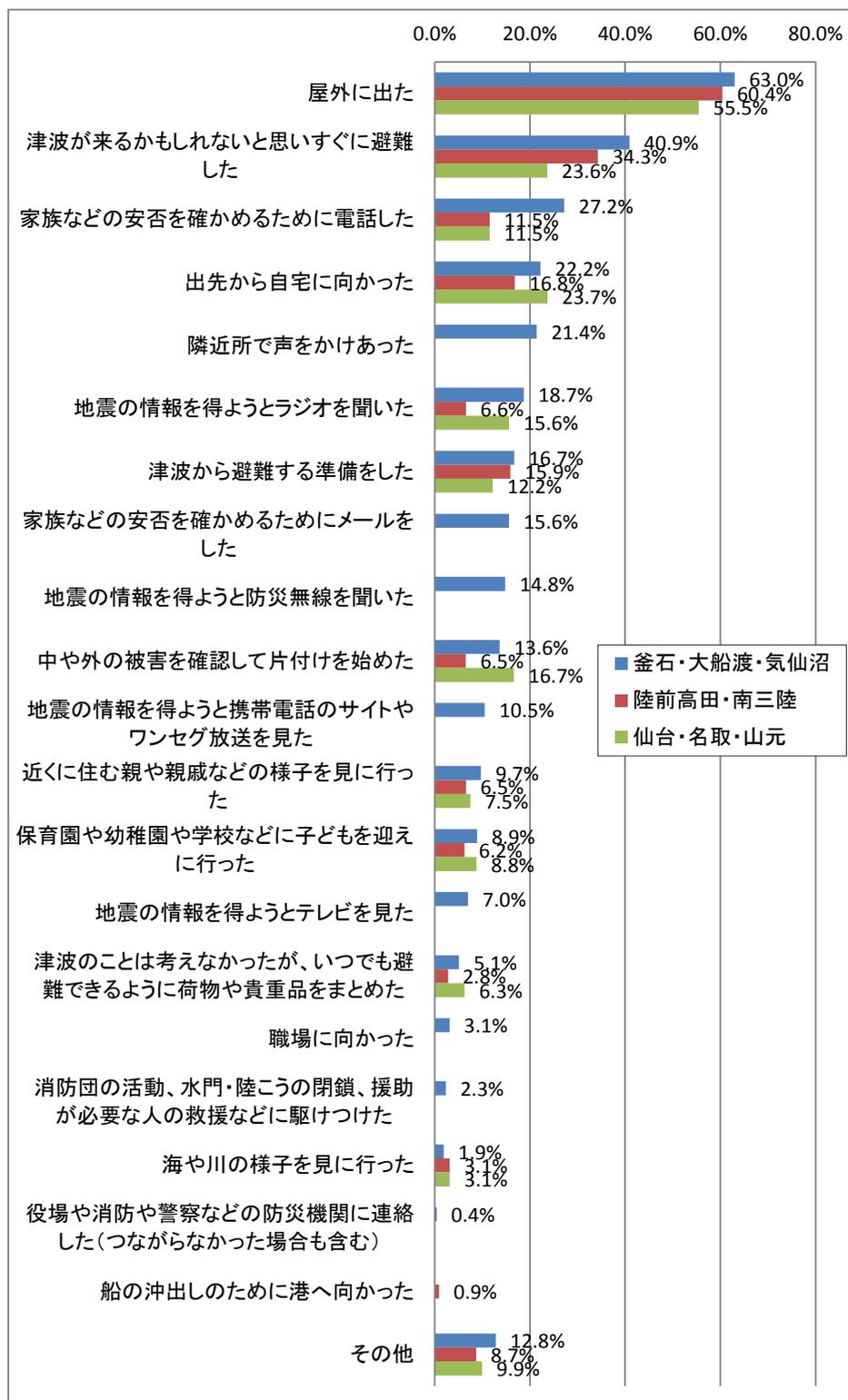


図 8.3 地震の揺れが収まった直後の行動(問 4)

表 8.1 各地域の地震の揺れを感じた時に津波が来ると直感した割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
①津波が必ず来ると思った	43.4%	45.3%	52.2%	59.4%	69.5%	24.1%	18.5%
②来るかもしれないと思った	24.5%	34.9%	24.8%	25.0%	12.8%	26.5%	17.2%
①+②	67.9%	80.2%	77.0%	84.4%	72.3%	50.6%	35.7%

偏見”があったといえよう。

一方、津波が来ないと思った人の理由は、「地震の揺れで頭がいっぱいだった」が46.3%と半数近くあり、「海岸や川から離れていてこれまで津波が来たことがなかったから」が38.9%だった(MA)。気になる「防災マップで安全だと思っていた」は1.9%とごく僅かだった。

その他の自由記述には、津波が来る：「大津波警報が出た」「毎年避難訓練をしていた」「昔からの言い伝え」な

ど、来ない：「高い場所に居た」「2日前の地震でも何もなかった」「どうせ来ても50センチ」「津波の知識が不足」「動揺して余裕がなかった」など、種々書かれていた。

今回、高齢なほど犠牲者の比率が高かったことが指摘されたが、避難行為そのものの負担がまずあろうし、人によっては、前年のチリ地震時をはじめ長年繰り返された“誤報(おおかみ少年)効果”がすり込まれ、津波(警報)への警戒感が下がっていたのかもしれない。ちなみに2010年チリ地震は、日本時間2月27日15時34分に発生した。津波は、ハワイに28日6時20分、小笠原に12時43分、本州には茨城が16時49分(高さ0.89メートル)、宮城が17時37分(高さ0.78メートル)、岩手が17時44分(高さ0.84メートル)に到達した。このとき気象庁は、28日9時33分に青森・岩手・宮城県に津波警報(大津波、3メートル予想)、ほかの各地に警報や注意報を出し、3月1日10時15分にはすべて解除した。自ら揺れを感じる事のない遠地地震の津波避難は、警報等の情報に頼るしかなく、真に受けて3メートルの大津波に備えて1日以上費やした人たちにとって、裏切られ感が否めなかったろう。予測規模が過大で長時間すぎた点について気象庁はすぐに謝罪会見したが、後日「最悪のケースを想定したもので判断ミスはなかった」とした。これでは(大)津波警報とはそういうものだとの感覚をよりいっそう強め、油断する心理を増長してしまっただけではなかろうか。

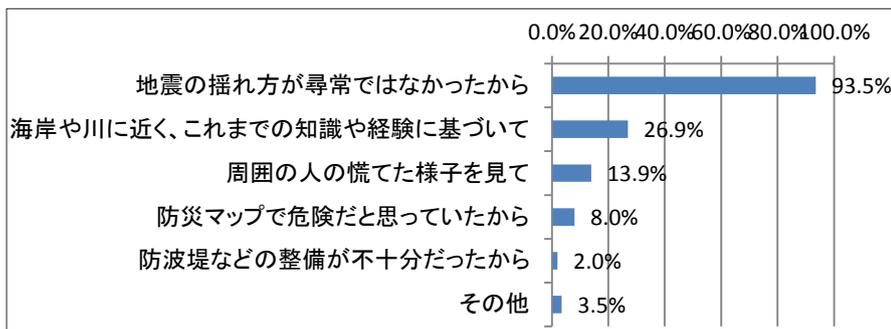


図 8.4 自宅にどのくらいの被害が出ると思ったか(問 5-2)

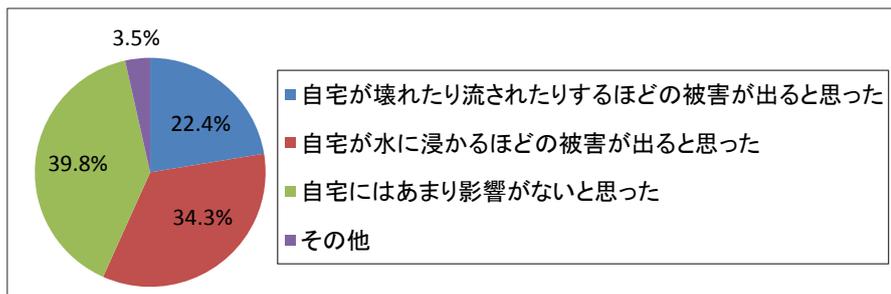


図 8.5 自宅にどのくらいの被害が出ると思ったか(問 5-2)

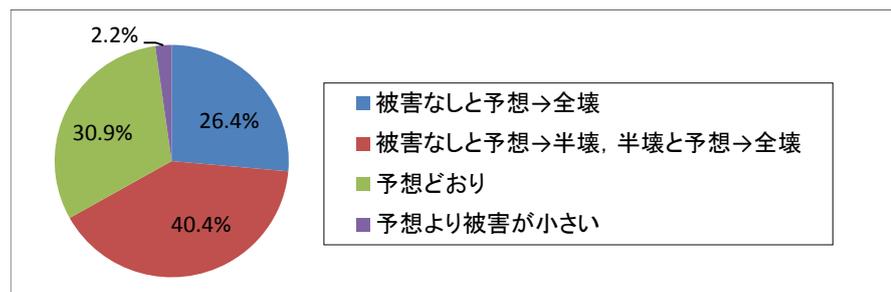


図 8.6 自宅の津波被害予想と被害実績との差異

今後、沖合の津波計・波浪計などを加えた予測技術の向上、見逃しや空振りの少ない妥当な発報水準、さらに誤報時に適切なアフターケアを行うことによって、ネガティブな心理の発生を抑えたい。

8.2.3. 津波警報の認知（地震発生から大津波まで）

本震後すぐさま発せられた津波警報（大津波）を、住民がどのように受け取ったか尋ねた。

NHK テレビの釜石港のライブ映像で明瞭な押し波による浸水が始まったのは、15時15分頃。すなわち東北地方太平洋沖地震の発生から30分足らずだった（図8.7）。そして、さらに30分後には、仙台・名取などを襲う津波の空撮ライブ映像が飛び込んできた（図8.8）。もしここまで広域に停電していなければ、数10分～1時間近い到達遅れがあった地域では、進行中の

事態を据置型テレビを通じてよりリアリティをもって受け止めて、避難が促されたのではないだろうか。また複数のお天気カメラに引き波の様子も映っていて、その場所の普段の様子をわかっている人ならば参考にできたのではないかと思うと残念だ。

津波が来る前に津波警報を聞いた人は、半数少々だった（図8.9）。何から聞いたかの内訳は「防災無線の屋外拡声器から」が73.3%で大半、「ラジオから」が23.7%、「広報車・警察・消防から」が19.2%、「近所の人から」が10.4%などだった（MA）。すなわち、同報系防災行政無線が最も役立った。その一方、ライフラインの途絶もあり、日常使いの機器を通じて警報に接することはほとんどなかった。



図 8.7 釜石港の浸水開始映像 (NHK 総合テレビ 3月11日 15時15分)



図 8.8 仙台平野南部の浸水開始映像 (NHK 総合テレビ 3月11日 15時56分)

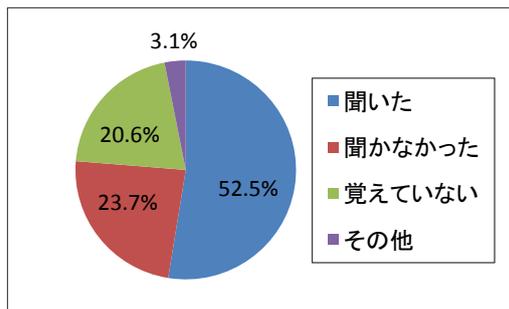


図 8.9 事前に津波警報を聞いたか(問7)

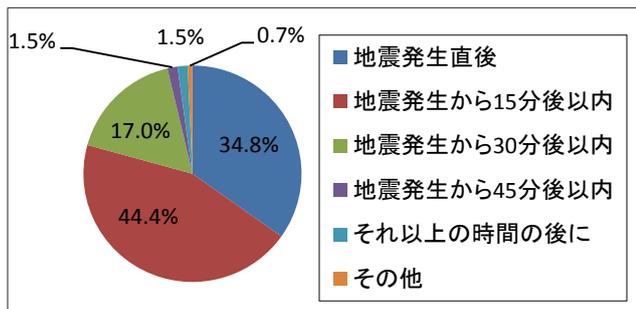


図 8.10 津波警報をいつごろ知ったか(問7-2)

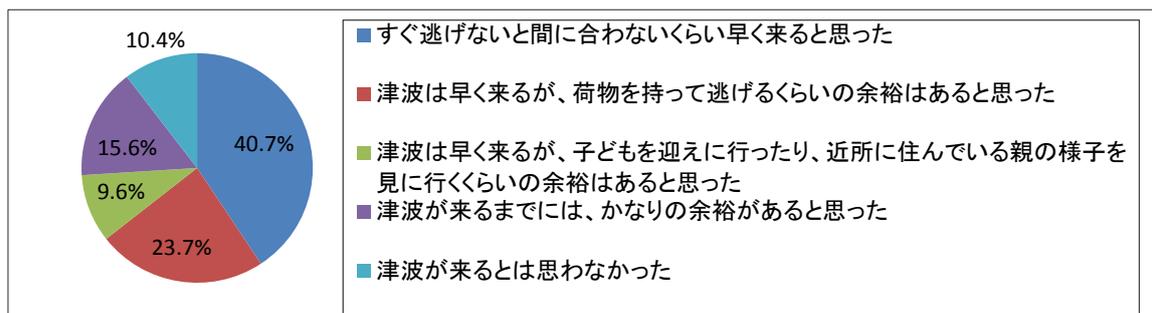


図 8.11 津波警報を聞いてどう思ったか(問7-4)

また、今や世代、公私を問わず、最も身近なツールとなった携帯電話への緊急速報「エリアメール」は7.4%だった。震災を受けてNTTドコモでは、2012年2月24日から気象庁の津波警報を自動配信対象に追加した。auやソフトバンクモバイル、イー・アクセス、ウィルコムもドコモに追従し、緊急地震速報・津波警報、国や地方自治体が配信する災害・避難情報をプッシュする機能を実装、いずれも配信契約を無償とした。全社横並びと無償化の実現により普及が進み、今後、防災無線と並ぶ数字が期待されよう（韓国におけるCBSの防災目的先進利用事例は、われわれの研究会が2008年に現地調査しまとめた「災害情報における放送と通信の連携」報告http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv2_report.pdfに詳しい）。

警報を聞いたタイミングは、直後が1/3、15分後までに4/5、30分後にはほとんどだった（図8.10）。このとき併せて予想される津波の高さを耳にし、かつ数値まで覚えていると答えた人は1/3足らずで、警報は早い段階から聞いていても実は高さはあまり認識されていなかった。気象庁は、津波警報の第1報を14:49、第2報を15:14、第3報を15:30に発したが、その都度、発表区域をたくさん追加し、予想高さを大きく更新した。そして、ラジオがテレビ音声のサイマルになっていたNHKの場合、予想高さが3(6)メートルから10メートル以上に増加したと最初に音声で伝えたのは、地震発生から3/4時間経過した後で、半時間以内時点では伝わるべくもなかった。ラジオは音声で同時に一つのことしか伝えられず、命を守るために最優先すべき情報はなにかを先読みして、伝達内容のトリアージをせねばならない。そして気象庁の発表文にも「このような高い大津波警報を広範囲に出すのは初めて」といった“違い”が分かりやすい表現がほしい。無論、すぐ避難行動に移らないで茶の間のテレビなどから情報を集めていたのでは、助かるものも助からなかったかもしれないが。

これらを東洋大・日大による類似のアンケート調査結果と比べると、まず警報を聞いた人の割合は、全体では52.3%とほぼ同じ。細かく見ると、南三陸(77.4%)をピークに、なぜかきれいに北は釜石の51.0%に向けて漸減、南は山元の29.1%まで急減していた（表8.2）。

表 8.2 各地域の津波が襲う前に警報を聞いた割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
事前に警報を聞いた	51.0%	53.3%	54.8%	64.5%	77.4%	46.5%	29.1%

警報を聞いた媒体は、「防災無線の屋外拡声器から」が50.9%（MA、三陸沿岸：67.9%、仙台平野南部沿岸：17.9%）、「ラジオから」が24.1%、「テレビから」が11.9%、「広報車・警察・消防から」が11.4%という順だった。よって、全体的な傾向はそれほど変わらないが、仙台平野南部沿岸で防災無線が少ない結果だった。リアス式海岸を抱える三陸沿岸の場合、1896年明治三陸、1933年昭和三陸、1960年チリ地震など、繰り返された大きな津波被害、差し迫っているとされた想定宮城県沖地震などに備え、優先的に津波対策をとってきた差が表れたのかもしれない。平成の大合併以前で些か古い調査だが、日本災害情報学会「2003年宮城県沖の地震災害情報調査報告」でも、三陸沿岸におけるその辺りの取り組みを紹介している（http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/main_data/08miyagi_chousa.pdf）。その時、志津川町防災対策庁舎で応対された職員の「ここは危険」との自嘲的な言葉が、今、切なすぎる。

また警報を聞いたタイミングについても地震発生から15分以内が85.1%と、どこもそれほど違わなかった。

次に、津波警報に接してどれぐらい切迫感を覚えたかを尋ねた。その結果、「すぐ逃げないと」が40.7%、「最低限の用事後」が23.7%、「ひととおりの気になる用事後」が9.6%、そして「猶予があると危機感を持たなかった」が26.0%と、結構割れていた（図8.11）。近傍他地域の類似調査でも、警報から津波到達までの時間的余裕の受けとめ方は人によってまちまちで、この数字はほぼ平均的な線だった。三陸沿岸における過去の実績や訓練や想定がある中、どうも漠然とした時間認識のようだ。津波発生のおそれが有るか無いかが一番の関心事で、いつ・どれくらいの津波が襲うかの予想はワンランク下に位置づけられるのかもしれない。

今回、最初に発せられた津波警報の内容は、岩手県で予想高さ「3メートル」・到達予想時刻「到達と推測」、宮城県でそれぞれ「6メートル」・「午後3時」だった。津波の最大予想高さも倍ほど違ったが、到達予想時刻（あるいは観測時刻）は、ほとんど被害を及ぼさない数10センチの引き波の始まりを指し、実際問題となる規模の現象（ハザード）に対する情報とごちゃ混ぜになっていた。はたして3メートルを超す津波警報に対して、1メートルに満たない潮位変化を「すでに到達」と表現するのはいかがなものだろうか。どうも感覚的にあわず、ハズレ（いつものこと）だと受け取られかねない。津波警報・注意報については、東日本大震災での課題を踏まえて表現等が改善されたが、わき目もふらず一目散に逃げるしかないのか、それとも多少なり用事後避難が許されるのか、はっきりした時間的予測情報は提供されていない。津波のおそれがあつたら直ちに逃げるべきだという考えはわかるが、いよいよ危ない時点がいつなのか、もしわかるのならば教えてほしい。この辺り、沖合の津波計・波浪計の増設効果は期待できないものだろうか。

ちなみにこの時、電気や通信に支障が生じていたか尋ねたところ、電気は「停電した」が65.8%（平均30日間）・「しなかった」が2.7%、公衆電話は「知らない」が58.4%・「使えなかった」が12.5%（平均45日間）、固定電話やファクスは「知らない」が43.2%・「使えた」が2.3%、携帯電話の通話は「使えなかった」が43.2%（平均18日間）・「使えた」が5.8%、携帯電話のメールは「知らない」が40.4%・「使えた」が7.0%、インターネットは「知らない」が77.0%・「使えなかった」が20.9%（平均28日間）だった。つまり、地震の揺れで直後に大部分が停電したこと、それから、連絡に携帯電話を使おうとしたことが読み取れた。地震発生から大津波が襲うまでのコミュニケーションツールとしては、回線が輻そうしながらも携帯電話（通話・メール）がはじめのうちだけは生きていた。他の設問の回答で、放送や通信を用いて情報を得た人が少なかったのは、物理的に使えなかったのも一因だろう。

8.2.4. 津波からの避難

「津波に対する避難指示や勧告」を事前に聞いた人は56.8%だった（図8.12）。細かく見ると気仙沼65.6%、釜石61.5%、大船渡55.7%の順で、どこも「津波警報を耳にした」数よりも若干ずつ多かった。他地域の類似調査結果と比べると、南三陸は73.8%と最高、陸前高田は51.0%とやや低く、仙台・名取と山元は22.4~24.5%で明らかに低か

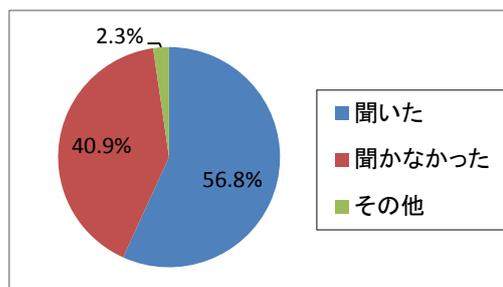


図8.12 事前に避難の呼びかけを聞いたか(問8)

った（表 8.3①）。この点に関して東洋大学の中村功教授は、「避難勧告の伝達に重要な役割を果たしたのが同報無線である。同報無線がよく聞こえて内容まで理解できたという人を場所別にみると、南三陸では 63.4%とよく聞こえて内容が伝わっているが、仙台・名取では 7.6%、山元では 7.3%と低くなっている」と、防災行政無線の差（障害発生や子局配置等）が背景にあると指摘した。幾度も報道された南三陸町職員遠藤未希さんに寄せられた「あの時の女性の声で無我夢中で高台に逃げた。あの放送がなければ今ごろ私は生きていなかったらう」という感謝のコメントは、多くの助かった町民の気持ちであることがわかる。

表 8.3 各地域の津波が襲う前に避難の呼びかけ／警報を聞いた割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
①事前に避難の呼びかけを聞いた	61.5%	55.7%	51.0%	65.6%	73.8%	22.4%	24.5%
②事前に警報を聞いた	51.0%	53.3%	54.8%	64.5%	77.4%	46.5%	29.1%
①－②	10.5%	2.4%	－3.8%	1.1%	－3.6%	－24.1%	－4.6%

さらに、前述した警報とこの避難情報との入手差を場所別に見たところ、誤差範囲内で同程度のところが多いものの、釜石では避難の呼びかけの方が 10 ポイント多く、逆に仙台・名取では 24 ポイントも少なかった（表 8.3）。ここでは「気象庁の警報等」よりも「市町村の避難指示等」のほうが少ないのが問題で、携帯各社の“緊急速報（エリア）メール”や総務省が推進しているマルチメディア振興センターの“公共情報コモンズ”の普及・活用を促進して、避難情報を警報と同じように携帯電話やラジオ・テレビなどの汎用媒体に載せて広く速報する取り組みが求められる。その際に大事なポイントは、どの市町村ももれなく足並みをそろえ、できるだけ均質な緊急情報を可及的速やかに送り出すことだ。落ちこぼれたところがあると、下手をすると安心情報に間違われるおそれがある。

そして、津波が来る前に避難し終わった人は 79.0%、当時居た場所に後に津波が到達したのも 80.9%とほぼ同数だった。だからこそ生き残れたというわけだろう。

近隣の他地域について見ると、事前に避難完了が 71.5%（山元）～94.9%（陸前高田）、津波襲来位置に居た 84.8%（山元）～96.5%（仙台・名取）で、さほど違わなかった。別の設問の回答をも踏まえて推測すると、仙台平野南部では“まさか”の津波だったが、津波に遭遇してもかろうじて逃げおおせ、ぎりぎり生き延びられたケースが多めだったのかもしれない。

避難した人に、いつ避難を始めたのかを細かく尋ねた結果は、地震の揺れが収まった直後にすでに半数近く、10 分後までに 2/3、30 分後には 9 割以上だった（図 8.13）。

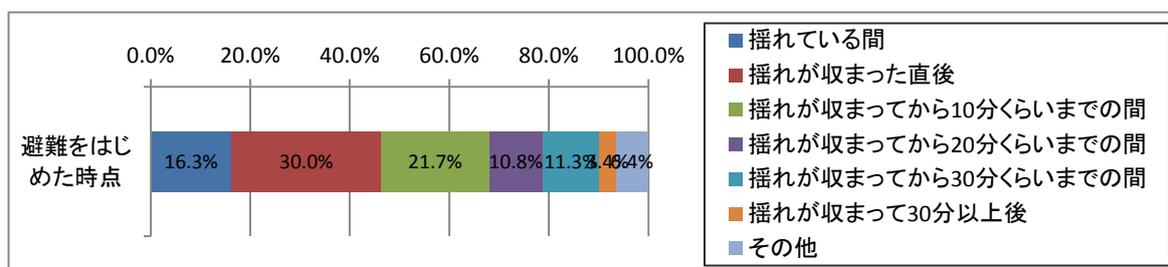


図 8.13 避難を始めたタイミング（問 10-2）

表 8.4 各地域の揺れが収まってから 10 分くらいまでの間に避難を始めた人の占める割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
揺れが収まって 10 分後までに避難	71.9%	73.2%	70.5%	52.2%	72.1%	54.2%	45.4%

これは他地域の調査における三陸沿岸の陸前高田や南三陸と近い割合で、仙台平野南部沿岸の仙台・名取、さらに山元では避難行動が出遅れ気味だった（表 8.4）。

また、前述の津波警報を知った時間帯と較べてもタイムラグはなく、警報や避難指示を受容してから判断したというよりも、揺れでとっさに避難モードに移り、併行して裏付け的に警報などを耳にした人が多かったようだ（図 8.14）。

住民が避難した理由は「地震の揺れの強さや長さがいつもとは違ったから」が一番多く 64.5%、同じような意味あいかもしれないが「津波が来ると直感したので」が 55.7%だった（MA、図 8.15）。その他の自由記

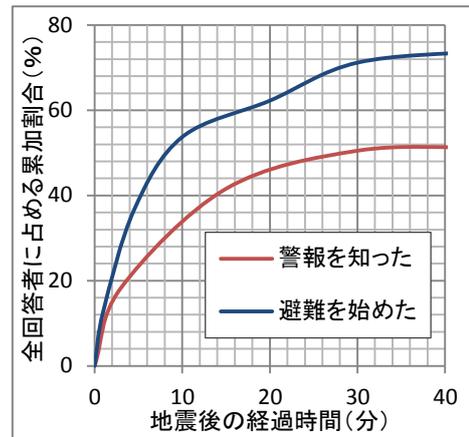


図 8.14 警報覚知と避難開始のタイミング (問 7-2,10-2)

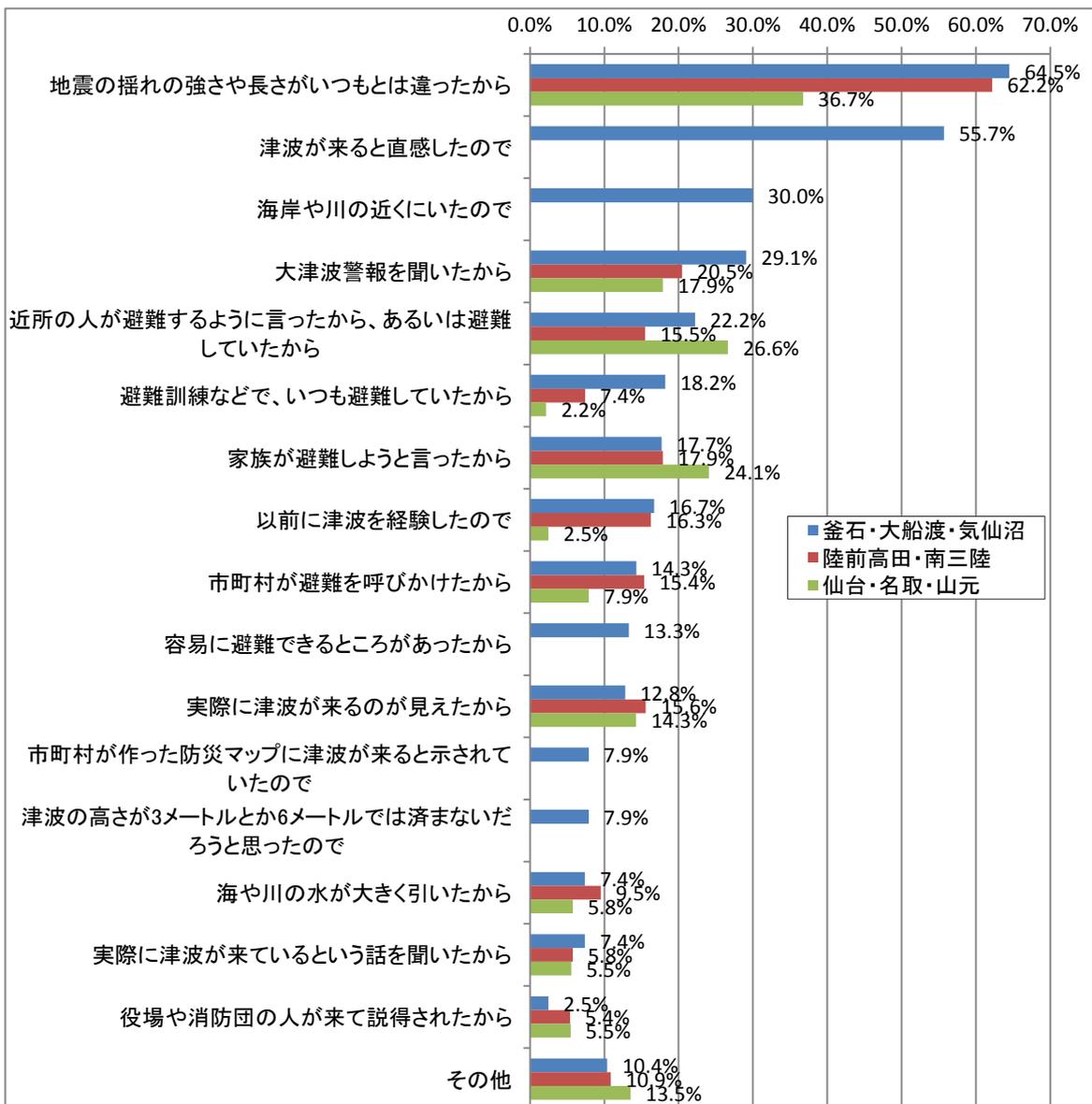


図 8.15 避難した理由 (問 10-3)

述では「父母から聞かされていた」「以前の津波災害経験」「避難誘導があった」「津波が来た」などがあった。つまり、第一に「地震の揺れから津波の危険を直感した」、第二に「周囲の人や行政機関から避難を促された」、第三に「現象そのものが確認された」というあたりだ。

回答の選択肢の設定に多少違いがあるが、他地域の類似調査結果と比べると、トップはいずれも「地震の揺れの強さや長さがいつもとは違ったから」だった。また傾向として、三陸沿岸ではこれまでの経験や訓練などに基づく自発的な避難の割合が多め、片や仙台平野南部は誰かに言われて他律的に避難した割合が多めだった。

三陸沿岸で助かった人は、やはり津波に対するリスク認識や対処法、つまり、群馬大学の片田敏孝教授の言う、自然の恵み豊かなこの地に住むための“お作法”を身につけていた。そして片田教授もよく引き合いに出される「津波（命）てんでんこ」の伝承効果もありそうで、山下文男さん、田畑ヨシさんらが長年続けてきた努力にも頭が下がる。

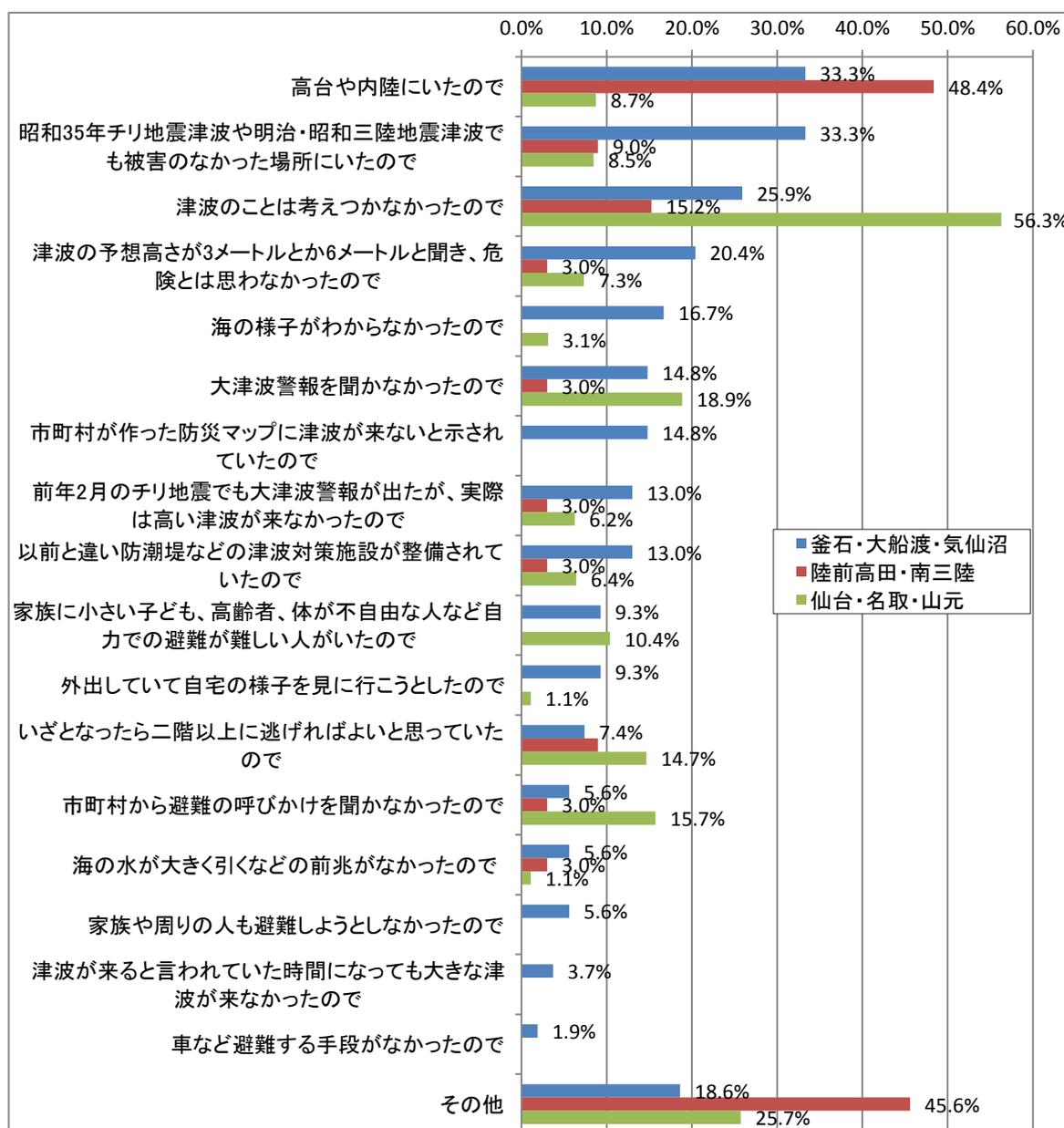


図 8.16 避難しなかった理由(問 10-1)

他方、避難しなかった理由は、「高台や内陸にいたので」と「昭和35年チリ地震津波や明治・昭和三陸地震津波でも被害のなかった場所にいたので」が33.3%と同率首位だった(MA、図8.16)。次いで「津波のことは考えつかなかったので(25.9%)」「津波の予想高さが3メートルとか6メートルと聞き、危険とは思わなかったので(20.4%)」などだった。その他の自由記述では「気づかなかった」「間に合わなかった」「海から離れたところに居た」などがあった。つまり、第一に「安全と思っていたところに居た」、第二に「こんな津波をイメージしなかった」、第三に「防災マップや予想高さ情報から安全と受け止めた」などが逃げない理由だった。よって、これらの避難抑制要因の解消が、今後の課題といえよう。

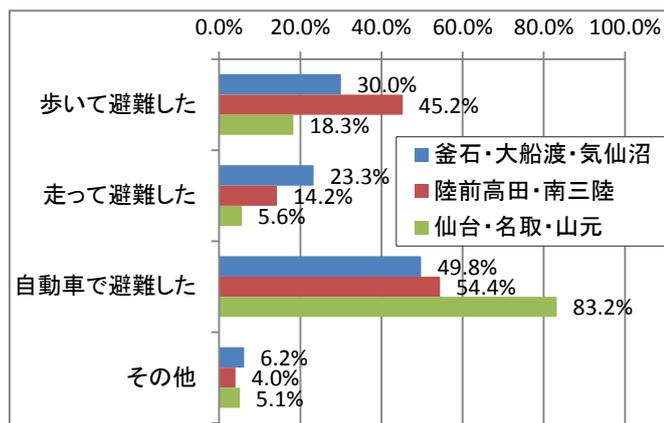


図 8.17 避難した方法(問 11)

また、回答の選択肢の設定に多少違いがあるが、他地域の類似調査結果と比べた場合、{陸前高田+南三陸}の上位は「高台や内陸に居たので(48.4%)」「津波のことは考え付かなかったので(15.2%)」、{仙台・名取+山元}の上位は「津波のことは考え付かなかったので(56.3%)」「大津波警報を聞かなかったので(18.9%)」だった。ここでもやはり、津波への備えの意識、そして防災行政無線子局整備等の、三陸沿岸とそれ以外の地域の差が出たのではなからうか。

それから、避難の手段は「歩いた+走った」と「自動車」がほぼ半々だった(MA、図8.17)。その他の自由記述としては「船(と徒歩や車)」「その場で待機」「自動車しかない」などがあった。避難を開始してから途中で手段を変えたケースはあまりなく、「自動車」→「歩いた+走った」が5.8%、その逆が2.1%だった。船や車で避難は、それ自体、財産保全を兼ねている意味合いも否定できない。

他地域の類似調査結果と比べると、三陸沿岸同士はそう違わなかったが、仙台平野南部沿岸は8割もが車避難だった。避難は原則徒歩でという話は浸透していると思われるが、個別の避難先、地形や、道路事情、財産保全、健常者の多寡など、多様な要因が絡んでいよう。

後日起きた避難事象だが、2012年12月7日夕刻、東北で最大震度5弱の余震(三陸沖地震)が発生し、1年8ヶ月ぶりに津波警報・注意報が出た。まだ記憶に新しく、たくさんの「車避難」がすばやく行われた。その結果、あちこちで激しい交通渋滞が起きた。このとき信号機は動いていたので、時間帯が悪かったとはいえ、東日本大震災時よりも条件はましなはずだ。幸い津波は最大で1メートルほどと小さく、逃げきれないでの人的被害はなかったが、教訓の負の作用が顕在化した。このような「ヒヤリ・ハット」事例を放置すべきではない。これから先、総合的な津波対策においてL2(最大規模)はソフト対策だとする以上、避難路などの整備が重要な鍵になるだろう。原子力防災の世界では、統制されずに群衆が殺到する行為を「パニック」とすぐ表現するが、「テロ」(秘密保護)とか「風評被害」同様、情報の隠ぺい操作を正当化する際の常套句になってしまっている。翻って「国土強靱化」はどうだろうか。かつて堆雪スペースを広くとった道路や峠のトンネル化などで雪深い地域の暮らし

に恩恵をもたらした公共事業があったが、実際に地域に役立つ避難対策をぜひ促進してほしい。そして、高台が離れている地形条件にある場合、一時避難先のビル・タワー・命山（築山）などを身近に整備し、移動中の人に対しては情報標示板やカーナビ（VICS）なども活用して即時情報提供ができないものだろうか。

それから、被災者が最初に避難した先は、指定避難場所とそれ以外の高いところがほぼ同数だった（図 8.18）。その他の自由回答には、「職場の上階」「学校」「病院」「屋根の上」など、そして「小泉中学校に避難したが、もっと高台ということで、中学校の生徒に引っぱられて高台に行った」と気仙沼市本吉町でも“釜石の奇跡”に近い出来事があった（小泉中学校は海拔約 24 メートルあり津波の浸水は免れた）。

近傍の類似調査結果と比較すると、仙台平野南部沿岸では、指定されていた避難場所の割合が多かった。おそらく地形的に“近くの高台や山”が少なかったせいだろう。そして、図 8.19 のように、避難する際、さほど問題は起きなかったようだ。「道路が混雑して思うように逃げられなかった（15.6%）」「繰り返しより安全な場所へと避難した（14.8%）」が、いくらか目立った（MA）。その他の自由回答にも生々しい記述がいくつもあり、「さらにもっと高いところまで逃げた」「信号が消えていた」「家の 2 階でなんとか」「間一髪逃れた」などがあった。

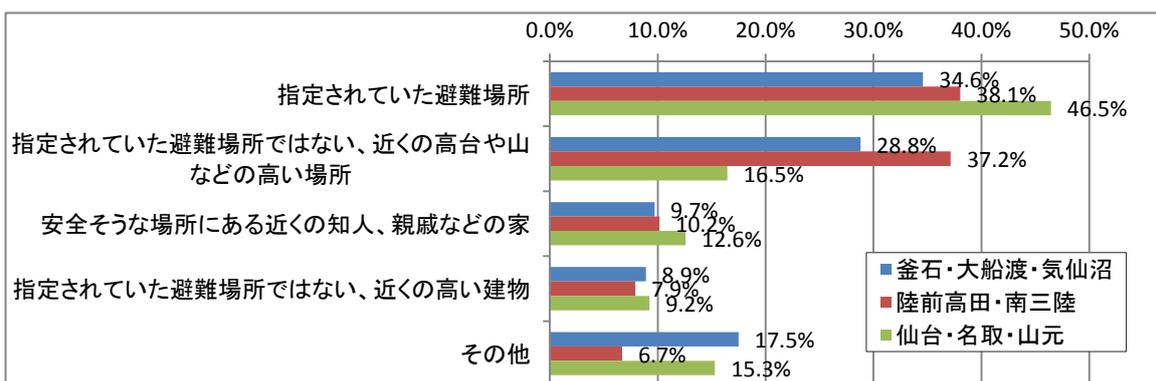


図 8.18 最初に避難した場所(問 12)

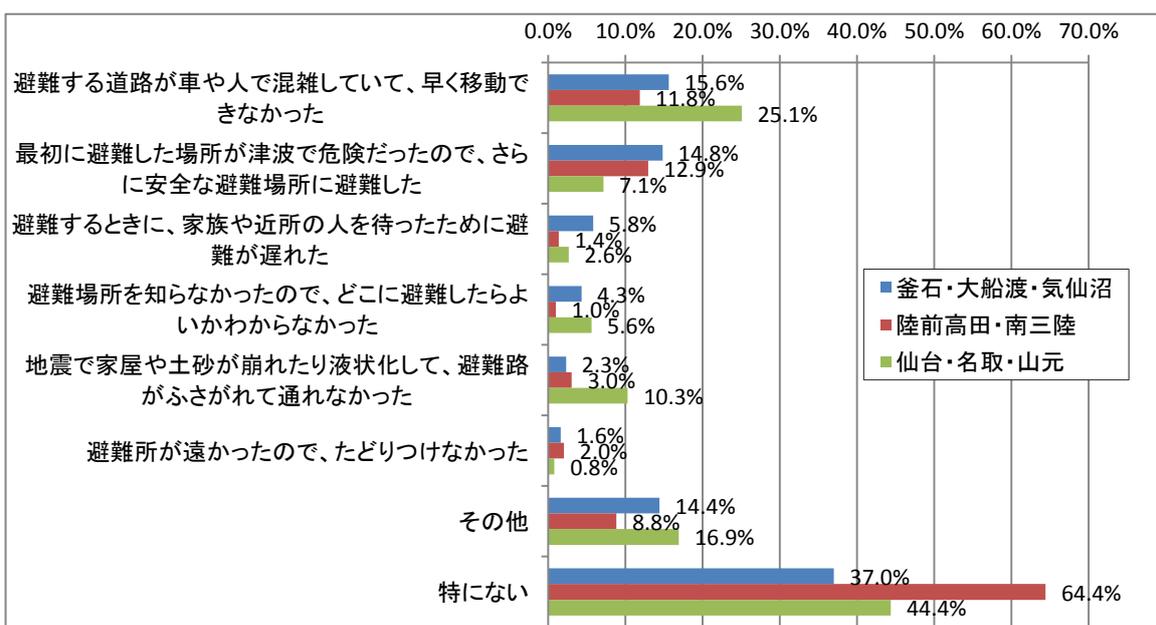


図 8.19 避難に際して発生した問題(問 13)

近傍の類似調査結果では、仙台平野南部沿岸で「信号が止まって渋滞した」が1/4 もあり多いのと、液状化現象等による避難経路の通行障害発生をあげる答が1割ほどあった。

自らの津波体験としては、安全な場所から津波を眺めていたがほぼ半数あり、1/4 程度の人が津波に遭遇したり間一髪で命が助かった（図 8.20）。

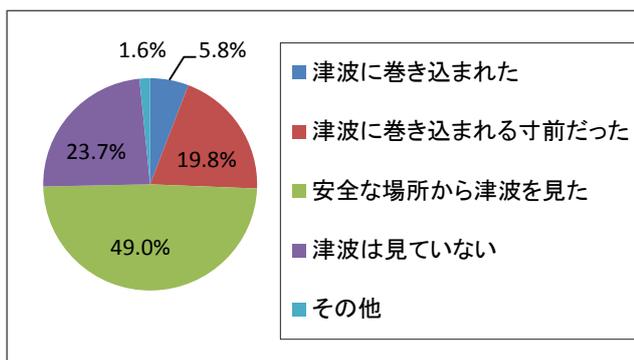


図 8.20 自身の津波体験(問 14)

この回答には表 8.5 に示すように地域差があり、大船渡～南三陸間がほぼ同様だったのに対し、釜石<仙台・名取<山元の順で、より際どい切迫した避難状況だった。

そして、結果的な津波襲来と避難のタイミングを細かく見ると、人によってさまざまで、一番多かったのが「避難をしてある程度時間がたってから、津波が来襲した」の 33.9%、次いで「避難をしてから数分もしないうちに、津波が来襲した」だった（図 8.21）。

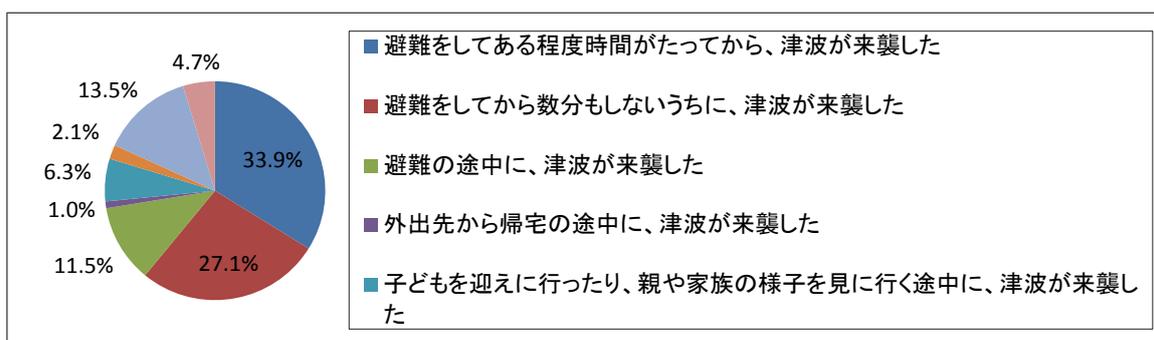


図 8.21 津波が来襲した時(問 14-1)

表 8.5 各地域の自身の津波体験の割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
津波に巻き込まれた	7.8%	5.3%	5.1%	6.3%	3.7%	12.9%	18.5%
安全な場所から津波を見た	31.4%	54.7%	61.1%	53.1%	53.7%	34.1%	29.8%

表 8.6 各地域の対応行動と津波来襲のタイミングの割合

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
避難をしてある程度時間がたってから、津波が来襲した	34.5%	33.6%	36.7%	46.2%	51.8%	30.6%	21.4%
避難をせずその場にいたところに津波が来襲した	10.3%	14.1%	2.9%	19.2%	0%	0.8%	7.1%

表 8.7 津波避難のタイプ(問 16)

	本調査	東洋大・日大調査
大きな地震を感じたら、何も考えず、すぐに避難するタイプ	49.0%	46.7%
津波警報や避難勧告など、情報を考慮して、避難するかどうか決めるタイプ	24.5%	20.1%
避難しようか迷っているうちに、津波警報や近所の人の勧めなどに背を押されて、避難するタイプ	6.6%	11.8%
避難しようか迷っているうちに、逃げ遅れるタイプ	3.1%	5.6%
津波のことは思い浮かばないで、逃げ遅れるタイプ	1.9%	6.7%
ここは大丈夫だと確信して、逃げ遅れるタイプ	10.1%	7.0%
その他	3.9%	2.0%

隣接する他の地域と両極端な回答同士抜き出して比較すると、南三陸が最も素早く避難したと山元がその反対、また、気仙沼が避難せずに津波に襲われた人の割合が多かった（表 8.6）。

続いて、自らの“避難のタイプ”を尋ねた。一番多かったのは「大きな地震を感じたら、何も考えず、すぐに避難するタイプ」で半数近くいた（表 8.7）。おそらく持って生まれた性格的な要因と、教育・訓練・啓発や体験など後天的な要因とが重なってタイプが決まろうが、津波警報が出てもしぜいぜい 1~2 割しか避難しない意識の低さ、かつての防災関係者の悩みはいったいどこへ行ったのだろうか。ここまで“避難志向”が強まったということは、今度はいよいよ避難できるかどうか、すなわち、具体的にどこへどうやって行けば安全的確に回避できるのかが問われよう。実際には、いつでもどこでも誰でも容易にスムーズに避難できるわけではないので、津波に限らず洪水や土砂や火山など各種進行性災害について、この機運の高まりが避難行動の実践として定着できるかどうか試される段階に入ったのではなかろうか。その他の自由記述では「家族の安否を確認し全員で避難する」「職場に従う」「どうしたらよいか分からなくて動けなくなる」「津波の無い所で育ったので怖さを知らない」などがあつた。土地勘がなく“お作法”を身につけていない入込客、出張者、転入者らはより要注意だ。

近傍の他地域と比べると、全体同士ではあまり違わなかったが、東洋大・日大アンケート調査では仙台平野南部を含むせいか、いくらか避難を躊躇する側のタイプに寄っていた。

以上のように、三陸沿岸より仙台平野南部沿岸で避難上の課題が多く見出された。この辺について、地域間で違いが際立った項目を抜き出してまとめると、表 8.8、図 8.22~8.23 となる。これらから読み取れることは、三陸沿岸は伝承や教育や訓練など従来からの防災・減災の取り組みが奏功したこと、そして条件の悪い仙台平野南部沿岸でより一層の津波対策の充実を図るべきことだ。すなわち、ソフト対策の中のハードウェアとして、防災行政無線の拡充、避難路の開設、そして身近な一時避難場所として津波避難ビルの指定、津波避難タワーや命山（ex. 静岡県袋井市「湊命山」）などの導入が待たれる。無論、ソフト対策の中のソフトウェアとして、教育や訓練などの日頃の啓発活動もこれまで以上に積極的に推進したい。

表 8.8 津波避難対応などに関する特徴的な地域差の一覧

	釜石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
津波が来る可能性があると感じ	67.9%	80.2%	77.0%	84.4%	72.3%	50.6%	35.7%
揺れてすぐに津波避難を始めた	35.8%	43.0%	26.1%	37.5%	42.1%	32.9%	13.2%
津波が襲う前に警報を聞いた	51.0%	53.3%	54.8%	64.5%	77.4%	46.5%	29.1%
津波警報を防災無線から聞いた	73.1%	75.0%	70.9%	75.0%	96.8%	20.2%	18.2%
津波前に避難の呼びかけを聞いた	61.5%	55.7%	51.0%	65.6%	73.8%	22.4%	24.5%
揺れが収まって 10 分後までに避難	71.9%	73.2%	70.5%	52.2%	72.1%	54.2%	45.4%
地震の揺れ方が避難した理由	61.8%	62.7%	60.4%	91.3%	63.9%	37.3%	36.1%
津波を連想せず避難しなかった理由	23.5%	27.6%	25.0%	25.0%	5.9%	58.8%	53.5%
自動車避難した	34.0%	55.5%	53.7%	69.0%	55.1%	76.5%	90.7%
指定避難場所以外の高台や山に避難	27.7%	33.1%	48.3%	20.7%	26.5%	7.2%	26.9%
道路が混雑して速く移動できなかった	6.7%	20.9%	12.1%	23.1%	11.6%	26.8%	23.1%
津波に巻き込まれた	7.8%	5.3%	5.1%	6.3%	3.7%	12.9%	18.5%
安全な場所から津波を見た	31.4%	54.7%	61.1%	53.1%	53.7%	34.1%	29.8%
避難していつときから津波が来襲	34.5%	33.6%	36.7%	46.2%	51.8%	30.6%	21.4%
地震で何も考えずすぐ避難するタイプ	50.9%	50.6%	48.4%	40.0%	59.1%	48.2%	29.8%
取材・報道が少なく不公平感を覚えた	22.6%	18.6%	10.2%	34.4%	9.8%	33.5%	55.6%

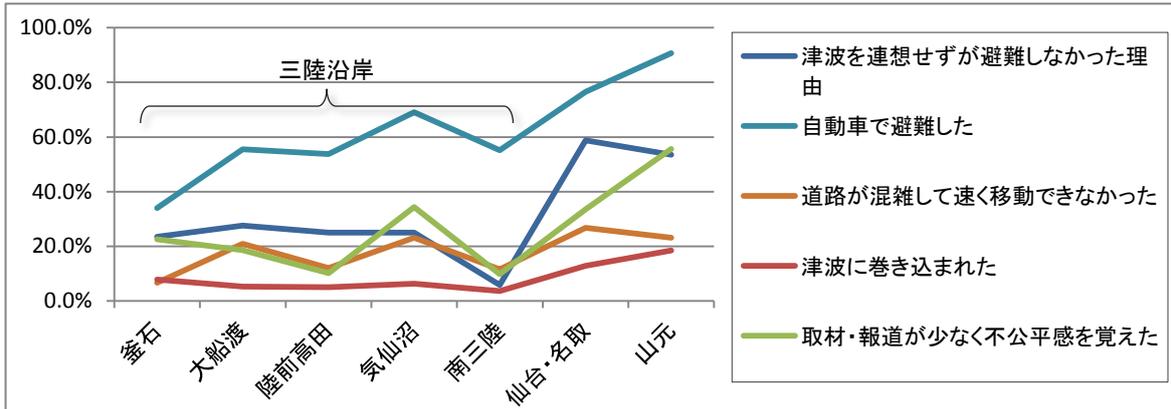


図 8.22 津波避難対応などに関する特徴的な地域差(仙台平野南部沿岸のほうが多い項目)

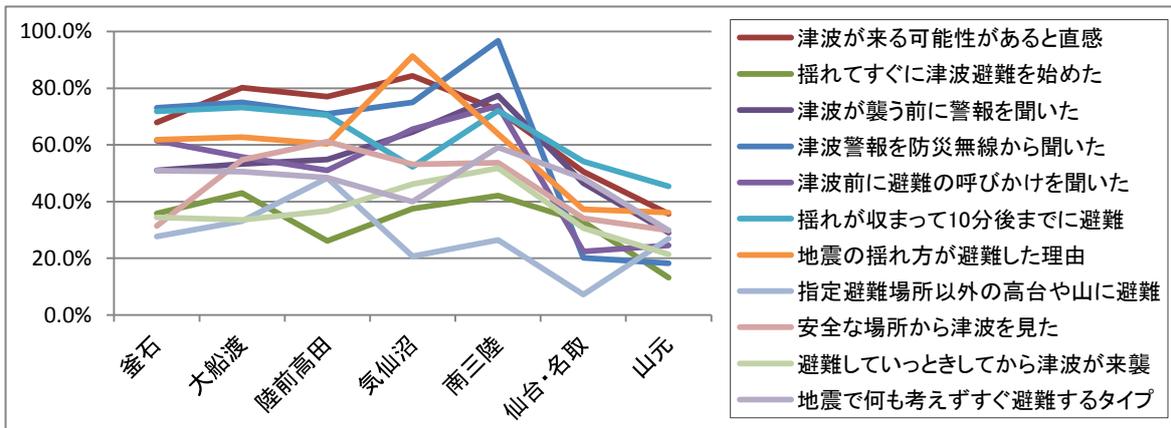


図 8.23 津波避難対応などに関する特徴的な地域差(三陸沿岸のほうが多い項目)

なお、震災前に市から配られた津波防災マップに関しては、「自宅の危険を認識した」が36.2%、「見ていない」が24.9%などだった(図 8.24)。「自宅に危険性がないことがわかった」の9.7%が問題といえるが、実際にはマップをあてにせずに逃げた(別問でも安全だと思っていたという答はありつつも逃げなかった理由としてあげた答は僅か)からよかったものの、現に予測に反して自宅が被災したため、いま仮設住宅などで暮らしている。よって、単なるハザードマップの配布自体では、正負いずれの効果もあまり感じられなかった。津波浸水想定を題材に、津波と避難を考えるきっかけとしたり、わがまちマップづくりなどの取り組みをセットにしたい。今回の実績と以前の防災マップの食い違いなども、理解の促進につながるよい教材といえるだろう。

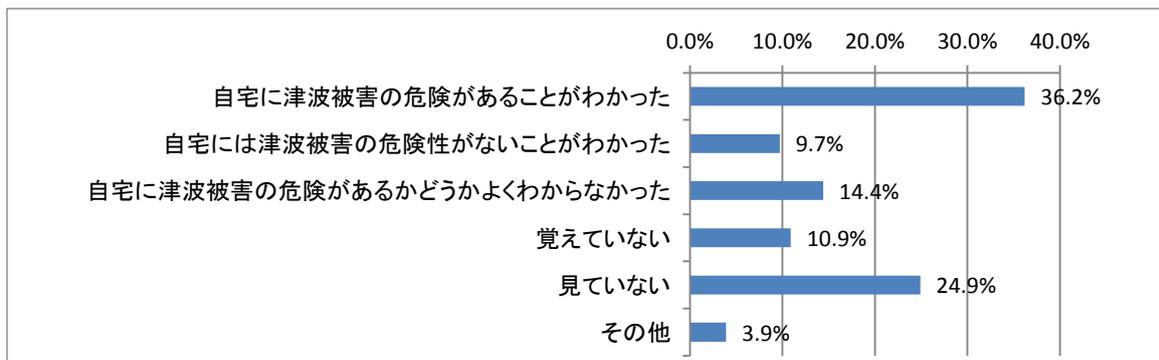


図 8.24 地震前に津波防災マップを見てどう思ったか

8.2.5. 知りたかった情報

(1) 直後数日間

東日本大震災発生直後の数日間、回答者が最も知りたかった情報は「家族や知人の安否」の82.5%だった（MA、図 8.25）。

周辺の津波被災地で東洋大・日大が実施した類似アンケート調査でもトップで、66.0～72.9%の人が選んだ。

初期に安否情報のニーズが高いのは既往の大災害でも同じだが、とくに今回、大津波で太平洋沿岸が広範囲に深く浸水し、押し波と引き波の繰り返しで押し流され、もと居た所が壊滅したこと、発生時刻が平日の日中で家から各々出かけていがないこと、道路交通が寸断され電気や情報通信が長時間広域で途絶し容易に連絡がとれなかったこと、役場等が被災して行政機関も大きな痛手を負ったこと、実際に人的被害が大きく行方不明者が多かったことなどに起因していよう。

家族間でも、図 8.26 にあるように、2 日経ってようやく半数と、なかなか全員の安否確認ができなかった。

家族や知人の安否情報を得た手段は、“人づて”が6割近く、次いで各避難所の掲示が2割だった（MA）。電話がつかない大災害時、自らの安否を家族に伝える仕組みである固定電話の“災害用伝言ダイヤル（171）”を使ったのは7.8%、携帯電話の“災害用伝言板”を使ったのは4.7%と少数だった。通信インフラの利用が前提になった現代にあつて、被災地では日頃あたりまえだった機能が喪失し、テレ

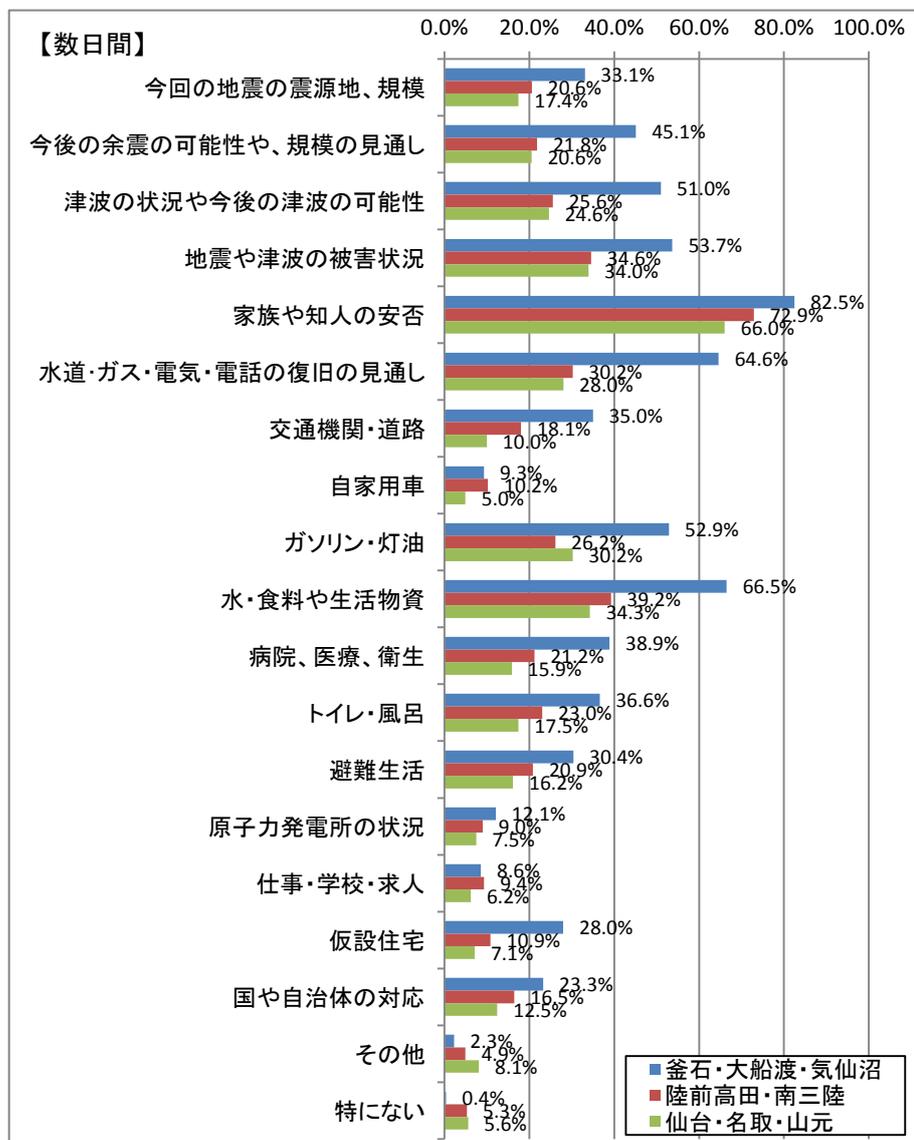


図 8.25 発災数日間の情報ニーズ（問 18）

ンは思うに任せな
 かった。それでも、
 安否情報を伝え続
 けた地元紙やラジ
 オ局への感謝の言
 葉は少なくなく、
 テレビの取材で画

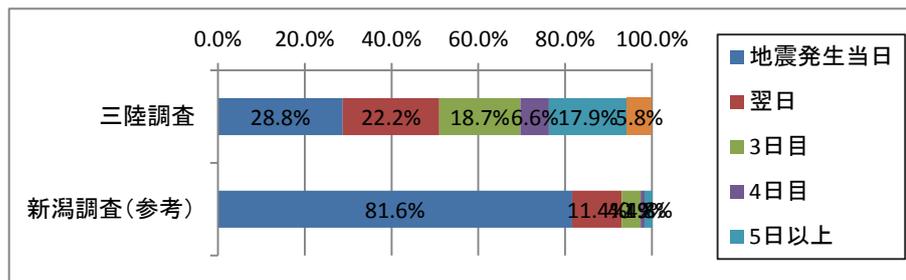


図 8.26 家族全員の安否がわかるまでの所要日数(問 21)

面に映ったお陰で無事が伝わったとの記述も複数あった。

また発災当初、安否情報に次いでニーズが高かったのは「水・食料や生活物資」に関する情報で、どの地域でも共通だった(表 8.9)。3~5位は、地域間で順番が多少前後しているものの、ライフラインの復旧見込み、地震や津波の被害、燃油が揃って並んだ。放送局もライフライン事業者もみな確保に苦労したが、広域かつ激甚な複合災害に伴う物資の供給不足は、ガソリンや軽油にも及んだ。その他の自由回答では、老人がどう対応すればよいかの情報が欲しかったと結構書かれており、(選択肢に漏れていたことを)なるほどと思わされた。

表 8.9 発災直後数日間の情報ニーズ上位 5 位(問 18)

順位	釜石・大船渡・気仙沼	陸前高田・南三陸	仙台・名取・山元
1	家族や知人の安否(82.5%)	家族や知人の安否(72.9%)	家族や知人の安否(66.0%)
2	水・食料や生活物資(66.5%)	水・食料や生活物資(39.2%)	水・食料や生活物資(34.3%)
3	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(64.6%)	地震や津波の被害状況(34.6%)	地震や津波の被害状況(34.0%)
4	地震や津波の被害状況(53.7%)	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(30.2%)	ガソリン・灯油(30.2%)
5	ガソリン・灯油(52.9%)	ガソリン・灯油(26.2%)	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(28.0%)

なお、図 8.25 や次の図 8.27 で見られるが、東洋大・日大調査は訪問面接法で行っていて、MA(複数回答)の場合、回答数がやや少な目を選択されている感じがしなくもなかった。

(2) 1ヶ月後時点

発災から1ヶ月経った時点の被災者の情報ニーズは、ライフラインの復旧見通しが63.0%とトップで、当初と比べて、安否確認、地震・津波の現象や被害情報などが減り、避難生活や仮設住宅、仕事・学校、行政の対応などが増えた(MA、図 8.27)。

地域によりいくらか差があるが、水や食料、ライフライン、仮設住宅、燃油など、生活に関連する情報項目がニーズの上位を占めた(表 8.10)。

表 8.11 NTT 東日本の被害状況(東日本大震災における復旧活動の軌跡, NTT 東日本, 2011.11 より)

項目	東日本大震災	阪神・淡路大震災	
ピーク時のトラヒック	約9倍	約50倍	
機能停止ビル	385ビル	—	
リ障回数	約150万	約28.5万	
サービス回復に要した期間	約50日(原発エリア、避難エリア除く)	約2週間(ビル・家屋の全壊、焼失以外)	
設備被害	中継伝送路	約90ルート(原発エリア除く)	—
	通信建物	全壊16ビル、浸水12ビル ^{#2}	—
	電柱	約28,000本(沿岸部) ^{#2}	約3,600本
	架空ケーブル	約2,700km(沿岸部) ^{#2}	約330km

なお、アンケート調査地区の電気の障害発生期間は約4週間、固定電話は7～8週間、携帯電話は2～3週間平均だった。

東京大学の廣井脩教授らが、1995年阪神・淡路大震災の際、神戸市と西宮市で調査した結果と比べると、情報ニーズの変化がスローペースに感じる。阪神では津波被害が無く、都市型で激甚な被災エリアが比較的まとまっていたこと、新たに地盤の嵩上げや高い防潮堤など大型の基盤整備が要らなかったことなどにより、タイムスケールに差がついたのかもしれない。

その他の自由回答では「2ヶ月くらいはただ茫然」「慣れるのに精一杯」「住宅ローンが…」などの記載が目にとまった。

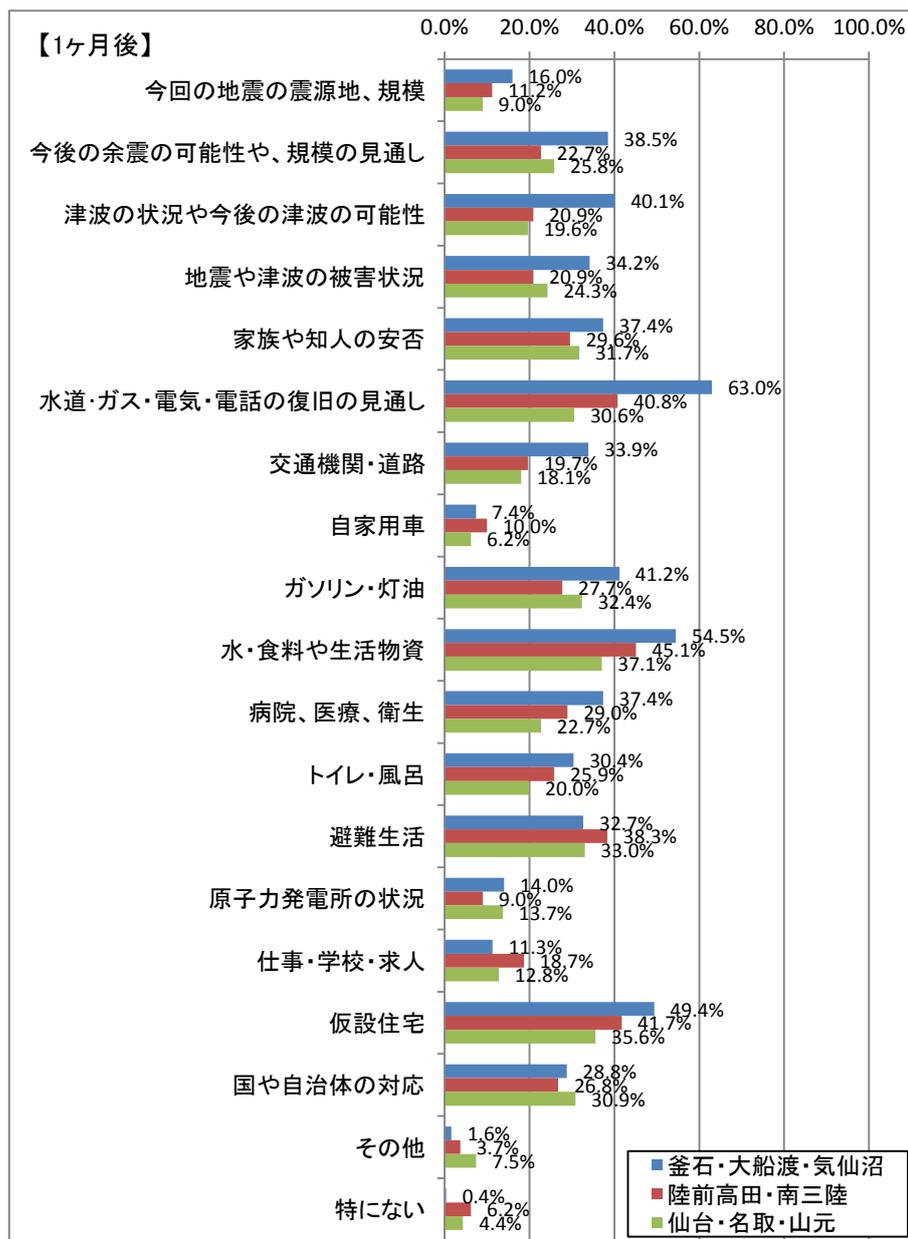


図 8.27 発災 1 ヶ月後の情報ニーズ(問 23)

表 8.10 発災 1 ヶ月後の情報ニーズ上位 5 位(問 23)

順位	釜石・大船渡・気仙沼	陸前高田・南三陸	仙台・名取・山元
1	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(63.0%)	水・食料や生活物資(45.1%)	水・食料や生活物資(37.1%)
2	水・食料や生活物資(54.5%)	仮設住宅(41.7%)	仮設住宅(35.6%)
3	仮設住宅(49.4%)	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(40.8%)	避難生活(33.0%)
4	ガソリン・灯油(41.2%)	避難生活(38.3%)	ガソリン・灯油(32.4%)
5	津波の状況や今後の津波の可能性(40.1%)	家族や知人の安否(29.6%)	家族や知人の安否(31.7%)

(3) 調査時点（発災1年余後）

被災者が発災1年余後の調査時点で知りたかった情報は、復旧・復興・生活再建が最多の77.4%、次いで経済的支援、国や自治体の対応などの順だった（MA、図8.28）。発災当初のように情報が寸断されて届かないというよりは、先々大きな不安を抱いていてはつきりしない項目を「知りたい」としたようだ。その他の自由回答にも「高台移転」「公営住宅」などがあつた。なお、辛いことに家族や知人の安否がまだ5.1%あつた。

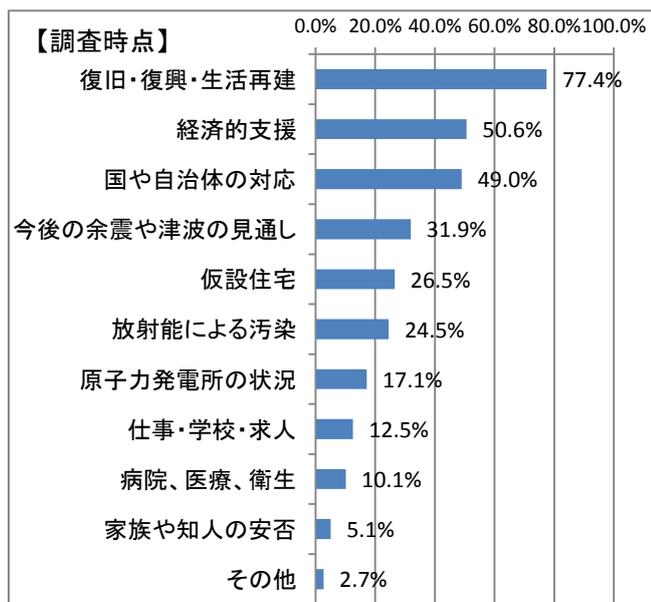


図 8.28 発災1年余後（調査時点）の情報ニーズ（問25）

地震後数日間、1ヶ月後、調査時点の3時期の情報ニーズ上位を比較すると、ひとまず生き抜くために必要な衣食住については時間の経過とともに徐々に落ち着いていったが、なかなか元どおりには戻れず、将来の暮らし向きがどうなるか不安山積へと遷移したようだ（表8.12）。

表 8.12 情報ニーズ上位5位の推移

順位	発災から数日間	発災1ヶ月後	調査時点（発災1年余後）
1	家族や知人の安否(82.5%)	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(63.0%)	復旧・復興・生活再建(77.4%)
2	水・食料や生活物資(66.5%)	水・食料や生活物資(54.5%)	経済的支援(50.6%)
3	水道・ガス・電気・電話の復旧の見通し(64.6%)	仮設住宅(49.4%)	国や自治体の対応(49.0%)
4	地震や津波の被害状況(53.7%)	ガソリン・灯油(41.2%)	今後の余震や津波の見通し(31.9%)
5	ガソリン・灯油(52.9%)	津波の状況や今後の津波の可能性(40.1%)	仮設住宅(26.5%)

8.2.6. 情報と得るのに役立つ伝達媒体

東日本大震災で災害情報を得るのに役立つメディアは、直後：ラジオ（停電中に被害状況を把握）、1ヶ月後：テレビ≒新聞>ラジオ、1年余後：テレビ>新聞>ラジオの順だった（MA、表8.13）。1年余後の調査時点ではすでに電気も通信も回復しているが、ネットで災害情報を得るとい層は1割ほどにとどまり、伝統的な三者以外の媒体をあげる回答は少なかった。役に立った新聞は、東海新報や三陸新報など地元の地域紙が半数を占めた。

表 8.13 情報を得るのに役立つ手段（上位5番目まで）

順位	震災から数日間	1ヶ月後	1年余後（調査時点）
1	ラジオ(70.0%)	新聞(66.5%)	テレビ(83.7%)
2	新聞(43.6%)	テレビ(63.4%)	新聞(62.6%)
3	掲示やチラシ(31.1%)	ラジオ(52.5%)	ラジオ(34.6%)
4	テレビ(25.7%)	掲示やチラシ(38.1%)	防災行政無線(19.8%)
5	口コミ(14.4%)	携帯電話の通話(20.2%)	携帯エリアメール(11.7%)

携帯エリアメールは、震災発生当時、NTT ドコモの災害・避難情報（地方自治体と1社が有償契約）に限られ、被災地では気仙沼市だけとほとんど普及していなかった。今では全キャリア揃って無償サービスを始めたことで格段に利用が広がっており、字数に限りがある（215～515文字）テキスト情報のみだが、身の回りの機器に行った先々のアラートがプッシュされるため、先々、初動期などで上位に顔を出そう。

また、3時期の有用な媒体の推移からは、当時使うことができた情報伝達手段、あるいは代替手段との関連性が認められた。すなわち、テレビは、当初、被災地で電源や受像機等が失われていたため据置型が使えず、回復するにしたがって本来の主役の座へと返り咲いた。新聞は、直後にはダメージがあったものの、1ヶ月後からは6割台をキープ。そしてラジオは、初期段階において明らかに他を圧倒する7割と“災害直後の強さ”をいかんなく発揮し、その後は1/2→1/3へと下がった。自由回答記述でも、直後において「停電時のラジオ」は複数あり、ほかには「遠くに居る家族からの知らせ」などが記されていた。

平均視聴状況は、テレビは震災後数日間を除いてほぼ毎日4.2時間、ラジオはほぼ毎日6.6→4.3→3.4時間、新聞はほぼ毎日2.8→2.5→2.2時間だった（表8.14）。

表 8.14 テレビ・ラジオ・新聞を見聞きした状況(最も多かった回答を抽出、問 28)

媒体	テレビ	ラジオ	新聞	災害 FM ラジオ
地震発生後数日間	見聞きせず(37.0%)	ほぼ毎日(44.0%)	ほぼ毎日(29.2%)	—
平均視聴時間数(hr.)	—	6.6	2.8	—
地震から1か月後	ほぼ毎日(52.5%)	ほぼ毎日(31.5%)	ほぼ毎日(45.1%)	見聞きせず(25.7%)
平均視聴時間数(hr.)	4.2	4.3	2.5	—
調査時点	ほぼ毎日(83.3%)	ほぼ毎日(23.3%)	ほぼ毎日(57.2%)	見聞きせず(32.7%)
平均視聴時間数(hr.)	4.2	3.4	2.2	—

当初の数日間、ラジオのどんな情報が役に立ったか尋ねたところ、①「被害の状況(66.7%)」②「津波の状況(55.0%)」③「安否情報(44.4%)」④「生活情報(39.4%)」の順だった(MA)。前述した発災当初の情報ニーズ(③>④>①>②>50%)に近いが、ごく身近な細かな情報まではさすがのラジオも十分に伝えられなかったようだ。サービスエリアのカバー状況に依存する面もあるが、役立ったとするラジオ局名はNHKとIBCとの答が多かった。

ちなみに、受信対策として被災地にラジオを送る取り組みがなされ、電機メーカーから40千台、経産省(NHKが配布)から8千台、民放ラジオ局から5千台、各局がリスナーに提供を呼びかけて12千台などの数に及んだという。NHKが電機メーカーから提供を受けたテレビを避難所に設置した台数が4百台弱ということなので、オーダーが違った。

さらに1ヶ月後時点でとくに役立ったメディア名は、「NHK テレビ(55.7%)」「東海新報(39.2%)」「NHK ラジオ(29.0%)」「民放テレビ(27.8%)」「岩手日報(27.1%)」などだった(MA)。役立った新聞は、時期に関わらず、地元の地域紙(東海新報や三陸新報など)が4割、地方紙(岩手日報や河北新報など)が3割、全国紙が2割前後で、おそらく販売シェアに近い感じなのではなかろうか。

なおテレビのL字やテロップ情報は、およそ2/3の人が役立ったと高く評価しているが、地デジのデータ放送は僅かしか視られていなかった。これは、激甚被災3県でアナログ放送が2012年3月末まで延長されたことも影響していよう。

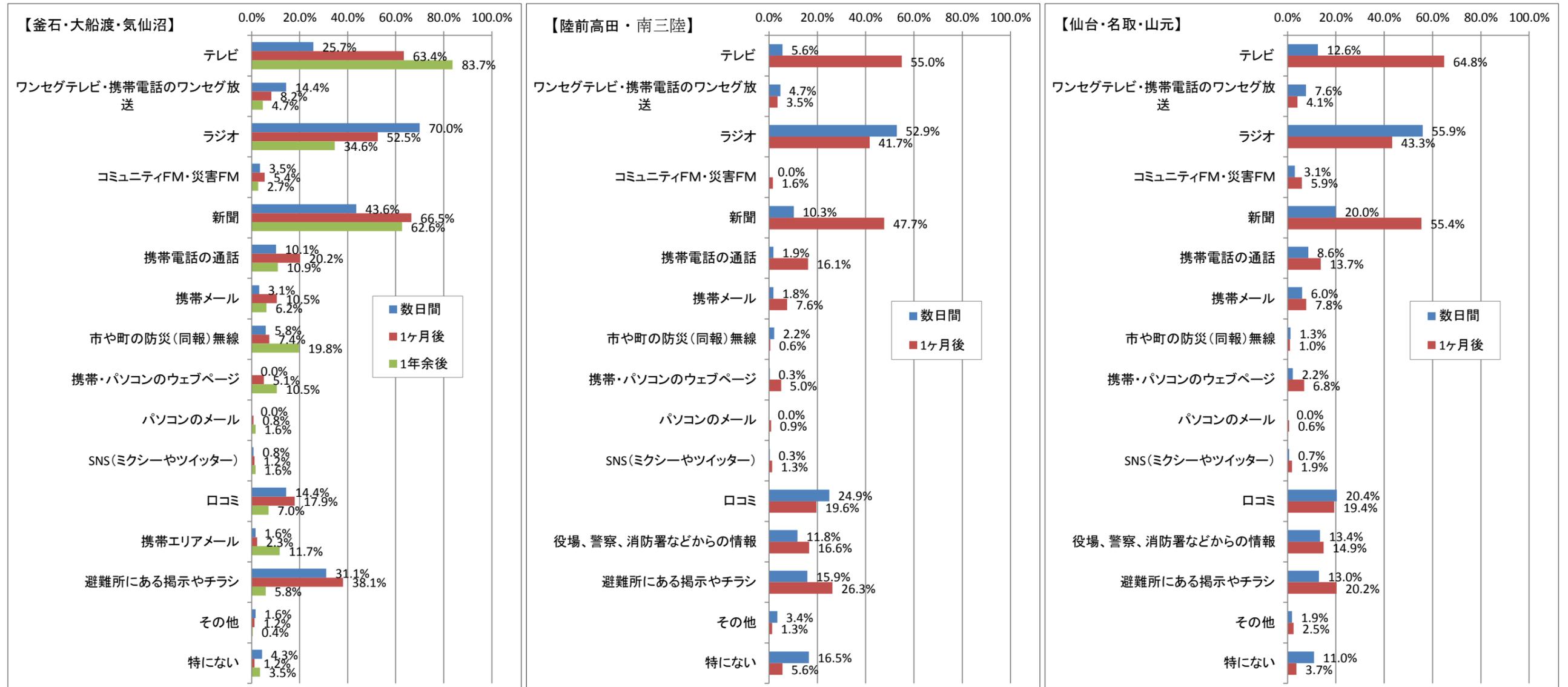


図 8.29 情報を得るのに役立つ手段(問 19, 24, 26)

放送と新聞のレガシー・メディア以外をあげた回答はいずれも少なく、とくに IT 系のツールが被災地内では思いのほか役立っていなかった。察するに、回答者に高齢層が多く、リテラシーや接続環境の問題、さらに危機に直面した福島の若い母親層で顕著にみられた能動的な情報収集姿勢の有無が影響していよう。

そのような中、避難所等にある掲示やチラシが、初めの頃には役立った。やはり震災直後は原始的なアナログな媒体、おそらく避難所等における口頭のアナウンスなどもそれに相当しよう。

そして、携帯電話や防災行政無線は、復旧していくにつれて次第に評価が増した。ともかく前提となるのが電気、そして通信・放送インフラであり、これらのいっそうの強靱化が待たれる。

さらに、震災から数日間・1ヶ月後について、東洋大・日大による類似アンケート調査と比較すると、地域差はあまりなく、どこも概ね同じような傾向が認められた(図 8.29)。

震災後における変化、つまり震災を教訓にしたサービスの改善としては、携帯電話・PHS に関して、前述の①緊急速報メール(NTT ドコモ、au、ソフトバンクモバイル、イー・モバイル、ウィルコム社の全キ

ャリアが緊急地震速報や津波警報、国や地方自治体が配信する災害・避難情報を無償提供し始めた)、②災害用音声お届けサービス(全キャリアの携帯電話番号で音声メッセージが送受信できるようになった)、③災害用伝言板の横断検索機能(携帯電話・PHS の全事業者および NTT 東・西の伝言板が一度で検索できるようになった、さらに NHK や郵便局を含む J-anpi にも発展)などがあげられる。

ネットに関しては、Google や Yahoo などのポータルサイト、Twitter や Facebook など SNS の有効性を目の当たりにし、遠隔サーバを活用するクラウド形態がいっそう進展した。

あと今回忘れてはならないのは、長期間にわたる広域停電が、放送の中継設備や携帯の中継局などの継続の弱点となり、緊急・応急対応の動きに幅広くダメージを与えたことだ。この反省から、BCP 対応の一環として、バッテリーや自家発電装置、ガソリン等燃料の確保と備蓄が増強された。

今後は、ネットメディアがいっそう発達し、ポータブルラジオライクな特性をもつ携帯電話・スマートフォンやモバイル放送が優位になる時代が来るかもしれない。

8.2.7. 信頼できる情報源

東日本大震災での経験を踏まえた信頼できる情報源を尋ねたところ、圧倒的にテレビ・ラジオで84.4%、次いで新聞49.8%という答だった（MA、図8.30）。ネットなどへはそもそもアクセスが少なく、国からの情報へは不信感を抱いたようだ。ちなみに東京電力福島第一原発事故で福島県から新潟県へ広域避難している方に同様に尋ねたところ、テレビ・ラジオは37.7%、新聞26.3%、行政機関2.6%で、伝統的なマスメディアおよび行政に対する信用評価が、かなり低い側になり食い違った。

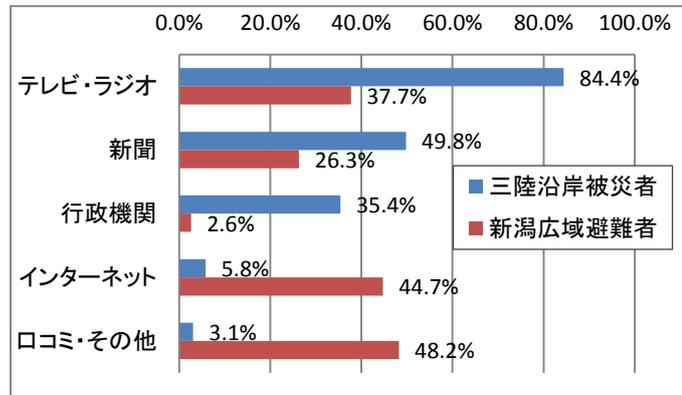


図 8.30 信頼できる情報源(問 30)

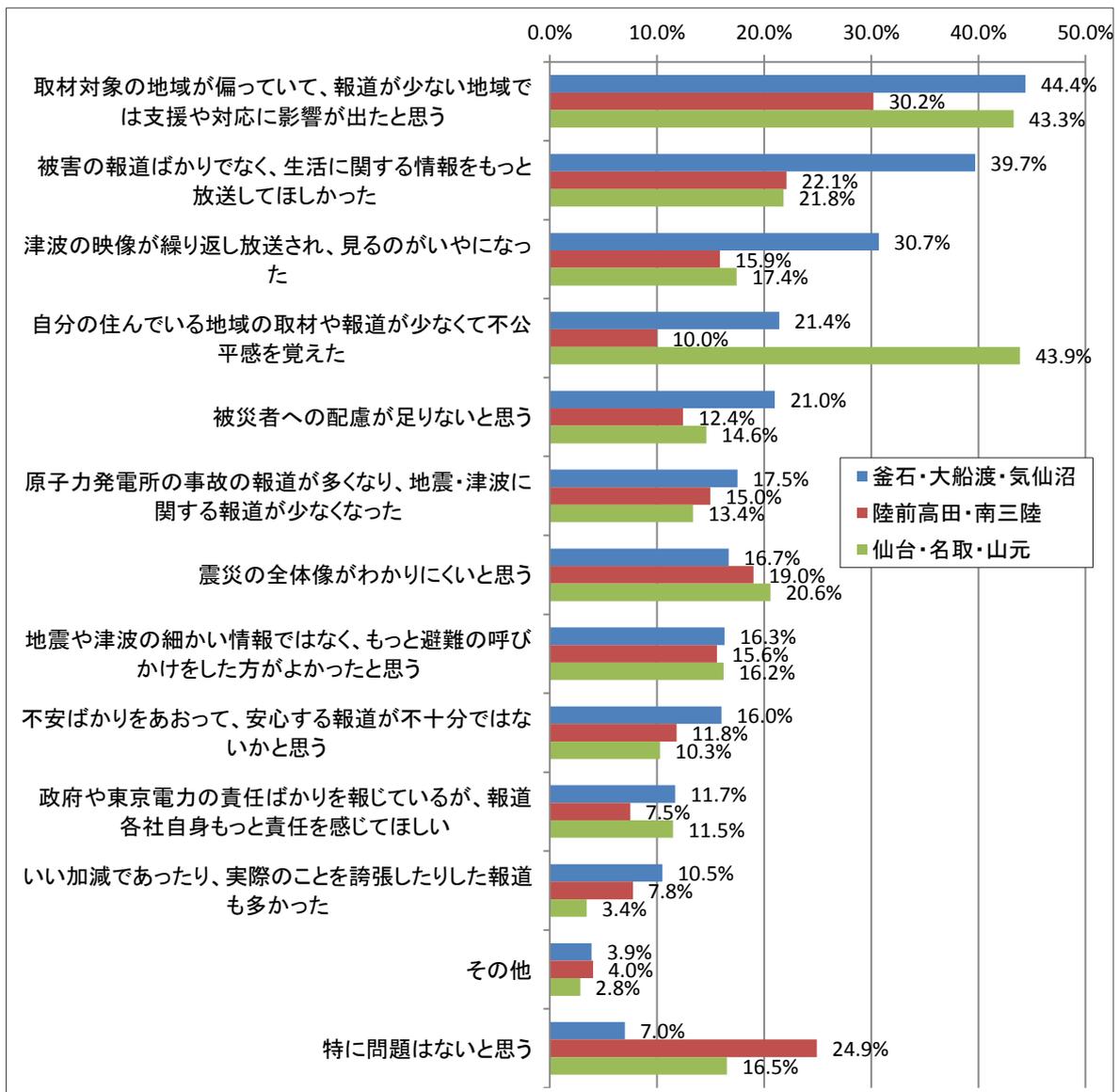


図 8.31 震災の報道に対する評価(問 29)

8.2.8. 報道への評価

震災報道への評価や注文は、「取材対象地域が偏っていて、報道が少ない地域では支援や対応に影響が出たと思う」が44.4%といちばん多かった（MA、図 8.31）。周辺の津波被災地で東洋大・日大が実施した類似アンケート調査でも同様に、仙台平野南部沿岸（仙台・名取・山元）において「自分の住んでいる地域の取材や報道が少なく不公平感を覚えた」が43.9%、とくに山元町単独では55.6%にまで達し、不公平感が顕著だった（表 8.15）。逆に、南三陸、陸前高田、大船渡などは偏りに対する不満は少なかった。津波で有名な三陸沿岸部に比べて全般にメディアの取材が低調になり、中でも仙台市の中心部から離れた山元町は埋没気味だったようだ。この山元町では、震災からわずか10日後の3月21日、災害臨時エフエム放送局「りんごラジオ」が新たに立ち上げられ、元東北放送アナウンサー高橋厚氏らの手で、被災者や避難者、町外者に向けて、タイムリーなローカルニュースの提供が始まった。

表 8.15 報道の地域間格差に対する問題意識

	金石	大船渡	陸前高田	気仙沼	南三陸	仙台・名取	山元
取材対象の地域が偏っていて、報道が少ない地域では支援や対応に影響が出たと思う	50.9%	37.2%	27.4%	71.9%	32.9%	40.0%	47.0%
自分の住んでいる地域の取材や報道が少なく不公平感を覚えた	22.6%	18.6%	10.2%	34.4%	9.8%	33.5%	55.6%
災害臨時エフエム放送局の開局日	4/7	3/28	12/10	3/22	5/17	4/7	3/21

報道の地域偏在から派生する問題は、①安否情報や支援物資情報、ボランティア募集などは各社が手分けすることでバランスよく伝えられないか、②救援物資や義援金の集め方、配り方の側に工夫する余地はないものか、と思う。

回答の二番手は「被害の報道ばかりでなく、生活に関する情報をもっと放送してほしい」の39.7%だった。この傾向は、どの地域でも同じようだった。マスメディアも、全国的な応援態勢をとり奮闘したが、あまりにも広域で壊滅的な被害を前に、取材のための人員・機材・手段などに限りがあって、被災者の身近な生活ニーズにまで応えることは困難だった。より狭いエリアの暮らしに密着したローカルメディアが、場所場所で役立っていた。

その他の記述では「同じCMばかり流れていて耳に残った、それが震災時のイメージとなりテレビが嫌になった」「報道各社はこのような災害時は協力して、安否情報や物資情報などバラバラでなく一律で継続して報道し、被災者と被災地の支援中心に報道すべき。各放送局が競って被災地を報道して、記者魂が発揮されているが何か空しく思えた」などがあつた。

そして「このたびの震災における、テレビ・ラジオ・新聞などの報道で、よかった点・悪かった点などがありましたら、自由にお答えください」と尋ねたところ、表 8.16～8.18 のとおり、功罪相半ばする意見がたくさん並んだ。

表 8.16 報道に対してよかったという自由回答例(問 31)

「ラジオの情報がよかった。停電があり、テレビが見られない」
「電気、テレビ、ケイタイ、電話使えないので困った。ラジオが一番役だった」
「ラジオはTVが映らない時は本当に助かった。余震の情報がすぐ聞けたので。ラジオが一番」
「ラジオでの被災状況がずーっと聞けたこと（地震直後から聞けた）」
「しばらくの間、ラジオの情報だけが頼りで有難かった」

「ラジオで避難者の場所が放送されて良かった」

「県内の細かい情報がラジオで流れたので良かった」

「24時間ラジオを利用され、色々な報道を聞くことができて本当にありがたかった」

「ラジオは山の中でも役に立つ。ラジオの価値がとても大きいと感じた」

「ラジオで知人の安否がわかったこと」

「しばらく電気のない生活の中でラジオはすごく助かった。安否情報など、遠くの被害状況などが分かったから」

「電気が使えなかったので、ラジオと新聞で情報が得られたので良かったと思う」

「電気が通っていなかったので避難所では見れなかったが、安否取材を受けたため県内の親族・知人に見てもらえることができ、安心したと後日分かった」

「遠くから釜石に来ていたので、自分の妹弟達友人に知らせてもらえて良かった。皆んなに無事を知らせることができたので」

「地域新聞の安否情報掲載は良かった。テレビの朝の番組で震災後の現在でも色々な地域の体験や生活状況をみると伝えたいという心情が伝わり気持ち的に楽になった（1年たった今も）」

「岩手放送には感謝している。安否確認など素早くやってもらった」

「地域新聞の安否情報掲載は良かった」

「東海新報などの特別版が毎日見れて良かった。今の状況、状態がわかりやすかった。安否情報も良かった」

「避難所へ各新聞社から無料配布された紙面情報が、非常に役立った」

「地域の情報は地元紙が一番良いと思った。やはり地方では自分達の居る地方新聞が一番だと思う」

「しばらくの間電気がないため、頼りにするのは新聞だけだったのでよかった。電気、交通機関等のライフラインが不能だったのが、現在になっても残念に思っている。今後のためにも未然にこのようなことが起こらないように…」

「連日テレビで災害について取り上げてくれてよかったと思う。知りたい情報をたくさん伝えてくれて有難かった」

「他の地域の情報がわかってよかった」

「自分の住んでいる町の報道が多かったのでよかった」

「被災者個人の体験が良かった」

「テレビの報道で津波の怖さが視聴者に伝わったと思う」

「テレビの朝の番組で震災後1年たった今でも色々な地域の体験や生活状況をみると、伝えたいという心情が伝わり気持ち的に楽になった」

「状況が把握できた。助かった」

「義援金等新聞の方が公報より早かった。情報が早く伝わった」

「色々な点で報道はよかったと思う。みんな、ありがたかった」

つまりよかった点としては、ラジオや新聞のおかげで貴重な情報が得られたこと、安否に関する情報提供への感謝、大震災の被害実態を精力的に伝えてくれたことなどだ。

表 8.17 報道に対して悪かったという自由回答例(問 31)

「震災後もっと早く詳しい情報がほしかった」

「津波の高さ等もう少し早く正確に報道されたらもう少し助かった人が居たのかなあと感じた」

「大きな都市の報道が多く、自分たちの住んでいる身近な地域の状況がわからなかった」

「テレビで報道された地域だけが支援が多いと思う」

「仮設の報道が多く、自宅、アパート避難民者への支援、配慮が足りないように感じる」

「被災地域によって、報道回数に偏りがあった。視聴者からの問い合わせが多く、日常業務に支障があった。取材申し込みの依頼が多くあり、その対応が大変だった」

「体育館に避難していてわからなかったが、半年ほど過ぎて同級生の集まりで高田市内に住んでいる一人から、被災しなかったけど各家に自衛隊がどんどん物資を届けたと聞かされて腹が立った。我々は3食おにぎりで4日過したのにと…。報道の力は大きいと皆で話した。私達の所も180世帯が被害に遭い26人の命も奪われた。くまなく報道をと思う」

「地元新聞の対応の遅れ！何んの情報も入らず、歩いて見える範囲のみ」

「新聞は主に地元地域紙なので旧気仙沼のことばかりのように見えた。アピールが進んでいる南三陸町は、よく報道されたように思えた。復興は市場、産業から…とは思ったが、もう少し住宅再建のことをも欲しかった」

「各地域の状態をもっと知りたい」

「家族が犠牲になった遺族へのインタビューで現在の気持どうですか？なんて聞くのはいかがなものか、答は解ってるはず」

「仮設住宅に取材の方が多く出入りし、落ち着かない日々が続いた。そして無理にコメントを求められたりして嫌な思いをした。報道は自由ですが、取材する方は相手の気持ちを汲んで取材してもらいたい。テレビなどで取材を受けてる方はどんな気持ちなんだろうと…今も考えずにはいられない」

「震災後1年、報道で津波映像が流れ、忘れてくても忘れられないことだけど、落ち込んでしまった」

「自分の家が津波によって全壊したためか、テレビで津波のシーンが出て来ると気持ちが悪くなってはき気を覚える」

「子供のために早くアニメを始めて欲しかった。子供達が不安でいたため」

「被災後の報道が、原発に片寄ったように思う」

「報道の片寄りが多分にあった。東京電力は東北地方全体に悪影響があったのに、報道の確信的なエグりがなかった。ただ、映像を流しただけであった」

「本当のことを隠すことなく伝えてほしい」

片や悪かった点としては、毎度ながらも、取材・報道における地域のアンバランスや対象の不公平、取材のマナー・モラルに関する苦言、それから少数だが福島第一原発事故報道への不満、津波映像への嫌悪感などの回答が見受けられた。

表 8.18 報道に対してよくも悪くもあったという自由回答例(問 31)

「復興はまだなのに、進んでいるような報道は困る。テレビは当時全然見られなかった。見られるようになったのは20日もたってから。新聞は一週間位で配布されて食いつくように見た。それしか情報源がなかったの。ああゆう時は新聞ですね」

「テレビ→生活情報、身近な情報を伝えてほしかった。ラジオ→テレビの情報が困難な状況の時には本当に災害情報が役立った。新聞→記録として残るので生活には欠かすことができない情報源」

「知りたいし、知ってほしい、ので、了解が得られる範囲での報道は良かった。津波の高さが一番高いのにほとんど報道されていない、片寄りがあったと思う」

「各放送局が競って被災地を報道して、記者魂が発揮されているが何か空しく思えた」

「多くの情報を得ることができよかったが、少々、情報が片寄っていたとも思う。特に、最初の頃は知りたい情報が探しにくかった」

「各テレビ局とも被災地情報をよく報道されたと思うが、情報というよりムダな解説も多かった。被災地、被災者を支援する生活情報、安否情報をもっとすべきと思った。(例) 安否などを市町村別に選択して流す(データ放送をうまく利用)」

「報道機関はよく伝えようとしたと思うが、受けられる方が限られており十分に伝わらなかったのではないかと。伝達方法を考えないと意味が無いのでは? マスコミの自己満足にならないように」

「スピードは良いが、内容は悪いものも多かった」

「地元、および被災県は被災者の身になって取材、報道してくれるが、遠方から来た報道の人達は、仕事をこなす感じがしてならない」

「これからも安全な場所とか簡単に入れる場所建物等」

「被害状況が分かり良かったが、もう少し、いろいろな番組が観たかった。全チャンネル一斉に流す必要があるのでしょうか?」

そして、よくもあり悪くもありとする意見も結構あった。報道に対して一定の評価をしつつも、課題についての指摘は示唆に富む内容が多かった。

なお、周辺の津波被災地で東洋大・日大が実施した類似アンケート調査でみられた、よかった点として「報道されたことでたくさんの支援やボランティアにつながった」、「応援、励まし、心の支えをもらった」や、悪かった点として「不正確でゆがめられた報道内容」などの答は、ここではストレートに出ていなかった。

さらに、震災後の情報入手に関して変えたことがあるかという問いには、情報ソースの複数化(地元紙の購読、ラジオの利用、防災情報のケータイ受信など)という声の一部があった。質問の意図とは異なるが、「災害後のメンタルな部分を深く考えてほしい」「避難所問のつながりがあれば足りないものの貸し借りができてもっと早く住みよくなったのでは」「先にガレキが問題だと思う。今は良いとしても、災害が自分の県に来たとしたら、どうしますか。協力一番」「文明の力は役に立たず。まきストーブ、まき風呂」など、心に留めたい指摘や提言が見られた。

8.3. まとめ

(1) 緊急情報と避難の実態

以上に述べた釜石・大船渡・気仙沼の津波被災者(N=257)へのアンケート調査結果をまとめると次のようになる。

前半は、被災者が今回の地震発生直後どのように反応し、津波のおそれを認知し、いかなる回避行動をとったかを尋ねた。

三陸沿岸の津波被災者が地震で揺れた直後にとった行動は、「屋外に出た」が6割以上、次に「すぐ避難した」「携帯電話や携帯メールなどで家族らの安否を確かめた」「ラジオなどから情報を得た」「出先から自宅へ向かった」「隣近所で声をかけあった」などだった。直後に大規模な停電が起きて、ポピュラーな情報源たる据置型テレビは使えなかった。緊急情報の伝達には、同報系防災行政無線が最も活躍し、マスメディアではラジオが重宝された。携帯電話は輻そうして規制もかかったが、津波前の早い段階ではなんとかぎりぎりつながっていた(表 8.19)。

表 8.19 電話の通信規制(最大)

固定通信			移動通信							
NTT 東	KDDI	Softbank	Docomo		au		Softbank		イー・モバイル	
			音声	パケット	音声	パケット	音声	パケット	音声	パケット
90%	90%	80%	90%	30%	95%	0%	70%	0%	0%	0%

そして 8 割の人が、尋常ではない揺れ方に津波が来そうだと直感し、素早く避難した。地震から 20 分以内に逃げ始めたのがうち 8 割で、津波が来る前に避難し終えたのが同じく 8 割（津波到達まで数分以上余裕があったという人はそのうち約半分）だった。当時居た場所に後に津波が到達したのもほぼ 8 割で、実際に津波にのまれて助かった人は 1 割以下だった。

東洋大・日大が近隣で実施した同様のアンケート調査結果をあわせると、仙台平野沿岸の南ほど津波を連想した人の割合が下がり、消防・警察や周囲の呼びかけなどでぎりぎり避難して助かった。三陸沿岸では、自ら津波を察知してすぐ避難を始めており、津波警報、避難指示などの情報入手に伴う行動は、その半数程度だった。この反射的、自発的な避難行動は、過去の津波災害の経験や伝承、教育・訓練といった日頃の備えの賜物といえる。

逆に、すぐ逃げなかった人の理由は、「海や川から遠い高台や内陸にいたので」「昭和 35 年チリ地震津波や明治・昭和三陸地震津波でも被害のなかった場所にいたので」「地震の揺れで頭がいっぱいで津波のことは考えつかなかった」が多く、「予想高さが 3 メートルとか 6 メートルと聞いて危険とは思わなかった」「海の様子がわからなかった」「防潮堤などの津波対策施設が整備されていた」「大津波警報を聞かなかった」「前年のチリ地震の大津波警報時に高い津波が来なかった」「2 日前もなんともなかった」「防災マップに津波が来ないと示されておりこんなところまで来ると思わなかった」「屋外スピーカーが難聴だった」などだった。うち、直近まで積み重なった津波警報の“誤報効果”がどうにも気になった。今後は、予測技術の向上、妥当な発報水準、誤報時の適切なアフターケアなどにより、ネガティブな心理を抑制する工夫が求められよう。現在、避難機運はかつてないほど高まっており、この機を逃さず進んで実践できる環境を整えたい。

また、自宅の被害予想と実際に起きた被害とを見比べると、津波の現象としての規模や破壊力が、頭の中の予想を大きく上回っていた。これには“正常化の偏見”も作用していよう。

津波警報は、津波が来る前に半数強の人が聞き、うち 8 割は地震から 15 分後までに入手していた。三陸沿岸では防災無線屋外拡声器から、仙台平野南部沿岸ではラジオ・テレビから入手した割合が高かった。携帯電話へプッシュされる「エリアメール」は少なかったが、震災後、全キャリアが無償の「緊急速報」を始め、かつ津波警報を自動配信の対象に追加した。

津波警報をどれほど切迫感を持って受け止めたかは人それぞれで、津波の予想高さもあまり覚えていなかった。なにはともあれ津波の発生のおそれが有るか無いかに関心事で、いつ・どれくらいの津波が襲うかはあまりあてにしていなかったのだろう。とくに到達時刻は、防災的見地から考えるなら、僅かな海面の上下の始まりを指すのではなく、そのとき備えるべき現象の規模をにらみ、対をなす予想高さや整合させて示すなど、もっと伝え方に工夫が必要だ。そして今回、津波警報の第 1 報は 3 分後、第 2 報は 28 分後、第 3 報は 44 分後に発せられ、都度、対象エリアが多数追加されて予想高さも大きく変わった。NHK ラジオの場合、予想高さが 10 メートル以上になったと最初に更新をオンエアしたのは、地震発生から約 45

分後だった。ラジオは同時に一つのことしか伝えられないので、命を守るために優先すべき情報はなにかを想像して、伝達内容のトリアージをせねばならない。そして気象庁の発表文にも「このような高い大津波警報を広範囲に出すのは初めて」といった分かりやすい表現がほしい。

それと、気象庁の津波警報は聞いたが、自治体が発する避難情報を聞かなかったケースが、防災無線が難聴気味な仙台・名取・山元で目立った。仙台平野南部沿岸では、なんと 22.4～24.5%にしか避難の呼びかけが届いていなかった。よって、“緊急速報（エリア）メール”や“公共情報コモンズ”の一層の普及で、市町村の避難情報を携帯やラジオ・テレビなどの身近な汎用媒体に載せ、複線で流す工夫が求められる。これらを運用する際に大切なことは、どの市町村ももれなく足並みをそろえ、可及的速やかにできるだけ質の揃った緊急情報を送り出すことだ。もし落ちこぼれてしまうと、逆に安心情報になりかねない。

そして、最初に避難した先は、指定避難場所とそれ以外の高いところがほぼ同数だった。避難方法は、三陸沿岸は徒歩（かけ足を含む）と車とがほぼ半々、仙台平野南部沿岸では約 8割が車だった。「車で避難したから助かった」とする回答もあり、津波から逃れた人にとって車避難は無視できそうにない。震災当時、避難に際しての問題はそう生じなかったようだが「道路が車や人で混雑していて早く移動できなかった（信号機が消えていた）」の回答が多く、さらに「安全な場所へと再度避難しなおした」が続いた。そうやって助かった人たちだからなのかもしれないが、1年9ヶ月後、現地に津波警報が再び出された際、われ先にと避難する車が殺到して交通混乱に陥った。ただ、「車避難しかない」という声を無視するわけにはいかず、避難経路の渋滞緩和策が早急に求められるとともに、津波避難ビル、津波避難タワー、命山などの、歩いて行ける範囲の一時避難場所を増やしたい。そして、移動中の人に対しては情報標示板やカーナビ（VICS）などを活用して即刻情報提供ができるようにしたい。

なお、震災前に市から配られた津波防災マップに関しては、「自宅の危険を認識した」が 36.2%、「見ていない」が 24.9%、「自宅に危険性がないことがわかった」が 9.7%だった。ハザードマップの配布単体では、明瞭な効果のほどは感じられなかった。東京大学の田中淳教授は「広報・啓発により避難に対する意識は高まるが、避難行動に直結するわけではない。避難行動に移るためには情報のほかに、地域規範や周囲の呼びかけ、他者を守ったり、業務継続への配慮が必要」と述べている。

(2) 被災者が求めた情報とメディアの実態

アンケート調査の後半は、震災関連の情報を入手するにあたって、どのようなメディアが役に立ったか、取材や報道に課題があったか、あるいはメディアや情報源への信頼がどう変わったかを調べた。

未曾有の大災害発生直後、被災地の住民に役立つメディアとして最も活躍したのはラジオだった。ラジオのどんな情報が役に立ったかは、「被害の状況」「津波の状況」「安否情報」「生活情報」の順だった。停電が回復していくとともにテレビも欠かせない働きをし、東海新報や三陸新報など地元紙の評判もよかった。この三者以外の IT 関連ツールや臨時災害放送局などをあげた回答は少なく、運用基盤のダメージもあったが、普段使いしていない媒体にはア

クセスしなかったようだ。震災後、通信キャリア各社は、①緊急速報メール、②災害用音声お届けサービス、③災害用伝言板の横断検索機能などの機能を向上させた。また今回の教訓から、放送や通信のBCP対策として、バッテリーや自家発電装置、ガソリン等燃料の確保と備蓄などが増強された。今後は、ネットメディアがいつそう発達し、ポータブルラジオライクな特性をもつ携帯電話やモバイル放送が優位になる時代が来るかもしれない。なお仕方がないこととはいえ「近くに公衆電話がない」という記載が気になったのと、応急で衛星回線を設置してくれたことへの感謝の声が寄せられていた。

被災者がとくに知りたかった情報は、直後：安否（次いで水・食料や生活物資）、1ヶ月後：ライフライン復旧見通し、水・食料や生活物資、仮設住宅など、調査時点（1年余後）：復旧・復興・生活再建（次いで国や自治体の対応、経済的支援など）という順だった。3時期を較べると、ひとまず生き抜くために必要な衣食住については時間とともに落ち着いてゆき、次第に将来の暮らし向きがどうなるかへと関心が移っていった。ただ、阪神・淡路大震災のときより立ち直りに向けた歩みは鈍い感じだった。今回、とくに希求された安否情報は、直後に83%、1ヶ月後に37%、1年余後でもまだ5%残っており、激甚な津波災害の悲惨さを如実に物語った。安否情報をネット上で検索できる取り組みも進んだが、被災地内ではあまり役に立たなかった。あと、はじめの頃のガソリンや燃料と、原発事故による放射能汚染が、今回の災害の情報ニーズにおける特徴といえよう。

震災報道への注文は「被害の映像ばかりでなく、生活に関する情報をもっと放送してほしいかった」と「取材対象地域が偏っていて、報道が少ない地域では支援や対応に影響が出たと思う」が多く、とくに仙台平野南部で後者の不公平感が顕著だった。その他の自由記述では「報道各社はこのような災害時は協力して、安否情報や物資情報などバラバラでなく一律で継続して報道し、被災者と被災地の支援中心に報道すべき。各放送局が競って被災地を報道して、記者魂が発揮されているが何か空しく思えた」「同じCMばかり流れていて耳に残った、それが震災時のイメージとなりテレビが嫌になった」などがあつた。うち報道の地域偏在から派生する問題は、①安否情報や支援物資情報、ボランティア募集などは各社が手分けすることでバランスよく伝えられないか、②救援物資や義援金の集め方、配り方の側に工夫する余地はないものか、と思う。全国からの応援を受け奮闘した大手メディアでも取材人員・機材・手段に限りがあり、被災者の身近な生活ニーズまで十分応えられなかった。より狭いエリアに密着したローカルメディアが、場所場所で暮らしに役立ったようだ。

また信頼性という点では、NHKを筆頭にテレビ・ラジオが、これまでも増して株をあげた。次いで新聞で、インターネットや国などへはあまり信頼を寄せていなかった。大津波など自然災害における報道は、福島第一原発事故報道とは異なり、概ね評価されていた。さらに、震災後の情報入手方法の変化は、ソースの複数化という声の一部あつた。

それにしても、死者15,884名（警察庁2014.3.11発表）、行方不明者2,633名（〃）、震災関連死者2,916名（復興庁2013.12.24発表）、計2万人超規模の犠牲者を出した事実は重く、情報伝達をはたしてどこまで減災につながったのか、つなげられなかったのか、もっと何かしようなのであるのではないかと、東日本大震災の教訓を生かした総合的な防災体制をよりいつそう整備することを強く期待したい。

※ 本アンケートは、命が助かった被災住民による回答のため、いずれの設問も、例えば、津波の危険を認知していなかった、避難しなかった、避難が遅れたりうまくいかなかった、一度避難したが戻って流された、海や川の様子を見に行った、避難誘導や援護に向かった、船の沖出しのため港へ向かった、などの回答は、犠牲になられた方を含むと増えた可能性がある。よって実像は、岩手日報社が取り組んだ震災犠牲者全員を対象にした追悼特集「忘れない」の追跡調査（「なぜ逃げきれなかったのか」「どこで犠牲になったのか」）などで補完して捉えられたい。

平成 23(2011)年 3 月 11 日「東日本大震災」におけるアンケート調査

昨年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」から 1 年が経ちました。改めて震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災して困難な生活を続けておられる皆様にお見舞い申し上げます。

さて、この調査は、津波に遭われた方々に、当日の状況や避難、情報への対応、それからの情報実態などについてお尋ねするものです。

私たちは、これまで長い間、人々の意識や対応という面から、地震や津波の被害に遭われた方々にお話を伺い、災害時の問題点を検証してまいりました。今回の震災でも、ぜひとも皆さんからお話を伺い、この震災における情報と避難の課題を明らかにするとともに、皆さんがこの震災で体験されたことや皆さんの思いを記録に残し、今後の大規模災害への教訓にしたいと思っております。

なおこの調査結果は学術目的にのみ用い、皆さんのお名前や個人の情報が表に出ることは絶対にありません。

お忙しい中誠に恐縮ですが、何とぞ、ご協力をお願いいたします。

2012 年 3 月

日本災害情報学会 デジタル放送研究会

研究会代表 大妻女子大学 藤吉 洋一郎
(学会長 関西大学 河田 恵昭)

連絡先【学会事務局】 URL : <http://www.jasdis.gr.jp/>

〒160-0011 東京都新宿区若葉 1-22 ローヤル若葉 505 号室

TEL : 03-3359-7827 FAX : 03-3359-7987 E-mail : tokio@jasdis.gr.jp

■アンケート用紙のご記入方法

回答の仕方は質問ごとに 3 通りあります。①番号の中から一つだけ選んで○をつける、②あてはまる複数の番号に○をつける、そして③ () や に文字をご記入ください。

■アンケートの回収方法

- 配布にうかがった者が受け取りに参ります (____月____日____曜日____時頃)
- ご記入済みのアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、____月____日までにポストに投函してください

※ ご回答いただきました方に 500 円分のマイヤ商品券を薄謝として差し上げますので、郵送の場合は、封筒の裏に送付先のご住所を明記してください。

(注意) この調査は、3 月 11 日の本震(14 時 46 分)のときに、出張や旅行などで自宅から遠く離れた場所にいた方は対象としません。

問1 東日本大震災が起きた当時のお住まいはどちらですか。(地名を記入)

	回答数 (人)	割合 (%)		回答数 (人)	割合 (%)
1. 気仙沼市	32	12.5	3. 釜石市	53	20.6
2. 大船渡市	172	66.9	← 陸前高田市からの避難者1名を含む		

問2 被災してから後の生活はどちらで送られましたか。(あてはまるもの全てに記入)

	全体 (%)
1. 避難所 (自: 3/11 79.1 3/12 10.2 3/13 以降 10.7、至: 3月 20.9 4月 14.1 5月 26.6 6月 21.5 7月以降 16.9)	68.9
2. 仮設住宅 (自: ~4月 4.5 5月 46.9 6月 24.3 7月~ 10.7)	59.9
3. その他	34.6
4. 自宅 (1. 移転 - 2. 元の場所 62.5 3. 臨時の借家 16.7 4. その他 45.8)	18.7
5. (わからない・選択肢外など)	1.9

問3 地震が起きた瞬間(3月11日午後2時46分頃)、あなたはどこで何をしていましたか。(○は1つだけ、居どころなどは差支えない範囲で記入)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 自宅	47.1	3. 自宅のある市町村の周辺	8.2
2. 自宅のある市町村の中	43.6	4. その他(わからない・選択肢外など)	1.2

問4 揺れがおさまってから、あなたはどうしましたか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 屋外に出た	63.0
2. 中や外の被害を確認して片付けを始めた	13.6
3. 隣近所で声をかけあった	21.4
4. 地震の情報を得ようと防災無線を聞いた	14.8
5. 地震の情報を得ようとラジオを聞いた	18.7
6. 地震の情報を得ようとテレビを見た	7.0
7. 地震の情報を得ようと携帯電話のサイトやワンセグ放送を見た	10.5
8. 保育園や幼稚園や学校などに子どもを迎えに行った	8.9
9. 近くに住む親や親戚などの様子を見に行った	9.7
10. 出先から自宅に向かった	22.2
11. 職場に向かった	3.1
12. 海や川の様子を見に行った	1.9
13. 船の沖出しのために港に向かった	-
14. 家族などの安否を確かめるために電話した (1. 公衆電話 1.4 2. 固定電話 7.1 3. 携帯電話 67.1 4. その他(わからない・選択肢外など) 28.6)	27.2
15. 家族などの安否を確かめるためにメールをした (1. 携帯 90.0 2. その他 - 3. (わからない・選択肢外など) 3.8)	15.6
16. 役場や消防や警察などの防災機関に連絡した(つながらなかった場合も含む)	0.4
17. 津波が来るかもしれないと思いすぐに避難した	40.9
18. 津波から避難する準備をした	16.7
19. 津波のことは考えなかったが、いつでも避難できるように荷物や貴重品をまとめた	5.1
20. 消防団の活動、水門・陸こうの閉鎖、援助が必要な人の救援などに駆けつけた	2.3
21. その他	12.8
22. (わからない・選択肢外など)	0.4

↑ その他の記入

お年寄りの家に避難するよう声がけし、地区内を回り避難を勧めて回った。
 前日消防職員が来て、地震があったらすぐ電気の安全器を切るよう話されたので安全器を切りに行ったら電気が止まっていたのですぐ裏に行き、車で高台に逃げた。
 難聴で放送は聞きとれず、ママが迎えに来た。あわて帰り、防寒避難用リュックのみを持ち、ママの車で避難。
 外に出たらすぐ津波がきたのですぐ山に上った。
 職場が避難所になった。
 火の始末をした。
 チリ地震の時は下の方の道路で止まったので来ると思わないで家にいた。近くの人が誘いに来て出たとき、となりの家のところまでガレキがきていた。軽トラを運転してきた方に乗せられ、国道の上のトーカンと云う会社の庭まで行って降りて、津波を見ていた。
 津波にのまれ、部屋からベランダまで泳ぎベランダに座ったまま気絶していた。
 患者の対応。
 お位牌を持って、病院へ避難した。
 作業現場から会社の車で会社へ戻りその後自宅に帰った。
 目の前はすぐ海なのでこれ位の揺れでは津波以外に考えることは無くただ高台に逃げるのみでした。
 お客様を早く避難させて、自分たちもバラバラに高台へと避難した。
 会社の車を移動していた。津波に備えて。
 津波の事はまったく考えなかった。気がついた時は天井くらいの高さで主人はのみ込まれた。その後のことは良く覚えてない。
 来ていた客に避難命令が出ると思われるからすぐ帰るように話した。
 自宅ですべての仕事をやめ、すぐ外に出て、家の前の空き地でしばらく様子を見た。揺れがややおさまった頃、すぐ家にカギをかけ車で小学校へ向かった。高台にある小学校で子供の安否を確認した後、車をそこに置き徒歩で中学の娘(下校時間)を迎えに行こうとしたが、途中で津波が来たため、道を阻まれた(通行止め)。
 津波が見えてから避難した。
 消防無線からの情報を記録する作業をした。
 歩けない妻を車に乗せて避難しようとしたが、津波にのまれたが泳いで助かった。
 津波は数10センチだろうと考えた。
 免許証をとりに戻った。
 職場の指示に従った。
 家の人を高台に送った。
 家族の安否を確かめるため、出先から自宅に向かった。
 病院内で待機。
 津波が来ると鞆だけ持ち避難した。
 地震が大きいので三陸沖からの津波が来るとすぐ思い、避難した。
 津波のことは考えず、鶉住居町の職場から自宅に向かった。
 津波が来ると全く思わない。
 防災無線はよく聞こえなかった。
 携帯電話が繋がらなかった。
 火を止めた(フライ用の油がこぼれたため)。
 町内の役員をしているので、ハンド・マイクを持って町内の人にすぐ避難するよう呼びかけ、老人を2人背負って山道をかけ登って助けた。
 船から陸へあがって高台へ避難した。
 近所のスーパーに食べ物を買に行った。
 公衆電話が繋がらなかった。
 大津波の想像はなかった。電話が繋がらなかった。

問 5 あなたは、地震の揺れを感じた段階で、お住まいの地域に津波が来ると直感しましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 津波が必ず来ると思った	46.7
2. もしかしたら津波が来るかもしれないと思った	31.5
3. 津波は来ないだろうと思った	6.2
4. 津波のことはほとんど考えなかった	14.8
5. その他 (わからない・選択肢外など)	0.8

⇒選択肢3または4を選んだ方は付問5-3へ

付問5-1 問5で1または2と答えた方におたずねします あなたはなぜ津波は来ると直感したのですか。（あてはまるもの全てに○）

	全体 (%)
1. 地震の揺れ方が尋常ではなかったから	93.5
2. 周囲の人の慌てた様子を見て	13.9
3. 海岸や川に近く、これまでの知識や経験に基づいて	26.9
4. 防災マップで危険だと思っていたから	8.0
5. 防波堤などの整備が不十分だったから	2.0
6. その他	3.5
7. (わからない・選択肢外など)	2.5

↑その他の記入

ラジオで3メートルの津波警報がすぐ出たから。
 周囲の人が宮城に6メートルの津波が来るらしいと言っていたので。
 これぐらい大きい地震ですぐ津波以外に考えられなかった。
 蛸ノ浦地区で避難訓練をしていた、年に1回。
 昔からの言い伝えを常に話をしています。
 ハンド・マイクで叫びながら海の方を見た時には、いつもの松林中まで波が来ていた。

付問5-2 あなたは、津波によってご自宅にどのくらいの被害が出るとお考えでしたか。（○は1つだけ）

	全体 (%)
1. 自宅が壊れたり流されたりするほどの被害が出るとお考えた	22.4
2. 自宅が水に浸かるほどの被害が出るとお考えた	34.3
3. 自宅にはあまり影響がないとお考えた	39.8
4. その他 (わからない・選択肢外など)	3.5

⇒問6へ

付問5-3 問5で3または4と答えた方におたずねします あなたはなぜ津波は来ないと思ったのですか。（あてはまるもの全てに○）

	全体 (%)
1. 地震の揺れで頭がいっぱいだった	46.3
2. 周囲の人の反応を見て	3.7
3. 海岸や川から離れていて、これまで津波が来たことがなかったから	38.9
4. 防災マップで安全だと思っていたから	1.9
5. 高い防波堤などがあったから	9.3
6. その他	31.5
7. (わからない・選択肢外など)	-

↑その他の記入

自宅が周囲より高かったから。
 2日前の地震で何も無かったから。
 放送されているようだがいつもよく聞こえなかったの、当日も内容はわからない。
 部屋で怖いのを我慢してるので精いっぱいだった。
 引越して間もなく、津波に関する知識や町の過去に起きた津波被害をほとんど知らなかった。
 今まで地震が来ても津波は来ないし、私の中では地震＝津波という考えがなかった！
 川はすぐそばだったが、津波は45号線を超えるとは思わなかった。
 津波が来ても、自宅までは来ないと思った。
 妻がパニックになって、津波の事は考える余裕はなかった。
 あまり揺れを感じなかった。
 高い場所だったので津波のことを考えない。
 どうせ来ても、小さな50センチくらいの津波だと思った。
 自分の住まいが避難所(鶴住居防災センター)より海に遠かった。

再び全ての方に伺います。

問 6 地震が起きてから大津波が襲う前までの間、あなたのところは電気や通信に支障が起きていましたか。(○はそれぞれ1つだけ)

電気	1. 停電した 65.8	2. 停電しなかった 2.7	3. 知らない 24.5	4. その他(わからない・ 選択肢外など) 6.6	
公衆電話	1. 使えた -	2. つながりにくかった 2.3	3. 使えなかった 12.5	4. 知らない 58.4	5. その他(わからない・ 選択肢外など) 26.8
固定電話やファクス	1. 使えた 2.3	2. つながりにくかった 2.7	3. 使えなかった 31.1	4. 知らない 43.2	5. その他(わからない・ 選択肢外など) 20.6
携帯電話の通話	1. 使えた 5.8	2. つながりにくかった 10.9	3. 使えなかった 43.2	4. 知らない 23.0	5. その他(わからない・ 選択肢外など) 17.1
携帯電話のメール	1. 使えた 7.0	2. すぐ届かなかった 7.4	3. 使えなかった 31.5	4. 知らない 40.4	5. その他(わからない・ 選択肢外など) 23.0
インターネット	1. 使えた -	2. 機器が動かさなかった 2.1	3. 使えなかった 20.9	4. 知らない 77.0	5. その他(わからない・ 選択肢外など) 27.2

問 7 あなたは大津波が襲う前に、大津波警報を聞きましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 聞いた	52.5
2. 聞かなかった	23.7
3. おぼえていない	20.6
4. その他(わからない・ 選択肢外など)	3.1

問 7 で「1. 聞いた」と答えた方におたずねします

付問 7-1 あなたは、その大津波の警報をどのようにして知りましたか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 民放テレビから (CATV 独自番組を含む)	2.2
2. NHK テレビから	3.7
3. 民放ラジオから	11.1
4. NHK ラジオから	12.6
5. 防災無線の戸別受信機から	0.7
6. 防災無線の屋外拡声器から	73.3
7. 携帯のエリアメールから	7.4
8. 携帯のメールから	2.2
9. 携帯のワンセグ放送から	7.4
10. インターネット・Web から	-
11. 市町村の広報車から	8.1
12. 家族や近所の人から	10.4
13. 警察・消防の人から	11.1
14. その他	3.0
15. (わからない・ 選択肢外など)	0.7

↑ その他の記入

職場の同僚から。
車内のラジオから。
防災無線の屋外拡声器は聞こえづかった。

付問 7-2 あなたは、その大津波の警報をいつごろ知りましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 地震発生の直後に (午後 2 時 50 分ごろ)	34.8
2. 地震発生から 15 分後以内に (午後 3 時すぎまで)	44.4
3. 地震発生から 30 分後以内に (午後 3 時 15 分すぎまで)	17.0
4. 地震発生から 45 分後以内に (午後 3 時 30 分すぎまで)	1.5
5. それ以上の時間の後に (午後 3 時 40 分頃、午後 3 時 50 分頃)	1.5
6. その他 (わからない・選択肢外など)	0.7

付問 7-3 大津波警報を聞いたときに「予想される津波の高さ」も聞きましたか。

(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 聞いていない (聞いたかどうか覚えていない)	33.3
2. 聞いたが、津波の予想高さは覚えていない	35.6
3. 聞いてメートルも覚えている	31.1
4. その他 (わからない・選択肢外など)	-

付問 7-4 あなたは、その大津波の警報を聞いた時、どのように思いましたか。

(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. すぐ逃げないと間に合わないくらい早く来ると思った	40.7
2. 津波は早く来るが、荷物を持って逃げるくらいの余裕はあると思った	23.7
3. 津波は早く来るが、子どもを迎えに行ったり、近所に住んでいる親の様子を見に行くくらいの余裕はあると思った	9.6
4. 津波が来るまでには、かなりの余裕があったと思った	15.6
5. 津波が来るとは思わなかった	10.4
6. その他 (わからない・選択肢外など)	-

再び全ての方にお聞きします

問 8 地震のあと、市町村からの「大津波が来るので避難するように」という呼びかけを聞きましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 聞いた	56.8	3. その他 (わからない・選択肢外など)	2.3
2. 聞いていない	40.9		

問 9 当時あなたがいた場所には、結果的に、津波は来ましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 津波が来た	80.9	3. わからない	0.4
2. 津波は来なかった	17.1	4. その他 (わからない・選択肢外など)	1.6

問 10 あなたは、大津波が来る前に、避難しましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 避難した	79.0	3. その他 (わからない・選択肢外など)	-
2. 避難しなかった	21.0		

⇒選択肢 1 を選んだ方は付問 10-2 へ

問 10 で「2. 避難しなかった」と回答した人だけお答えください

付問 10-1 あなたはなぜ避難しなかったのですか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 津波のことは考えつかなかったので	25.9
2. 高台や内陸にいたので	33.3
3. 昭和 35 年チリ地震津波や明治・昭和三陸地震津波でも被害のなかった場所にいたので	33.3
4. 市町村が作った防災マップに津波が来ないと示されていたので	14.8
5. 海の水が大きく引くなどの前兆がなかったので	5.6
6. 家族や周りの人も避難しようとしなかったので	5.6
7. 市町村から避難の呼びかけを聞かなかったので	5.6
8. 大津波警報を聞かなかったので	14.8
9. 津波の予想高さが 3 メートルとか 6 メートルと聞き、危険とは思わなかったので	20.4
10. 津波が来ると言われていた時間になっても大きな津波が来なかったので	3.7
11. 前年 2 月のチリ地震でも大津波警報が出たが、実際は高い津波が来なかったので	13.0
12. 海の様子がわからなかったので	16.7
13. 以前と違い防潮堤などの津波対策施設が整備されていたので	13.0
14. 家族に小さい子ども、高齢者、体が不自由な人など自力での避難が難しい人がいたので	9.3
15. 外出していて自宅の様子を見に行こうとしたので	9.3
16. 車など避難する手段がなかったので	1.9
17. いざとなったら二階以上に逃げればよいと思っていたので	7.4
18. ほかに急いでやらなければならないことがあったので	1.9
19. その他	16.7
20. (わからない・選択肢外など)	-

↑ その他の記入

以前役場の人にここは津波は大丈夫と言われたので、出かけた家族のことがまず心配だったので。
地震で動けなくてすぐ津波が来た。
1 時間くらいは来ないだろうと思ったから。
津波が来てから気が付いた。二階に上がって家が流されたので二階で助かった。流されなかったら大きな船に当たられていた。
体の不自由な妻を車に乗せて逃げようとしたが間に合わなかった。
海から離れた場所だったので。
職場にて待機していたので。
職場が海から離れてたので…

⇒問11へ

問 10 で「1. 避難した」と回答した人だけお答えください

付問 10-2 あなたが避難をはじめたのは、地震の発生からどのくらい経ってからですか。
(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 揺れている間	16.3
2. 揺れが収まった直後	30.0
3. 揺れが収まってから 10 分くらいまでの間	21.7
4. 揺れが収まってから 20 分くらいまでの間	10.8
5. 揺れが収まってから 30 分くらいまでの間	11.3
6. 揺れが収まって 30 分以上後	3.4
7. よく覚えていない	3.4
8. その他 (わからない・選択肢外など)	3.0

付問 10-3 あなたが避難した理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 津波が来ると直感したので	55.7
2. 海岸や川の近くにいたので	30.0
3. 以前に津波を経験したので	16.7
4. 市町村が作った防災マップに津波が来ると示されていたので	7.9
5. 地震の揺れの強さや長さがいつもとは違ったから	64.5
6. 海や川の水が大きく引いたから	7.4
7. 家族が避難しようと言ったから	17.7
8. 近所の人が避難するように言ったから、あるいは避難していたから	22.2
9. 市町村が避難を呼びかけたから	14.3
10. 大津波警報を聞いたから	29.1
11. 津波の高さが 3 メートルとか 6 メートルでは済まないだろうと思ったので	7.9
12. 防潮堤などの津波対策施設が不十分だったので	1.5
13. 役場や消防団の人が来て説得されたから	2.5
14. 実際に津波が来ているという話を聞いたから	7.4
15. 実際に津波が来るのが見えたから	12.8
16. 容易に避難できる場所があったから	13.3
17. 避難訓練などで、いつも避難していたから	18.2
18. ほかに急いでやらなければいけないこともなかったから	1.0
19. その他	8.4
20. その他 (わからない・選択肢外など)	2.0

↑ その他の記入

昔から父母から津波のことを聞いていたのですぐ逃げた。
警報が出る、とママの話に大津波が頭をよぎった。
先生方から、車を置いて更に高台へ全員避難して下さいと指示があったので。
他の人の指示、客の誘導。
会社側から避難命令がでたから。
実際に海岸で見えていたから。
家の中が壊れた(倒壊したから)。
職場のマニュアルにあったから。
ラジオ(携帯)で仙台に第一波が来たと聞いた。
以前にも津波警報による避難の経験をしたことがある。
避難して来た人がたくさんいたから。
小さい時から海のそばで育っている。チリ津波で恐ろしいと思っているから。
私は小さい頃津波を知っていたから。
地震の大きさに孫達が心配で急いで行った。
消防団活動。

再び全ての方にお聞きします

問 11 A) あなたはどのような手段で避難をしましたか。(あてはまるもの全てに○)
B) そのうち初めに使った手段はどれですか。(○は1つだけ)

	A)利用した手段	B)初めに使った手段
1. 歩いて避難した	30.0	21.8
2. 走って避難した	23.3	20.6
3. 自動車で避難した	49.8	45.9
4. その他	6.2	5.4
5. (わからない・選択肢外など)	5.4	6.2

↑ その他の記入

勤務先が避難ビルだった。
職場に待機した。
その場に残った(病院)。
居た場所がもともと高台で、車で来ていた。
陸前高田市は歩いて逃げられる場所でなかったので(日々思っていました、車で逃げるしかない)。
建物の屋根に上がった。
主人を連れて歩いた。知らない人の車で避難させてもらった。
自動車で避難しようとした。
船。
海上のため船。
津波に追いかけてから。

問 12 あなたが最初に避難した場所はどこですか。(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 指定されていた避難場所	34.6
2. 指定されていた避難場所ではない、近くの高い建物	8.9
3. 指定されていた避難場所ではない、近くの高台や山などの高い場所	28.8
4. 安全そうな場所にある近くの知人、親戚などの家	9.7
5. その他	11.7
6. (わからない・選択肢外など)	5.8

↑ その他の記入

小泉中学校に避難したが、もっと高台と云う事で、中学校の生徒に引っぱられて、高台に行った。
職場の2階。←ほかに3つあり
安全だと思った自宅。
避難する前に津波がきたので屋根の上に上がった。
自宅、高台だから。
高台にあるので自宅にいた。
近くの高台。
高台を走行。
実家(夫の)。
病院。←ほかにもあり
子供の学校。
小学校。
子供のいる小学校。
子供のいる学校=指定の高台はすぐ近くにあったが、学校の方が高いためと、子供がいたので。
子供がいる高台の学校。
ハローワークに3日いた、その後妹の所に。
末小に避難したが、後で避難場所ではないことを知り、とまどった。
旧釜石商業。
子供達のいる指定されていた避難場所。
津波のこない場所にいた。
他人の住宅3階、コンクリートアパート。
指定場所を知らず、近くの山の高い場所。
指定されていた避難場所よりも遠い高い場所。

問 13 あなたが避難しようとしたときに、なにか問題が発生しましたか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 避難場所を知らなかったので、どこに避難したらよいかわからなかった	4.3
2. 地震で家屋や土砂が崩れたり液状化して、避難路がふさがれて通れなかった	2.3
3. 避難する道路が車や人で混雑していて、早く移動できなかった	15.6
4. 避難するときに、家族や近所の人を待たために避難が遅れた	5.8
5. 避難所が遠かったので、たどりつけなかった	1.6
6. 最初に避難した場所が津波で危険だったので、さらに安全な避難場所に避難した	14.8
7. その他	14.4
8. 特にない	37.0
9. (わからない・選択肢外など)	14.8

↑ その他の記入

どんな出来事があってもいつでもお世話になれる所なのでこの場所を選んだ。
 自宅から 50 メートル位の所に 3 階の丈夫そうな建物があり、もし津波がくるようなときはその建物に避難することになっていた。
 高い所に避難したが大きい津波なのでもっと高い高台に行った。
 津波到達予想時刻まで余裕があったので、さらに安全な場所に避難した。
 指定場所だったが、さらに上へと指示され上に上がったが、結果的には指定場所は安全だった。
 男性の人がもっと上に避難しろと言われたので、3 回ぐらい上に行った。1 回目の避難場所も津波は来なかった。
 電柱が倒れて電線が邪魔だった。
 停電で信号が全く動いていなかった。
 信号が止まっていた。
 信号が消えて、道路が渋滞で前に進めなかった。
 病人がいたので、すぐ車にのせて出たつもりだが、枝道より本道路に入ることができない。信号機が止まり渋滞していた。
 国道の信号が機能しなくなっていたので、無理にでも通りぬけた。
 スムーズに車で高台に逃げることができた。
 とにかく高いところに行こうと思った。
 どこでもいいから高台へと普段から心の準備をしていた。
 とにかく自宅に戻ろうと通れる道を探して仕事現場から 3 時間かかってやっと家族と会った。
 津波襲来に気づくのが遅れ、建物の 2 階にしか避難できなかった。
 2 階の手すりにつかまって津波が引くのを待って避難した。
 歩けない母がいたのでどのようにしたらいいか考えているうちに家の中に水が入って来た。二階に上がって、間に合った。
 掛け布団に母を入れて 4 人で避難した。
 体調が優れないので、とりあえず病院に戻れば間違いはないと思った。
 病人の家族を助けようと逃げるのが遅かったので海水を浴びた。
 第一避難場所の集会所前に集まった時、二人の老人が居ないのに気が付き何人かの男の人達が見にいったら、家の中に居たので、歩けないので倒れた戸の上に乗せて、2~3 人で山道を進んで助けた。家族に寝たきり老人がいたので助けてもらった。
 もう水が入って来た！
 津波にのみこまれた。
 津波が来ないと思ったので腰から下は濡れてしまった。
 避難所までに低い所を通らなければならず道なき道を歩いた。
 道路もなく通れなかった。
 親戚の家を頼って行ったら親戚の家も流され一緒に小学校に避難した。
 避難場所(訓練時)が海に近い(建物だが知人の家になった)。
 一時避難したが再度戻った。

問 14 あなたはご自身、どのような津波体験をしましたか。(○は 1 つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 津波に巻き込まれた	5.8	4. 津波は見えていない	23.7
2. 津波に巻き込まれる寸前だった	19.8	5. その他(わからない・選択肢外など)	1.6
3. 安全な場所から津波を見た	49.0		

問 14 で 1～3 のいずれかに回答した人のみお答えください

付問 14-1 あなたに津波が来襲したのはいつでしたか。(○は 1 つだけ)

	全体 (%)
1. 避難をしてある程度時間がたってから、津波が来襲した	33.9
2. 避難をしてから数分もしないうちに、津波が来襲した	27.1
3. 避難の途中に、津波が来襲した	11.5
4. 外出先から帰宅の途中に、津波が来襲した	1.0
5. 子どもを迎えに行ったり、親や家族の様子を見に行く途中に、津波が来襲した	6.3
6. 周囲に避難を呼びかけていたり、手助けしていたところに津波が来襲した	2.1
7. 避難をせずその場にいたところに津波が来襲した	13.5
8. その他 (わからない・選択肢外など)	4.7

再び全ての方にお聞きします

問 15 地震や津波で、あなたのご自宅はどのような被害を受けましたか。(○は 1 つだけ)

	全体 (%)
1. 津波によって全壊・全焼した	71.2
2. 津波によって半壊・一部損壊した	13.6
3. 津波の被害はなかった	7.0
4. 地震の揺れによって全・半壊した	3.9
5. その他	4.3
6. (わからない・選択肢外など)	-

↑ その他の記入

<p>水に浸かった。床のあたり。 大規模半壊。 地震の揺れによって一部損壊した。←ほかにも 2 つあり ほとんどなかったが、多少カベにひび、ふすまがきつくなった。 土地が崩れ、クロスが裂け、外壁ひびなど。 地震で石垣が少し崩れた。 自宅、倉庫 2 家、船 5 隻、車 3 台、なにもかもなくなった。 仕事場・船など全壊。</p>

問 16 今回のあなたの津波避難は、次のどれに当てはまるとお考えですか。(○は 1 つだけ)

	全体 (%)
1. 大きな地震を感じたら、何も考えず、すぐに避難するタイプ	49.0
2. 津波警報や避難勧告など、情報を考慮して、避難するかどうか決めるタイプ	24.5
3. 避難しようか迷っているうちに、津波警報や近所の人のお勧めなどに背を押されて、避難するタイプ	6.6
4. 避難しようか迷っているうちに、逃げ遅れるタイプ	3.1
5. 津波のことは思い浮かばないで、逃げ遅れるタイプ	1.9
6. ここは大丈夫だと確信して、逃げ遅れるタイプ	10.1
7. その他	3.9
8. (わからない・選択肢外など)	0.8

↑ その他の記入

家族の安否を確認し全員で避難することを考える。
 避難するというより、職場に向かう。
 自分1人で行動できないタイプ。
 会社にて、身勝手な行動がとれないため避難が間に合わなかった。
 最低限の物を持って逃げるタイプ。
 どうしたら良いか分からなくて動けなくなるタイプ
 自身の判断に従う。
 津波の無い所で育ったので津波のこわさを知らなかった。

問 17 地震からどれくらいの期間、あなたのところは電気や通信の障害が続いていましたか。
 (あてはまるもの全てに記入)

	1. () 日間くらい	平均日数	2. その他
電気	63.8	29.7	9.3
公衆電話	7.4	44.5	15.6
固定電話やファクス	26.1	53.7	12.8
携帯電話の通話	55.3	18.3	6.6
携帯電話のメール	38.1	16.6	7.0
インターネット	9.7	27.8	13.2

↑ その他の記入

[電気]
 中学校へ行き主人は顔面ケガ、大船渡病院入院、南昌病院入院、9月27日死亡。電気がいつまでつかなかったかわからない。私は北小学校に移った。
 1ヶ月以上。
 5ヶ月。
 7ヶ月。
 現在まで。
 発電機で対応していた。

[公衆電話]
 近くに公衆電話ない。
 分からない。
 知らない

[固定電話やファクス]
 1ヵ月以上。
 2ヵ月。
 4ヶ月。
 7ヶ月。←複数あった
 流された。
 避難所の衛星電話。

[携帯電話]
 2ヶ月。
 3ヶ月。
 忘れた。
 衛星電話が来た。

[インターネット]
 2ヵ月。
 3ヶ月。
 4ヶ月。
 まだダメ。いまだ、モバイルのみ。
 インターネットなし。
 使用しなかったのでわからない。

[その他]
 水 65 日間。

問 18 地震発生から数日間、あなたはどのような情報が知りたかったですか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 今回の地震の震源地、規模について	33.1
2. 今後の余震の可能性や、規模の見通しについて	45.1
3. 津波の状況や今後の津波の可能性について	51.0
4. 地震や津波の被害状況について	53.7
5. 家族や知人の安否について	82.5
6. 水道・ガス・電気・電話の復旧の見通しについて	64.6
7. 交通機関・道路について	35.0
8. 自家用車について	9.3
9. ガソリン・灯油について	52.9
10. 水・食料や生活物資について	66.5
11. 病院、医療、衛生について	38.9
12. トイレ・風呂について	36.6
13. 避難生活について	30.4
14. 原子力発電所の状況について	12.1
15. 仕事・学校・求人について	8.6
16. 仮設住宅について	28.0
17. 国や自治体の対応について	23.3
18. その他	2.3
19. 特にない	0.4
20. (わからない・選択肢外など)	0.8

↑ その他の記入

老人ホーム等の状況。
 老人がいたので薬等(老人ホームに4日後に避難できたので助かった)。
 家が壊れて、いつ帰れるか一番知りたかった。

問 19 地震発生から数日間、災害に関する情報を得るために役に立ったものは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. テレビ	25.7
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	14.4
3. ケーブルテレビの独自番組	-
4. ラジオ (1.NHK 30.6 2.TBC 2.2 3.IBC 26.7 4.FM 仙台 4.4 5.FM 岩手 10.6 6.その他 0.6 7.(わからない・選択肢外など) 49.4)	70.0
5. コミュニティ FM・臨時災害 FM	3.5
6. 新聞 (1.全国紙 15.2 2.地方紙 29.5 3.地元地域紙 32.1 4.(わからない・選択肢外など) 46.4)	43.6
7. 携帯電話の通話	10.1
8. 携帯エリアメール	1.6
9. 携帯メール	3.1
10. 市町村の防災(同報)無線	5.8
11. 携帯・パソコンの Web ページ	-
12. パソコンのメール	-
13. SNS (ミクシーやツイッター)	0.8
14. 口コミ	14.4
15. 避難所にある掲示やチラシ	31.1
16. その他	1.6
17. 特にない	0.8
18. (わからない・選択肢外など)	3.5

↑ その他の記入

停電でラジオを聞いた。
 停電のため情報接取不可。
 他人のラジオから。
 遠くに居る家族の知らせ。

問 19 で「4. ラジオ」と回答した人だけお答えください

付問 19-1 ラジオのどのような情報が役に立ちましたか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 大津波警報	30.6
2. 予想される津波の高さや到達時間	32.8
3. 津波の状況	55.0
4. 地震の震源や各地の震度	38.9
5. 余震の状況	41.7
6. 被害の状況	66.7
7. 避難の呼びかけなどのアドバイス	16.1
8. 生活情報	39.4
9. 多くの人々が応援していることがわかったことや安心感を得たこと	25.6
10. 安否情報	44.4
11. その他	0.6
12. (わからない・選択肢外など)	3.3

再び全ての方にお聞きします

問20 災害時に電話がつながらない時、自分の安否を家族に伝えることができる仕組みに、電話の「災害用伝言ダイヤル(171)」や携帯電話の「災害用伝言板」があります。あなたは今回これらを使用しましたか。(○はそれぞれ1つだけ)

	1. 使った	2. 使わなかった	3. つながらなかった	4. その他
電話の災害用伝言ダイヤル(171)	7.8	61.9	17.9	12.5
携帯電話の災害用伝言板	4.7	57.2	20.6	17.5

問 21 ご家族全員の安否がわかったのは、地震当日からどのくらい経ってからですか。

(○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 地震発生の当日	28.8	5. 5日以上経ってから	17.9
2. 翌日	22.2	6. 現在もわかっていない	-
3. 3日目	18.7	7. その他(わからない・選択肢外など)	5.8
4. 4日目	6.6		

問 22 あなたは、ご家族や知人の安否情報をどこから得ましたか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. それぞれの避難所の掲示から	19.8
2. グーグルのパーソンファインダーから	1.9
3. 新聞から (1.全国紙 - 2.地方紙 20.9 3.地元地域紙 41.9 4.その他(わからない・選択肢外など) 41.9)	16.7
4. 放送から (1.NHK 15.4 2.その他 38.5 3.(わからない・選択肢外など) 46.2)	5.1
5. 知り合いの人づて	58.0
6. 市町村や警察・消防・自衛隊から	3.1
7. ボランティアから	0.4
8. その他	19.1
9. (わからない・選択肢外など)	8.9

↑ その他の記入

携帯電話。←×4
 メール。←×3
 衛星電話。←×3
 電話がつながるまで10日以上かかった。
 東北電力の電話。
 近所の人から。←×2
 いとこから。
 ラジオ。
 市役所掲示。
 直接会った。←×4
 本人が来た。←×2
 避難所に帰って来たから。←×2
 家族が避難所で合流して。
 本人が自力で帰ってきた。
 徒歩で家にたどりついた。
 本人が数日たってから来た。
 会いに来てくれた。
 避難所に行って捜した。
 自分で捜した。←×3
 探しまわった。←×2
 自分で行って確かめた。
 家を見て歩いた。
 2週間後道路が開通して、直接知人宅へ行った。
 避難所を数カ所見て歩いて。
 直接(2週間後)家に行ってみた。
 自宅に戻ってから。
 自宅に集まって。
 一緒に居た。

問23 あなたは、地震発生から1か月後、どのようなことが知りたかったですか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 今回の地震についての震源地、規模について	16.0
2. 今後の余震の可能性や、規模の見通しについて	38.5
3. 津波の状況や今後の津波の可能性について	40.1
4. 地震や津波の被害状況について	34.2
5. 家族や知人の安否について	37.4
6. 水道・ガス・電気・電話の復旧の見通しについて	63.0
7. 交通機関・道路について	33.9
8. 自家用車について	7.4
9. ガソリン・灯油について	41.2
10. 水・食料や生活物資について	54.5
11. 病院、医療、衛生について	37.4
12. トイレ・風呂について	30.4
13. 避難生活について	32.7
14. 原子力発電所の状況について	14.0
15. 仕事・学校・求人について	11.3
16. 仮設住宅について	49.4
17. 復旧・復興・生活再建について	41.6
18. 国や自治体の対応について	28.8
19. その他	1.6
20. 特になし	0.4
21. (わからない・選択肢外など)	1.2

↑ その他の記入

考えに余裕がないようで、その場(避難所)その場に慣れることで精一杯のようだった。
2ヶ月位は、ただ茫然と、命と財産と引き換えなのだと思います。後ろを見ないことにしました。ただ、茫然としていました。
物資がいつ届くのか。
住宅ローン。

問 24 地震発生から1か月後、災害に関する情報を得るために役に立ったものは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. テレビ	63.4
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	8.2
3. ケーブルテレビの独自番組	-
4. ラジオ (1.NHK 31.9 2.TBC 3.0 3.IBC 21.5 4.FM 仙台 4.4 5.FM 岩手 11.9 6.その他 0.7 7.(わからない・選択肢外など) 51.9)	52.5
5. コミュニティ FM・臨時災害 FM	5.4
6. 新聞 (1.全国紙 20.5 2.地方紙 28.1 3.地元地域紙 33.9 4.(わからない・選択肢外など) 43.3)	66.5
7. 携帯電話の通話	20.2
8. 携帯エリアメール	2.3
9. 携帯メール	10.5
10. 市町村の防災(同報)無線	7.4
11. 携帯・パソコンの Web ページ	5.1
12. パソコンのメール	0.8
13. SNS (ミクシーやツイッター)	1.2
14. 口コミ	17.9
15. 避難所にある掲示やチラシ	38.1
16. その他	1.2
17. 特になし	0.4
18. (わからない・選択肢外など)	0.8

問 24 でいずれかを選んだ人のみお答えください

付問 24-1 その中でとくに役に立ったものを挙げてください。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)		全体 (%)
1. NHK テレビ	55.7	8. 岩手日報	27.1
2. 民放テレビ	27.8	9. 東海新報	39.2
3. CATV 独自番組	-	10. 盛岡タイムス	-
4. NHK ラジオ	29.0	11. Yahoo	1.2
5. 民放ラジオ	20.8	12. Google	2.7
6. 臨時災害 FM 放送	9.0	13. その他	3.5
7. 河北新報	11.0	14. (わからない・選択肢外など)	8.6

↑ その他の記入

停電でラジオしか聞けなかった。
三陸新報。×2
朝日新聞。
気仙沼市発行の情報誌。
気仙沼市のホームページ。
避難所に貼られた情報のチラシ。
家の中にだけ居るので、すべてが知りたいです。

問 24 で 1～3 のいずれかに回答した人だけ、付問 24-2 と 24-3 にお答えください

付問 24-2 テレビのL字やテロップ情報は役に立ちましたか（○は1つだけ）。

	全体 (%)		全体 (%)
1. 非常に役に立った	35.2	4. 見ていない	9.1
2. ある程度役立った	34.7	5. その他（わからない・選択肢外など）	18.2
3. 役に立たなかった	2.8		

付問 24-3 地上デジタル放送のdデータ放送は役に立ちましたか（○は1つだけ）。

	全体 (%)		全体 (%)
1. 非常に役に立った	9.1	4. 見ていない	50.0
2. ある程度役立った	14.2	5. その他（わからない・選択肢外など）	23.3
3. 役に立たなかった	3.4		

再び全ての方にお聞きします

問 25 あなたは、現在、どのようなことが知りたいですか。（あてはまるもの全てに○）

	全体 (%)
1. 家族や知人の安否について	5.1
2. 今後の余震や津波の見通しについて	31.9
3. 仮設住宅について	26.5
4. 放射能による汚染について	24.5
5. 病院、医療、衛生について	10.1
6. 経済的支援について	50.6
7. 復旧・復興・生活再建について	77.4
8. 国や自治体の対応について	49.0
9. 仕事・学校・求人について	12.5
10. 原子力発電所の状況について	17.1
11. その他（ ）	0.8
12. 特にない	0.8
13. （わからない・選択肢外など）	1.9

↑ その他の記入

高台移転の地。
公営住宅について。

問 26 現在、災害に関する情報を得るために役に立っているものは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. テレビ	83.7
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	4.7
3. ケーブルテレビの独自番組	0.4
4. ラジオ (1.NHK 23.6 2.TBC 3.4 3.IBC 30.3 4.FM 仙台 3.4 5.FM 岩手 5.6 6.その他 2.2 7.(わからない・選択肢外など) 49.4)	34.6
5. コミュニティ FM・臨時災害 FM	2.7
6. 新聞 (1.全国紙 21.1 2.地方紙 28.0 3.地元地域紙 46.6 4.(わからない・選択肢外など) 30.4)	62.6
7. 携帯電話の通話	10.9
8. 携帯エリアメール	11.7
9. 携帯メール	6.2
10. 市町村の防災(同報)無線	19.8
11. 携帯・パソコンの Web ページ	10.5
12. パソコンのメール	1.6
13. SNS (ミクシーやツイッター)	1.6
14. 口コミ	7.0
15. 避難所にある掲示やチラシ	5.8
16. その他 (市広報誌)	0.4
17. 特にない	-
18. (わからない・選択肢外など)	3.5

問27 地震前あなたは、お住まいの地域の津波防災マップ(ハザードマップ)を見てどう思いましたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)
1. 自宅に津波被害の危険があることがわかった	36.2
2. 自宅には津波被害の危険性がないことがわかった	9.7
3. 自宅に津波被害の危険があるかどうかよくわからなかった	14.4
4. 覚えていない	10.9
5. 見ていない	24.9
6. その他(わからない・選択肢外など)	3.9

再び全ての方に、災害報道についてお尋ねします

問 28 あなたは災害後、どの程度テレビ・ラジオ・新聞を見聞きしていましたか。地震後数日間と、1か月後、現在の3時期について教えてください。(○はそれぞれ1つだけ)

①地震発生後数日間	1. ほぼ毎日	平均時間数	2.数日に一回程度	3.見聞きしていない	4. その他
1) テレビ	29.6	3.8	3.5	37.0	29.6
2) ラジオ	44.0	6.6	8.9	16.7	30.0
3) 新聞	29.2	2.8	7.4	29.2	34.2
②地震から1か月後	1. ほぼ毎日	平均時間数	2.数日に一回程度	3.見聞きしていない	4. その他
1) テレビ	52.5	4.2	8.2	11.3	28.0
2) ラジオ	31.5	4.3	11.3	19.1	38.1
3) 新聞	45.1	2.5	12.8	9.7	32.3
4) 災害 FM ラジオ	7.4	5.0	5.1	25.7	61.9
③現在	1. ほぼ毎日	平均時間数	2.数日に一回程度	3.見聞きしていない	4. その他
1) テレビ	83.3	4.2	4.3	0.4	12.1
2) ラジオ	23.3	3.4	8.2	23.3	44.7
3) 新聞	57.2	2.2	12.1	5.1	25.7
4) 災害 FM ラジオ	3.5	2.5	4.3	32.7	59.5

問 29 あなたは、今回の震災報道で次のような問題があったと思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)
1. 自分の住んでいる地域の取材や報道が少なく不公平感を覚えた	21.4
2. 取材対象の地域が偏っていて、報道が少ない地域では支援や対応に影響が出たと思う	44.4
3. 震災の全体 (%) 像がわかりにくいと思う	16.7
4. 津波の映像が繰り返し放送され、見るのがいやになった	30.7
5. 被害の報道ばかりでなく、生活に関する情報をもっと放送してほしい	39.7
6. いい加減であったり、実際のことを誇張したりした報道も多かった	10.5
7. 原子力発電所の事故の報道が多くなり、地震・津波に関する報道が少なくなった	17.5
8. 放射線に関する報道はとてもわかりにくかった	23.3
9. 不安ばかりをあおって、安心する報道が不十分ではないかと思う	16.0
10. 報道が風評被害を助長した	18.7
11. 風評被害を恐れるあまり、危険性を伝える報道が抑えられていた	6.6
12. 政府や東京電力の責任ばかりを報じているが、報道各社自身もっと責任を感じてほしい	11.7
13. 被災者への配慮が足りないと思う	21.0
14. 地震や津波の細かい情報ではなく、もっと避難の呼びかけをした方がよかったと思う	16.3
15. その他	3.9
16. 特に問題はないと思う	7.0
17. (わからない・選択肢外など)	8.9

↑ その他の記入

同じ CM ばかり流れていて、それが震災時のイメージとなり、もっと多種多様の CM が見たかった。
 私は 84 才、津波は 3 回目。国道ドライバーに手話で車を捨てて逃げろと合図したが誰 1 人逃げなかった。今も残念に思っ
 てゐる。
 報道各社は、このような災害時は協力して、安否情報や物資情報など、バラバラでなく一律で継続して報道し、被災者と被
 災地の支援中心に報道すべきである。
 震災後、数日間は停電により報道を見れなかった、ワンセグも切れた。
 停電のため、報道は皆無！

問 30 このたびの震災の経験から、あなたが信頼できる情報源はどこですか。

(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)		全体 (%)
1. テレビ・ラジオ	84.4	7. 原子力保安院	0.8
2. 新聞	49.8	8. 都道府県	7.0
3. ネットニュース	3.1	9. 市町村	21.0
4. ブログ・ツイッター	2.7	10. その他	3.1
5. 政府	2.3	11. (わからない・選択肢外など)	6.2
6. 気象庁	11.3		

↑ その他の記入

市の公報は役に立つ。
 口コミ。
 報道記者のいない所のニュースは出ていない。
 自分が直接見たものだけ。

問 31 テレビ・ラジオ・新聞などの報道で、よかった点・悪かった点などがありましたら、自由にお答えください。

(省略)

問 32 震災後、情報の入手に関して変えたことがありましたら、自由にお答えください。

(省略)

最後にあなたご自身のことについてお聞きします

F1 性別

	全体 (%)		全体 (%)		全体 (%)
1. 男性	42.8	2. 女性	56.0	3. その他 (わからない・選択肢外など)	1.2

F2 年齢 (○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 20歳代	5.8	5. 60歳代	25.7
2. 30歳代	12.5	6. 70歳以上	25.7
3. 40歳代	12.1	7. その他 (わからない・選択肢外など)	0.8
4. 50歳代	17.1		

F3 職業 (○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 漁業従事者	9.7	7. 主婦	14.4
2. 農業従事者	1.6	8. 学生	0.4
3. 自営業	12.8	9. 無職	26.5
4. 旅館・民宿	0.8	10. その他	1.6
5. 勤め人 (パートタイム含む)	29.2	11. (わからない・選択肢外など)	1.2
6. 公務員	1.9		

F4 震災時の居住形態 (○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 木造一戸建て	83.7	4. 鉄筋の集合住宅	3.1
2. 鉄筋一戸建て	5.8	5. その他	2.7
3. 木造の集合住宅	2.7	6. (わからない・選択肢外など)	1.9

F5 震災時にあなたと同居していたご家族はどなたでしたか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 夫または妻	63.8	5. 孫	12.8
2. あなたの子ども	54.5	6. その他	13.6
3. 親	33.1	7. 同居していない、もしくは不明	3.5
4. 兄弟姉妹	4.7		

F6 震災時、次のような方は同居していましたか。(あてはまるもの全てに○)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 小学生以下の子ども	24.9	4. 足の不自由な方	11.7
2. 65歳以上の高齢者	40.9	5. 同居していない、もしくは不明	38.9
3. 病気で介護の必要な方	7.0		

F7 自宅から海までの距離はどのくらいでしたか。(○は1つだけ)

	全体 (%)		全体 (%)
1. 歩いて10分以内	63.8	4. 歩いて30分以上	10.1
2. 歩いて20分以内	16.7	5. その他 (わからない・選択肢外など)	1.9
3. 歩いて30分以内	7.4		

長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました。

9. 南相馬被災市民アンケート調査

9.1. 調査概要

東日本大震災による地震・津波、そしてそれらに伴う東京電力福島第一原子力発電所レベル7過酷事故発生時における災害情報・避難対応などに関し、当時の実態と課題などを明らかにするため、福島県南相馬市でアンケート調査を予備的に実施した。実施時期は2012年3～4月、対象者は南相馬市原町区に住まわれている市民20名で、知人を頼っての配票調査とした。調査票と単純集計結果を、本章末尾に示す。

9.2. 調査結果

9.2.1. 回答者の属性

アンケートの回答者は、男女10名ずつ、60歳以上が9割(70歳以上が6割)を占め、勤め人は2割という構成だった。自宅から海岸までの距離は、徒歩30分以上が1/3、20分以内は1割だった。被災状況は、津波で全壊が1割、地震の揺れで一部損壊が8割、95%は原発事故がらみで避難した。自宅の(当初の)区域指定は「緊急時避難準備区域」が半数以上、あとは「警戒区域」「計画的避難区域」のいずれかという答だった(図9.1)。

9.2.2. 地震発生直後にとった行動

2011年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震発生直後にとった行動は、「屋外に出た」が2/3で、放送や通信を用いて情報を得ようとした人は1/3だった(MA)。回答者の7割は津波のおそれを想起せず、津波に対する避難対応は1割(津波来襲前は5%)にすぎなかった。その後にはわが身にふりかかった厄災、すなわち、想定を大きく超えた津波や、原発からの放射性物質については、ほとんど念頭になかった。

平成23年4月22日現在の区域設定をまとめると下記のとおりとなる。
(半径20km圏内は、警戒区域と避難指示区域が重複して設定されている。)



(平成24年4月1日以降) ※南相馬市は4月16日



図9.1 福島原発事故の放射能汚染に伴う区域設定
(経産省・福島県資料より)

ラジオなどを通じて“大津波警報”を聞いた人は半数までいかず、聞いた人も多くは自らに大津波が襲って来ると真に受けていなかった。市が14時55分に発令した（津波の）避難勧告を聞いた人も、2割にすぎなかった。原発はもちろん、津波災害のリスク認知も全体に低調だった。

9.2.3. 原発事故の認知と避難

原発事故における避難の特異性は、有害な放射性物質の放出実態を周辺住民が直接知る術がなく、逃げるにも加害者側からの情報提供によらざるを得ない点にある。今回、地震後にまず出たのは「原子炉は無事自動停止した」という情報だった。そして異常事象発生の第一報は、東電福島第一原発吉田所長が3月11日午後3時42分に“全電源喪失”を覚知して、午後4時頃に原子力安全・保安院にファクスした原子力災害対策特別措置法の第10条通報だった。それを受け、午後4時47分に指定公共機関であるNHKが災害報道の一つとして放送、午後5時前に首相が会見、午後7時過ぎに“原子力緊急事態宣言”、午後9時以降になってようやく複数の「避難指示」などと続いた。これらの広報の際、ことごとく事故の過小評価につながる「あくまでも万が一に備え念のため」「ただちに健康に影響はない」「時間は十分にあります」「安心して不確実な噂に惑わされることなく」「全力で万全な態勢を整え」などの文言が添えられていた。好意的に見るならば、危険を煽っていたずらに混乱させないようにとの配慮だろうが、おおごとではないどころか、実は現場では相当際どい状況に追い込まれていた。電力会社や政府などが、原発でシビアアクシデントは起きないという基本的立場を崩せず、どうしても真相を認めるのが遅れがちになり、控えめなバイアスのかかった情報しか表に流さなかった。

福島第一原発がただならぬ事態に陥ったと住民が認識したのは、1号機が爆発した2日目と次いで3号機が爆発した4日目が多かった（図9.2）。深刻な事態だと認識したきっかけは「避難を呼びかけられたので」が6割と最も多く、次いで「爆発映像」（福島中央テレビの無人カメラが捉えた史上初の“大きな煙が上がった”映像）が4割、その他の自由記述には「じかに爆発音を聞いた」などがあった（MA）。テレビの映像が、原発の安全神話を信じこんで安心していただけを一瞬で目覚めさせた。

また、自宅から避難した日は、初日、2

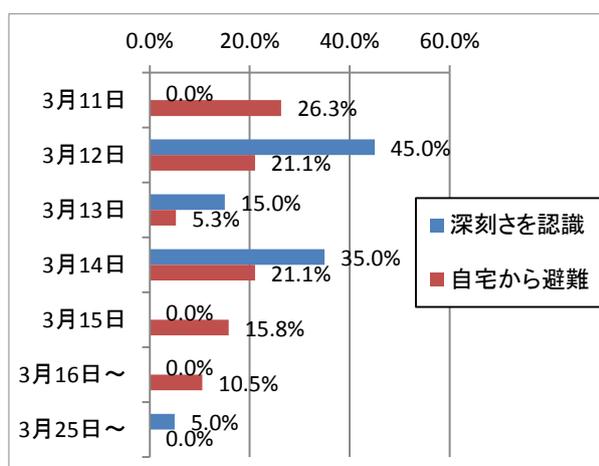


図9.2 原発事故の深刻さを認知／自宅から避難した日



図9.3 市のバスによる避難誘導
（南相馬市「東日本大震災による南相馬市の被害」より）

日目と4日目が多かった(図9.2)。避難のきっかけは「市が避難を促したので」が5割近くと一番多く、次いで「自分自身が危険を感じたので」が3割弱だった(MA)。住民の1/4は初日に避難したが、この時点では誰一人として深刻な危機感を持っていなかった。ほとんど無害だと説明された万一のベントなどに備えて避難してほしいとの呼びかけに、1日か長くても数日間のつもりで協力したという構図だ。「あくまで念のため」避難したはずなのに、原子炉が暴走し、その後何年も続けて避難生活を送らざるを得なくなった。肝心の市町村役場も、時々刻々の緊急通報を受け取っていたわけではなかった。その他の自由記述には、「最初は20km圏の境界近くで、3月15日から遠くへ避難した」「屋内退避と決めていたが兵糧攻めの状態になったので」「電気、水が出ないため」などがあつた。

後日明らかになった放射性物質の放出・拡散状況は、2日目午前始まり、4日目夜半から急激に増加して5日目から6日目にかけて2号機が主因となってピークに達した(図9.4)。それに対して行政は、2日目の朝5時44分に半径10キロメートル圏内に避難指示、同日18時25分に半径20キロメートル圏内に避難指示、5日目11時00分に半径20~30キロメートル圏内に屋内待機の指示を出した。さらに5日目以降は、南相馬市がバスで集団避難を誘導した(図9.3)。結局、行政の指示に従って、知らず知らずに汚染濃度の高いホットスポット周辺を逃げ惑ったのではないかと、とても気の毒だ。オフサイトセンター(緊急事態応急対策拠点施設)やSPEEDI(緊急時迅速放射能影響予測システム、図9.5)が生かされなかったなど、緊急時の情報伝達に大きな問題があつた。

東京大学の廣井脩教授は、1999年JCO臨界事故の被ばく被害発生を受け「原子力防災広報については、ひょっとしたら誤報かもしれないとか、施設から詳しい情報が入ってから伝えようとか、軽微な事象が大規模な事象かを見極めてから伝えようとかいう配慮は必要なのではないだろうか」と、安全最優先で考え、急速な事態の進展に遅れないよう、一刻も早くアラート情報を周知すべきだと指摘した。もし正確な情報をきちんと出せないのなら、原発の運転などあってはならないことだが、廃炉に向け、原発内の気体には臭いをつける、原発内の液体には色を付けるなど、はっきり可視化できるような手だてをとりたい。

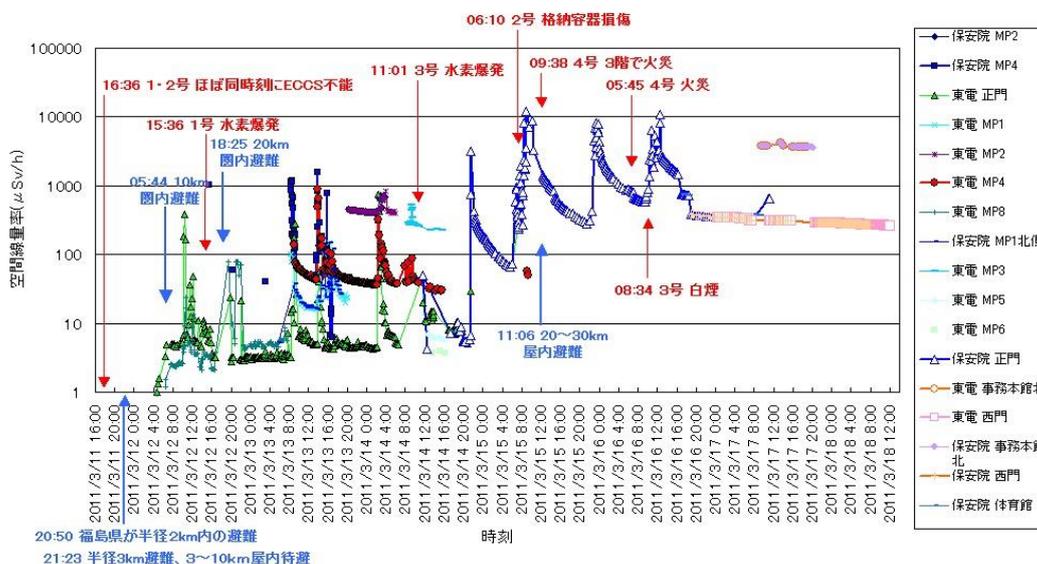


図9.4 福島第一原発周辺の空間線量率(原子力安全・保安院・東京電力公表値より)

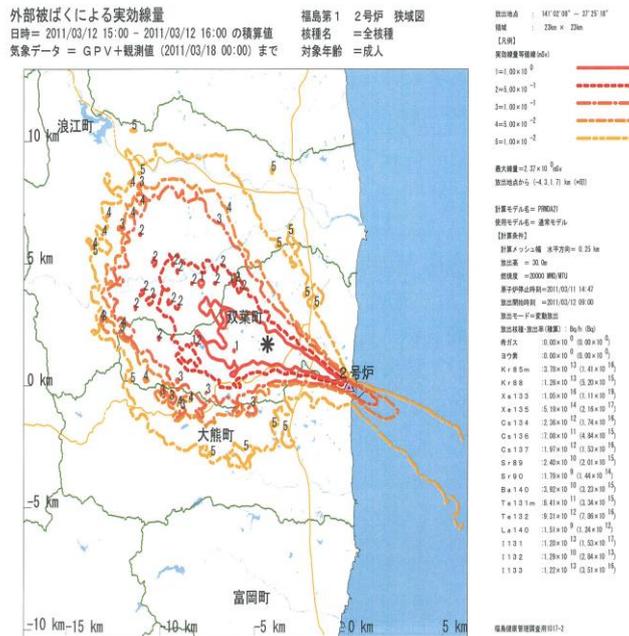


図 9.5 福島第一原発周辺の SPEEDI 計算結果(3/12 15~16 時、外部被ばく狭域、原子力安全・保安院)

避難する際に困ったことは、「避難するガソリンが不足していた」が 95%、「水や食料、毛布などの物資が不足していた」が 50%だった (MA)。自由記述には、動物や作物の世話、避難に関する説明が不十分などの課題があげられた。つまり、避難しようにも思うに任せない状況だった。なお、道路が渋滞という記述はなかった。

別途われわれが実施した新潟県下への広域避難者に対するアンケート調査 (日本災害情報学会デジタル放送研究会'5 「検証 ～東日本大震災～ 命を支える情報はどうなっていたのか」、2013.11、http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv5_report.pdf、以下「新潟調査」という) と、原発事故時の避難行動で異なる点は、回答者がフクイチ近傍の居住者だけで、行政からの“避難指示”とともに、実際、家で暮らせなくなり、より早い段階から避難するしかなかったことだ (表 9.1)。また、詳しくは後述するが、年齢層の違い、さらに子供の将来の健康を放射線物質から守ろうとする意志の強弱が、オルタナティブなネットメディアの情報に接するかどうかを分け、東京電力と国のみならず、既存のマスメディアにも非難の矛先が向くかどうかにつながるといった結果になった。そして悲しいことに、第一にわが子を守りたいとする思いと、愛着のある土地へのこだわりとがトレードオフになってしまい、住民間に亀裂を生じてしまった。

表 9.1 南相馬調査と新潟調査との対比

	南相馬調査 (2012.4 実施、N=20)	新潟調査 (2012.7 実施、N=114)
回答者	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢が 70 歳代中心 (高齢な夫婦世帯) ・区域指定で行政からの避難指示 (県内近傍) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢が 30 歳代女性中心 (若い母子世帯) ・自主的な遅めの避難が主 (県外一家離散)
類似点	<ul style="list-style-type: none"> ・地震や津波被害よりも原発事故のせいでの避難した ・東電、政府などが出した (隠ぺいした) 情報に対し強い不信を持っている ・放射能による人の健康被害に関して切実な心配がある ・放射性物質の汚染状況と今後の除染の見通しについて真実を知りたがっている 	
相違点	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的なマスメディアから情報入手 ・放射性物質で汚染された地域の再興への不安が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ・既往のマスメディアだけでなく、パーソナルユースの IT ツールからも情報入手 ・既存のマスメディア報道に対する痛烈な批判

9.2.4. 原発事故で困ったこと

原発事故の際に困ったことのうち、平素から馴染みの薄い原発とか放射線の“科学的な危険性”に関しては、「専門家や政府を信用できない、誰を信用していいかわからない」「実際にどの程度危険かわからない」「食べ物や水の表示を信じていいかわからない」「専門的な説明がわかりにくい」の回答が多かった（図 9.6、MA）。自由回答には、「専門家でも人によって危険度の説明が違うように感じられた」「何が安全なのか?」「事故情報が信用できない。真実の報道がなされていない」などがあつた。

同じく“生活について”は、「補償の見通しがわからない」「身近な生活情報が不足していた」「田や畑の管理ができなくなる」「地元の治安が悪化する（空き巣など）」「地元で仕事ができなくなる」との回答が過半数だった（図 9.6、MA）。自由回答には、「放射能汚染に対する精神的苦痛は未だに消えず原発事故以前の日常生活には戻れず気力、集中力が欠けてきている」「常磐線不通のため今まで行っていた行きたいところに行けなくなり、陸の孤島みたい

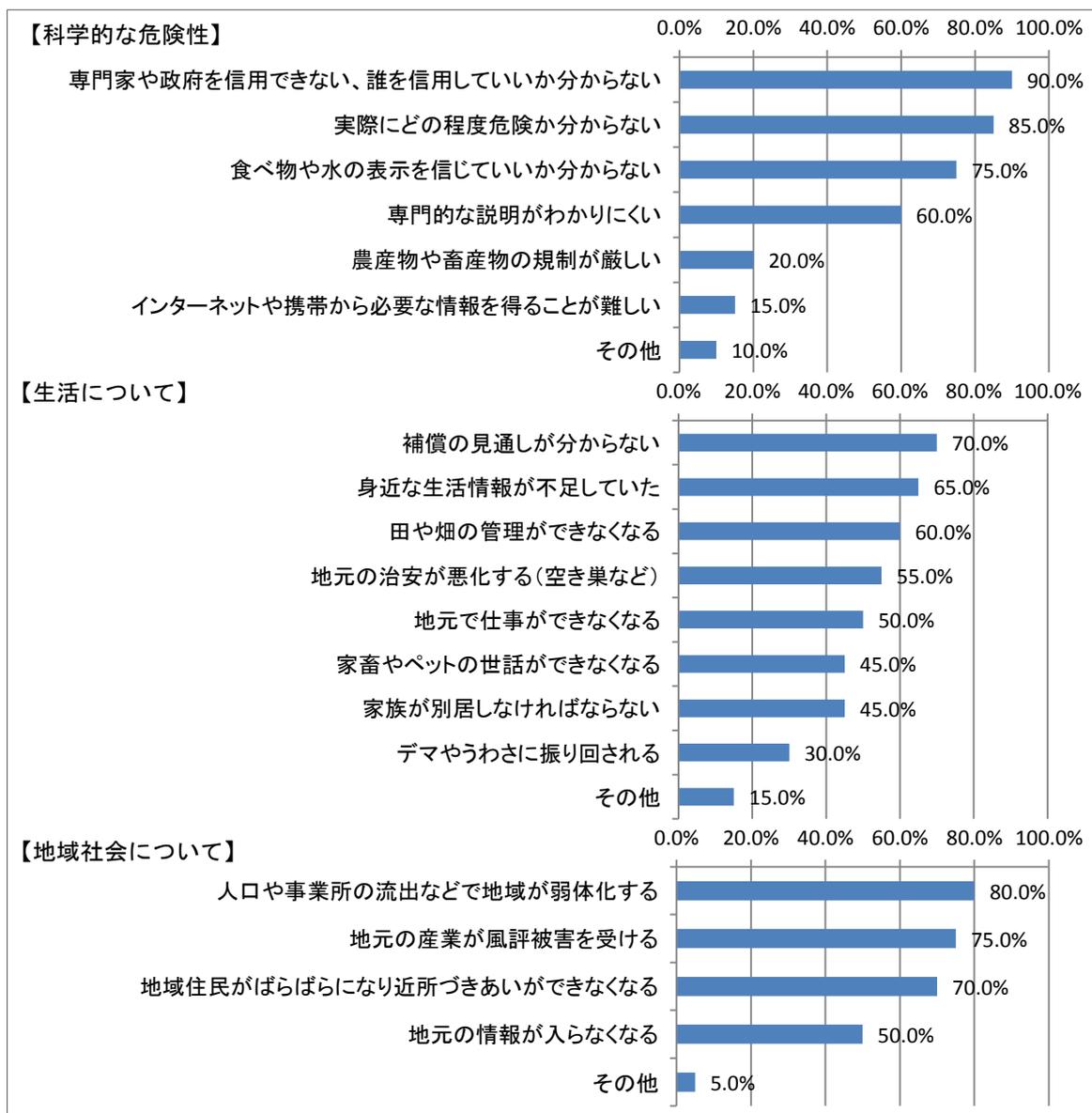


図 9.6 原発事故で困ったこと

で精神的にすっきりしない！」「原町区は店が全部閉じていて食料が不足した」「2～3日避難所より自宅に戻れると思った」などがあった。

そして“地域社会について”は、「人口や事業所の流出などで地域が弱体化する」「地元の産業が風評被害を受ける」「地域住民がばらばらになり近所づきあいができなくなる」「地元の情報が入らなくなる」の回答が過半数だった（図 9.6、MA）。自由回答には、「生涯センターの貸出も遅れて戻った人での活動もできなかった」「汚染を気にしながらの生活は不安である」「地元の治安」などがあった。

これらの回答は、前述の新潟調査と似た傾向を示すが、放射性物質による汚染がよりいっそうひどい地域なため、“健康に関する不信・不安”が同程度あるとともに、どこかに移動して回避する選択肢がとりえない“地域の生活再建や産業再建”を心配する声が強かった。

ちなみに、食品の汚染に関しては、3月19日、福島県の牛乳と茨城県のハウレンソウから暫定基準値を越す放射性ヨウ素などが検出され、3月22日、東京都金町浄水場の水道水が幼児飲用禁止となった。5月9日には神奈川県から暫定基準値を越す放射性セシウムが、その後、肉牛、コメ、きのこ、そして魚介類などから、次々と有害な放射性物質が検出された。低レベル放射能汚染における基準値自体、議論の分かれるところなので、安全か危険かははっきりしないことが「風評被害」を招いてしまうような状況だ。

9.2.5. 原発事故の情報を得るのに役立つ媒体と知りたかった情報

1) 有用な媒体

原発事故の情報を得るのに役立つメディアは、圧倒的にテレビだった（図 9.7、MA）。テレビのL字情報は65%、地デジのデータ放送は40%の方が役立つと答えた。例えばNHK福島放送局のデータ放送には、独自の放射能汚染情報があり、ネットユーザでなくても簡単にリモコン操作でこの情報に接することができる（図 9.8）。次いで高かったのは新聞で、地方紙が全国紙に水をあけていた。ラジオも普通より多く聴かれていたようで、時間を追って漸増傾向だった。この傾向は1ヶ月後、1年余後も概ね続いたが、新聞が徐々にテレビを追い上げた。いずれもほぼ毎日視聴されており、一日あたりテレビは4.2～2.7時間、ラジオは4.9～5.3時間、新聞は1.7～1.2時間平均だった。中でも役に立ったとするのは「NHK」「福島民報（などの地元紙）」「毎日新聞」などだった。ちなみに毎日新聞が「県民健康管理調査」報道で一躍注目を浴びたのは、本アンケート調査実施時期よりも後になってからのことだ。

一方、放送や新聞などといったコンベンショナルな情報媒体にくらべて、IT系の媒体利用はどれも少なかった。おそらく回答者の年齢層が高く馴染みが薄いことと、ネット接続環境などの影響だろう。この点は、インターネットなどの情報通信を情報収集に活発に利用していた新潟調査と大きな違いがあった。すなわち、日常的にネットメディアにアクセスしているかどうかの違い、つまり、オルタナティブな必要情報入手手段が身近にあるかどうかの差がはっきりした。東京工業大学の徳田雄洋教授は「大手メディアが一種類の公式発表のみを大量に伝えることにより生じた情報空白」と福島原発事故の報道を揶揄したが、マスメディアがたれ流した“（東電や官製）発表情報”に対する不信・不満（この批判自体はどちらも同程度あった）をぶつける先へ影響を及ぼしたようだ。

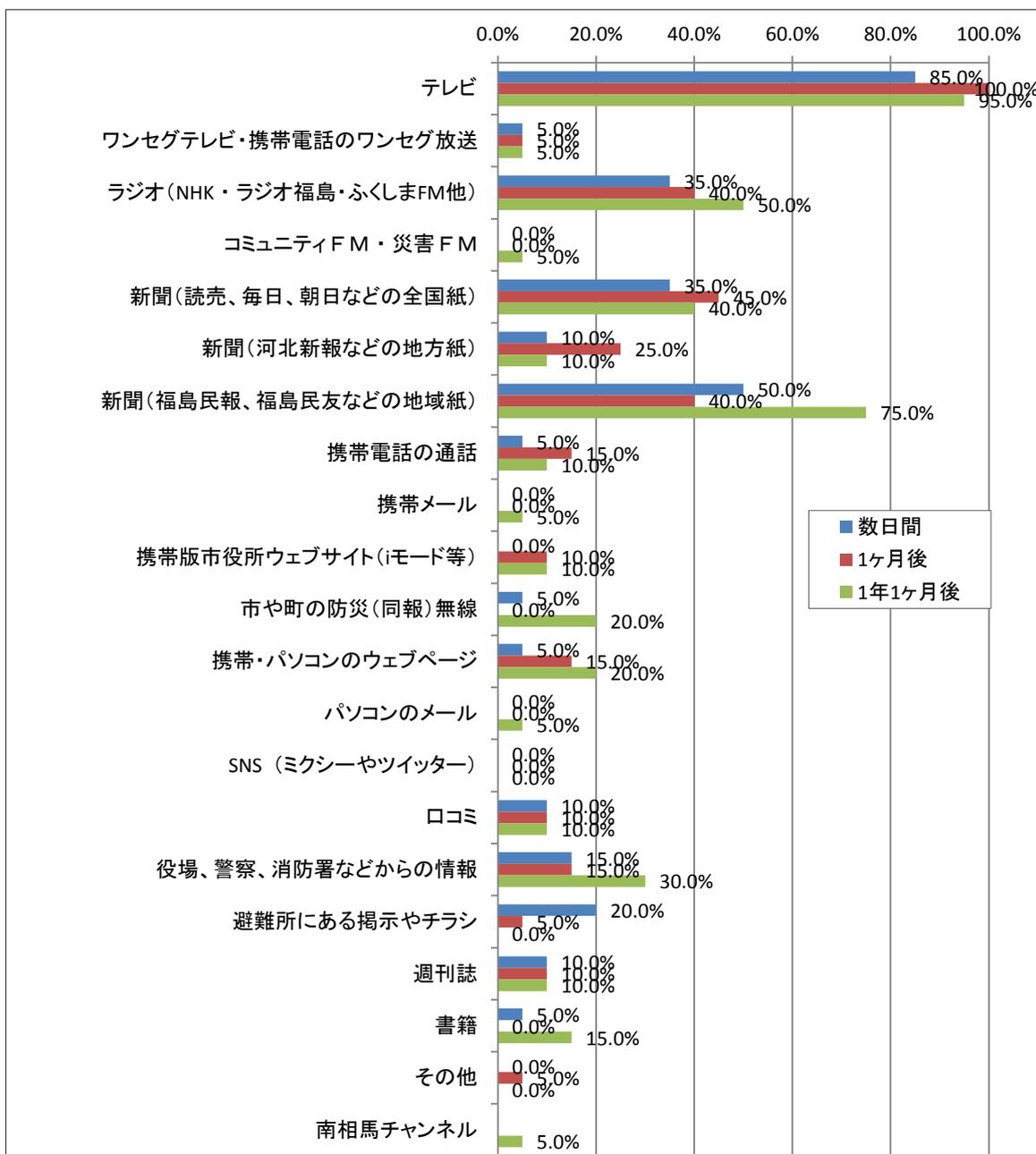


図 9.7 原発事故の情報を得るのに役立つ媒体

2) 情報ニーズ

今でこそ、福島第一原発は早々に制御不能に陥り、なす術がないまま炉心溶融を起こして爆発したことが明らかになっている。しかし当時、放射性物質拡散の恐怖へと突き進んでいる状況にあることなど、住民には一切知らされていなかった。まずこれが一番の問題だ。

その後、避難者が知りたかった情報は、主に「原発事故の状況の推移」「放射能汚染の見通し」「水・土壌・海の汚染」「放射能に対する行動の仕方」などだった(図 9.9、MA)。経時的にみると、事故の推移とか避難、放射能に関する知識などは初期に多く、放射性物質による汚染と関連性が深い属地的な第一次産業の今後の見通しなどは、調査時点(1年1ヶ月後)のほうが多かった。増加傾向にある後者は、新潟調査よりも関心が高くでた項目でもある。

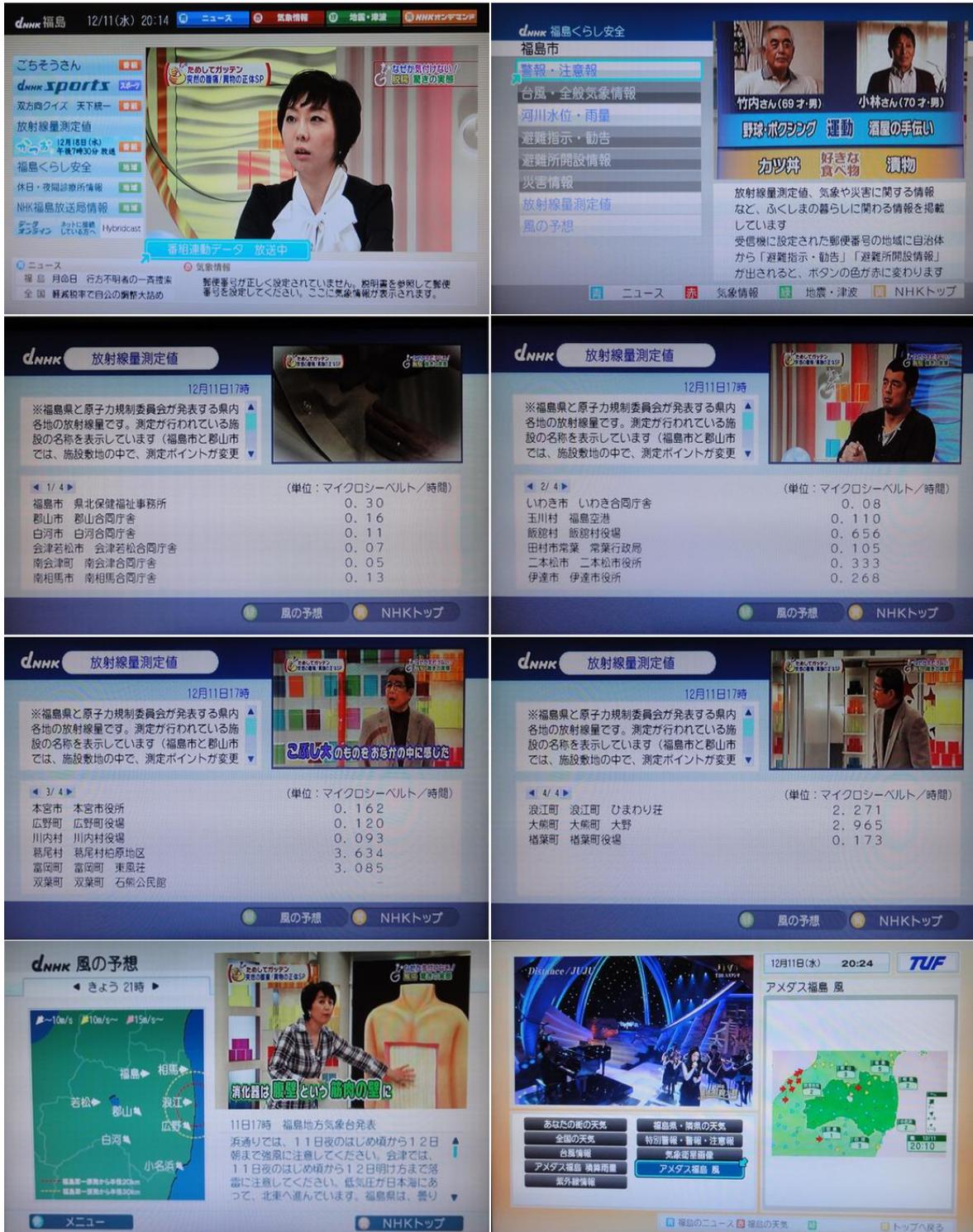


図 9.8 福島県下の地デジのデータ放送画面例(NHK 総合と TUF、2013 年 12 月 11 日撮影)

- ※ NHK 福島放送局では「放射線量測定値」とフクイチとの位置関係がわかる「風の予想」を提供中
- ・これらの情報への選択メニューはたどり着きやすいように複数ルートが用意されていた
 - ・右下の TUF テレビユー福島では普通に風の実況図が提供されていた
 - ・県内の他の民放3局ではこれらに該当するようなデータ放送の情報は見当たらなかった
 - ・隣県ではこれらの情報は提供されていなかった(放射性物質による汚染がまったくないわけではない)

その他の自由記述には、当初「ペットの件」、1ヶ月後「県外避難先での情報の相違」、1年1ヶ月後「健康被害」「国および東電は正確な情報を国民・被災者に伝えるべきである。いまだに国と東電は信用できない」などの声があった。

いずれにせよ住民のニーズが高い情報は、原発や放射能について当時困ったものばかりで、津波のようにどこへ逃げればいいのかわからない中、

どれほど危険でかつ盲目的な避難をせざるを得なかったか、心中察するに余りある。そして、その後も復旧や復興に向けた説明が不足していることが読み取れる。

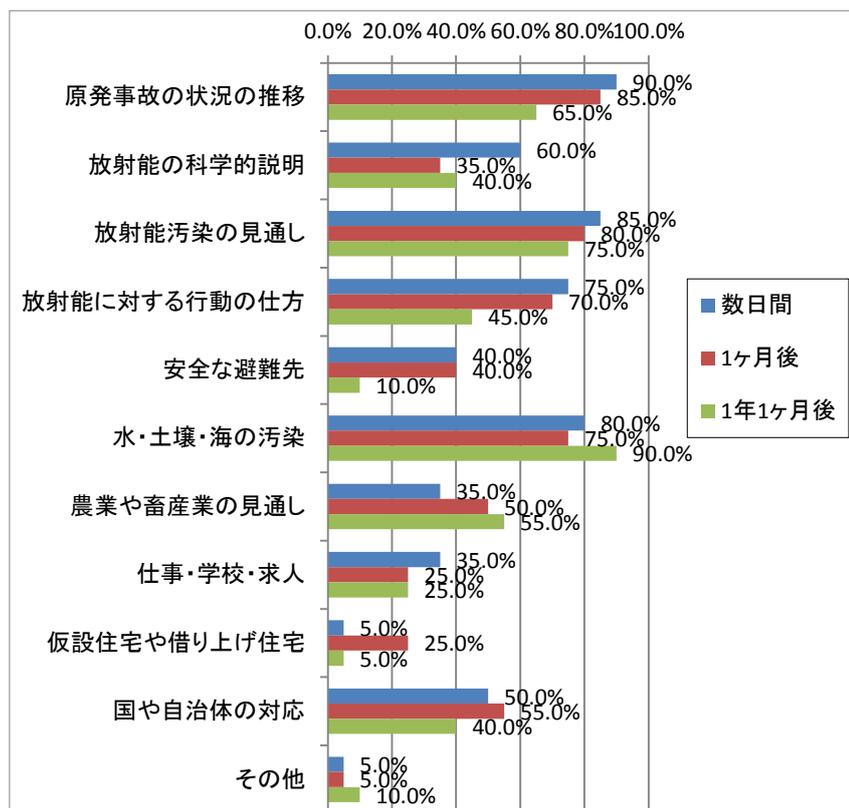


図 9.9 原発事故に関して知りたかった情報

9.2.6. 信頼できる情報源と報道への評価

1) 信頼できる情報源

信頼して利用し評価できる情報源としては、テレビ・ラジオ (85%)、新聞 (70%) が多く、具体的に複数の回答があった先は、「NHK テレビ (11)」「福島テレビ (4)」「NHK ラジオ (2)」「福島民報 (6)」「福島民友 (2)」「河北新報 (2)」「岩手日報 (2)」「毎日新聞 (2)」だった (MA)。自由回答には、「原子力保安院の態度は最悪である。政府不信につながった」「情報としては見ているが信頼できるかは不明です」などがあった。テレビなどの既存大手メディアが、両論併記ではなく公的な権威による裏づけを重視し当たり障りのない報道をしたことに関しては、一義的な責任の所在が東京電力や国など発表者側にあると感じているようだった。既存のマスメディアへの信頼が大きく揺らいだ新潟調査とは、少々ニュアンスが異なる。

2) 報道への評価

報道に対する問題点の指摘は、まず“地震・津波について”は、「報道が少ない地域では、支援や対応に影響が出たと思う (70%)」「自分の住んでいる地域の取材や報道が少なく不公平感を覚えた (60%)」「取材の対象になっている地域が偏っているように思う (55%)」「津波の予想される高さや到達時間、観測情報などの細かい情報ではなく、もっと避難の呼びかけをした方が良かったと思う (50%)」が多かった (MA)。自由回答には、「報道は三陸に集

中し、浜通りは忘れられていた。自宅に帰ってきた人に何の支援もない。避難所や仮設には孤立対策があるが自宅に戻った人にはない」などがあった。

そして“原発事故について”は、「安全でないのに安全・安心という報道が多かった（80%）」「原発事故の報道がわかりにくかったと思う（75%）」「住民の生活に密着した原発事故の報道が少ないと思う（50%）」などが主だった（MA）。自由回答には、「自主避難するのに放射能汚染度がわからず線量の高めの方向へ避難するようになり、早めに放射線量の低いところの情報がほしかった」「政府の原発事故に対する一貫した報道が望まれる（放射線の人体に与える影響でブレない数値の示し方等）」「情報源である国（特に保安院）及び東電は情報を隠して正しい情報の提供されなかったのは大きな問題である」「他人事のように無責任。警戒区域の設定も唐突で何の準備もできなかった」「自分で判断できるように科学的な数値を教えてほしい」などの批判が並んだ。はじめてのレベル7の非常事態、それぞれがそれぞれの立場で迷走した。

最後の設問で「このたびの震災における、テレビ・ラジオ・新聞などの報道で、よかった点・悪かった点などがありましたら、自由にお答えください」と尋ねた。その結果、「政府発表は信用できない」「他人事のように無責任。警戒区域の設定も唐突で何の準備もできなかった」「テレビ、新聞等で早めの安全（放射線量の低いところ）な避難場所を報道してもらいたかった（自主避難の場合）」「南相馬市というだけで新聞は3月12日～4月30日まで配達になりませんでした。郵便物はもちろん宅配便、運送屋さんも来ませんでした。避難物資も場所によって大差があり、自宅で頑張っている者には援助が少なかった。緊急時避難準備区域でも避難した人と屋内退避していた人との待遇の差がありすぎたと思う」「全般的によかったかと思う。現場の状況の報道。原発については真実の報道を期待したが本当のことが報道されないのではないか」「テレビ報道等マスコミはあらゆる視点から報道されたと思う（特に多くの被災者の声を取り上げていたのが良かったと思う）。悪い点は保安院、原子力委員会の無責任な言動、第三者的な態度、姿勢には腹が立った」「原発事故について政府は本当のことを言ってほしい」「1年間を経過し原発事故について情報が分かりにくく何か不安がつる」「NHKや民放TVの特集でわかりやすい番組に仕上げていた（理解に役立つ）」「良かった点はどんな状況か知ることができた、救助事案など明るいニュースもあったこと。悪い点は、認知症の高齢者向けの介護施設がなく既入所者が戻ってきたため新規入所は100人待ちなどのひどい状況だったことが全く報道されなかったこと」という記載があった。このように、多くは原発事故報道を指して苦言を呈する自由記述だった。

結果として、公的機関などが発表した曖昧で楽観的な情報がリスクコミュニケーションに齟齬をきたし、万全な被ばく防御ができなかった。先行研究でもしばしば指摘されているが、原因は、①営々と原子力発電の“安全神話”や“低コスト神話”を人びとに刷り込んできた加害者側（いわゆる“原子カムラ”）が情報ソースを握っていること、②「人びとはパニックを起こすから冷静な対応を呼びかけなければならない」「うわさに惑わされるかもしれないから正しい情報に基づいて行動させなければならない」といった“パニック神話”に囚われてとにかく不安を煽らないことを旨とした政府の公式発表、③無批判にそれらに追随した主要報道機関、という構図に見いだされよう。そして、上記③に関しては新潟調査との違いが見

られた。つまり、リアルタイムにオルタナティブな情報に接していなければ、電力会社や国からもたらされる公的な情報をテレビがそのままスルーしても不自然ではなく「発表ジャーナリズム（大本営発表）」のそしりを受けにくかった（被災者の主たる情報源である地元局や地元紙の努力のおかげもあるかもしれないが…）。いずれにせよ、事故や災害情報（報道）においてもできるだけ多様な“競争原理”が働くべきことは欠かせない要件で、危機管理対応における「シングルボイス」論に潜む怖さを感じてしまうのは、はたして私だけだろうか。

9.3. まとめ

福島原発事故の災害情報に関する調査で最も印象的だったのは、既存メディアがこと原発事故に関しては軒並み機能不全に陥り、情報の受け手である住民の被ばく拡大を防ぎきれなかったことだ。その理由は、①独自取材ができず、当事者以外からきちんと情報を得る手段がなくて、公式発表に頼らざるを得なかった、②「最悪の場合はこうなる」と両論をあげるべきだったかもしれないが、憶測に基づく可能性がどこまで確かか問われても答えられず、権威に頼ってしまった、③まして生放送の場合、やり直しがきかず、どうしても抑制気味になった、というあたりだろう。でも、これがもし火山噴火だったらどうだったろうか。小さな兆候だけでも一斉に避難を焚きつけたのではないかと思われる。どうも、電力会社が招いた人為災害への追及の弱さを感じてしまう。今後は、3.11 当時不足していたノウハウを得、スキルアップを図り、いざ事故に直面した際、政府や電力会社を質せるだけの取材力を磨き、勇気あるジャーナリズムとして市民の味方になってもらいたい。

そして人は、危機にあってもわが身には大変なことは降りかからないと思込みがちだ。目に見えない放射能汚染の危険性が本当にも高くても異常ないものと信じたがる。つまり、心の平穏を求め“認知的不協和”を解消しようとする。一方、情報の伝え手は、誤報や特落ち、パニックや抗議などを恐れ、独自に調査したりすることを避け、特定の権威や公的機関の発表に依存しがちになる。結果、受け手は何度も裏切られて、報道情報を信用しなくなる。福島の不幸な状況は、まさにこのような図式ではないだろうか。災害情報学的には、この両者の好ましくない関係を打開し、的確なリスクコミュニケーションのもと、住民が真実をきちんと理解した上で創発的な選択や行動ができるように、軌道修正したい。近年、メディアは、大雨など自然災害であれば避難情報の出し渋りなどについて過剰なまでに問う論調になってきたが、こと原子力災害では命を守ることに對して及び腰を感じる。東京大学の丹羽美之准教授は、いわゆる“大本営発表”に陥ったとされる今回の原発事故報道について「自然災害モード（国と一体となる）ではなく戦争モード（国と距離を置く）のスタンスで臨んだほうがよいのではないか」と提起された。

また、避難行動のスムーズさは、前章の津波避難との対比で、「いざというときに備えて日頃から津波避難の仕方を身につけていた三陸沿岸」>「備えは不十分ながらも現象が津波だから辛くも逃げおおせた仙台平野南部沿岸」>「普段から原子力に大きな危険があると思わせないために住民の避難対策を疎かにしてきた原発立地地域」と整理されるのではないだろうか。原発に完璧な安全はなく、起きた時の重大性を踏まえ、これまでとは一線を画した取り組みや選択が必要だ。

2003年12月6日、経済産業省の総合エネルギー調査会基本政策分科会は、原子力発電を重要なベース電源として活用することなどを柱としたエネルギー基本計画の原案を示した。前の民主党政権時代の「脱原発“依存”」「2030年代に原発ゼロ」政策からあっさり撤退する内容だ。「東日本大震災以降、今も国会や官邸前など各地で連綿と続けられている「反原発」のデモ、過半数の世論、与党の小泉純一郎元総理が「日本が原発の安全性を信じて発信してきたのは過ちだった。東日本大震災を考えると原発をゼロにした方がいい。これ以上、原発を増やしていくのは無理だと思う。政府は、原発は低コストだとしてきたが、高レベル放射性廃棄物を処分するには、膨大な費用と数万年単位の時間がかかる。日本の場合、そもそも捨て場所がない。フィンランドには原発が4基しかないが、日本には50基もある。いますぐ止めないと最終処理が難しくなる。今、ゼロという方針を打ち出さないと将来ゼロにするのは難しい。野党はみんな原発ゼロに賛成だ。総理が決断すればできる。あとは知恵者が知恵を出す。日本の能力を考えればできる。ピンチをチャンスに変え、原発ゼロの循環型社会をつくる契機にすべきだ」と訴えているにもかかわらずだ。

そして、核のゴミに目を反らしてはいけないということだけでなく、災害大国日本においては、安全面の不安も隠せない。万が一にも事故を起こさない対策と、起きたときの備えもきちんと準備しておくことが求められる。2011年3月11日のフクイチ事故では、1979年の米国スリーマイル島原発事故を契機に113億円をかけて開発された文部科学省所管の原子力安全技術センターが運用する「緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム(SPEEDI)」が使われなかった。そして、本来であれば地方公共団体等に対して迅速に情報が提供され、周辺住民へ避難・退避などの指示伝達を行い防災対策を講じるために利用されるはずだった1999年JCO臨界事故を教訓に設置された「オフサイトセンター(緊急事態応急対策拠点施設)」がまともに機能しなかった。そして今、溜まった汚染水を繰り返し海へ流してしまっている。このように「原子力災害対策特別措置法」に基づき用意されていた有名無実の事故拡大防止応急対策、住民の安全確保策などの緊急対策に、いったいどれほどの説得力があると言えるのだろうか。「危機管理に際して国家が主権者たる国民をどのような存在として見ているのか」という国権の根幹にかかわる問題ではないかとの批判もある(朝日新聞社「知恵蔵2013」)らしい。阪神・淡路大震災の1年前、高速道路が倒壊した大都市ロサンゼルス地震災害に対し、わが国では設計基準が異なるので起こり得ない、そして、1986年チェルノブイリ原発事故では、旧ソビエト独特の炉(黒鉛減速沸騰軽水圧力管型)に原因があり、他の型式の炉しかないわが国では同様の事故は起きない、と説明されてきた過去を思い起こしてしまう。

ちょうど本章をとりまとめた2月12日、国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団(Reporters without Borders)」が、世界の「報道の自由度」2014年版調査結果を発表した。日本は59位で、昨年の53位、一昨年の23位から大きく後退した。アジアでは台湾(50位)や

80km圏内における空間線量率マップ
(平成25年9月28日時点)(事故後30か月後)

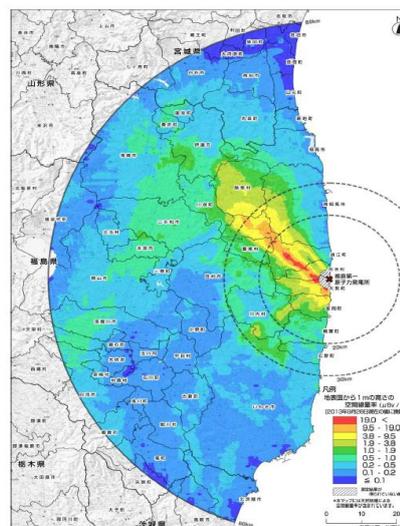


図 9.10 空間線量(原子力規制庁より)

韓国（57位）を下回る自由度とされ、なんと5段階中3番目の「顕著な問題」のある国に転落した。順位を落とした原因は、福島第一原発事故に関する情報の透明性、事故の影響取材しようとした際に受けたさまざまな圧力、さらに原子力問題を取材する記者の活動がより危険なものとなる特定秘密保護法の成立などがあげられ、とくに記者クラブ制度が原因といえるフリーランスや外国人記者へ対する偏見が強まっていると指摘された。ぜひ汚名返上を頑張ってもらいたい。

平成 23(2011)年 3 月 11 日 「東日本大震災」におけるアンケート調査

昨年 3 月 11 日に発生した「東日本大震災」から 1 年が経ちました。

改めて震災で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災して困難な生活を続けておられる皆様にお見舞い申し上げます。

さて、この調査は、東日本大震災の被害に遭われた方々に、当日の状況や避難、情報への対応などについてお尋ねするものです。

私たちは、これまで長い間、人々の意識や対応という面から、地震や津波の被害に遭われた方々にお話を伺い、災害時の問題点を検証してまいりました。今回の震災でも、ぜひとも皆さんからお話を伺い、この震災における情報と避難の課題を明らかにするとともに、皆さんがこの震災で体験されたことや皆さんの思いを記録に残し、今後の大規模災害への教訓にしたいと思っております。

なおこの調査結果は学術目的にのみ用い、皆さんのお名前や個人の情報が表に出ることは絶対にありません。

お忙しい中誠に恐縮ですが、何とぞ、ご協力をお願いいたします。

2012 年 4 月

日本災害情報学会 デジタル放送研究会

研究会代表 大妻女子大学 藤吉洋一郎
(学会長 関西大学 河田恵昭)

連絡先【学会事務局】 URL : <http://www.jasdis.gr.jp/>

〒160-0011 東京都新宿区若葉 1-22 ローヤル若葉 505 号室

TEL : 03-3359-7827 FAX : 03-3359-7987 E-mail : tokio@jasdis.gr.jp

■アンケート用紙のご記入方法

回答の仕方は質問ごとに 3 通りあります。①番号の中から一つだけ選んで○をつける、②あてはまる複数の番号に○をつける、そして③ () や に文字をご記入ください。

■アンケートの回収方法

- 配布にうかがった者が受け取りに参ります (____ 月 ____ 日 ____ 曜日 ____ 時頃)
- ご記入済みのアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、____ 月 ____ 日までにポストに投函してください

※ ご回答いただきました方には図書カードを薄謝として贈呈いたしますので、郵送の場合は、封筒の裏に送付先のご住所を明記してください。

(注意) この調査は、2011 年 3 月 11 日の本震(14 時 46 分)のときに、出張や旅行などで自宅から遠く離れた場所にいらした方は対象としません。

第一部 地震・津波についてうかがいます。

問1. 東日本大震災が起きた当時のお住まいはどちらですか。(地名をご記入ください)

1. 区市町村名 <u>福島 県 南相馬市</u>	N = 20
2. 地区名 (大字など) <u>原町区</u>	

問2. 地震が起きた時 (3月11日午後2時46分頃)、あなたはどこにいましたか。(SA)

1. 自宅	55.0%
2. 自宅のある市・町・村の中	25.0%
3. 自宅のある市・町・村の周辺地域	20.0%

問3. 揺れが収まってから、あなたはどうしましたか。(MA)

1. 屋外に出た (揺れている最中に屋外に出た場合も含む)	65.0%
2. 中や外の被害を確認して片付けを始めた	30.0%
3. 隣近所で声をかけあった	30.0%
4. 地震の情報を得ようと防災無線を聞いた	5.0%
5. 地震の情報を得ようとラジオ (カーラジオを含む) を聞いた	35.0%
6. 地震の情報を得ようとテレビを見た	25.0%
7. 地震の情報を得ようと携帯電話のサイトやワンセグ放送を見た	0.0%
8. 保育園や幼稚園や学校などに子どもを迎えに行った	10.0%
9. 近くに住む親や親戚などの様子を見に行った	15.0%
10. 出先から自宅に向かった	30.0%
11. 職場に向かった	5.0%
12. 海や川の様子を見に行った	5.0%
13. 船の沖出しのために港へ向かった	0.0%
14. 家族などの安否を確かめるために電話した (1. 公衆電話 2. 固定電話 2 3. 携帯電話 3)	25.0%
15. 家族などの安否を確かめるためにメールをした (1. 携帯 2. その他)	15.0%
16. 役場や消防や警察などの防災機関に連絡した (つながらなかった場合も含む)	0.0%
17. 津波が来るかもしれないと思いすぐに避難した	10.0%
18. 津波から避難する準備をした	0.0%
19. 津波のことは考えなかったが、いつでも避難できるように荷物や貴重品をまとめた	0.0%
20. 消防団の活動、水門・陸こうの閉鎖、援助が必要な人の救援などに駆けつけた	5.0%
21. その他 ()	25.0%

・その他の自由記述

「電気、電話、水道が止まり情報が聞けない。3月12日昼頃まで余震が怖く何もできずにいた」
「姉、妹たちに電話しようとしたがつながらなかった」
「水道が止まると思い田舎に水をもらいに行った(自分の生家)」
「実家の母(94歳要介護4)の介護のため4km離れた実家に車で向かう途中」

問4. 地震のあと、津波についてどのように考えましたか。(SA)

1. 津波が必ず来ると思った	10.0%
2. もしかしたら津波が来るかもしれないと思った	20.0%
3. 津波は来ないだろうと思った	15.0%
4. 津波のことはほとんど考えなかった	55.0%

問5. 問4で1.または2.とお答えになった方におたずねします。なぜ津波がくると思いましたか。(MA)

1. 地震の揺れ方が尋常ではなかったから	100.0%
2. 周囲の人の慌てた様子を見て	16.7%
3. 海岸や川に近く、これまでの知識や経験に基づいて	0.0%
4. 防災マップで危険だと思っていたから	0.0%
5. 防波堤などの整備が不十分だったから	0.0%
6. その他 ()	33.3%

・その他の自由記述

「主人が昔大地震の後大きな津波が来たことを話していたから」
 「当時 NHK ラジオを聞いていて津波の速報があった」
 「防災マップは頭になかった」

問6. 問4で3.または4.とお答えになった方におたずねします。なぜ津波はこないと思いましたか。(MA)

1. 地震の揺れで頭がいっぱいだった	57.1%
2. 周囲の人の反応を見て	0.0%
3. 海岸や川から離れていて、これまで津波が来たことがなかったから	92.9%
4. 防災マップで安全だと思っていたから	7.1%
5. 高い防波堤などがあったから	0.0%
6. その他 ()	14.3%

・その他の自由記述

「10km 程（離れた）の山におり自宅家族が心配で自宅に帰る」
 「津波ということの知識が全然なかった」
 「以前の津波は海岸で 50cm 程度と思っていたので全く安心していた」
 「（海との間に）国道と鉄道があるので絶対来ないと思った」
 「津波は沿岸だけの問題と思った」

再び全ての方におたずねします

問7. 地震が起きてから津波がくるまでの間、ご自宅の電気や通信の状況はいかがでしたか。(SA)

電気	1. 停電した 45.0%	2. 停電しなかった 35.0%	3. 知らない 10.0%	
公衆電話	1. 使えた 10.0%	2. つながりにくかった 0.0%	3. 使えなかった 5.0%	4. 知らない 55.0%
固定電話やファクス	1. 使えた 10.0%	2. つながりにくかった 5.0%	3. 使えなかった 40.0%	4. 知らない 20.0%
携帯電話の通話	1. 使えた 5.0%	2. つながりにくかった 35.0%	3. 使えなかった 35.0%	4. 知らない 10.0%
携帯電話のメール	1. 使えた 10.0%	2. すぐ届かなかった 20.0%	3. 使えなかった 25.0%	4. 知らない 10.0%
インターネット	1. 使えた 0.0%	2. 機器が動かさなかった 5.0%	3. 使えなかった 10.0%	4. 知らない 45.0%

※ 無回答があるため合計が100%にならない

問8. あなたは津波が来る前に大津波警報を聞きましたか。(SA)

1. 聞いた ⇒問9へ	40.0%
2. 聞かなかった ⇒問10へ	40.0%
3. おぼえていない ⇒問10へ	20.0%

問9. 「1. 大津波警報を聞いた」方におたずねします。その大津波警報をどのように知りましたか。(MA)

1. 民放テレビから	12.5%
2. NHK テレビから	25.0%
3. 民放ラジオから	25.0%
4. NHK ラジオから	50.0%
5. 防災無線の戸別受信機から	0.0%
6. 防災無線の屋外拡声器から	0.0%
7. 携帯のエリアメールから	0.0%
8. 携帯のメールから	0.0%
9. 携帯のワンセグ放送から	0.0%
10. インターネット・Web から	0.0%
11. 市町村の広報車から	37.5%
12. 家族や近所の人から	0.0%
13. 警察・消防の人から	0.0%
14. その他 ()	0.0%

付問 9-1 あなたは、その大津波の警報をいつごろ知りましたか。(SA)

1. 地震発生直後に (午後 2 時 4 9 分ごろ)	25.0%
2. 地震発生から 1 5 分後以内に (午後 3 時すぎまで)	12.5%
3. 地震発生から 3 0 分後以内に (午後 3 時 1 5 分すぎまで)	25.0%
4. 地震発生から 4 5 分後以内に (午後 3 時 3 0 分すぎまで)	25.0%
5. それ以上の時間の後に (午後 5 時 30 分ごろ)	12.5%

付問 9-2 大津波警報を聞いたとき「予想される津波の高さ」を聞きましたか。(SA)

1. 聞いていない・聞いたかどうか覚えていない	40.0%
2. 聞いたがメートルは覚えていない	20.0%
3. 聞いてメートルも覚えている (具体的に 5~6、9 メートル)	20.0%
4. 高さに関する情報はなかった	0.0%

付問 9-3 あなたは、この大津波の警報を聞いた時、どのように思いましたか。(SA)

1. すぐ逃げないと間に合わないくらい早く来ると思った	0.0%
2. 津波は早く来るが、荷物を持って逃げるくらいの余裕はあると思った	0.0%
3. 津波は早く来るが、子どもを迎えに行ったり、近所に住んでいる親の様子を見に行くくらいの余裕はあると思った	0.0%
4. 津波が来るまでには、かなりの余裕があったと思った	25.0%
5. 津波が来るとは思わなかった	62.5%

再び全ての方におたずねします

問10. 地震のあと、市町村からの「大津波が来るので避難するように」という呼びかけを聞きましたか。(SA)

1. 聞いた	20.0%
2. 聞いていない	70.0%

問11. 地震時、あなたがいた場所には、結果的に、津波は来ましたか。(SA)

1. 津波が来た	25.0%
2. 津波は来なかった	75.0%
3. わからない	0.0%

問12. あなたは、大津波が来る前に、避難しましたか。(SA)

1. 避難した	5.0%
2. 避難しなかった	95.0%

問13. 地震や津波で、あなたのご自宅はどのような被害を受けましたか。(SA)

1. 津波によって全壊・全焼した	10.0%
2. 津波によって半壊・一部損壊した	0.0%
3. 地震によって全壊・半壊した	5.0%
4. 地震の揺れによって一部損壊した	80.0%
5. 地震・津波による被害はなかった	5.0%
6. その他 ()	0.0%

問14. NTTの「災害用伝言ダイヤル(171)」、携帯各社の「災害用伝言板」を使いましたか。(SA)

電話の災害用伝言ダイヤル (171)	1. 使った	0.0%
	2. 使わなかった	70.0%
	3. つながらなかった	10.0%
	4. 知らなかった	5.0%
携帯電話各社の災害用伝言板	1. 使った	10.0%
	2. 使わなかった	70.0%
	3. つながらなかった	0.0%
	4. 知らなかった	10.0%

問15. あなたは、ご家族や知人の安否情報をどこから得ましたか。(MA)

1. それぞれの避難所の掲示から	20.0%
2. グーグルのパーソンファインダーから	0.0%
3. 新聞から (1.全国紙 2.地方紙 3.地域紙)	10.0%
4. 放送から (1.NHK 2.その他)	0.0%
5. 知り合いの人づて	60.0%
6. 市町村や警察・消防・自衛隊から	5.0%
7. ボランティアから	0.0%
8. その他 ()	35.0%

・その他の自由記述

「携帯連絡」「携帯電話で」
「家族は自宅におり、子ども達も余震中に帰宅。夫婦で余震に耐えているだけでした」
「車でそれぞれ訪問」
「車で」
「行政区避難所」

第二部 原発事故に伴う避難についてうかがいます。

以下は福島県の方のみお答えください → 福島県以外の方は最後のページへお進み下さい。

【事実関係】東日本大震災時の原発事故は次のような経過をたどりました。

3月11日	大地震発生 午後7時半過ぎ 枝野官房長官会見 原子力緊急事態宣言
3月12日	午後3時半頃 福島第1原発1号機が水素爆発 政府は避難指示対象を半径10キロから半径20キロに拡大
3月14日	福島第1原発3号機が爆発。
3月15日	政府は原発から20キロ圏を避難圏、南相馬市の原町区を含む30キロ圏を屋内退避圏に設定
3月25日	政府は、20～30キロ圏内の住民に自主避難を要請
4月22日	半径20km内を警戒区域に設定

問16. あなたが、福島第一発電所の事故は深刻な事態だと思ったのは、いつごろからでしたか。(SA)

1. 3月11日	0.0%
2. 3月12日	45.0%
3. 3月13日	15.0%
4. 3月14日	35.0%
5. 3月15日	0.0%
6. 3月16日～3月24日	0.0%
7. 3月25日以降	5.0%
8. 覚えていない	0.0%
9. 深刻な事態だとは感じていない	0.0%

問17. あなたが深刻な事態だと感じたきっかけは何ですか。(MA)

1. 官房長官の記者会見	25.0%
2. 市の放送	5.0%
3. 爆発の映像	40.0%
4. テレビが特別番組になったこと	30.0%
5. 避難を呼びかけられたので	60.0%
6. 周りの人の様子	25.0%
7. 物資が無くなったり店が閉まったりしたから	30.0%
8. その他 ()	10.0%

・その他の自由記述

「3月14日の3号機の爆発の音を聞いてから」
「停電のためカーナビ（カーテレビ）より情報を得る」
「爆発の音を聞いた」

問18. 地震当時に住まわれていたご自宅は、以下のどの地域に入っていますか。(SA)

1. 「警戒区域」(原発 20 ^{km} 圏内の立ち入り禁止区域)	35.0%
2. 「計画的避難区域」(1年の積算線量が 20 ^{mSv} シーベルトに達するおそれのある区域)	10.0%
3. 「緊急時避難準備区域」(場合によって避難が必要。当初の「屋内退避区域」で「計画的避難区域」以外の区域)	55.0%
4. いずれにも入っていない	0.0%
5. その他(具体的に)	0.0%

問19. あなたは原発事故が原因で自宅から離れた場所に避難しましたか。(SA)

1. 原発事故が原因で避難した	75.0%
2. 避難はしたが地震や津波が原因	0.0%
3. 原子力事故と地震・津波の両方が原因で避難した	20.0%
4. 避難しなかった	5.0%

問 19 で 1 または 3 と 答えた方のみお答えください

付問 19-1 あなたが自宅を離れて避難したのはいつですか。(SA)

1. 3月11日	26.3%
2. 3月12日	21.1%
3. 3月13日	5.3%
4. 3月14日	21.1%
5. 3月15日	15.8%
6. 3月16日～3月24日	10.5%
7. 3月25日以降	0.0%
8. 覚えていない	0.0%

付問 19-2 あなたが避難をしたきっかけは何でしたか。(MA)

1. 自分自身が危険を感じたので	26.3%
2. 市が避難を促したので	47.4%
3. 警察や消防が避難を促したので	10.5%
4. テレビを見て危険だと思ったので	15.8%
5. 家族や近所の人心配するので	15.8%
6. 周りの人が避難したので	15.8%
7. 屋内退避が長引いて生活に困ったため	5.3%
8. その他()	42.1%

・その他の自由記述

「最初は 20km 圏内の境界近くで、3月15日から遠くへ避難した」
「子どもが何処からか電話の知らせがあった様子」
「屋内退避と決めていたが、兵糧攻めの状態になったので」
「電気、水が出ないため」
「避難所は情報が少ない。テレビもない」
「電気、水道がでないから親戚の家に避難した」
「福島市の方が原発から離れているので安全と思い娘のアパートに避難した」

付問 19-3 あなたはどこに避難しましたか。(MA)

1. 市内の避難所	36.8%
2. 福島県浜通り・中通りの避難所	26.3%
3. 福島県浜通り・中通りの親戚知人宅・宿泊施設	26.3%
4. 福島県浜通り・中通りの仮設・借家	0.0%
5. 福島県中通り以遠の東北地方（川俣の道の駅車の中で一晚）	10.5%
6. 東北地方以遠の地域（埼玉県和光市、宮城県利府町、兵庫県神戸市、岩手県奥州市2）	42.1%

問20. 原発事故であなたが困ったのはどんなことですか。(MA)

【科学的な危険性】

1-a 実際にどの程度危険か分からない	85.0%
1-b 専門的な説明がわかりにくい	60.0%
1-c 専門家や政府を信用できない、誰を信用していいか分からない	90.0%
1-d インターネットや携帯から必要な情報を得ることが難しい	15.0%
1-e 農産物や畜産物の規制が厳しい	20.0%
1-f 食べ物や水の表示を信じていいか分からない	75.0%
1-g その他（ ）	10.0%

・その他の自由記述

「専門家でも人によって危険度の説明が違うように感じられた」

「何が安全なのか？」

「事故情報が信用できない。真実の報道がなされていない」

【避難について】

2-a 避難場所や避難方法が分からなかった	35.0%
2-b 避難するガソリンが不足していた	95.0%
2-c 水や食料、毛布などの物資が不足していた	50.0%
2-d 避難するのを感じなかったのに強制的に避難させられた	15.0%
2-e 乳幼児や高齢者など避難が困難な家族がいた	35.0%
2-f 連絡が取れない家族がいたので判断に迷った	15.0%
2-g その他（ ）	15.0%

・その他の自由記述

「愛犬（プーチャン）ペットを避難するとき連れて行かれず家族の一員の絆を切って解放して行った。毎日心配で涙に暮れていた。動物リスト集（NPO）で見つかり現在埼玉県の里親に世話になっていた。里親になついているようで迎えにも行けずまだ半分は諦めきれないでいる」

「収穫最盛期のトマトが心配で長期間の避難ができなかった」

「なぜ避難が必要なのか詳しい説明がなかった」

【生活について】

3-a 身近な生活情報が不足していた	65.0%
3-b デマやうわさに振り回される	30.0%
3-c 田や畑の管理ができなくなる	60.0%
3-d 家畜やペットの世話ができなくなる	45.0%
3-e 地元の治安が悪化する（空き巣など）	55.0%
3-f 地元で仕事ができなくなる	50.0%
3-g 家族が別居しなければならない	45.0%
3-h 補償の見通しが分からない	70.0%
3-i その他（ ）	15.0%

・その他の自由記述

「放射能汚染に対する精神的苦痛は未だに消えず原発事故以前の日常生活には戻れず気力、集中力が欠けてきている」
 「常磐線不通のため今まで行っていた行きたいところに行けなくなり、陸の孤島みたいで精神的にすっきりしない！！」
 「原町区は店が全部閉じていて食料が不足した」
 「2～3日で避難所より自宅に戻れると思った」

【地域社会について】

4-a 地域住民がばらばらになり近所づきあいができなくなる	70.0%
4-b 地元の情報が入らなくなる	50.0%
4-c 地元の産業が風評被害を受ける	75.0%
4-d 人口や事業所の流出などで地域が弱体化する	80.0%
4-e その他（ ）	5.0%

・その他の自由記述

「生涯センターの貸出も遅れて戻った人での活動もできなかった」
 「汚染を気にしながらの生活は不安である」
 「地元の治安」

問21. 原発事故発生から数日間、あなたはどのようなことが知りたかったですか。(MA)

1. 原発事故の状況の推移	90.0%
2. 放射能の科学的説明	60.0%
3. 放射能汚染の見通し	85.0%
4. 放射能に対する行動の仕方	75.0%
5. 安全な避難先	40.0%
6. 水・土壌・海の汚染	80.0%
7. 農業や畜産業の見通し	35.0%
8. 仕事・学校・求人	35.0%
9. 仮設住宅や借り上げ住宅	5.0%
10. 国や自治体の対応	50.0%
11. その他（ ペットの件 ）	5.0%

問22. 原発事故発生から数日間、事故に関する情報を得るために役に立ったものは何ですか。(MA)

1. テレビ	85.0%
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	5.0%
3. ラジオ (NHK・ラジオ福島・ふくしま FM 他)	35.0%
4. コミュニティFM・災害FM	0.0%
5. 新聞 (読売、毎日、朝日などの全国紙)	35.0%
6. 新聞 (河北新報などの地方紙)	10.0%
7. 新聞 (福島民報、福島民友などの地域紙)	50.0%
8. 携帯電話の通話	5.0%
9. 携帯メール	0.0%
10. 携帯版市役所ウェブサイト (iモード等)	0.0%
11. 市や町の防災 (同報) 無線	5.0%
12. 携帯・パソコンのウェブページ	5.0%
13. パソコンのメール	0.0%
14. SNS (ミクシーやツイッター)	0.0%
15. 口コミ	10.0%
16. 役場、警察、消防署などからの情報	15.0%
17. 避難所にある掲示やチラシ	20.0%
18. 週刊誌	10.0%
19. 書籍	5.0%
20. その他 ()	0.0%

問23. 原発事故発生から1ヶ月後、あなたはどのようなことが知りたかったですか。(MA)

1. 原発事故の状況の推移	85.0%
2. 放射能の科学的説明	35.0%
3. 放射能污染の見通し	80.0%
4. 放射能に対する行動の仕方	70.0%
5. 安全な避難先	40.0%
6. 水・土壌・海の汚染	75.0%
7. 農業や畜産業の見通し	50.0%
8. 仕事・学校・求人	25.0%
9. 仮設住宅や借り上げ住宅	25.0%
10. 国や自治体の対応	55.0%
11. その他 (仙台市に移転のため情報に県の相違があった)	5.0%

問24. 原発事故発生から1ヵ月後、事故に関する情報を得るために役に立ったものは何ですか。(MA)

1. テレビ	100.0%
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	5.0%
3. ラジオ (NHK・ラジオ福島・ふくしま FM 他)	40.0%
4. コミュニティFM・災害FM	0.0%
5. 新聞 (読売、毎日、朝日などの全国紙)	45.0%
6. 新聞 (河北新報などの地方紙)	25.0%
7. 新聞 (福島民報、福島民友などの地域紙)	40.0%
8. 携帯電話の通話	15.0%
9. 携帯メール	0.0%
10. 携帯版市役所ウェブサイト (iモード等)	10.0%
11. 市や町の防災 (同報) 無線	0.0%
12. 携帯・パソコンのウェブページ	15.0%
13. パソコンのメール	0.0%
14. SNS (ミクシーやツイッター)	0.0%
15. 口コミ	10.0%
16. 役場、警察、消防署などからの情報	15.0%
17. 避難所にある掲示やチラシ	5.0%
18. 週刊誌	10.0%
19. 書籍	0.0%
20. その他 ()	5.0%

問 24 でいずれかを選んだ人のみお答えください

付問 24-1 その中でとくに役に立ったものの具体名を挙げてください。(MA)

1. NHK テレビ	100.0%
2. NHK ラジオ	40.0%
3. ラジオ福島 (RFC)	10.0%
4. ふくしま FM	0.0%
5. FM POCO (エフエムポコ)	0.0%
6. 河北新報	0.0%
7. 福島民報	30.0%
8. 福島民友	10.0%
9. いわき民報	0.0%
10. yahoo	5.0%
11. グーグル	5.0%
12. その他 (具体的に)	25.0%

・その他の自由記述

「福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島テレビ」「毎日新聞 2」「神戸市東灘区の区役所からの情報提供」
 「新潟県に避難したため地元福島県の情報がほとんどなかった」

問 24 で「1. テレビ」「2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送」とお答えの方のみお答えください

付問 24-2 テレビのL字情報は役に立ちましたか。(SA)

1. 非常に役に立った	2. ある程度役立った	3. 役に立たなかった	4. 見ていない
25.0%	40.0%	0.0%	0.0%

付問 24-3 地上デジタル放送のデータ放送は役に立ちましたか。(SA)

1. 非常に役に立った	2. ある程度役立った	3. 役に立たなかった	4. 見ていない
20.0%	20.0%	0.0%	20.0%

問25. あなたは、現在、どのようなことが知りたいですか。(MA)

1. 原発事故の状況の推移	65.0%
2. 放射能の科学的説明	40.0%
3. 放射能汚染の見通し	75.0%
4. 放射能に対する行動の仕方	45.0%
5. 安全な避難先	10.0%
6. 水・土壌・海の汚染	90.0%
7. 農業や畜産業の見通し	55.0%
8. 仕事・学校・求人	25.0%
9. 仮設住宅や借り上げ住宅	5.0%
10. 国や自治体の対応	40.0%
11. その他 (健康被害、国及び東電は正確な情報を国民・被災者に伝えるべきである。いまだに国と東電は信用できない)	10.0%

問26. 現在、災害に関する情報を得るために役に立っているものは何ですか。(MA)

1. テレビ	95.0%
2. ワンセグテレビ・携帯電話のワンセグ放送	5.0%
3. ラジオ (NHK・ラジオ福島・ふくしま FM 他)	50.0%
4. コミュニティFM・災害FM	5.0%
5. 新聞 (読売、毎日、朝日などの全国紙)	40.0%
6. 新聞 (河北新報などの地方紙)	10.0%
7. 新聞 (福島民報、福島民友などの地域紙)	75.0%
8. 携帯電話の通話	10.0%
9. 携帯メール	5.0%
10. 携帯版市役所ウェブサイト (iモード等)	10.0%
11. 市や町の防災 (同報) 無線	20.0%
12. 携帯・パソコンのウェブページ	20.0%
13. パソコンのメール	5.0%
14. SNS (ミクシーやツイッター)	0.0%
15. 口コミ	10.0%
16. 役場、警察、消防署などからの情報	30.0%
17. 避難所にある掲示やチラシ	0.0%
18. 週刊誌	10.0%
19. 書籍	15.0%
20. 南相馬チャンネル	5.0%
21. その他 ()	0.0%

問27. あなたは災害後どの程度テレビ・ラジオ・新聞を見聞きしましたか。①地震後数日間、②1か月後、③現在について教えてください。

(SA. 1. の回答の場合は1日あたりの平均視聴時間数をご記入ください)

①地震発生後数日間	1. ほぼ毎日	2. 数日に一回程度	3. 見聞きしていない
1) テレビ 19 回答	94.7%	5.3%	0.0%
2) ラジオ 9 回答	100.0%	0.0%	0.0%
3) 新聞 12 回答	91.7%	0.0%	8.3%
②地震から1か月後	1. ほぼ毎日	2. 数日に一回程度	3. 見聞きしていない
1) テレビ 19 回答	100.0%	0.0%	0.0%
2) ラジオ 10 回答	100.0%	0.0%	0.0%
3) 新聞 14 回答	92.9%	0.0%	7.1%
4) 災害 FM ラジオ 2 回答	0.0%	0.0%	100.0%
③現在	1. ほぼ毎日	2. 数日に一回程度	3. 見聞きしていない
1) テレビ 19 回答	100.0%	0.0%	0.0%
2) ラジオ 9 回答	100.0%	0.0%	0.0%
3) 新聞 15 回答	100.0%	0.0%	0.0%
4) 災害 FM ラジオ 5 回答	20.0%	20.0%	60.0%

※ 本問については、有効回答数を分母にして割合の数字を示した

・見聞きした1日あたりの時間

	①地震発生後数日間	②地震から1か月後	③現在
1) テレビ 15~16 回答	4.2 hr	3.3 hr	2.7 hr
2) ラジオ 8~9 回答	4.9 hr	4.9 hr	5.3 hr
3) 新聞 8~13 回答	1.7 hr	1.4 hr	1.2 hr
4) 災害 FM ラジオ 0~1 回答		—	1.0 hr

※ 本問については、記入された数字のみで平均値を算出した (ブランクか0hrかが不明なため除外)

問28. このたびの震災において、あなたが信頼して利用し、評価できる情報源はどこですか。

(MA. 該当があれば内容をご記入下さい)

1. テレビ・ラジオ (具体的に NHK テレビ 11、NHK ラジオ 2、福島テレビ 4、福島中央、福島放送、テレビユー福島、仙台、東京、全て 局)	85.0%
2. 新聞 (具体的に 福島民報 6、福島民友 2、河北新報 2、岩手日報 2、毎日 2、読売、朝日、日経 新聞)	70.0%
3. ネットニュース (具体的に Yahoo2 のウェブサイト)	15.0%
4. ブログ・ツイッター (具体的に) のアカウント)	0.0%
5. 原子力保安院	5.0%
6. 気象庁	20.0%
7. 政府	5.0%
8. 都道府県	5.0%
9. 市町村	20.0%
10. その他 ()	10.0%

・その他の自由記述

「原子力保安院の態度は最悪である。政府不信につながった」
 「情報としては見ているが信頼できるかは不明です」

問29. あなたは、今回の震災・原発事故報道でどのような問題があったと思いますか。(MA)

【地震・津波について】	
1. 自分の住んでいる地域の取材や報道が少なく不公平感を覚えた	60.0%
2. 取材の対象になっている地域が偏っているように思う	55.0%
3. 報道が少ない地域では、支援や対応に影響が出たと思う	70.0%
4. 震災の全体像がわかりにくかったと思う	15.0%
5. 津波の映像が繰り返し放送され、見るのがいやになった	10.0%
6. 被害の報道ばかりでなく、生活に関する情報をもっと放送してほしかった	30.0%
7. いい加減であったり、実際のことを誇張したりした報道も多かった	0.0%
8. 津波の予想される高さや到達時間、観測情報などの細かい情報ではなく、もっと避難の呼びかけをした方が良かったと思う	50.0%
9. 特に問題ないと思う	5.0%
10. その他 ()	5.0%

・その他の自由記述

「報道は三陸に集中し、浜通りは忘れられていた。自宅に帰ってきた人に何の支援もない。避難所や仮設には孤立対策があるが自宅に戻った人には何も無い」

【原発事故について】	
11. 原発事故の報道がわかりにくかったと思う	75.0%
12. 住民の生活に密着した原発事故の報道が少ないと思う	50.0%
13. 原発事故報道が多くなり、地震・津波災害の報道が少なくなったのは問題だと思う	0.0%
14. 不安をあおる報道が多かったと思う	20.0%
15. 安全でないのに安全・安心という報道が多かったと思う	80.0%
16. 立ち入り規制等に関する説明や事前周知が不足していると思う	40.0%
17. 原発事故の報道が多かったことが影響の少ない地域にも風評被害を招いたと思う	35.0%
18. 政府や電力会社の責任ばかりを報道しているが、報道各社自身のこれまでの原子力に関する報道姿勢についてもっと責任を感じてほしい	25.0%
19. 特に問題ないと思う	5.0%
20. その他 ()	20.0%

・その他の自由記述

「自主避難するのに放射能汚染度が解らず線量の高めの方向へ避難するようになり早めに情報がほしかった（放射線量の低いところ）」
 「政府の原発事故に対する一貫した報道が望まれる（放射線の人体に与える影響でブレない数値の示し方等）」
 「情報源である国（特に保安院）及び東電は情報を隠して正しい情報の提供されなかったのは大きな問題である」
 「自分で判断できるように科学的な数値を教えてほしい」

問30. このたびの震災における、テレビ・ラジオ・新聞などの報道で、よかった点・悪かった点などがありましたら、自由にお答えください。

「他人事のように無責任。警戒区域の設定も唐突で何の準備もできなかった」

「政府発表は信用できない」

「テレビ、新聞等で早めの安全（放射線量の低いところ）な避難場所を報道してもらいたかった（自主避難の場合）」

「問30の答えにはなりません、南相馬市というだけで新聞は3月12日～4月30日まで配達になりませんでした。郵便物はもちろん宅配便、運送屋さんも来ませんでした。避難物資も場所によって大差があり、自宅で頑張っている者には援助が少なかった。緊急時避難準備区域でも避難した人と屋内退避していた人との待遇の差がありすぎたと思う」

「全般的によかったかと思う。現場の状況の報道。原発については真実の報道を期待したが、本当のことが報道されないのではないか」

「テレビ報道等マスコミはあらゆる視点から報道されたと思う。（特に多くの被災者の声を取り上げていたのが良かったと思う）悪い点は保安院、原子力委員会の無責任な言動、第三者的な態度、姿勢には腹が立った」

「原発事故について政府は本当のことを言ってほしい」

「1年間を経過し原発事故について情報が分かりにくく何か不安がつのる」

「NHKや民放TVの特集でわかりやすい番組に仕上げていた（理解に役立つ）」

「良かった点はどんな状況か知ることができたこと、救助事案など明るいニュースもあったこと。悪い点は、認知症の高齢者向けの介護施設がなく、既入所者が戻ってきたため新規入所は100人待ちなどのひどい状況だったことが全く報道されなかったこと」

(最終ページ) 全ての皆さまにおたずねします。

あなたご自身のことについておたずねします

F1 性別 (SA)

1. 男	50.0%	2. 女	50.0%
------	-------	------	-------

F2 年齢 (SA)

1. 20歳代	0.0%	4. 50歳代	0.0%
2. 30歳代	5.0%	5. 60歳代	35.0%
3. 40歳代	5.0%	6. 70歳以上	55.0%

F3 職業 (SA)

1. 漁業従事者	0.0%	6. 公務員	5.0%
2. 農業従事者	25.0%	7. 主婦	15.0%
3. 自営業	5.0%	8. 学生	0.0%
4. 旅館・民宿	0.0%	9. 無職	35.0%
5. 会社員 (パートタイム含む)	15.0%	10. その他 ()	0.0%

F4 震災時の居住形態 (SA)

1. 木造一戸建て	95.0%	4. 鉄筋の集合住宅	0.0%
2. 鉄筋一戸建て	5.0%	5. その他 ()	0.0%
3. 木造の集合住宅	0.0%		

F5 震災時にあなたと同居していたご家族はどなたでしたか。(MA)

1. 夫または妻	75.0%	5. 孫	35.0%
2. あなたの子ども	35.0%	6. いない	10.0%
3. 親	45.0%	7. その他 (8人でいた)	5.0%
4. 兄弟姉妹	0.0%		

F6 震災時、次のような方は同居していましたか。(MA)

1. 小学生以下の子ども	5.0%	3. 病気で介護の必要な方	20.0%
2. 65歳以上の高齢者	65.0%	4. 足の不自由な方	10.0%

F7 自宅から海までの距離はどのくらいでしたか。(SA)

1. 歩いて10分以内	5.0%	3. 歩いて30分以内	25.0%
2. 歩いて20分以内	5.0%	4. 歩いて30分以上	65.0%

F8 現在のあなたのお住まいはどれにあたりますか。(SA)

1. もともと住んでいた自宅	80.0%	4. 借家	10.0%
2. 仮設住宅	10.0%	5. その他 ()	0.0%
3. みなし仮設住宅	0.0%		

長い時間ご協力いただき、本当にありがとうございました。

おわりに

1995年の阪神・淡路大震災では、地震発生から最初の1時間というものの、メディアは神戸など震源近くの被災状況をなかなか把握できずに、周辺の比較的軽微な被害情報ばかりを伝えることになり、大きな反省を強いられた。2011年の東日本大震災では、各テレビ局が配置した海岸のロボットカメラやヘリコプターによる上空からの生中継映像により、大津波による被災状況は早い段階から全国に逐一放送された。この点で、阪神・淡路大震災の経験は生かされ、16年間で目覚ましい進歩をとげたといえよう。

しかし、テレビやラジオが伝えた情報が、被災地の2万人近い犠牲者の命を救うことにならなかったのはどうしてだろうか？ 阪神・淡路大震災よりも助かる余地や時間猶予のあった災害だが、情報の伝え方に問題はなかっただろうか？ われわれはこのような問題意識のもと、まず震災直後の緊急情報伝達について、放送など送り手に対する聞き取り調査から研究をスタートさせた。

本稿の第1章では、文献資料などに基づき、東日本大震災を引き起こした2011年東北地方太平洋沖地震とそれに伴う津波ハザードの概観、主な被害状況、気象庁の警報、行政発の避難情報、犠牲になった住民の特徴、停電発生状況などを簡潔にまとめた。特筆点は、①わが国で未曾有の規模の現象による広域複合災害だった、②非常に多くの犠牲者（大部分は溺死）が出、高齢者の占める割合が高かった、③津波警報（予想される津波の高さ）は、従前から植え付けられた過大傾向（誤報効果）を覆す過小な予測情報だった、④津波への避難行動はとったものの、浸水範囲や高さが想定外だったり、交通渋滞に巻き込まれたり、家に戻ったなど、逃げきれずに被災したケースが少なくなかった、⑤東電福島第一原発のシビアアクシデントは、周辺地域を混乱に巻き込み、長期にわたる放射性物質汚染のインパクトを与えた、⑥大規模停電や情報通信の途絶（続いて燃油の不足）が、初動段階に無視できない悪影響を及ぼした、などだ。

第2章では、災害情報の送り手の一端を担うコミュニティ・エフエム局（宮城県内にあるf mいずみ、エフエムたいはく、BAYWAVE、FM みなさん）のヒアリング調査結果を示した。既存のcFM 3局は、強い地震の揺れで停波し、初期の緊急情報を満足に流せなかった。経営規模が小さいことによる突発災害への脆弱さは避けられそうにない。それでも、さほど日をおかずして放送再開し、新設された臨時災害放送局ともども、被災者の折々のニーズに即した近隣のきめ細かな生活情報などを届けた。やはり大災害時の情報入手手段の筆頭はラジオ、とくに地域に密着した生活情報を扱うcFMは小回りがきいて役に立つ存在だ。日頃の行政など他機関との地縁的關係性、ITやSNSの活用などについては、局間の対比からいくつかの教訓が見出された。自らも被害を被る事態に突然見舞われた際、緊急情報を確実に伝える能力をcFMに期待するのは酷で、補完しあう意味で、今後、水平・垂直の局間連携を強化したい。なお、臨時災害放送局については各種支援の下に設立され、成り立っている実態があり、先々どうなるかが不安視される。

第3章では、大きなラジオ局（仙台にあるエフエム仙台とTBCラジオ、東京にあるNHKラジオセンター）のヒアリング調査結果を示した。地震の揺れに伴う放送設備のダメージは

僅かで、どこもすぐに緊急報道特番へと移行した。しかし、現地の停電と通信断の影響により、伝えようにも放送すべき情報が満足に入手できず、暫くの間、何が起きているのか全容がつかめなかった。气象台との回線はほぼ確保され、大津波警報と（一般的な）避難の呼びかけを繰り返し流した。つまり、具体的に起きていた沿岸部のとてつもない惨劇までイメージできなかったものの、テレビの生中継映像をモニターしながら実況放送するなど、ラジオから住民に向けて緊急情報が発信された。その後もリスナーに密着して情報を集め、「このような場合にはラジオしかない」という強い思いの下、粘り強く災害放送を続けた。なお、長引いた停電と道路の不通などで自家発電用の燃油補給ができず、一部の中継アンテナが使えなくなる事態に陥り、急遽、サイマルのインターネット配信で柔軟にカバーした。民放ラジオに関しては、パーソナリティへの親近感が気持ちの上での救いとなり、地元ラジオ局ならではのプラス評価を受けた。NHK ラジオに関しては、避難の呼びかけのトーン（口調）をどうすべきか、全中 T-R スルーによるテレビ画面抜き音声放送の苦しさ、体制が貧弱で日頃の地域密着度が（民放に比べて）低いことの悩みなどが浮かびあがった。総体としては、しばしば言われるとおり、発災直後、ラジオは、停電や輻そう等の影響で他のメディアが軒並みダウンしても生き残る信頼できるメジャーな情報源として住民から評価され、防災・減災に貢献した。そして、啓発活動などを含めた平時からの取り組みの重要性が再認識された。

第4章では、NHK 仙台放送局のヒアリング調査結果を示した。貴重なヘリテレ津波ライブ映像をはじめテレビ報道を中心に公共放送、指定公共機関としての役割をしっかりと果たした。東北管中の独自番組にも注力し、ラジオは全国放送への「上乘せ」を多用した。平日昼下りの発災で、タイミング的には恵まれていたほうだが、天カメはバッテリーが数時間で切れてゆき、三陸沿岸までたどり着き災禍を取材できるようになったのは主として翌朝からだった。反省点は、停電しても使えるラジオ部門の強化が求められるとのことだった。その後、NHK では現在にいたるまで長期に震災フォローを続け、優良な支援～追跡～検証番組を数多く制作している。

第5章では、発災から日没を迎えるまでの3時間余り、初動段階でテレビが何を伝えたのか、在京民放キー局（日本テレビ、TBS テレビ）と NHK 総合（東京）の放送録画をすべて文字に起こして検証した。ぶっ通しの報道特番には、カメラ映像とともに豊富な災害情報が流され、他のメディアを圧倒した。しかし肝心な被災地では、地震発生直後、広域な停電が発生し、据置型テレビはほぼ視れなかった。NTV の初期報道は、避難の呼びかけはもちろん、早くに陸を襲った宮古市の大津波の姿をライブ映像で流した。そして翌日と14日に、系列の福島中央テレビの天カメが東電福島第一原発事故の爆発映像を唯一捉え、真相を示す決定的瞬間を報じる役割を果たした。また TBS も早くから特番が立ち上がり、宮古市や仙台空港、富岡町（実は福島第一原発）を襲った大津波をライブ中継したなどの特徴があった。NHK の初期報道は、①緊急地震速報に引き続き、地上波・衛星波・ラジオを一斉に緊急報道に切り替えて全波全中とした、②放送局で唯一すぐに飛び立ったヘリ、多数の天カメで大津波浸水のライブ映像を流した、③指定公共機関として津波警報・注意報の発表区域などを細かく伝え、繰り返し津波避難を呼びかけた、④当初は原発の状況に言及しなかったが、夕刻から東電福島第一原発の10条・15条通報を伝えた、などの特徴があった。

第6章では、岩手、宮城、福島3県の全局の地デジ・データ放送（フルセグ）をチェックした。どの民放局のデータ放送も、キー局に比べると簡素で系列色の濃い作りだった。震災関連情報の一部にテレビがブロードバンド接続していないと視れないものがあり、あまねく届くことが求められる災害情報をそのように扱ってほしくない。NHK総合のデータ放送は、飛び抜けてたくさんの災害情報が掲載され、2011年12月時点の岩手では大きく市町村別に、同年7月時点の宮城では大きくジャンル別に整理された階層メニューが作られていた。個々の視聴者にとって、前者の整理法のほうがより欲しい情報に辿り着きやすそうだった。また、2013年12月時点の福島のNHK総合のデータ放送は、全国版にはない「放射線量測定値」「風の予想」が掲載されていた。地域の視聴者のニーズにきちんと向き合ったよい取り組み事例といえる。とくにNHKの災害情報の地デジ・データ放送活用は積極的で、非常時、宣伝抜きモードになる民放も見習う余地があろう。なお、住民アンケート結果からは、テレビのL字やテロップ情報は、およそ2/3の人が役立ったとした一方、完全移行前の過渡期だった地デジのデータ放送は僅かしか視られていなかった。

第7章では、被災自治体のひとつ岩手県大船渡市の防災管理室で行政発の情報などについて尋ねた。市内は津波でひどく被災したが、幸い高台にある大船渡市役所は被害を免れた。電源も自家発電やバッテリーでしのげた。津波襲来後は、双方向の連絡手段は衛星携帯電話のみとなった。NTTの局舎が壊れるなど通信網が途絶えた影響で、情報収集や連絡が困難だった。緊急情報は、防災行政無線などを用いてほぼ計画どおり発信できたが、市のホームページは使えなかった（twitterは使えた）。被災後、満足な対応が困難な状況に置かれつつも、広報ビラや臨時災害放送局やインターネットなどを通じて、鋭意、情報発信する努力を続けた。その後、防災行政無線装置更新、コミュニティ・エフエム（FMねまらいん）開局、緊急速報（エリア）メール導入など、災害情報伝達手段の一層の複線強化を図った。その他、避難、支援などに関する市職員の貴重な実体験が聞けた。大船渡市への応援派遣中に調査の場を段取りされた三重県所属の水上知之氏に改めて感謝したい。

そして第8章では、災害情報の受け手、三陸沿岸（釜石市、大船渡市、気仙沼市など）で津波に遭い命は助かったが家を失った被災者に対し、発災直後数日・1ヶ月・1年余後に欲しかった情報と、それが満足に得られたのかなどを尋ねた。揺れた直後にとった行動は、屋外に出たが半数以上、次いで、すぐ避難した、携帯電話や携帯メールで安否を確かめた、ラジオなどから情報を得た、出先から自宅へ向かった、避難準備したなどが多かった。避難は、三陸沿岸では多くの場合、住民自身が“強く長い揺れ”から津波を連想して能動的に行われた。大津波警報、避難指示などの情報入手に伴う行動は、その半数程度だった。一方、三陸沿岸ほど津波災害文化が根付いていなかった仙台平野南部沿岸では、避難情報も行き渡らず、避難行動は不十分だった。消防・警察や周囲の呼びかけなどでぎりぎり避難して、車避難の割合が高かった。逆にすぐ逃げなかった人の理由は、津波は考えつかなかった、高台や内陸に居たが目立ち、警報を聞かなかった、屋外スピーカーが難聴、予想高さが3とか6メートルと聞き危険と思わなかった、前年のチリ地震の大津波警報時に高い津波が来なかった、2日前もなんともなかった、防潮堤などの対策施設が整備済み、海の様子がわからなかった、防災マップからこんなところまで津波が来ると思わなかったなど、気になる回答もあった。

避難に際しての問題はさほど生じなかったが、道路が車や人で混雑していて速く移動できなかった（信号機が消灯）の回答が多く、さらに安全な場所へと再度避難しなおしたが続いた。

避難情報は、停電の影響もあり、防災行政無線とラジオとが主な情報源で、はじめのうちはモバイルツール（携帯や自動車、ワンセグも）が使えた。役に立ったメディアは、直後：ラジオ（停電中に被害状況を把握した）、1ヶ月後：テレビと新聞（>ラジオ）、1年余後：テレビ（>新聞>ラジオ）の順で、この三者以外をあげる回答は少なかった。被災者がとくに知りたかった情報は、直後：安否（次いで生活物資）、1ヶ月後：ライフライン復旧見通し、生活物資、仮設住宅、復旧・復興・生活再建など、1年余後：復旧・復興・生活再建（次いで国や自治体の対応、経済的支援など）という順だった。信頼できる情報源は、テレビとラジオがトップ、次いで新聞だった。ネットや国などへは不信感を募らせたようだ。メディアに対する評判は功罪相半ばしたが、ラジオを筆頭にテレビや新聞などコンベンショナルな媒体が有用で、よりローカル色の濃いところが良かったとされた。震災報道への注文は、「被害の映像ばかりでなく、生活に関する情報をもっと放送してほしい」「取材対象地域が偏っていて、報道が少ない地域では支援や対応に影響が出たと思う」がほぼ同数あり、仙台平野南部で後者の不公平感が顕著だった。自由記述では、○：「しばらくの間、ラジオの情報だけが頼りで有難かった」「ラジオは山の中でも役に立つ。ラジオの価値がとても大きいと感じた」「ラジオで避難者の場所が放送されて良かった」「電気が通っていなかったので避難所で見れなかったが、テレビで安否取材を受けたため県内の親族・知人に見てもらうことができ安心したと後日分かった」「テレビの朝の番組で震災後1年たった今でも色々な地域の体験や生活状況をみると、伝えたいという心情が伝わり気持ち的に楽になった」「地域新聞の安否情報掲載は良かった」「避難所へ各新聞社から無料配布された紙面情報が、非常に役立った」「地域の情報は地元紙が一番良いと思った」、△：「報道機関はよく伝えようとしたと思うが、受けられる方が限られており十分に伝わらなかったのではないかな？ 伝達方法を考えないと意味が無いのでは？ マスコミの自己満足にならないように」「地元、及び被災県は被災者の身になって取材、報道してくれるが、遠方から来た報道の人達は、仕事をこなす感じがしてならない」「各テレビ局とも被災地情報をよく報道されたと思うが、情報というよりムダな解説も多かった。被災地、被災者を支援する生活情報、安否情報をもっとすべきと思った（データ放送をうまく利用）」、×：「家族が犠牲になった遺族へのインタビューで現在の気持ちどうですかなんて聞くのはいかなものか、答は解ってるはず」「仮設住宅に取材の方が多く出入りし、落ち着かない日々が続いた。そして無理にコメントを求められたりして嫌な思いをした。取材する方は相手の気持ちをくんで取材してもらいたい。テレビなどで取材を受けてる方はどんな気持ちなんだろうと…今も考えずにはられない」「テレビで報道された地域だけが支援が多いと思う。大きな都市の報道が多く、自分たちの住んでいる身近な地域の状況がわからなかった。各地域の状態をもっと知りたい」「報道の力は大きいと皆で話しました。私達の所も180世帯が被害に遭い26人の命も奪われました。くまなく報道をとります」「自分の家が津波によって全壊したためか、テレビで津波のシーンが出て来ると気持ちが悪くなってはき気を覚える」「復興は市場、産業から…とは思ったが、もう少し住宅再建のことを」「子供のために早くアニメを始めて欲しかった。子供達が不安でいたため」「同じCMばかり流れて

いて耳に残った、それが震災時のイメージとなりテレビが嫌になった」「報道各社はこのような災害時は協力して、安否情報や物資情報などバラバラでなく一律で継続して報道し、被災者と被災地の支援中心に報道すべき。各放送局が競って被災地を報道して、記者魂が発揮されているが何か空しく思えた」などが並んだ。アンケートからはほかにも数多くの生の知見が得られた。

第9章では、地震・津波災害と、東電福島第一原発事故による放射能汚染に見舞われた南相馬市に現に住む被災者に対するアンケート調査結果を示した。地震の揺れはすごかったが、津波災害リスクはあまり連想されず、原発事故リスク認識に至ってはほとんどゼロだった。原発事故を起こした当事者からもたらされた危険情報はタイミングが遅くかつ過小なもので、1・3号機の爆発が起きてようやく進行する事態の深刻さに気づいた。そのため、安全なところへの避難が遅れ、ガソリン不足がそれに輪をかけた。曖昧で楽観的な情報ばかり発し続けた東電や政府への不信や不満は強いが、それを垂れ流したマスメディア（や登場した専門家）への責任追及の声は意外なほど聞かれなかった。それよりもこの先、故郷の地域社会がどうなっていくのかを憂いていた。また、三陸沿岸ほど安否確認には難渋しなかった。

災害情報の受け手に対するこれらアンケート調査結果は、津波被災地で行われた他の国・自治体や研究者らによる各種調査と重なる項目はほぼ類似した傾向を示し、さらに突っ込んだ設問については、実際の経験に基づく興味深い回答が得られた。一方、第9章の南相馬は限られた数の予備的調査ながら、原発事故にまつわる情報のあり方に関して示唆に富む回答が含まれていた。このため引き続き次年度、新潟への広域避難者を対象とし、さらなる調査を行った。（→ 検証 ～東日本大震災～ 命を支える情報はどうなっていたのか 結果 I.新潟調査 http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv5_report.pdf）

それぞれの調査結果要旨は、以上のとおりだった。ざっくり言うならば、東日本大震災において、放送をはじめ各種メディアは、過去にも増して活躍した。しかし、大規模な停電や通信断が発生し、想像を大きく超す津波の規模を前に、津波災害から住民の命を救うための緊急情報の伝達手段としては、必ずしも十分に効果を上げたとはいえない難かったのではないかと。そして、アンケートは、助かった人からだけの調査なので限界はあるが、どうしてここまで被害が広がって大勢の犠牲者が出たのか考察すると、

1) ハザード現象がとにかく大きかった

- ・そもそも、事前の想定をかなり上回る規模の巨大津波が、広大なエリアを襲った
- ・ハード対策施設の能力、ハザードマップの予測を超え、避難した先までが浸水した
- ・津波警報・注意報が、当初、いつもの過大気味の刷り込みとは逆の過小予測だった

2) 地震直後から現地では全面的な停電と通信断、交通阻害が発生した

- ・テレビを通じたアラート情報、周辺で何が起きているかの情報がきちんと届かなかった
- ・テレビやラジオで報道しようにも、情報入手（取材）がままならなかった
- ・零細な放送局（cFM）は直後に停波し、緊急情報や避難の呼びかけを流せなかった
- ・交通信号が消え、避難する道路の渋滞をいっそう加速させた
- ・無論、水道などを含むライフラインが壊滅、鉄道やバスなどの公共交通も止まった

3) 事前の準備不足もあった

- ・三陸沿岸に比べ、仙台平野南部沿岸など他地域の備えは、ソフト対策を含め手薄だった
- 4) 高齢者が多かった
- ・そもそも高齢者が多い地域で、援護しようとした人までもが津波に巻き込まれた
 - ・警報軽視、避難の尻込みや遅れを招き、車避難が増え渋滞を加速、避難途上で被災した
- 5) 原発事故は不慣れで目に見えなかった
- ・あいまいで楽観的な偏見情報により避難が遅れ、住民の放射性物質汚染度合いが増した
 - ・避難の過程で体の弱い入院患者や入所者らの容態が悪化し、死に至った

と大胆に括れよう。

無論、うまく切り抜けられたケースもいろいろ聞かれたが、ここではうまく行かなかったほう、つまり課題の明確化が将来の改善につながると考え、このように結論づけた。今後、ラジオなど従来からあるメディアをはじめ、インターネットなど他の新たな伝達手段をも含めた、総合的な防災体制の整備が待たれる。

なお、本調査研究の実施は3年以上の期間に及び、それぞれのパート(章)で統計数値や既往研究報告などの参照時点が異なっていることをご容赦いただきたい。

2011年東北地方太平洋沖地震発生からずいぶん経つが、地震・津波災害、そして原発事故に見舞われた地域の方々が少しでも早く立ち直り、以前にも増して暮らしやすいまちの再興が実現することを切に願っている。また、放射性物質による健康被害がこれ以上広がらないように祈っている。そして、本報告書から読み取れる災害像や教訓などが、今後再び起きる大地震・大津波、あるいは原発事故の際の参考となり、少しでも実際に役立つならば幸いと考えている。

謝 辞

本研究の現地調査、ヒアリング調査、録画調査、アンケート調査などに際して、fmいずみ、エフエムたいはく、BAYWAVE、FM みなさん、エフエム仙台、TBC ラジオ、NHK ラジオセンター、NHK 仙台局、日本テレビ、TBS テレビ、NHK 放送文化研究所、東洋大学、日本大学、東京大学、大船渡市総務部防災管理室、釜石市から南相馬市にかけての東日本大震災被災地の多くの住民および支援に携わっている皆様から、貴重なご指導、ご助言、ご協力を賜った。

また、研究助成および委託を賜った(公財)放送文化基金、当研究会と東日本大震災調査団とが属する日本災害情報学会に、改めて深謝の意を表します。



図 10 宮城県陸前高田市中心部の被災状況(左:マイヤ高田店、右:岩手県立高田高等学校)

参考文献

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
日本災害情報学会デジタル放送研究会(藤吉洋一郎,中村功,天野篤,東方幸雄,山崎智彦,谷原和憲ほか)	2013	検証 ～東日本大震災～命を支える情報はどうなっていたのか	日本災害情報学会ホームページ (公財)放送文化基金ホームページ 助成データベース 平成 23 年度 [人文社会・文化]	ホーム > 災害調査・研究 > ▶研究◆第五次「デジタル放送研究会」活動報告(最終版) http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/dttv/dttv5_report.pdf https://hbf.yoshida-p.net/search/pdf/2011/233003.pdf
災害情報研究会(中村 功,中森 広道,福田 充)	2012	東日本大震災時の災害情報の伝達と住民の行動	災害情報調査研究レポート(東洋大学)	16 号
藤代裕之,田島大,八浪英明,関谷直也,三島和子	2012	日本災害情報学会 2011 年度公開シンポジウム 東日本大震災とソーシャルメディア ～3.11 から首都直下へ～	「災害情報」No.10(日本災害情報学会ホームページ)	ホーム > シンポジウム・講演 > 公開シンポジウム 東日本大震災とソーシャルメディア ～3.11 から首都直下へ～ ガイダンス「今さら聞けないソーシャルメディア」事例報告:行政、メディア、研究パネルディスカッション http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/05sympo/120128.pdf
日本災害情報学会東日本大震災調査団(関谷直也,廣井悠,池田吉男,井上雅裕,磯打千雅子,河関大祐,越山健治,坂本憲昭,桜井誠一,申 紅仙,菅 磨志保,須見徹太郎,高梨成子,長屋和宏,弘中秀治,船倉武夫,三島和子,村本卓,森岡千穂,吉井博明ほか)	2014	東日本大震災における津波被害に関する沿岸自治体の対応 -日本災害情報学会東日本大震災調査団報告 津波災害篇-	「災害情報」No.12(日本災害情報学会ホームページ)	ホーム > 災害調査・研究 > ▶調査◆東日本大震災調査団について・東日本大震災調査報告 津波被害篇 http://www.jasdis.gr.jp/_userdata/06chousa/main_data/10daishinsai-rep.pdf
東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ	2012	東北地方太平洋沖地震津波時点	http://www.coastal.jp/tjt/	
気象庁	2012	平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震 ～The 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake～	ホーム > 各種データ・資料 > * http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2011_03_11_tohoku/	

著者	年 時点	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
国土地理院	2013 時点	平成 23 年 (2011 年) 東日本大震災に関する情報提供	地理院ホーム > 防災関連 > * http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/h23_tohoku.html	
警察庁	2013 時点	○東日本大震災について □震災に関する情報一覧 被害状況など	警察庁トップページ > * http://www.npa.go.jp/archive/keibi/biki/index.htm	
消防庁	2013 時点	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)被害報	ホーム > * http://www.fdma.go.jp/bn/higaihou.html	
復興庁	2013 時点	震災関連死の死者数等について	ホーム > 復興に向けた取組 > 被災者支援 > 被災者等の状況 > * http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat2/sub-cat2-6/20140526131634.html	
内閣府	2013 時点	東日本大震災関連情報	ホーム > * http://www.bousai.go.jp/2011daishinsai/	
内閣府 防災情報のページ	2013 時点	中央防災会議 防災対策推進検討会議 津波避難対策検討ワーキンググループ	ホーム > 地震・津波対策 > 津波対策 > * http://www.bousai.go.jp/jishin/tsunami/hinan/	
経済産業省	2013 時点	東日本大震災関連情報	ホーム > * http://www.meti.go.jp/earthquake/index.html	
文科省	2013 時点	○東日本大震災関連情報	トップ > その他 > * http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/	
総務省	2013 時点	東日本大震災関連情報	総務省トップ > * http://www.soumu.go.jp/shinsai/	
大船渡市	2012 時点	大船渡市	ホームページ http://www.city.ofunato.iwate.jp/	
東北電力	2011 時点	緊急情報 東北地方太平洋沖地震に伴う停電について (最終報)	トップページ > * http://www.tohoku-epco.co.jp/emergency/9/index.html	
ウィキペディア	2014 時点	ウィキペディア日本語版	http://ja.wikipedia.org/wiki/ウィキペディア日本語版	
大川小学校事故 検証委員会	2014	大川小学校事故検証報告書	大川小学校事故検証委員会 事務局 (株)社会安全研究所 http://www.e-riss.co.jp/oic/pg85.html	
The Huffington Post Japan	2014 時点	HUFF POST 3.11 東日本大震災 大川小学校、未解明の謎 津波到達までの「空白の 50 分」に何が起きたのか	FRONT PAGE > 3.11 東日本大震災 http://www.huffingtonpost.jp/news/3-11	
鷹野 澄	2011	緊急地震速報—巨大地震の発生を知覚しその緊迫性をどう伝えるか?—	日本災害情報学会 News Letter	No.46 pp.2
片田敏孝	2012	東日本大震災に学ぶ 今後の防災のあり方について	2012.5.11 衆議院災害対策特別委員会 勉強会	http://www.murai.tv/saigai/
吉川肇子	2012 ～ 2013	防災のための心理学①② ～ ③④	(一財)砂防・地すべり技術センター機関誌『SABO』	①vol.110 pp.14～15 ②vol.111 pp.12～13 ③vol.112 pp.12～13 ④vol.113 pp.10～11
村上圭子	2012	ポスト東日本大震災の市町村における災害情報伝達システムを展望する～臨時災害放送局の長期化と避難情報伝達手段の多様化を踏まえて～	放送研究と調査 (月報)	2012 年 3 月号 pp.32-59

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
国土交通省・気仙沼市	2011	CEMI 環境・防災研究所 自主研究報告 「東日本大震災に関する調査(被災者アンケート)」調査結果について	http://www.city.kesenuma.lg.jp/www/contents/1312630208936/files/hukko3shiryo4.PDF	
NPO 法人 環境防災総合政策研究機構	2011	東北地方・太平洋沖地震、津波に関するアンケート調査分析速報	http://www.npo-cemi.com/works/image/2011touhoku/110609tsunamisurvey.pdf	
(株)野村総合研究所	2011	「震災に伴うメディア接触動向に関する調査」を実施 ～NHK への信頼度が上昇し、ソーシャルメディアも存在感～	https://www.nri.com/jp/news/2011/110329.html	
(株)ウェザーニューズ	2011	東日本大震災 津波調査 (調査結果)	http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/pdf/20110908_1.pdf	
		津波調査 2011 体験談	http://weathernews.com/ja/nc/press/2011/pdf/20110908_2.pdf	
(株)サーベイリサーチセンター	2011	宮城県沿岸部における被災地アンケート調査報告書	自主研究 http://www.surece.co.jp/src/research/area/pdf/20110311_miyagi.pdf	
iSPP 情報支援プロボノ・プラットフォーム	2011	東日本大震災 情報行動調査報告書	http://www.ispp.jp/ispp-wp/wp-content/uploads/2011/10/201109ispp_release_0930.pdf	
Date fm	2011	サバメシ 防災ハンドブック 2011	エフエム仙台	今村文彦監修
加藤順子	2011	防災メディアとしての役割と経営の間に揺れる被災者のライフライン「ラジオ石巻」の知られざる葛藤	DIAMOND online 【第288回】2011年6月29日 http://diamond.jp/articles/-/12906	
岩手日報	2013 時点	避難せず、犠牲者の4割本紙遺族取材から推計(12/3/13)	トップ > 〈特集〉3.11 東日本大震災 ～立ち上がろう岩手～ > 2012年3月のニュース一覧 > * http://www.iwate-np.co.jp/311shinsai/y2012/m03/sh1203131.html	
岩手日報	2013 時点	震災犠牲者2割が災害弱者支援中 本紙再調査で推計(13/3/10)	トップ > 〈特集〉3.11 東日本大震災 ～立ち上がろう岩手～ > 2013年3月のニュース一覧 > * http://www.iwate-np.co.jp/311shinsai/y2013/m03/sh1303101.html	
河北新報社	2011	河北新報のいちばん長い日 震災下の地元紙	文藝春秋	
IBC 岩手放送	2012	その時、ラジオだけが聴こえていた	竹書房	企画・編集：荒蝦夷
東京新聞編集局	2012	原発報道 東京新聞はこう伝えた	東京新聞	
太田昌克	2014 時点	原子力時代の死角 核と日本人	47NEWS > 特別連載 > * http://www.47news.jp/hondana/nuclear/	
OurPlanet-TV	2014 時点	Standing Together, Creating the Future	http://www.ourplanet-tv.org/	
南相馬市	2013 時点	南相馬市	ホームページ http://www.city.minamisoma.lg.jp/	
福島県	2013 時点	原子力災害情報	ホーム > 分類でさがす > 震災・復興 > 東日本大震災関連情報 > * http://www.pref.fukushima.lg.jp/life/2/8/29/	

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
原子力規制委員会	2013 時点	原子力規制委員会	http://www.nsr.go.jp/	
国会 東京電力 福島原子力発 電所事故調査 委員会	2012	国会事故調 報告書	国立国会図書館 インターネット資料収集保存事業 http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3856371/naiic.go.jp/index.html	
東京電力福島 原子力発電所 における事故 調査・検証委員 会	2012	(政府事故調)	http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/icanps/index.html	
(一財)日本再建 イニシアティ ブ 福島原発事 故独立検証委 員会	2012	福島原発事故独立検証委 員会 調査・検証報告書(民 間事故調)	ディスカヴァー・トゥエン ティワン	目次等案内 http://rebuildjpn.org/ project/fukushima/report/
東京電力	2012	福島原子力事故の社内調 査情報 (東電事故調)	トップページ > 福島復興へ向けた取り組み > 福島第 一・第二原子力発電所の状況 > * http://www.tepco.co.jp/ nu/fukushima-np/interim/index-j.html	
東京電力福島 原子力発電所 事故に関し国 会及び政府に 設けられた委 員会の提言の フォローアップ に関する有 識者会議	2013	有識者会議報告書	http://www.nsr.go.jp/committee/ investigation_fu/data/houkokusyo.pdf	
(一社)日本原子 力学会 東京電 力福島第一原 子力発電所事 故に関する調 査委員会	2014	福島第一原子力発電所事 故 その全貌と明日に向け た報告書 一学会事故調 最終報告書一 (学会事故調)	丸善出版	最終報告書ドラフト http://www.aesj.or.jp/ jikocho/rep20130902.pdf
アジア航測(株)	2012 時点	「平成 23 年(2011 年)東北 地方太平洋沖地震」災害状 況 (2011 年 3 月 11 日)	HOME > 災害情報関連一覧 > * http://www.ajiko.co.jp/article/detail/ID4TC20KNZL/	
石橋克彦	1997	原発震災 破滅を避けるた めに	科学 1997 年 10 月号	Vol.67 No.10 pp.720~724
石橋克彦	2008	原発に頼れない地震列島	都市問題 [特集②] 電源 と電力を再考する	第 99 巻・第 8 号
廣井 脩	2000	■特集 東海村臨界事故を 見る スクランブル的発想 が広報にも必要だ JCO 臨 界事故と原子力防災広報 の課題	広報	2000 年 3 月 (通巻 574) 号 pp.24~27
廣井 脩	2000	検証・東海村臨界事故報道 市民はメディアをどう評 価したか 一東海村臨界事 故についての調査研究か ら	新聞研究	通巻 585 pp.24~27

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
廣井 脩, 関谷直也, 中村 功, 中森広道, 八木絵香, 三上俊治	2014 時点	第2章 JCO臨界事故に関する住民の心理と行動	東京大学大学院情報学環・学際情報学府 http://www.hiroi.iii.u-tokyo.ac.jp/index-houkokusho-rist-JCO-jiko.htm	廣井研究室
美浜の会（美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会）	2013 時点	国や東電、各県による空間線量率測定値 1.原子力安全保安院および東京電力公表の福島第一原発周辺の測定値(～4/10 9:00) ①放射線量の変化と事故の経過(～3/18 12:00)	ホーム > 2011年 > 政府等のモニタリング値 http://www.jca.apc.org/mihama/fukushima/monitoring/fukushima_monitoring.htm	
宮脇 健, 福田 充	2012	福島第一原発事故のメディア報道に対する被災住民の意識についての調査研究	日本マス・コミュニケーション学会	2012 年度春季研究発表会・研究発表論文
小田桐 誠, 桶田 敦, 松沢 弘, 小出五郎, 野呂法夫, 綿井健陽, 小玉美意子	2011	震災・原発事故とテレビ(前編)－NHK・民放の初動70時間を検証する－「原発震災」を取材する／原発事故で露呈した東電とメディアの「抱合体制」／シンポジウム メディアは原子力をどう伝えたか	放送レポート	2011 Number232 pp.2～29
小田桐 誠	2011	震災・原発事故とテレビ(中編)－NHK・民放の初動70時間を検証する－	放送レポート	2011 Number233 pp.6～14
(一社)日本民間放送連盟・研究所	2011	東日本大震災時のメディアの役割に関する総合調査 報告書	(木村幹夫, 浅利光昭)	
大井健郎, 遠藤隆, 後藤義典, 高瀬 毅, 神保哲生, 渡辺 実, 二宮正季, 山下 学	2011	◆特集◆ 検証! 東日本大震災とメディア(前編)	GALAC	2011年9月号 pp.12～37
黄木紀之, 谷原和憲, 清水正樹, 山田賢一, 中手聖一, 吉富志津代, 熊谷ともみ, 小林直毅	2011	◆特集◆ 検証! 東日本大震災とメディア(後編)	GALAC	2011年10月号 pp.14～41
小出五郎, 桜井勝延, 東京大学大学院学際情報学府震災報道調査班, 砂川浩慶, 烏谷昌幸, 七沢 潔, 金平茂紀	2011	◆特集◆ 原発とメディア	GALAC	2011年11月号 pp.12～39
金平茂紀, 藤森研, 依光隆明, 日置一太, 寺島英弥, 関谷直也	2012	特集 【検証】大震災報道の1年	朝日新聞社 Journalism	2012.4 no.263 pp.4～51

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
大治朋子,鎌田靖,伊藤英朗,多田敏男,鬼原民幸,佐藤 純,青木美希,鮫島浩,津山恵子,マーティン・ファクラー,外岡秀俊,依光隆明,上丸洋一,奥山俊宏,萩原 豊,堀潤	2013	特集 3.11 後のジャーナリズム	朝日新聞社 Journalism	2013.6 no.277
山崎 登,岩佐哲,柳澤あゆみ,杉本誠司,姉帯俊之,津田大介,上柳昌彦,戸田桂太,草野 厚,田中 淳,藤岡伸一郎,石井 彰,熊谷 徹	2011	大震災報道は視聴者にどう見られたか	放送文化	2011 夏号 pp.3~52
NHK 放送文化研究所メディア研究部/番組研究グループ,田中孝宣,原由美子,福長秀彦,井上裕之,村上聖一,村上圭子,吉次由美,執行文子	2012	東日本大震災とメディア～「放送研究と調査」(月報) 掲載論文から～ 東日本大震災発生時・テレビは何を伝えたか 原子力災害と避難情報・メディア ほか	NHK 放送文化研究所年報 2012	第 56 集 pp.247~370
NHK 放送文化研究所	2011	特集 東日本大震災	NHK 年鑑 2011	pp.7~22
徳田雄洋	2011	震災と情報 —あのとき何が伝わったか	岩波書店	岩波新書(新赤本) 1343
広河隆一ほか	2011	大震災・原発事故とメディア	大月書店	放送レポート 別冊
広河隆一ほか	2012	検証 原発事故報道 あの時伝えられたこと	DAYS JAPAN	第9巻第4号 4月号(増刊号)
伊藤 守	2012	ドキュメント テレビは原発事故をどう伝えたのか	平凡社	平凡社新書 631
遠藤 薫	2012	報道・ネット・ドキュメンタリーを検証する メディアは大震災・原発事故をどう語ったか	東京電機大学出版局	
小田桐 誠	2012	NHK 独り勝ちの功罪	KK ベストセラーズ	ベスト新書 359
高野明彦,吉見俊哉,三浦伸也	2012	311 情報学 メディアは何をどう伝えたか	岩波書店	叢書 社会と震災
平塚千尋	2012	【新版】災害情報とメディア	リベルタ出版	
丹羽美之,藤田真文ほか	2013	メディアが震えた テレビ・ラジオと東日本大震災	東京大学出版会	

著者	年	タイトル	掲載誌等	号/掲載頁
日野行介	2013	福島原発事故 県民健康管理調査の闇	岩波書店	岩波新書（新赤版）1442
NHK ETV 特集 取材班（増田秀樹,七沢潔,大森淳郎ほか）	2012	ホットスポット ネットワークでつくる放射能汚染地図	講談社	
山下文男	2008	津波てんでんこ 近代日本の津波史	新日本出版社	
(一財)マルチメディア振興センター	2014 時点	公共情報コモンズ	公共情報コモンズ（専用サイト） http://www.fmmc.or.jp/commons/	トップページ
(一社)デジタル放送推進協会	2012 時点	地デジ	トップ > * http://www.dpa.or.jp/chideji/index.html	
(公財)放送文化基金 助成 贈呈式・研究報告会（藤吉洋一郎,藤田真文,目黒公郎,佐藤 崇,山崎 登,丹羽美之）	2014 時点	放送文化基金設立 40 周年記念研究報告会「3.11 とメディアのこれから ―震災、原発事故からの教訓―」	トップページ > 助成 > 研究報告会 http://www.hbf.or.jp/grants/society.html	
(公財)放送文化基金助成贈呈式・研究報告会（藤吉洋一郎,丹羽美之,市村元）	2014 時点	研究報告会「東日本大震災とメディア」	トップページ > 助成 > 研究報告会 http://www.hbf.or.jp/grants/society/23_society.html	23 年度 研究報告会
藤吉洋一郎	2012	巨大災害への備えを見直そう	大妻女子大学コミュニケーション文化学会 コミュニケーション文化論集	10 March2012 pp.107~131

研究発表

- 1) 日本災害情報学会第 13 回研究発表大会（2011/10/30、名古屋大学）
 - ・宮城県のコミュニティ・エフエム放送局初動対応 三島和子 ほか
 - ・宮城県 県域民放ラジオ局の初動対応 天野 篤 ほか
 - ・宮城県のラジオ放送が果たした役割 藤吉洋一郎 ほか
- 2) 放送文化基金研究報告会「東日本大震災とメディア」（2012/3/2、海運クラブホール）
 - ・検証“東日本大震災”命を救う情報をどう伝えたか ～地震発生から 1 時間～ 藤吉洋一郎
- 3) 日本災害情報学会誌「災害情報」No.10（2012/3 発刊）
 - ・「デジタル放送研究会'4」活動報告 天野 篤
- 4) 日本災害情報学会第 14 回研究発表大会（2012/10/27、東京大学）
 - ・東日本大震災における災害情報の伝達と住民の対応 ―デジタル放送研究会・新潟広域避難調査および三陸沿岸調査から― 中村 功 ほか

- 5) 日本災害情報学会誌「災害情報」No.11 (2013/3 発刊)
 - ・デジタル放送研究会 2011～12 年度活動報告 東日本大震災津波被災者・福島原発事故広域避難者、南海トラフ地震津波浸水想定区域住民アンケート調査 天野 篤
- 6) 日本災害情報学会第 15 回研究発表大会 (2013/10/26、群馬大学)
 - ・「南海トラフ巨大地震」の被害想定に関する住民の意識と反応ーデジタル放送研究会下田市・黒潮町調査からー 中村 功 ほか
 - ・【東日本大震災】福島第一原発事故広域避難者アンケート調査 (新潟) から 天野 篤 ほか
- 7) 放送文化基金設立 40 周年記念研究報告会「3.11 とメディアのこれから ー震災、原発事故からの教訓ー」(2014/3/7、海運クラブホール)
 - ・被災者は放送をどう受け止めたか ～岩手・新潟アンケート調査より～ 藤吉洋一郎
- 8) 日本災害情報学会誌「災害情報」No.12 (2014/3 発刊)
 - ・デジタル放送研究会 2013 年度活動報告 3.11 と情報 ー震災、原発事故に学ぶー 天野 篤

連絡先

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 1-2-2 新百合 21 ビル アジア航測株式会社
TEL 044-969-7500 , FAX 044-965-0916 , E-mail:at.amano (半角アットマーク) ajiko.co.jp

あまの あつし
天野 篤